

1996（平成8）年度

講義内容



国文 科
英 文 科
放 射 線 科

駒澤短期大学

1996(平成8)年度 学年暦 は全学休業日

日	月	火	水	木	金	土
4月(平成8年)						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
5月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
6月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
7月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
8月						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- 8日 入学式
- 9日~11日 新入生オリエンテーション
- 9日~10日 生涯スポーツ実習受講届受付
(1年次生・予備日11日~17日)
在校生成績発表
- 9日~13日 在校生身分登録
- 12日 前期授業開始
- 12日~18日 在校生成績質疑応答
- 12日・15日・17日 事前登録日
- 15日・17日・19日 事前登録結果発表日
- 23日~25日 履修届受付(土曜日は除く)
※学科により曜日が異なる
- 13日・14日 履修届訂正期間
- 25日 卒業論文論題受付開始
(~6月10日)
- 10日 卒業論文論題受付締切(正午)
- 12日~18日 中間試験および
前期終了科目定期試験
※授業平常どおり
- 19日 前期授業最終日
- 20日~24日 生涯スポーツ実習集中授業
- 21日 夏季休業開始(~9月15日)
- 24日 前期終了科目定期試験欠試験
(追試験申込)受付締切
- 27日~29日 全学休業
- 8日~18日 全学休業
- 2日~6日 前期補講期間
- 9日~13日 生涯スポーツ実習(シーズン・ゴルフ)
- 17日 後期授業開始
- 18日~19日 前期終了科目定期試験成績発表
成績質疑応答および再試験申込受付
- 24日~27日 外国語指定届受付
※仏教・文(除英米文・社会)・経済学部
- 26日 前期終了科目追再試験(~10月2日)
※授業平常どおり
- 26日・27日 専攻コース指定届受付
(歴史学科1年次生)

日	月	火	水	木	金	土
10月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
11月						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
12月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
1月(平成9年)						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
2月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	
3月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 15日 第114回開校記念日
- 5日~11日 編入学試験願書受付
- 12日~15日 転部・転科試験願書受付
- 20日~22日 教職課程資格講座受講
登録ガイダンス
- 1日 編入学・転部・転科試験
- 2日~10日 卒業論文受付
※最終日は正午まで
- 21日 冬季休業開始
(~1月7日)
- 21日・24日 後期補講日
- 21日~25日 生涯スポーツ実習集中授業
- 8日 後期授業再開
- 14日 後期授業最終日
- 16日~24日 定期試験(専門・教職科目)
- 25日~31日 定期試験
(宗教・教養教育・
外国語・保健体育科目)
- 5日 定期試験欠試験(追試験申込)
受付締切
- 6日 卒業論文口頭試問
- 17日・18日 成績発表(学部4年生・短大生)
および再試験申込受付
- 17日~21日 生涯スポーツ実習
(シーズン・スキー)
- 22日~28日 追・再試験
- 19日 卒業生名簿発表
- 25日 卒業式
- 26日~31日 春季休業

講 義 内 容

(目 次)

全 学 共 通 科 目	
宗 教 教 育 科 目	3
教 養 教 育 科 目	
人 文 分 野	33
社 会 分 野	57
自 然 分 野	85
総 合 分 野	117
外 国 語 科 目	129
保 健 体 育 科 目	429
専 門 教 育 科 目	専1
日 本 語 ・ 日 本 事 情 科 目	日1
他 学 部 履 修 科 目	他1
随 意 科 目	随1
教 職 ・ 資 格 講 座	教1

全学共通科目

宗教教育科目

宗 教 教 育 科 目

《必修科目》

仏教と人間	(田 上 太 秀)	9
仏教と人間	(吉 津 宜 英)	9
仏教と人間	(佐々木 宏 幹)	10
仏教と人間	(山 端 昭 道)	10
仏教と人間	(山 岡 隆 晃)	11
仏教と人間	(松 田 文 雄)	11
仏教と人間	(佐 藤 憲 昭)	12
仏教と人間	(池 田 魯 参)	12
仏教と人間	(金 沢 篤)	13
仏教と人間	(原 田 弘 道)	13
仏教と人間	(石 川 力 山)	14
仏教と人間	(伊 藤 秀 憲)	14
仏教と人間	(石 井 修 道)	15
仏教と人間	(片 山 一 良)	15
仏教と人間	(石 井 清 純)	16
仏教と人間	(佐 藤 秀 孝)	16
仏教と人間	(菅 原 壽 清)	17
仏教と人間	(渡 部 正 英)	17
仏教と人間	(小 川 順 敬)	18
仏教と人間	(池 田 練太郎)	18
仏教と人間	(長谷部 八 朗)	19
仏教と人間	(伊 藤 隆 壽)	19
仏教と人間	(永 井 政 之)	20
仏教と人間	(石 井 公 成)	20
仏教と人間	(袴 谷 憲 昭)	21
仏教と人間	(奥 野 光 賢)	22
仏教と人間	(木 村 誠 司)	22
仏教と人間 (前期)	(角 田 泰 隆)	23
仏教と人間 [再クラス]	(岡 部 和 雄)	23
仏教と人間 [再クラス]	(田 中 良 昭)	24
仏教と人間 (前期) (後期)	(鈴 木 格 禅)	24
仏教と人間 (前期) (後期)	(峰 岸 孝 哉)	25

《選択科目》

文化と宗教	(長谷部 八 朗)	29
社会と宗教	(佐 藤 憲 昭)	29
坐 禅 (前期) (後期)	(木 村 誠 治)	30
日本仏教史 (前期)	(石 井 公 成)	31

必修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	た が み たい しゅう 田 上 太 秀	禅 1 必	4

講義のねらい

禅の思想の源流は遠くインダス文明にまでさかのぼることができる。今日、わが国に伝えられている禅の思想・その修行方法は内容や形態は大いに異っているものの、その基本的な姿勢は、インダス文明に存在したものであることは疑いない。

この禅は、ゴータマ・ブッダという偉大な宗教家によって新たな修行法に改められ、仏教特有な禅としてのちには展開することになった。

禅はその原語から判断すると真理について、世界について、人間存在について深く沈思・考察し、そして洞察する行法であったと考えられる。わが身については、からだとは何か、何によって構成されているのか、心とは何かなどさまざまな疑問が湧いてくるものを一つ一つ解決する行法であったといっている。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では、インド仏教というよりインド思想全般から人間とは何かを考えることにしたい。そして禅の思想の流れを眺めて、種々の禅思想を学んで行くことにしたい。

教 科 書

田上太秀著『禅の思想』東京書籍刊 1,009円

参 考 書 等

田上太秀著『禅語散策』東京書籍刊 1,030円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	よし つ よし ひで 吉 津 宜 英	仏 教 1 必	4

講義のねらい

この科目は、駒澤大学がその建学の理念を仏教に措いているところから、その基本的な立場を出来るだけ理解してもらいたいという根本趣旨から必修となっている。

ただ、当該学科に入学した皆さんは、4年間かけて仏教や禅の内容を学問的に修得しようと言う意図を持っているわけであるから、建学の理念については、この科目以外の場においても、じっくりと時間をかけて理解していただけたらと思う。

したがって、私はこの科目の内容の中に宗教学的な視点をも採り入れ、「宗教と人間」と言うぐらいに広くテーマを設定してみたい。そして、「人間とはなにか」・「宗教とはなにか」・「なぜ宗教が存在するのか」・「はたして宗教は必要なのか」・「現代社会と宗教」といった課題を、他の政治・経済・教育・歴史・哲学・文学等といった分野の諸問題と関連させることを通して、宗教の存在の意義と問題点を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は広く世界の諸宗教の中での仏教の特色を理解してもらいたい。後期は、仏教の中にも、いろいろの形態がどこに、どのように、なぜ成り立ち、存在しているのかを考えて行く。

履修上の留意点

ただ、受動的に聴くだけではなく、いつも「なぜ」という問いを発して能動的に問題に取り組んでもらいたい。その姿勢を育ててもらうために、ときどきは小論文を書いてもらうこともある。また、出来るだけ質問をしてもらいたい。

履修上の留意点

出席点、小論文、レポート、年度末のテストなどによって総合的に評価したい。

教 科 書

特別は教科書は指定しないが、必ず当該科目用の自分のノートを用意すること。年間を通じてノート作りを励行し、結果的に自分自身の当該科目への取り組みが一つの成果として残るようにしてもらいたい。

参 考 書 等

参考書等は、講義の進行にあわせて、その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	国 文 1 必	4

講義のねらい

1. 仏教の開祖釈尊は人間（および世界の諸事象）をどう捉えたか。人間の問題（生老病死その他）を究極的に解決するためにどのような方法を提示したかを説明する。
2. 仏教は世界各地に伝播したが、それぞれの国や民族・社会において土着の宗教観や習俗と接触し、さまざまな様相を示すにいたる。ここに仏教の教えと民族（人間）の問題が生じてくるので、これを考察する。
3. 日本人にとって仏教とは何かについて、思想・芸術・道徳・習俗などに及ぼした仏教の役割について取りあげる。
4. 21世紀を間近にひかえて、世界には民族・環境・平和・人権などの問題があり、解決を迫っている。これら問題にたいして、仏教者として何ができるかについて考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の世界観・人生観と他の諸宗教のそれとの関係や差異の問題に関連づけながら「講義のねらい」で述べた1～4までの諸課題について、できるだけ分かりやすく説明していく。つねに「人間とは?」「人生とは?」のテーマを中心に仏教の教えを説明する方法をとりたい。

履修上の留意点

とどき出席をとり、評価の参考にする。前期と後期に各一度、仏教と人間について自分の人生観を含む短いレポートを提出してもらおう。

成績評価の方法

定期試験において行なうが、一・二度提出してもらいレポートの内容も評価の参考にする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

ビデオ・スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま はた しょう どう 山 端 昭 道	国 文・英 米 文 歴 史 1 必	4

講義のねらい

いま宗教への関心が、とくに若い諸君の間に高い。だが彼等と接してみると、それを少なからず軌道修正する必要があると感じてしまう。すなわち、宗教理解への適切な関心と、その教えが自分の「生きる力」となるように受け止める姿勢がほしいことである。

我が国には、さまざまな宗教とその諸相がある。中でも仏教は、遠来の宗教ではあるが永い歴史を通して、日本の文化的宗教的土壌に根を下ろし、人びとの考え方や行動、また社会生活等に大きな影響を与えてきた。

本講義では、宗教への一般的理解と共に、仏教の教えが現代人にとっても、どのように機能し、「生きる力」となり得るか、ともに考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、身近な具体的な事例を通して、宗教が果たしている役割を知り、また仏教の基本的な考え方・基礎的な教理を理解する。そして、釈尊（仏教の開祖・釈迦）をはじめ宗教的に生きた先人達の言行や教えを学び、また苦悩しつつも確かに歩み続ける人びとの詩文・告白等に触れ、現代人が仏教をいかに受け止めるべきかの指針・導き、としたい。

履修上の留意点

自分自身にとって、現代社会にとって宗教・仏教がどうなのか、と常に問題意識をもって履修してほしい。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院 2,060円）他に、先人達の遺した比較的平易は言葉や今に生きる人びとの詩文等を、資料として随時使用する。

その他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま おか たか あき 山 岡 隆 晃	英米文・社会1必	4

講義のねらい

仏教と人間について、この講義では主として次の二点より考えることとする。その第一は、「人間（日本人）にとって仏教とは何か」ということである。インドに誕生した釈尊によって唱えられた仏教は、ほぼアジア全域に伝えられ、それぞれの地域や国の風土・文化によって様々に変容しながら、人々の生活の中にしっかりと定着した。今日では、同じく仏教といっても、現実社会での有り様は実に多様であり、例えば、スリランカの仏教と日本の仏教では、勿論共通点はあるものの、むしろ相違点の方がきわだっており、両者は似て非なるものであるといった観が強い。このように多様な形態をもつ仏教について、講義では、アジアの中でも独自の展開をとげた、日本の仏教に焦点を当てて考えることとする。日本人であるなら、一度や二度はお寺にお参りしたことがあるはずである。それは単なる観光のためであったり、合格祈願や葬式に参列するためのものであるかもしれない。いずれにしても、現実の社会の中で、仏教は日本人と多様な関わりをもっているのであり、そうした関わりについて、仏教が現実を果たしている役割・機能を中心に考えてみようというのが、この講義の第一のねらいである。

第二は、「仏教にとって人間とは何か」という問題である。仏教は人間存在をどのようにとらえ、人間とはいかに有るべきだと考えているのか。ここでは仏教の教理を概観しながら、一人の人間としての自己の究明、即ち自分探しの旅を試みることをねらいとする。本来の自己に日覚めよと説く仏教の教えは、混迷する現代社会に生きる我々に何らかの指針を与えてくれるに違いない。第一のテーマについては前期の、第二については後期の授業内容として予定している。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・課題・試験等について総合的に評価する。

教 科 書

教科書は『宗教学ハンドブック』（世界書院）を使用。その他適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	まつ た ぶん ゆう 松 田 文 雄	地 理 1 必	4

講義のねらい

“人間いかに生くべきか”に対する先哲の説示は、学問として、また宗教教理として伝えられてきた。本講義は、宗教教育課題として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合せ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。学生手帳の載せる『般若心経』『修証義』にも言及する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

凡そ次のテーマを考えている。1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界三大宗教についての概要。2) インド古代の思想、釈尊の成道、大乘仏教（菩薩道）、仏教の伝播を課題とするインド仏教についての概要。3) 中国仏教の梗概と禅宗の形成。4) 日本仏教の梗概と禅宗の伝来、道元禅師と『正法眼蔵』、瑩山禅師と『伝光録』、日本曹洞宗の形成についての概要。5) まとめとして「梅檀林から駒沢大学への歩み」を考察する。

履修上の留意点

受講し、講義内容を自分の手でノートすることを要望する。

成績評価の方法

成績評価は定期試験の成果と受講の度合い（出欠）によって行う。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院刊

参 考 書 等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	歴史・社会 1 必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。本学の建学の精神である仏教、特に禅の思想にも留意したい。

講義の内容・授業スケジュール

つぎのテーマのもとに具体的に考察する。
 1. 犬に育てられた子供と人間に育てられた子供。2. 人類と文化。3. モンスーンの風土の宗教と砂漠的風土の宗教。4. 民俗宗教の特質。5. 教義仏教と民俗仏教。6. 仏教の誕生とその教義的展開。7. 大乘仏教と上座部仏教。8. 禅仏教の特質。9. 曹洞宗の特質。10. 総括。

履修上の留意点

夏期休暇中に仏教に関する本の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席した場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、感想文の評価と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	い だ る さん 池 田 魯 参	経 済 1 必	4

講義のねらい

仏教とは「仏が説かれた教え」ということです。仏とは、古代インド語でブッダと発音する語の音訳語で、「目覚めた人」という意味です。このブッダのことを「お釈迦さま」と呼んでいます。お釈迦さまというのは、「釈迦族出身の尊いお方」というほどの意味で、普通は「釈尊」と呼びます。

釈尊が説かれた教えは、もともと不特定多数の人に向かって説かれた教えではありませんでした。釈尊が出会ったそれぞれの人に向かって説かれた教えでした。遊びほうけている青年には、そういう生活は意味がないと教え、ノイローゼになるほど思い悩んでいる青年には、もっと大切なことに思いをめぐらすように教え、子供を亡くして絶望している母には深い思いやりで悲しみから立ち上がるよう励まし、二度も結婚生活に失敗し自暴自棄になっていた女性にはそういう生き方では何も解決しないと教えたのです。これが仏の対機説法といわれるものですが、釈尊はこういうふうにしてその人に一番合った言葉を語られているのです。勿論、黙って行動で示されるようなこともありました。

ですから、釈尊が語られた言葉は、釈尊と出会った人たちが、それぞれがかかえていた人生の難問題を解決することができた、いわば人生の転機となった言葉であったといえるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、先ず、釈尊の生涯において人生の問題がどのように解決されたのかを考え、合わせて釈尊の教えによって仏弟子たちがどのように人生の転機を乗り越えていったのか、具体的な事例に即して考えてみたいと思います。
 この機会に、意欲的に仏教の意義について考えてみて下さい。

成績評価の方法

評価は、随時レポートの提出を求め、合わせて期末テストで評価します。

教 科 書

テキストはテーマ毎に資料のコピーを配布します。

参 考 書 等

水野弘元著『釈尊の生涯』（春秋社 2,060円）がいいでしょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	かな ざわ あつし 金 沢 篤	経 済 1 必	4

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遥か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。教科書については教場で指示するが、人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めたい。

教 科 書

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	経 済 1 必	4

講義のねらい

今日は情報化社会といわれる。知識や情報が重んぜられており、今後この傾向は益々強くなるであろう。

そんな中で、現代のわれわれは、知識や情報に基き、社会や周囲への適応に明け暮れて自己を見失い、何らかの権威に頼る集団主義的な生き方をし、その結果、個性や個別性が押しつぶされている場合が多い。

その情況が疎外された自己として意識され、「自己疎外」などとよくいわれる。「人間的なものが非人間的なものによって置き換えられている」状態だという。そこから脱却し、如何に自己回復を果たし、自在を得ていくかが、実に生きる人間にとって重要な問題である。仏教・禅はまさしくその解決の道を示しているのである。それは智慧の問題としても学ばれよう。

知識や情報を豊富に持っても智慧には叶わないことは確かなことである。智慧というのは、知識を実践体験につなげ、時々刻々に変化する無常の真っ只中において、新しい状況に自己の知識を適応させる生きた習慣を身につけることだからである。従ってそれは個人の実践体験によって培われるものである。

言うまでもなく、仏教・禅は実践体験に基づく智慧（般若の智慧）の働きを尊重する。智慧円満の働きを理想とする。それは「人」を理解するところから始まるであろう。

そこで講義では、禅の歴史を経糸に様々な人間論的見解を導入しながら、禅の種々相を明らかにし、今日的意義もあわせ考えてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

I 禅とは何か。II 印度の禅、中国の禅、日本の禅。III 人間生活と禅の真理。IV 禅の生活の展開。V 禅の人間像。VI 禅と文化。VII 禅と現代。

履修上の留意点

専門要語の使用は出来るだけ避けるが、基本要語の修得に努めてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

参 考 書 等

水野・柴田編『宗教学ノート』、原田こうどう『禅を喝破する』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし かわ りき ざん 石 川 力 山	経 済 1 必	4

講義のねらい

宗教・民族・国家をキーワードとして、宗教の社会的機能に関する認識を深め、また人類における人間と宗教との密接な関係を確認し、併せて、現代の宗教現象に対する冷静な態度・見方を養うことを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

全世界に様々な宗教が機能していることを前提に、「仏教」の事例を素材として、宗教の発生と伝播、生活との関わり、社会史的・文化史的意味について論じ、仏教が主張する人間の生き方について考えてみたい。またその際、宗教現象の功罪、正の機能・負の機能についても率直に触れたい。さらに、仏教の原点と日本仏教の現状との比較検討も行う。

後期は、世界の諸宗教について、まず宗教現象の分類を通してその発生的・歴史的性格を正しく把握し、特にユダヤ教やヒンズー教などの民族宗教の持つ特異な人生観や独自の宗教的世界観・宇宙観の意義、さらにはその宗教的機能が果たした歴史的役割等を確認する。ヒンズー教やインド哲学と仏教の比較検討も行う。キリスト教・イスラム教についても、国家や民族意識の問題に関連し言及する。

また「神道」の起源や種類を踏まえ、特に明治維新とともにほじまる「国家神道」と近・現代史や生活史との関わりを、宗教的救済機能と宗教的規範機能の両面から追求する。

履修上の留意点

出席は毎回取るので、無断欠席しないこと。やむなく欠席する(した)場合は、事前・事後に欠席届を提出すること。

成績評価の方法

成績は、期末テストの結果に、出席数を考慮して評価する。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』(更生社刊)

参 考 書 等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』(世界書院刊)等 2,060円

そ の 他

授業は講義を中心にして、宗教の社会的機能を課題として、現代社会における宗教の意味を考えてもらうことを中心に進めるので、試験問題も、各自の考え方を展開する方向で記述してもらう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	い とう しゅう けん 伊 藤 秀 憲	商 1 必	4

講義のねらい

本学の建学の理念(仏教の教義と曹洞宗立宗の精神)に基づく講座であるから、「仏教と人間」とは「仏教」についての講座であるといえる。しかし、これは「仏教」の教義を信じることを強要するものではない。あくまでも教育科目としての「仏教」である。ということは、哲学、経済学、社会学等と同じであって、学ぶ対象が「仏教」であるということにすぎないと考えればよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

インドから中国をへて日本に至るまでの、仏教・禅の歴史と思想を中心に講義する。その歴史に生きた人々から、仏教・禅の人生観・人間観等を捉えることが出来たらと思う。

履修上の留意点

縁あって駒沢大学で学ぶことになったのであるから、仏教・禅とはどのような思想なのか積極的に学んでほしい。歴史と思想の流れを大きく把握できれば十分である。

成績評価の方法

筆記試験の成績に、出席状況、時には提出を求めたレポートを加味して評価する。成績や出席の不良は各自の責任であって、試験後、レポート等による加点には一切感じない。

教 科 書

プリントを配布し、それに基づいて講義する。

参 考 書 等

駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』(更生社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし 井 しゅう どう 石 井 修 道	商 1 必	4

講義のねらい

「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。

また「坐禅箴」「普勧坐禅儀」を通して、坐禅、特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるかを述べたい。

教 科 書

鏡島元隆著『道元禅師語録』（講談社学術文庫） ¥700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	かた やま いち ろう 片 山 一 良	商 1 必	4

講義のねらい

人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教一般（宗教と呪術・神話と儀礼・民族宗教と世界宗教など）について講じる。後期は、仏教の基本的な教え（智慧と慈悲・縁起と四聖諦・戒と禪など）について講じる。いずれも、現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点

「人間学」として把握、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、レポート（夏期）および年度末テストによる。

教 科 書

テキストはとくに使用しない。

参 考 書 等

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

そ の 他

随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いし せい じゅん 石 井 清 純	法律 1 必	4

講義のねらい

仏教の思想と曹洞宗の教義について解説し、本学の依って立つところを明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

種々の經典における仏教の教えと、禅思想の展開について歴史的に概観する。その上で、現代社会と仏教あるいは宗教の関わりについて問題提起をしてゆきたい。

成績評価の方法

前期終了時にレポートを課す。それと年度末の筆記試験をもって評価を行う。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』・『宗教学Ⅱ』（更生社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	さ とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	法律 1 必	4

講義のねらい

仏教はインドのゴータマ・シッダッタ（釈迦牟尼仏）を開祖とする宗教であり、すでに2500年の歴史を有している。世間一般の仏教に関する理解は、おおむね葬式仏教というイメージが中心であろう。しかし、実際には仏教の思想は生きた人間そのものを見つめるきわめて現代的なものである。仏教が他の諸宗教ときわめて相違する点は、神を持ち出さず、あくまで人間（自己）の苦悩や生死の問題に正面から立ち向かっているところにある。その面で仏教はまさに人間学なのであって、「人（人生）とは如何にあるか」「人（人生）とは如何にあるべきか」を課題にしているわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では人間学としての仏教の基本的なものの考え方（無常・縁起など）を諸方面から窺い、仏教の現代的意義を探ってみたい。また合わせて本学の建学の理念でもある禅のものの考え方についても、その実践性から禅人間観・修行観・生活観などの諸方面から説明したい。とくに永平寺を開いた道元は「仏道をならふといふは自己をならふなり」と述べており、自己とは何か、自己そのものを学ぶのが仏道であることを表明している。とかく宗教問題が錯綜している現今であるが、東洋の思想の一つとして、本当の仏教とは何か、禅とは何かを窺ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験およびレポート提出などを中心とするが、さらに出席を重視するのでそのつもりで臨んでもらいたい。

教科書

駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』（更生社）と同『宗教学Ⅱ』を使用する。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍・東書選書）や松本史朗『仏教への道』（東京書籍・東書選書）などが有益であろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	政 治 1 必	4

講義のねらい

人間の精神生活の根源にあって人びとの生活を支える宗教・仏教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「人間と仏教」というテーマで、宗教学の視点から仏教的な営みをとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、前半は宗教について学ぶための基礎的な講義を行い、後半では仏陀の教え、その展開や伝播と変容、禪のころなどについて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教へのアプローチ〉
1. 宗教と宗教学（宗教をとらえる視点）
 2. 人間と宗教（人間とは何か）
 3. 宗教学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
4. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 5. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈人びとの暮らしと仏教〉
6. インドの宗教（ヒンズー教，他）
 7. 仏陀の教え（仏陀の生涯）
 8. 仏教の展開（大乘仏教）
 9. 仏教の伝播と変容（チベット仏教）
 10. " (中国仏教)
 11. " (日本仏教)
 12. 禪のころ（道元禅師の教え）

成績評価の方法

試験・出席。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参 考 書 等

指定なし。

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	わた なべ まさ ひで 渡 部 正 英	政 治 1 必	4

講義のねらい

宗教教育としての「仏教と人間」であり特定宗教にこだわるものではない。ここでは特に我々日本人にとって馴染み深い仏教に主眼をおき、仏教から見た人々の姿、民衆から見た仏教の立場の両方を視点にいれて考察していく。それは宗教としての仏教を頼りにしている人間の行動とその思いを中心テーマにしていくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏教からの視点で進める。まず、世界宗教としての位置付けから始める。キリスト教、イスラム教と比較しながら仏教の特色を考え、ブッダの目指したものを通して、その教えが我々にどのような影響があったかを考える。後期に入っては、民衆の視点で仏教を見ていく。特に仏教儀礼に視点を当てていく。仏教儀礼は現代に生きた宗教の姿である。その中での信仰者、修行者を通して、我々の日常に仏教はどのような立場で接しているのかまた、信仰者としての民衆はなにを考えているのかを研鑽していきたい。さらに民間信仰などの要素を加えた民俗宗教的な立場と仏教儀礼を比較することによって、現代の仏教と人間の関わりを考察していきたい。

履修上の留意点

出席は、たえず注目しチェックする予定。

成績評価の方法

成績は、一年の最終講義日に試験をするほか、途中でレポート等を作成してもらったものを通して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	お ^が わ ^と し ^ゆ き 小 川 順 敬	政 治 1 必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。

ところがこれらの法要や行事は仏教本来の教えからいけば逸脱していると考えられます。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるといっても良いでしょう。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容しているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想、また禅の思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出（夏期休暇あけ）と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、試験の方針、レポートの内容・形式、出席に関しては授業で詳しく説明します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』世界書院 2,060円

参 考 書 等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いけ ^だ れん ^た ろう 池 田 練 太郎	経 営 1 必	4

講義のねらい

駒澤大学は、仏教と曹洞宗立宗の精神を基本的な理念として設立された大学であり、入学したすべての学生にその建学の理念を学んでもらうことになっている。本講座はその意味で設置されたものである。したがって、授業では「仏教とは何か」ということについての正しい知識と理解をもつことを目標にしたい。同時に、仏教が現代社会においてどのような役割を果たし得るのか、また人間にとって宗教とはいかなる意味をもつのかなど、さまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、仏教が起こるに至った背景としての古代インドの様相について概観し、その中からどのようにして仏教が登場してきたのか考える。次いで、仏教の開祖である釈尊の生涯についてできる限り詳しく説明し、その基本思想を解説する。さらに、世界に展開した仏教の歴史についても概説する。その後、仏教以外の諸宗教について、仏教との比較において検討する予定。また、人間にとって宗教・仏教がいかなる意味をもつのか、という問題については、つねに考えながら進めていくことにしたい。

履修上の留意点

欠席・遅刻はしないようにしてほしい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験によって評価する予定。

教 科 書

教科書は特に使用しない。

参 考 書 等

授業の折りに、適宜説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	はせべ はち ろう 長谷部 八 朗	経営1必	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。
後期には、日本仏教に着目し、道元ら諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。

成績評価の方法

成績評価の仕方は未定だが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	い とう たか とし 伊 藤 隆 壽	経営1必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 仏になる教え 2. 中道 3. 八正道 4. 菩薩の道 5. 成仏への道
6. 念仏 7. 唱題 8. 禅 9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価はレポート及び試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』東京書籍¥1,400を使用する。

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』春秋社¥1,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	<small>なが い まさ し</small> 永 井 政 之	経 営 1 必	4

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母胎になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件——オウム心理教にせよ宗教法人法の改正にせよ——は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといってよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・
授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめざしているか、「禅」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	<small>いし い こう せい</small> 石 井 公 成	短 国 1 必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』春秋社 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短 国 1 必	4

講義のねらい

“Un enfant n'est pas un homme (子供は人間ではない)”とパスカルは言い、デカルトもまた、その主著『方法序説』の第2部で、これと同じ考えを更に明確に述べている。私たちがまた「人間」になるために成長してきたはずであるが、しかし、今日ほど「人間」になることが疎んじられている時代もそう多くはないのではあるまいか。確かに、皆んな不可避免的に大人になるのではあるが、大人が必ずしもそのまま「人間」であるわけではない。否、もしかしたら、現在は、子供や動物の純粹さのまま大人になっている人の方が讚美され、敢えて真剣に「人間」になる必要はないとすら思われている風潮が根強いかもしれない。講義のねらいは、そのような現代的風潮に異議申し立てを試みることによって、「人間」とはなにか、ということ、「仏教」の批判的考察を通じて明らかにしていくことにある。この講義を通して、「上祐史浩はなぜ9年間セックスをしていないと公言したか」「動物よりも人間の方が穢れているとなぜ言えるか」「世の人々は修行それ自体は純粹だとなぜ言うのか」などというような問題に対して、自分で考えて答えを出せるようになってもらえれば、この講義のねらいはほぼ果されたと考えて頂いてよい。

講義の内容・ 授業スケジュール

デカルトによれば、「人間」とは、言葉 (parole) と理性 (raison) をもって「考える (penser)」人のことである。従って、彼は、「私は考える、それゆえに私はある (Je pense, donc je suis.: I think, therefore I am).」と言ったのであり、それは、もし「考える」ことから出発しなければ、仮に「私が」事実として存在するとしても、その「私」は、「人間」になり切れない単なる子供であるか、さも無くば限りなく動物に近い存在であるしかない、ということの意味する。しかるに「考える」ことをデカルトのように重視しなければ、その対極には、子供や動物や自然の純粹さを讚美する意見が屹立するであろう。講義では、そのような例として、サン＝テグジュベリの『星の王子さま』を取り上げて、子供の純粹さとはいかなるものであるかということ若干分析し、これに関する様々な考察も行うことにしたい。このようにして、同じヨーロッパの文化伝統の中においても、「考える」ことを重視する人とそうでない人のいることをしっかりと見据えた後に、「仏教」の考察に移る。なぜこのような段取りをつけるかという、かかる過程を経ることによって、実はその成立の第一歩は「考える (manasikarati, 任意)」ことから始まった仏教も、次第に「考える」ことを無視する精神主義によって骨抜きにされていった様子によりよく理解してもらえないかと思うからである。さて、その「考える」ことから出発した仏教は、「思想 (dṛṣṭi, 見)」と「習慣 (s'īla, 戒)」とを峻別し、前者については言葉による論議によって「誤った思想 (邪見)」を捨てて「正しい思想 (正見)」を選択していかねばならないとしたが、後者については正邪を決し難い無記であるとした。仏教は、その後者のインド的習慣を自明のごとくに支配しているインド精神即ちアートマン (atman, 靈魂) は存在しないということ、前者の思想の上で主張したのである。端的にいえば、仏教はインドの精神主義を否定したのであるが、仏教を標榜ながらも「考える」ことを無視してかかる精神主義を讚美する人は跡を断つこともない。それは、「仏教」を建学の理念に掲げる駒澤大学においてさえ、建学の「精神」という言葉を平気で口にする人の多いことを見ればわかることである。この講義は、本学の建学の理念である仏教についての誤解を正すための機会でもあるということであるから、学内に、「清く・明るく・直き・まことの心」が仏教の「精神」でもあるかのような、とんでもない発言をする人がいれば、それがなにゆえに誤りであるかを丁寧に説明するであろう。

履修上の留意点

出席はとらないが、できるだけ参加して自分で考えるチャンスにしてもらいたい。

履修上の留意点

学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

特に教科書は定めない。

参 考 書 等

デカルトの『方法序説』については、比較的安くて入手しやすいものに、落合太郎訳 (岩波文庫 410円)、野田又夫訳 (中公文庫540円)がある。サン＝テグジュベリの『星の王子さま』は、内藤濯訳で、岩波少年文庫に収められている。英訳には、Katherine Woods訳、*The Little Prince*、があり、A Harvest Bookとして刊行されていて、入手も容易である。

そ の 他

授業方法は、原則として、講義形式であるが、できるだけ一緒に考える機会はつくりたいと思っている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくのみつよし 奥野光賢	短英1必	4

講義のねらい

本授業は「仏教の教義」を建学の理念とする本学の特色を踏まえ、仏教の基本的教え、ものの見方、人間観といったことの教授を主たる目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、釈尊の伝記、中道、四聖諦、八正道といった仏教の基本的教えの解説を中心とし、あわせてインド・中国・日本の仏教の歴史についても目を配り概説する予定である。また、後期はプリントを配布して実際に仏教を学ぶ上での主要な原典を直接読むことも考えている。

上記のように授業の内容は仏教を中心とするが、仏教との対比の上で各宗教学にも言及し、短期大学生の一般教養としての宗教学全般についての基本的知識も習得できるよう配慮する。

履修上の留意点

大学（短大）での授業はともすれば、一方的な講義になりがちである。疑問に思った点やわからない点は遠慮せずにどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。なお、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』東京書籍 1,400円

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	きむらせいし 木村誠司	短英1必	4

講義のねらい

仏教は日本人にとって馴染み深い宗教であるが、その本質を理解するのは容易ではない。非仏教的な思想が仏教として語られるケースが、実に多いからである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、まず仏教の開祖シャカの生涯を追い、彼の思想を探る。次に、インド・チベット・中国・日本の仏教を時間の順序に従って辿り、仏教と非仏教との思想的関りを示す。余裕があれば、般若心経などの経典について講義する。これらのことを通じて、仏教の基本的理念を知り、宗教に現実的な問題を考える眼を養ってもらいたい。

成績評価の方法

試験によって行う。

教 科 書

特定の教科書は用いず、適宜プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間（前期）	つのだたいりゅう 角 田 泰 隆	短放 1 必	2

講義のねらい

仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説したい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら進めてゆきたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	おかべかずお 岡 部 和 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

この講座名は新しくつけられたものである。本学がその建学の理念にもとづいて全学に必修科目として課しているものである。

仏教の学問的研究は仏教学部においておこなわれている。最先端の研究が世界の学界をリードしている。そうした深い研究をふまえて、本学に学ぶ学生諸君に「仏教とは何か」「仏教は現代に何を語りかけるか」「仏教にもとづく人生観・世界観とはどのようなものか」を講じようとするものである。これは講ずる側にとっては専門の仏教研究よりもずっとむずかしい仕事になるにちがいない。

われわれが毎日の生活の中で仏教の問題を考える機会はその多くはない。合理的な思考、科学的なものの考え方がありさすれば万事うまくいきそうに見える。しかし意味づけや価値の領域について、合理主義や科学は沈黙してしまうことが少なくない。かつては病気をなおし命を救う医療行為は善そのものであったが、今では死が避けられない患者への無理な延命治療（患者や家族にはかり知れない苦しみを与える）が、はたして善であるかどうか疑わしいという考え方が強くなってきた。農薬の開発は生産性の向上にとって善であるが、生態系の破壊につながるという意味では悪かも知れない。ましてや人間はいかに生きるべきか、われわれがここに存在していることにどんな意味があるか、人間は死後どうなるか、というような問題については、現代の高度な科学や技術をもってしても解決が不可能であろう。

西欧の合理主義は行き止まりとし、合理主義を超えた東洋の思想を再評価しようという動きがある。これは時代錯誤であり警戒を要する。昨今、オウム心理教が世界の耳目を驚かしたが、その宗教学的分析はこれからであろう。この講座ではなるべく現代のアクチュアルな宗教問題をもテーマにとりあげて、仏教の視点から現代人の生き方、価値観、世界観を再吟味したい。

教 科 書

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再 ク ラ ス〕	た な か り ょ う し ょ う 田 中 良 昭	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために、新たに開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教 科 書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容について種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起る宗教問題についても、取り上げていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 (前期),(後期)	す ず き か く ぜ ん 鈴 木 格 禅	短 国 2 必	(半期) 2

講義のねらい

自己存在の意義や、人間の「生き方」等を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

履修上の留意点

静粛を旨とし、授業中の入退場、雑談、および、授業に無関係な所作のすべてを厳重に禁止する。

成績評価の方法

筆記試験と平常点（出席率・受講態度）による。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社 2,370円）

参 考 書 等

必要に応じて適宜に指示する。

そ の 他

授業は専ら講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 (前期), (後期)	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	短 英 2 必	(半期) 2

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなからうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外来宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本の特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人のくらしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人のくらしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教科書

テキスト 佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社 2,060円

参考書等

参考書は講義の進行と共に指示。

選 択 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ ちはち ろう 朗 長谷部 八 朗	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教とりわけ仏教が社会にどのように働きかけ、教線の拡張をめざしたかを見ていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を中心に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討しながら、大衆社会的状況における宗教的ニーズの特質を考えてみたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1, 2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	さ とう のり おき 佐 藤 憲 昭	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	4

講義のねらい

通常、私たちは自分の好みに合わせて服装の色を選択しているが、冠婚葬祭などにおいては当該社会で伝承され、社会で期待されている色の服装を身につける。色の問題は服装ばかりではなく、多方面に及んでいる。いいかえれば、色は社会の秩序を表現しているのである。この講座では、色(色彩)に焦点を合わせ、カラー・シンボリズムを通して「社会と宗教」の問題に接近することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

まず、社会と宗教に関する学説史およびカラー・シンボリズムの学説史について具体的に解説し、次に内外の事例を紹介しながら、色彩の社会的・文化的意味および宗教的・象徴の意味について、その周辺の諸問題との関連のもとに考察する。

履修上の留意点

夏期休暇中に色彩に関する著書または論文の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、ときどき出席をとるので、欠席をした場合(または欠席をする場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

①受講生が少人数の場合にはゼミ形式にするので平常点で評価し、②受講生が多い場合には学年末のレポートで評価し、③受講生がすくぶる多い場合には学年末の筆記試験で評価する。したがって、授業がスタートした時点において、①②③のいずれかを採用することになる。なお、②または③が採用された場合、その評価が59点以下である時には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価したいと考えている。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人 —— 宗教人類学の構想 —— 』吉川弘文館

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 (前期),(後期)	きむらせいじ 木村誠治	全学科・短国・短英選 (法学部除く)	(半期) 2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本年度から新たに開講された本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思います、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を正し、静けさの中で自己を見つめるのです。これは生命の大地に立ち返るときでもあります。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験する内に静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることを指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・ 授業スケジュール

半期単位ですので、全体で15回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～15「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。)

希望者には、課外授業として鎌倉の古寺巡り、禅に関係する美術館見学等を計画しています。

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

『坐禅-講本-』更生社 2,266円

参考書等

随時、講師より資料をプリントし提供します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教史（前期）	いし い こう せい 石 井 公 成	短国・短英選	2

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であり、日本文化の主要な担い手であった。その仏教の教義と歴史について基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

朝鮮諸国における仏教受容のあり方と比較しつつ日本における仏教伝来について検討し以後の仏教史の流れを概観してゆく。その際は、文学とのかかわりに注意する。講義に当たっては、文献を読むことを柱とする。

履修上の留意点

こちらから頻繁に質問するほか、古文・漢文の訳なども担当してもらうため、積極的に講義に参加する態度が必要である。

成績評価の方法

試験の結果を重視するが、授業時の参加の程度も考慮する。

教科書

教科書は使用せず、コピーを配布する。

教 養 教 育 科 目
人 文 分 野

教 養 教 育 科 目

人 文 分 野

文 学 (1), (2)〔日本文学「古典」〕	(平 野 由紀子)	37
文 学 (3), (4)〔日本文学「古典」〕	(増 尾 聡 哉)	37
文 学 (5), (6)〔日本文学「近代」〕	(川 島 淳 史)	38
文 学 (12)〔日本文学「近代」〕	(小 林 治)	38
文 学 (7)〔日本のことば〕	(齋 藤 明 美)	39
文 学 (8)〔外国文学「イギリス文学」〕	(大 川 浩)	39
文 学 (9)〔外国文学「ロシア文学」〕	(杉 山 秀 子)	40
文 学 (10)〔外国文学「中国文学」〕	(田 熊 信 之)	41
歴 史 学 (1)〔日本中世史〕	(粟 野 俊 之)	41
歴 史 学 (2)〔中国古典考古学〕	(茂 沢 方 尚)	42
歴 史 学 (3)〔東洋古代史〕	(茂 沢 方 尚)	42
歴 史 学 (4)〔西洋近現代史〕	(渡 辺 知)	43
歴 史 学 (5)〔日本近世史〕	(木 槻 哲 夫)	43
歴 史 学 (6)〔日本近代史〕	(立 川 章 次)	44
芸 術 学 (1)〔日本美術〕	(中 島 亮 一)	44
芸 術 学 (2)〔西洋美術〕	(矢 野 陽 子)	45
芸 術 学 (3)〔音 楽〕	(赤 羽 由規子)	45
哲 学 (1), (2), (3)〔西洋思想の源流〕	(寺田 誠一・久保 陽一・中村友太郎)	46
哲 学 (4), (5), (6)〔近代の人間観と世界観〕	(国嶋 一則・戸田 洋樹・坂本 清子)	46
哲 学 (7), (8), (9)〔現代文明と人間〕	(久保 陽一・丸山 豊樹・大石紀一郎)	47
論 理 学 (1), (2), (6), (8)〔科学方法論と現代論理学〕	(大石紀一郎・寺田 誠一・丸山 豊樹・小宮山 隆)	47
論 理 学 (3), (4), (5), (7)〔科学方法論と現代論理学〕	(坂本 清子・伊古田 理・戸田 洋樹・山口 祐弘)	48
科 学 史 (1)〔科学と技術〕	(山 本 敦 之)	48
科 学 史 (2)〔近代科学の成立と展開〕	(小宮山 隆)	49
倫 理 学 (1), (2)〔人間観〕	(国 嶋 一 則)	49
倫 理 学 (3)〔価値観〕	(国 嶋 一 則)	50
倫 理 学 (4)〔自由論〕	(国 嶋 一 則)	50
倫 理 学 (5)〔制度とモラル〕	(久 保 陽 一)	51
倫 理 学 (6)〔東洋倫理〕	(松 田 文 雄)	51
宗 教 学 (1)〔比較宗教文化〕	(松 田 文 雄)	52
宗 教 学 (2)〔聖と俗〕	(佐々木 宏 幹)	52
宗 教 学 (3)〔思想と儀礼〕	(佐 藤 憲 昭)	53
人文地理学 (1), (2)〔風土と文化〕	(矢 野 陽 子)	53
人文地理学 (3)〔空間と行動〕	(多 田 統 一)	54
仏教と人間 (前期)〔短放〕	(角 田 泰 隆)	54
仏教と人間〔再クラス〕(前期), (後期)〔短放〕	(鈴 木 格 禪)	55
仏教と人間〔再クラス〕(前期), (後期)〔短放〕	(峰 岸 孝 哉)	55

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (1), (2) 〔日本文学「古典」〕	ひらの ゆきこ 平 野 由 紀 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、前期万葉の歌をとりあげる。万葉前期は、大化の改新や斉明天皇の百濟救援、壬申の乱など、激動の時代を経て、律令国家体制の確立された時代である。才媛額田王や歌聖柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の歌が生まれ出て、人麻呂によってひとつの完成をみた時代でもあった。歌の舞台は主に宮廷を中心とし、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。できれば、後期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参考書等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (3), (4) 〔日本文学「古典」〕	ます おとし や 増 尾 聡 哉	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

『大鏡』を精読する。平安時代の代表的な文学作品には、女性の手によるものも多いが、一方では男性による和文の作品も決して少なくない。『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とはまた違った視点でとらえた平安貴族のありようを、歴史物語を通して見直したい。あわせて、歴史物語が成立する、社会的・精神的背景にも触れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

女流文学最盛期とほぼ同時代に当たる、兼家伝から道長伝を中心に読む。

成績評価の方法

年度末の定期試験による。

教科書

開講時に指示する。

その他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (5), (6) 〔日本文学「近代」〕	かわしま あつし 川 島 淳 史	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

文学作品は、それが著された時代状況と密接に関わり合っている。殊に明治以降、文学は活字メディアの普及によって、民衆に対して多大な影響を及ぼすようになった。必然的に文学者は、戯作者という地位から脱却し、次第に政治や社会に対する発言力を強めていく。それとともに、知識人たちは創作・批評活動を通して自己の思念やイデオロギーをあらわしていった。そこから、さまざまな文学理念を持つ勢力が勃興し、やがて種々の対立・論争等に発展していったのである。本講義では明治から大正、昭和初期までの近代文学の流れを俯瞰しつつ、種々の文芸思潮の興隆・退嬰の意味を考察してみたい。しかし従来の文学史観の枠にはとられない、文学史の組み替えの可能性を模索するつもりである。それと同時に、各時代の主要な作家と作品を取り上げながら、その時代的意義についても講ずる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義。

成績評価の方法

レポート及び試験にて審査する。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

適宜、講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (12) 〔日本文学「近代」〕	こばやし おさむ 小 林 治	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、日本の第一次戦後派の野間宏、椎名麟三、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者として上野英信である。さらに時間が許せば、村上春樹などの現代の作家も取り上げたい。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

椎名麟三「深夜の酒宴」、「深尾正治の手記」
安部公房「けものたちは故郷をめざす」、「砂の女」
島尾敏雄「出孤島記」、「死の棘」
深沢七郎「楢山節考」
上野英信「追われゆく坑夫たち」

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

野間宏 『暗い絵・顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）¥680
安部公房 『R62号の発明・鉛の卵』（新潮文庫）¥320

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (7) 〔日本のことば〕	さいとう あけみ 齋 藤 明 美	全学科・短国・短英	4

講義のねらい	私達日本人が毎日用いている「日本のことば」とはいかなるものか。日本語の持つ特徴またそのルーツを探ることによって、日本のことばを正しく、より深く理解していこうというのが本講義の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	講義は「国語学概説」(双文社)を主たるテキストとし、日本のことばの語彙、音韻、文法、方言、日本語教育等について、わかりやすく説明していく。必要に応じてビデオ等の使用もし、日本語を専門科目としていない学生にも面白く学習できるようにしていく。
成績評価の方法	成績は、レポート、試験、出席等を総合的に評価する。
教科書	『国語学概説』春日正三、古瀬順一、川口明美他著、双文社
参考書等	参考図書、資料については、必要に応じてそのつどプリント等を準備する。
その他	授業の方法は講義形式で行うが、時々ビデオも使用したいと考えている。日頃用いている日本のことばに少しでも興味のある学生と一緒に、日本語の秘密にせまろうと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (8) 〔外国文学「イギリス文学」〕	おおかわ ひろし 大 川 浩	全学科・短国・短英	4

講義の内容・授業スケジュール	<p>二十世紀の英国の偉大な作家の一人であるD. H. ロレンス(1885-1930)が財宝神の頭蓋骨をもった現代人に、最後に投げつけた爆弾である〈男根崇拜意識〉の小説『チャタレイ夫人の恋人』を読解し、講義する。</p> <p>抽象世界にあって、死せる生を過ごしていた〈人格存在〉としてのチャタレイことコニイが〈意識探究者〉としての森番メラーズと出会うことから意識変革を体験して〈肉体存在〉に変貌していく過程を各章ごとに分析し、「生・性・愛」という視点から、この小説を考察し、あわせてロレンスの初期の傑作『息子と恋人』から最後作に至る迄、一貫して描かれている精神と肉体の対立・均衡を探究し、ロレンス文学における知性意識の「十字架」と肉体による「復活」を観察する。</p> <p>前期は「息子と恋人」を中心としてロレンスの生涯・著作物について言及した後、全19章に及ぶ「チャタレイ夫人の恋人」のストーリー内容を2章ずつ要約したレポートの提出を求めて、この小説の梗概を講義と平行して、学習する。前期末には当該作品に対する総合理解としてのレポートの提出がある。</p> <p>夏季休暇中に「息子と恋人」の梗概レポートの提出もある。</p> <p>後期は各章が全体の中でどのように絡み、どんな発展をするかという小説の構成と展開を講義し、各章に織りこまれていた思想——特に肉体による「復活」の契機とその過程を中心として——を膨大な量に及ぶ詩集・評論集・エッセイ・紀行文・書簡などを参照して、学習する。</p>
成績評価の方法	レポートによって評価する。講義中、随時求められるレポート等の評価も総合的に加味される。レポートの提出がない時は減点あるいは、単位不認定となる。
教科書	D. H. ロレンス著：伊藤整訳 「チャタレイ夫人の恋人」新潮文庫 ¥600 (各自で、身近かな書店で購入する)
参考書等	<p>① D. H. ロレンス著：吉田健一訳：「息子と恋人」(上，中，下)新潮文庫「復刻版」</p> <p>② 西村孝次著「ロレンスの世界」中公新書</p> <p>③ Penguin 版 D. H. Lawrence: Lady Chatterley's Lover</p>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (9) 〔外国文学「ロシア文学」〕	すき やま ひで こ 杉 山 秀 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

ロシア文学といえば、ドストエフスキー、トルストイの名前が日本人の頭にはすぐうかんでくると思います。そして、その印象は世界一重く、深刻な文学というのが一般的になっています。本講座では、世界一イデオロギー的な文学とされているその原因がどこにあるのか、みきわめたいと思います。またロシア文学の背景である、ロシアの夫々の時代精神とロシア人のもつ精神構造、その独特な歴史認識などを一つ一つの作品をとりあげながら、探っていききたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は一応講義形式をとりますが、諸君にも実際作品を読んでもらい、時間があればそれらの問題点をとりあげ、ディベートして貰います。各人の小論を授業の中で手短かにまとめてもらい、提出して貰うこともあります。また、L1L2教室にはいくつかの作品の映像ビデオや、生のロシア語による詩の朗読もありますので、時に諸君にみせたり、きいてもらったりします。

〈授業計画〉

前期：4月～7月

まず、19世紀ロシア文学の思想的バックボーンとなったチュルヌイシェフスキーの“何をなすべきか”やゲルツェンの“過去と思索”をとりあげ、ロシア文学を独特な文学に創造することのできた、根幹的な特色を探ってみます。更に次の諸作家の作品を検討しながらロシア文学の知識を深めたいと思います。

- 1) ドストエフスキー
- 2) トルストイ
- 3) ツルゲーネフ

後期：19世紀末から1917年のロシア革命期を経て、大祖国戦争時代に至る作家をとりあげ、ロシア革命の必然性とスターリン時代の政治的・文化的誤謬について言及していきます。

- とりあげる作家：
- 4) チェホフ
 - 5) ゴーリキイ
 - 6) ブルガーコフ
 - 7) プラトノフ
 - 8) シーモノフ

成績評価の方法

レポート、試験（小論文）出席により評価します。

成績評価の方法

なし。

参 考 書 等

その都度教室で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (10) 〔外国文学「中国文学」〕	た くま のぶ ゆき 田 熊 信 之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

中国の人々は、数千年にも及ぶ悠久な歴史の中から、音、義、形を兼備する“漢字”という特異な書写言語を生み育て、これを用いて、さまざまな表現世界を築き上げている。本講座は、この中国の表現世界すなわち中国文字の世界に近づき、親しみ、その実態を把握して、中国の言語、文学についての理解を深めようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の各個の作品（詩、詞、賦、辞、論、文、小説等々）を選読し、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れの中に、離合悲観の愛と哀しみの人間模様がどのように表白されて来るのか、また、卜辞、告誓、記事などに始源する中国の散文の流れの下に、会社生活を営む人間の心緒や思弁がどのように綴り述べられて来るのか、といった事柄を確かめながら、“漢字”“漢語”を通して形づくられている中国文学のあやどりの世界を眺望したい。なお、千数百年前漢字文化を接受して来た日本の姿にも注意を払い、中国文字の日本文学への影響などについても一瞥を試みたい。

履修上の留意点

中国の歴史や地理については、各自概説書や地図などを参看して、基礎知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

評価は、受講状況を重視しながら、レポート或いは試験を併せて、総合的に行う。

教 科 書

テキストにはプリントを用いる予定。参考書等については、授業時に説明、紹介する。

そ の 他

授業は、講義方式で行う。必要に応じて視聴覚機器（ビデオ、スライド等）も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (1) 〔日本中世史〕	あ わ の と し ゆき 栗 野 俊 之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

歴史学は、人間（人類）の歩みを具体的な流れのなかで研究する学問である。歴史は人間の活動によって展開するものである。それは、表面に現れる一部の人間だけではなく、その基礎となる多くの人々の生活の営みを背景として作り出されるものである。歴史上の出来事を、何故起こったのか、その背景と意味を研究し、またある時点の地域・社会の具体的な様相を研究するのが歴史学である。

講義の内容・授業スケジュール

日本史のなかで、中世から近世にかけての時代を主たる対象として講義する。はじめに、古代・中世・近世・近代・現代という流れを概観する。次いで、大名・領主・村落・農民の四つを基軸とし、中世から近世における出来事・地域・社会などの様々な問題や様相を考えたい。支配者と被支配者の関係はどのようなものであり、また支配者や被支配者のそれぞれの内部は、どのようなものであったかを現代的な問題と絡ませながらみていきたい。

履修上の留意点

受講者は、出席することが第一である。普段の講義を聞き、その内容を理解しなければ、結局授業を受けた意味がない。出席することが、最終的に受講者の利益となる。出席率の低い学生は試験の答案が書けないので、授業に出席しなければ、単位は認定されないと考えた方がよい。

成績評価の方法

成績評価は、年度末の定期試験を基本とする。これとともに、前期試験または夏期レポートの評価と出席を参考として単位を認定する。

教 科 書

教科書・参考書は特に指定しない。随時、授業の進行の中で提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(2) 〔中国古典考古学〕	茂 <small>も</small> 沢 <small>ざわ</small> 方 <small>みち</small> 尚 <small>なお</small>	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

最近の中国考古学のめざましい発掘報告はおびただしいものがあるだけにとどまらず、人類の歴史を再考せしめるような発見にみちている。それらの知見を無視することは学問にたずさわる者の良心が許さないであろう。

私は一介の中国古典学徒であるにすぎないが、その古典とは悠久なる中国の古代に花ひらいた諸子百家と後世呼称された人々の思想の歴史的な再考察を志す者にすぎない。その古典は、老子、孔子、莊子、列子、楊子、墨子、孫子、管子、申不害、慎到、商鞅、韓非子、等々、と多彩な人々の思想を歴史的に考察することになる。人間があらん限りの知恵をぶつけ合う、この錚々たる人々の織りなすドラマをとともに考え苦しむことは、我々が生きることを反省させる鏡たることに疑問の余地がない。その中国の古典を最近の考古学的発掘資料が、それを理解するために一助となる場合がある。伝来の中国学が要求する精緻精密な文献学に充分注意しながら、最新の考古学的発掘成果とを合致させるという神技に近いことに挑むこととする。

教科書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(3) 〔東洋古代史〕	茂 <small>も</small> 沢 <small>ざわ</small> 方 <small>みち</small> 尚 <small>なお</small>	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

ここに言う東洋は、かつて中国人が呼んだ東洋＝日本の意味ではない。既にそれは日本では広くかつ多様なアジアを意味することは言うまでもない。その多様なアジアの東に連綿と悠久なる歴史を有して、凄じい生命力を示す中国が存在する。

私はその中国の先秦時代、わけても春秋戦国時代について、なかでも、その時代に知恵のあらん限りを尽くして生きた人々に関して深い関心を抱いている。戦乱にあけくれる中国古代のそれらは華々しい思想家達の又活躍した時代であった。そういう人々を諸子百家と呼称するが、その後世に与えた影響は罔り知れない。これらは単に中国の独占するものではなく、広く諸外国でも研究されている。それらの辛苦にみちた諸成果に充分なる配慮をしつつ、私は天才と言われる法家の韓非子を中心にして、諸子百家を概観しつつその思想の根源に横わる思想、道家に挑んでみたいと思っている。

教科書

『「韓非子」の思想史的研究』(近代文藝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(4) 〔西洋近現代史〕	わた なべ ちか 渡 辺 知	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス近現代史からいくつかのトピックスを取り上げ、講義する。今のところ、イギリス革命、近代における「伝統」の創出、帝国の形成とイギリス社会への影響、イギリス近代国家の統合とスコットランド、ウェールズなどを取り上げる予定であるが、受講生の興味に従ったトピックも設定したい。過去の事実の確認にとどまらずそれがなぜおきたのか、また、過去の出来事が現在の社会といかに密接に結びついているのか、あるいは、現在の社会の動向が歴史研究にいか

成績評価の方法

前期、後期の末に各1回ずつ行う試験の総合評価とする。これらの答案には講義内容を反映させた上で受講生独自の意見が盛り込まれているのが望ましい。

教科書

青山吉信・今井宏編『新版概説イギリス史 伝統的理解をこえて』有斐閣選書、1991年(1,751円)

参考書等

講義の際に必要なに応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(5) 〔日本近世史〕	き つき てつ お 木 槻 哲 夫	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

一般に封建社会、幕藩体制とよばれている日本の前近代社会の後期を、主として文化史、社会経済史的な視点から概観したい。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史上の注目すべき事件、事項、人物等を取りあげて、その紹介と歴史的意義を論ずることによって、時代社会の具体像を明らかにすることにつとめたい。
主な問題としては、農民支配(制度)、農民の生活(生産、経済諸活動、村落・家族構成)、都市町人の形成、町人の生活と文化、武士・農工商の教養と文化・風俗、藩政と地方文化、天災・人災と農村の荒廃、等に関わるものを取りあげたい。

履修上の留意点

学生諸君は、各自がいだく関心、興味にしたがって問題をとりあげ、その理解を深めるべく、積極的に読書し、学習につとめてほしい。

成績評価の方法

年度末に試験(記述式)を行ない、問題点についての理解度、学習度によって評定する。

教科書

教科書は特定しない。

参考書等

日本史全時代にわたる簡明な概説書を常に参照しつつ、日本歴史上の近世、当面对象としている問題の近世史上での位置づけに留意しつつ授業に参加するようにしてほしい。歴史事典等も随時利用する必要がある。

理解をたすけるために必要な史資料はプリントして配布する予定である。

その他

講義形式によって授業を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (6) 〔日本近代史〕	たちかわ しょうじ 立 川 章 次	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

幕末維新の諸様相の中から、テーマをえらび講義する。必要な史料はプリントして、受講生と共に講読する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (1) 〔日本美術〕	なかしま りょういち 中 島 亮 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

「日本美術の深層を探る」をテーマに考える。各時代のきわ立った現象をとらえ、その思想性・芸術性を追求したい。そこには当然宗教性、民族性、政治性などさまざまな問題が含まれているはずであり、作品の表面的な理解にとどまらないよう留意し、芸術学的な思考力を身につけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

先ず「神道美術とは何か」。それは多神教的自然崇拝に端を発し、靈山信仰、神像、垂迹美術と発展したが、その背後にあるものを多角的な方法で解明したい。
次いで「仏教美術とは何か」。その原動力となった信仰思想を分類学に幾つかのパターンに整理し、それぞれの信仰と造形表現の深層をさぐる。
さらに「世俗美術とは何であったか」を近世・近代の作品から考える。

履修上の留意点

世界史年表、日本史年表（何れも吉川弘文館）を用意してほしい。

成績評価の方法

スライドを多用するので、テーマ毎に感想文をもとめる。それと小テストの成績などで総合評価する。

教 科 書

吉田光邦『日本美の探究』NHKブックス69 ￥850

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

スライドを多用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (2) 〔 西 洋 美 術 〕	矢 野 陽 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

芸術の観念は近代において成立したと考える見方があるが、芸術作品そのものは人類の歴史とともに古くから存在する。芸術は我々の社会のうちにあり、そのあり方は、宗教、政治、娯楽など生活と関わりあって存在している。したがって、我々は広い視野から芸術を考える必要がある。自分の好きな作品をただ眺めているだけでは、その理解は浅いものでしかない。作品を深く理解するためには、制作された時代の社会状況や表現の約束事や特徴などを知ることが必要である。この授業では、西洋美術の主要な流れをつかみ、さまざまな芸術の傾向を広く理解し、あわせて象徴や表現の意味、様式についても考察していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

時間的にも地理的にも広汎にわたる西洋美術のうち、この授業では主としてルネサンスから近代まで対象とする。しかし、西洋の美術を理解するうえでは古典古代、すなわちギリシャ、ローマの知識は必須であるので、最初に序論として古代から始まる全体の流れを概観するつもりである。スケジュールとしては、前期は主として16・17世紀の美術を、後期は18・19世紀の美術を扱う予定である。

成績評価の方法

成績は試験によって評価する。

教 科 書

教科書として、監修・高階秀爾「カラー版西洋美術史」美術出版社 1990年（1,900円）を使用する。

参 考 書 等

参考図書は授業中、適宜紹介する。

そ の 他

授業では、毎回スライドを使用して、具体的に作品を見ながら講義を進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 術 学 (3) 〔 音 楽 〕	あか ば ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	全学科・短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教 科 書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）¥2,700

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (1), (2), (3) 〔西洋思想の源流〕	寺田 誠一・久保 陽一 中村友太郎	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

主に西洋思想の源流であるヘレニズムとヘブライズムをその哲学的原理に関して学ぶ。紀元前6世紀頃に登場した古代ギリシア哲学では概して人間と神々とは「自然」に包摂されて共存調和するものとして、また「自然」は永遠に回帰するものとして捉えられていたのに対し、ユダヤ教を母体にして1世紀頃に成立したキリスト教では人間と自然は主なる「神」の意志に服すべきものであり、創造と終末によって限られた歴史意識のうちで捉えられる等、両思潮には互いに異なる考え方が含まれていた。だが中世以後近現代にいたる西洋思想の歴史は、両者の総合や対立あるいは復活によって展開されてきたと見ることができ、両者は文字どおり西洋思想の源流をなしている。しかも近現代の西洋思想が今日の文明世界を規定しているという側面は含めない事実であるから、両思潮を学ぶことによって、同時に我々が現代に生きていく上でなにかし示唆を得ることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、以下の内容を順次取り上げる。
- ① 古代ギリシア哲学——ソクラテス以前の哲学、ソクラテス・プラトン・アリストテレス、古代末期の人生論
 - ② キリスト教思想——ユダヤ教とキリスト教、教父哲学とスコラ哲学
 - ③ 古代ギリシア哲学およびキリスト教思想の近現代における影響史

履修上の留意点

哲学や宗教だけでなく、文学（例えばギリシア悲劇）等にも親しむようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (4), (5), (6) 〔近代の人間観と世界観〕	国嶋 一則・戸田 洋樹 坂本 清子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

私たちはそれぞれ自分なりの人間観・世界観に従って生きているといえるが、日常生活のなかでは、それを表立って吟味してみることはまれであり、ましてや、その背景について明確な認識を得ようとするのは、ほとんどない。

しかし、その背景を探ってみると、それが近代ヨーロッパ的な色彩を帯びていることもあり、また、昨今話題にのぼる諸問題——例えば生命倫理の問題、環境問題等——も、近代ヨーロッパの人間観・世界観との対決に関するものであることが意外に多い。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義は、近代ヨーロッパの人間観・世界観を中心として、以下の順で概観する。
- ①. 古代から中世へ ②. ルネサンス期 ③. 17世紀 ④. 啓蒙期
 - ⑤. 18世紀から19世紀へ ⑥. 20世紀（現代）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

教科書は開講時に指定する。

参 考 書 等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (7), (8), (9) 〔現代文明と人間〕	くほ よういち まるやま とよき 久保 陽一・丸山 豊樹 おおいし きいちろう 大石 紀一郎	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

主に19～20世紀の現代哲学を学び、それを通して現代文明の中で人間が直面している諸問題の解決の手掛りを得ることをめざす。近代の科学革命や啓蒙主義によって鼓舞された人類の進歩や科学技術への信頼は、今日、自然環境の破壊、日常生活の均質化や匿名化、次世代にも及ぶ生命倫理の問題、民族や宗教の対立など、新たに生じた諸問題のために、色褪せ疑わしくなってきた。しかしこれらの問題の解決のために、近代の科学技術や啓蒙主義の達成をすべて放棄することもできない。そこでこれらの問題に正しく対処するためには、問題のよって来たる所以が何であるかを明らかにし、様々な解決の処方箋を原理的および具体的に検討することが必要と思われる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、19～20世紀の諸哲学を中心に、以下のような内容を取り上げる。
①、近代化とは何か。
②、ドイツ観念論、マルクス主義、生の哲学と実存主義、プラグマティズム、分析哲学、現象学と解釈学等。
③、生命倫理、言語、身体等。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等によって評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (1), (2), (6), (8) 〔科学方法論と現代論理学〕	おおいし きいちろう てら だ せいいち 大石 紀一郎・寺田 誠一 まるやま とよき こみやま たかし 丸山 豊樹・小宮山 隆	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことによどのような意義があるかを考えていく。
記号論理では、論理計算のたぐいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は、開講時に指示する。

参考書等

参考書等は、講義の際に、その都度紹介する。

その他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 (3), (4), (5), (7) 〔科学方法論と現代論理学〕	坂本清子・伊古田理 戸田洋樹・山口祐弘	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

論理学は、広義には、形式論理学と科学方法論（帰納法を含む）との二つを含むが、ここでは主として形式論理学の基本について講述する。ここで形式論理学というのは、正しい思考の法則の体系（公理体系）のことであり、アリストテレスがまとめて、ほぼ18世紀に至るまで支配的であった伝統的論理学と現代の数学的論理学の二つを含んでいる。

本講義のねらいは、科学的に正しく考えるための条件の一つとしての、論理的思考を身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、①伝統的論理学、①概念論、②命題論、③推理論
②記号論理学、①命題論理、②述語論理の順で講述する。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、授業時の小テスト等で評価する。

教科書

テキストは開講時に指定する。

参考書等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 (1) 〔科学と技術〕	山本敦之	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

科学と技術は車の両輪にたとえられ、一方が他方をたえず刺激、触発しあいながら、「進歩」を推し進めてきた。だが、理論的には早くから知られていながら、なかなか技術に転用されない場合がある一方で、技術の急速な進歩の後を理論がたえず追いつける場合もある。

こうした様々なケースを具体例に即して検討するなかで、科学と技術さらには科学・技術と社会の関係の在り方について考えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

さしあたり検討材料は歴史のなかに求めてゆくが、現代の様々な「夢の技術」も考察の対象としたい。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

講義が中心になるが、必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
科 学 史 (2) 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

「図解・科学の歴史」八杉龍一（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等を持ちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (1), (2) 〔人 間 観 〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実なとか、理性的などいわれる「生き方」を探求する哲学である。

われわれが自己の「生き方」を決めるためには、自己の人生観をたてなければならない。人生観とは、この世における人生とは何かについての考えである。したがって、人生観の基礎には、人生を営む主体としての「人間とは何か」という人間観がある。

われわれは、人間自身をいかに考えるかという人間観を確立することによって、自己の正しい「生き方」を決めることができる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、哲学の考え方の学習に重点をおく。後期は、人間観の歴史的変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (3) 〔 価 値 観 〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を求める哲学である。われわれが自己の生き方を求めるということは、自己が生きてゆくための支えを求めることにほかならない。

「支え」となるものは、生きてゆくのに頼りとなり、生き甲斐となるような価値のあるものである。このような価値は、生きる目標ないし目的となるものであって、生きることを意味あらしめるものである。したがって価値を見誤ると、われわれは正しい価値観をもつことができず、また人生観にも誤りを生ずる。なぜなら、価値観に基づく生き方が人生観だからである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、価値の構造を考察する。
後期は、価値観の歴史の変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (4) 〔 自 由 論 〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を探求する哲学である。われわれ人間は、意志の自由をもち、その自由によってみずからの行為の選択をしてゆかなければならない。すなわち、われわれは自己の意志によって行為を選択する自由をもつのである。自由は、行為の主体たる人格を担うところの価値を可能ならしめる制約として、倫理学の根本概念をなしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、自由の語義を考察する。
後期は、近代において、自由が自由主義として展開した過程を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	くほ よう いち 久保 陽 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

現代における「倫理」の意味を制度や組織との関連で考察する。今日人々は戦前の家父長制や封建主義的人間関係のしがらみから解放され自由になりはしたが、その自由は、何をしても構わないというエゴイズムに類落し、それ故種々の無用な抗争を生ぜしめる可能性も持っている。いかに人間が自由になろうとも、社会生活が存立し続ける以上、例えば学校や企業などの組織の中で、他者との相互依存関係を拒むことはできない。つまり個人の権利と社会的規制との調和をどのように図るか、個人にどのようなモラルが組織の中で要求されるのか、更にそのような法や道徳は人生の根源的問題との連関でどのように基礎づけられるのかが、あらためて問われているように思われる。この問題を原理的に考察するために、主に近現代の倫理学説を学び、検討することにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では次のような項目を取り上げる。
- ② 社会契約思想とその問題点 —— ホブズ・ロック、ルソー・ヘーゲル・マルクス、日本国憲法、ロールズ等。
 - ③ 道徳の原理、法と道徳の関係 —— 快楽主義・功利主義、理性主義、カント、ヘーゲル。
 - ④ 人生論 —— パスカル、ハイデガー等。

履修上の留意点

講義ノートをよく取ること、分からない点は質問すること、一年間で最少とも一冊古典的書物を読むようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

教科書は開講時に指定する。

参考書等

参考書等は授業中その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

“人間いかに生きべきか”という、言わば永遠の課題を、東洋の先哲がいかに説示したかを解説し、受講生の人生観・世界観の形成に資せんとするものである。東洋の文化圏は古代においてインド、中国がそれぞれ独自に形成された。本講義においてはインド、中国、日本の三領域にわたって考察する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに倫理の意味、東洋倫理学の地理的領域等について講義する。ついで、1) インド倫理の特徴、古代インド、仏教の成立、大乘仏教、仏教の戒律、法典の編纂等についての概説、2) 中国について、その特色を述べ、春秋戦国期の諸子百家、特に儒家・道家の後世への影響、仏教伝来等の概要、3) 日本固有の自然観、人間観、外来思想（文化）としての儒学、仏教の受容等について講義する。特に、インドに成立した仏教の教えが、中国社会に、そして日本社会に受容され定着してきた点に注目しながら講義をすすめていく。

履修上の留意点

まず受講すること、そしてノートを取り、反復して読み、整理しておくこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験の成果と受講の度合い（出欠）によって行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (1) 〔比較宗教文化〕	まつ だ ぶん ゆう 松 田 文 雄	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

世界にはさまざまな宗教が成立している。これらの宗教を研究するには、自ずとその研究方法があみだされてくる。それは価値中立的にみる立場である。この立場でさまざまな宗教現象を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

凡そ次の順序で講義をすすめていく。
1) 宗教現象の諸相, 宗教の研究手法, 宗教の類型, 民族宗教とその特徴, 世界宗教とその特徴。
2) 聖典, 戒律, 修行, 儀礼等 3) 世界三大宗教 (仏教, キリスト教, イスラーム) の伝播とその文化圏。

履修上の留意点

受講し、ノートをとること。

成績評価の方法

定期試験と受講の状況 (出欠) によって評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (2) 〔聖 と 俗 〕	さ さ き こう かん 佐 々 木 宏 幹	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

われわれの生活は、「きれい」と「きたない」、「よい」と「わるい」、「おいしい」と「まずい」などの類別基準を利用することによって営まれている。「聖」と「俗」の類別も同様に宗教と非宗教の差異を示す用語として用いられてきた。

現象を区分・類別することは文化の基本とされるが、いったい物事を分けるとはどういうことであろうか。「聖」は宗教、「俗」はそうでないものと簡単に区分して済まされるのだろうか。簡単に済まされないのだとすれば、どのような問題が存在するのであろうか。この講義では宗教とは何かという問題を人間の他の営為とたえず比較しながら考察し、終局的には人間とは何かの問題の追求に結びつけていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような内容を構想している。
1. 身分けと言分け, 2. 人間は混沌に耐えられない, 3. 分類と文化, 4. ラベリング (labelling) の問題, 5. 聖と俗の理論, 6. スティグマ (stigma) とは何か, 7. 世界観とは何か, 7. 宗教と民族, 8. 宗教における平等と差別, 9. 日本宗教における聖と俗 10. 仏教とキリスト教。

履修上の留意点

ときどき出席をとり、評価の参考にする。講義中にあるテーマについて話し合いをし、学生が総括し、私がコメントする方法を考えている。

成績評価の方法

講義の内容にそったテーマを選び、レポートを作製する。400字詰原稿用紙5～8枚程度 (参考文献明記のこと)。

教 科 書

佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

ときにスライド、ビデオ使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	さ とう のり あき 佐 藤 憲 昭	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。仏教・キリスト教などの成立宗教から、日常生活の中で展開している民俗宗教にいたるまで、およそ宗教と呼ばれる文化現象には、思想と儀礼の双方が具えられているのが普通である。もちろん、その思想や儀礼は、すこぶる洗練されている場合もあれば、きわめて素朴な場合もあるなど、さまざまである。そのいずれであれ、思想を行為化した営為が儀礼であることに変わりはない。この講座では、思想と儀礼との諸関係を通して、宗教文化に接近することを目指している。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の成立史、構成内容、方法、などについて具体的に解説をした後に、儀礼の研究史を紹介しながら、思想と儀礼との諸関係について、内外のさまざまな事例を取り上げて考察する。つぎに、成立宗教としての仏教の儀礼と、民俗宗教としてのシャーマニズムの儀礼とをそれぞれ取り上げて比較分析し、思想がどのように行為化されているかについて突っ込んで考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席点を考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『仏（ホトケ）と霊（タマ）の人類学』春秋社
佐々木宏幹『シャーマニズムの世界』講談社（学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1), (2) 〔風土と文化〕	や の よう こ 矢 野 陽 子	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

地誌的見地から日本の風土と文化とのかかわりを考え、各自の郷土の自然と文化に対する認識を深めたい。

「風土とは何か」風土についての問題は地理学以外の各分野、例えば哲学、思想比較文化などでも扱われている。

本講では、それぞれの風土と一体化された人間生活についてとりあげ、人類の文化の歴史と風土との関係を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

つねに問題意識をもって受講されたい。

成績評価の方法

前期は主としてレポート提出を行ない、後期の試験で評価する。
前期はレポート提出、後期は試験を行なうことにより評価する。

教科書

藤岡謙二郎その他共著・「日本地誌」大明堂 2,900円
中村和郎・高橋伸夫編・「地理学への招待」古今書院 2,500円

参考書等

開講時に指示する。

その他

受講時に地図帳を用意することが望ましい。（高校の時の地図帳でよい）

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	た だ と う い 多 田 統 一	全学科・短国・短英	4

講義のねらい

人文地理学は、地表に存在する人文事象を対象に、それを地域的な視角から研究する学問である。すなわち、日本および世界の人口、集落、農牧業、工業、商業、交通、文化などの諸問題を、地域論や機能論、立地論などの視角からとらえる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の①～⑧の内容を中心に授業を進める。
- ① 地理学の発達と人文地理学の課題
 - ② 人口（分布、構成、移動）
 - ③ 集落（機能、立地、形態、圏、計画）
 - ④ 農牧業（立地、地域区分、産地形成）
 - ⑤ 工業（分布、立地、集積、地域分業）
 - ⑥ 商業（立地、圏、行動空間）
 - ⑦ 交通（流、圏、網）
 - ⑧ 文化（圏、伝播、変容）

履修上の留意点

地図や地図帳を積極的に活用してもらいたい。
世界や日本の地域の動向に興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの内容によって評価をおこなう。

教科書

横田忠夫『新地理学考』, 大明堂, 2,200円

参考書等

その都度紹介する。

その他

- ① 授業の方法
講義を中心に進める。教科書のほか、プリントにより人文地理学の最近の研究成果についても紹介する。時事問題を適宜とり入れ、世界や日本の動向を地域的な視点から解説する。
- ② 地域調査
可能ならば、野外調査を実施したい。そうでなければ、文献調査によって地域の成り立ちや性格を調べる方法を習得させたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間（前期）	つ の だ たい りょう 角 田 泰 隆	短 放	2

講義のねらい

仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説したい。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を順次取りあげ、これらと関係させながら進めてゆきたい。

履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

なし。

参考書等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕 (前期), (後期)	すず ぎ かく ぜん 鈴 木 格 禪	短 放	(半期) 2

講義のねらい

自己存在の意義や、人間の「生き方」等を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

履修上の留意点

静粛を旨とし、授業中の入退場、雑談、および、授業に無関係な所作のすべてを厳重に禁止する。

成績評価の方法

筆記試験と平常点（出席率・受講態度）による。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社 2,370円）

参 考 書 等

必要に応じて適宜に指示する。

そ の 他

授業は専ら講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕 (前期), (後期)	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	短 放	(半期) 2

講義のねらい

人類史で宗教文化を持たなかった民族はないとされる。このことは人間や文化を考える上で非常に重い意味をもつのではなかろうか。

さて一口に宗教文化といってもこれは実に様々な要素から成り立っていることがわかる。そしてこれらを整理しどう考えるかについても多くの課題があるのである。

そこでこの「宗教現象」と「宗教学」との関係に注目し、その理論的枠組みを学んでみよう。なぜなら多くの宗教現象の理論的整理には、もっとも有効な枠組みの提示があったからである。

歴史を通じて日本列島には「民俗宗教」が定着した。そして外来宗教であり世界宗教である仏教・キリスト教が伝来したが、実態は日本の仏教であり、キリスト教として定着したのである。このような定着の仕方は、例えば「本地垂迹説」にみられるように「神仏混交」として古くから成立してきたと思われる。こうした現象は、宗教学では「宗教複合」、「シンクレティズム」と呼ばれる。ある宗教学者はこの現象を日本的な特色とみなし、まさに世界の宗教の実験の坩堝であるとするのである。恐らくこうした日本の特色は民俗宗教の性格によるものであろう。

本講では日本人のくらしの中の宗教的行動を通して、そこに見られる宗教的意味について考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず宗教現象と宗教学の関係に注目し宗教理解の理論的枠組みについて学ぶ。次に宗教と文化の関係について考えてみる。例えば仏教はインドで成立し、中国を経て日本に伝来した。それぞれインド仏教・中国仏教・日本仏教として成立した。つまり日本人のくらしを通じてみられる仏教のことである。

履修上の留意点

日頃とかく無関心になりがちと思われるが、自分のこととしても重要な問題なのではないだろうか。

成績評価の方法

期末試験で評価。

教 科 書

テキスト 佐々木宏幹著『聖と呪力』青弓社 2,060円

参 考 書 等

参考書は講義の進行と共に指示。

教 養 教 育 科 目
社 会 分 野

教 養 教 育 科 目

社 会 分 野

社 会 学 (1) [現代社会を考える]	(呉 炳 三)	61
社 会 学 (2) [現代社会を考える]	(橋 爪 敏)	61
社 会 学 (3) [現代文化を考える]	(橋 爪 敏)	62
社 会 学 (4) [現代文化を考える]	(呉 炳 三)	62
社 会 学 (5) [社会生活を考える]	(岩 上 真 珠)	63
社 会 学 (6) [社会生活を考える]	(橋 爪 敏)	63
統 計 学 (1) [社会現象の統計的分析]	(稲 葉 敏 夫)	64
統 計 学 (2) [社会現象の統計的決定]	(日 下 泰 夫)	64
文化人類学 (1) [文化と人間]	(佐 藤 憲 昭)	65
文化人類学 (2), (3) [文化と人間]	(藤 崎 康 彦)	65
文化人類学 (4) [諸民族とコスモロジー]	(加 治 明)	66
文化人類学 (5), (6) [諸民族とコスモロジー]	(村 武 慶)	67
文化人類学 (7) [社会変化と価値観]	(小 川 順 敬)	68
文化人類学 (8), (9) [社会変化と価値観]	(内 山 明 子)	69
法学・憲法 (1) [法と社会生活]	(長谷川 日出世)	69
法学・憲法 (2), (3) [法と社会生活]	(和 知 恵 一)	70
法学・憲法 (4) [法と社会生活]	(鷄 徳 啓 登)	70
法学・憲法 (5), (6) [法と権利]	(和 知 恵 一)	71
法学・憲法 (7), (11) [法と権利]	(茂 野 隆 晴)	72
法学・憲法 (12) [法と権利]	(光 田 督 良)	73
法学・憲法 (8) [法と国家]	(新 田 浩 司)	74
法学・憲法 (9) [法と国家]	(齋 藤 洋)	74
法学・憲法 (10) [法と国家]	(織 田 晃 子)	75
政 治 学 (1) [社会生活とデモクラシー]	(小 林 正 敏)	75
政 治 学 (2) [政治システムと政治参加]	(上 條 末 夫)	76
政 治 学 (3) [国際社会と日本]	(浦 田 早 苗)	77
経 済 学 (1) [現代社会と市場経済]	(浅 田 統 一 郎)	77
経 済 学 (2) [現代経済と人間]	(松 井 柳 平)	78
経 済 学 (3), (4) [現代経済理解へのガイド]	(小 野 俊 夫)	79
社会科学論 [社会認識の思想]	(大 石 雄 爾)	80
教 育 学 [デス・エデュケーション]	(柳 堀 素 雅 子)	81
教 育 心 理 [大学生の心理 — 教育臨床心理学の立場から —]	(北 島 步 美)	81
社 会 学 (前期)	(橋 爪 敏)	82
法 学 (後期)	(織 田 晃 子)	82
心 理 学 (前期)	(板 津 裕 己)	83

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (1) 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 三	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

現代社会の中で、実際社会生活を行なっていく時に発生する社会問題は何か？ 混迷した現代社会の特徴的な問題を以下のような角度から考察してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①バブル時代に高まった企業批判への対応や、プラザ合意を受けた日本企業の海外投資、企業活動のグローバル化にともない、企業の「社会貢献活動」が活発になってきている。市民のボランティア活動を視野におさめながら、その今後の見通しについて概観する。
- ②現代社会の変化により、家族の形態の変化や、少子化、高齢化など現代の家族の諸問題を問い直してみる。
- ③近代、高齢化の進展により、高福祉、高学歴社会という観点から「福祉」と「教育」を取り上げ、そこに生じる諸問題を巡っていく。
- ④消費社会、現代人の様々な消費行動をとり上げ、余暇、流行などについて問う。

履修上の留意点

開講時に留意点として述べる。

成績評価の方法

未定。

教科書

使用しない。

参考書等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)
倉沢進・川本勝編『社会学への招待』(ミネルヴァ書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (2) 〔現代社会を考える〕	はし 橋 つめ さとし 敏	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社

参考書等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (3) 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』 学文社

参 考 書 等

安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』 学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』 犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』 講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (4) 〔現代文化を考える〕	お 呉 びよん さん 呉 炳 三	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

現代日本の根底に潜む主要な問題の一つとしてジェンダー、すなわち社会的な性別があげられる。本講義のねらいは、ジェンダーという視点から現代日本社会における男女関係を描出し、文化の次元において生成されるそのジェンダーが、いかに実際的な社会生活、または他の文化領域に影響を及ぼしていくかを概観することにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の手順によって進められる。第一にジェンダーという主要概念を、主としてフェミニズム理論に依拠して明示化していくこと。第二に、ジェンダーが 社会生活、他の文化領域と関連する場、すなわち、職場、家庭、宗教生活、恋愛等において顕現する男性観・女性観を詳細に書き出していくこと。そして最後に、現代日本社会に文化として存在するジェンダーを、他の文化との比較によって特徴づけていくことである。

履修上の留意点

開講時に留意点として述べる。

成績評価の方法

未定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の開始時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (5) 〔社会生活を考える〕	岩上真珠 <small>いわかみまみ</small>	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

社会学は、人間の行動を社会との関連で理解する学問である。「人間行動を通して社会を見通す」と言い替えてもよい。

個人は特定の社会に生まれ、社会の一員としてさまざまな社会現象に遭遇する。講義では、誕生から始まり、子ども期、青年期、成人期、老年期を経て死に至る個人のライフコースをたて軸にして、現代社会の中で個人が会う主要な社会現象との関わりを通じて、同時代のわれわれをとりまく生活世界の理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下のスケジュールにしたがって進めるつもりである。

(前期)

1. 現代社会と個人のライフコース
2. 誕生の意味
3. 子どもの社会化と定家家族
4. 学校－仲間、競争、組織、高学歴化
5. 青年期－青年の意味、大人になる意味

(後期)

6. 産業社会と職業
7. 結婚と家族の形成
8. 中年期－子どもの独立、定年と老後の準備
9. 高齢化社会の構造と老年期のあり方
10. 死への準備

成績評価の方法

評価は、前期および後期の試験と平素の学習態度で行う。

教科書

高島・岩上・石川共著、『生活世界を旅する－ライフコースと現代社会－』、福村出版、¥2,400

参考書等

随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (6) 〔社会生活を考える〕	橋爪敏 <small>はしづめ</small>	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「社会生活」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「社会生活」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「社会生活」の諸問題－社会的人間、つまり、社会によって形成され、また社会を形成していく存在としての人間。このような人間（個人）の成長と社会生活とは密接不可分に関わる。この関わりの諸問題を考えることにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社

参考書等

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』学文社
安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』学文社
高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫
その他授業中に適宜指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (1) 〔社会現象の統計的分析〕	いな ば とし お 稲 葉 敏 夫	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

成績はテストによって評価する。

教 科 書

「経済・商系基礎統計」 稲葉三男・敏夫・和夫 共著 (共立出版) 1,800円

そ の 他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統 計 学 (2) 〔社会現象の統計的決定〕	く さ か や す お 日 下 泰 夫	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

統計学は、観測値(バラツキをもったデータ)から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 統計的方法の本質, 2. 記述統計, 3. 標本空間と確率, 4. 確率変数と確率分布, 6. 母集団と標本, 7. 推定, 8. 検定, 9. 相関, 10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。試験直前の暗記は通用しませんので、講義に出席し確実に理解していくことが大切です。連続して欠席し講義内容が分からなくなり、途中で脱落することのないように留意して下さい。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習内容を加味して評価します。

教 科 書

P.G.ホーエル(浅井 晃, 村上正康 共訳)「初等統計学」(培風館) ¥1,530

参 考 書 等

開講時に紹介します。

そ の 他

受講人数は60人に制限させていただきます。重要な部分はその講義の終了時に個別に演習を実施しますが、全講義の終了時(12月頃)に3~4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した内容の典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。試験はこれらの問題をフォローしていれば出来るような問題を出題する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	さとうのりあき 佐藤 憲 昭	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術、宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教科書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣Sシリーズ） 有斐閣

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 (2), (3) 〔文化と人間〕	ふじさきやすひこ 藤 崎 康 彦	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものである。文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりで見ると考える時間も適当に組み込むことを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- 次の項目について講義をする。
1. 文化の概念、文化の生物学的基礎
 2. 言語とコミュニケーション
 3. 家族・親族・婚姻
 4. 妖術・呪術・シャーマニズム
 5. 心理人類学
 6. 経済の技術・生活の技術
 7. 法と政治の人類学
 8. 日本の民俗文化再考
 9. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

学年末の定期試験で成績評価を行う。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門—増補改訂版—』中央公論社（中公新書）¥800 程度
値段と内容のバランスから上記を教科書とするが、毎回補充のプリントを用意する。

参考書等

全般に渡る概説的な参考書としては、シュルツ、ラベンダ共著『文化人類学Ⅰ、Ⅱ』古今書院、P. K. ボック『文化人類学Ⅰ～Ⅳ』講談社学術文庫がある。どちらも情報量が多くすすめる。後者は考え方が特徴があり良い。トピックごとの参考文献はプリントで紹介する。

その他

できるだけVTRを使って講義をしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (4) 〔諸民族とコスモロジー〕	か し あきら 加 治 明	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

人類は地球上の殆んどあらゆる地域に居住し、経済活動を初め種々の活動に従事し、生活を営んでいる。その際、重要なことは人類が世界の各地に集団（民族・国家等）を形成し、各個人はその集団の中で協力しあい、生活を送ってきたことである。この講義ではそのような人類の諸集団とくに諸民族の社会を中心に人類の生活を文化人類学の立場から考察する。そして本講義の副題のコスモロジー（宇宙論）に示されるように諸民族の宗教生活とか世界観に重点が置かれている。

そこで本講義が拠って立つ学問的な立場すなわち文化人類学について説明してみたい。文化人類学は人類の文化を研究する学問であり、その際の文化とは学問・芸術のような高いレベルのものばかりでなく、いわば人類の生活様式を意味し、具体的には衣食住の仕方、経済・社会・宗教など多方面にわたる制度・慣習や道徳・人生観・超自然観・宗教的行為などを指している。文化人類学はまた文明民族よりも未開民族（無文学民族）の文化の探究に力を入れ、現地調査に基づきながら研究を進めてきたが、このことがこの学問の重要な特色の1つとなっている。ただし今日では未開民族から文明民族へとその研究領域を拡げつつあることにも注目せねばならない。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の項目は以下の順となる。

- 1) 文化人類学とは何か
- 2) 文化の定義
- 3) 人種と民族
- 4) 経済生活
- 5) 社会組織（婚姻・家族・親族・地域集団）
- 6) 宗教と呪術
- 7) 宗教の諸形態
- 8) 儀礼
- 9) 神話
- 10) 共同体とコスモロジー

等である。

履修上の留意点

講義には毎回出席し文化人類学の考え方などを理解し慣れていくことが大切である。

成績評価の方法

出席を重視し、出席点、レポート（夏休みに課す）、試験の成績をもとに評価する。

教 科 書

教科書は用いない。講義はプリントを配布して進めていく。

参 考 書 等

参考書については講義の中で指示したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (5), (6) 〔諸民族とコスモロジー〕	むら たけ けい 村 武 慶	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

文化あるいは社会を、コスモロジー（宇宙論）との関連で、全体的にとらえる。従来コスモロジーの研究は、儀礼・神話などを個々に分析する傾向にあったが、コスモロジーとは、家族・親族・共同体なども含めて、文化あるいは社会の全体と深くかかわっていることを理解してもらいたい。そのために、諸民族のいくつかの事例をあげて説明していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

I 文化のとらえ方

- ① 文化を比較することの意味
19C 進化論者の文化比較論
- ② 20C 現代文化人類学の文化のとらえ方
 - B. マリノフスキー 機能主義
 - A. R. ラドクリフ＝ブラウン 社会構造との関連
 - C. レヴィ＝ストロース 解釈学的構造論
 - E. リーチ 文化の中における分類体系

II 民族（文化）とコスモロジーの諸相

- ① 家族や婚姻とからんだコスモロジー
母方交叉イトコ婚とコスモロジーについて、トバ＝バタック族やブルム族など。
- ② 地域的的双分組織にもとづくコスモロジー
- ③ 山と海のコスモロジー
- ④ 魚と布のコスモロジー
- ⑤ 死のコスモロジー

III アフリカにおけるコスモロジー

IV 沖縄文化の事例

履修上の留意点

毎回出席をとることはしないが、教科書通りに進む授業とは違うので授業に出席することが必要。ビデオ・スライドも使用したい。試験は期末試験の他に、授業中に小テストの型で問題を出す。

参 考 書 等

『宗教人類学』佐々木宏幹・村武精一編，新曜社，2,266円
『文化人類学』佐々木・村武編，有斐閣Sシリーズ，1,545円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (7) 〔社会変化と価値観〕	お 小 川 とし 順 あ が わ と し ゆ き 敬	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちににとっては一見奇妙に思えてしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、研究方法も多岐にわたっています。1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そこで、この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

文化人類学は、異文化社会を調査の対象としてきましたが、これまで「異文化社会」というのは非西欧世界の伝統社会を意味していました。それらの社会は15、16世紀の大航海時代以降「発見」された「異なる文化をもつ社会」であり、その時以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。すなわち、「植民地主義」や「開発」によって絶え間なくこれらの社会は変化し続けているのです。

文化人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたといえます。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システム導入、新しい宗教、新たな価値観の変化が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。

この講義では、文化人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、変容という角度から紹介していきたいと思います。伝統的な社会組織、親族組織、経済システムと近代化がもたらした社会変化、キリスト教など外来宗教がもたらした伝統社会の価値観の変容、そして人類学者自身がこれらの問題をどの様に認識し、問題としてきたのかについて考えてみたいと思います。

前期の講義では文化人類学の一般的な概説と、後期の授業に必要な基本的な概念を解説します。後期は具体的な事例を通して「社会変化と価値観」について考えていきたいと思っています。

なお教科書は下記のものを使用します。しかし、最近は様々な工夫をした教科書や、文庫等の安価な文化人類学関係の出版物も出されていますので、何冊か紹介したいと思います。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出(夏期休暇明け)と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』 中公新書560番 800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 (8), (9) 〔社会変化と価値観〕	うちやま あきこ 内山明子	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、どんな異質にみえる文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西洋の文化の中で生まれ育ったものであり、その当初から、西洋化された側に立つ者たちが主体となり、それ以外の人々を調査し理解する、という構図をもっていました。しかし、西洋化の波が世界中に生き渡った今日では、その影響を受けない社会など存在せず、社会は大きく変動しています。本講義では、具体的な例をあげながら文化人類学が変化の問題にどう取り組んでいるかを紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

I. 文化人類学の基本的な考え方を紹介したあと、社会、文化を安定したものと想定して行われる構造・機能分析に触れる II. 変化のプロセス、人々の歴史認識、文献資料や歴史学との関連について触れる III. 非西洋社会が西洋社会に取り込まれる中で起きた変化（千年王国運動など）を紹介し、また民族と国家の問題に言及する。

成績評価の方法

終講期に行う筆記試験の成績を中心に、レポートなどを加味する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (1) 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何かかの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

特になし

参考書等

「ポケット六法」 有斐閣

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (2), (3) 〔法と社会生活〕	わ ち けい い 和 知 恵 一	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

なぜ教養として法を学ぶべきなのか？それは、我々が日常社会生活を送る上でまさに必要不可欠の存在であるからだ。しかし、日頃それを認識することがなければ、さまざまな法的問題に直面して初めて法が存在を認識し、慌てふためくことになってしまう。例えば、街頭セールスにつかまって、高額な英会話の教材を買わされたり、2年契約で入居したはずのアパートを半年で追い出されそうになったりと、苦い経験を持つ学生も多いのである。その場になって慌てることの無いよう、この授業を通して法とは何か、法によってどう我々の生活は守られているのかを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「法の目的」・「法の分類」・「法の解釈」・「法と裁判」などを中心に、後期は「財産と法」・「犯罪と法」・「家族生活と法」などを中心に、教科書の項目（章）ごとに2～3週間単位で講義を進める。

履修上の留意点

毎時限、具体的な事例を挙げて講義をする。その際、理解を深め全員が授業に参加していることを実感してもらうために、何度も質問をし、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいると言うだけでは、出席したとは認めないし、一緒に授業を作っていくと言う真剣な態度の無い者は受講を認めない。

成績評価の方法

出席は、重視する。原則として、欠席は認めない。ただし、全回出席したから単位が与えられるということはない。成績は、期末に行なう試験によって評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）・『ポケット六法』（有斐閣）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (4) 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、法の根本的理念・法の目的などを研究する。また、憲法は、国家の基本法として他の法令の根幹をなすもので非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至り、国内的・国内的に社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。

本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出せるようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は、次の内容を中心として行う。

i 社会生活と法 ii 法の意義・効力 iii 法規範と他の社会規範との差異
iv 法の分類と解釈の方法 v 市民法の概論 vi 刑事法の概論 vii 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

i 憲法の意義 ii 憲法の種類 iii 明治憲法の原則と特質 iv 現憲法の原則
v 基本的人権の主体 vi 基本的人権の分類 vii 各種基本的人権の内容
viii 国会の仕組とその作用 ix 行政機関の仕組とその作用 x 裁判所の仕組とその作用

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村 格編著『法学・憲法』 八千代出版株式会社 3,500円
小六法 出版社・定価各種

参考書等

教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (5), (6) 〔法と権利〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

なぜ教養として法を学ぶべきなのか？それは、我々が日常社会生活を送る上でまさに必要不可欠の存在であるからだ。しかし、日頃それを認識することがなければ、さまざまな法的問題に直面して初めて法が存在を認識し、慌てふためくことになってしまう。例えば、街頭セールスにつかまって、高額な英会話の教材を買わされたり、2年契約で入居したはずのアパートを半年で追い出されそうになったりと、苦い経験を持つ学生も多いのである。その場になって慌てることの無いよう、この授業を通して法とは何か、法によってどう我々の生活は守られているのかを理解してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は「法の目的」・「法の分類」・「法の解釈」・「法と裁判」などを中心に、後期は「財産と法」・「犯罪と法」・「家族生活と法」などを中心に、教科書の項目(章)ごとに2～3週間単位で講義を進める。

履修上の留意点

毎時限、具体的な事例を挙げて講義をする。その際、理解を深め全員が授業に参加していることを実感してもらうために、何度も質問をし、それに答えてもらう時間を作る。従って、単に教場にいると言うだけでは、出席したとは認めないし、一緒に授業を作っていくと言う真剣な態度の無い者は受講を認めない。

成績評価の方法

出席は、重視する。原則として、欠席は認めない。ただし、全回出席したから単位が与えられると言うことはない。成績は、期末に行なう試験によって評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）・『ポケット六法』（有斐閣）

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (7), (11) 〔法と権利〕	しげの たかはる 茂野隆晴	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

“法と権利”を学び、「法」というものを知ることによって、我々は社会生活をする上で、どのような目的を達成することが出来るのであろうか。それは大要、次の3点に帰着するのではなからうか。

- i 『抽象的な概念構成をする力』を身につけること
我々が社会生活を送るに当たって、様々な社会現象がそこに生じることになるが、そうした現象のなかで、どれが法的に意味をもつものであるか。それを抽出して、しかも法的価値判断にてらして、「有効」が「無効」か、或いは、「適法」か「違法」かを判断するには、「抽象的な概念構成をする力」を是れとも必要とするのである。法を学ぶことによって、それが得られるのである。
- ii 自分自身の見解をもつこと
我々の社会には、種々の考えをもつ人々が存在する。例えば、「死刑廃止」ということについて意見を訊ねれば、それを是認する意見と、否認する意見とに分かれることは、明らかである。人間の人生観・世界観というのが、人によって異なる以上、それは当然のことであり、止むを得ないことである。そうした社会であるから、事物の是非を判断するに際しては、客観的な証拠を裏づけとして処理することが必要である。即ち、法を学ぶことによって、事物を正確に把握し、客観的な裏づけをつかんで、判断する態度を身につけなければならないのである。日本人は、ややもすれば、多数の意見に附和雷同する傾向が強いが、自分自身の見解をもつことによって、正しい判断を下すことが出来るようになるのである。
- iii 『妥当性をもった考え』を確立すること
法は本来、いかなる時でも、いかなる場所でも正しいものでなければならない筈である。それこそが「正しい法」といえるからである。従って、法を学んだ以上、その判断は、「正義」に立脚するものでなければならない。本人の利害による自分勝手な判断や、恣意的な行動は、厳に慎まなければならない。あくまでも「正義」に合致した「妥当性をもった考え」を身につけるように、努めなければならないのである。

講義の内容・授業スケジュール

〔第1回〕◎「法と権利」を学ぶに当たって

本講を学ぶ際に最も肝要なことは、「法」というものが、いかなるものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにあつてと思う。このことは、先ず最初に、しっかりとつかんでもらいたいところである。

〔第2回〕◎法と社会生活

社会そのものが維持されるためには、社会内部の秩序維持がなされなければならないことはいうまでもない。秩序が乱れ、個人がその生命などを自分で守らなければならないとするならば、その社会自体も危うい。従って、社会が成立するための要件の第一は、秩序維持である。そのためには、秩序を乱した者に対しては、死刑を含む制裁（現行法のもとでは）を科す必要が生じる。それは、当然のことながら、強制的に行わなければならない。

〔第3・第4回〕◎法と他の社会規範

社会の支配組織が確立するにつれ、社会規範は分化し、独自の領域を形成するようになった。即ち、あるものは、単なる流行に終わり、あるものは、儀礼や、風習、習俗、習慣といわれるものとなり、あるいは道徳や宗教として一領域を形成するようになり、こうしたものなから、やがて、法として宣言されるものが出てきたのである。

〔第5・第6回〕◎法の種類

法は社会生活が多岐となるにつれ、その内容も次第に複雑化し、その数も多くなったことから、さまざまな基準によって、法の分類がなされるのである。

〔第7・第8回〕◎法源（法の淵源）

法源とは、裁判官が裁判をするに当てる基準として用いられる法規範といえる。裁判所の恣意のままに裁判がなされないためにも客観的な基準となるべき法規範が必要である。

〔第9回～第13回〕◎法の生成

我国における法の発達を顧る。「上古法」、「中古法」、「中世法」、「近世法」、「近代法」、「現代法」の6期に分ち、各期の特徴を講述する。

〔第14回〕◎法と裁判①（裁判所の種類と仕組み）

〔第15回〕◎法と裁判②（裁判官・検察官・弁護士及び調停制度）

〔第16回〕◎国家

〔第17・第18回〕◎憲法①（日本国憲法の成立他）

〔第19・第20回〕◎憲法②（基本的人権の保障）

〔第21・第22回〕◎憲法③（「国会」）

〔第23・第24回〕◎憲法④（「内閣」と「裁判所」）

〔第25・第26回〕◎民法①家族法のⅠ（親族法）

〔第27・第28回〕◎民法②家族法のⅡ（相続法）

成績評価の方法

遅刻・退席・私語等、平素の学習姿勢も勘案し、試験の成績に出席度を加味する。

教科書

大久保・茂野・櫻井共著『現代法学』（高文堂出版社）¥2,980
大久保・茂野共編『日本法制史史料集』（芦書房）未定、それに小型の六法全書を揃えるように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (12) 〔 法 と 権 利 〕	みつ だ まさ よし 光 田 督 良	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。

人権を保障している憲法も「法」の一つです。まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治（政治）機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当って

I 法とは何か

- 1 法とは何か——法の定義
- 2 法と道徳（関係の歴史・区別の基準）
- 3 法の構造
- 4 法における強制（主体・方法・意味）
- 5 法の目的（正義・秩序）
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原理
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下の平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』尚学社 2,060円

II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 テキスト版』尚学社 1,000円

なお、資格試験を目指す人は、古野豊秋編『スタンダード憲法』尚学社 2,884円がよいでしょう。

参考書等

六法（用途に応じた種類等については開講時に紹介します）。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (8) 〔法と国家〕	にっ た ひろ し 新 田 浩 司	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて本年をもって50年を迎える。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりもさまざまな問題を孕んでの制度であった。自衛隊をめぐる国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、政治腐敗、企業の談合、公務員の汚職、イジメ問題、カルト集団による犯罪、あるいは凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、そして憲法がこれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題の発生においては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多に影響するものであるといえる。

現行憲法に、我が国の国民がそして文化が制約されてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。還元すれば、我が国の国がらに、現行憲法は相応しいか等検証すべき点が多い。これは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

現実には発生する様々な憲法上の問題、たとえば、湾岸戦争を契機とした自衛隊の海外派兵問題、日米安保条約の見直し、夫婦別姓、外国人の選挙権さらには、プライバシーの権利、環境権など新しい人権に対して現行憲法は対応できるのか検討する必要がある。

講義においては、以上のような視点に立って、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

教科書

高乗正臣・佐伯宣親著『現代憲法学の論点—判例から学説へ—』成文堂 ¥2,500

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (9) 〔法と国家〕	さい とう ひろし 齋 藤 洋	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

法学及び憲法の基礎的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

以下の順序で講義をする予定である。

- | | | |
|----------------------|------------------------|----------|
| 1 法学の基礎 - 1 - | 11 基本的人権 2 - 人権の適用範囲 - | 21 生存権 |
| 2 法学の基礎 - 2 - | 12 新しい人権 | 22 教育権 |
| 3 法学の基礎 - 3 - | 13 法の下での平等 | 23 国会・内閣 |
| 4 憲法学の学び方 | 14 信教の自由と政教分離 | 24 司法権 |
| 5 憲法と国家 | 15 表現の自由とその制約 | |
| 6 日本国憲法の制定過程 | 16 学問の自由 | |
| 7 日本国憲法の基本原理 | 17 経済的自由 | |
| 8 天皇 | 18 身体の自由 | |
| 9 戦争放棄 | 19 国務請求権 | |
| 10 基本的人権 1 - 人権の主体 - | 20 参政権 | |

履修上の留意点

授業は予習してあることを前提に進めるので、かなりハイペースになると思われる。予習をしないと授業についていけないことを肝に銘じてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末の定期試験で決定する。

教科書

高乗正臣・佐伯親宣『現代憲法学の論点—判例から学説へ—』成文堂、約2,500円

参考書等

六法全書を常備していれば好ましい。

その他

ほとんど板書しないので、各自は自分で自分なりのノートを作成してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (10) 〔法と国家〕	お だ て る こ 織 田 晃 子	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

憲法の法的性質は①授権規範性②制限規範性③最高法規性にあるが、ここではそのうち②の制限規範性と③の最高法規性について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進め方は実際に裁判所で争われた事件を中心に行う。まず上記②の制限規範性は基本的人権の尊重と並んで国家権力の法による制限である。国家権力を制限し人権の確保をはかるのである。日本国憲法は第3章に国民の権利及び義務を規定しているが、人権つまり基本的人権は外国人にも保障されているのか、法人についてはいかに、又私法関係における人権保障はいかにあるべきか等々まず基本的人権の享有主体に始まり、法の下での平等、自由権・社会権、人身の自由・裁判手続の保障、そして最後に最近の憲法判例の動き、特に新しい人権について判例を検討する。次に上記③の最高法規性は、憲法はその国の法秩序の中で最も高い地位にあり、憲法に反する法律・命令等は無効となるということである（憲98条）が、刑法、民法、行政法等各種法律が憲法との関係で争われた事件を取りあげて判例研究を行う。

履修上の留意点

授業にはコンパクトのもので十分であるが必ず六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

定期試験と出席日数による。

教 科 書

「法学・憲法」 八千代出版 ¥3,500

参 考 書 等

「判例法学」 有斐閣ブックス ¥2,060

そ の 他

授業方法は講義。時間の許す限り家族関係と法、財産関係と法についても講義をする予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (1) 〔社会生活とデモクラシー〕	こ ばやし まさ とし 小 林 正 敏	全 学 科 ・ 短 国 ・ 短 英 (政治除く)	4

講義のねらい

この講義は、政治学の領域のなかでも現代社会の市民生活とデモクラシーの関連性に焦点を合わせて論述しようとするものである。それだけに、従来の政治学入門を、より身近な存在にしていくことが、講義の基本的コンセプトであるといえる。

講義の内容・
授業スケジュール

いわゆる政治学入門に相当するものは包括的に取り上げていくが、とりわけ選挙制度、選挙の実態、政治意識などには力点をおいて講義を進めたい。

履修上の留意点

映像メディアばかりでなく、新聞、雑誌等の政治記事、評論、解説にも精力的に関心を寄せて欲しいものである。

成績評価の方法

学年末試験の成績を中心に評価する。

教 科 書

小林正敏他著『政治学講義』（成文堂）

参 考 書 等

開講後に必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (2) 〔政治システムと政治参加〕	かみ じょう すえ お夫 上 條 末 夫	全学科・短国・短英 (政治除く)	4

講義のねらい

民主政治は「参加の政治」といわれるように、国民が政治に参加することによって主権を行使し、その民意にもとづいて行う政治のことであり、「国民の、国民による、国民のための政治」がそれである。また、「国民の政治意識以下の政治も、国民の政治意識以上の政治もない」といわれるように、国民がどれだけ政治を理解し、どの程度の政治意識をもち、どのように政治参加するか、民主政治の決め手となる。

本講義においては、政治システム(体系)とのかかわりにおいて、主権者として政治に参加するために必要最低限の政治的知識を体系的に理解せしめることをねらいとする。事例をあげながら、具体的かつ平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治と社会生活(4月～5月)
 - ① 人間社会との必然的なかかわり合い
 - ② お祭りと言治のはじまり
 - ③ 国家が形成され存在する意味
 - ④ 権力のプラス面とマイナス面
2. 政治システムの仕組みと意味(6月)
 - ① 政治システム(体系)の成り立ち
 - ② 政治への入力(インプット)
 - ③ 政治システム内部での変換(チェンジ)
 - ④ 政治からの出力(アウトプット)
3. 民主政治の仕組みと原理(7月)
 - ① 国民主権の意味と憲法
 - ② 議会主義(間接政治)と代表の原理
 - ③ 民意の反映と多数決の原理
 - ④ 内閣制度と行政のあり方
4. 政治的要求と参加(9月～10月)
 - ① 選挙システムと投票の意義と効果
 - ② 政党システムと政党に対する支持
 - ③ 政治に対する関心と大衆運動のあり方
 - ④ 住民参加のあり方と地方自治
5. 大衆社会と民主主義(11月)
 - ① 大衆社会の成立と政治的平等化
 - ② 政治参加者の増大と政治的要求の多様化
 - ③ アウトプット機能の低下と政治的不満の増幅
 - ④ マス・メディアと政治とのかかわり
6. 政治改革と国民の責任(12月～1月)
 - ① 政治腐敗の原因と政治資金のあり方
 - ② 地方分権のあり方と地方自治体の改革
 - ③ 行政改革と国民へのサービス
 - ④ 福祉の充実と国民の負担

成績評価の方法

定期試験の成績と小テストおよび出席点によって評価する。

教科書

上條末夫他『改訂・政治学概論』(北樹出版, 3,600円)

参考書等

加藤秀治郎・中村昭雄『スタンダード政治学』(芦書房, 2,700円)

その他

講義のほか質疑応答によって理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	うらたさなえ 浦田早苗	全学科・短国・短英 (政治除く)	4

講義のねらい

政治的に混沌の1990年代後半、新たな世界秩序が模索されている現在、世界は大きな転換期にある。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、これまでの政治のありかたに変更が求められている。また、日本の急激な経済成長は経済摩擦、円高、体制的維持費の分担要求といった国際問題を引き起こしている。本講義では、世界における日本の位置を、国際化・情報化された現代社会の枠組みの内て考察し、今後の日本の進むべき方向を明らかにすることに視点がおかれている。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現代社会が抱える問題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対象として1980年代から現在に至るアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスそれぞれの国の政治を概観する。スタグフレーションとレーガノミクスからクリントンの政治、サッチャー政権以後の保守党優位のイギリス議会政治、ドイツ統一と冷戦の終結過程、EUの成立とフランス、シラクの政治外交等が中心テーマである。後期は、例えばマキシミ戦略、多数決のパラドックス、公共性の理論といった政治理論をまず概説し、続いて現代日本社会の問題点を考察する。取り上げるテーマは、日本農業の国際化、外国人労働者問題、環境政策等である。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト＝簡単な政治論評＝は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (1) 〔現代社会と市場経済〕	あさだとういちろう 浅田統一郎	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

本講義では、現代経済学において主流的な地位を占めるいわゆる現代経済学において主流的な地位を占める近代経済学の理論体系に基本的に依拠しながら、私達がその中で日々生活している現代の市場経済のしくみをわかり易く体系的に解説します。本講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門になっていますが、経済学をもっと本格的に学びたい人にも役立つように工夫されています。具体的には、本講義は、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得理論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡しとしても役に立ちますし、また、経済学を専攻しない学生諸君に教養として身につけておくべき経済学の必要最小限の知識を提供することを目的としています。特に、私達にとって身近な経済問題を解釈したり、その解決策を探るために経済学の考え方がいかに役立つか、ということをも具体例に基づいて明らかにします。とりあげるテーマについては、以下のようなものを考えています。

1. 経済学の課題
2. 市場経済のしくみ
3. 需要と供給の法則
4. 国民所得について
5. 財政・金融政策について
6. 景気の話
7. バブルとその崩壊について
8. 国際貿易と国際通貨体制の話

なお、教科書は、幸村千住良『経済学事始』を使用しますが、経済学をもっと本格的に学びたい受講者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回（前期・後期）行う筆記試験によって評価します。

教科書

幸村千住良著『経済学事始』（多賀出版）

参考書等

伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社）
林 敏彦著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (2) 〔現代経済と人間〕	まついりゅうへい 松井柳平	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

経済的な問題としては、例えば、東京の地価はなぜ欧米諸国の都市部と比べて高いのかとか、所得税減税の効果はいかほどかとか、またそもそも私たちが生活している資本主義社会そのものはどうして成り立ちえているのか等々、いろいろな問題が考えられる。私たちの生活は、そうした問題と直接間接になんらかの関わりをもっている。また「いま車を買うべきか否か」とか「週末をどう過ごすべきか」といった個人的な問題も経済問題である。こうした問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

もしも経済学という学問が、「偉大な経済学者」の域に達した人でなければ理解不可能なものなのであれば、経済問題の解決には「巨匠」の導きを必要とする。しかし（「巨匠」以外の）「凡人」の理解を超えた経済学など不要である。経済問題への自分自身の考えは、多くの人と相互理解可能なかたちで展開する必要がある。つまり、解釈の多義性を許す曖昧なかたちで自分の考えを展開することは避けなければならない。そうでなければ経済学は訓詁学へ転化する。では、経済問題に対する自分の考えを多くの人と相互理解可能なかたちで展開するにはどうすればよいか。それは、現実の経済を抽象したモデルを構築することである。モデルとは具体的な理論のことであるが、ちょうど自動車会社の技術者が、自動車のさまざまな特性を研究するためにそれぞれ異なったモデルを作るように、経済の問題を分析するために、言葉かあるいは数式を使って、経済のモデルをつくるのである。モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、表現形式として数学を利用した方が操作性がよく、問題を明快に記述し無用な混乱を防止するのに有益である。数理的な構造をもつモデルを用いて経済問題を考察することによって、現代の経済学は、原理的にはだれでも理解しうる普遍的な科学と成りえた。経済学は、「凡人」の介入を許さない天上の垂訓であってはならないのである。

本講義では、経済学という科目を、学生諸君がこれから経済問題を自分自身で考察するにあたっての基本的な分析視点、分析方法を提供するものとして位置づけ、経済問題についての自分自身の考えを多くの人と相互理解可能なかたちで展開できる力を養うことを主たるねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

近代経済学の基礎理論を基本的な考え方に重点を置いて、平易に講義する。「近代経済学」とは日本独特の用語法であろうが、マルクス経済学と区別してそのように呼ばれているようである。しかし、マルクス経済学は一つの学派であるが、近代経済学は、種種雑多な理論の集合であり、その中で互いに批判しあったり、研究していく“場”なのであって、「近代経済学」という一つの学派が存在するわけではない。本講義では経済学を、アプローチの違いから、ミクロ経済学とマクロ経済学とに分け、ミクロ経済学から始め、マクロ経済学に移る。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにさかのぼって、社会の合法性を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまなあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

マクロとは巨視的ということであり、マクロ経済学は経済諸主体の活動を例えば1国全体の規模で集計した国民所得などの集計量を用いて分析し、さまざまな集計量相互の関係を考察する。考え方の基本的な枠組みとして、市場のすみやかな調整に信頼をおく「新古典派」と、市場のさまざまな不完全性を重視する「ケインズ派（ケインジアン）」とがあり、両者の対比が主要な論題となる。

履修上の留意点

毎回、授業の最後に次回の講義内容の範囲を指定するので、事前に必ず予習をしてくること。疑問点があれば授業後質問するなど積極的な姿勢が望まれる。

なお、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

新カリキュラムのもとで、本講義の受講は、経済学部の学生にも可能となった。経済原論Ⅱでは割愛したトピックスも本講義では扱うことになる。

成績評価の方法

期末試験で評価する。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (3), (4) 〔現代経済理解へのガイド〕	お 小 の 野 と し お 夫	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学は現代経済を理解し、広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は次のように進められる。

1. 経済学発展史要説：経済学への入門をかねて
- マイクロ経済学
2. ミクロ的経済循環とマイクロ経済学
 3. 消費者行動の理論
 4. 企業行動の理論（企業の生産技術と生産費，完全競争下の企業行動，独占企業の行動）
 5. 完全競争経済と独占
 6. 不完全・独占的競争の理論
 7. 現代企業と市場の理論
- マクロ経済学
8. マクロ的経済循環とマクロ経済学
 9. 国民所得の諸概念
 10. ケインズ有効需要の原理と理論体系要説
 11. ケインズ経済学体系（消費・貯蓄関数，国民所得の決定と投資乗数の理論，投資決定の理論，利子率決定の流動性選好理論，ケインズ理論体系とIS-LMモデル）
 12. 経済成長と景気変動
 14. 政府および外国貿易を考慮する一般的な分析

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

成績は学年末に行われる教場試験の結果によって評価する。

教 科 書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会 科学 論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

現代の社会は複雑に入り組んだ多くの問題をかかえています。最先端技術に支えられたME化の波が世界に波及する一方、アフリカ・アジアには部族間の対立による流血の惨事がくり返され、食料不足による餓死者もあとを絶ちません。地球環境の破壊は深刻さを増しています。また、「豊かな社会日本」には、長時間労働という現実があり、世界に例のない過労死現象まで生ずるに至っています。大国による核兵器の保有とたび重なる実験は、平和の推進にではなくその悪化に役立てられているようにも見えます。このような多岐にわたる諸問題はどのようにして生じたのでしょうか。人々はより豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。とすれば、社会科学には、これら難問の原因を探り出して、問題解決への展望をさし示すという重要な課題が課せられていることとなります。

社会科学はそれほど古い学問ではありません。大まかに見れば、それは17世紀におけるイギリスの資本主義経済＝商品経済の発展とともに芽ばえ、発展を始めることになりました。それには理由があります。1つには、資本主義経済そのものが一定の法則性を示すようになったこと、2つ目には、科学的な認識活動なしには社会関係の本質が見えにくくなってしまった、ということです。商品生産が発展してくると、人々が共同して社会を維持し再生産しているという社会の側面が見えにくくなるからです。

したがって、社会科学は、それが対象とする資本主義の経済関係、政治、法律、国家、思想などが発展するのに伴って発展していくことになりました。しかし、最も重要な課題は、資本主義的経済の一般原理を解明することにあつたのです。そして、資本主義の確立した19世紀のイギリスにおいて、カール・マルクスが資本主義的生産の運動法則を体系的に明らかにすることができました。

しかし、資本主義はそこにとどまることなく発展を続け、現代に至っています。その社会が複雑化すれば一般理論だけを振りかざしても解明できない諸現象が次々に発生してきます。それとともに、社会科学はこれらの現象を解明するための研究にも取り組んできたのです。現代世界が高度に発展した資本主義社会であるとすれば、われわれは、資本主義の一般理論とともに、その特殊で複雑な展開についても認識を広げていく必要があるでしょう。

この講義では、資本主義経済とその法・国家の認識という点に焦点をあてて、その科学的把握を前進させる上で重要な意味をもつことになった社会科学者の思想と理論をとり上げ、現代的な意味について考えてみることにします。講義のテーマは、次のようになります。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展
3. 社会科学の生誕 — ホッブスとロック
4. 資本主義経済の法則的把握 — スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家 — マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方 — レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代日本の社会と法

なお、社会科学の現代的な意義を明らかにすることも大切なことと考えますので、現代社会のかかえるナマの問題については随時講義していく予定です。

成績評価の方法

前期にはレポートの提出を求めます。出題を6月上旬に行ない、7月中旬に提出して頂くこととなります。

後期は定期試験（記述）を実施します。成績はレポートと定期試験の合計点で評価する予定です。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）、550円
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 八木紀一郎『経済思想』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ほり す が こ 柳 堀 素 雅 子	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

現代社会においては人間の生や死の問題が見失われがちであり、個人が人の生や死に接触する機会も少ない。他方において脳死、臓器移植、安楽死、生殖技術などの、人間の生死と現代最先端の科学技術とが結びついた形で現われてきた新しい問題がクローズアップされてきている。これらの問題を扱うのがいわゆるバイオエシックス、生命倫理と呼ばれている学問分野である。バイオエシックス（生命倫理）は、哲学・倫理学・宗教学・人類学・法学などさまざまな分野の学問が、学際的に協力してできあがった新しい分野である。講義においては、現代のバイオエシックスの動向を踏まえながら人間の生と死について考察することがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

最初にバイオエシックスの成立過程を踏まえたうえで、脳死・臓器移植の問題、安楽死・尊厳死・ホスピスの問題、生殖技術の問題など個々の具体的な問題を扱っていく。

履修上の留意点

日本においてはまだ新しい学問分野であるので、講師の一方的な講義だけではなく、学生の皆さんの意見も聞きたい。ディスカッションの時間もとりたいと思うので活発な議論を期待しています。

教 科 書

教科書は使いません。

参 考 書 等

参考書はそのつど紹介します。

そ の 他

講義と討論ですすめていきます。
ビデオを見て、ディスカッションをすることもあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	きた し ま あ ゆ み 北 島 歩 美	全 学 科 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

近年、青年期の長期化がとりあげられているが、大学時代は、社会に出るための最後の準備段階として重要であると言える。そこで臨床心理学の立場から、心のメカニズム、心理アセスメント、家族関係などを取りあげることで、自分自身を知る糸口を提示したいと考えている。また、心の病理などについても簡単に触れ、青年期特有の心理発達課題について検討する。カウンセリングなどの援助方法についても紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 臨床心理学の諸理論
2. 発達の視点からみた青年期
3. 心理アセスメント（心理テスト）
4. 心理療法のプロセス

成績評価の方法

学年末試験

参 考 書 等

ユーチン、「現代臨床心理学」 弘文堂

そ の 他

講義中心であるが、受講人数によっては実習なども導入する。ビデオ等は適宜使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学（前期）	はしづめ さとし 橋 爪 敏	短放 1 選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちから遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会との関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄編『人生の社会学』学文社

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』犀書房
R.ニスベット『現代社会学入門1～4』講談社学術文庫

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学（後期）	お織 た てる こ 織 田 晃 子	短放 1 選	2

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②家族関係と法、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の家族関係と法は夫婦の法律問題、親子の法律問題、扶養と相続の関係について。③の財産関係と法は所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上講義の順序を決める。

履修上の留意点

授業にはコンパクトのもので十分であるが必ず六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

定期試験と出席日数による。

教科書

「判例・法学」有斐閣ブックス ¥2,060

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業方法は講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (前 期)	いた っ ひろ み 板 津 裕 己	短 放 1 選	2

講義のねらい

心理学とは

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。

今日心理学非常に多くの領域にわたって研究されており、半期でその1とおりを述べることはできません。また、本講義の場合は、放射線学科学学生のみを対象にしている科目ということもあり、まず心理学研究の概略について述べ、その後、心理学の主要研究領域のうちで専攻科目と関連性のありそうな、パーソナリティや臨床心理学領域の研究を紹介したり、実習をしていければと考えています。なお、講義内容や日程を記したプリントを開講第1週に配布します。

成績評価の方法

出席状況、年度末試験を総合して年度評価をおこないます。なお、配点比率は未定です。

教 科 書

教科書には、「心理学概説」（中村昭之編 八千代出版）を用いていきます。このほか、必要に応じてプリントを配布していきたいと思えます。また、参考書については、その都度紹介していきます。

そ の 他

開講時第1週はオリエンテーションとし、講義日程や内容などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持つとともに、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努力してってください。

教 養 教 育 科 目
自 然 分 野



教 養 教 育 科 目

自 然 分 野

生 物 学 (1), (2) [生態と進化]	(前期:長谷川 英 祐)	89
	(後期:清 水 善 和)	89
生 物 学 (3) [生物と環境]	(中 村 敏 枝)	89
地 球 科 学 (1) [地球の歴史と未来]	(前期:宇和川 正 人)	90
	(後期:松 野 正)	90
地 球 科 学 (2), (3), (4) [古環境の復元]	(中 島 義 一)	90
自 然 環 境 論 (1), (2) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	91
	(後期:安 富 六 郎)	91
自 然 環 境 論 (3), (4) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	92
	(後期:穴 瀬 真)	92
自 然 環 境 論 (10), (12) [自然と災害]	(前期:宇和川 正 人)	93
	(後期:清 水 善 和)	93
自 然 環 境 論 (5), (6), (7) [環境と保全]	(漆 原 和 子)	94
自 然 環 境 論 (8), (9) [環境と保全]	(安羅岡 一 男)	94
自 然 環 境 論 (11) [宇宙から見た地球環境]	(篠 原 正 雄)	95
自 然 誌 (1), (2) [現代の自然像] (中島 義一・宇和川正人・漆原 和子・ 篠原 正雄・清水 善和・三好 重明)	96
数 学 (1) [無限と連続]	(三 好 重 明)	97
数 学 (2), (3) [図形とベクトル]	(福 原 賢 一)	97
情 報 数 学 [情報と論理]	(三 好 重 明)	98
物 理 学 (1), (2) [光と物質]	(篠 原 正 雄)	99
化 学 [衣食住の化学]	(齊 藤 佑 尚)	100
宇 宙 科 学 (1), (2) [星と銀河]	(篠 原 正 雄)	100
コンピュータ基礎 (1), (5) [コンピュータと情報]	(三 好 重 明)	101
コンピュータ基礎 (2), (3) [コンピュータと情報]	(竹 田 洋 一)	102
コンピュータ基礎 (4) [コンピュータと情報]	(佐久間 拓 也)	103
人 類 学 (1), (2) [人類の進化]	(江 藤 盛 治)	103
心 理 学 (1) [ヒューマン・ウォッチング]	(高 橋 良 博)	104
心 理 学 (2) [ヒューマン・ウォッチング]	(横 山 剛)	104
心 理 学 (3) [ヒューマン・ウォッチング]	(板 津 裕 己)	105
心 理 学 (4) [ヒューマン・ウォッチング]	(牧 野 晋)	106
心 理 学 (5), (7) [人間関係を考える]	(高 橋 良 博)	107
心 理 学 (6) [人間関係を考える]	(鈴 木 順 一)	107
心 理 学 (8) [人間関係を考える]	(板 津 裕 己)	108
心 理 学 (9) [心を科学する]	(高 橋 良 博)	109
心 理 学 (10) [心を科学する]	(軽 部 幸 浩)	109
心 理 学 (11) [心を科学する]	(板 津 裕 己)	110
心 理 学 (12) [心を科学する]	(中 丸 茂)	111
基 礎 物 理 学 (前期)	(清 水 忠 良)	112
基 礎 化 学 (後期)	(田 島 隆)	113
計 算 機 言 語 概 論 (前期)	(杉 田 徹)	114
基 礎 数 学 (前期)	(武 中 英 治)	114
基 礎 生 物 学 (後期)	(清 水 善 和)	115

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (1), (2) 〔生態と進化〕	[前期] はせがわ えい すけ 長谷川 英 祐 [後期] し みず よし かず 清水 善 和	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

前期は長谷川、後期は清水が担当し、それぞれの視点から「進化」と「生態」につき講義する。
 [前期] 生命がどのようにして始まり、またどのようにして私達ヒトが現われたのか。これは誰もが1度は不思議に思い、知りたくなる疑問の1つではないでしょうか。動植物や自然を扱った番組では、よく「進化」という言葉が登場します。また「進化」に関する本は一般書から専門書まで数多く出版されています。なにげなく使い、理解しているつもりになっている「進化」ですが、誤解が多いのも事実だと思います。この講義では、進化についてその基礎的な事柄を紹介します。以下は、講義のおおまかなプログラムです。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 0) 細胞と遺伝子の基礎知識 | 1) 生命の起源と歴史 |
| 2) 進化とは | 3) 進化のメカニズム (色々な進化説) |
| 4) 分子進化 | 5) ヒトの進化 |

[後期] 地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始源生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

成績評価の方法

各担当者の講義毎に、テスト、レポート、出席を勘案して評価し、最終的に両担当者の採点を合計・平均して成績評価とする。

教科書

教科書は特に用いない。

参考書等

前期 1) 河田雅圭著「はじめての進化論」講談社 540円
 2) 長谷川政美著「DNAに刻まれたヒトの歴史」岩波書店 1,100円
 後期 適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (3) 〔生物と環境〕	なか むら とし え 中 村 敏 枝	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

地球が誕生してから現在までを30センチの物差しであらわせれば、人類の歴史は1ミリメートルにも満たない。その人類が、いま地球の支配者のようにふるまって、ほかの生物を圧迫している。実際、1,600年以降、1,000種以上の種が地球上から姿を消してしまった。「現在、動物500種、植物4,000種が絶滅の危機にある」と、95年11月国連環境計画は発表した。このような状態が続き、自然も失われていったとき、独り人類の繁栄は期待できるのだろうか。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先にするかだけなのだ。人類が救わなければならないのは「病んだ地球」、「傷ついた地球」ではなく人類自身である。守らなくてはならないのは、人類の生存が可能な現在の地球環境である。現在の私たちの生活のありかたが、人類史の長さを決定する。将来の世代のために私達はどうすべきなのか一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・化学物質汚染など（これらのうちの幾つか）

その他

教科書は使わない。参考書はその都度紹介します。期末試験と平常点とで総合評価をします。意見発表の機会を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 (1) 〔地球の歴史と未来〕	[前期] <small>うわがわ まきひと</small> 宇和川 正 [後期] <small>まつの ただし</small> 松野 正	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

現在、私たちは地球の支配者として自負している。人類の能力が増え活動範囲が広がれば、考えなければならない環境問題は増大し、かつ、隣接する環境基質領域との総合的考察が必要となる。

地球科学は自然科学分野のなかで地球に関するすべてのものを研究対象としている。その究極の目的は水圏、大気圏を含めた地球の歴史と現状から地球およびそこに生息する生命の発展を理解し、その将来を予測するところにある。

この講義では、私たち人類を軸として、現在に至る地球自然システムの変遷をたどり、地球のあるべき将来像について考察する。あわせて、私たちの周囲（大気圏、水圏、岩石圏、生物圏）の保全に関する諸問題について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 水シリーズ：宇宙と水、地球と水、生命と水、利水と治水
 2. 大気圏について：大気の変遷、大気圏の汚染
 3. 岩石圏について：現代の地球観、開発による土地汚染
 4. 生物圏について：地球生態系（有機系と無機系の依存システムの認識）、生物汚染
 5. 地球白書（まとめ）
- 前期に1. 2. を、後期に3. 4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席を勘案して評価。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

参考書はその都度紹介する。

その他

講義を主とし、まとめてスライド説明を入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 (2), (3), (4) 〔古環境の復元〕	<small>なかじま ぎいち</small> 中 島 義 一	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

ある時代の環境がどうだったというだけでなく、各時代各地方の人々がいかに環境を有効に活用し、災害のようなマイナスの面については対応していったかを検討する。従って人間の歴史より前の時代のことは対象外とする。地理と歴史と地学の接点ともいうべき内容になるので地理・歴史の好きな諸君の受講を希望する。いわゆる環境問題とは程遠い内容になることをあらかじめお断りしておく。

講義の内容・授業スケジュール

対象地域を国内に限り、各時代・各地域の主要な課題を取り上げて行く。

履修上の留意点

授業時に地図帳を持参してほしい。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない。

参考書等

授業時に紹介する。

その他

本年度新設の科目で、私の勤務は本年度が最終。次年度は他の先生の担当になる。担当者がかわれば授業方針、講義内容が変わるのは当然である。本年度履習するか次年度にするかはその点も考慮して決めて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (1), (2) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ</small> 宇和川 <small>まさ</small> 正 <small>ひと</small> 人 [後期] <small>やす</small> 安 <small>とみ</small> 富 <small>ろく</small> 六 <small>ろう</small> 郎	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない、洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし、災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中、産業進出によって、同じ自然力を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに、日本列島は世界の災害国といわれ、各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて、大気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから、防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダム）
 3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害、地震・火山災害
 4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ、山の生態系（森林の価値）、防災のための環境保全
 5. 自然災害白書（まとめ）
- 前期に1. から3. までを、後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

その都度紹介する。

その他

講義は主とし、まとめて、スライド説明を入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 (3), (4) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ</small> 宇和川 <small>まさひと</small> 正 [後期] <small>あなせ</small> 穴瀬 <small>まこと</small> 真	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない，洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし，災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中，産業進出によって，同じ自然力を受けても，昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに，日本列島は世界の災害国といわれ，各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて，人気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は，防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから，防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念，典型的自然災害，災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知，警報，避難）と構造物的方法（耐震設計，河川堤防，防潮護岸，防災・洪水調節ダム）
 3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害，地震・火山災害
 4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ，山の生態系（森林の価値），防災のための環境保全
 5. 自然災害白書（まとめ）
- 前期に1. から3. ままで，後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート，高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト，レポートに，出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

その都度紹介する。

その他

講義は主とし，まとめて，スライド説明を入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 (10), (12) 〔自然と災害〕	[前期] <small>うわがわ</small> 宇和川 <small>まさ</small> 正 <small>ひと</small> 人 [後期] <small>しみず</small> 清水 <small>よし</small> 善 <small>かず</small> 和	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

“無人島には水害はない。”洪水があったからといって必ず水害になるとは限らない、洪水があふれても放っておけばよいのである。しかし、災害に脆いデルタ・臨海地域への人口集中、産業進出によって、同じ自然力を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。とくに、日本列島は世界の災害国といわれ、各種の自然災害が頻発する。

最近の科学技術の進歩にもかかわらず自然災害は巨大化する傾向にある。加えて、大気・水質汚染害など新顔の災害が参入し“自然と人間の対応”について根本的な見直しが要求されている。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会条件とがからみ合って発生するものであるから、防災科学は自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダム）
 3. 自然災害の事例：台風・豪雨災害、地震・火山災害
 4. 環境破壊からみた自然災害：地球生態系のしくみ、山の生態系（森林の価値）、防災のための環境保全
 5. 自然災害白書（まとめ）
- 前期に1. から3. までを、後期に4. と5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、高校で使った地図帳を用意すること。出来れば地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

その都度紹介する。

その他

講義は主とし、まとめて、スライド説明を入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (5), (6), (7) 〔環境と保全〕	うるし ばら かず こ子 漆 原 和 子	全 学 科 短 国・短 英	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期：我々をとりまく気候・地形・地質・河川などの自然環境のメカニズムについて説明する。これらの自然環境と人間の関わり方の歴史についてふれ、自然環境の受けた人間活動による不均衡について述べる。日本と中国、東南アジア、ヨーロッパを例に、人間活動による今日の環境問題を論じ、どのような保全をしているのか、どう保全すれば良いかを考える。

後期：次のような実例についてのべる。酸性雨と森林、地球温暖化と海水準変動、石灰石利用と採石跡地の緑化、観光洞と二酸化炭素、洪水と河川改修、基盤整備事業と土壌流失、熱帯農業と土壌管理。

成績評価の方法

期末テスト、レポートによって行う。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

講義を原則とする。適宜スライド、プリントの配布をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (8), (9) 〔環境と保全〕	やすら おか かず お 男 安 羅 岡 一 男	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

「エコロジー（環境）にとっての脅威は異常に増殖を続けるヒトである」という観点から、本講義のテーマ「環境と保全」を考えたい。

地球に生物が生まれたのは36億年前といわれる。この36億年の地球の生物の歴史の中で種(species)の進化、盛衰が繰り返され、現在地球上に生存する生物種は推定約3千万から1億の多様性を誇っている。そのうち、名前(学名)がついているのは140万に過ぎないが、その中でただ1種、ヒト(Homo sapiens)だけは大きく発達した脳を使って異常な速度で増殖を続け、地球上のエコロジーを大きく変えつつあって、50年後には地球上に生きる生物種の4分の1を地球から絶滅させようとしている。

現在(1995年)の世界人口は57億5千万人である。国連の推計によれば、2015年の人口は71億人から78億人、2050年には79億人から119億人に達すると考えられている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 大気汚染と健康(硫黄酸化物, 窒素酸化物, 一酸化炭素, 光化学物質, 受動喫煙など)
- 2) 水質汚濁と健康(微量化学汚染, 温排水, 下水および廃棄物など)
- 3) 土壌と健康(農薬, 肥料, 除草剤など)
- 4) 人口問題(プライマリー・ヘルスケアへの母子保健・家族計画の包括の必要性)

成績評価の方法

定期試験(医師国家試験スタイル)を中心とする。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (11) (宇宙から見た地球環境)	しの ばら まさ お 篠 原 正 雄	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、全地球的な環境問題が議論されるようになってきた。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。これらの論議のテーマである「地球環境」とはそもそもどんなものなのかを考えることがこの講義の目的である。

地球は太陽系の惑星の一つである。その自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、地球環境の支配的要因である太陽放射はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。

本講義では、地球の自然環境を、現代の天文学と惑星科学の成果を踏まえて、宇宙の視点から眺めてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はまず、地球の運動（自転、公転）と地球環境の関わりについて学ぶ。次に地球環境の支配的な要因である太陽放射とその役割について学ぶ。金星などと比較しながら、地球温暖化の問題を考える。

後期は太陽放射の変動、太陽放射を受ける側（地球）の主役である大気と海の役割、生物と地球環境の相互作用（「ガイア」仮説など）、地球磁場と宇宙線、月、地球の過去と未来等の諸問題を取り上げる。

履修上の留意点

授業は講義中心であるが、必要に応じてスライドなどの映像を用いる。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教 科 書

教科書は用いない。

参 考 書 等

石弘之『地球環境報告』岩波新書
地上から見た地球環境についての優れた報告である。本講義で欠ける部分を補うものとしては是非読んでいただきたい。
その他、講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 誌 (1), (2) 〔現代の自然像〕	なかしま 義一 うらしほら かずこ し 和子 しみず 善和 うわがわまさ と 宇和川 正人 しのぼろ まさお 篠原 正雄 みよし しげあき 三好 重明	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味という本質的には哲学的な問いに20世紀の自然科学は一応の答えを見いだした。それによれば、人類とその自然環境とは、100億年を越える宇宙の進化の一環としての46億年に及ぶ地球と生命との共進化の産物である。一方で今世紀の科学技術の発展はこの貴重な自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではない。社会の一員たる一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする6人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けたいかなる道を目指すべきかを判断する足掛かりとして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員6人により、1人4回程度の輪講形式で行われる。

前期は、自然法則を人間社会に応用する工学、人と自然の関わりを地図を通して考える地理学、そして実証的な自然科学諸分野と深く関わりながらも本質的に異なる手法に立つ数字と、さまざまな視点から自然の姿に迫っていく。

後期は、宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達の自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。

第1講 水（水圏と人類との関わり）

水は我々に身近な資源であり、生物にとり欠かすことができない。我々の生活や文明は水と深く関わっている。一方、水のもたらす災害は、河口臨界地帯への人工集中・産業進出によって巨大化しており、積極的な治水対策が求められている。いまいちど水を見直してみよう。

第2講 地図と自然

各時代の地図に自然関係事項がどのように表現されているか、それは当時の人が、(1)自然をどう認識していたか (2)自然についてどのような知識情報を求めていたか (3)当時の技術でどこまで可能だったか、を反映していると見ることができる。本講義ではそのような見地からの検討を行う。対象地域は国内、対象とする地図は近代の地形図、海図、前近代の各種古地図である。

第3講 もしも地球が球ならば（球面の数学と地球）

地球の表面は2次元球面と見なすことができると仮定して2つの定理を証明する。

定理1 地球表面全体をさわやかな風で包むことはできない。必ず無風の地点がある。

定理2 対心点の組で温度と気圧がそれぞれ等しいものが存在する。

第4講 宇宙の進化と地球の起源

「宇宙の起源」（宇宙の階層構造とその起源）、「星の進化」（生命の材料は星で生まれたこと）、「地球の誕生」（太陽形成の一環として）、「地球と太陽系」（誕生後の地球と太陽系）

第5講 生命の起源と進化

「生命の起源」（生物体を作る物質の内容と特徴、生命起源仮説）、「生物の進化と進化論」（生物進化35億年史、現代進化論）、「生物の多様性」（世界の生物、植生帯、動植物分布、分類学）、「大洋島の生物たち」（進化の実験場・大洋島における生物のユニークな姿の紹介）

第6講 第四紀、我等の時代の自然

古生代以降のプレートテクトニクスによる陸域の移動、第四紀～現代の日本列島の地殻変動と火山活動、第四紀の気候変化（氷期・間氷期）に伴う自然現象、それら自然現象の人間活動との対応、人間活動によりもたらされた現在の問題点。

成績評価の方法

成績は各担当者の講義毎に、最終日に小テストを行うかレポートを課す等の方法で評価し、最後に6人の採点を合計・平均して最終の成績評価とする。

教科書

教科書は用いない。

参考書等

参考書は各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔無限と連続〕	三好重明	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論の記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらしかもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、このような数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる解析学と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2), (3) 〔図形とベクトル〕	福田賢一	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

自然科学をはじめ諸科学の数理的分析の基礎となる、図形・ベクトルの概念を学び、線形代数等の運用力を身につける事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

i) 空間とベクトル ii) 行列とその応用 iii) 行列式とその応用 iv) 方程式 v) 固有値問題とその応用 vi) 自然現象・社会現象の分析
特に、現実問題の分析に力点を置く。

履修上の留意点

予備知識は高校初年レベルで十分である。教科書は使用せず、プリントを配布するので出席を心懸ける事。

成績評価の方法

試験、レポート、出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	みよし じげ あき 三好 重明	全学科 短国・短英	4

講義のねらい

この講座では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回数、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物理学 (1), (2) 〔光と物質〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

天文学者は、天体から来る光を分析して、天体を作る物質の種類や温度、運動などを解明してきた。この方法（天体物理学）は物質と光の間の物理的研究に伴って発展してきた。今日では、人工衛星から地上を観測するリモートセンシングに応用されている。

本講では「光とは何か、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。これは内容を「光学」に限定することを意味しない。光の本性については、17世紀には力学的に議論され、19世紀には光の電磁気学的な性格が明らかにされた。さらに、熱現象や、今世紀の物理学の二本柱である相対論、量子論とも深く結び付いている。「光とは何か」という問いに導かれて、結局は物理学の主要な諸分野を通過することになる。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見るとはどのようなことを体験していただくことにある。数式は物理に不可欠な言葉であるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、やむをえず用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 波の反射と屈折と 三角測量 目とレンズ 望遠鏡と顕微鏡 見えない光
光は粒子か波なのか？ 蟹気楼 シャボン玉の膜の色

電磁波としての光

電気と磁気 さまざまな電磁石（原子、太陽、銀河系） 電磁波 光の速度と電気・磁気
電波で料理 電波望遠鏡 X線とガンマ線

色とは何か

色即是波長？ 純色と混色（ニュートンの光学） 物理の辞書に三原色という語はない
茶色い光の波長はいくら？ 「耳は音を聴くが、目は光波を見ない」

光子としての光

植物は緑の光を追いつく 人参さんが赤いわけ オゾンホール 原子の構造と光
太陽と星のスペクトル 光の波は粒子か？ 電子も波である 電子顕微鏡 放射能と放射線
原子力

物質の温度と光

日の丸はなぜ赤い？ 星の色 溶岩の色 人の光 地球はなぜ融けない？ 万物は光っている
「温室効果様ありがとう、だけど……」 光の温度・宇宙の温度

光と時空（相対性理論）

光の速度を超えられない 出口なし（光も出られぬブラックホール）

宇宙の膨張と人類（終章）

光の旅・太陽究地球経由宇宙の果て行き クーラーが暖める世界 温度差のない世界
生命：光の流れの渦 「光はみな宇宙に注ぐ、宇宙は満ちることなし。」

成績評価の方法

学期末の筆記試験および授業への参加点。中間試験を実施することもありうる。

教科書

用いない。

参考書等

ニュートン「光学」（岩波文庫）、金子隆芳「色彩の科学」（岩波新書）
ファン・ヒール、フェルツェル「光とは何か」（講談社ブルーバックス）
その他、講義の中で必要に応じて適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるために問題を考えてもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 〔衣食住の化学〕	さいとう ゆうじ 齊 藤 佑 尚	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

生活、特に食品、健康と関係の深い事柄を「化学」の言葉で理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず化学の基礎的な事柄を理解できるように、原子、分子、イオン、周期律表などに関する基礎的な知識を整理して、易しく解説する。また酸、アルカリ、酸化、還元、中和などの一般的な科学用語の解説を易しく行う。さらに主に私たちの体の中で進行する化学反応を系統的に易しく解説する。その後、生体中の物質の化学的な性質を概説し、栄養、病気、健康等に関する事柄を化学の言葉で解説する。その他遺伝に関しても化学の立場から理解を深める。最近のバイオテクノロジーに関するトピックスについても適宜解説する予定である。

履修上の留意点

化学に対する基礎的な知識は特別に必要なとしないが、熱心で積極的に授業に参加する学生を歓迎する。授業は毎回毎回の積み重ねであるので、連続して授業に参加することが必要である。

成績評価の方法

出席点を重視する。さらに年間複数回特定な話題に関してレポートの提出を課し、それらを総合して評価する。

教 科 書

現在まだ未定である。

参 考 書 等

現在まだ未定である。

そ の 他

少人数であればゼミ形式の授業も可能と考えるが、それが不可能であれば講義形式の授業にせざるを得ない。その中で可能であれば、スライド、OHP、またビデオも利用できればと考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇宙科学 (1), (2) 〔星と銀河〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、最近の宇宙の研究は急速に進展している。本講では、比較惑星論など地球物理学との境界領域も含めた広義の現代天文学の描く宇宙像を、研究の手法と併せて紹介する。

講義の目的は、宇宙がかつて考えられたような永遠不変、不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックに進化していく世界であることと、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、恒星について講義する。

初めに、恒星の一つであるという視点から太陽について論じる。

次に、太陽を含む恒星について述べる。太陽の構造、エネルギー源、進化を論じ、さらに現代における太陽活動の変動とその地球環境への影響に関する研究を紹介する。さらに、恒星の研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化について述べる。

後期は、銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。時間と空間、エネルギーと物質がどのようにして生まれ、進化してきたか、現代の考え方を紹介する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた太陽系の起源の問題を星生成領域の研究の視点から捉えなおす。宇宙における物質の化学進化と、地球における生命の起源との間の密接な関係が示されるであろう。

最後に、宇宙の歴史と我々人類の存在との深いかわりについて述べ、宇宙生物学や地球外文明探査の可能性について考える。

成績評価の方法

学期末の筆記試験による。中間試験を実施することもありうる。平常点を加味する。

教 科 書

比田井昌英他『宇宙のデータブック』東海大学出版会 ¥1,545

そ の 他

講義を中心とするが、天体のスライドなどを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1),(5) 〔コンピュータと情報〕	み よ し け あき 三 好 重 明	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどのようなものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングにはPASCALと、余裕があればCも使ってみたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う。

教 科 書

教科書は講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (2), (3) 〔コンピュータと情報〕	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは未経験の初心者が将来社会人になっても（あるいは高学年になっての専門科目のコンピュータ使用の授業においても）いざという場において戸惑わないだけのコンピュータに関する最低限の基礎的知識と操作経験を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるといった形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れる」に重点を置いて、パーソナルコンピュータ（PC-9801FA）を実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ！」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・ 授業スケジュール

この基本的指針の通り、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。前期は現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ（MS Windows 3.1）に親しみ、習熟することを目指したい。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的なテクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、フロッピーディスクへのデータの読み書き、オンラインヘルプの利用法、などをまず身につける。しかる後に、ウィンドウズ付属の簡易ワープロと描画ソフトを用いて、データの交換と貼り付けの手法を学び、ウィンドウズの目玉の特色であるマルチタスクとOLE機能の威力を身を持って体験してほしい。そして最終的には自分が作成して印刷した絵入りの文書をレポートとして提出できるまでになることがねらいである。

後期は、表面的操作の段階にとどまらず、コンピュータの頭の中についても少しは知ってもらいたいと思うので計算機の歴史、原理、内部構成などについて講ずる。またBASICやPASCALなどの言語を用いた簡単なプログラミングを実地に体験し、アルゴリズムの基礎知識を習得してほしい。一方応用面の方では表計算ソフトや日本語ワープロソフトなどのより高度のアプリケーションソフトを使う経験をしてもらいたい。この後期の内容は「広く浅く」といった顔見せの感じになるのは避けがたいだろう。しかしこれによってコンピュータの持つ大きな可能性とその世界の広さを感じ取ってほしい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折りに触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録（登録料1,000円）をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基づき総合的に判断して決定する。

教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし必要に応じて授業の際にプリントを配布する予定である。

参 考 書 等

一方各人の興味、レベルに応じて自分に合った参考書を購入することは積極的に勧めたい。これについては開講後適宜紹介する。

そ の 他

授業は、ひと月のうち1回は講義室での講義、残りの3回（ないしは4回）はパソコン室での実習と解説、という割合で進めたい。なお、実習室のパソコンは計36台であり、1台につき3人が限度であるため、受講者数は約80名が上限である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (4) 〔コンピュータと情報〕	さくま たく や 佐久間 拓 也	全学科・短国・短英 (経営除く)	4

講義の内容・
授業スケジュール

まずコンピュータの基本的な仕組みと操作法について学び、ワープロ等の一般的な利用を修得する。またコンピュータネットワークについて学び、それを用いた情報の収集・発信方法について解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1), (2) 〔人類の進化〕	え とう もり はる 江 藤 盛 治	全学 科 短国・短英	4

講義のねらい

生物としての人類について、自然人類学の視点から考察を加え、文化をもつ唯一の動物といわれている人類を総合的に理解することを目的とする。人類は生物に違いないのか、動物だと言い切って間違いないのか。常識とされているはずのことについて検証を加えてみることから始まり、過去から現在に至る道程のなかから、動物としての人類の本質を探り、また人類の将来をみつめてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、まず人類学(自然人類学)とはどんな学問か、というオリエンテーションから始める。3本の柱をおく。『進化』『変異』『適応』である。中心となるのは『進化』であるが、『進化』は長いタイムスパンのなかでの形態的『変異』としてとらえられる。同時代における形態的『変異』としては、たとえば人種差があり、また同一人種内にみられる個体変異もあり、同一個人の成長・老化も生涯にみられる形態変異にはかならない。『適応』とは、人類が生きていくために、自然環境や自らの作り出した人為環境に対して、生物としてどのような仕組みで対処して来たのか、あるいは、しているかと言うことであり、つきつめて考えれば『進化』も『変異』も『適応』の所産にはかならない。要するに『進化』も『変異』も生物学的な「種」あるいは「個体」の環境に対する遺伝的『適応』と密接に関わっている。

自然界におけるヒト(Homo sapiens, 1758年 リンネの命名による)の位置、とくに動物界での分類上の位置づけを明らかにする。ヒトは、リンネによって脊椎動物(分類上の門、以下おなじ)、哺乳類(綱)、霊長類(目)、人類(ヒト科)のなかにヒト(属)(ホモ)、ヒト(種)(サピエンス)として分類されている。比較解剖学、比較発生学の見地から、哺乳類の動物としての多様性、霊長類の形態学的、生態学的特徴を解析する。

後期は、古生物学的知見に基づき人類の祖形の出現から始まる人類進化のあとをたどることになる。樹上生活の霊長類から、地上生活の人類への転換、二足歩行のはじまり、直立二足歩行の完成、身体の移動からの上肢の解放、石器その他の道具の発明、大脳半球の容積拡大、知的活動のはじまり、これらの結果として、他の動物たちにはない「文化」、すなわち「生物として生きていく営みを補うために、人類が編みだした生活技術」を身につけることになった。

『進化』は現在でも進行中と考えられている。現生の人類にみられる種内『変異』としての「人種」の形成の過程について考察を加え、さらに自然環境あるいは人為環境に対する人類の『適応』の行われかたについて最近の学説を紹介する。簡単な「人類遺伝学」入門に触れる事になる。

人類はまことに特殊な動物である。汝(なんじ)自身を知らなければならない。

履修上の留意点

予備知識はとくに必要としない。できれば中学校程度の生物学の知識を思い出していただければ有り難い。なるべく平易に講義する。板書が多いから、できるだけ出席してほしい。原則として出席はとらない。各自の自覚にまづ。

成績評価の方法

後期末に、課題をだしてレポートを提出してもらう。毎年、課題に関係のない内容のレポートや、随筆が多く不合格になっているので注意してもらいたい。

参考書等

教科書は使わない。参考書は、必要に応じて紹介する。とりあえず、下記のを挙げておく。
○埴原和郎：人類進化学入門・増補版、中公新書294、昭和63年4月、第19版、中央公論社。
○香原志勢：人類生物学入門、中公新書382、1975年1月、初版、中央公論社。

その他

参考資料としてプリントを配布する。整理して保存すること。なお、数回ビデオ・テープによる解説、骨格標本による示説をする。欠席しては見られない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (1) (ヒューマン・ウォッチング)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『人間理解の科学 ― 心理学への招待 ―』 ナカニシヤ出版 ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) (ヒューマン・ウォッチング)	よこ やま つよし 横 山 剛	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加して下さい。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』 八千代出版

参 考 書 等

霜山徳爾編『臨床心理学』 学術図書出版

そ の 他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (3) (ヒューマン・ウォッチング)	いた っ ひろ 板 津 裕 己	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科毎に配当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する基本的姿勢に一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容をいくらか変えていきたいと考えています。

「ヒューマン・ウォッチング」は、一般に「人間（行動）観察」と解されています。しかしながら、本講義では、このような狭義の意味にとらわれず、広く人間の行動を理解していく上に参考になるような話をしていきたいと考えています。

そこで、まず、心理学とはどのようなものか、そのもっとも基礎的な理解をしてもらうために、

- I 心理学と科学について
- II 心理学の意図するもの
- III 心理学の主要研究領域とその概略

についてふれた後、

- IV パーソナリティ、臨床心理学、社会心理学などの各研究領域で人間の行動やその行動理解に関連することから

にふれ、最後に

- V 自己（行動）理解、他者（行動）理解に関する問題

を扱っていきます。

1年間の講義進行計画を記したプリントを4月第1週に配布します。

また、年度末試験のほか、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教 科 書

教科書は開講時に指示します。また、教科書とは明示せずに講義内容を理解していく上で読んで欲しい文献という形で書籍などを例示する場合もあるでしょう。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

そ の 他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (4) (ヒューマン・ウォッチング)	まき の 野 すずむ 晋	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

「心理学」という分野は、皆さんが大学に入学してから初めて目にする科目だと思います。心理学という名前から、この科目を履修することで人の心が読めるようになったり、超能力や超自然現象の話が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら、心理学はこれらの領域とは違います。では、どう違うのか。

心理学はヒトの、見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活におけるさまざまな行動について分析したり、あるいは、認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて、人間を理解しようとする学問だと言えます。

講義では、非常に広い範囲を持つ心理学の各領域について概観し、その基礎的知識を解説するとともに、心理学の「科学的アプローチ」とはどのようなものであるかを理解してもらいたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の領域は多岐に渡っています。ですから、前期・後期を特に区別しません。基本的には通年で、心理学の代表的な各領域について、一領域あたり1～3回の講義時間でお話ししたいと思います。

具体的には、初めて心理学に接する皆さんのために、まず「心理学とはなにか」といった項目から出発し、「史的概観」や「心理学の研究方法」などをまじえて講義します。次に、「外界を知るはたらき（感覚・知覚）」、「行動の変容（学習）」、「記憶の世界（記憶）」、「ひとを動かしコントロールするもの（動機づけ・感情と情動）」、「ひととしてのまとまり（パーソナリティ・知能）」、「発達」、「社会的行動（社会心理学）」、「認識のメカニズムを探る（認知）」といった各領域について解説します。主に従来の研究成果をもとに、できるだけ皆さんの日常生活に関連づけながら解説していきたいと考えています。

また、講義の間に適宜、実際に皆さんに実験を行ってもらい（年間で3～4回程度を予定）、心理学の研究方法にはかせない、実験の研究も体験してもらおうと思っています。昨年度は、重さの弁別、系列位置学習、記憶の変容などについて実験を行いました。

履修上の留意点

基本的に毎回の出席はとらないつもりです。しかし、「学びたい人が学びにくる」という方針にするつもりですから、出席する以上は真剣に授業に参加してください。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価します。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして総合的に評価します。

教科書

- ・中村昭之編『心理学概説』八千代出版
授業中に図表などを参照してもらうことが多いので用意してください。
- ・その他、授業中に配布するプリント類

参考書等

- ・斎藤 勇編『心理学ビギナーズトピックス100』誠信書房
初めて心理学を学ぶ人にも非常にわかりやすい入門書。日常生活の中でのさまざまな現象と心理学とがどう関係しているかを知るのによい。
- ・田島信元編『心理学キーワード』有斐閣双書
ある一つのテーマについて見開き完結型でわかりやすく解説した入門書。

その他

一般的な講義のほか、ビデオやOHCなども活用したいと考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (5), (7) (人間関係を考える)	たか 高 はし 橋 よし 良 ひろ 博	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木 清 編『人間理解の科学－心理学への招待－』 ナカニシヤ出版 ￥2,000

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (6) (人間関係を考える)	すず 鈴 き 木 じゅん 順 いち 一	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですべていただけます。

授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』八千代出版、1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——、ナカニシヤ出版、1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (8) (人間関係を考える)	いた っ ひろ み 板 津 裕 己	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によって形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科ごとに担当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する姿勢には一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容をいくらか変えていきたいと考えています。

「人間関係を考える」というサブタイトルが与えられている本講義では、人間関係を中心として心の問題についてふれていきます。

そこで、まず、心理学とはどのようなものか、そのもっとも基礎的な理解をしてもらうために、

- I 心理学と科学について
- II 心理学の意図するもの
- III 心理学の主要研究領域とその概要

についてふれた後、

IV パーソナリティ、臨床心理学、社会心理学領域などにおける人間関係に関連する基礎事項にふれ、最後に

V 人間関係に生じるような諸問題に対する心理学的な取り組みについて話を進めていきたいと考えています。

1年間の講義進行計画を記したプリントを4月第1週に配布します。

また、年度末試験のほかに、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教科書

教科書は開講時に指示します。また、教科書とは明示せずに講義内容を理解していく上で読んで欲しい文献という形で書籍などを例示する場合もあるでしょう。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

その他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (9) (心を科学する)	たか ほし よし ひろ 高 橋 良 博	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

心理学を初めて学ぶ人を対象にして、なるべく日常的問題に即しながら心理学の主な領域と、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定です。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。具体的には、心理学の課題／感覚・知覚／学習などの基礎的知識などを取り上げる。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各領域に焦点をあててゆく。内容としては、記憶／思考／言語／動機づけ／情動／人格などの領域や治療心理学など臨床関係の説明にもふれたい。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教 科 書

鈴木 清 編『心理学－経験と行動の科学 第2版』 ナカニシヤ出版 〒1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (10) (心を科学する)	か る べ ゆ き ひろ 軽 部 幸 浩	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

「人の心が読める」ようになったり、「超能力や超自然現象の話」が聞けるのではないかと考える人もいるのではないのでしょうか。残念ながら、心理学はこれらの領域とは異なります。

心理学は、ヒトの見る・聞く・感じる・考える・覚えるなどといった、日常生活における種々の行動について分析したり、あるいは、認識のメカニズムを探るといったアプローチを通じて、人間の心の活動を科学的に解明しようとする学問と言えます。

講義では、心理学とはどのような学問か、その研究方法・研究対象・および意義について講義し、さらにこれまでの研究成果をもとに具体的事例に即して紹介していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

種々の心理学の領域について説明・紹介をおこなっていききたい。また、皆さんが興味を持った分野では多少、多くの時間を費やし講義をおこないたいと考えている。

また、講義の間に適宜、実際に簡単な実験をおこなってもらい（年間で2～3回程度を予定）、心理学の研究方法には欠かせない、実験的研究も体験してもらおうと思っている。

履修上の留意点

この授業を履修する以上は、真剣に授業に参加すること。

成績評価の方法

原則として、学年末の筆記試験の成績によって評価する。しかし、実験への参加や実験レポートの提出、その他の提出物なども参考にして総合的に評価する。

教 科 書

・中村昭之編『心理学概説』 八千代出版

参 考 書 等

・授業中に配布するプリント類

そ の 他

一般的な講義のほか、ビデオ等々も活用したいと考えている。また課題の提出はワープロで作成されたもののみとする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (11) (心を科学する)	いた っ ひろ み 板 津 裕 己	全 学 科 短国・短英	4

講義のねらい

心理学は、人間の諸行動について実証的に考えていくことで、「人間について」「自己について」を明らかにしていこうとする学問です。昨今マスコミなどで話題にされている心理学関連の情報は、実際に行われている心理学研究の一部、または、それを一般受けするように脚色されたものであるということをあらかじめ承知しておいてください。そして、ほかの学問と同様に、またそれ以上に、ただ知識を得るだけでなく、それを実際の生活に活かしてはじめて研究成果が活かされていく学問です。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は講義形式を中心とします（履修者数によっては形式を変更する場合があります）。従来、心理学科目は学科ごとに担当されていましたが、本年度からは全学科の学生が時間や内容を検討して選択できるようになりました。それとともに、サブタイトルがつけました。そこで、心理学に対する基本的姿勢には一貫性を持たせつつも、サブタイトルごとに講義内容を変えていきたいと考えています。

「心を科学する」というサブタイトルが与えられている本講義では、心理学研究の全般について扱っていきます。

内容的には、まず、

I 心理学と科学について

II 心理学の意図するもの

についてふれた後、

III 各研究領域で行われている研究の概略

（取り扱う領域は、4月第1週に配布するプリントに記します）

について、1ないし2時間単位にて話を進めていきたいと思えます。今日の心理学研究は、非常に多くの領域にわたっています。1年間という限られた時間ですが、できるだけ広い領域に関連する研究を紹介していこうと考えています。

講義内容と日程などを記したプリントを、4月第1週に配布します。

年度末試験のほかに、前期試験、および、テーマの区切りのいくつかで、講義時間内に小テストを実施します。

成績評価の方法

出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合して年度評価をおこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート（前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと）については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

教 科 書

「心理学概説」（中村昭之編 八千代出版）を教科書として使用します。そのほか、必要に応じてプリントを配布します。また、参考書やレポート作成に際して必要な文献は、その都度紹介していきます。

そ の 他

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容や進行日程などの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修を考えている学生は、第1週に必ず出席し（その際は、本講義内容（計画）を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持ち、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努めてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (12) (心を科学する)	なか まる 中 丸	全 学 科 短 国・短 英	4

講義のねらい

「超能力は、存在する。」
「私は、あの人のことが好きだ。」
「このおまじないは、とっても効くんだ。」
「江ノ島に行ったカップルは別れる。」
日常生活の様々な場面で、耳にする会話。
日常生活の様々な場面で、目にする行動。
心理学は、人間の行動（言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、自然科学の一分野であり、行動の科学と定義され、行動の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行なわれる。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行なう。講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何だ？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ ハトによるデモンストレーション
6. 行動分析学Ⅲ 月にむかって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー7
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ効果
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学Ⅰ 幽霊は乗り物が好き
11. 心霊現象の心理学Ⅱ 狐つきののはなし
12. 人格心理学 社交的な人は朝が弱い
13. 社会心理学Ⅰ 行動と心は一致するのか？
14. 社会心理学Ⅱ 人を好きになるとき
15. 超能力の心理学 運命を科学すると？
16. 感情の心理学 感情と意志
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 無意識の心理学 空飛ぶ円盤は存在するのか？
20. 宗教の心理学 神社の石段の数
21. スポーツ心理学Ⅰ コーチの方法
22. スポーツ心理学Ⅱ イメージでも疲労する？

履修上の留意点

講義は、プリントを中心に行ない、毎回、参考文献や図書の紹介を行なう。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握出来るというものはなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。

成績評価の方法

筆記試験とレポートの提出が、それぞれ年2回あり、成績はそれらの絶対評価によって行なう。試験への参加——不参加、レポートの提出——未提出は、学生の自由であり、得点は累積データとして処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教 科 書

なし

参 考 書 等

SUPER STRING SR21編 1995『あしたのジョー』心理学概論』中央公論社
中村昭之編 1982『心理学概説』八千代出版
ジルバルドー、P. G. 1983『現代心理学Ⅰ～Ⅲ』サイエンス社
佐藤方哉 1976『行動理論への招待』大修館書店
ベネット、A. ら 1984『認知心理学への招待』サイエンス社 その他

そ の 他

授業は、基本的に簡単な実験を体験してもらいながら行なっていく。また、ビデオを使用した授業も行なうこともあり、教場変更の情報には、特に注意すること。

学生と教員間のコミュニケーションは、講義についての意見（悪口大歓迎）・感想として、毎回受け付けるので、どんどん提出するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎物理学（前期）	し み ず た だ よ し 清 水 忠 良	短 放 1 選	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。近代（20世紀）の物理学で特に著しく医療に係わりの深いX線の発見と原子構造（主に水素）についてを材料にする。とりあえずこれらの世界の言葉の渦の中に浸っていただく。特に、現象と実験の関係を実際の歴史から採用する。予備知識は特に必要はない。問題意識としては丸暗記した知識は役に立たないこと。とくに百科事典、その他のメディアの情報には、簡単な基礎概念に対しても様々な表現があり、言い回しがあること。常識的に信用があるとされている情報にもピンからキリまでであること。信頼できる情報を集めること。以上のことを身をもって体験することである。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、数回にわたって、学生に担当を決めて、以下の質問事項について調べ、発表してもらう。このときには何を参考にしてもよい。特に重視するのは、結果がどのような手段を用いて結果が得られたかを知ること。もし、簡単に実現できそうであれば実験をする。

- X線の発見
- 電子の発見
- 水素スペクトルとは
- ネオンの色
- 光電効果とは
- 原子核とは
- 周期律表と原子構造
- 単位系
- 虹はなぜ円い？
- ネオンの色
- その他

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

1. レポート
 2. 実験
 3. 質疑応答
 4. 調査・検索
- の4項目について点数化して総得点

教 科 書

特になし

参 考 書 等

特になし

そ の 他

討論，ゼミ，講義形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎化学（後期）	た じ ま 田 島	たかし 隆 短 放 1 選	2

講義のねらい

昨今の高校における理科の教科の履修方法では「理科 I」で化学の初歩を学んでも、「化学」を履修せず、他の科目で単位を取得してもよいので「化学」を履修してこない学生が多々いる。これ等の学生にとっては必修科目「放射化学序論」の講義の理解が困難な者が多い。「放射化学序論」では、出来る限り初歩的な、基礎レベルから講義をしているが「化学」を履修してきた学生との格差を埋めるのには充分とは言えない。

そこで、化学の学力が充分ではない学生、「放射化学序論」を聞いても理解のできない学生のために、その補習として演習形式により行う。化学の基礎的事項から「放射化学序論」で講義した重要事項についてまでを、問題として作成し、それ等の問題を解くことにより、これら基礎事項、重要事項を理解せしめ、応用力が身につくようにする。

講義の内容・授業スケジュール

a) 原子、分子、モルに関する問題

化学で量的に物質や化学変化を扱う時に基本となるモルの概念とその扱い方が十分に理解されていないと、化学そのものが理解できない。従ってモルを自由に使いこなせるようにする。

b) 化学結合に関する問題

分子軌道法の考え方について高校では殆んど扱っていない。物質の構造や性質を考える上では、この分子軌道法を導入することで理解しやすくなる。また水素結合も重要でありこれ等化学結合を詳細に理解できるようにする。

c) 化学平衡、電離平衡、pHの計算問題

質量作用の法則は不可逆反応でなければ広く通用する法則であって、それを十分に理解した上で、pHの計算法に関する問題を解く。緩衝溶液の緩衝能の計算も行う。

d) 酸化還元反応の式の作り方

酸化数についてのルールについては記憶して、その酸化数を用いて酸化還元反応の量的関係を電子の移動数として理解させる。

e) 標準電極電位と電位差の計算問題

酸化還元反応を電池と考え、その電位差を計算して、反応の進行について考える。

f) 反応速度と活性化エネルギーの計算

化学反応を理解する上でも、放射性核種の壊変についても、また生体触媒である酵素反応についても広く応用する計算であるから、基礎的事項として理解すべき問題である。

g) 化学熱力学

熱力学の第1、第2法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念とその数量的扱い方、計算法の理解をする。

h) 吸光度の計算

比色分析をする上で必要な吸光度の計算法とその応用に関する理解をする。

履修上の留意点

高校で「化学」を履修しなかった学生、履修をしても学力が不十分だと自覚している学生を対象としている。また「放射化学序論」の講義を充分理解できない学生も選択履修をして欲しい。昨今の状況では、以上選択履修して欲しい学生は敬遠して選択せずに、逆に化学を得意とする学生が単位取得を目的のために履修するケースが目立つ。これはこの演習の目的から外れるものであって、好ましい傾向とは云えない。

問題は事前に配布するので、各自で問題を解いて欲しい。学生に解答して貰い、その解説を各問題ごとに行う。しかし、問題を解いて来ない学生、化学の出来る学生の解答を単に写してくる学生が居ると、演習の目的は達成できない。正解を写して事終われりとするならば、理解不十分のまま終わってしまう。

あくまでも自力で解く努力をして欲しい。例え間違っている、それなりの解答を出す努力をして、正解を示されたのを見たら、自分がどの点が間違っていたのか、どの点の理解に不足があったのか、わかる筈である。こうした努力が学力を養成すると考えて欲しい。

どうしても判らない場合には質問に来て欲しい。ただ質問に来る場合には全く判りません全部教えて欲しいという場合には答えないことにしている。ここまで解いたが、その先が判らない、またどうしてここで1/2にするのかと云った質問には、その解答を出すヒントを与えて考えて貰うことにしている。質問によっては、講義中に行った説明と同じ説明をすると納得する場合があるが、これは講義を聞いていなかったに相違ない。講義中には集中力を欠くことのないようにして欲しい。

成績評価の方法

(各時間小テストの平均+定期試験) × 1/2 = 成績

教科書

プリント

参考書等

「放射化学序論」の教科書

科目名	担当者名	配当学科	単位
計算機言語概論 (前期)	すぎた 杉田 徹	短放1選	2

講義のねらい

診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件といってよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自からのものとしていることである。この授業では、初心者向けの言語であるBASIC高級言語を学び、それを用いてプログラミングの実際を習得する。情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンピュータの構成
2. コンピュータ言語の基本理論
3. BASIC言語
4. パーソナルコンピュータによる実習

履修上の留意点

キーボード操作に慣れること。
アルゴリズム的発想の習得とその活用に関心を持つ。

成績評価の方法

実習の結果と定期試験により成績評価を行う。

教科書

コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』（サイエンス社） ¥1,854

その他

選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎数学 (前期)	たけなか 武中 英治	短放1選	2

講義のねらい

放射線にかかわる専門教育科目を学修する際に必要な数学の基礎を学ぶために、高校における数学の復習を兼ねて設置された科目である。履修方法では、教養教育科目の自然分野から2科目4単位を修得することが卒業要件となっている。基礎数学は選択科目の一つであるが、高校での数学をあまり理解していない場合は、卒業要件とは切り離しても履修することが望ましい。主として専門教育科目の履修に当たって必要と思われる項目を中心にして講義をすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

高校数学の復習と専門教育科目である応用数学に必要な基礎的事項を中心とした内容で、以下の順序にしたがって講義する。
1. 関数 2. 微分とその応用 3. 積分とその応用

履修上の留意点

講義内容に関連する演習問題をあらかじめ与えるので、各自で解くよう心掛けて欲しい。数学の方は授業を受けたり、教科書・参考書を読むことだけで培われるのではなく、多くの問題を自ら解くことによって達成されることを理解して欲しい。

成績評価の方法

年度内に行う数回の試験（中間テスト、定期試験など）の結果によって評価する。

教科書

矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 生 物 学 (後 期)	し 清 み づ よ し か ず 水 善 和	短 放 1 選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経た歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、あらゆる生物の細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が存在し、この遺伝子のコントロールのもとですべての生命活動が営まれている。生命活動のどの部分をとってみても遺伝子と無関係なところはないといってよい。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げるテーマは、生体を構成する物質、遺伝子とその発現の仕組み、発生と老化、免疫と生体防御、脳と情報伝達、性と生殖、遺伝と遺伝病、動物の行動、系統と分類、進化と進化論、地球生態系などを予定している。高校の生物学の知識は前提とせず、基本的な事項から初めて先端の理論の紹介まで順を追って進めていく。また、バイオテクノロジー、エイズ、生殖革命など関連する社会問題についても折りに触れて言及する。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席を勘案して評価する。

教 科 書

特定の教科書はなし、参考書は適宜紹介する。

そ の 他

板書中心の講義形式。毎回、図表のプリントを配付する。

教 養 教 育 科 目
総 合 分 野

教 養 教 育 科 目

総 合 分 野

総 合 Ⅲ (1)〔人権と社会問題〕	(ピアス, D. M.)	121
総 合 Ⅲ (2)〔欧米の教育と日本の教育〕	(岡 崎 寿一郎)	121
総 合 Ⅲ (3)〔中国の内と外 — 伝統・現代・華僑社会 — 〕		
	(前期:松 本 丁 俊)	122
	(後期:小 川 隆)	122
総 合 Ⅳ (1)〔ジェンダーと社会〕	(西 村 祐 子)	122
総 合 Ⅳ (2)〔アメリカの黒人問題〕	(中 尾 俊 光)	123
総 合 Ⅳ (3)〔ポスト・モダンの世界〕	(丸 小 哲 雄)	124
総 合 Ⅴ (1)〔イギリス文化探訪〕	(川 股 陽太郎)	125
総 合 Ⅴ (2)〔メルヒェン — グリム童話を中心に — 〕		
	(栗 原 万 修)	126
総 合 Ⅴ (3)〔フランス文化探訪〕	(前期:小 玉 齊 夫)	127
	(後期:加 藤 節 子)	127

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

This English course is more difficult than any other English course you can find; I want you to experience studying something in English instead of studying English. The purpose is to prepare you for international study; I want you to experience taking a university-level course in a foreign country before you leave Japan to study in a foreign country. The experience will save you a lot of time and money, and you will have more success studying abroad. This course will not teach everyday English conversation or simple reading, but you will have a lot of practice in how to carry on an intellectual conversation in English. The lectures, your compositions, and your conversation practice will be about worldwide social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, money, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Although this course is your best chance to master an advanced level of English, it is much more valuable than just that. The main purpose of my life to teach problems such as these, and once you deal with these topics in this course, you will never be able to stop thinking about them for the rest of your life.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか ぎま とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学、体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、今回、新カリキュラムによって改変されます。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3000校、日本は、約1000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (3) (中国の内と外-伝統・現代・華僑社会-)	[前期] 松 ^{まつ} 本 ^{もと} 丁 ^{あつ} 俊 ^{とし} [後期] 小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

中国の人と社会を内と外から見てみようとする講義科目。内と外というのには、中国国内の状況と国外の華僑・華人社会の状況とを併せて見てみるという意味と、目に見える現象とそれを内から支える思考や情緒とを双方向的に考えるという意味とがこめられている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は松本が華僑・華人社会について講義し、後期は小川が中国国内の状況について紹介する。いずれにおいても、現在進行しつつある最新の状況とともに、それに至るまでの歴史的・伝統的な経緯についても解説を試る。前期においては、移植史・人口の分布状況・組織と活動・文化教育・経済活動・社会生活などのテーマが講ぜられ、後期においては、現代史の概略・改革開放の過程と問題点・家族観の変容・食糧危機と人口危機・日中関係の概況・日中のコミュニケーションギャップ等々のテーマがとりあげられる予定。

履修上の留意点

講義は日本語の資料・文献を用いて行なわれるので、中国語を履修していなくても問題ない。ただ、何らかの形で中国語を学んでいれば、内容の理解はいっそう深まるであろう。また中国・台湾・韓国などアジア各地の留学生諸君が参加され、それぞれの意見や経験を紹介して下さることを切望する。

成績評価の方法

前後期各1～2回のレポートによって行う。

教科書

教科書は特に定めず、適宜プリントを配布する。参考書はテーマごとに授業の中で紹介してゆく。もし条件が許せばビデオも使用したい。また皆さんじしんも、日頃からテレビや新聞の中国報道に留意したり、中国映画をしてみるなどして、知識と情報の獲得に努めてほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅳ (1) (ジェンダーと社会)	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

ジェンダー関係(当該社会における様々な男女分業体制と、そこに反映される社会的価値づけさらに様々な男女のカテゴリー、そしてその意味付け等)の研究は今や人文・社会科学分野のみならず地球環境を考えるうえで欠くことの出来ないアプローチである。このアプローチは70年代以降世界的なアカデミズムの潮流として各分野で既に定着しているが、日本ではまだその重要性が十分理解されていないのが実情である。この為本講義は入門編として、また英語力の実力養成編としての意味をもつものである。社会科学分野(特に社会人類学、社会学)におけるGender Studies, および Women's Studies と呼ばれるジェンダー論の入門部分を、地域研究と絡めて取り上げる。授業では、ジェンダー的視点による新しい社会関係と社会の構造を、複数の社会に於て概観してゆく。

講義は以下のような概略で進められる(ⅡとⅢは前後することもある。)

- I. 序論
- II. 資本主義社会におけるジェンダー(英国その他)
- III. アジア、アフリカ、南アメリカ社会等におけるジェンダー
- IV. 入門編のまとめ

受講者は最終レポートとして「地球環境とジェンダー」というテーマでの英文レポートを求められる。尚、講義は全て英語でおこない、レポート提出も全て英語(全てコンピューターもしくはワードプロセッサでタイプ・アップのこと)とする。このため受講者には第一回の授業のうちに簡単な試験が課され、パスした学生のみが受講出来る。定期試験その他の試験は行わないが、英語でのレポート提出が月に1回あり、これにより成績評価される。レポート提出の為、英文ワードプロセッシングが出来ることが提出の最低条件である。授業ではほぼ毎回英語版ビデオを用い、様々な社会を見聞してゆく。

参考書等

参考書・文献その他は授業中に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔アメリカの黒人問題〕	なか お しの とう 中 尾 俊 光	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

講座名を「アメリカの黒人問題」としました。アメリカの「黒人」が好む呼称の変化は次の通りです。

	1969	1979	1989	1993
アフリカン・アメリカン	—	—	23%	28%
アフロ・アメリカン	10%	1%	—	—
ブラック	19%	72%	66%	37%
カラード	20%	12%	—	—
ニグロ	38%	9%	—	—

(「ワシントン・ポスト」 1994.1.23より)

以上のような変化は「黒人」自身のアイデンティティの意識の変化を表わしているといえるでしょう。最近では日本でも「アフリカン・アメリカン」が採用されつつあります(「NHKラジオ英会話」1995.10月号)。それにもかかわらず、「黒人」を採用したのは、日本での現実認識を鑑みる時、この呼称が最も一般的と思われるからです。

アメリカの黒人は過去から現在に至るまで様々な重い問題を負わされてきました。そしてこのような黒人の現実、高々と掲げられてきた「アメリカ民主主義」の理念とどのような関係にあるのでしょうか。黒人が抱えている重い諸問題と、そのような現実を内部に抱えている「自由と平等の国・アメリカ」。このような観点をふまえて「アメリカの黒人問題」と題しました。

アメリカのいわゆる「黒人問題」は、1960年代に高まりを見せた公民権運動の多くの差別撤廃の成果にもかかわらず、今なお未解決のままに残されています。政治的、社会的、そして経済的諸権利について、黒人は法の下での平等をほぼ達成したと考えられますが、黒人大衆の経済状態は依然として改善されていないようです。「人権」や「肌の色」の問題としてというよりも、過去に遡る諸要因によって、アメリカの経済機構の中に差別された状態で組み込まれてしまっていることが、1つの明らかな状態——貧困——となって現われていると思われます(教科書、251頁)。1619年にアフリカ大陸から強制的に「引き剥ぐ」ように「20名の黒人」が初めてアメリカの地に連行されてきました。その時から「アメリカの黒人」の苦しみが始まり、現在に至ります。彼らの苦悩とそれからの解放を求める歴史を辿りながら、そこに見いだされる重要な出来事・事件の意味を、一方の「アメリカ民主主義の理念」と対照させながら考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容(プロローグと10項目)と順序(年代順)に従って、教科書では示されていない重要な事件(裁判等)や問題点をも取りあげ、その意味を考察します。各項目に2時限を当て、とくに重要と思われる「公民権闘争」及び「黒人革命」については、それ以上の時間を当てる予定です。なお、授業の方法は「講義」です。

履修上の留意点

本講座では、知識の修得ということばかりではなく、受講生自身の問題意識を大切に、「人間が共に生きること」の意味を自らに問い続けて下さい。参考書、とくに「アメリカの民主政治(中)」(A. トクヴィル)、「黒人はなぜ待てないか」・「良心のトランペット」(M. L. キング)に目を通して下さい。

成績評価の方法

前後期それぞれに2回(通年4回)のレポート提出、そして「学年末試験」を行います。以上の5点を総合評価します。

教科書

「アメリカ黒人の歴史」, 岩波新書 ¥580

参考書等

1. 「アメリカの民主政治(中)」 A. トクヴィル著, 講談社学術文庫
2. 「黒人はなぜ待てないか」 M. L. キング著, みすず書房
3. 「良心のトランペット」 M. L. キング著, みすず書房
4. 「アメリカ黒人の歴史」 ベンジャミン, クォールズ著, 明石書店
5. 「黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出發」 中島和子著, 中央大学出版部
6. 「キング牧師とマルカムX」 上坂昇著, 講談社現代新書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸小哲雄	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンは、そのような学際的な知の最前線として、固有なもの（アウラ）に出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現として現代史を思想化（＝植民地化する力の露呈）することあります。いわば、この講義の狙いは、時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう保つかということに尽きます。そこで、「ポストモダン」をキーワードに現実世界のテキストの解釈を目指しつつ、プレモダン（前近代）→モダン（近代）→ポストモダン（脱近代）→トランスモダン（横断的近代）を対照的に重層的に講義します。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。またクラス外では廉価な文庫本・新書版愛好者として多く読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」
3. 「モダン」の語源と定義について
4. 言語について；ソシュールの言語観
5. テキストの遍在性について；
6. プレモダン（前近代：絶対王政と重商主義）（17・18世紀）
7. モダン（近代：生産社会の文化）（19と20世紀）
8. ポストモダン（脱近代：消費社会の文化）
9. トランスモダン（横断的近代：モダンとポストモダンの内から外へ）
10. レビュー

成績評価の方法

平常点30％、ターム・ペーパー（レポート作成）50％。さらに、前期、後期に関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだペーパーも提出：20％。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

◇開講時に指示します。

参 考 書 等

◇随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また よう た ろう 川 股 陽 太 郎	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのは、そうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみると、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば、容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとは、イギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

現代のイギリス人、およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングリッド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種の側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。「血」もさることながら、それを決定するのはその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人の侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して始めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白いものが多々見受けられる。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を歓迎する。「文明」と「文化」の区別がつかない学生に、この講座は特に向いていると思われる。

成績評価の方法

レポートと学年末の試験で評価し、この二つの等価に評価する（50点・50点）。レポートはレポート用紙10枚～30枚程度ものを、前期1回（7月）、後期1回（12月）に提出。

教 科 書

教科書は使用しない。レポートを作製するさい、少なくとも数冊の文献を参照すること、また「引用文」には（注）を付け、書名とページ数を記し、その他の参考文献名を記入すること。

参 考 書 等

講義形式をとる。その理解の一助として、視聴覚機材（オーバー・ヘッド・プロジェクター等）を用い、写真、絵図、資料（2,000～3,000枚）を提示しつつ講義を進めていく予定である。また、合理的に講義を進めていくために、必要と思われる資料を適宜配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (2) 〔メルヒェン-グリム童話を中心に〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

〈メルヒェン〉は、日本ではしばしば〈メルヘン〉ともいわれていますが、ドイツ語では、Märchen という綴りです。Märchen の語源は，Mär (またはMäre) ですが，Mär は、「物語，作り話，うわさ，報告」といった意味をもっています。それに-chen という縮小語尾が付いたのが，Märchen です。それで現在，Märchen [メルヒェン] にはいろいろな意味が含まれています。例えば日本語では、「童話，おとぎ話，童話，民話」などと訳すことができます。ですから，一般にグリムの場合は「童話」と訳されていますが，「昔話」または「おとぎ話」でも一向にかまわないわけです。しかし本当は，本来のMärchen の総括的な意味をもつ日本語の訳語がないのでそのどれもが正しくないともいえます。そういうわけで，総括的な意味では原語の〈メルヒェン〉が訳語なしで，そのまま〈メルヒェン〉として使われていると考えてください。

ところで，本講座ではその〈メルヒェン〉について，歴史的な成り立ちや時代推移を，グリム童話を中心に考察していきたいと思います。現在，世界中で聖書の次に広く読まれているといわれているグリムのメルヒェンは，どうして出版されたのか，そもそもグリム兄弟とはどんな人たちだったのか，そして最終的に210篇におよんだグリム童話(メルヒェン)は〈現在〉どんな意味をもっているのか，日本にはどのように移入されたのか，また他の国との関係は等々を，できるだけわかりやすく説明していきたいと思います。とくにテキストは決めません。必要に応じて図書指定や資料の配布は教場で行います。できるだけ一方通行的な講義ではなく，受講者も積極的に発言をし授業に参加するような講座にしたいと思います。ですから単に単位がほしいという人ではなく，本当にメルヒェンに関心のある人だけの受講を望みます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 V (3) 〔フランス文化探訪〕	〔前期〕 小 ^{だま} 玉 ^{なり} 齊 ^お 夫 ^こ 〔後期〕 加 ^か 藤 ^{とう} 節 ^{せつ} 子 ^こ	全学科・短国・短英 (文学部除く)	4

講義のねらい

〈前期〉

これまではフランス文化についての概論的な講義が行われていなかったため、中級（ⅡA、ⅡB）程度のフランス語授業であっても、例示されることがあるいは比較される事項等についての知識が不十分で、そのため、ややもすれば理解の深度に欠けるところが多かったように思います。そこで、新しいカリキュラム発足にともない、「フランス文化探訪」という標題で、きわめて「常識的」ではあれ、フランス語・フランス文化を身近にする際に必要なことからについての紹介・提示を行い、語学の授業の側面からの補完となし得たいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

およそ10回にわたる授業を、地理的・歴史的・文化的側面に3分し、それぞれを、主要な術語・人名・事件名等の挙例をとおして、全体的な〈フランス文化〉像をさぐり抽出する契機とする予定です。具体的には、ビデオ教材に描かれた〈フランス文化〉の在り様を、自身の眼をとおして、再構成する作業が、受講者には求められることになります。

履修上の留意点

〈文化〉は、単に眺めるための対象でもなく、あるいは「知ったかぶり」をするための素材でもありません。願わくば、文化的差違の把握を、より拡大され柔軟となった「文化意識」によって、試み展開して行ってほしいと思います。

成績評価の方法

受講者には、数篇の「記述」が課せられることになると思います。

教 科 書

教科書は用いません。参考となる書籍については、そのつど、指示します。

講義のねらい

〈後期〉

後期はやや趣をかえて、主としてフロラ・トリスタン、ジョルジュ・サンド、ダニエル・ステルンという三人の作家を通して十九世紀のフランス社会について考察したい。ルイ＝フィリップの七月王政下に活躍したフロラ・トリスタン、二月革命と第二共和制に積極的に参加したジョルジュ・サンド、ダニエル・ステルたち女性作家、運動家たちの目を通して激動の十九世紀の一面をみてゆく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

これらの女性はいずれも波乱万丈の生涯をおくっている。彼女達の生涯をたどると共に、彼女達の著作を紹介する。これらによってこの時代の背景や彼女達の思想や社会へのプロテストを理解することになるだろう。

履修上の留意点

その都度、翻訳書のあるものを紹介したり、プリントを配布する予定である。

成績評価の方法

レポート提出。

参 考 書 等

授業中に指示。

外 国 語 科 目



外 国 語 科 目

必修・選択必修科目

外 国 語 科 目

《必修・選択必修科目》

〔英 語〕

英	語	I A		141
英	語	I B		172
英	語	I C (会話)		202
英	語	II A		204
英	語	II B		238
英	語	I	(田 中 保)	255
英	語	I	(大 川 浩)	255
英	語	I	(大 川 浩)	256
英	語	I	(町 田 尚 子)	256
英	語	I	(高 野 秀 夫)	257
英	語	I	(吉 沢 栄 治 郎)	257
英	語		(町 田 尚 子)	258
英	語		(田 中 保)	258
英	会 話	I		259
英	語	LL I		264

〔ド イ ツ 語〕

ド イ ツ 語	I A	(1)(6)(9)	(松 岡 晋)	271
ド イ ツ 語	I A	(2)	(清 水 修)	271
ド イ ツ 語	I A	(3)(4)	(織 田 繁 美)	272
ド イ ツ 語	I A	(5)	(杉 本 正 俊)	272
ド イ ツ 語	I A	(7)	(井 村 行 子)	273
ド イ ツ 語	I A	(8)	(飯 塚 公 夫)	273
ド イ ツ 語	I B	(1)(4)	(岡 本 時 子)	274
ド イ ツ 語	I B	(2)	(栗 原 万 修)	274
ド イ ツ 語	I B	(3)(5)	(前期:百 濟 勇) (後期:松 本 洋 子)	275
ド イ ツ 語	I B	(6)	(野 島 利 彰)	275
ド イ ツ 語	I B	(7)(8)	(河 上 和 史)	276
ド イ ツ 語	I B	(9)	(新 倉 真 矢 子)	276
ド イ ツ 語	I C (会話)		(松 岡 晋)	277
ド イ ツ 語	II A		(松 本 洋 子)	277
ド イ ツ 語	II A		(野 島 利 彰)	278
ド イ ツ 語	II A		(栗 原 万 修)	278
ド イ ツ 語	II A		(野 島 利 彰)	279

ドイツ語 II A	(柴野博子)	279
ドイツ語 II B	(野島利彰)	280
ドイツ語 II B	(松本洋子)	280
ドイツ語 II B	(吾妻雄次郎)	281
ドイツ語 I	(吉田文子)	281
ドイツ語 I	(吾妻雄次郎)	282
ドイツ語	(吉田文子)	282
ドイツ語	(吾妻雄次郎)	283

[フランス語]

フランス語 I A (1)(7)	(小玉齊夫)	287
フランス語 I A (2)	(竹田正純)	287
フランス語 I A (3)	(加藤節子)	288
フランス語 I A (4)	(佐藤久美子)	288
フランス語 I A (5)	(芦原 眷)	289
フランス語 I A (6)(8)	(野沢 協)	289
フランス語 I A (9)	(伊藤 なお)	290
フランス語 I B (1)(4)	(野沢 協)	290
フランス語 I B (2)(5)	(前田祝一)	291
フランス語 I B (3)	(遠山博雄)	291
フランス語 I B (6)(8)	(千石玲子)	292
フランス語 I B (7)	(菅原 猛)	292
フランス語 I B (9)	(竹田正純)	293
フランス語 I C (会話)	(小玉齊夫)	293
フランス語 II A	(前田祝一)	294
フランス語 II A	(菅原 猛)	294
フランス語 II A	(菅谷 暁)	295
フランス語 II A	(小玉齊夫)	295
フランス語 II A	(加藤節子)	296
フランス語 II B	(竹田正純)	296
フランス語 II B	(前田祝一)	297
フランス語 I	(竹田正純)	297

[中国語]

中国語 I A (1)	(釜屋 修)	301
中国語 I B (1)	(釜屋 修)	301
中国語 I A (2)	(徳永 淳子)	302

中国語 I B (2)	(小川 隆)	302
中国語 I A (3)	(塩旗 伸一郎)	302
中国語 I B (3)	(塩旗 伸一郎)	302
中国語 I A (4)	(未定)	303
中国語 I B (4)	(未定)	303
中国語 I A (5)(11)	(前川 亨)	303
中国語 I B (5)(11)	(前川 亨)	303
中国語 I A (6)	(李 雲)	304
中国語 I B (6)	(下出 宣子)	304
中国語 I A (7)	(小川 隆)	304
中国語 I B (7)	(小川 隆)	304
中国語 I A (8)	(塩旗 伸一郎)	305
中国語 I B (8)	(塩旗 伸一郎)	305
中国語 I A (9)	(戸張 嘉勝)	305
中国語 I B (9)	(釜屋 修)	305
中国語 I A (10)	(未定)	306
中国語 I B (10)	(未定)	306
中国語 I A (12)(15)(19)	(徳永 淳子)	306
中国語 I B (12)(15)(19)	(下出 宣子)	306
中国語 I A (13)	(松本 丁俊)	307
中国語 I B (13)	(松本 丁俊)	307
中国語 I A (14)	(日原 傳)	307
中国語 I B (14)	(岩崎 皇)	307
中国語 I A (16)(20)	(末木 恭彦)	308
中国語 I B (16)(20)	(棟方 徳)	308
中国語 I A (17)	(岩崎 皇)	308
中国語 I B (17)	(岩崎 皇)	308
中国語 I A (18)	(日原 傳)	309
中国語 I B (18)	(松本 丁俊)	309
中国語 I C (会話)	(戸張 嘉勝)	310
中国語 II A		311
中国語 II B		317
中国語 I	(伊禮 智香子)	319

[スペイン語]

スペイン語 I A (1)(6)(8)	(ナバローポロ, L. S.)	323
スペイン語 I A (2)(5)	(中山 直次)	323

スペイン語 I A (3)	(中川 清)	324
スペイン語 I A (4)	(ルイズ ティノコ, C.)	324
スペイン語 I A (7)(9)	(佐藤 紘子)	325
スペイン語 I B (1)(4)	(佐藤 麻里乃)	325
スペイン語 I B (2)	(中川 清)	326
スペイン語 I B (3)(5)	(米田 博美)	326
スペイン語 I B (6)(8)	(瓜谷 アウロラ)	327
スペイン語 I B (7)(9)	(ナバロ, ホワン J.)	327
スペイン語 I C (会話)	(瓜谷 アウロラ)	328
スペイン語 II A	(丹羽 昌一)	329
スペイン語 II A	(福本 久美子)	329
スペイン語 II A	(荻野 雅司)	330
スペイン語 II B	(宮地 達郎)	330
スペイン語 II B	(上野 勝広)	331
スペイン語 I	(佐藤 紘子)	331

〔ロシア語〕

ロシア語 I A		335
ロシア語 I B		336
ロシア語 I C (会話)	(佐野 朝子)	337
ロシア語 II A	(岡沢 宏・木村 英明)	337
ロシア語 II A・ロシア語 II B	(杉山 秀子)	338
ロシア語 II B	(岡沢 宏・佐野 朝子)	338

《必修・選択必修科目 再履修クラス》

英語 I A〔再クラス〕	(小布施 圭佐三)	341
英語 I A〔再クラス〕	(矢島 直子)	341
英語 I A〔再クラス〕	(岸本 茂和)	342
英語 I A〔再クラス〕	(藤島 喬樹)	342
英語 I A〔再クラス〕	(杉村 初枝)	343
英語 I A〔再クラス〕	(塙 美智子)	343
英語 I B〔再クラス〕	(伊勢村 定雄)	344
英語 I B〔再クラス〕	(前期：中尾 俊光) (後期：林 明人)	344
英語 I B〔再クラス〕	(細野 秀子)	345
英語 I B〔再クラス〕	(田中 保)	345
英語 I B〔再クラス〕	(本間 孝一)	346

英	語	I B〔再クラス〕	(三輪久恵)	346
英	語	I B〔再クラス〕	(安齊芳)	347
英	語	II A〔再クラス〕	(川股陽太郎)	347
英	語	II A〔再クラス〕	(佐竹龍照)	348
英	語	II A〔再クラス〕	(町田尚子)	348
英	語	II A〔再クラス〕	(小笠原隆元)	349
英	語	II A〔再クラス〕	(大川浩)	349
英	語	II A〔再クラス〕	(古富猛)	350
英	語	II A〔再クラス〕	(岩原康夫)	350
英	語	II A〔再クラス〕	(朝川真紀)	351
英	語	II B〔再クラス〕	(横森正彦)	351
英	語	II B〔再クラス〕	(杉本誠)	352
英	語	II B〔再クラス〕	(河内賢隆)	352
英	語	II B〔再クラス〕	(山岸二郎)	353
英	語	I〔再クラス〕	(三浦眞理)	353
英	語	〔再クラス〕	(前期：中尾俊光) (後期：林明人)	354
ドイツ	語	IA〔再クラス〕	(柴野博子)	354
ドイツ	語	IA〔再クラス〕	(山本務)	355
ドイツ	語	IA〔再クラス〕	(志真斗美恵)	355
ドイツ	語	IB〔再クラス〕	(松本洋子)	356
ドイツ	語	IB〔再クラス〕	(前期：百済勇) (後期：野島利彰)	356
ドイツ	語	IB〔再クラス〕	(吾妻雄次郎)	357
ドイツ	語	IB〔再クラス〕	(栗原万修)	357
ドイツ	語	II A〔再クラス〕	(栗原万修)	358
ドイツ	語	II A〔再クラス〕	(本橋右京)	358
ドイツ	語	II A〔再クラス〕	(栗原万修)	359
ドイツ	語	II B〔再クラス〕	(本橋右京)	359
ドイツ	語	II B〔再クラス〕	(松岡晋)	360
ドイツ	語	II B〔再クラス〕	(吾妻雄次郎)	360
ドイツ	語	I〔再クラス〕	(山本務)	361
ドイツ	語	〔再クラス〕	(松本洋子)	361
フランス	語	IA〔再クラス〕	(前田祝一)	362
フランス	語	IA〔再クラス〕	(佐藤久美子)	362
フランス	語	IA〔再クラス〕	(浜崎設夫)	363
フランス	語	IA〔再クラス〕	(遠山博雄)	363
フランス	語	IB〔再クラス〕	(菅谷暁)	364
フランス	語	IB〔再クラス〕	(芦原眷)	364

フランス語 I B〔再クラス〕(高橋 薫)	365
フランス語 I B〔再クラス〕(今関 アン)	365
フランス語 II A〔再クラス〕(小玉 齊夫)	366
フランス語 II A〔再クラス〕(井田 清子)	366
フランス語 II A〔再クラス〕(今関 アン)	367
フランス語 II B〔再クラス〕(加藤 節子)	367
フランス語 II B〔再クラス〕(井田 清子)	368
フランス語 II B〔再クラス〕(沼倉 広子)	368
フランス語 I 〔再クラス〕(沼倉 広子)	369
中国語 I A・I B〔再クラス〕(江林 英基)	369
中国語 I A・I B〔再クラス〕(未 定)	370
中国語 I A・I B〔再クラス〕(岩崎 皇)	370
中国語 I A・I B〔再クラス〕(小寺 春水)	371
中国語 I A・I B〔再クラス〕(陳 洲 拳)	371
中国語 I A・I B〔再クラス〕(前川 亨)	372
中国語 I A・I B〔再クラス〕(根岸 政子)	372
中国語 I A・I B〔再クラス〕(布施 直子)	373
中国語 I A・I B〔再クラス〕(李 雲)	373
中国語 II A〔再クラス〕(平石 淑子)	374
中国語 II A〔再クラス〕(菱川 清)	374
中国語 II A〔再クラス〕(渡邊 晴夫)	375
中国語 II B〔再クラス〕(周 璫)	375
中国語 II B〔再クラス〕(菱川 清)	376
中国語 II B〔再クラス〕(渡邊 晴夫)	376
中国語 I 〔再クラス〕(李 雲)	377
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕(丹羽 昌一)	377
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕(宮地 達郎)	378
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕(中山 直次)	378
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕(瓜谷 アウロラ)	379
スペイン語 I A・I B〔再クラス〕(荻野 雅司)	379
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕(福本 久美子)	380
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕(荻野 雅司)	380
スペイン語 II A・II B〔再クラス〕(中川 清)	381
スペイン語 I 〔再クラス〕(佐藤 麻里乃)	381
ロシア語 I A・I B〔再クラス〕(安德ニーナ・木村 英明)	
佐野 朝子・廣田 英靖	382
ロシア語 II A・II B〔再クラス〕(安德ニーナ・廣田 英靖)	382

英

語

英 語 I A

〈英語 I A の授業の内容と履修上の留意点〉

英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業に日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
おお かわ ひろし 大 川 浩	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

入学時の語学力の更なる発展と運用を目的として、英語の口語表現に塾達すべく、第一に英語圏の文化理解のための短文を読み、そこから英米人の思考形態を習得し、次により英語らしい表現能力を培い、あわせて、感情のこもった表現方法を扱った練習問題を行い、最後に英語の運用能力に習熟すべく和文の英語問題を行なって英語の総合力の増進をはかる。

辞書を活用して入念な下調べを行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少を心掛ける。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心として、夏季休暇中に出题されるレポート及び、随時、施行される小テストの成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

『Writing With Idioms 役に立つ口語英作文』 南雲堂 ¥1,400

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
し みず ゆう し 清 水 祐 次	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

平易で自然な英文を書くことに習熟することをめざす。
身近かな日常的な主題をとりあげたエッセイ等の模範文を参考にし、その慣用的なイディオムや語句を利用して、簡単な英文から始めて、更にもう少し高度な英文を書く練習をする。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によつて、総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

『Basic Skills in English (基本英語表現法)』 成美堂 ¥1,600

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
か とり ゆたか 香 取 豊	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

最初は英語の基本的でやさしい文章の暗記に始まり、それを応用した英作文、文法問題等に入ってゆく。それからは徐々に複雑な文章の暗記及び応用へと移行していく。それに加えて口語英語の表現に関する問題も併行して行う予定。

成績評価の方法

普段の授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教 科 書

『英作文 — 日本語とのちがいがい』 朝日出版社

担当者名	配当学科	単 位
こ いずみ きみ ひと 小 泉 公 史	仏教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、すべて平易で自然な流れに沿った話し言葉で書かれている。Jo-Annという大学生が、実生活の体験から人生のあらゆる出来事を綴っていく。Exercisesには、Multiple Choice Questions, Comprehension Check, Translation, Dialogue and Dictationと豊富な言語表現演習が用意されている。本文の中に出て来る文のパターン、熟語、慣用語句に習熟し、日常英語の表現が自由に行えるように、repetitionとrecitationを学習の中心にして授業を行い、簡単な文が書けるようになることを目指す。

成績評価の方法

授業中における発表 (30%)、前・後期の定期試験 (35+35=70) で評価する。
平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『American Life Cycle』 成美堂 ¥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
あお やま たもつ 青 山 保	仏教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活の身近なできごとについて、表現できるようにしたい。まず英語の音声になじむこと、英語の言い回しを覚えること、文章なりパラグラフなりで表現されている概念を素早く把握すること、これらの訓練を前期、後期を通じてみっちり重ねていきたい。英語で話されたことを理解すると同時に、英語でもものが言えるように、その基礎を固めたい。授業では、発表を重視するので、しっかりした予習と復習が欠かせない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題を実施し、宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教 科 書

『日本文化を英語で表現 LET'S WRITE ABOUT JAPAN』 (成美堂)

参 考 書 等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
はき わら てる 萩 原 輝	仏教 1 必	2

講義のねらい

基本的なパラグラフ・ライティングの習得を目標にしたい。パラグラフの仕組みを学び、自分の考えを英文で表現が出来るように練習したい。

講義の内容・
授業スケジュール

英文を書く能力を高めるためには、まずたくさん英文を読み、そこから単語や表現を学ぶことが大切である。そこで、テキストの中に出てくるいろいろな表現を学び、次にそれらを用いて自分の意見や考えを述べられるようにしたい。

履修上の留意点

(a)予習をしておくこと。(b)英和辞典、和英辞典を使うこと。(c)自分の解答を何度も見直してみること。(d)積極的に授業にのぞむこと。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教 科 書

『発信型作文演習——季節の中の日本』
(マクミラン・ランゲージハウス) ¥1,450

担当者名	配当学科	単 位
しまづのぶ 島 津 信 子	国文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年間を通じ、『NHKラジオ英会話』をテキストに採用して、英語を聞くことを習慣化し、よく使う口語表現を勉強する。また、ダイアログを暗記して演じる。もう一冊のテキスト、『アメリカの留学生活』では、日常生活の様々な場面での会話を聞き、それぞれの状況で役立つ表現を学んでいく。その後、聞き取り問題も毎回行って、学んだ表現を耳で聞いても理解できるようにする。そして学んだ表現を使って、各場面で適切な応答が英語でできるように練習する。授業は履修者の能力に応じて、易しい英語を使って進めたい。

成績評価の方法

毎回、授業開始時に、予習チェックの小テストを行う。授業中には学んだ表現の聞き取り練習問題を毎回行い、そのうち、三回に一回は提出してもらう。各学期、一回は皆の前でダイアログを演じる。これらの点と出席点（出席状況により4段階に分かれる）を全て成績記録表につけ、平常点とする。成績は平常点を重視してつける。ただし、授業回数の3分の1以上休んだ者は不合格とする。

教 科 書

- 1) 『NHKラジオ英会話』日本放送出版協会 ¥300（毎月購入すること）
- 2) 『アメリカの留学生』金星堂 ¥1,650

そ の 他

履修者は、この授業をきっかけに「ラジオ英会話」を聞く習慣をつけて、口語英語に慣れるとともに、英語圏の人々の物の見方や文化も学んでほしい。

担当者名	配当学科	単 位
みずさきのりこ 水 崎 野 里 子	国文 1 必	2

講義のねらい

日常生活に必要な基本的な文章が書け、話せるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は指定のテキストを用い、基本的なヒアリング、ライティング、スピーキングの徹底的な練習を行う。

履修上の留意点

前期、後期共同テキストを使うが、授業の参加、平常点を重視するので学生の方々には出来るだけ授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

成績は平常の授業への参加、並びに前期後期の二回の試験を総合する。

教 科 書

テキストは『Writing Everyday English (日常英語会話・作文)』、マクミランランゲージハウス、1,650円、を使用する。

参 考 書 等

参考書の指定は特にない。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
井 出 功 一	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは各章がクイズ、笑い話、スポーツ、英国のパブリックスクール、英米の文化やエピソードなどを教材とする英文から入って行く。そして「文型」と「文法事項」に分けて、総合的に説明してある。

英語の表現力を養うには英文をたくさん聞いたり、読んだりして、そこに出てくる英語を正確に理解し、さらに、英文の内容を自ら考案し、書いたり、話したりすることが最良の学習法。

講義のねらいとしては英文法を口語的と文語的、英米用法の相違、くだけた言い回しと形式ばった表現の区別等に触れながら説明し、英語の文法から英語のスタイルへと話を進めてゆく予定。

教 科 書

『新しい学習英文法』（研究社）

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
まつもと のほる 松 本 昇	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一人で外国に行って二、三カ月生活するのに必要な日常的な会話を身につけるようにする。前期は主として基礎的な会話とヒアリングを行なう。後期は手紙の書き方など英作文もあわせて行なう。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年4回）の成績を40%、定期試験を60%の割合で評価する。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

参 考 書 等

『コミュニケーションのための口語英作文』 成美堂 ￥1,300

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
ひらばやし たくろう 平 林 卓 郎	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎は文法である。あまりむずかしくない文法の教科書を使い、高校英語の復習をかねながら更なる基礎の徹底と応用力の養成に力を入れる。一つ一つの重要な文法的知識をさまざまな形式の問題によって反復練習し、知識の徹底的習得を期す。一日一課づつ進み二十二課で終了となるが時間がある場合は更に応用問題を使い、練達を目指す。評価は年2回の試験と出席点によって決める。

教 科 書

現代ニミナス英語研究会編著『ESSENTIAL GRAMMAR for COLLEGE COURSES』
南雲堂 ￥1,800

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう た ろう 川 股 陽 太 郎	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに諸君が取得した英語力をもとに、リスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。

言いかえると、英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング、コンプリヘンション、スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

『「楽しく学ぶイギリス文化」English Customs with a Smile』（成美堂） ¥1,600
補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
まき の て る よ し 牧 野 輝 良	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語による自己表現能力を身につけるには、英文をよく読み、内容を理解し、文の構造や語句の用法に習熟し、それらを駆使出来るように不断の努力が必要である。この努力を怠っては英語の上達は望めない。

この目的達成のために、授業においては英語の短文をくり返し読み、その英文に用いられている語句の用法を練習し、その後一度学習した英文の構造、語句を用いた和文英訳を行なうことにより学習の徹底をはかる。

成績評価の方法

授業はあくまでも学生中心に行なう。すべての学生が緊張して授業に参加出来るように毎時間一回は指名してリーディング、解釈、和文英訳等を行なうようにする。その都度チェックしておき成績評価の参考にする。

小テストとして5課終わった時点で、英文和訳、語句の運用、和文英訳の習熟度テストを行なう。期末テストは与えられたテーマを英文で書くものとする。

成績評価は授業中の発表、小テスト、期末テスト等を総合して行なう。ただし未受験分は0点となるので要注意である。

教 科 書

『Systematic English Composition 英語表現への道』 成美堂 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
まきのまさ ひで 正 秀 牧 野 正 秀	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

どの分野の英語を理解するにも基本は大切であり、くり返して理解しなければならないものと思います。今まで学んで来た英語の基本的知識（単語の意味だけではなく、構文の知識）を復習再確認しながら、新聞や雑誌などに代表されるマスコミ時事関係の高度な英文が理解し表現出来るようにしたいと思います。その上で英語表現が十分に出来るようになれば最高だと思います。このテキストで勉強した事を、実際の英字新聞や雑誌の中から興味ある記事を見つけ出して、自分なりに少しずつ、表現方法などを理解し自己表現に近づけていく努力をすることが大切だと思います。

基本的な知識と心得から始まり、このテキストで取り上げた英文はいずれも日刊新聞（英字）から、文化、社会、経済、世界情勢、スポーツ、芸術などのトピックに分けて、易しく短いものから、比較的長く、語彙レベルの高いものや、内容の難しいものへと移行するように採録されています。詳しく注釈もついているので、習熟すれば理解しやすいと思います。作文などの表現問題もあるので都合のいいテキストです。新聞英語は、特に専門的な知識を必要とする内容のもの以外は、できるだけ速やかに、簡潔に、正確にかつ分かりやすく事柄を伝達するのが使命ですから、英文は本来分かりやすい平明なものです。十分に予習して授業に臨む事が大切な事です。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験の結果ならびに平常点（教室での発表と出席）によって行います。

教 科 書

『1995/96 Edition Newspaper English』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
いわの た よう 子 岩 田 洋 子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義で humorous な Short Story 一篇 (Unit) を①内容把握、②会話練習、③作文練習、④総合的理解、⑤聞き取り練習など徹底的な演習形式で、使えるアメリカ口語表現を学ぶ。最終的にはテーマを決め（年約3回、600語以内）、借りものでない自分自身の考えをきちんと英語で表現できるようにする。

成績評価の方法

授業中における発表（年約10回）、レポート（年約4回）、前、後期の定期試験、練習問題テスト（年4回）に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前、後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格なし、不合格とする。

教 科 書

『ユーモア英語レッスン』 朝日出版 ¥1,300
『米語慣用句辞典』 マクミラン・ランゲージハウス ¥2,678

そ の 他

予習、復習を励行する。授業には積極的に参加する。米語口語表現に慣れることを要望する。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
こ ばやし ひで こ 児 林 英 子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英米文学を専攻しようとする学生が、難解な長文を読み熟せるようにすることを目的とする。前期は著者がこよなく愛したサニーサイド、後期はアメリカ文学発祥の地コンコード等、スライドも含めて授業をすすめる。
予習をし、問題意識を持って授業に臨んで欲しい。

成績評価の方法

授業中における発表、前後期の試験に基づく。前後期各々3分の2以上の出席がある場合、受験資格あるものとする。

教 科 書

- 1) 『Rip Van Winkle and Other Stories』 朝日出版
- 2) 『The Old manse』 英宝社

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
おお た まさ こ 太 田 雅 子	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

身近なことから話題を広げ、listening, speaking, writing の力をみがいていく。言うまでもなく、予習は必須。

成績評価の方法

平常点（毎回小テストを実施）
授業の欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

Dale Fuller, C. W. Grimm
『Airwaves—*Developing Better Listening Skills*』 (Macmillan Languagehouse) ¥1,800

担当者名	配当学科	単 位
やな せ こう ぞう 梁 瀬 浩 三	地 理 1 必	2

講義のねらい

日常生活で用いられる慣用表現の修得とともに、平易な単語を用いての英語で自己表現、自己主張を目指す。自分の考えを英語で表現するということが、これからますます必要となってくる。そのためには、一寸した勇気と慣れが必要である。表現するためには、音声（発音）、書く力（英作文）、聴きとりの力が必要なので、それらをうまく組み合わせ、更に日英語のニュアンスの違いにも目を向けるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習中心で行い、口頭表現、テープによる聴きとり、黒板に出て書く英作文などを行うが、特に黒板に出て書く英作文を重視し、我々日本人の英語表現の問題点を考えてみたい。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の $\frac{1}{3}$ 以上休んだ場合は失格とする。具体的には、8回以上休んだら単位は認められない。当然のことながら英語の修得には努力が必要である。テキストをよく読んでくることは勿論のこと、更に黒板に出て書けるように家で、又は図書館で辞書を大いに活用して予習してくること。テープはL1L教室で録音してもらい、家で前もって聴く（予習）、そして学習後に聴く（復習）こと。

成績評価の方法

年二回のテストを中味の濃いものにし、よく準備しなければできない内容のものとする。普段の授業態度、積極さ、地道な予習を重視し、評価に加える。

教 科 書

開講時に明示する。

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひろ み 伊 藤 宏 見	地 理 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

始めに英文法の基礎として、準動詞の三分野に亘って、くわしく解説し、それぞれにおける有効な短文と、例文を示し、各時間に演習してもらおう。Exerciseは、黒板に出て解答してもらおう。これらの中には、簡単な英作文も含まれている。以下、Tenseの問題、代名詞、助動詞、形容詞等の勉強をすすめ、一通りの英文法をマスターした上で、後期に入り、実際のコンテキストから、文法問題をさぐる練習をする。このために、現代の標準的な英文をえらび、プリントして、演習にあてることがある。

これらの習練によって、英文の構造、英語特有の表現、思想の把握に十分熟達できるように指導する。

成績評価の方法

- ① 語学一般に共通している通り、出席率がかなりの比重をしめる。時々小テストを行うことがあり、これに加えて、前期後期のテスト（定期）があり、これを必ず受けること。
- ② 平常の授業時の積極的な態度、演習などの成績を加味する。

教 科 書

『精説高等英文法』文化書房 ¥1,300
その他参考書は各自の判断にて揃えて可。
又教室において、適宜に紹介します。

担当者名	配当学年	単 位
なか やま ひろ かず 中 山 浩 一	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語英語の基礎の学習と英語表現能力の向上を目指す。
(留意事項)

- ① テキストの各章の例文と練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況を評価し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『英語発話演習』 金星堂 ￥1,700

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学年	単 位
ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の基礎は文法である。あまりむずかしくない文法の教科書を使い、高校英語の復習をかねながら更なる基礎の徹底と応用力の養成に力を入れる。一つ一つの重要な文法的意識をさまざまな形式の問題によって反復練習し、知識の徹底的習得を期す。一日一課ずつ進み二十二課で終りとなるが、時間がある場合は、更に応用問題を使い、練達を目指す。
評価は年2回の試験と出席点によって決める。

教 科 書

現代ミニマム英語研究会編著『ESSENTIAL GRAMMAR for COLLEGE COURSES』
南雲堂 ￥1,800

担当者名	配当学科	単位
すずき みきこ 鈴木 美貴子	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通して、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフを作り、提出する。

また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物、出席状況等により、総合的に評価する。
ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』 金星堂 ¥1,200

その他

演習科目であるので、予習、及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単位
きもと きくこ 木元 喜久子	歴史 1 必	2

講義のねらい

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人々と接する機会が増えている。交流が深まるにつれて、いろいろな問題について意見を交換する必要があるが出てきている。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこで、この授業では英字新聞に掲載された記事を教材として、時事的なトピックのリーディングを通して明快で簡潔な時事英語の表現を学び、わかりやすい英語を書くことをめざす。創意工夫された練習問題を通して、記事に出てくる語いから、その派生語、文法構造と順をおって無理なく学び、最後にこれまで練習を通して学んだ構文を使って、記事に関連した内容の英文を書く練習をする。

また、日常の英会話を楽しく生き生きとしたものにする手助けとして、ほんものの音の響きでお互いの心を通わせる短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教科書

- 1) 『時事英語で学ぶ英作文』 英宝社 ¥1,751
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ¥1,200

その他

履習者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日英語のニュースを聞いたり読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単位
こ とみ 古 富 猛	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めて行く中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。その中で日本人としてどのように考え、行動しなければならないかを常に自らに問いながら生活せざるを得ない時代に入ったと言える。イデオロギーの対立性が穏和された中で、民族的な闘争が繰り返されていることを、歴史を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、EUやAPECにみられるように地域的地盤、歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなかろうか。

その危機感を憶えないとしたら大学生として究めて自覚に欠けていると批判されても仕方がないだろう。やはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされることを認識して、対処せざるを得ないだろう。そのための方法論等含めて、授業の中で身につけるべく進めて、お互いに学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に 응용できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に何人が発表する方式をとり、平常点に加算します。そのためには予習を怠らないことを願っております。また欠席率は3分の1を超えない事。

前、後期の筆記試験の結果を含めて総合的に評価し、ペーパー、テストのみにかたよらない様配慮するつもりです。

教科書

『アメリカの民謡と伝説』 金星堂 ¥1,100

その他

テープ等により聞く力を身につけることを切望します。

担当者名	配当学科	単位
かん さき 神 崎 浩	歴史 1 必	2

講義のねらい

受験英語で試験のために点を取る英語を勉強してきた人達に、口語英語とはどのようなものを勉強してもらおう。先ず易しい単文を暗記してもらい、それをシチュエーションに応じて使い分け練習をする。英語は黙読ではなく、出来るだけ発音して覚えるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は出来るだけ沢山の例文を暗記する。そして、暗記した文を書き取れるようにする。それと同時に日本語と英語の発想の違いを勉強する。

後期は日本語的な表現をいかにして英語らしい表現にするかを、口語的な表現を中心に勉強する。

成績評価の方法

授業中に小テストを行ない、前・後期の期末テストと合計して評価を出す。ただし、平常の授業の欠席が授業日数の3分の1を超えた時は、自動的に採点不能となり不合格となる。

教科書

『英語表現の常識』 ジャパン タイムズ社

担当者名	配当学科	単 位
うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

歴史とおなじように、言語（われわれの場合英語）も日々変化をしている。基本的な文章構造は変わらないものの、新しい単語は日々生まれているのである。日々の生活と関係のない英文を作ってもあまり意味はないであろう。新しい出来事を、新しい単語を使いながら表現して行くことを目指す。

成績評価の方法

語学の成績は、年2回のペーパー・テストだけでは正確にはかれないので、平常授業のパフォーマンスを重視する。出席は、3分の2以上を合格とする。

教 科 書

『ニューストピックで学ぶ英作文』 木塚晴夫著 金星堂 ¥1,650

担当者名	配当学科	単 位
いちかわ ひとし 市 川 仁	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本人が犯しやすい誤用例を検討しながら、日英の発想法の違いを考えてゆくことで、英語の発想法の違いを考えてゆくことで、英語的発想についての理解を深めるようにしたい。さらに練習問題を重ねることで、より英語らしい表現とは何かを学んでいく。予習を前提とし、発表を中心として授業を進めてゆく。前期はテキストを中心に授業を進め、後期は前期の学習を応用して、自由英作文も書いてもらう予定。

成績評価の方法

授業中の発表、小テスト、前・後期の定期試験による。発表、小テスト、定期試験を総合して評価する。出席は総授業回数の3分の2以上とする。

教 科 書

『英作文の盲点200』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,650

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。

英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

なお、英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教 科 書

The Building of the Nation 『アメリカの形成』（成美堂）

担当者名	配当学科	単 位
水 崎 の 野 里 子	社会 1 必	2

講義のねらい

日常生活に必要な基本的な文章が書け、話せるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は指定のテキストを用い、基本的なヒアリング、ライティング、スピーキングの徹底的な練習を行う。

履修上の留意点

前期、後期共同じテキストを使うが、授業の参加、平常点を重視するので学生の方々には出来るだけ授業に出席することが望ましい。

成績評価の方法

テキストは『Writing Everyday English (日常英語会話・作文)』、マクミランランゲージハウス、1,650円を使用する。

参 考 書 等

参考書の指定は特にない。

担当者名	配当学科	単 位
まさ の まさ ひで 牧 野 正 秀	社会 1 必	2

講義のねらい

どの分野の英語を理解するにも基本は大切であり、くり返して理解しなければならないものと思います。今まで学んで来た英語の基本的知識（単語の意味だけでなく、構文の知識）を復習再確認しながら、新聞英語や雑誌英語に代表されるマスコミ時事の高度な英文理解出来るようにしたいと思います。その上で英語表現が出来れば最高です。このテキストで勉強した事を、実際英字新聞中から興味のある記事を見つけ出し、自分なりに少しずつ、表現方法などを理解し自己表現に近づけていく努力をすることが大切だと思います。

基本的な知識と心得から始まり、このテキストで取り上げた英文はいずれも日刊新聞（英字）から、文化、社会、経済、世界情勢、スポーツ、芸術などのトピックに分けて、易しく短いものから、比較的長く、語彙レベルの高いものや、内容の難しいものへと移行するように採録されています。詳しく注釈もついているので、習熟すれば理解しやすいと思います。作文などの表現問題もあるので都合のいいテキストです。新聞英語は、特に専門的な知識を必要とする内容のもの以外は、できるだけ速やかに、簡潔に、正確に、かつ分かりやすく事柄を伝達するのが使命ですから、英文は本来分かりやすい平明なものです。十分に予習して授業に臨む事が大切な事です。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験の結果ならびに、平常点（教室での発表や出席）によって行います。

教科書

テキスト：『1995/96 Edition
Newspaper English』成美堂

担当者名	配当学科	単 位
いわ た よう こ 岩 田 洋 子	社会 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回90分の講義で、A witty Short Story を①内容把握、②聞き取り練習、③会話練習、④作文練習など徹底的な演習形式で使える口語表現を学ぶ。更に平易な語彙を用いて、より深い内容に富んだ表現を学ぶ。言葉は頭だけで覚えるものではなく、体得するもの、感得するものである。音色や香りや匂いがあることを知っていただきたい。

成績評価の方法

授業中における発表（年10回）、レポート（年2回）前・後期の定期試験、練習問題テスト（年4回）に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前・後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格なし、不合格とする。

教科書

『ウイットを楽しむ総合英語』成美堂 ¥1,600

そ の 他

「恐怖」「完璧」症候群追放！間違いを恐れず、楽しむことこそ上達への第一歩！予習・復習を励行する。授業には積極的に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
こ ばやし ひで こと 児 林 英 子	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語学習にあたって、その文化的背景を見直すことは出来ない。かつての勢いは衰えたとは云え、アメリカの文化は20世紀の文化をリードし続けて来た。いくつかのビジネスを通して、この世界的潮流に深く係って来たアメリカ文化の形成と役割を、平易な英語で読みとって行きたい。

成績評価の方法

授業中、可能な限り多くの学生が、発表出来るように心がけたい。その結果と、前後期の試験を中心に評価する。出席は、前後期各々3分の2以上の場合、受験資格ありとする。

教 科 書

『Big Business in America』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
きし もと しげ かず 岸 本 茂 和	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英文で書かれたテキストの題材は、マーケットリサーチ、通貨、コンピュータ、貿易、ブロック経済圏（APEC/NAFTA）などにわたり、さらに経済の基礎知識や最新の経済事象も扱われる。英語の学習上からいえば、基礎文法のいっそうの理解にたつて、語彙・慣用語句などを扶植することを期する。とくに経済の分野における専門用語や時事用語に馴れ親しんでゆき、「タイム」「ニューズウィーク」などの週間雑誌や英字新聞を読むための基礎的学習になることを期待する。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上をパスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

デヴィッド・トロケロシヴィリ『よくわかる経済英語』（南雲堂 定価1,800円）

参 考 書 等

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

担当者名	配当学科	単 位
いしはらこうさい 石原孝哉	経済1年	2

講義のねらい

日常的な言葉を使って意志伝達ができるようになることを目標とする。
特に重点をおくのは、

- 新聞英語に代表される日常表現に慣れる。
- 英文で外海と通信するのに必要な基本的文章表現を覚える。
- 英文ビジネスレターを書くのに必要な基本的文章表現を覚える。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は演習方式で、必ず十分な予習をして出席すること。出席を重視することはもちろん、レポート、小テストなど平常点を高く評価する。試験は中間・期末の2回。

教科書

- 『Sketches of Life』 三修社 ¥1,400
- 『A Shorter Course in Writing』 南雲堂 ¥900
- プリント

担当者名	配当学科	単 位
まきのてるよし 牧野輝良	経済1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語による自己表現能力を身につけるには、英文をよく読み、内容を理解し、文の構造や語句の用法に習熟し、それらを駆使出来るように不断の努力が必要である。この努力を怠っては英語の上達は望めない。

この目的達成のために、授業においては英語の短文をくり返し読み、その英文に用いられている語句の用法を練習し、その後一度学習した英文の構造、語句を用いた和文英訳を行なうことにより学習の徹底をはかる。

成績評価の方法

授業はあくまでも学生中心に行なう。すべての学生が緊張して授業に参加出来るように毎時間一回は指名してリーディング、解釈、和文英訳等を行なうようにする。その都度チェックしておき成績評価の参考にする。

小テストとして5課終った時点で、英文和訳、語句の運用、和文英訳等々の習熟度テストを行なう。期末テストは与えられたテーマを英文で書くものとする。

成績評価は授業中の発表、小テスト、期末テストを総合して行なう。ただし未受験分は0点となるので要注意である。

教科書

Systematic English Composition
『英語表現への道』 成美堂 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
おがさわら 小笠原 隆 元	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

週に一度づつの教場での授業であるが I A のクラスでは、「これまで学習した英語力を基礎として、英語の言語運用能力の向上」をめざすことが望まれる。しかしとても教場に出るだけでは実力向上は実現出来ない。実際に運用出来る英語力とするためには、ただひたすらに自分で積極的に努力前進してほしい。まず音読が自信を持って出来ることが必要であるので、テキストのテープを全学生が所持して聴取と音読に心がけてほしい。

履修上の留意点

英語による自分の意志伝達力を高めるために年間、音読テープ提出（2～3回）、英文エッセイ提出（2～3回以上）を課す。読み、書き、話して、考えることが英語で出来れば将来大いに情報知識の伝達範囲の拡大と共に視野展望が無限にひろがることを夢見て精進してほしく思います。

成績評価の方法

成績評価については、平常点・提出レポート・テープ音読・他の総合的評価で行うが、諸君の積極的対応を念ずるのみ。

授業に出る時は、テキスト、辞書、テープ等を持参するのは当然のことと心得ることを強調したい。

教科書

テキスト選定は、(受講学生諸君の要望や実力度も不明であるが、当初は次のものを選定した。)

- 『発信する英語表現』 1,700円 (三修社) 他にも、受講生が確定したら、夏頃に追加指定をする予定。

その他

第一回目の授業に必ず出席して諸資料を受取り、提出物を出すこと。

担当者名	配当学科	単 位
〔前期〕 まえだ 前田 脩 脩 〔後期〕 はやし 林 明 人	経済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

会話のでてくる慣用表現を、リスニングをまじえて学び、短文表現を徐々に身につけます。各授業で「場面」にあった表現をつみかさね、一般に日常生活で出会う場面に対応できるようにします。

成績評価の方法

前期のみ —— 日常評価（クラスでの発表）と小テスト（2回程度）及び前期テストによって前期評価をします。総合の評価は、後期担当の林先生がいたします。

教科書

「英語でインターアクション」 南雲堂 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう た ろう 川 股 陽 太 郎	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまでに諸君が取得した英語力をもとに、リスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。

言い換えると英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング、コンプリヘンション、スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、三つの別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発音、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

『Take 20 ショーター・リスニング』 700円（桐原書店）

『Take 20 総合演習』 1,100円（桐原書店）

補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	経 済 1 年	2

講義のねらい

時事問題を素材とした表現演習。社会現象の捉え方とその分析と総合によるテキストの読解力と英語表現力を併せて涵養します。言語意識を高め、世界の現象を知り、その知識を基にして、日本のこと、自分自身のことについてのアイデンティティを確立しつつ、自分のテキスト（英作文）を生産してもらいたい。「時代を読む」ために必要な知識、富、暴力、権力、といったものが社会・経済・政治のなかでどんなかたちをとっているのかに焦点を合わせながら、語彙、英語のヴァリエーション、パラグラフの読み方に留意し、それを自分の現実的な自己表現として問題として捉え直しつつ、英語表現を目指します。そのためには英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件となります。

講義の内容・
授業スケジュール

20分間を教材（テストとテープ）を利用してリスニング・タイムとして、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。集中的に時事用語を習熟するために毎授業小テストを行ないます。レポート（英文5頁）提出もあります。

成績評価の方法

出席10%、平常テスト40%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%、前期・後期の語学試験40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

テキスト；『時事英語で学ぶ英作文』（英宝社 1,751円）

『新聞英語の基礎チェック』（金星堂 1,100円）

参 考 書：随時指示し、適宜コピーも配布します。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しょう こう 中 尾 俊 光	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英作文演習をただちにSpeakingの力へと転化できるようにとの意図で作成されたテキストを用い、英語による自己表現ができるようになることを目指します。同時に、語い、慣用語句等の修得の努力も大切です。授業では2種類のテキストを使用します。予習を前提とした発表による演習形式を採ります。

成績評価の方法

(i)発表、(ii)小テスト・レポート等、(iii)前期試験、(iv)後期試験、以上の4点をもとに総合評価します。

教 科 書

- (i)「コミュニケーションのための口語英作文」成美堂 ¥1,300
(ii)「ネイティブ英語の慣用表現」マクミラン・ランゲージハウス ¥1,800

そ の 他

履修者は、言語の持つ「文字」と同時に「音」の面にも充分な注意を払って下さい。テープによる「音」のチェック、聴解力・発話力の向上を目指して下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単 位
すず き み き こ 鈴 木 美 貴 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通じて、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフをつくり、提出する。
また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物出席状況等により、総合的に評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』金星堂 ¥1,200

そ の 他

演習科目であるので、予習、及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単 位
あか 赤 司 裕 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在関心を集めている話題を取り扱ったテキストを使用する。具体的に色々な作業を課す演習形式の授業の中で、英語で自らの考えを表現する練習をする。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表や定期テスト等を総合して評価を行う。

教 科 書

『Alchemist』(Harper colins)

そ の 他

予習必須。相当量の課題有り。授業中、積極的に参加して欲しい。

担当者名	配当学科	単 位
き 木 もと 喜 久 子	商 1 年	2

講義のねらい

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人たちと接する機会が増えている。国際交流が深まるにつれて、いろいろな問題について意見を交換する必要が出てきている。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこで、この授業では身近な出来事や今日の世界情勢について自分の意見を述べたり書いたりすることができるようなさまざまな表現を習得することをめざす。やさしい英語で表現されたニュースをまず耳から聴いて、そのニュースの中に出てきた重要な単語や役に立つイディオムを覚えると同時に、ニュースの内容についての会話表現を学ぶ。最後に、それまでに習得した表現力を駆使して関連のある応用英作文に挑戦してもらおう。

また、日常の英会話を楽しく生き生きとしたものにする手助けとして、ほんものの音の響きでお互いの心を通わせる短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教 科 書

- 1) 『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ￥1,650
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ￥1,200

そ の 他

履習者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日の英語のニュースを聞いたり読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
かん ぎき 神 崎 浩	商 1 年	2

講義のねらい

受験英語で試験のために点を取る英語を勉強してきた人達に、口語英語とはどのようなものかを勉強してもらおう。先ず易しい単文を暗記してもらい、それをシチュエーションに応じて使い分ける練習をする。英語は黙読ではなく、出来るだけ発音して覚えるようにしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は出来るだけ沢山の例文を暗記する。そして、暗記した文を書き取れるようにする。それと同時に日本語と英語の発想の違いを勉強する。
後期は日本語的な表現をいかにして英語らしい表現にするかを、口語的な表現を中心に勉強する。

成績評価の方法

授業中に小テストを行ない、前・後期の期末テストと合計して評価を出す。ただし、平常の授業の欠席が授業日数の3分の1を超えた時は、自動的に採点不能となり不合格となる。

教 科 書

『英語表現の常識』 ジャパン タイムズ社

担当者名	配当学科	単 位
こ とも 古 冨 猛	商 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深め行く中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなからうか。その中で日本人としてどのように考え、行動しなければならないかを常に自らに問いながら生活せざるを得ない時代に入ったと言える。イデオロギーの対立性が穏和された中で、民族的な闘争が繰り返されていることを、商業を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、他方EUやAPECにみられる様に地域的な点や歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなからうか。

その危機感を憶えないとしたら大学生として究めて自覚に欠けていると批判されても仕方がないだろう。やはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされることを認識して、対処せざるを得ないだろう。そのための方法論等含めて、授業の中で身につけるべく進めて、お互に学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に応用できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に発表してもらう方法を原則とした上で、平常点を加算します。基本は前・後期の筆記試験を目安とし、平常点とともに総合的な評価。また欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストのみに片寄らない様に配慮します。

教 科 書

『アメリカの青春像』 マクミラン・ランゲージハウス社 ¥1,200

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを切望します。

担当者名	配当学科	単 位
う つの みや ひで かず 宇 都 宮 秀 和	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

子供は言語の天才であるとよく言われる。何故だろうか。かれらは、基本的な表現をまず身体で覚え、それらを場に応じて、どんどん応用していくからである。その意味では基本をしっかり身につけ、それを応用していく授業にしたいと思っている。下に記すテキストは、読み物、文法、練習問題、作文、会話などバランスよく計画されており、最終的には表現を目指している。

成績評価の方法

語学力の成績は、2回のペーパー・テストだけでは計れないので、平常授業のパフォーマンスを重視する。出席率は、3分の2以上を合格とする

教 科 書

田木健一 Simon Sanada 『基本英語表現法』 成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
あん ざい よしみ 安 斉 芳	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では現代英語の表現演習を行なう。まず、モデルとなっている英文を読み、よく理解し、重要な単語や表現を覚える作業をする。次に本文の内容に関して英語で答える訓練をする。また、内容の理解とその上に立った応用力を要するブランクを埋める問題にも取り組む。英作文の項目では、なるべく自然な英語で表現する訓練をする。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。授業回数の三分の一以上欠席した場合は不合格となるので注意すること。

教 科 書

- 1) "Communicative English Writing"
「現代英語の表現演習」 中田清一(他)著 成美堂 ¥1,350
- 2) 英和辞典, 和英辞典(大学生用のものであれば、出版社は特に指定しない。)

担当者名	配当学科	単 位
みわ ひさ え 三 輪 久 恵	法 律 1 年	2

講義のねらい

基礎的な表現から始めて、英語の運用能力をめざす。予習を前提とした演習形式で、普段の努力を重視する。

成績評価の方法

平常点、および授業中の小テスト・レポート等の提出物による。

教 科 書

教場にて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	法 律 1 年	2

講義のねらい

日常生活でよく使われる基本的な表現を確認し、更にある程度まとまった長さの文章を書けるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

短文（プリント）を教材にして、挨拶・趣味・時間・天候・仕事（勉強）・一日の生活に係わる表現などを学ぶ。これを一通り学ぶと英文日記が書けるようになるだろう。日記を付け初めると自然に他人の書いたものの、言葉や表現に敏感になり、自分の文章を自省的に見るようになる。文学作品をはじめ、新聞・雑誌などの記事、電車の中の広告文にも、素晴らしい表現に出会い、喜びを経験した人も多だろう。言葉の力を知ったのである。こうなると語彙・表現法への関心は一段と高まり、学力も自ずと向上してゆく。

次に手紙を書いてみよう。友人に、両親に、あるいはまだ見ぬ未来のカレ・カノジョに。私宛の一通も忘れないでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。科目の性質からして当然のことであり、平常の学習と小テスト、提出物で総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

担当者名	配当学科	単 位
まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	法律 1 年	2

講義のねらい

法律問題を素材とした英語表現。社会現象の捉え方とその分析と総合によるテキストの読解力と英語表現力をリンクさせて涵養します。リーガル・マインドと法律的表現力とを培うために、法律用語に親しむ。言語意識を高め、世界の現象を知り、その知識を基にして、自分自身の考え方で自己表現できるように努めます。「時代を読む」ために必要な知識、富、暴力、権力といったものが社会・経済・政治のなかでどんなかたちをとっているのかに焦点を合わせながら、同時にその読みの段階では専門的な語彙、英語のヴァリエーションのあり方、パラグラフの展開の仕方を研究します。テキスト内容を自分の現実的な問題としてリンクさせ、自らを異化して捉え直しつつ、考える英語表現に親しむことで、個性ある発想法を修得してもらいたい。多少間違えても、完璧主義者にならないで自分の意見を表現できるように努めてもらいたい。日本語能力は英語表現能力に比例していますので、発想法の転換を必要とします。そのためには英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件となります。

講義の内容・授業スケジュール

20分間は教材（テキストとテープ）を利用してリスニング・タイムとし、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関して討論します。まず内容を捉えて、英語表現できるように工夫してゆきます。原則として毎授業、語彙を増すために小テストを行いません。レポート（5頁）提出もあります。

成績評価の方法

出席10%、平常40%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）10%、前期・後期の語学試験40%などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

アメリカ合衆国の法律入門（南雲堂 1,900円）
キャンパス・リスニング（成美堂 800円）

参考書

随時指示し、適宜コピーも配布します。

担当者名	配当学科	単 位
いわ はら やす お 岩 原 康 夫	法律 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及ぶ、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な英語のパターンの中で自分の考えや思想や感情を表現し、それを論理的に展開する力を養いたい。まず基本的な英語の構文と用法を把握し、テキストが目指す“writing, speaking, hearing”の総合的な英語の運用力を高めていく。その一方で、“assignment”を何度か課すことによって、動詞を中心とした一定の構文に基づく“sentence”レベルの自由な英文を作成してもらう。その際には、アメリカの大学で英語を“second language”として考える時に用いられている教材を応用教材として使う。そして、最終的には、自分の簡単な意思表現をまとまった形で表現できるレベルに達すれば、幸いである。

成績評価の方法

前期後期の試験60%、平常点40%を基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation と assignment によって判断する。

教科書

『英語らしい英語の表現演習』 金星堂

その他

辞典の積極的な使用を望む。ワープロまたはコンピューターを使用することが望ましい。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
み 三 うら 浦 ま 真 り 理	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常使用される基本的英語表現を完全に身につけること、またすでに身につけている単語を用いて、平易な単語を使って表現する力と作文する力を養うことを目的とする。従って、日常身の回りの色々な問題に対して、聴解力も含めて、そこから表現力、重要語句の発音、単語能力、文章（特に短文）作成能力を養い、最終的にあるテーマに関して英語で自由に表現できるようになることを目的とする。

成績評価の方法

授業中の発表、出席、予習（特に重視）、レポート、小テスト40%、前・後期の定期試験60%で評価する。ただし、平常授業時間の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『A BETTER WAY TO USEFUL ENGLISH』 英潮社新社 ¥1,200

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
あさ 朝 かわ 川 ま 真 き 紀	政 治 1 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

国際化社会の現代において求められる、日常会話、旅行英語、ビジネス上の英語を題材にし、英語でコミュニケーションをとる練習をする。対話訓練、和文英訳、summary の作成などを中心に授業を進め、口語英語を習得していく。学生は辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして、授業に備える。また、useful expressions は暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

前期後期それぞれ一回ずつ提出するレポート、小テスト、前期、後期試験によって評価。出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英国旅行場面別英作文』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

映画・音楽・英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

担当者名	配当学科	単 位
いわはらやすお夫 岩原康夫	政治1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及ぶ、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたって、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な英語のパターンの中で自分の考えや思想や感情を表現し、それを論理的に展開する力を養いたい。まず基本的な英語の構文と用法を把握し、テキストが目指す“writing, speaking, hearing”の総合的な英語の運用力を高めていく。その一方で、“assignment”を何度か課すことによって、動詞を中心とした一定の構文に基づく“sentence”レベルの自由な英文を作成してもらおう。その際には、アメリカの大学で英語を“second language”として考える時に用いられている教材を応用教材として使う。そして、最終的には、自分の簡単な意思表現をまとまった形で表現できるレベルに達すれば、幸いである。

成績評価の方法

前期後期の試験60%、平常点40%を基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationとassignmentによって判断する。

教科書

『英語らしい英語の表現演習』 金星堂

その他

辞典の積極的な使用を望む。ワープロまたはコンピューターを使用することが望ましい。

担当者名	配当学科	単 位
はなわみちこ 埜美智子	政治1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

学生に英語に対する興味と向上心を増加させるために工夫しながら進めていきたい。学生が自信を持って国際人の一人として独自の意見が述べられるよう、その基盤となるよう読み、書き、話せる授業の流れを進めていく。その中から学生が犯しやすい誤り、文法的な分類も行いながら和文英訳、英文和訳の基本を身につけさせていきたい。声を出して練習し、機械的な繰返しではなく学生自らの中に主義、主張、思想、熱意ある生きた人間としての個性を出せば、と思っている。学生の勉強度を見るために時々、レポート提出、小テストを試みたい。出席は毎回取り、英語の積み重ねの大切さを自覚させる。

成績評価の方法

成績評価は出席率、普段の授業態度、レポート、定期試験等の総合点をつける。

教科書

『運命の扉』 南雲堂 ￥1,300

参考書等

参考書は随時学生に話したり板書する。

担当者名	配当学科	単 位
やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	政 治 1 年	2

講義のねらい

日常生活でよく使用される基本的な表現を確認し、更にある程度まとまった長さの文章を書くようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

短文（プリント）を教材にして、挨拶・趣味・時間・天候・仕事（勉学）・一日の生活に係わる表現などを学ぶ。これを一通り学ぶと日記が書けるようになるだろう。日記を付け始めると自然に他人の書いたものの、言葉や表現に敏感になり、自分の文章を自省的に見るようになる。文学作品をはじめ、新聞・雑誌などの記事、電車の中の広告文にも、素晴らしい表現に出会い、喜びを経験した人も多いだろう。言葉の力を知ったのである。こうなると語彙の蓄積、表現法への関心は一段と高まり、学力も自ずと向上してゆく。

次に手紙を書いてみよう。友人に、両親に、あるいはまだ見ぬ未来のカレ、カノジョに。私宛の一通も忘れないでほしい。

成績評価の方法

出席を重視する。科目の性質上当然のことであり、平常の学習と小テスト、提出物で総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

担当者名	配当学科	単 位
かわ て ひろ かず 川 手 浩 一	政 治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代、人類の文明は高度に発展し、ほとんど極限状態にあるようである。

しかし、反面、自然破壊はすさまじく、大きな世界的社会問題になっている。

これは人類が自然のめぐみをすべて受益し成長、発展して来たことの認識不足から来ていることは間違いない。人類はもっと自然からのめぐみについて、深く認識し、多方面からの知識を吸収すべきである。

このような視点から、広い視野をもった、内容の英文（アメリカ英語も含む）に接してそれを消化（digest）してエッセンスをくみとることが必要である。

このテキストは現代の大学生にふさわしいコンパクトな読み物で、とくに身近かな食生活に関するものが多く、具体的でわかりやすい。又英米人の特意なユーモアも入っている。

オールラウンドな練習問題も入っていて、自然に英語が身につくように作られている。

もちろん、テープもついていて、リスニングの練習問題もあり、会話に応用できる。

とにかく定評があり、充実している。

履修上の留意点

外国語であるので辞書をよく調べて、できれば英和辞典、和英辞典などは、やや大きめのものをそろえたいところである。

参考書も大きめの語法辞典等、図書館等で利用されると良いと思われる。

ハンディなものも、出版されているので、講義中におすすめしたいと考えている。

教 科 書

Gifts of Nature 2「自然の恵み」 南雲堂

担当者名	配当学科	単 位
かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

冷戦時代の終焉と共に、世界は実に複雑に、目まぐるしく早いテンポで進んでいる。それだけに我々は、その渦に巻き込まれることなく、将来をしっかりと見通す鋭い力を養わなければならない。そのような時代環境にあって、今後は、人権、飢餓、自然などが重要なテーマになってくるであろう。本授業では、アメリカの現代的な新聞ニューヨーク・タイムズに掲載された時代を先取りする記事を読みながら、問題意識を深め、未来を展望したいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表（年約5回）短い質問（約3回）、15分テスト（8回）、前・後期の定期試験の結果、および出席点（但し、原則として授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。なお、評価はテキストにより出来、不出来のバラつきが見られるので各クラスが公平になるように相対的に考える。

教 科 書

『ニューヨーク・タイムを読む』 桐原書店 ￥1,580

担当者名	配当学科	単 位
お がさわら りゅう げん 小 笠 原 隆 元	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

地球上に住する55億人以上の世界人口の中で、英語を用いる割合は3～4割にも及ぶと想定されよう。このクラスでは、「英語による意志伝達」をめざし、その実際の運用能力の開発と前進を心がけるのがねらいである。これまでも6年以上にわたる英語力を何とか高めて大学生としての自信を深めてもらいたい。母語でも外国語でもまず、聴く、わかる、話せる、読める、書ける、考えると言う順序で言語運用能力は開発される。現今では全てのテキスト類にはテープが用意されているので積極利用することが大いに望まれる。

成績評価の方法

受講生諸君はテキスト、辞書、テープ等を持参して授業出席はもとより、年間数回にわたる音読テープ・英文エッセイ・レポート提出等を覚悟してもらいたい。成績評価は各個人の実績等の総合的評価で行う。

教 科 書

テキスト選定は受講生諸君の要望や実力が不明なれどもまず次のものを選定し、後に追加指定することもあるので心得てほしい。

①「読解のための総合演習」 1,400円（三修社）他にも指定する予定あり。

そ の 他

第一回目授業には必ず出席して諸資料提出物を受取ること。

担当者名	配当学科	単 位
し みず ゆう し 清 水 祐 次	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易で自然な英文を書くことに習熟することをめざす。
身近な日常的主題をとりあげたエッセイ等の模範文を参考にし、その慣用的なイディオムや語句を利用して、簡単な英文から始めて、更にもう少し高度な英文を書く練習をする。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合評価する。
なお、授業時数の3分の1以上欠席した場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

Writing America—Current English Composition「アメリカを書く」 南雲堂 ¥1,500

担当者名	配当学科	単 位
や しま なお こ 矢 島 直 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に出てくる種々の会話表現から、日常会話を学ぶ。予習を必要とする演習形式を取る。
年間を通じて2冊の教科書を使う。1冊では簡単な言い回しを学ぶ練習問題を解き、もう1冊ではより複雑な会話表現を学ぶ。後者の教科書では、多量の会話表現を読んで覚えるのみでなく、書いて覚える作業をする。目標は、基本的な表現から複雑な表現まで、言い表したり、書き表わしたりできるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) 小池直己 「トータル／トピック21アプローチ」 北星堂書店 980円
- 2) 河田徳二 「英語発話演習」 金星堂 1,700円

担当者名	配当学科	単 位
すずき みきこ 鈴 木 美 貴 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年を通して、テキストに従い、これまでに身につけてきた英語の知識を整理し、日本人がしやすい誤りを確認しながら、英文を書く練習をする。随時、与えられたテーマについてのパラグラフをつくり、提出する。
また、英会話に役立つように、会話作文の練習もしていく。
毎回、イディオムを少しずつ覚え、身につけていく。

成績評価の方法

前期・後期の定期試験、小テスト、提出物、出席状況等により、総合的に評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

EVERYDAY ENGLISH
COMPOSITION
『英語らしい英語の表現演習』 金星堂 1,200円

そ の 他

演習科目であるので、予習及び、授業への積極的参加が強く要望される。

担当者名	配当学科	単 位
あかし ゆうこ 赤 司 裕 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在関心を集めている話題を取り扱ったテキストを用いる。テキストの要約、及び自らのリアクションを英作文や発表を通じて表現する訓練を行う。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表、前・後期テスト等を総合して評価を行う。

教 科 書

『Alchemist』 (Harper colins)

そ の 他

予習必須。相当量の課題有り。授業は講義というよりも演習であり、積極的に参加する姿勢が必要。

担当者名	配当学科	単 位
木 元 喜久子	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

国際化の時代の到来と共に、日本人が世界の他の国々の人たちと接する機会が増えている。初めのうちは気候や季節の挨拶や自己紹介などで済むとしても、交際が深まるにつれいろいろな問題について意見を交換する必要がある。現代はまさに、自分の思っていることをはっきり表現する「発信」の時代である。そこでこの授業では、身近な出来事や今日の世界情勢について自分の意見を述べたり書いたりすることができるようなさまざまな表現を習得することをめざす。やさしい英語で表現されたニュースをまず耳から聴いて、そのニュースの中に出てきた重要な単語や役に立つイディオムを覚えると同時に、ニュースの内容についての会話表現を学ぶ。最後にそれまでに習得した表現力を駆使して関連のある応用英作文の練習をする。

また日常会話を楽しく生き生きとしたものにするため、ほんものの英語の音の響きでお互いの心を通わせに短い表現を身につける教材を併用していく予定。

成績評価の方法

平常授業の学習状況と前・後期の定期試験の成績に基づいて総合的に評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は単位を認めません。

教 科 書

- 1) 『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ¥1,650
- 2) 『七語までの心を通わせる会話表現』 開文社 ¥1,200

そ の 他

履修者は日頃から時事的な問題に関心を持ち、テレビや新聞で毎日の英語のニュースを聞いたり読んだりする習慣を身につけてもらいたい。また、必ずきちんと予習した上で出席し、積極的に授業に参加すること。

担当者名	配当学科	単 位
田 中 保	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語英語において極めて使用頻度の高い基本表現を学び、英語的発想を知り、英語としての自然な発想に慣れて、英語の実用運用能力を培うようにする。授業は予習・復習を前提とした発表形式によっておこなう。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

『基本口語の英作文』（桐原書店） ¥1,430

英 語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とspeed readingの基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
おか ぎき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

文化相対論の「異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する」という観点からは、異文化についての学習の意義が理解されます。また、「外国語を学習することによって、母国語の限界が越えられる」という言語相対論によって英語学習の必要性が確認できるとおもいます。さらに、今日の言語発達史は、母国語を学ぶ子供は、6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得することを明らかにしています。従って、大学の語学教育は、人間の能力の十全な開発と完成を目指す教育の発達段階にある学生たちにとって必須の教育過程であることがわかります。それ故、授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密かつトータルな読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

成績評価の方法

授業では、読解の過程で文法・文の構造について適宜解説することによって、テキストの内容の正確な理解を目指します。理解を深めるために必ず予習をしてください。成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教 科 書

『ドーキンス進化を語る』 鶴見書店 ¥1,339。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	禅 1 必	2

講義の内容・ 授業スケジュール

授業のはじめに10分~15分程度リスニングを行います。とりわけ前期はリスニングに力を入れて授業をすすめます。教材の他にもテープを用意します。テキストは毎回あてますので予習が必須となります。後期には、徐々にスピードをつけた読みを行います。さらに内容把握が適確にできるようにします。

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期のテストを総合評価します。

参 考 書 等

- 1) 「リスニングの旅」 成美堂 ¥800
- 2) 「コンパクト文化志向の日本人」 英宝社 ¥1,854

担当者名	配当学科	単 位
み よし やす よし 三 芳 康 義	禅 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英国の文化や習慣を中心に、米国との比較を試みながら、その背景にある文化事情を理解するエッセイを読みます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段落ごとの単位で大意を把握することを目標に精読をします。後期は、さらにこれを発展させて、ある程度まとまった英文を速読し、全体の大枠をつかんで要約する訓練を行います。本文に関する内容と関連のある英語の朗読を聞き取る練習も随時行います。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『英米文化事情』 郁文堂 ￥1,751

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
やま くち おきら 山 口 晃	仏教 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文の或る内容も、一年間という時間の幅の中で、しだいにわかっていくということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できる、そのような英文が望ましい。将来、宗教学（仏教）を専攻する学生であることを考え、予定ではまず、The Book of Knowledge等から、宗教に関係した項目を選び教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔で、しかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちの、そして教師の多様な解釈を授業の中で出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確に英文を読み込む訓練をすることで、英語を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心ある英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。
リスニングは、かならずしも実用性のみでこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教 科 書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいはPenguin Booksより宗教に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
たか はし よし え 高 橋 佳 江	仏教 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語学を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピード聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的には聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にと良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定（講読、聞き取り、各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
うえ むら けい こ 植 村 恵 子	仏教 1 必	2

講義のねらい

英語 I B という科目の到達目標である、入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し、聞きながら文章の大意を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説、エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親しみたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらおう。その発表に対する指導方法として、説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、平常点（授業態度、発表の内容、小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教 科 書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単位
あかしゆう 赤司裕子	国文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

今日的なトピックを扱ったテキスト及びテープを用い、リーディングとリスニングの力を同時に高めることを目標とする。一文一文の訳読ではなく、パラグラフ毎の核をつかみ、英文章の組み立て方法に親しむ。リスニングに関しては、必要な情報の聞き取り、ディクテーションの訓練を行う。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表やテスト等を総合して評価を行う。

教科書

『海と環境』（三修社） ¥1,500

その他

予習必須。加えて、テレビやラジオのニュース番組等を定期的に聴取するなど、リスニングに慣れようとする努力を要望する。

担当者名	配当学科	単位
ぬまたあや 沼田綾子	国文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

まず映画は楽しむ事が第一。ストーリーはもとより配役、時代背景、音楽、衣装、インテリア、カメラワーク等々映画を構成する諸々の要素に興味を持つ事です。しかし何と云っても言葉です。ウッディ・アレンのせりふの面白さは他に類がありません。言語表現の裏にある微妙なニュアンス、詩的空間を見出したいと思います。各ユニットの始めに簡単な英語の説明文があります。この程度の英文を日本語（訳）の介在なく書けるようになりたいものです。

毎授業ビデオを見、せりふのテープを聞きます。単語、訳（意識）、問題集の予習はかならずして来る事。毎回一回は当たります。

成績評価の方法

二回の期末テスト、原則としてオープンブックテストです。一学期のテスト時はすべて持込み可です。テキストから出題します。後期は前もって主題を与え、論文形式のエッセーを一時間内で書いてもらいます。メモのみ持込み可、欠席は六回以上は危険信号。あぶない人はレポートを提出する事。ポップクイズもします。

教科書

『カイロの紫のバラ』 松柏社 ¥1,751
時にロックの詩（プリント）を読みテープを聞きます。

その他

時間があれば他にウッディ・アレンの別の映画、又はロックのビデオを見せたいと思います。

担当者名	配当学科	単 位
みよし やすよし 三 芳 康 義	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

歌や街頭でのインタビュー、そして大統領の演説等、さまざまな文体で表現されたアメリカ英語の、特に口語表現を学びます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段落ごとの単位で、ある程度精読を行います。後期は、全体の要旨をつかむことに重点を置いて、徐々に速読へと移行します。最終的には、自然なスピードで話される英語を聞き取り、リスニングの力を習得することを目指します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『アメリカン・ドリーム 過去と現在』 郁文堂 ¥1,648

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
まえだ おさむ 前 田 脩	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめ10~15分程度、リスニングを行います。前期はとりわけリスニングに力を入れ、教材の他にもテープを用意します。後期はテキストの読みのスピードをはやめ、しかも正確に内容を把握できるようにします。毎回あてますので、予習は必須です。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期・後期のテストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 「TOEFL/英検のための基礎リスニングテスト」 金星堂 ¥980
- 2) 「マンチェスターの結婚・他」 北星堂 ¥1,100

担当者名	配当学科	単 位
あお やま たもつ 青 山 保	国 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語の基礎を固め直して、われわれを取り巻く世界の現状を正しく認識していく力をたくわえたい。そのために英語の構文のきまりをきちんと自分のものにならなければならない。この訓練をしながら、活きのいい英文を読み進めていく。1語、1文の理解は当然だが、パラグラフ、あるいは章全体の大意のまとめ方の訓練も積みたい。毎授業、課題がでる。予習と復習を欠かしてはならない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題や宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状 JAPAN AS IT IS : READING TIME AND THE ECONOMIST』(金星堂)

参 考 書 等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
おか さき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	英 米 文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

文化相対論の「異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する」という観点からは、異文化についての学習の意義が理解されます。また、「外国語を学習することによって、母国語の限界が越えられる」という言語相対論によって英語学習の必要性が確認できるとおもいます。さらに、今日の言語発達史は、母国語を学ぶ子供は、6才で基本的な文法力を、10才で基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得することを明らかにしています。従って、大学の語学教育は、人間の能力の十全な開発と完成を目指す教育の発達段階にある学生たちにとって必須の教育過程であることがわかります。それ故、授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密かつトータルな読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

成績評価の方法

授業では、読解の過程で文法・文の構造について適宜解説することによって、テキストの内容の正確な理解を目指します。理解を深めるために必ず予習をしてください。成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状』金星堂 ¥1,750。

担当者名	配当学科	単 位
おう 逢 み 見 あき 明 ひさ 久	英米文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

詩人・劇作家・小説家・童話作家・機知の人など、多彩な顔を持つオスカー・ワイルドの作品から、童話集と風習喜劇の代表作『真面目が大切』を取り上げる。それと並行して、BBCのニュース番組等を使って英語の聞き取りの力を養う。英語を聞くのは、重要な作業である。しかし、それだけで終わらせては、一方的に伝えられる情報の受け手の立場を体験するにすぎない。情報を発信する側に立つことも必要である。言葉は伝達されなければ本来の意味を失う。音読の実践は常に言葉に命を与える作業にはかならない。それは聞き取りの力のみならず、読解力にもつながってゆく。したがって、この授業では、英語の音感や言葉のつながりを意識した音読も聞き取りと併せて採り入れている。

成績評価の方法

聞き取りテスト（毎回）、レポート（年2回）、授業中における発表（年約10回）、前・後期の定期試験の結果から判断する。総合的な評価の割合は、聞き取りテスト、授業における発表が50%、レポートが20%、前・後期の定期試験が30%である。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格とする。

教 科 書

- 1) 『真面目が大切』 北星堂書店 ¥1,200
- 2) 『幸福の王子・他』 北星堂書店 ¥980

そ の 他

毎回授業で聞き取りに使ったBBCのニュースは、英字新聞で確かめて、英語の語彙を増やすことを心がけて欲しい。なお、その年の英字新聞は大学の図書館の閲覧室に必ず保管してあるので、問い合わせてほしい。

担当者名	配当学科	単 位
おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	英米文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の目的は現代口語英語の読解にある。現代の読み物（特に、現代小説や推理小説等）には、いわゆる、「会話表現」や「口語表現」が多く見られるので、口語英語を理解することは現代の読み物を読む場合、大いに助けになる。

授業は大きく分けて「ヒアリング」、「速読」、「講読」の3つからなる。ヒアリングは毎回、「速読」は年に五回、「講読」は毎回行う。通常は、「ヒアリング」の時間が20分前後、「講読」が70分前後である。「ヒアリング」は、主として、短い会話文や文章を聞き取ったり、ディクテーションを課したりする。「速読」は多くの量の英文を速く意味を把握するような練習問題を課す。「講読」は読んで、訳してもらおう。徹底した演習形式をとるので、学生の予習を前提にして、授業は進める。

成績評価の方法

全評価のうち、前・後の定期試験は25%、練習問題テストは25%、発表（「ヒアリング」の書取り、「読解」、レポート、クイズ等）が50%である。出席が全授業（定期試験や練習問題テスト等は除く）のうち3分の2に満たない場合は「不合格」とする。

教 科 書

- 1) 『10分間ヒアリング』 桐原書店 680円
- 2) 『5分間口語英語表現』 南雲堂 900円
- 3) 『一幕ものドラマ傑作選』 マクミラン・ランゲージハウス 3,000円

担当者名	配当学科	単 位
こほり さぶ るう 小堀 三 郎	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文の伝達内容をできるだけ早く全体的に捉えることに重点を置く。過度に文法に頼ろうとすると文章全体の理解が二次的になってしまい、「英語」そのものにとらわれてしまう結果、部分的に解読できててもその文章の意図する点を見失いがちになる。講義内容はカセットの効率的使用で耳に慣れるようにするとともに、本文内容の理解を練習問題を通して確認して行く。前期終了時には自らこの方法で英文に挑戦する自発性の高揚を目標としたい。辞書の利用法をも学ぶための常時携行を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価の条件としては、授業時の発表、ブリーフ・テスト、定期試験（又はそれに準ずる試験）などを考えている。当然ながら出席は重視される。

教 科 書

「日米文化の出会い」 成美堂 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
ぬま た あや こ 沼 田 綾 子	英米文 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

ウッディ・アレンは言葉の天才です。彼の数々の映画の中でも『アニー・ホール』は際立っています。彼の鉄砲玉のような英語は初めはとっつきにくいかも知れませんが、慣れると語尾がはっきりしているので理解出来るでしょう。あふれるような言葉の力、特異な表現、ユーモア、ジョーク等々一年生にはむずかしいかもしれませんが、説明過多にならないようじっくり読んで行きましょう。各々の配役のアクセントの違い、言葉のニュアンスをさぐりましょう。毎授業ビデオとせりふのテープを聞きます。単語、大体の訳、エクササイズは予習を前提とします。口語辞典が必要かもしれません。

成績評価の方法

二回の大きなテスト（期末）。原則としてオープンブックテストです。後期のテストでは各自一つのテーマを決めてウッディ・アレン論を書いてもらいます。メモのみ持込み可。欠席は六回以上は危険信号。あぶない人はレポート提出可、ポップクイズもあります。毎回一度は当たります。通常の授業時の態度も考慮に入れます。

教 科 書

『アニー・ホール』 松柏社 ￥1,845
時々ロックの詩又はアメリカ現代詩を読みます。プリントを用意します。

そ の 他

英語を学問として勉強するというよりアレンの言語そのものが持つたぐいまれな豊かさ、面白さを中心に授業を進めます。時間が有れば「ロックの歴史」というビデオを見ます。

担当者名	配当学科	単 位
みよし やすよし 三 芳 康 義	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

文明社会にどっぷりつかっている現代人にとって、自然とは何か、という問題をエコロジーの面から問いかけるエッセイを読みます。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。前期は、主に読解力を養うために、段階ごとの単位で精読をします。後期は、精読から各段落の大意をつかむことを重視し、徐々に速読へと発展させて行くことを目指します。英語のリズムを習得するために、本文を朗読したテープも随時利用します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%。ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『自然との語らい』 英宝社 ¥1,700

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
おおた なおや 太 田 直 也	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた文法事項を駆使して、英文を出来る限り速くかつ正確に読むことを目標とする。可能な限り多くの英文を読みたいので、限られた重要なものを除いてはパラグラフ単位で内容把握をしてゆくこととする。その過程で若干の英作文や文法事項の確認も行う。また教科書の内容に即して日本と英語圏の文化についても考える機会を持ちたい。

成績評価の方法

前・後期の試験の成績、年数回行われる小テストの結果、学習態度（授業中の発表や予習状況など）により総合的に評価する。いわゆる「出席点」というものに関してはその存在を認めない。規定の回数（全授業回数の3分の2以上）は当然の事とし、その条件を満たすことが出来なくなった時点で自動的に不合格とする。

教 科 書

『日本人の自己表現学』 金星堂 ¥1,750

担当者名	配当学科	単 位
うえ 植 村 けい 子	地 理 1 必	2

講義のねらい

英語 I B という科目の到達目標である、入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し、聞きながら文意の大章を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説、エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親しみたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらおう。その発表に対する指導方法として、説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、平常点（授業態度、発表の内容、小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教 科 書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単 位
たか 高 橋 よし え 江	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピードで聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的には聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定（講読、聞き取り 各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
あお やま 青 山 たもつ 保	地 理 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語の基礎を固め直して、われわれを取り巻く世界の現状を正しく認識していく力をたくわえたい。そのために英語の構文のきまりをきちんと自分のものにならなければならない。この訓練をしながら、活きのいい英文を読み進めていく。1語、1文の理解は当然だが、パラグラフ、あるいは章全体の大意のまとめ方の訓練も積みたい。毎授業、課題がでる。予習と復習を欠かしてはならない。

成績評価の方法

毎授業、練習問題や宿題など課題をだす。全評価のうち、授業中の練習問題の解答や宿題の成績の平均点が50%、前期および後期の定期試験の成績が50%とする。したがって、欠席が多いと良い成績は望めない。欠席率が3分の1を超えると、定期試験の成績とは関係なく単位取得は不可能となる。

教 科 書

『「タイム」と「エコノミスト」で読む日本の現状 JAPAN AS IT IS : READING TIME AND THE ECONOMIST』(金星堂)

参 考 書 等

適切な辞書と参考書は授業中に指示する。

担当者名	配当学科	単 位
ぬま た あや 沼 田 綾 子	歴 史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

この映画の魅力の一つは配役の妙味です。ポール・ニューマンが忘れられない味を出しています。ストーリーの面白さもさることながらせりふも仲々ユニークです。表現の込み入った箇所は繰り返しビデオを見てテープを聞きます。授業での逐語訳は致しません。単語を調べその他テキストの大体の内容を読み、エクササイズを予習した上での授業となります。単語や述語をおぼえる事は勿論大切ですがその「つなぎ」の部分をもっと大切です。冠詞の使い方はその一つの例です。中学三年程度の文法と単語力で完璧な英文を書ける事を学んでほしいと思います。

成績評価の方法

期末テスト二回。オープンブックテストです。前期はテキスト持ち込みのテストです。後期は主題を前もって教えた上で、論文形式のエッセーを一時間以内に書いてもらいます。ポップクイズも行います。又通常の授業態度も採点します。欠席は六回をボーダーラインとします。

教 科 書

『明日に向けて撃て』 NCI
アメリカ現代詩(プリント)を少々読みます。

そ の 他

特にありません。

担当者名	配当学科	単位
おお たくま なお や 太 田 直 也	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

自然な英語（特にイギリスの英語）に触れ、それに慣れて、最終的には自ら運用出来るようになることを目標とする。具体的には映画の脚本を用いて英語の日常的・慣用表現を学び、同時に解釈とヒアリングの練習も行う。年間を通じてこの形で授業が進められるが、後期は学んだ事柄を用いて自己を表現する練習も行うこととなる。

成績評価の方法

前・後期の試験の成績、年数回行われる小テストの結果、学習態度（授業中の発表や予習状況など）により総合的に評価する。いわゆる「出席点」というものに関しては、その存在を認めない。規定の回数（全授業回数の3分の2以上）の出席は当然の事とし、その条件を満たすことが出来なくなった時点で自動的に不合格とする。

教科書

プリント使用。

担当者名	配当学科	単位
やま くち あきら 山 口 晃	歴史 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文も、一年間という幅の中で、しだいに見えてくるということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できるそのような英文がふさわしい。将来、歴史学を専攻する学生であることを考え、予定では、まず The Book of Knowledge 等から、歴史に関係した項目をえらび教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔でしかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちのそして教師の多様な解釈を授業の中で出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確に英文を読む訓練をすることで、英語を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心のある英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。

リスニングはかならずしも実用性のみこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教科書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいは Penguin Books より歴史に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
たか はし よし え 高 橋 佳 江	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読み、ナチュラルスピードで聞き取れる能力を養う。

聞き取り：使える英語を目指す。最終的に聞き取った文章が自分で言えるようにする。自宅学習が重要。

講 読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内あわてて調べることのないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書（大学生・社会人向けの学習用、コンサイスなどの薄いものは不可）は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者（前・後期合わせて欠席8回以上）、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻2回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定（講読、聞き取り 各1冊）

担当者名	配当学科	単 位
おお た み ち こ 太 田 美 智 子	歴史 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

長文読解を中心に、構文の理解、速読を目的とする。テキストは、ラスコーの壁画から現代絵画に至るまでの様々な美術作品の鑑賞の留意点を解説したものである。当然それぞれの作品の時代背景にも話は及び、歴史的知識が必要とされる。なお、授業の冒頭には毎回リスニングを行なう予定である。

成績評価の方法

年2回の定期試験の点数のみならず、平常時の授業態度、発表態度、予習の有無を重視し、総合的な評価をする。欠席率が年間授業個数の3分の1を超える場合は不合格とする。

教 科 書

1) 『絵画の歴史』 松柏社 ¥1,700

そ の 他

履修者は必ず予習をして授業にのぞむこと。また様々な機会を利用し、英語を聞き取る努力をしてもらいたい。余談ながら、西欧文明を理解する上で不可欠なギリシア神話や聖書のエピソードを題材にした作品がテキストでは数多く紹介されているので、ぜひ一読して頂きたい。

担当者名	配当学科	単 位
うえ 植 村 けい 子	社会 1 必	2

講義のねらい

英語 I B という科目の到達目標である，入学時の英語力を基礎としてより高度な構文を理解し，聞きながら文章の大意を把握しその後の精読によってより一層の理解を深めることを一年を通じてのねらいとしたい。具体的には小説，エッセー及び現在の世界情勢を把握・理解する意味で時事に関するものをテキストとして選び基本的な文法事項にも注意しながら英文に親しみたい。それと共に英米人の持つ思想・感情を十分に理解し国際的視野を広め相互理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前・後期を通して毎時間なるべく多くの学生に少量ずつ音読してもらいその後どんな内容であるかを発表してもらおう。その発表に対する指導方法として，説明を補足し又予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

成績評価の方法

出席状況，平常点（授業態度，発表の内容，小テスト）及び前・後期試験によって決める。

教科書

プリント教材使用。

担当者名	配当学科	単 位
こ ぼり 堀 さぶ るう 郎	社会 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

英文の伝達内容をできるだけ早く全体的に捉えることに重点を置く。過度に文法に頼ろうとすると文章全体の理解が二次的になってしまい，「英語」そのものにとらわれてしまう。結果，部分的に解読できててもその文章の意図する点を見失いがちになる。講義内容はカセットの効率的な使用で耳に慣れるようにするとともに，本文内容の理解を練習問題を通して確認して行く。前期終了時には自らこの方法で英文に挑戦する自発性の高揚を目標としたい。辞書の利用法をも学ぶため常時携帯を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価の条件としては，授業時の発表，ブリーフ・テスト，定期試験（又はそれに準ずる試験）などを考えている。当然ながら出席は重視される。

教科書

「日米文化の出会い」 成美堂 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
おう 逢 見 あき 明 ひさ 久	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

様々な分野の著名な欧米人のエッセイを読み、英語圏の思想的背景を探る。また、BBCのニュース番組等を使って英語の聞き取りの力を養う。英語を聞くのは、重要な作業である。しかし、それだけで終わらせては、一方的に伝えられる情報の受け手の立場を体験するにすぎない。情報を発信する側に立つことも必要である。言葉は伝達されなければ本来の意味を失う。音読の実践は常に言葉に命を与える作業にはかならない。それは聞き取りの力のみならず、読解力にもつながってゆく。したがって、この授業では、英語の音感や言葉のつながりを意識した音読も聞き取りと併せて採り入れている。

成績評価の方法

聞き取りテスト（毎回）、語彙テスト（年4回）、授業中における発表（年約10回）、前・後期の定期試験の結果から判断する。総合的な評価の割合は、聞き取りテスト、授業における発表が50%、語彙テスト（読解や聞き取りで一度取り上げた語彙の確認）が20%、前・後期の定期試験が30%である。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格とする。

教 科 書

『わが座右の名言』 朝日出版社 ￥1,100

そ の 他

毎回授業で聞き取りに使ったBBCのニュースは、英字新聞で確かめて、英語の語彙を増やすことを心がけて欲しい。なお、その年の英字新聞は大学の図書館の閲覧室に必ず保管してあるので、問い合せるとよい。

担当者名	配当学科	単 位
まえ 前 田 おさむ 脩	社会 1 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、はじめにテキストを読みその部分のテープを聞きます。毎回あてますので予習は必須です。段落ごとの内容説明も聞きます。後期は、徐々にスピードをつけた読みを行います。そしてさらに内容把握が適確にできるようにします。

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

『イギリス社会史点描』 英潮社新社 ￥1,300

担当者名	配当学科	単 位
やま くち 山 口 晃	社会 1 必	2

講義のねらい

その時にわからなかった英文の或る箇所も、一年間という時間の幅の中で、しだいにわかっていくということもあるので、一年間という授業の幅を重視したい。そのためには、学生と教師が問題を共有できる、そのような英文が望ましい。将来、社会学を専攻する学生であることを考え、予定ではまず、The Book of Knowledge 等から、社会学に関係した項目を選び教材（プリント）を作ってみようと思う。その際、簡潔で、しかも内容の濃い英文の選択に留意し、学生たちと問題を考えていける教材にしたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業方法は、正確に英文を読むことを第一とするが、それはかならずしも単一の解釈しかありえないということではないので、学生たちの、そして教師の多様な解釈を授業の中に出し合う方法をとることになる。そのような多様な解釈の中から、より正確な英文を読み込む訓練をすることで、英書を読むことの「興味深さ」を感得してもらいたい。そして自分から進んで、関心あるテーマの英書を購入して読んでみようという姿勢を培ってほしい、というのが最大のねらいである。

リスニングは、かならずしも実用性のみこだわらないで、情緒豊かな英文や詩の朗読のテープ等も随時聴いていきたい。

教科書

The Book of Knowledge (Grolier) あるいは Penguin Books より社会学に関係ある項目（初めはプリントの予定）。

担当者名	配当学科	単 位
あか し ゆう 赤 司 裕 子	社会 1 必	2

講義の内容・授業スケジュール

今日的なトピックを扱ったテキスト及びテープを用い、リーディングとリスニングの力を同時に高めることを目標とする。リーディングに関しては、速読の基礎をビルドアップする。リスニングに関しては、必要な情報を正しく聞き取る訓練をし、できる限り完全なディクテーションができるよう努力しよう。

成績評価の方法

単位取得は、3分の2以上の出席を前提とする。平常点を重視し、発表やテスト等を総合して評価を行う。

教科書

『海と環境』（三修社） ¥1,500

その他

予習必須。加えて、テレビやラジオのニュース番組等を定期的に聴取するなど、リスニングに慣れようとする姿勢が必要。

担当者名	配当学科	単 位
未 定	経 済 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
やま だ てる こ 山 田 照 子	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では英文の読解力の向上を目標としています。そこで英文を出来るだけ多く読み、練習問題で重要な語彙、イディオム、構文などを再確認します。またテキストは、経済に関する基礎的な知識や最新の経済事象も盛り込まれていますので、英語と経済両方の学習効果が期待できるのではないかと思います。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、小テスト、前・後期の定期試験、出席率等により総合評価をします。

教 科 書

『Everyday Economics ——よくわかる経済英語——』 南雲堂 ￥1,800

そ の 他

テープ等を使用し、Listening に慣れるようにする。新聞等の資料も併用するつもりです。

担当者名	配当学科	単 位
い ら ぶ あき こ 伊良部 祥 子	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で書かれたエッセイを読み、文章の大意を把握できる力を養成する。テキストの内容は、ポットラックパーティー、ボランティア活動、チップ、カウボーイ、TGIF曜日など、普通のアメリカ人の日常生活を切り取った話題や、現代アメリカが直面している銃規制、妊娠中絶、死刑廃止などの社会的問題を扱ったトピックで構成されている。このテキストの読解を通して、文法や語い等の語学としての学習だけでなく、現在のアメリカ社会に対する理解を深めることができる。

授業は演習形式で行う。毎回、全員に指名するので、十分に予習して授業に臨むことを期待する。具体的な授業の方法としては、まずテープで本文を聞き、音読する。次に段落ごとに内容について、英語で質疑応答する。重要構文や有用な語句のディクテーションと和訳。表現力を養うための短文の英作文等である。

成績評価の方法

前期末後期末の試験、及び授業時における発表で総合評価する。

教 科 書

「ニューヨーカーの語るアメリカ」 成美堂 ￥1,600

そ の 他

火曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひる よし 伊 藤 博 義	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

マスメディアの先端技術化により世界の出来事が日米の茶の間で同時にテレビ画像で見られる様になり、英語を学ぶ学生はそれらの詳細の記事に辞書を手に興味をもって読み語学力を養う事が出来る。そうした点でこのテキストは話題が広範囲で面白く現代用語も豊富で見聞を広められる。正確に声を出して本文を五回以上読み、文の構成をよく見て、新語を予習し、質疑応答を繰り返しながら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、20の設問に答える。

成績評価の方法

授業中の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、教室内の発表回数、テスト2回の得点、出席状況等を重視して総合評価する。

教 科 書

Jim Knudsen『What's happening in the U.S.A today
(アメリカ現況レポート)』 南雲堂 ￥1,300

参 考 書 等

各英字新聞
時事英語辞典(研究社)

担当者名	配当学科	単 位
未 定	経 済 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
い ら ぶ あ き 伊 良 部 祥 子	経 済 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文を正確に読み、そこに発信されている情報を読み取る力を養うことがこの授業の目的である。使用するテキストの構成は環境、社会、政治、経済の4つの分野から成り、各分野において、日米双方の今日的話題を取り上げ、興味ある日米の文化比較論が展開されている。人口問題、環境汚染、核問題、日本の米政策、麻薬、銃規制、ホームレス、エイズ人権、日本の自信喪失等の異文化理解を深めると同時に日本の社会についても考察できる内容となっている。授業の方法としては、まずテープで本文を聞き、発音を確認する。次にパラグラフごとにトピック・センテンスをチェックする。この作業を通して大意を把握することができる。次に、英文を訳読する。和訳を通して、本文の内容を正確に理解していたかどうか確認する。毎回、重要構文や語句のディクテーションを行う予定である。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と授業における発表で評価する。

教 科 書

「国際社会と日本」 朝日出版社 ￥1,500

そ の 他

火曜・1限

担当者名	配当学科	単 位
うね べ のり こ 敵 部 典 子	経 済 1 年	2

講義のねらい

1時間かけてもやっと5行程度しか進められないような読み方から脱却し、内容を理解しながら「速く」「量を多く」読みこなせるような読解力を養成することを目的とする。また同時に「文章を読む」とはどういうことか、この授業を通じて身につけてもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は1課を2段階にわけて進める。まず全体の内容を把握し、主題がどう展開しているか、文脈はどう流れているかなどを理解する。続いて構文を正しく理解しているかどうか文法事項を確認しながら訳読する。後ろから訳す、という悪い癖を持っている学生はこの段階で矯正する。また随時語彙を増強するための小テストも実施したい。教科書は学生諸君の意欲や進度により内容を高度なものに変える予定。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他の細かい履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績は前期末に実施する中間試験、学年末試験、および平常点から総合的に評価するが、特に中間試験、学年末試験のいずれかもしくは両方を欠席した場合、単位は認定しない。また追試験は実施しないので注意すること。

教 科 書

大学英語教育学会・編『Dynamic Reading「リーディングの新技法」』 Macmillan Language House

担当者名	配当学科	単 位
未 定	商 1 年	2

開講時に指示します。

担当者名	配当学科	単 位
やま だ てる こ 山 田 照 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では平易な英文を正確に読み取ることで、その文章の大意を把握する力を伸ばすことを目的とします。それにはまず今まで学んできた語彙、熟語、文法等の基本的な学習を再認識することが必要です。さらにテキストを通して“アメリカン・ドリーム”を実現した人物たちの伝記を読み、その背景となっている歴史や文化を学んで行こうと思っています。

成績評価の方法

授業中における発表、レポート、小テスト前・後期の定期試験、出席率等により総合評価をします。

教 科 書

『Profiles of the American Dream
—— アメリカン・ドリームを読む ——』 金星堂 ￥1,700

そ の 他

テープ等を使用し、Listeningの練習をする。また、新聞等の資料も併用するつもりです。

担当者名	配当学科	単 位
いら ぶ あき こ 伊良部 祥 子	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文の内容を正確に速く読み取ることができるようにする。後期には英字新聞のニュースが読める読解力を身につけることが目標である。(実際に、後期には英字新聞を教材にする予定である。)使用するテキストの内容は現代アメリカの政治、経済、社会面での最新情報で構成されている。このテキストを通して、日米経済摩擦で採めるアメリカの素顔にふれ、異文化理解を深める。授業の進め方としては、まずテープで本文を聞き、正確な発音をチェックする、パラグラフごとにトピックセンテンスを見つける、日本語に訳す、練習問題をするという順序で計画している。授業は予習を前提に進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験及び授業時の発表、レポートで総合評価する。

教 科 書

「アメリカ ナウ」 金星堂 ￥1,650

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
うね べ のり こ 敵 部 典 子	商 1 年	2

講義のねらい

1時間かけてもやっと5行程度しか進められないような読み方から脱却し、内容を理解しながら「速く」「量を多く」読みこなせるような読解力を養成することを目的とする。また同時に「文章を読む」とはどのようなことか、この授業を通じて身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は1課を2段階にわけて進める。まず全体の内容を把握し、主題がどう展開しているか、文脈はどう流れているかなどを理解する。続いて構文を正しく理解しているかどうか文法事項を確認しながら訳読する。後ろから訳す、という悪い癖を持っている学生はこの段階で矯正する。また随時語彙を増強するための小テストも実施したい。教科書は学生諸君の意欲や進度により内容を高度なものに変える予定。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他の細かい履修上の留意点は第1回目の授業で指示するので必ず出席すること。

成績評価の方法

成績は前期末に実施する中間試験、学年末試験、および平常点から総合点に評価するが、特に中間試験、学年末試験のいずれかもしくは両方を欠席した場合、単位は認定しない。また追試験は実施しないので注意すること。

教 科 書

Kiyoshi Hasegawa, Christopher Tate『Reading Strategies』Macmillan Language House

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
い とう ひろ よし 伊 藤 博 義	商 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

二十一世紀を迎えようとしているのにこの地球上は未だ原始時代の如く、国家間の戦争、民族対立、宗教言語の混乱、巷の殺人、麻薬、環境破壊公害、エイズ—等の多くの暗い事件が日常茶飯事の世相である。アメリカ国内でのそうした現象は世界の注目の的であるが、アメリカ人は敢然として、公開し積極的に自由討論して、官民一体となって問題解決に取り組んでいる。「臭いものに蓋をしる」の日本式でなくて、決して隠蔽せず、堂々と議論対処するところを我々は学ばねばならない。近年ここ日本にも同じ世相が起きつつある以上アメリカ式対処法をこのテキストを読むことで学習出来る。正確に声を出して、各項目を五回以上読み、文の構成をよく研究し、新語を調べ、質疑応答を繰り返したら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、作文を試みる。

成績評価の方法

教室内の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テキストの定期試験2回の結果、出欠状況等を重視して、総合評価する。

教 科 書

『Americans face their problems』William M Balsamo 金星堂 ¥1,750

参 考 書 等

各英字新聞
時事英語研究（研究社）

担当者名	配当学科	単 位
まえ 前 田 おさむ 脩	商 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度、リスニングを行います。前期は、リスニングに力を入れ、教材の他にもテープを用意します。テキストは、毎回あてますので、予習が必須となります。後期は、除々にスピードを上げて読みを行います。さらに内容の把握も適確にできるようにします。
(その他随時英字新聞のコピーを使用します。)

成績評価の方法

授業中における発表等日常評価、出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

- 1) 「TOEFL/英検のための基礎リスニングテスト」 金星堂 ¥980
- 2) 「イギリス社会史点描」 英潮社新社 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
あさ 浅 野 けい 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

実際のコミュニケーションに役立つ英語力の基礎を身につけてもらうことを目標とし、毎回の発表を重視した演習形式を用いることとする。前・後期ともビデオ教材を使用する。前期は「視覚から得た情報」と「聞き取れた語句、表現」について設問に答え、メモを取る技能を身につける。後期は、学習した単語、語句、表現を用いて自分なりの簡単な英語で意見が言えるようにする。また理解を深めていくために、内容を日本語、英語で要約する練習も加えて行なう。

成績評価の方法

授業における発表、出席を最重視する。レポート、クイズ、要約を年間通して何回か実施する。

教 科 書

- 1) 『CNNマスターコース中級編』
サイマルアカデミー 2,000円
- 2) プリント配布

担当者名	配当学科	単 位
おお はし しん いち ろう 大 橋 進 一 郎	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本をよく知るアメリカ人の書いた日本人に関するエッセイを読み、英語の読解力の向上を目指す。目標は、難解な単語は辞書を引いても、普通の構文ならばすらすら読める実力の涵養にある。また、目で読むだけでなく、音で聞いても理解できるように、テープを使った聞き取りの練習も行う。さらに、外国人の見た日本人像についても考えてみたい。

授業は毎回学生に当て、音読と和訳をしてもらう。したがって、毎回4ページ程度の予習が必要。

成績評価の方法

原則として前・後期の定期試験及び授業中の訳読（平常点）で評価する。授業を3分の1以上欠席したものは不合格とする。

教 科 書

『日本人の独自性』 朝日出版社 950円

そ の 他

必要に応じて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
か い かつ こ 甲 斐 捷 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

TOEFL, TOEIC等, コミュニケーションを主体とする英語のリーディング演習を, リスニング演習と合わせて行う。TOEFLにしるGREにしる, アメリカの試験はすべて, 短時間で膨大な量をこなす能力が要求されるので, 授業も実際の状況に即して, 時間を設定して行う。中級から始めて上級レベルまで, 毎回の小テストによる徹底的な復習を踏まえて, 進む。

成績評価の方法

小テスト30%, 前期試験30%, 後期試験40%, 試験の結果が基準に達しなかった場合, 及び, 欠席が3分の1を超えた場合は, 不合格とする。

教 科 書

- 1) 『リーディング問題の総合演習 —— TOEFL/TOEICにそなえる』 金星堂 ¥1,300
- 2) 『TOEICのためのリスニング演習 —— テストと基礎知識のまとめ』 金星堂 ¥1,200

そ の 他

- 1) 英語圏で2年以上生活した者, 及びインターナショナルスクールの高等部を卒業した者は申し出ること。
- 2) 遅刻, 欠席をしないよう, 望む。

担当者名	配当学科	単 位
み 海 たま 琳 やす 泰 こ 子	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

戯曲 The Elephant Manを読む。この劇も衝撃的感動を与えた映画「エレファントマン」も人類学者Ashley Montague の The Elephant Man : A Study in Human Dignityに基づいているので、必要な部分はプリントで読む。奇形のMerrickの魂の完成と医学者Trevesの魂の喪失をたどりながら「苦」のみ与えられた人間について、時代背景を含めて考えてみたい。授業は英語、日本語訳とも配役を決めて劇形式で進める。

Listening ComprehensionはJapan Timesと英紙The Weekly Telegraphの記事を使用して行なう。

成績評価の方法

前後期の定期試験と年間8回の小テストで評価する。定期試験については、いかなる理由でも、又1回でも欠試の場合は、単位修得不可能。

教 科 書

Bernara Pomerance著 奥村義博編注「戯曲エレファントマン」 鶴見書店 1,250円

担当者名	配当学科	単 位
み 三 よし 芳 やす よし 康 義	法 律 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

映画のなかで多く用いられる口語表現を何度も何度も繰り返し聞くことによって、リスニングの能力を養い、普段の会話にも役立つ慣用語句や名セリフ等を覚え、日常的なことを表現できるようにします。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。授業では、ビデオを用いて、実際に映像を身ながら自然な英語の発音やイントネーションを習得し、除々に複雑な表現も聞き取れるようになることを目指します。必要に応じて、プリントを配布します。

成績評価の方法

前期試験40%、後期試験40%、レポートを含む平常点20%、ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『カサブランカ』 ニューカレントインターナショナル ¥2,000

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
あさの 浅野 けいこ 恵子	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

実際のコミュニケーションに役立つ英語力の基礎を身につけることを目標とし、毎回の発表を重視した演習形式で行なう。前・後期ともビデオ教材を使用する。前期は「視覚から得た情報」と「聞き取れた語句、表現」に関連する内容の文を読み、設問に答える。メモを取る技能も身につける。後期は学習した語句表現を用いて自分なりの意見をまとめる練習もする。また随時関連内容のプリントを配布し、日本語で要約を加えて行なう。

成績評価の方法

授業における発表、出席を最重視する。
レポート、クイズ、要約を年間通して何回か実施する。

教科書

- 1) 『CNNマスターコース初級編』 サイマルアカデミー 2,000円
- 2) 関連内容のプリント (随時)

担当者名	配当学科	単 位
み 海 たま 琳 やす 泰 こ 子	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Amadeus の作者 Peter Shaffer の双方の兄弟の Anthony Shaffer の Sleuth を読む。まずは巧みな筋立てと会話でサスペンスを存分味わい、次に Inspector Doppler の名前の意味や英国社会での外国人問題などに目を向けたい。Englishness とはいったい何なのか？植民地人としての英語とは、現代日本人は英語とどう向き合ったら良いのか、一年間でじっくり考えてみたい。

Lawrence Olivier 出演の映画版も可能なら鑑賞したい。授業は英語、日本語訳とも配役を決めて劇形式で進める。

Listening ComprehensionはJapan Times と英紙 The Weekly Telegraph の記事を使用して行なう。

成績評価の方法

前後期の定期試験と年間8回の小テストで評価する。定期試験については、いかなる理由でも、又1回でも欠試の場合は、単位修得不可能

教科書

Anthony Shaffer 著 倉橋 健, 甲斐 萬里江編注『探偵 (スルース)』 南雲堂 1,400円

担当者名	配当学科	単位
おおはし しんいちろう 大橋 進一郎	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカ合衆国の歴史を題材にしたエッセイを読み、英語の読解力の向上を目指す。目標は、難解な単語は辞書を引いても、普通の構文ならばすらすら読める実力の涵養にある。また、目で読むだけでなく、音で聞いても理解できるように、テープを使った聞き取りの練習も行う。また、アメリカ合衆国の生い立ちを知るのも重要なテーマである。

授業は毎回学生に当て、音読と和訳をしてもらう。したがって、毎回4ページ程度の予習必要。

成績評価の方法

原則として前・後期の定期試験及び授業中の訳読（平常点）で評価する。授業を3分の1以上欠席したものは不合格とする。

教科書

『アメリカ小史』 成美堂 950円

その他

必要に応じて指示する。

担当者名	配当学科	単位
か い かつ こ 甲斐捷子	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションのための語学力の養成と、異文化理解を同時に図る。教材はアメリカ社会の問題を幅広くとらえたもので、政治、経済、教育、医療、法律、テクノロジー等の分野で実際に仕事に携わる人々が、インタビューに答えて語ってくれる話は、実に面白い。

成績評価の方法

一課終了ごとに行う練習問題テスト30%、前期試験30%、後期試験40%、試験の結果が基準に達しなかった場合、及び、欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

成績評価の方法

『ビデオで見る現代アメリカ社会』 鶴見書店 ¥1,545

その他

- 1) 英語圏で2年以上生活した者、及びインターナショナルスクールの高等部を卒業した者は申し出ること。
- 2) 遅刻、欠席をしないよう、望む。

担当者名	配当学科	単 位
三 芳 康 義 み よし やす よし	政治 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

映画のなかで多く用いられる口語表現を何度も何度も繰り返し聞くことによって、リスニングの能力を養い、日常会話にも応用可能な慣用語句や俗語等を覚え、セリフを聞き取り、日常的なことを表現できるようにします。予習を前提にし、毎回口頭による発表形式を用います。授業では、ビデオを用いて、実際に映像を身ながら、自然な英語の発音やイントネーションを習得し、除々に複雑な表現も聞き取れるようになることを目指します。必要に応じて、プリント等を配布します。

成績評価の方法

前期試験40%，後期試験40%，レポートを含む平常点20%，ただし、平常授業（前・後期試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とします。

教 科 書

『卒業』 ニューカレントインターナショナル ￥2,000

そ の 他

履修者には積極的に授業に参加してもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
清 水 祐 次 し みず ゆう じ	経営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ディケンズの名作 A Tale of Two Cities を購読するが、ここに使用するテキストは3,000語程度のレベルに rewrite されたものである。従って、内容豊かな物語の興味を持続しつつ、しかも比較的平易な英文をある程度の速さで読み進んでいくことができると思う。また、本文が吹き込まれたテープの聴取を併用することにより、listening の練習も行なっていく。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

『A Tale of Two Cities』(Simply名作シリーズ) 南雲堂 ￥1,200

そ の 他

木曜・3限

担当者名	配当学科	単位
やしま なお こ 矢島直子	経営1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて2種の教科書を使い、精読と速読を学ぶ。精読と言っても、常にゆっくり読む訳ではなく、大事な点はていねいに、そうではない点はある程度はやく読む。速読は練習問題を解いて学ぶ。精読は予習を前提とした演習形式を取る。速読は授業のたびに15分程行なう。目標は、本を速く読んで要点をつかめるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) 石井俊彦・他「速読ステップ演習Ⅱ,Ⅲ」英潮社 各410円
- 2) ドゥーギル「イギリスを築いた人びと」北星堂書店 1,300円

担当者名	配当学科	単位
にし むら しょう じ 西村匠史	経営1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英文を読み進めていく過程の中で、基礎的な英文解釈の力をつけていきたいと思います。ただし、大学での英語の授業の性質上、ややレベルの高い教科書を選定しました。

成績評価の方法

年二回の試験における成績を基本としますが、予習状況、授業態度、出席率などを判断材料に加えます。

教科書

『くらしの経済学』南雲堂 ¥1,200

担当者名	配当学科	単 位
おお たち 美 ち こ 太 田 美 智 子	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

長文読解を中心に、構文の理解、速読を目的とする。
 現在ロックは市民権を獲得し社会に定着した感じがある。しかし本来は反体制の象徴であった。では若者は一体何に反抗し、何を訴えようとしたのか。テキストは60年代から80年代終盤に至るまでのロックとその背景である社会に言及したものである。肩の力を抜いて英語に親しんでもらいたい。なお、授業の冒頭には毎回リスニングを行なう予定である。

成績評価の方法

年2回の定期試験の点数のみならず、平常時の授業態度、発表態度、予習の有無を重視し、総合的な評価をする。欠席率が年間授業回数の3分の1を超える場合は不合格とする。

教 科 書

1)『ロッククラシックス』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,340

そ の 他

履習者は必ず予習をして授業にのぞむこと。また、歌、映画、ニュース等々様々な機会を利用し、英語の聴解力を伸ばしてもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
し みづ ゆう じ 清 水 祐 次	経 営 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

トマス・ハーディの名作 Tess of the d'Urbervilles を教材として用いる予定である。テキストには、3,000語程度のレベルに rewrite されたものを考えている。
 従って、内容に富んだ物語の興味を持続しながら、しかも比較的平易な英文のある程度の速さで読み進んでいくことができると思う。
 また本文が吹き込まれたテープの併用により、listening の練習も行なっていく。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。
 なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教 科 書

具体的なテキストについては未定。教場で指示する。

そ の 他

木曜・4限

英語 I C (会 話)

〈英語 I C (会話) の授業内容と履修上の留意点〉 (経営学部のみ)

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りのクラスを選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	経 営 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

英会話を中心にするとともに総合的なアプローチをとるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、英米国で実際に使用されている本物の興味ある資料をもとにしてリスニングと読解の力を高めようとする。系統的に工夫されている連鎖問題によって学生の興味と学習意欲を向上させる。教科書のレイアウトは、各章の始めにその章の課題を設定し、これから練習することばのファンクションを例文で、また、準備知識として必要な語彙を紹介する。そのあとはグループかペア、または、個人で問題となっているファンクションやパターンを練習させる。最後に、レッスンの要点に対する意識を高めるための問題が設けられている。付属ビデオテープも利用する。大体、2 時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、宿題提出、短い speech、小試験、期末試験。

教 科 書

Atlas: Learning Centered Communication, Heinle & Heinle Publishers ¥1,980.

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テイラー, レズリー	経 営 1 年	2

講義のねらい

The aim of this elementary English course is to provide students with the ability to express themselves in day to day conversations. The course will concentrate on speaking and listening skills, and students will be required to take part in communicative activities in the classroom.

履修上の留意点

The students will be expected to attend regularly.

成績評価の方法

The students will be assessed on class work and periodic testing.

教 科 書

Headway Elementary. John and Liz Soars. Oxford University Press.

担当者名	配当学科	単 位
ロンゴ, トーマス	経営 1 年	2

講義のねらい

Depending upon each student's effort, conversational ability, listening comprehension and reading and writing skills will improve incrementally through the school year.

成績評価の方法

Grades will be based on:

1. Attendance rate
2. Classwork
3. Homework
4. Tests
5. Teacher evaluation of student effort and attitude.

教 科 書

Fast Forward USA. Oxford University Press.

参 考 書 等

Supplementary prints will also be used.

担当者名	配当学科	単 位
コーガン, トーマス J.	経営 1 年	2

講義のねらい

This is a beginning course in spoken English. In this class, we will focus on English as a tool for communication. We will practice such things as introducing ourselves, asking for information, giving our opinions, expressing our likes and dislikes, and talking about ourselves. In short, we will learn how to carry on simple but natural conversations in English.

成績評価の方法

Class Participation 30%: This is very important!

Attendance 30%: You will fail if you are absent five or more times during the entire year.

Interview Test 40%: I will give each student an interview test at the end of both semesters.

教 科 書

I will announce the title of our conversation text on the first day of class.

英 語 II A

〈英語 II A の授業の内容と履修上の留意点〉

英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	禅 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

日本文を英訳する際、文法的に正しい英文を書くことは当然のことではあるが、文意が English Speaker に理解されるものでなければならない。相手に通じる妥当な英文を書くことを目的とし、これまでに習得した知識をふまえて更に多用な表現形式、慣用的表現、日本語と英語の発想の違いを学習する。自分のこと、日本の文化、伝統・歴史・習慣などについて英語で説明できるよう英語表現力を培う。

成績評価の方法

前・後期の定期試験・授業中における発表、レポートに基づき評価。平常授業の欠席日数が、全授業日数の 1/3 を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『トーキング・アバウト・ジャパン』 朝日出版 ¥1,600

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
よこ もり まさ ひこ 横 森 正 彦	禅 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

時事問題や日常生活の中でよく使われる表現を学び、いままでに養われた単語を使って身近なことを、自分の意見を少しでも表現できるようにする。また授業は演習形式をとるので学生は必ず予習してくること。口語英作文から時事英作文へと段階的に多用な用法を学ぶ、習熟する。

成績評価の方法

授業中における発表は年間10回以上、レポートは年間2回以上、前期・後期試験、小テスト形式はずい時おこなう。評価については先に述べたことをあわせ考える。出欠席については年間授業数の 2/3 以上出席のこと。さらに詳細について初日に説明する。

教 科 書

‘Writing English Through Major News’ 木塚晴夫 金星堂 ¥1,650

そ の 他

学生はテープなどを利用し、口語英語に親しむことを望む。

担当者名	配当学科	単 位
さ たけ りゅう しょう 佐 竹 龍 照	仏教 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

「やれば出来る英作文」から「クリエイティブ・ライティング」へと授業を進めたい。前期は基礎的な口語表現の用法、例えば「名詞構文の生かし方」、「動詞の選び方」、「日本語と英語の比較構文」などを学びながら、後期はより複雑な表現法に進み、さらに自由英作文を試みたい。授業はつねに演習形式で進めるため、予習、復習は必ず行なうこと。

成績評価の方法

評価は授業中の各人の発表と小テスト、レポート、定期試験などを総合して評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

長谷川潔 編著『活きた英語の表現演習』成美堂（¥1,200）
なお参考書などは授業時に指示する。辞典は必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	仏教 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めまぐるしく変化する世界の中で、国際語としての英語は我々の日常生活の中に完全に入り込んで来ている。このような時代環境にあって、日本の伝統的な仏教の位置づけはいかなるものであろうか？それには欧米の文化を念頭におかなければならない。そのような広い視野にたつてこそ、伝統仏教がその意味を持つのである。本授業では国際語としての英語、英語文化にふれながら日本仏教を見つめてみたいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表（年5回）、短い質問（約3回）、前・後期の定期試験の結果、および出席点（但し、出席は原則として授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。なお、評価はテキストにより、出来、不出来のバラつきが見られるので各クラスが公平になるように相対的に考える。

教 科 書

『国際語としての英語』成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
えださちこ 江田幸子	仏教2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること——何を、どのように——を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムへ組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ていない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて——総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない——60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ること主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教 科 書

- (1) Writing用：From Paragraphs to Essays「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用：Activities for Effective Communication「コミュニケーション実践演習」

そ の 他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
なかやまひろかず 中山浩一	国文2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活で頻出するイディオムと日本人の苦手とする動詞と名詞の結びつきに学習の重点を置き、英語の表現能力の向上を目指す。

履修上の留意点

- ① テキスト各章の例文と記載内容、練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況を評価し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『イディオムを使った英語の表現演習』 金星堂 ¥1,550

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学科	単 位
いとうひろよし 伊藤博義	国文2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語力をつけることは、教材を興味中心として、易→難と辞書を多用し乍ら、読み、書き、話し、聞くの四技能を習得することである。このテキストはこうした観点から全部で20篇の物語は興味津々で秀作でじっくり味読する。展開の仕方が見事で、面白く、行間に漂うユーモアの醍醐味を感じ取ることを目的とする。テープでのHearing そして、正確に声を出して本文を読み、少くとも五回以上読み、文の構成をよく見て、内容の質疑応答を繰り返し乍ら、内容の面白味を感得する。更に読み、練習問題を自分でやって発表する。

成績評価の方法

教室内の授業態度 大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テスト2回の得点、出欠状態等を重視して、総合評価する。

教科書

L.A.Hill. 安藤賢一『Witty Tales』 成美堂 ￥1,600

参考書等

Andrew A. Rooney, Pieces of My mind 桐原書店

担当者名	配当学科	単 位
いでこういち 井出功一	国文2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは世界各地の国民、民族、部族が、何をどのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた『食文化』論。

内容は紅茶、コーヒー、緑茶にはじまり、ナイフとフォーク、箸、手食文化の相違、中華料理、日本料理、アメリカの料理へと話を進め、パン、牛乳、麺類、ジャガイモ、調味料、スパイス、漬物、食事のタブーなどに及ぶ。

食べ物は、衣服、住居とともに私達の日常生活を支える最も重要な要素の一つなので、テキストの英文を十分に聞いたり、読んだりして英語を的確に捉え、さらに、英文の内容を新たに創造することは、英語力を身につけるのに大いに役立つ学習法。

なお、国内で、今後起こるかも知れない新しい食文化にも触れながら、最先端の食料、例えば、アンデス山脈からやって来た「ヤーコン」、英国の航海家ジェームズ・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」なども説明する。

また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

教科書

A Global Tour of Dietary Culture 『世界の食文化』（成美堂）

担当者名	配当学科	単 位
さ とう こう いち 佐 藤 孝 一	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語学習の基本的な方法は、英文を正しく読み、訳し、内容を理解することである。それができなければ更なる上達は不可能である。英文の読解を基本に、英文を書く事と耳からの学習も授業の中で取り入れる。英作文は、書き方を練習し、不定期に英文を自由なタイトルで書いてもらい、フロッピーで提出することにする。ヒヤリングの技能の強化では、TOEFL の基本問題を毎時間実施する。これは出欠のチェックとする。

読解は、統一テーマは英語の学習法で、どのような勉強法が理想的か、学生の英語の勉強に対するアドバイスの内容で英文科の学生にとっては大変参考になると確信している。各時間に、基本的には2章ずつ消化していく。前の週にテープを聞き、発表希望者を募り、進んでいく。終わりにリスニングの問題を1章ずつこなしていく。これは毎時間後提出する。

履修上の留意点

発表者は必ず訳をしてくること。リスニングに関しては、選択肢の問題の意味を一通り調べてくること（全員）。

成績評価の方法

発表者には素点で5点、全体的には、読解の試験3～5章ごとに1回の割合で、その成績とリスニングの成績を加える。それに発表点と作文の点を加算する。

教 科 書

1. M.ドライバー著『Driver's Tidbits on English Learning』
World Communications 出版 1,700円
2. M.ドライバー著『Preparing for TOEFL』
ワールドコミュニケーションズ 700円

参 考 書 等

研究社「リーダーズ英和辞典」

担当者名	配当学科	単 位
つか もと とし お 塚 本 利 男	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

身近な出来事や今日の世界情勢について、自分の意見を述べたり書いたりすることが出来るようにする。最初にやさしい英語で書き下ろした英文を読み、それに関連する練習問題①その章に関連のある単語を覚える②本文の内容について和文英訳をする③ idioms を覚える④ hearing の勉強のために、ニュースを聴いて空所を埋める。以上の段階により培われた英語力を駆使して、関連のある応用英作文に挑戦する。最終的には時事的な問題に関心を持ち、それらの問題を英語で表現することを目指す。

成績評価の方法

授業中における発表（年約8回）、レポート（年約2回）、小テスト（毎回）の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業（前・後期の定期試験は除く）の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『ニュース・トピックで学ぶ英作文』 金星堂 ¥1,650

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
おのえのりこ 尾上典子	英米文 2 必	2

講義のねらい

アメリカ文化が生み出した最も典型的なアメリカ的な芸術様式の一つである「映画」の歴史について簡潔に教えたのち、数あるアメリカ映画の中で最もアメリカ的な価値観およびアメリカ人的思考体系を示している西部劇映画（Western Movies）について論じ、西部劇映画の歴史的・文化的背景について考察させながら映画を通して英語聴解・運用能力を強化するのが講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

年間授業を通じて少なくとも4本の優れた西部劇映画作品を授業の中で見せるつもりであり、従ってその場合に3時限開始以前の昼休みから映画用大教室に集合してもらうこともある。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度・出席率・前期と後期の年2回の試験によって総合的に判断を行なう。

教 科 書

Mark Siegel 著 *American Culture and the Classic Western Movie* (英宝社出版)

担当者名	配当学科	単 位
ささくらさだお 笹倉貞夫	英米文 2 必	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation), 応用ダイアログ (Application Dialogue), Conversational Style 等々を吟味・検討する一方, Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他、随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教 科 書

William L. Clark 著 *Spoken American English*
『アメリカ口語教本』(上級用) 研究社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単 位
おお ば なお き 大 庭 直 樹	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、コンピュータを使って、英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) 能力の向上を目指します。受講者は、適切なガイダンスと自らの努力によって、パソコン相手に英作文、英会話表現、映画の英文字幕、そしてTOEFLテストなどの語学演習に挑む。

履修上の留意点

受講者はID番号でコントロールされ、学習履歴や成績結果が記録されるので、受講生が自らの弱点を補強していく。したがって、到達目標は、各受講生が自らの英語の運用能力をレベル・アップする語学演習形式にある。

成績評価の方法

試験・定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

教 科 書

使用ソフト-Micro English for Windows。受講者はフロッピーデスクのみ用意する一詳細は、教場で指示する。

そ の 他

上記のソフトは電算機事務室(4号館2F)に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室(4号館1F、朝9時より夜9時まで開館)で補習すること。

担当者名	配当学科	単 位
お ぶ せ け さ ぞう 小 布 施 圭 佐 三	地 理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英作文の最終目標は自由作文であり、自分の思っている事柄を英語で自由に表現することができるようになることである。しかし、そこへ到達するには必要なステップを踏まなければならない。高等学校の英作文の目標が構文や語法の習熟にあるとするならば、大学の英作文の目標はその延長線上の自己表現の養成とパラグラフが書けるようになることである。それには、モデル・パラグラフにならって読んだり、書いたり、暗唱したりして、練習を積み重ねることが大切である。

題材は学生たちの生活場面に密着した事柄に関するもので、普段自分たちがよく使う表現を英語ではどう表現するのかを学び、活用することができるであろう。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験(年2回)などを加味して評価する。

教 科 書

斉藤宏・関裕三郎・William Bell編著『A New Way to English Writing』成美堂

そ の 他

授業形態は演習形式で行う。毎時間、なんらかの形で全員を指名し活動させる。毎回授業終了後、課題を与え翌週提出させる。

次の点に留意すること：①予習、復習の励行 ②ノートをしっかりとること ③毎時間英語の辞書(英英辞典)持参 ④視聴覚教材使用など。

担当者名	配当学科	単 位
木村 克彦	地理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

主にイギリスの優れた戯曲を読むことにより英語の運用能力の向上を目指したい。前期は古典的な文章表現に慣れ、後期に運用面を補いたい。なおテキストは17ページから読み進める。

成績評価の方法

基本的には、前期・後期試験の結果に因るが授業態度の劣悪（私語等）な者は、試験の成績にかかわらず不可とする。

教科書

『オスカリアーナ』（改訂版）北星堂 ￥1,400

参考書等

『ワイルド作品論』新樹社 ￥2,500

担当者名	配当学科	単 位
江田 幸子	地理 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること——何を、どのように——を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムへ組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業点を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ていない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて——総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない——60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ることを主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教科書

- (1) Writing用：From Paragraphs to Essays「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用：Activities for Effective Communication「コミュニケーション実践演習」

その他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
さとう あきこ 佐藤 明子	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の文章では、作者の考えがどのようにまとめられているかテキストからその効果的な方法を学ぶ。さらに応用として、新聞や雑誌の記事などの生きた英文を使って、文章の分析や要約などを試みる。またテープやビデオなどの教材を使った口語表現の訓練も同時に行なう。最終的には与えられた課題を数ページの英文エッセイにまとめられることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、英作文などの課題と、前期・後期試験、授業内に行う小テストに基づいて総合的に評価をする。ただし授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

From Paragraphs to Essays 『パラグラフからエッセイへ』 英潮社 ¥1,600

そ の 他

授業は予習を前提とした演習形式で行なわれる。

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	歴史 2 年	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students are welcome to this class; it will be interesting and useful for everyone. I would like you to join the class with your friends so that you can sit together, because in this class you will be talking in groups with your friends during most of the class time. If you simply sit with friends who know about as much English as you, you can practice English at the right speed. In a small part of the class time, I will practice TOEFL grammar and give you practice in listening comprehension that is useful for passing standard English tests.

講義の内容・
授業スケジュール

We will practice in English composition in two ways. First, every week we will write English sentences so that you can develop a "sense" for how a good English sentence "sounds". This will not be like learning grammar; this will not be like translating sentences; it will be a totally new experience for you, and it will be a lot of fun. Second, every week I will give short lectures about the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. Afterwards you will write your opinions about things like these.

教 科 書

The entire course is carefully organized in our textbook, which I will explain at the beginning of our classes.

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
むら いし え しょう 村 石 恵 照	歴 史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代実際に使用されている主として口語英語の運用能力の充実をはかる。実際に使われている口語（会話）表現であるから、様々な社会階層の人々の使う英語に慣れることが聞き取る場合大切で、また発話する立場では感情と内容を確実に標準的な会話体で話すことが必要である。聴取・発話を外国語として身につけるには信頼できるテキストを確実に利用することが必須である。（適宜、テープ、ハンドアウトを使用）

成績評価の方法

授業中での学習参加意欲、小テスト、前後期末の平常テストにもとづく。出席重視。

教 科 書

「Streamline English : Connections イギリス英語版」 オクスフォード大学出版局
¥1,880

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	社 会 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。日常会話や映画等多用される語や慣用表現を学び、身近なことから表現できるようにする。また、文章表現の場合、各パラグラフから自由英作文（600字-A 4で2枚程度）を3～4回（通年）提出してもらう。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約6回）、レポート（年に約3回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合には不合格とする。

教 科 書

2冊使用の予定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
つかもととしお 塚本利男	社会 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの歴史・文化・習慣などに関する内容の英文を読み、演習を通じて基本文法事項の理解を深め、その文法力を利用して英文を書くことが出来るようにする。

最初は基本的な文法事項から、徐々に高度なものへ——短めの単文から句を用いた多少長めの単文へ、そして節を用いた重文や複文へと——文法力を習得しながら英語の表現力を養う。最終的には、自分の考えを正しい英語で表現できることをめざす。毎授業に自分の言いたいことを正しく伝え、理解させる表現力の実践の場として、小テストを実施する。

成績評価の方法

授業中における発表（年約8回）、レポート（年約2回）、小テスト（毎回）の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業（前・後期の定期試験は除く）の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『基本英語表現法』 成美堂 ¥1,600

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
おのえのりこ 尾上典子	社会 2 必	2

講義のねらい

アメリカ文化を歴史的に考察する上で、アメリカの西部開拓の過程について学ぶことは不可欠であり、西部開拓史を知らずして、真のアメリカ人的な価値観も思考体系も正しく理解することはできない。従って Manifest Destiny（明白なる神意）に基づいてアメリカ人が西部へと進出し開拓して行った歴史を辿った下記の本を教科書として使用して翻訳させながら、同時に西部開拓史を取り扱った数本の映画を授業で見せ、映画を通して英語の聴解能力を高めさせ、英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

正当な理由なくして年間の授業の出席率が2/3に満たない者は必ず落第させる。毎回、授業のための予習と復習をしっかりと行なっておくことをあらかじめ要求する。

成績評価の方法

評価は授業態度、出席率、年2回（前期・後期）の試験によって総合的に判断する。

教 科 書

Ray Allen Billington, Westward to the Pacific — An Overview of America's Westward Expansion (開文社出版 ¥1,854)

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
まさ くら さだ お 笹 倉 貞 夫	社 会 2 必	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation), 応用ダイアログ (Application Dialogue), Conversational Style 等々を吟味・検討する一方, Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他, 随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教 科 書

William L. Clark 著 Spoken American English
『アメリカ口語教本』(中級用) 研究社 ¥1,300

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
きた むら ひろ ふみ 北 村 弘 文	社 会 2 必	2

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに準拠して行いますが, 小テストや口頭でおうむがえしに考えを英語で発表して貰ったりもします。テキストの内容は, まず, 比較的平易な英文で書かれた話題が提供され, 英問英答形式の練習問題によって, 内容を確実に理解し自分のものにしたあと, 英語で自由に発信できる力を養うために, 本文中の語彙や気の利いた表現や言い回しを応用した和文英訳の問題をするようになっていきます。易しい言い回しをできるだけたくさん覚えて, 実際に英語で自分の考えを表現できるようになるまで, 根気よく努力することが必要です。なお, 年に数回自由英作文の課題を出題する予定です。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に, 授業中の発表, レポート(自由英作文), 小テスト, 出席状況などを勘案して評価します。

教 科 書

『YOUNG POP CULTURES』(郁文堂) ¥1,751

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
こ いずみ きみ ひと 小 泉 公 史	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、現在地球上で人類が犯しつつある見逃すことのできない環境諸問題について、国際的コミュニケーションに必須の口語文を使用して論じている。高度な文章表現になくてはならぬ語彙が豊富であり、exercises を通して内容理解を徹底し、併せて作文力を錬磨するように努める。後期には20行位の自由英作文を課するつもりである。

成績評価の方法

前・後期の定期試験(35+35=70%)、自由英作文(30%)で評価する。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Our Planet, Our Future』(美しい地球のために) 成美堂 ¥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当 者 名	配 当 学 科	単 位
はぎ わら てる 萩 原 輝	経 済 2 年	2

講義のねらい

英語で自分の考えを表現出来るようになることを目標としたい。普段日本で生活していると、英語で書いたり、話したりする機会はありません。そのため英語で自己表現するとなると誰でも少し抵抗があると思う。だが自己表現というものは元来楽しいものだ。それを通じていろいろな人と知り合ったり、自分の世界を広げるきっかけになることもあると思う。そこでこの授業では自分なりに英語で自己表現する場を数多く作る予定。

講義の内容・
授業スケジュール

英語で自己表現するためには、次の事を意識して習得することが必要であると思う。すなわち①英語の表現力をどのように身に付けていくか②どのように自分の考えを膨らましてそれらをまとめていくか③自分の考えをどのように表現すれば相手によく理解してもらえるか等々である。以上のことをバランス良く身に付けるようにしたい。

履修上の留意点

毎時間少なくとも一回は必ず指名する予定なので、十分に予習をしてくる事。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教 科 書

『日本紹介の英語表現』(金星堂) ¥1,850

担当者名	配当学科	単 位
井 伊 順 彦	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ネイティブ・スピーカーの話す言葉を聞きとれ、自分でもそれに近い発音で会話できるようになることをめざす。そのためかなりこまかく発音チェックをすることから始め、ナチュラル・スピードの対話を何度も聞いて耳をならし、書き取り練習もおこなって多角的に英語に親しむことにする。そうしてある程度自由に使いこなせるようになった後に、何らかのトピックについて自分の意見を述べられるようになりたい。

成績評価の方法

授業における発表（ひんばんにあるだろう）、最低2度の小テスト、最低1度の定期試験、出席率を主な柱とする。

教 科 書

カプセル英語発音 三修社 980円
『Listening to Natural English (映画を聞き取りたい人のために)』 開文社 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
伊 藤 幸 一	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

木を見て森を見ないことのない様に、また、自主的に「調べる」癖がつき、それを「分からない」ことも含め、然るべく発表出来る様に、更に、以上が、何かの「基礎」になれば。

成績評価の方法

着席しているだけでは出席とはならない。毎回当てて、やってもらう。予習だけでなく復習も大切、年3回（5月末／夏休み後／大学祭後）レポートの提出を課し、最後に、締括りのテスト。評価は、以上3点、出席、レポート、テストによる。詳細は最初の授業時に説明。

教 科 書

火・3『The Trial of Tom Sawyer』（北星堂）
火・4『An Enemy of the People』（成美堂）

そ の 他

授業は楽しくあるべし、それには、ある程度の予習をしないと。

担当者名	配当学科	単 位
か とり 香 取	経済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な英語の慣用表現の含まれている文章を憶えさせ、書くことが出来るようにする。
その後は文法問題や英作文の作業へと移る。
場合によっては、プリントによる口語英語の練習問題も併行してやる予定。

成績評価の方法

年間を通しての授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。
欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教 科 書

『ユニーク英作文Ⅱ』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
いし はら こう さい 石 原 孝 哉	経済 2 年	2

講義のねらい

日常的な表現を使って意志伝達ができるようになることを目標とする。
特に重点をおくのは：
a. 英語と日本語の発想の転換。
b. 英語の慣用的表現の習得。
c. 英文のビジネスレターが書けるように、基本的な文章表現の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は演習方式で出席を重視する。

履修上の留意点

レポートは休みの前を中心に課題を提示する。小テストはテーマ終了ごとに行なう。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験、小テスト、レポート、平常点などを総合的に評価する。

教 科 書

- a. 『Let's Write in Plain English』 三修社 1,100円。
- b. 『A Shorter Course in Writing』 南雲堂 900円。
- c. プリント。

担当者名	配当学科	単 位
こ いづみ きみ ひと 小 泉 公 史	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この本の各章のエッセイは、アメリカの最新の日常生活と文化を伝えるバラエティに富んだVOA放送が海外の国々にながした情報である。使用された英語は口語文ではあるが、語彙も豊富で、communication としてはかなり高度である。Exercises の「内容理解」「書き取り」「英作文」を十分に演習し、英語表現の充実を図る。

成績評価の方法

授業中における発表（20%）、前・後期の定期試験（40+40=80%）で評価する。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Life and Culture in America』（アメリカの日常生活と文化） 成美堂 ￥1,600

そ の 他

履修者は予習を必ずしてくることを要望する。

担当者名	配当学科	単 位
あお やま たもつ 青 山 保	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

口語表現でも文章表現でも、正しい英語が駆使できるようにしたい。そのためには、微妙な意味の違いや文法上の重要な規則を再検討して、明確な理解が得られるようにしたい。

成績評価の方法

全評価は、前期、後期を通じて授業中の課題が50%、前期、後期の定期試験50%。したがって欠席が多く、3分の1を超えると不合格となる。

教 科 書

毎授業、プリントを配布する。

担当者名	配当学科	単 位
はぎ わら てる 萩 原 輝	商 2 年	2

講義のねらい

英語で自分の考えを表現出来るようになることを目標にしたい。普段日本で生活していると、英語で書いたり話したりする機会はあまりない人がほとんどであろう。そのため英語で自己表現するとなると誰でも少し抵抗があると思う。だが自己表現というものは元来楽しいものだ。それを通じていろいろな人と知り合いになったり、自分の世界を広げるきっかけになることもあると思う。そこでこの授業では自分なりに英語で自己表現する場を数多く作る予定。

講義の内容・授業スケジュール

英語で自己表現するためには、次の事を意識して習得する必要があると思う。すなわち、①英語の表現力をどのように身に付けていくか②どのように自分の考えを膨らまして、それらをまとめていくか③自分の考えをどのように表現すれば相手によく理解してもらえるか。等々である。以上の事をバランス良く身に付けるようにしたい。

履修上の留意点

毎時間少なくとも一回は必ず指名する予定なので、十分に予習しておくこと。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中の態度、出席の状況等を総合して評価する。

教 科 書

『日本紹介の英語表現』（金星堂） ¥1,850

担当者名	配当学科	単 位
か とり ゆたか 香 取 豊	商 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

基本的な英語の慣用表現の含まれている文章を憶えさせ、書くことが出来るようにする。その後は文法問題や英作文の作業へと移る。折を見て、口語英語の練習問題をテキストと併行させて行く予定。

成績評価の方法

年間を通しての授業への出席状況、発表及び前・後期の定期試験の成績等から総合的に判断して評価とする。
欠席率が3分の1を超えないよう注意すること。

教 科 書

『ユニーク英作文Ⅱ』 成美堂

担当者名	配当学科	単 位
しみず ゆうじ 清水 祐次	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常的によく用いられる two-word verb を中心としたイディオムを活用して、動詞に重点をおいた口語表現に習熟することをめざす。

興味ある主題を扱ったエッセイ等の模範文を活用して、比較的簡単な英文から次第に内容的にも高度な英文が書けるよう練習する。

成績評価の方法

前期後期の試験、レポート及び平常授業中の発表や小テスト等によって総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数の3分の1を超えた場合には、原則として単位の修得はできない。

教科書

「日常英語・作文演習」 金星堂 ￥1,100

担当者名	配当学科	単 位
おおかわ ひろし 大川 浩	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で培った語学力を基礎として、さらなる英語の運用能力を高めるため、英語の口語表現の習得に努める。英語の<連語表現>を学習し、運用できる段階にまで、集中的に繰り返して訓練をして効果的学習を行なうことを目指す。

辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教科書

Say it in Style「日常英語・作文演習」 金星堂 ￥1,100

担当者名	配当学科	単 位
いわ 岩 田 洋 子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

聴解力や発話力と並行して、読解力、特に四技能の中でも、正確さを最も要求される書くことに力点を置き、作文力を強化する。理屈よりも実践を重視する徹底的な演習形式で、日本文化を英語で表現することを学ぶ。辞書を引くこと。辞書を読むことの楽しさを指導する。有用な語句や言い回しなどは、実生活に積極的に利用できるように指導する。

成績評価の方法

授業中における発表（年10回）、レポート（年2回）、前、後期の定期試験、練習問題テスト（年4回）に基づく。全評価のうち、授業中における発表、練習問題テストが50%、レポート、前、後期の定期試験が50%で評価する。ただし、欠席率が3分の1を超えた場合は、試験を受ける資格を失ない、不合格とする。

教 科 書

『日本文化を英語で表現』 成美堂 ¥1,600

そ の 他

語学習得に苦しみはつきもの。間違いを恐れずに楽しむことこそ上達への第一歩と心得ていただきたい。予習、復習を励行する。授業には積極的に参加する。

担当者名	配当学科	単 位
こ 児 林 英 子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの漫画をみて、全然そのおもしろさが解らない場合がある。これはアメリカ人の日常的话题がよくわかっていないということである。アメリカ人のほとんどすべてが、子供の頃からしょっちゅう聞かされて来た歴史上の事実・人物や、逸話を学ぶことによって、アメリカ人の常識の一端を知り、英語学習を更に楽しいものにする事が出来れば幸である。

履修上の留意点

授業中発表出来るよう、必ず、下調べをし、疑問点を整理して、授業に臨んで欲しい。前後期各々授業数の3分の2以上の出席がある者を受験者とする。

教 科 書

“It All Started with Columbus” ——北屋堂——

担当者名	配当学科	単 位
ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の勉強においては、文法的基礎にもとづいてさまざまな形の (all round) 知識や exercise が必要である。

この授業においては重要な日常生活で使われるイディオム修得のために、会話体、英作文の形などでそれらを master しようとするを目的とする。20章において、少なくとも100のイディオムの修得とその運用を目指すものである。一時間一章づつ進みまだ時間がある場合は応用問題を使って、記憶の徹底をはかることになる。

成績評価の方法

前期後期の試験と出席点で決める。

教 科 書

木塚晴夫『EXPRESSING WITH IDIOMS』金星堂 ¥1,550

担当者名	配当学科	単 位
いち かわ ひとし 市 川 仁	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日米の大学生が文通をするという設定で、手紙のやりとりを通じて英語の表現方法を身につけてゆくことを目指す。予習を前提とし、前期は主として黒板に書いてもらい、それを添削・説明しながら授業を進め、後期は口頭による英作文を多くしてゆく予定。また学習した表現を応用した英作文及び自由英作文も、提出してもらう。

成績評価の方法

授業中の発表、ノートの提出、英作文の課題及び前・後期の定期試験による。以上を総合して評価する。出席は授業回数の3分の2以上とする。

教 科 書

『手紙による英語表現演習』三修社 ¥1,200

担当者名	配当学科	単 位
おお 太 田 まさ 雅 子	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語のリスニングにおいて難しい音を徹底的に学習し、映画の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を自由に使えるようにする。

成績評価の方法

毎回、小テスト、年に2回ほど、総テストを実施。
授業の欠席が3分の1を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

矢作三蔵 William Phalon 『Basics of Natural English 映画聞き取りの15パターン』
(開文社) 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
やな 梁 瀬 こう 浩 三	法 律 2 年	2

講義のねらい

日常生活で用いられる慣用表現の修得とともに、日本語と英語の表現（発想）の違いにも目を向けるようにする。

外国語を学ぶ場合、一定の年齢を過ぎてからは、意識的な努力がどうしても必要である。多量に単語、熟語を増すことは勿論、大事なことだが、常に日英語の間の表現（発想）の違いに注意をはらうことにより、両国の文化の違い、又は共通面に目を向けるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

掲載テキストに沿って行うが、各章の量にばらつきがあるので、短い章は一回で、長い章は二回で行い、一年間で一冊終了したい。授業は演習中心で、テープによるリスニング、黒板に出て書く和文英訳を重視する。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の1/3以上休んだ場合は失格とする。具体的には、8回以上休んだら単位は認められない。当然のことながら、英語の修得には努力が必要である。テキストをよく読んでくることは勿論のこと、更に黒板に出て書けるように家、又は図書館で辞書を大いに活用して予習してくること。

成績評価の方法

年二回のテストを中身の濃いものにし、よく準備しなければできない内容のものとする。普段の授業態度、積極さ、地道な予習を重視し、評価に加える。

教 科 書

木塚晴夫 V.E.Johnson. 『英語らしい英語の表現演習』 金星堂, 1,200円

そ の 他

テープはLL教室で録音してもらい、家で前もって聴く（予習）、そして学習後に聴く（復習）こと。

担当者名	配当学科	単 位
伊 藤 宏 見	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

すでに、初級の英文法を一通りおわり、或程度基礎力をつけられていると思うが、更に、英語の表現に馴れるために、重要な英文法の項目をえらび、表現体系と文の構造を学ぶために、毎セッションごとに、A、B、Cの順にしたがって高度な例文を用いて、くりかえし勉強する。又それぞれの各項目には、(1)(2)(3)といった Exercise がついています。

これを各人の演習にあてて授業をすすめてゆきます。したがって、毎時間予習が必要となります。問題は平易なものから、むづかしくなっています。

後期には、基本動詞の各種の使い方、及び時事英語の見本文を、いろいろな topics にしたがって読み、それに基づいた内容の英作文を練習する。英作文の難易度は、A、B、Cの段階にわかれている。これも各人に演習してもらい、黒板にて発表してもらう。

毎時、辞書、ノート、教科書、参考書を忘れないこと。

成績評価の方法

出席を重視し、毎時の演習の成績、定期の二回のテスト、時々的小テスト、授業への積極的な態度などを加味して評価する。

教 科 書

『現代英語表現法』 文化書房 1,700円

担当者名	配当学科	単 位
わた べ 孝 治	法 律 2 年	2

講義のねらい

アメリカン・ミュージック（ブルース・ラグタイム・ジャズ・ロック）を通して英語を学ぶ、各ジャンルの有名な曲を取り上げ、コロキユアルな英語はもとより、歌詞についても深く学ぶ。時代背景についても詳しく触れたい。

履修上の留意点

必ず予習をして出席することを前提とする。予習していない者は欠席とする。前期・後期の2回の試験を必ず受けること。授業実数の1/3以上の欠席は単位を認めない。

教 科 書

A. Ben Jasper 著『Notes on American Music』(英潮社)

担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける。日常会話や映画等で多用される語や慣用表現を学び、身近なことから表現できるようにする。また、文章表現の場合、各パラグラフから自由英作文（600字－A 4で2枚程度）を年3～4回提出してもらう。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約6回）、レポート（年に約3回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合には不合格とする。

教 科 書

2冊使用の予定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
つか もと とし お 塚 本 利 男	法 律 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの歴史・文化・習慣などに関する内容の英文を読み、演習を通じて基本文法事項の理解を深め、その文法力を利用して英文を書くことが出来るようにする。

最初は基本的な文法事項から、徐々に高度なものへ——短めの単文から句を用いた多少長めの単文へ、そして節を用いた重文や複文へと——文法力を習得しながら英語の表現力を養う。最終的には、自分の考えを正しい英語で表現できることをめざす。毎授業に自分の言いたいことを正しく伝え、理解させる表現力の実践の場として、小テストを実施する。

成績評価の方法

授業中における発表（年約8回）、レポート（年約2回）、小テスト（毎回）の課題と、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち、授業中における発表・レポート・小テストなどが50%、前・後期に定期試験が50%で評価する。ただし、平常授業（前・後期の定期試験は除く）の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『基本英語表現法』 成美堂 ￥1,600

そ の 他

英和辞典・和英辞典を必ず持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
おのえのり 尾上典子	法律 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化を歴史的に考察する上で、アメリカの西部開拓の過程について学ぶことは不可欠であり、西部開拓史を知らずして、真のアメリカ人的な価値観も思考体系も正しく理解することはできない。従って Manifest Destiny (明白なる神意) に基づいてアメリカ人が西部へと進出し開拓して行った歴史を辿った下記の本を教科書として使用して翻訳させながら、同時に西部開拓史を取り扱った数本の映画を授業を見せ、映画を通して英語の聴解能力を高めさせ、英語運用能力の向上をはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の授業の出席率が 2 / 3 に満たない者は必ず落第させる。毎回、授業のための予習と復習をしっかりと行なっておくことを要求する。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年 2 回の前・後期試験によって総合的に判断する。

教科書

Ray Allen Billington, *Westward to the Pacific—An Overview of America's Westward Expansion* (関文社出版 ¥1,854)

担当者名	配当学科	単 位
さきくら 笹倉貞夫	法律 2 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化してゆく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

口語アメリカ英語によるプレゼンテーション (Presentation), 応用ダイアログ (Application Dialogue), Conversational Style 等々を吟味・検討する一方, Pattern Usage Drill 及び Japanese-English Drill を通じて口語英語の実践的運用能力の伸長をはかる。(テープ教材併用予定)

履修上の留意点

予習・出席重視。

成績評価の方法

前・後期末の期末テストの他、随時小テストを行い総合的に最終評価を出す。出席状況等も勘案する。

教科書

William L. Clark 著 Spoken American English
『アメリカ口語教本』(中級用) 研究社 ¥1,300

担当者名	配当学科	単 位
ふじ 藤 しま 島 たか 喬 き 樹	法 律 2 年	2

講義のねらい

英語 I A を基盤とし、より高度な英語能力習得を担いとする。

成績評価の方法

- I 平常点 — 具体的には以下のとおり。
- ① 年間を通じ全授業回数の最低 2 / 3 以上の出席（即ち、平常授業の欠席率が 1 / 3 を越えればそれでも不合格となる。）
 - ② 授業時の発表、質疑応答等（直）
 - ③ MINI・TEST（各授業開始後即施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、不受験なら、勿論その分は 0 点。）
- II 前期定期試験・学年末試験（7 月と年度末にそれぞれ実施。）
以上を総合的に算出し、学年単位で評価点を出す。

履修上の留意点

授業の無断欠席、特に該当発表者発表当日の無断欠席は授業進行上非常な支障をきたすので呉れ呉れも慎むよう。又授業受講の際は、各自英和辞典を必ず持参のこと。

担当者名	配当学科	単 位
おお 太 た 田 まさ 雅 こ 子	政 治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語のリスニングにおいて難しい音を徹底的に学習し、映画の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を自由に使えるようにする。

成績評価の方法

毎回、小テスト、年に 2 回ほど、総テストを実施。
授業の欠席が 3 分の 1 を超えた場合は、不合格とする。

教 科 書

矢作三蔵 William Phalon『Basics of Natural English 映画聞き取りの15パターン』
（開文社） 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
はま だ かず いえ 浜 田 一 宇	政治 2 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達を目標に自由作文や会話表現を修得するためには、何よりも身近な普段目にふれ耳にする日頃の日常生活を英語で言ってみる事です。単語も覚えやすいし、英語が苦手とか基礎ができていないなどに関係なく、誰でも容易に英語に親しめるはずで、国際化時代への対応は身近な話題です。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、四コマ漫画や、紙芝居のナレーションをしたり、VTR等から日常の生活を映像を通して表現し、テキストも日本の一年の四季や行事、気候や生活を話題にしたもので普段の私達を言い表わすことを念頭に置いて、授業スケジュールを組んで行きます。

履修上の留意点

語学の授業で、プリントも多く用いますので、欠席が多いと分らなくなります。

成績評価の方法

前後期2回の試験を中心に平常授業での応答と出席を考慮して評価します。

教科書

木塚晴夫著『発信型作文演習 ― 季節の中の日本』 マクミラン・ランゲージハウス 1,450円

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう た ろう 川 股 陽 太 郎	政治 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

一年時に取得した英語力をもとに、もう一段上のリスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教育を身につけるようにする。言いかえると、

英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力(リスニング・コンプリヘンション・スピーキング)は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテーマを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計(100点)、授業中の小テスト・レポートの合計(100点)とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教科書

〔(英文) 英語の聴解演習〕*Listening Comprehension Practice*
補助教材としてプリントを使用する。これは適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
なか やま ひる かず 中 山 浩 一	政治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常生活で頻出するイディオムと日本人の苦手とする動詞と名詞の結びつきに学習の重点を置き、英語の表現能力の向上を目指す。

履修上の留意点

- ① テキスト各章の例文と記載内容、練習問題を予習しておく。
- ② 予習の結果を口頭やペーパー記述などを通して発表する。
- ③ テキストの復習と日常生活での活用に努める。

成績評価の方法

- ① 前・後期の二回、試験を実施する。
 - ② 日頃の口頭発表とペーパー発表の状況を評価し、①の成績に加算する。
 - ③ 出席は全講義回数の三分の二以上確保する。
- 以上の①を中心に②③を参考にして総合評価する。

教 科 書

『イディオムを使った英語の表現演習』 金星堂 ￥1,550

そ の 他

予習と活用を心掛けること。

担当者名	配当学科	単 位
い とう ひる よし 伊 藤 博 義	政治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

マスメディアの先端技術化により世界の出来事が日米の茶の間で同時にテレビ画像で、見られる様になり、英語を学ぶ学生はそれらの詳細の記事に辞書を手にも興味をもって読み語学力を養う事が出来る。そうした点でこのテキストは話題が広範囲で面白く現代用語も豊富で見聞を広められる。正確に声を出して本文を5回以上読み、文の構成をよく見て、新語を予習し、質疑応答を繰り返しながら、大意を把握して、更に読み、練習問題を自分でやる。辞書を多用して、20の設問に答える。

成績評価の方法

教室内の授業態度、大体3頁～5頁の進度予定のテキストの予習復習程度、授業中の発表回数、テスト2回の得点、出欠状況等を重視して、総合評価する。

教 科 書

安田哲夫編『Current English (時事英語)』 成美堂 ￥1,600

参 考 書 等

各英字新聞
時事英語辞典 (研究社)

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	政 治 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは単なる英作文だけでなく、環境汚染、資源とエネルギー、人口爆発、高齢化社会、教育改革、外洋漁業、第三世界への援助、平和と戦争、核兵器、病気、日本と日本人、日本経済などをテーマにした英文と、「無生物」を主語にした英文の書き方の練習部分の二つから成り立っている。

英語の表現力を養うには英文をたくさん読んだり聞いたりして、そこに出てくる英語を的確にとらえ、さらに、英文の内容を自分で創造し、話したり、書いたりすることが賢明な学習法。

なお、英語を正確に理解する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教 科 書

A New Approach to Better Writing 『現代英文表現法』（南雲堂）

担当者名	配当学科	単 位
ほそ の ひで こ 細 野 秀 子	経 営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語ニュースを通して、国際理解に必要な情報を耳から得る訓練を行う。これと並行して、日常会話の慣用表現も学んでいく。前期は日常会話の比重が大きいが、後期には次第に英語ニュース聴解の回数を多くし、高度な英語を聞く機会を増やしたい。

成績評価の方法

授業における発表（年10回以上）、要約等の小テスト（毎回）、前・後期定期試験、夏期課題等による。前・後期定期試験50%、小テスト25%、発表15%、課題10%の割合で評価する。なお、年間を通し、欠席が1/3以上越えた者には評価を与えない。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

日常、英語に触れる努力をするよう要望する。

担当者名	配当学科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	経 営 2 年	2

講義のねらい

日本文の英訳する際、文法的に正しい英文を書くことは当然のことではあるが、文意が English Speaker に理解されるものでなければならない。相手に通じる妥当な英文を書くことを目的とし、これまでに習得した知識をふまえて更に多用な表現形式、慣用的表現・日本語と英語の発想の違いを学習する。自分のこと、日本の文化、伝統、歴史、習慣などについて英語で説明できるよう英語表現力を培う。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中における発表、レポートに基き評価する。平常授業の欠席日数が、全授業日数の1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『トーキング・アバウト・ジャパン』 朝日出版 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
ま き むら かつ ひこ 木 村 克 彦	経 営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

イギリスの代表的な戯曲の精読から、運用能力の礎をつくりたい。前期は文体に慣れ、後期は用法面を補いたい。なおテキストは17ページから読み進める予定であるので、そこから予習をお願いする。

成績評価の方法

基本的には、前期・後期試験の結果に因るが授業態度の劣悪（私語等）な者は、試験の成績にかかわらず不可とする。

教 科 書

『オスカリアーナ』（改訂版）北星堂 ¥1,400

参 考 書 等

『ワイルド作品論』 新樹社 ¥2,500

担当者名	配当学科	単 位
えださちこ 江 田 幸 子	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用、能力を総合的にバランスよく育成していくことを目指す。目標としては、これら（読む、書く、聴く、話す）の要素を、生活の上で、実践的に、しかも、臨機応変に駆使出来るようになることを最終的な目標としたい。従って、テキストには、writing と同時に speaking 及び listening を同時に並用していく。

同時に、自己を表現すること ― 何を、どのように ― を学習する。

そのために、常日頃の問題意識と思考の訓練を促すような問題提起を随時行いながらディスカッション等行っていく。そして、自分なりの思考を煮詰めて、英語の言語システムに組み込んでいく指導を行う。

Writing に関しては、まず日本語を英語用に分析、分解、組み立て直すことを中心に置き、英語の言語システムに慣れ、最終的には、日本語を介在させずに、英語→英語に行くことを目標とする。

成績評価の方法

平常授業点を重視する。

出席の条件は、予習が出来ていることを前提とするので、授業中に指されて準備の出来ない学生は、半分の出席点とする。クラスでの発表点及び随時、小テスト等行い、前・後期の定期試験を含めて ― 総て等価で、どの試験を特に重んじることはしない ― 60点以上を合格とする。従って、常日頃の学習の積み重ねによって実力の向上を計ること主眼とするので欠席は年間を通して5回迄に止めること。

教 科 書

- (1) Writing用：From Paragraphs to Essays「パラグラフからエッセイへ」英潮社 1,600円
- (2) Speaking用：Activities for Effective Communication「コミュニケーション実践演習」

そ の 他

リスニング教材（未定）、テープ使用

担当者名	配当学科	単 位
むら いし え しょう 村 石 恵 照	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代実際に使用されている主として口語英語の運用能力の充実をはかる。実際に使われている口語（会話）表現であるから、様々な社会階層の人々の使う英語に慣れることが聞き取る場合大切で、また発話する立場では自分の感情と内容を標準的な会話体で話すことが必要である。聴取・発話を外国語として身につけるには信頼できるテキストを確実に利用することが必須である。（適宜テープ、ハンドアウトを使用）

成績評価の方法

授業中での学習参加意欲、小テキスト、前後期末の平常テストにもとづく。出席重視。

教 科 書

「Streamline English: Connections イギリス英語版」オクスフォード大学出版局
¥1,880

担当者名	配当学科	単 位
さとう あきこ 佐藤 明子	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の文章では、作者の考えがどのようにまとめられているかテキストからその効果的な方法を学ぶ。さらに応用として、新聞や雑誌の記事などの生きた英文を使って、文章の分析や要約などを試みる。またテープやビデオなどの教材を使った口語表現の訓練も同時に行なう。最終的には与えられた課題を数ページの英文エッセイにまとめられることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、英作文などの課題と、前期・後期試験、授業内に行う小テストに基づいて総合的に評価をする。ただし授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

From Paragraphs to Essays『パラグラフからエッセイへ』 英潮社 ¥1,600

そ の 他

授業は予習を前提とした演習形式で行なわれる。

担当者名	配当学科	単 位
ほんま こういち 本間 孝一	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身につける事を目的とする。語学の進歩は一に drilling にあるから、毎回の出席を重視し、又演習形式をとり、成る可く多数の学生に当てて、テキストの語法の問題点を質疑応答し、組全体としての実力向上に資する様にしたい。訳読と相俟って、文法、並びに和文英訳との関連の下にテキストの内容を base にして英語の speech, discussion 等をして英語の総合的力をつける可く授業を進めたい。又年に数回テキスト内容を元にしての自由英作文を提出させたいと考えている。

成績評価の方法

出席状況、レポート、普段行う小試験、並びに前後期の定期試験を以ってこれを行う。なお、平常授業中の発表も大いに重視し、出席に関しては、欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

未定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ、映画を利用して、口語の英語に慣れる様にして頂きたい。

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	経営 2 年	2

講義のねらい

テキストは『巨視的な立場での経済学入門』とでも訳すべき教材で、人々のくらしは個人だけでなく、'Everybody' との関わりの中で動いているという趣旨で書かれている。

内容は『価格、賃金、所得、税金……』などを人間にとっての立場で描いてある。ラーナー氏はミシガン大学の教授で、とくに「機能財政学」では屈指の学者である。

なお、テキストの英文は平易な上にも味のある表現に溢れ、英作文、英文法の力をつけるにも絶好なモデルである。

また、英語の表現力を養うため、情報化社会に向けて書かれた文法書も使う予定。

教科書

Everybody's Business 『みんなの経済』（南雲堂）

担当者名	配当学科	単 位
伊 藤 美 代 子	経営 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

IAを基礎として、ライティング、スピーキングの両面からより高度な英語による意志伝達能力の向上を目指す。全授業日数の2/3以上の出席が必要。また、小テスト、課題作文の提出、プレゼンテーションを重視。

最新の時事問題について自分の意見を述べ、且つ書くことができるようにする。スピーキングでは前期は主として意見の表現法を学び後期はそれを基礎にディスカッションの機会を持つ。ライティングは前期にパラグラフの構成を学び、後期にはまとまったエッセイの提出を行なう。

成績評価の方法

授業中の発表（年約10回）、課題作文（年約5回）、小テスト（年約10回）、前・後期それぞれの間及び期末試験に基く。全評価のうち提出物、授業中の発表、小テスト等が50%、各学期の間及び期末試験50%で評価する。ただし平常授業の欠席率が1/3を超えた場合は不合格とする。

教科書

「ニュース・トピックで学ぶ英作文」 金星堂 ￥1,650

そ の 他

履修者は各クラスに徹底的な予習をした上で出席することが要求される。

担当者名	配当学科	単 位
あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	経 営 2 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：より高度な英語の運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

異質の文化を理解し、外国に対する好奇心を抱きながら、ライティング能力の向上を目指す。海外での生活や旅行に必要な英語、さらには自分の意見を述べるための英語が使いこなせるように和文英訳、口頭演習を行う。辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして授業に備える。また、useful expressions は暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

レポートを前期後期それぞれ一回ずつ提出。小テスト、前期、後期試験を実施して評価を出す。また、出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英語へのパスポート』 朝日出版社 ￥1,200

そ の 他

映画、音楽、英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

担当者名	配当学科	単 位
まえ だ おさむ 前 田 脩	経 営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

リスニングをまじえてパラグラフの基礎作制を学び、文の構成へとすすみます。前期、後期とも二回の自由作文を提出してもらいます。

成績評価の方法

前期試験、後期試験、日常評価（クラスでの発表）を総合評価します。

教 科 書

『ベーシック・パラグラフ読解・作文』 英潮社 ￥1,600

担当者名	配当学科	単 位
すぎむら はつえ 杉村初枝	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常会話に必要な語や表現を学び、身近なことを表現できるようにする。Listening practice を中心に身近な生活で使われる表現や語句を学び、speaking activity で実際に練習する。Listening practice では、かなり長い会話を毎回いくつか聴くので、英語のコミュニケーションに必要な聴きとる力も同時に養う。

成績評価の方法

授業中における発表と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『Airwaves』（マクミラン） ¥1,800

担当者名	配当学科	単 位
あしざわ ひさえ 芦澤久江	経営 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの題材は、若い日本人の風俗習慣や生き方、外国人ビジネスマンと留学生、環境問題、企業とスポーツ、日本人の衣食住などいずれも身近なものばかりである。授業ではまず本文に入る前に、本文で使われる語句や意味をチェックする簡単な問題を行う。次にビデオを見て、内容を耳で聞きとる練習をする。ビデオの内容を把握した後で、内容をどれだけ理解できていたかどうか。内容に関する問題に答えてもらい、さらにビデオで見ながら聞いた英文の一部分を聞き、空欄にしてあるところに単語を入れる聞き取り練習をする。そして次に、ビデオの内容に関連する会話の練習をペアで行う。最後に英文を聞いて日本語に訳す練習をする。これは英語から日本語への通訳をするための訓練となる。

成績評価の方法

授業中における態度、出席回数、前期、後期に行うテストを総合的に判断して評価する。

教 科 書

『世界がみつめる日本』 成美堂 ¥1,800

そ の 他

授業に積極的に取り組むことを望む。

英 語 II B

〈英語 II Bの授業の内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

担当者名	配当学科	単 位
こ 古 とみ 富 たけし 猛	禅 2 年	2

講義のねらい

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めてゆく中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。浮かれている時は過ぎ、不安の時代へと進まざるを得なくなった。その中で日本人としてどの様に考え、行動しなければならぬか究めて難しい命題を今やつきつけられている。今後自らに常に問いかけてながら生活せざるを得なくなっていると思われる。さらにイデオロギーの対立性が緩和された中で、民族的な闘争は絶えること無く、その様な情勢を宗教を学ぶ皆さん方も無視するわけにはゆかないであろう。その一方で、それぞれの国、それぞれの民族が独自性を主張する中、ECやAPECにみられる様に地域的、歴史的背景の中で大きく統合しようとしている。まさに各々の生き残りをかけたゲームが始まっているのではなかろうか。

その危機感を大学生として憶えていないわけではなく、様々に思考しているのであろう。ともかく語学の授業として、考え、意見を主張する能力を身につけることは、これからの時代に欠くべからざるものと判断し、その方法論等も含めて、授業の中で身につけるべく進め、お互いに学ぶことを目指すつもりです。

成績評価の方法

口語表現に活用できるテキストを多読することによって、幅広いパターン、プラクティスを旨ざすべく予習を平常点に考慮します。基本の前・後期の筆記試験を目安とし、平常点とともに総合的に評価。また欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストのみの評価をさける様にします。

教 科 書

『最新地球環境レポート「タイム」を読む』 桐原書店 ¥1,380

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを希望します。

担当者名	配当学科	単 位
ふじ 藤 しま 島 たか 喬 き 樹	禅 2 年	2

講義のねらい

I Bで習得した英語力を基盤として尚一層大量に読めるよう、大意の把握を心がけ、同時に又その Speed up を計る。

成績評価の方法

I 平常点

- ①年間を通じ全授業回数の最低2/3以上の出席を要する。(即ち、平常授業の欠席が1/3を割ったらその時点でもう不可)
- ②MINI TEST (各授業開始直後即施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、不受験なら勿論その分は0点)
- ③ 授業時の発表、質疑応答等

II 前期定期試験、学年末試験(7日と年度末にそれぞれ実施)

以上を総合的に算出し、学年単位で評価点を出す。

履修上の留意点

授業の無断欠席、特に該当発表者発表当日の無断欠席は授業進行上非常な支障をきたすので厳に慎むよう。又、授業受講の際は各自必ず英和辞典を持参のこと。

教 科 書

雨宮 剛 編註「国際語としての英語」 成美堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
かわしまひろゆき 川島弘之	仏教2年	2

講義のねらい

受験英語を長い間、勉強してきたために、英語嫌いになっている学生が非常に多い。長い間学生が受験英語を生かして、英語を楽しんでもらいたい。そのために学生たちが、強い関心、興味を抱いているロック音楽を通して英語を楽しんでもらう。テキストよりも学生1人1人のロック、ポップス、ジャズ、ソウルのリクエスト曲を中心に授業を行う。歌詞の中の生きがい、Love についての考え方や感性をまた味わってもらいたい。1年後には英語のロックやポップスが歌えるようになってもらいたい。とにかく共に楽しめる感動のある授業にしたい。

成績評価の方法

授業中における他の学生の発表に興味、関心を抱くよう努力し、理解してもらうことを重視する。発表、レポート、前・後期の定期試験に基づく。前期試験は英語の歌を歌うことで行うこともできる。平常授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) 学生1人1人のリクエスト曲 (歌詞は私が印刷する。曲のテープも私が用意する。)
- 2) 『ロックの心』大修館書店 ¥1,339

参考書等

- 『ロックの音楽と現代社会』 マクミラン・ランゲージハウス
- 『ロックの意味』 草思社
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』 シンコー・ミュージック
- 『Rock 名盤・名曲693』 日本文芸社
- 『ロックが聴える本105』 シンコー・ミュージック

その他

CD, テープ, レーザーディスク, ビデオで英語を楽しんでもらう。

担当者名	配当学科	単 位
いとみよこ 伊藤美代子	仏教2年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、さらに多くの英文を速く、しかも正確に読む能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

現代のノンフィクション、雑誌、新聞等から選ばれた題材をより速く読み、且正確に内容を把握できることを目指す。前期は主として教科書を中心に課題の各パラグラフの大意を正確につかむことと、熟語の習熟に力を入れ、後期にはより高度な実際の新聞・雑誌の記事を読む機会を増やすことにより読解力の向上を計る。

履修上の留意点

予習を前提とした徹底的な演習形式を用い、授業中の発言及び小テスト等を重視する。全授業日数の2/3以上の出席が必要。

成績評価の方法

授業中における発表 (年約10回)、小テスト (年約10回)、前期・後期それぞれの中間及び期末試験に基づく。全評価のうち発表と小テスト等が50%、各学期の中間及び期末試験50%で評価する。ただし、平常授業の欠席率が1/3を超えた場合は不合格となる。

教科書

「DEVELOPING READING SKILLS」朝日出版社 ¥1,700

担当者名	配当学科	単 位
井 出 功 一	仏教 2 年	2

講義のねらい

テキストはノーベル賞作家、パール・バックの『アメリカと私』である。彼女は40年間の前半生を中国で過ごし、『大地』を書いた。残りの40年間を、海を隔てて常に夢みた「人間の平等」と「民族の自由」の伝統が生きている祖国に移り住んで創作を続けた。

本テキストはアメリカの20州を選んで、州ごとに異なる人間模様を織り込みながらアメリカとアメリカ人を語りかける。

なお、英語を的確に把握する力を高めるため、口語的表現を文語的表現、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。

教科書

Pearl Buck's America 『アメリカと私』（成美堂）

担当者名	配当学科	単 位
伊 勢 村 定 雄	国文 2 年	2

講義のねらい

リーディングの中・上級を目指すために、次の点を留意しながら進める。①語い、語句は英語として意味を常に確認する。そのためには ②辞書を徹底的に引く。③英語が言語である以上、その音声修得も無視されてはならない。それ故各単語の発音は必ず調べておく。④その上で常識的日本語に置きかえながら内容を理解しかつ味わうことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカの平易な英語で掛かれた芝居のテキストを用いる。テストは年2回を予定。

履修上の留意点

内容につながりがあるテキストを用いるので時たま出席すると全然理解不能となるので出席が大事。

成績評価の方法

①出席率及び態度。②定期考査（2回予定）。

教科書

N. Simon 『Broadway Bound {ブロード・ウェイを目指して}』 金星堂

参考書等

中型英和辞書なら何でも可。

その他

毎回全員に当たるようにその場で指名するので予習は全員がその日の箇所は全部やるのが前提となるのでそのつもりで。

担当者名	配当学科	単位
ほそ の ひて こ 細 野 秀 子	国 文 2 年	2

講義のねらい

これまで学んだきた英語を、文学作品を通じて、さらに正確に深く読み込む訓練を行う。これに並行して、語彙面での充実をはかりながら、速読の技術も身につけていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前期・後期とも、様々な作品上の技法を学びながら、豊かな英文学の世界を広げていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期約3回ずつと、夏期に課題を課す。試験は各学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。

成績評価の方法

評価は試験の点数50%，課題25%，発表25%とする。

教科書

開講時に指示する。

その他

多くの文学作品に触れてもらいたい。

担当者名	配当学科	単位
や しま なお こ 矢 島 直 子	国 文 2 年	2

講義のねらい

年間を通じて2種の教科書を使い、精読と速読を学ぶ。精読の教材は難しいところもあるので、時にていねいに読まざるを得ないが、慣れてきたら全体的にスピードを上げる。速読は練習問題を解いて学ぶ。精読は予習を前提とした演習形式を取る。速読は授業のたびに15分程行なう。目標は、程度の高い文章を速く読んで、しかも要点をつかめるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%，前期中間テストと後期中間テストが30%，前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) 小田幸信「速読の基礎訓練IV, V」英潮社 各410円
- 2) 巽孝之・編註「アシモフが語るアイディアの世界」成美堂 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
かわ また よう たろう 川 股 陽 太郎	英米文 2 必	2

講義のねらい

IBを基盤として、さにできるだけ多くの量を読むようにする。英文を読み進むままに内容を理解する。いわゆる、直読直解の練習をする。と同時に、内容を把握し、大意をつかむことが出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

上記目的を達成するよう努力すると共に、新聞、雑誌等を用い、政治、経済、文化等に関する記事を読み、より教養を高め、文化的背景を理解するための説明を入れる。また、イントネーション、発音、アクセント、ポーズ、および内容に則した読み方も大事にしたい。内容および音読の予習を前提として授業を進める。時事英語的なものに加えて、ラピッド・リーディング用の教材も用いる。

成績評価の方法

評価は、授業開始とともに行う小テスト、および授業中における演習、発表による。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、遅刻が多い場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計を100点、小テスト・レポートの合計を100点とし、両者を等価に評価する。遅刻は授業開始と同時に小テストを受けこなうことを意味し、出席と評価は自動的に連動し、そのまま評価につながる。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

特定の教科書は用いない。プリントを作り、適宜配布する。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	英米文 2 必	2

講義のねらい

「国際化」の問題を考える時、できるだけ多くの客観的情報を入手することが大切と思われます。世界全体、北アメリカ、アジア、ヨーロッパ、第三世界のそれぞれにおける全般的な諸問題、次に各国の具体的な問題を扱った解説文と記事を読みます。授業は予習を前提とした発表による演習形式です。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、全文の主旨、段落の要旨の把握に向けて、英文の流れ（語順）に添って理解できるようになることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

- (1)発表
 - (2)小テスト・レポート等
 - (3)前期試験
 - (4)後期試験
- 以上の4点をもとに総合評価します。

教 科 書

「最新時事英語・世界を読む'96」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,800

そ の 他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の面にも十分な注意を払って下さい。テープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。なお、原則として、全授業回数数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単 位
きし もと しげ かず 岸 本 茂 和	英米文 2 必	2

講義のねらい

構文・語彙などはさほどむずかしくないが、世界の歴史の流れを俯瞰的に理解していなければならない。「精読」をとおして読解力のいっそうの養成を期する。予習の必要はいうまでもない。1回の授業で3ページは進みたい。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上パスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教科書

エリック・ホッフ『我らの時代』（南雲堂 定価960円）

参考書等

授業には英和辞典をかならず携帯すること。

担当者名	配当学科	単 位
ひろ かわ おさむ 広 川 治	英米文 2 必	2

講義のねらい

英語の Reading および Listening 能力の向上を目標とすると同時に、英米文化の知識を得る機会としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

初回は、授業のさらに詳しい説明と簡単な自己紹介、アンケート。テストは前後期2回の他、必要に応じて、小テストも行う。

履修上の留意点

出欠席を重視する。教室に来ていても、参加しない場合は欠席扱いにする。

成績評価の方法

出欠席で成績をまず限定したうえで、平常点、前後期のテストの結果を見て判断する。レポートを課題として出す予定。

教科書

プリント配布の予定。

担当者名	配当学科	単 位
む とう ひさ お 武 藤 久 緒	英米文 2 必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英文を正しく解釈するという事は、文字の表わす辞書的な意味がわかるということだけではない。筆者が何を言おうとしているのかを正しく把握することである。文意に含まれている思想内容をつかみとることである。そのためには書かれている言葉の意味を文脈の中でつかみとらなければならない。文中の言葉は決して独立してはおらず、他の語との相互関係の中で意味を持つ。文脈の中で意味を考えて、はじめて英文を味わうことができる。この学習にふさわしい教材、グレアム・グリーン の作品を読み、文脈の中で意味を考える練習を行い、グリーンの簡潔ではあるが、微妙に陰影のある文章の面白さを、じっくりと味わってもらいたい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、授業中における発表、レポートに基づき評価。平常授業の欠席日数が、全授業日数の1/3を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

「破壊者」 英宝社 ¥920

担当者名	配当学科	単 位
まち だ しげ お 町 田 成 男	歴史 2 年	2

講義のねらい

I Bを基礎として、さらにできるだけ多くの量を読むように、大意の把握をしながら、読む速度を上げる。また、文法の基礎も確認しながらより高度な英文を正確に理解するための構文も学ぶ。

成績評価の方法

授業中における発表（年に約6回）、レポート（年に約4回）の課題と前・後期の定期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は、原則として不合格とする。

教 科 書

2冊使用の予定

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ等を利用して英語により親しむことを特に要望する。

担当者名	配当学科	単 位
きたむらひろふみ 北村弘文	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

オーウェル (G.Orwell) の “Such, Such Were the Joys” を読みます。この作品は多少フィクションの箇所もありますが、オーウェルの一種の自伝で、preparatory school 時代の記録です。ここには後に “Animal Farm”, “Nineteen Eighty-Four” で見られるオーウェルの思想のベースになる考え方の片鱗を見ることができます。またこの作品を通して1930年代のイギリスの教育事情を知ることができます。将来もっと深くオーウェルを読んで見たいと思う受講生が出れば幸いです。

なお、授業はゆっくりスタートしますが、徐々に速度をあげて、一回の授業で4～5ページくらい進めるようにしたいと思います。しっかり予習をして授業に出るようにしてください。なお、授業が訳読一辺倒にならないように、小テストをしたり、色々工夫してみたいと考えています。

成績評価の方法

定期試験（前・後期）の成績以外に、授業中の発表、小テスト、出席状況など勘案して評価します。

教 科 書

『Such, Such Were the Joys』（北星堂） ¥950

担当者名	配当学科	単 位
〔前期〕 まきの野 〔後期〕 牧林 あき明	歴史 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語ⅡBの到達目標の一つは速読の他に正確な英文の理解であるので、この授業では特に後者に重点をおく。その理由は後者に充分熟達すれば前者の学習が自ずと容易になるからである。

授業において学生は一言一句ゆるがせにしない英文の正確な解釈を行ない、さらにリーダーの中で使用されている重要な文法事項や語句に習熟出来るように、各単元毎に全訳して提出しなければならない。

成績評価の方法

授業中に一回はどの学生も質問を受け、その都度チェックされ、成績評価の参考とされる。したがって学生は出席と予習が不可欠である。また5課終了した時点で和訳、英訳等の小テストを行なう。小テストといえども未受験は0点となるのでくれぐれも注意すること。年間の成績評価は後期担当者が行なう。

教 科 書

Advanced English For Translation「ケンブリッジ アドヴァンスト・トランスレーション・コース」朝日出版社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単 位
しまづのぶこ 島津信子	経済 2 年	2

講義のねらい

海外の新聞、雑誌の記事の中から日本について書かれた記事を読み、外国のメディアに日本がどう映っているのかを見る。これを材料に日本の社会の現在と将来のあり方、そしてそこで生きる自分自身の価値観やライフ・スタイルについて考えていきたい。トピックは出生率低下、高齢化社会、セクシャル・ハラスメント、男女雇用機会均等法、女性起業家、エイズと差別、帰国子女、カラオケ、大相撲の国際化など。また、最新の“BBC World News”をテレビから録音したテープでニュースの聞き取り練習を逐次おこない、それに関連した英文新聞の短い記事も読んでいく。日本や世界の出来事に関心を持ち、それらと自分を結びつけて考える態度を育てていきたい。

成績評価の方法

毎授業開始時に予習チェックの小テストを行う。割当箇所の訳の発表を各自、前・後期一回は行う。ニュースの背景・予備知識を希望者が調べて発表する（エクストラ・ポイントとして加算される）。これらの点と出席点（出席状況により4段階に分かれる）を全て成績記録表につけ、平常点とする。成績は平常点を重視してつける。ただし、授業回数数の3分の1以上休んだ者は不合格とする。

教 科 書

- 1) 『エコノミスト誌が見た日本』 桐原書店 ¥1,380
- 2) 『Dateline Japan』 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,550

そ の 他

受講者はニュースの背景知識などについても、自分で調べて、クラスで発表するような積極的な態度を望む。

担当者名	配当学科	単 位
やなせこうそう 梁瀬浩三	経済 2 年	2

講義のねらい

一つは、比較的平易な英文でしかも多方面の分野の内容を盛りこんだものを、多くしかも早く読めるようにしたい。もう一つは、幾分難しい英語をじっくり考えて読むという作業も行う。多読と精読の両面が、英語の修得には是非とも必要である。特に現在欠けているのは、「考える」ということで、これを補うための英語を通して「考える」という点にも重点を置きたい。

講義の内容・授業スケジュール

多読、速読にせよ、精読にせよ、読む内容はできるだけ変化に富み、しかも多方面の事柄を含んだものにしたい。即ち、文化、経済、科学、政治等々。多読の場合は、一語一語訳す必要はないが、精読の場合は、理解したかどうかの確認のため訳さざるを得ない。授業時間中、できるだけ多くの人に当てようとする。

履修上の留意点

演習中心である以上、出席を重視する。総時間数の1/3以上休んだら失格とする。具体的には8回以上休んだら単位は認められられない。当然のことながら、英語の修得には努力が必要である。この場合の努力は、予習をきちんとやるという事である。読解だからといって発音はどうでもいいというわけにはいかない。発音にも気をつけ、内容をよく調べてくる事が大事である。

成績評価の方法

年二回のテストを中味の濃いものにし、普段からよく予習、復習をしていなければできない内容にする。普段の授業態度、積極的な発表態度、地道な予習などを重視し、評価に加える。

教 科 書

開講時に明示する。

担当者名	配当学科	単 位
まつもと 松 本 昇	経済 2 年	2

講義のねらい

日本は外国からどのように見られているか、『タイム』と『エコノミスト』に載った記事を読むことによって検討する。あわせて日本と外国のシステムや文化の違いを考える。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年4回）の成績を全体の40％、定期試験を60％の割合で評価する。出席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『『タイム』と『エコノミスト』で読む日本の現状』 金星堂 ¥1,750

担当者名	配当学科	単 位
いとうひろみ 伊 藤 宏 見	経済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

名作を懇切丁寧によむ方針で、一語一句ものがさず、正確に把握すること。はじめは、アメリカ南部の作家スタインベックの *Harvest* を読み、アメリカ南部の農民をテーマにした農村の人情と美しい自然界のおりなす、人生の明暗と秘密をまなび、スタインベックの直截にして明快な文章を学び、特異な表現や、意味を context からとりだすこと。また、作家の人間観察の鋭さを知る。

又後期には、ハーディーの *To Please His Wife* を読む。二人の女性の異なる性格から、一人の男の運命と家族のたどる悲慘な末路を描くが、ここでは、人間社会の欲業の問題を指摘し、ハーディーのきびしい批判精読を学ぶ。

またハーディーのきびぎとした文章と巨匠としてすぐれた描写力を味わう。（その他の文）。

いろいろな idioms や、phrases、めずらしい語彙に出会うが、しっかりと覚えていただく。毎時各人に5、6行から10行の文章をあてるので、予習と復習に心がけること。辞書、ノートなど忘れずに。

成績評価の方法

出席率を重要視し、定期のテスト2回を受けてもらう。評価は、これに、毎時間の演習の成績を加味しておこなう。

教 科 書

Life And Destiny「運命の扉」 南雲堂 1,300円

担当者名	配当学科	単 位
わた へ こう じ 渡 部 孝 治	経 済 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

60年代から80年代のロック・アーティストとロックの曲を通して英語を学ぶ。プレスリーからU2まで19人のロック・アーティストとロックの曲を英語を通してロックの歴史を概観する。英語はやや難解だが、楽しみながら英語の読解力を養う。と同時に歌詞を使ってリスニングの力も養う。歌詞については、歌詞の内容にふさわしい訳を心がける。時代背景についても詳しく触れたい。

教 科 書

John Dougl『Rock Classics』（マクミラン）

参 考 書 等

大杉・渡部『Cries of Young Souls』（朝日出版社）

担当者名	配当学科	単 位
いち かわ ひとし 市 川 仁	経 済 2 年	2

講義のねらい

英文のエッセイを読むことで、前期は構文の理解という点から、内容の解釈・理解・把握の力をつけるために、じっくりと読んでゆくことに重点を置く。また、後期は、プリント等の補助教材を並用して、速読に重点を置いてゆく。前期・後期ともに、内容の理解度を問うための小テストを適宜（年4～5回程度）行なう。

成績評価の方法

授業中の発表、小テスト及び前・後期の定期試験による。これらを総合して最終評価とする。総授業回数の3分の2以上の出席を必要とする。

教 科 書

『ロレンス語録』 弓書房 ￥1,180

担当者名	配当学科	単位
まきの野輝 よし	経済2年	2

講義のねらい

英語ⅡBの到達目標の一つは速読の他に正確な英文の理解であるので、この授業では特に後者に重点をおく。その理由は後者に充分熟達すれば前者の学習が自ずと容易になるからである。

授業において学生は一言一句ゆるがせにしない英文の正確な解釈を行ない、さらにリーダーの中で使用されている重要な文法事項や語句に習熟できるように、各単元毎に全訳して提出しなければならない。

成績評価の方法

授業中に一回はどの学生も質問を受け、その都度チェックされ、成績評価の参考とされる。したがって学生は出席と予習が不可欠である。また5課終了した時点で和訳、英訳等の小テストを行なう。期末テストは長文和訳とするが、成績評価は上記の小テストも含めた総合評価である。未受験は0点となるのでくれぐれも注意すること。

教科書

Advanced English For Translation

「ケンブリッジ アドヴァンスト・トランスレーション・コース」 朝日出版社 ¥1,400

担当者名	配当学科	単位
まきの野まさ正 秀	経済2年	2

講義のねらい

英語の授業は皆さんの独習が主体となり、それを実際発表するという行動に移さなければなりません。それには充分な下調べが要求されるわけです。独習だけでは誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があるものです。そこから客観的な手段にうたてみる必要があります。その場が授業で実際に発表するという事になるわけです。従って積極的な態度が必要となって来ます。

どの分野の英語を理解するにしても、基本は大切であり、くり返して理解しなければならないと思います。今まで学んで来た基本的な知識を復習再確認しながら勉強したいと思います。その上でより高度な英文が理解出来、自己表現などに応用出来るよう努力して下さい。テキストの内容は、現代人一般が持つ危機意識（問題意識がない場合は関心のない事だが）を、環境、家族、行動、戦争と平和などに関する諸問題を通して、論述しているので、じっくりと読んでみたいと思います。

成績評価の方法

評価は前後期テストに平常点を加味して行う。

教科書

『The Crises of Mordern Man』 桐原書店

担当者名	配当学科	単 位
おぶせ けさそう 小布施 圭佐三	商 2 年	2

講義のねらい

今日の世界の動向を迅速にかつ的確につかむには、時事英語の読解力の養成がますます重要になってきている。その意味で、時事英語の教材には英字新聞が最適であると思われる。内外の英字新聞から政治、経済、教育、社会問題、芸術、スポーツ、レジャー、広告にいたる幅広い記事を取り上げ、解説を施しながら読むことにする。同時に英字新聞の読み方と英字新聞特有の文体、語法について学習する。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験（年2回） ⑤レポーター点など加味して評価する。

教科書

①S.Kathleen Kitao & Kenji Kitao『Understanding English Newspapers』桐原書店
②Newsweek (1996) ③The Japan Times

その他

レポーター制を取り入れ、各章を責任分担させる。年間を通して各自1回はレポーターを勤めなければいけない。毎時間英語の辞書を持参すること。

担当者名	配当学科	単 位
ほそ の ひで こ 細野 秀子	商 2 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を、新聞の英語を通じて、さらに正確に深く読み込んでいく訓練を行う。これに並行して、語彙面での充実をはかりながら、速読の技術も身につけていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前・後とも時事英語の手法を学びながら、国際感覚を高めていきたい。

成績評価の方法

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期約3回ずつと、夏期に課題を課す。試験は冬学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。評価は試験の点数50%、課題25%、発表25%とする。

教科書

開校時に指示する。

その他

教科書ばかりでなく、多方面の分野で外国文化に触れる努力をしてもらいたい。

担当者名	配当学科	単 位
ひろ かわ 広 川	商 2 年	2

講義のねらい

英語の Reading および Listening 能力の向上を目標とすると同時に、英米文化の知識を得る機会としたい。

講義の内容・授業スケジュール

初回は、授業の説明とアンケート。前後期とも、授業の最終日とその前の週と2回にわたってテストを行う。

履修上の留意点

出欠席を重視する。教室に来ていても、参加していない場合は欠席扱いにする。

成績評価の方法

出欠席で成績をまず限定したうえで、平常点、前後期のテストの結果を見て判断する。

教科書

プリント配布の予定。

担当者名	配当学科	単 位
なか お しゅん こう 中 尾 俊 光	商 2 年	2

講義のねらい

「国際化」の問題を考える時、できるだけ多くの客観的情報を入手する事が大切と思われます。世界全体、北アメリカ、アジア、ヨーロッパ、第三世界のそれぞれにおける全般的な諸問題、次に各国の具体的な問題を扱った解説文と記事を読みます。授業は予習を前提とした発表による演習形式です。英文の日本語への逐語訳を極力避け、全文の主旨、段落の要旨の把握に向けて、英文の流れ（語順）に添って理解できるようになることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

(i)発表、(ii)小テスト・レポート等、(iii)前期試験、(iv)後期試験、以上の4点をもとに総合評価します。

教科書

「最新時事英語・世界を読む'96」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,800

その他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の側面にも十分な注意を払って下さい。テープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。

担当者名	配当学科	単位
まち だ なお こ 町 田 尚 子	商 2 年	2

講義のねらい

現代世界のシステムを考える手がかりとして、Robert Heilbroner, *Twenty-first Century Capitalism* を読む予定です。授業は演習形式ですから、担当者が要約し、問題点を指摘する必要があります。英字新聞、雑誌から考えるヒントとなる特集記事等を適宜プリントして渡します。

成績評価の方法

平常授業での担当発表の成績を重視し、前期・後期末試験結果と同等の扱いで評価点を出します。

教科書

Robert Heilbroner, 『*Twenty-first Century Capitalism*』 UCL Press (University College London) プリント教材

担当者名	配当学科	単位
あん ざい よしみ 安 斉 芳	商 2 年	2

講義のねらい

この授業では、アメリカ文化、風俗、習慣等について取り扱う。私たちは、生活している廻りの環境や文化によって、考え方や行動が異なる。国際社会と呼ばれている現代社会において、表面的な文化の違いに捕らわれる事なく、本来の人間を理解することのできる人が、真の国際人であると言える。ゆえにこの授業では、日本人とアメリカ人の違いは無論のこと、同じ人間が同じことをするのに、それなりのやり方があることを認識していくこととする。各章は4つに別れている。Multiple Choice Questions では、本文の内容に関する Hearing の問題を解く。Comprehensive Check では、本文の内容についての英文での応答、Translation では、和文英訳の練習、Dialogue and Dictation では、二人の人物の間での対話練習を行なう。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。授業回数の3分の1以上欠席した場合は不合格となるので注意すること。

教科書

- 1) Joseph F. Kess著 “American Life Cycle” 「アメリカのライフサイクル」 成美堂 ¥1,600
- 2) 英和中辞典(大学生用のものであれば出版社は特に指定しない。)

担当者名	配当学科	単 位
みわ ひさえ 三 輪 久 恵	商 2 年	2

講義のねらい

作品の背景を常に念頭に置きながら、エッセイを中心にさまざまな英文を読む。精読に加えて、適格に大意を取ることをも重視する。予習を前提とした演習形式で、普段の努力を重視する。

成績評価の方法

平常点、および授業中の小テスト、レポートの提出物による。

教科書

教場にて指示する。

担当者名	配当学科	単 位
あし ざわ ひさえ 芦 澤 久 江	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では Garnett の代表作品『狐になった婦人』を読んでいく。この作品は奇異なおとぎ話風の事件が簡潔な筆でリアルに描かれたもので、軽妙な皮肉が交っており、読者の意表をつく。内容は、ある日突然狐に変身した妻を愛し続けた男の話である。人間の愛の不変性を強調し、写実的な筆致と神秘的な象徴性を漂わせた異色作である。授業方法は、一回の授業につき、一人が大体一文から二文を英文で読んだ後に訳してもらおう。また年に数回、英語で大まかなあらすじを提出してもらおう。

成績評価の方法

授業中に行なう英語の要約を点数化し、さらに出席回数、前期後期テスト、授業態度を総合的に判断して評価する。

教科書

David Garnett 『狐になった婦人』 ¥989

そ の 他

予習は必ずしておくこと。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
すぎむら はつえ 杉 村 初 枝	商 2 年	2

講義のねらい

エッセイや名演説の一節等を取り上げ読む。textを単に訳すのではなく、構文・慣用表現・コンテキストに留意して正確に読むこと、内容を的確に把握することをめざす。発表を中心に授業を行う。

成績評価の方法

授業中における発表と前・後期試験に基づく。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

プリント使用

英 語 I

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短 国 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

20世紀のアメリカ文壇を代表する作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握を身につけるようにする。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにします。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『ピューリッツァー賞作家——傑作短篇集——』（朝日出版） ¥1,236
- 2) 『10分間のベーシック・リスニング』（桐原書店） ¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

20世紀の偉大な英国の小説家の1人であるD.H.ロレンスの青春時代を描いた、ジェシイ・チェインバースの「記録」を読み、英文の内容の把握と読解力の涵養に努める。辞書を活用して事前に準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

J.Chambers ; D.H.Lawrence 『A Personal Record 「ロレンスの青春時代」』 三修社 ¥1,100

そ の 他

金曜・3限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	おおかわ ひろし 大川 浩	短国 1 年	2

講義のねらい

英国の作家、D.H.ロレンスとの生活を描いた、妻フリーダーの残した生活記録の英文を読み、ロレンスの世界、彼の思想、その生きざまなどへの理解を深め、あわせて英文の内容把握と読解力の涵養を意図する。

履修上の留意点

辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題提出、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教科書

“Not I But the Wind…” 弓プレス ¥1,009

その他

金曜・4限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	まちだ なおこ 町田 尚子	短国 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。手始めに、Kazuo Ishiguro の 2 つの短編 The Summer after the War と A Family Supper を取り上げます。Kazuo Ishiguro は 1954 年長崎で生まれ、1960 年から英国に住んでいます。第 1 作、第 2 作の小説はいずれも英国の文学賞を獲得し、刊行第 3 作の The Remains of the Day (1989 年) は最も優れた小説に与えられる Booker 賞に輝いています。授業では 2 短編の音読をカセットテープで聞き取る練習もします。演習形式なので予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です

成績評価の方法

平常授業での担当発表、聞き取り小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教科書

Kazuo Ishiguro, 深沢俊 (編注)「カズオ・イングロ秀作短編 2 編」 鶴見書店 ¥876

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

「英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。」
 “…教養と実用の両面から読み書き話すこと、また…その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。” — 外国語部英語科

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ②教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

授業の進め方

- ①30～40分間 テープの英語 a short speech
- ②50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ①前期・後期一回づつテスト実施
a. テープの英語 b. 教科書
- ② a short speech (授業時間中)
- ③課題のレポート提出

教 科 書

- ① To Please His Wife And Other Stories
- ② Listening Capsules.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よし ざわ えい じろう 吉 沢 栄 治 郎	短 英 1 年	2

講義のねらい

英作文を主にやっていきます。和文の大意が表われておれば可、という心積もりで進めて下さい。

履修上の留意点

和英、英々辞典を活用のこと。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教 科 書

教科書等は第1回の授業時に指示します。

英 話

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短 放 1 必	2

**講義の内容・
授業スケジュール**

平易な英語で現代世界の諸問題を考えながら、英語の基礎力と運用力が身に付く授業です。テキストの問題テーマ毎に課題を出します。授業は演習形式なので、課題を担当して発表する積極的な授業への参加姿勢を高く評価します。

成績評価の方法

平常授業での課題発表、聞き取り等小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教 科 書

Tim Healey「現代世界を見る」 松柏社 ￥618

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	た なか たもつ 田 中 保	短 放 1 必	2

講義のねらい

文章の読解から学び、演習を通じて理解を深めて、実践的語学力の養成をおこなう。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにする。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『基本英語表現法』(成美堂) ￥1,600
- 2) 『10分間のベーシック・リスニング』(桐原書店) ￥950

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の日安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Peter A. Bendinelli	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商 1 年	2

講義のねらい

AN INTRODUCTORY COURSE TO SPOKEN AMERICAN ENGLISH. STUDENTS SHOULD BE FAMILIAR WITH BASIC QUESTION/ANSWER PATTERNS AND HAVE AN EARNEST DESIRE TO ACTIVELY PARTICIPATE IN CLASSROOM PROJECTS.

THIS IS NOT A CLASS FOR SHY OR PASSIVE STUDENTS. STUDENTS WILL BE SCREENED DURING THE FIRST MEETING AND ONLY THOSE WHO APPEAR CAPABLE OF LIVING UP TO THE COURSE STANDARD WILL BE ALLOWED TO ENTER.

講義の内容・ 授業スケジュール

STUDENTS WILL WORK TOGETHER IN GROUP AND INDIVIDUALLY WITH THE TEACHER IN STUDYING AND PERSONALIZING TEXTBOOK PRESENTATIONS AND EXERCISES. STUDENTS WILL BE EVALUATED AND GRADED WEEKLY. NO MORE THAN THREE ABSENCES PERMITTED IN THE SCHOOL YEAR.

参 考 書 等

『GOOD STORIES FOR THE JAPANESE CLASSROOM』 MACMILLAN LANGUAGEHOUSE ¥1,350

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

この授業は、リスニングを中心課題に据えたニュースのビデオ教材を使用する。課題の多くは毎日の日本社会の動向を経済、文化、科学などの面から捉えるものである。したがって本講座の狙いは、日本のことを英語で伝える必要性と願望を生かして、学生の聴解力のみならず、英語の力を全般的に向上することにある。まず、各レッスンにおいておおまかな準備知識を与え、比較的難しくカギになる語彙を学習させる。それでビデオを繰り返し見せるたびに徐々に内容を詳細に明らかにする。また、ビデオの中にでてきた幾つかの重要な表現の使い方に習熟するように、英作文の問題として再度取り上げる。最後にビデオの課題と関連のある話題を提供しグループあるいはクラスで話し合ったり、個人で発表させたりする。

授業年間計画：大体、一時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、会話文の暗記、小試験、期末試験。

教 科 書

Today's Japan (2): Listening-focused Exercises. 金星堂 ¥1,600

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class with your friends; during most of the class period you will be talking with your friends in groups. In this course you will not be learning any more English; all you have to do is practice what you already know. By the end of this course you will be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the practical things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. We will also practice enough TOEFL, EIKEN, and TOEIC exercises so that you can start to get good scores in tests like these. Besides the conversation patterns, you will spend most of the time walking around the room talking to each other about your own interests, so you'll have a lot of practice in free conversation. The course is going to be a lot of fun!

担当者名	配当学科	単 位
John Wells	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

Welcome to my level 1 English Conversation class. The class is designed for students to get used to hearing English from a native speaker and practicing English conversation with each other.

講義の内容・
授業スケジュール

We will be studying basic role-playing situations that will be helpful to you when communicating with foreigners. Situations will include being able to introduce yourself, at a supermarket, at an airport, or at a coffee shop. You will learn a variety of role-playing situations.

You will also be asked to learn common everyday expressions. Quizzes will be given.

履修上の留意点

Course prerequisite: A desire to communicate in English
Attendance: No student will be allowed to miss more than three classes.

成績評価の方法

Grading: 50% attendance; 25% quizzes and tests

教 科 書

(undecided), printouts

そ の 他

Looking forward to seeing you in the classroom!

担当者名	配当学科	単 位
Gary Dendo	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

This course will focus on improving the basic communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

The first term will concentrate on social communication and interviews. The second term will focus on describing Japan and its features and international communication.

履修上の留意点

Regular attendance and participation are absolutely essential. Students will be expected to practice outside of class in order to achieve desired results.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, participation and interviews. Final grades will be calculated by the following formula:

$$\frac{(100 - X) + Y + Z + A}{3}$$

X = Absences

Y = Participation

Z = Interview

A = Adjustment based on teacher evaluation

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be provided.

担当者名	配当学科	単 位
Thomas J. Cogan	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

This is a beginning course in spoken English. In this class, we will focus on English as a tool for communication. We will practice such things as introducing ourselves, asking for information, giving our opinions, expressing our likes and dislikes, and talking about ourselves. In short, we will learn how to carry on simple but natural conversations in English.

成績評価の方法

Class Participation 30%: This is very important!

Attendance 30%: You will fail if you are absent five or more times during the entire year.

Interview Test 40%: I will give each student an interview test at the end of both semesters.

教科書

I will announce the title of our conversation text on the first day of class.

担当者名	配当学科	単 位
Lesley Taylor	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

The aim of this elementary English course is to provide students with the ability to express themselves in day to day conversations. The course will concentrate on speaking and listening skills, and students will be required to take part in communicative activities in the classroom.

履修上の留意点

The students will be expected to attend regularly.

成績評価の方法

The students will be assessed on class work and periodic testing.

教 科 書

Headway Elementary. John and Liz Soars. Oxford University Press.

担当者名	配当学科	単 位
P. Ziegler	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義の内容

This course will focus on getting students to communicate in basic English and therefore stresses basic conversation patterns and phrases commonly used in American English. Though the emphasis will be on conversation, brief writing assignments will be occasionally be given. Additionally, simple newspaper articles may also be used.

成績評価の方法

Student assessment will be based upon numerous homework assignments, weekly presentations, monthly quizzes and semester examinations.

教 科 書

Atlas 2 Learning Centered Communication, Heinle&Heinle; copies

担当者名	配当学科	単位
David A.Wade	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

A selected conversation textbook could be usefully supplemented with current issues of English language newspapers that are readily available in Japan, such as *The Japan Times* and the *Asahi Evening News*.

I believe newspapers are one of the most helpful resources for getting students to speak up-whether it's to talk about a sumo tournament, the fashion news, a natural disaster, or the latest Beatles record. All too often, standard textbooks can be stuffy, intimidating and seemingly remote. Newspapers, even those in an unfamiliar language, are familiar objects packed full of information and opinions about matters that will immediately engage the students' interests.

講義の内容・ 授業スケジュール

The curriculum for a conversation class might be divided into three main areas :

1. Enlarging vocabulary and correct pronunciation.
2. Conversation strategies.
3. Conversation tactics.

Conversational strategies include the following:

Formal vs. informal discourse

Conversational tone and verbal 'good manners'

Starting a conversation — openings & introductions

Keeping a conversation going

Organizing thoughts or arguments

Informational exchanges (e.g., asking for directions)

Commercial encounters (e.g., buying something in a store)

Persuasive conversations (e.g., asking someone to do something)

'Promotional' dialogues (e.g., talking at a job interview)

While Conversational tactics include such topics as:

Greetings — common phrases and formulas

Introducing oneself or others

Parewells

Verbal place-holders and time-buyers

Making sure one has been understood

Requesting clarification

Asking for confirmation

Making generalizations

Expressing personal opinions

Signs of agreement

How to disagree politely

Expressing likes and dislikes

Recognizing and signaling digressions

Tag questions — how to spot them & how to use them

Expressing hopes and desires

Stating one's reasons

Introducing a new topic

Listening to & telling jokes

A typical class might be divided along the following lines:

- a. Short warm-up period of free conversation (this is also an opportunity to deal with any vocabulary or pronunciation problems that have arisen)
- b. Review of the previous week's assignments.
- c. Vocabulary and pronunciation (key words for the week)
- d. Main topic — conversational strategy and/or tactics.
- e. Practice groups & pairings — arranged by the students' common interests (e.g., science and technology, current affairs, business, the arts, and so)
- f. Review and summary (plus setting of assignment for next class)

Assignments could include such tasks as:

☆ Finding new words to share with the group

☆ Selecting a short text to explain in their own words

☆ Expressing why they disagree with an article or editorial

☆ Compiling a list of questions provoked by a particular piece

☆ Preparing short talks about their own experiences in travel, sports, etc.

成績評価の方法

Methods of assessment and grading depend on the size of the classes and the facilities available. It could be chosen from an appropriate mix of the following:

☆ Multiple choice quizzes to select correct words, phrases, and conversational tactics

☆ Answering questions on tape (if language lab available)

- answering short quizzes on set texts

- personal responses to prerecorded questions

☆ Short one-on-one interviews (if numbers make this practicable)

- regarding a preset text or article

- a mock job interview

- about their own progress in this conversation class

☆ Practice run-throughs of TOEFL-style questionnaires

教科書

Of the various textbooks that I've had the opportunity to review so far, one of the most promising appears to be:

CONVERSATION GAMBITS: Real English Conversation Practices

Eric Keller and Sylvia T. Warner

(LTP-Meynard publishing: 03-3491-1331)

In the next couple of days I'm also going to assess a brand new text:

LET'S SPEAK (with cassettes, from Longman)

Perhaps these two books would work well hand-in-hand.

参考書等

Plus, I would like all students to have a dictionary such as the LONGMAN ACTIVE STUDY DICTIONARY on hand to expand their vocabulary.

英 語 L L I

〈英語LLIの授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階LL教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFLスコア450程度を達成目標とする初級レベルです。IAの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
い せ むら 伊勢村 定 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

基本的に英語に自らをさらして、英語の音に慣れるとともに、発声においても無理なくできるようになることを目指す。しかしながら、授業だけでは絶対的に時間不足のため、自からもダビングしたテープを家で聞く積極性がなければ、発達は期待できない。また意味がわからないことは記憶しがたいので予習は絶対必要である。

講義の内容・授業スケジュール

2ヶ月ぐらいは1～2ユニット（テキスト）のペースで。慣れに応じて量は増やす。なお、小テストを行なう。

履修上の留意点

大幅な遅刻（30分以上）は迷惑をかけるので認めないこともある。要注意！

成績評価の方法

出席状況・態度。及び小テスト。

教 科 書

James House『*Lively Listening!*』金星堂

参 考 書 等

中型英和辞典ならどれでも。

そ の 他

Listeningによる書き取り、各小質問解答、さらにロール・プレイ会話、ダイアログ暗唱等も含める予定。

担当者名	配当学科	単 位
おがさわら 小笠原 隆 げん 元	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

これまで学習した英語の潜在力を信じて、多くの学生諸君が実際の運用能力を身につけたいとの願望が少しでも前進・発展することをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

L1クラスでは自分の音声や他の人々の音声に対して敏感になってほしいので最初はひたすらに音読を心がけたい「只管音読・しかんおんどく」

履修上の留意点

受講希望者は、上記の「只管音読」と「只管聴取」を心がけ、録音テープ（10分～90分）を各種5～6本を用いるつもりでほしい。レポート提出・テープ提出・エッセイ提出を課す。

成績評価の方法

学習の進歩や到達度を基準として総合的判断により評価する。実績を示すこと！

教 科 書

テキスト・参考書は受講者の実際の実力がわかる時点までは一方的には決められないが、まず基本的なものとして次のものを用意されたい。

- ① カプセル英語発音 980円（三修社）
- ② トーイック ショート・リスニング 800円（成美堂）
順次・教場で指示する。

そ の 他

どうか、やる気のある学生諸君を期待します。毎回テープやテキスト、辞書を持参して来ることは当然と心得てほしい。

Where there is a will, there is a way.

- ㊦ 第一回目の授業には必ず出席して諸資料等を受取ること。

担当者名	配当学科	単 位
おおさわ 大澤 ひさ子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

Pronunciation, accent, intonation etcの復習と、短いdialogueから英語にもなれるのをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) テープの聞きとりと、New Michigan Method による Exercise
- 2) ビデオと Exercise

成績評価の方法

L1実習出席40点 前後期試験・練習問題計60点

教 科 書

English Language Institute
The University of Michigan,
Michigan Action English Step2
World Times of Japan, Inc.
その他ビデオテープ

担当者名	配当学科	単 位
おお ば なお き 大 庭 直 樹	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

英語の運用能力を高める基本は、英語の発音、アクセント、イントネーション等の基本的な発声練習を通じて、英語のリズムに慣れること、そしてヒアリングの能力を高める訓練を繰り返すことである。前者については、教材テキストを徹底演習することによって英会話力の基礎を育てる；後者については、毎回用意される5～10分のカセットテープやビデオテープ教材を聞き、自然な英語の流れに慣れながらヒアリングの力をアップさせる。後期からは、基礎的な発話力を身につけるため、口頭練習を通じて海外での場面や日常生活を英語で話す訓練をする。

このクラスに出席する学生は、集中力を働かせるヒアリングの演習、そして個々の単語、フレーズ、文章等の音声練習に耐えられるようにするためにも、朝9時からの授業ではあるが、朝食をしっかり食べて参加すること。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

教 科 書

実践LL演習（成美堂）

そ の 他

このクラスで使うカセットテープ、ビデオテープ教材はすべてLL事務室（1号館3F）に置いてあるので、受講者は、各自の必要に応じて、LL自習室を利用して補習すること。

担当者名	配当学科	単 位
にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

高校時代にLL授業その他で英語の発音、イントネーション等の矯正を一切行ってこなかった学生の為のLLベーシック講座。英語を聞き、話すことの手始めとしては声を出して正しい英語のイントネーションを覚えてゆくことが必要である。高校で既にLLの授業を受けた学生、およびイントネーションと基本的発音に問題がない学生で、英語の初歩的な会話表現その他を学習したい場合はこのクラスではなくLLIの他のクラスを受講のこと。尚、本クラスでの英語の発音は米語ではなくBritish English。

成績評価の方法

成績評価は平常点と小テストの総合による。

教 科 書

前期の教科書はEnglish Intonation Practice for College Students（朝日出版）、後期の教科書はBasic Listening（金星堂）。

参 考 書 等

主要参考書：English Intonation Practice for College students（朝日出版）、English in Focus: Ideas and Feelings（ジェムコ出版）。

そ の 他

授業内で英文ワープロの学習とコンピューターの初歩的指導もある。

担当者名	配当学科	単 位
ピアス, D. M.	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

'English Language Laboratory' I will be a class for group activity; I would like you to sit together with your friends. Most of the time you will be talking with each other. For listening comprehension, I will use my own voice instead of tapes or television, because it is more natural and better practice. There will be some practice in English composition and some practice in listening comprehension, but most of the time we will play different sorts of games so that you can practice speaking English with each other. You have most of the time practicing English together with your friends, so the class is a lot of fun!

担当者名	配当学科	単 位
かざま のりひこ 風 間 則 比 古	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商1年	2

講義のねらい

LL機器を使うことで正確な発音の勉強を行ない、同時に集中して教材を聞くことでヒヤリング能力の向上を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

異文化間コミュニケーションの問題を中心にして、発音、ヒヤリング、スピーキングの練習を重点的に行なう。

履修上の留意点

各自、空テープ（60～90分程）を用意して来て、家で聞いて復習すること。

成績評価の方法

前、後期の試験に加えて、小テストも重視する。

教 科 書

Listen, Speak, and Learn (Junior Course), 成美堂, ¥1,600

ド イ ツ 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (1), (6), (9)	まつ おか 松 岡 すすむ 晋	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語初級文法を一年間で終わることを目標にします。下に記す教科書を用いますが、各課ごとに1～2枚のコピーを配布し、独文和訳の練習を行います。

履修上の留意点

定期的に出席して積極的に演習に参加すること、および、毎日、独和辞典（最初の授業で指示する）を持参することを切に望みます。

成績評価の方法

年二回の試験、時折りおこなう小テスト、出席状況などを総合的に判断して成績評価をおこないます。

教 科 書

之間ほか(著)：明るく楽しくドイツ語を／(改訂版)，三修社，¥1,600。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A (2)	し みず おさむ 清 水 修	全学科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語、および英語と比較対照しながら理解し、身に付ける。また、基礎的な語彙を修得する。ドイツ語の学習においては、また実際の言語運用においても「話す・聞く・書く・読む」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙が重要である。この授業では、「書く・読む」に重点をおいて授業を進める。

また、大部分の学生が大学生になって、第二外国語として学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら、授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になります。そしてこれが日本語や英語に対する理解をさらに深めることになると思います。

成績評価の方法

年に2回実施する試験等で総合的に判断する。

教 科 書

早川東三 「ドイツ文法の入口」 朝日出版社

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (3), (4)	お織 だ しげ み 織 田 繁 美	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

人的、物的、又は文化的国際交流は益々進展の度を増し、それにつれて外国語の需要は一層の高まりを見せている一方で、大学教育の場で外国語教育、とりわけ「第二外国語」の教育は、文部省の教養軽視の方針に便乗する一部専門科目からの圧迫を受けています。それにも拘らず、一般に外国語の実用上の必要は増えていますし、教養としての諸外国への関心は間違いなく存在しています。このような実情をふまえ、限られた学習時間を有効に使う学習項目を厳選し、重要なポイントを重点的に説明していきたい。

履修上の留意点

軽い気持ちで授業に遅刻をしたり、休んだりしないこと。授業についていけない大きな損失を自ら招くことになるからです。必ず辞書を携帯してこよう。

成績評価の方法

前期、後期の期末テストの成績の他に、普段の授業時間内に問題解答もきちっとしているかということも評価の対象になります。

教科書

- (3) ドイツ語 I A 「ドイツ文法の基礎」 山本実 白水社 2,100円
 (4) ドイツ語 I A 「あすのドイツ文法」 信岡 第三書房 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (5)	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全学科 1 年	2

講義のねらい

初めてドイツ語に接する学生諸君に、少しずつドイツ語になじんでもらいながら、ドイツ語文法の概要を習得してもらおう。又、ドイツ語綴りを読む際に、ついつい英語読みになってしまう人が多いので、授業中は特にこの点に注意して行きたい。

履修上の留意点

欠席が続くとだんだん授業について行けなくなるから注意して下さい。

成績評価の方法

前後期末試験を中心に、総合的に判断して評価する。

教科書

杉本正俊著『ドイツ語文法・12課』行人社を教科書として使用。

参考書等

辞書については授業中に述べる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (7)	井 村 行 子 <small>いむら ゆきこ</small>	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基本を一通り学ぶ。文法の学習とは、これまでの中高6年の英語の授業と比べて、大学の語学の授業には時間的に制約があるという条件のもとで（通常週二回二年）、外国語を体験的にではなくて、構造的に理解することによって一応の習得を短期間に可能にする方法である。受講者の年齢が相対的に高く、抽象的・概念的な把握力が高まっているという事実がこれを可能にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、前期は名詞を中心に、冠詞、形容詞の変化などを学び、後期は動詞の時制や態などを学んでいく。具体的な授業の予定は以下の通りである。
 第1回 ドイツとドイツ語の話 アルファベット 第2回 発音 第3回 動詞の現在形
 第4回 定冠詞の変化 第5回 動詞の現在形（不規則動詞） 第6回 不定冠詞の変化
 第7回 複数形 第8回 人称代名詞と前置詞 第9回 形容詞の変化
 第10回 過去形と未来形 第11回 比較級と最上級 第12回 完了形 第13回 助動詞
 第14回 分離動詞と非分離動詞 第15回 関係代名詞 第16回 再帰代名詞
 第17回 受動態 第18回 指示代名詞と不定代名詞 第19回 数詞
 第20回 zu不定詞と分詞 第21回 接続法の形態 第22回接続法の用法。
 受講者の習得度によって進度は予定とは多少異なる場合もありうる。

履修上の留意点

授業時間には制約があり、学ぶべき事項は多岐に渡る。教室内のみでの習得は困難である。受講者は必ず下準備の上、授業に臨むようにしてほしい。

成績評価の方法

試験は前期、後期の二回行うが、成績の評価は後期の成績を主とする。しかし当然のことながら、初級文法とは一つの言語を順序立てて説明したものであるから、前期に学ぶ事項を習得することなしに、後期の事項を習得することは不可能である。

教 科 書

常木実『新明快ドイツ語文法』（郁文堂、1995）1,600円

参 考 書 等

参考書、辞書等については授業中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (8)	飯 塚 公 夫 <small>いづか きみお</small>	全 学 科 1 年	2

履修上の留意点

途中であきらめないこと。

成績評価の方法

前期・後期のテストの成績が主となります。

教 科 書

「親切なドイツ文法・改定版」（第三書房）

参 考 書 等

なるべく収録語数の多い独和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (1), (4)	おかもとときこ 岡本時子	全学科 1 年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基本的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音、文法の基礎を中心に、簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学ぶ」授業にしたい。

成績評価の方法

筆記試験、授業への出席、参加等を総合して評価する。

教科書

教科書は開講時までに指定する。

参考書等

参考書、辞書等については、第一回目の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (2)	くりはらかずのぶ 栗原万修	全学科 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

〔I A〕の時間で文法をやりますので、この時間は会話を中心に生きたドイツの基礎を学んでいきます。むろん必要な文法は説明します。

履修上の留意点

特に初習の語学は毎時間継続的に勉強しないと力になりませんので、出席を重視します。欠席をしないように。

教科書

近藤他 『Dialog 新ドイツ語へのキックオフ』 郁文堂, 1,957円

教科書

どういうふう勉強するか等の細かいことは教場で指導します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (3), (5)	〔前期〕 百 濟 勇 〔後期〕 松 本 洋 子	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な読物を読みながら、ドイツ語の基本的な文法事項を学んでいく。読物には、ドイツの若者たちの生活が授業風景、進学問題、アルバイトなどを通して描かれているので内容的にも興味がもてるのではないかと思う。また読物の中に出てくる単語や基本的な表現方法を用いて、会話の練習なども行ないたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

藤田『初級ドイツ文法読本』 郁文堂 1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (6)	の 野 島 利 彰 し ま と し あ き	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスではより実的なドイツ語の文章を学ぶ。口頭練習の問題も多いので予習が大切である。また言葉は音であるので、自宅で十分に附属のCDを聞き込むことが重要である。その成果を知るためにしばしばヒアリングテストを行う。

成績評価の方法

成績評価は予習をしているか否か、ヒアリングテスト、7月と1月の試験の成績によって判断する。

教 科 書

近藤弘ほか著「Klasse!」 朝日出版社 ¥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (7), (8)	かわ かわ かみ かず ひと 河 上 和 史	全学科 1 年	2

講義のねらい

たとえば、衛星放送のニュースは、世界中の出来事をあたかも国内のこのようにリアルタイムで伝えてくれます。しかし情報の氾濫にもかかわらず、アメリカ以外の「外国」はわれわれにとって必ずしも近い存在とは言えないかもしれません。世界にはさまざまな人々がいて、それぞれの生活を営み、いろいろなものを見方をしています。「もう一つの外国語」をマスターすることは、その国を知るだけでなく、世界を見る眼を増やすことでもあります。そのことを念頭に置きつつ、今あらためて、君自身の「ドイツ」と出会うために、これから一年間、ドイツ語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業は「講読」の時間ですが、単に「読む」ことに終始せず、「文法」で学んだ基礎知識を認識しながら、それを口に出して言う練習、つまり日常会話の初歩もやる予定です。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績だけでなく、授業中に実施する小テスト、練習問題、口答練習や出席状況などにより総合的に評価します。

教科書

未定（追って指示します。）

参考書等

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業の時に幾つか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (9)	にい くら まや こ 新 倉 真 矢 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本となる正確な発音、語彙の習得、文構造の把握を目標とする。同時に「聞く」、「話す」など基礎的なコミュニケーションに参加出来るような理解力と表現力の向上にも取り組み、総合的な言語能力の養成を図る。また、ドイツ語圏の文化についての理解も深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

一年間で教科書が終わるように各回を配分し、毎回、各課のテキストを聞き、読みながら文法事項を確認し、正確な読解を行い、テキストで扱われている状況での会話の型を学習し、練習問題に沿って自己表現出来るようにする。前期では特に、基本的なレベルで個人的な事柄について書くことが出来るようにし、後期ではさらに内容のある文を作成する。

履修上の留意点

授業時に行うパートナー練習なども含め、積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

前期・後期試験の点数と出席率、宿題や小テストなどを総合した点数で決める。

教科書

近藤他 「Dialog——新ドイツ語へのキック・オフ」、郁文堂、1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I C (会話)	まつ おか すずむ 松 岡 晋	経営 1 年	2

講義のねらい

本講座は、ドイツ語の基礎会話の練習を目的とするものです。教材としては教科書に挙げるカセット・テープ付き教科書を用います。一年間で日常的会話の基本部分を習得できれば、と思っております。

履修上の留意点

口頭練習が中心となりますので、毎回出席することが絶対的条件です。

成績評価の方法

年数回の試験（口頭および筆記）ならびに出席状況により成績評価をおこないます。

教 科 書

乙政潤 著：日頃のドイツ文法（オーラルコミュニケーション付）朝日出版社、¥2,600

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 II A	まつ ちと よう こ 松 本 洋 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法を学んだ学生が実際のドイツ語に慣れ親しんでいけるようにワイツゼッカーの演説をテキストとして選んだ。授業では文法的解説を充分に行ない、実際のドイツ語の読解力をつけていきたい。同時に、学生がこのテキストを読むことで、同じ敗戦国である日独の過去の戦争責任に対する姿勢の違いなどについても学んでくれたら、と思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

「ワイツゼッカー、人と演説、ドイツ統一・大統領記念演説」朝日出版、¥960

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	の 野 ^{じま} 島 ^{とし} 利 ^{あき} 彰	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

このクラスでは実践的なドイツ語を学ぶ。一年次生向けの教科書を使うが、後半のレベルはかなり高くなる。添付されたカセットテープを自宅で聞くことが基本であるのでヒアリングテストをしばしば行う。成績評価はヒアリングテストの成績と随時行われる小テストの成績で判断される。

教 科 書

W. シュレヒト著 「ドイツ語70」 三修社 テープとのセット ¥2,600

そ の 他

月曜・4限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	く り 栗 ^{はら} 原 ^{かず} 万 ^{のぶ} 修	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

授業では、文法の説明もしながら分かりやすいようにすすめていきますが、単語や句をおぼえることで、日常会話にも役に立つと思います。ただし、語学は継続的に勉強することが大事なので授業には欠席しないように。毎時間指名をしてやってもらうので、かならず予習をしておくこと。平常の継続的な勉強を重視するので授業への出席は絶対条件です。

教 科 書

テキストは、ディミーター・インキオフ（栗原編・注）『ミリアと盗賊カラブム』（郁文堂、1,000円）を使用します。作者のインキオフさんは、私がドイツ滞在中に親しくなったドイツの有名な児童文学の作家です。たくさんの児童書を出版していますが、この物語は、その中でも特に平易な文章で、単語も日常よく使われているものばかりで構成されています。美しい人形のミリアと心のやさしい盗賊の人形カラブムとの友情や2人の子供たちとの交流、そして思いがけない話の展開等、多くの挿絵とともに、ユーモアに満ちた筆致でほのぼのと描かれた楽しい物語です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	の じま とし あき 野 島 利 彰	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

一年次で得た知識を基礎に、まず簡単な文章（教科書）から始め、より複雑な文章へと読み進み、将来的には短い論文程度のもを読む予定である。やや文法に基礎を置いた授業を行う。授業は予習が基本である。従って成績評価ではふだん予習をしてあるか否かが重要な判断基準となる。

教 科 書

神竹著 「中級へのステップアップ」 白水社 ¥1,700

そ の 他

水曜・2限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

ドイツ人が日本をどう見ているかを知ることは興味深いことですし、また重要なことだと思います。この授業では、ドイツの著名な日本学の教授が書きおろしたエッセイを取上げます。既に習った文法事項を確かめつつ、あるいはそれを補いつつ、まとまったドイツ語を正確に読むことを目指します。同時に、著者の深い日本理解や、さらに日本文化への愛に裏打ちされた現代日本への鋭い批判なども、心して読んで行きたいと思います。

教 科 書

小塩節編 「ドイツ人の見た日本人」, 朝日出版社, 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	野島としあき のしま としあき	禅・仏教・国文・歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

一年次で得た知識を基礎に、まず簡単な文章（教科書）から始め、より複雑な文章へと読み進み、将来的には短い論文程度のものを読む予定である。

成績評価の方法

毎回全員に訳の提出を課し、その成績の合計をもって成績評価とする。

教科書

三瓶編 「ヒンターヴァルデンの冒険」 三修社 ¥773

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	まつもと ようこ まつもと ようこ	禅・仏教・国文・歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

第二次大戦、敗戦、東西の分裂、そして1990年10月の統一までの、ドイツの歴史を簡単にふりかえり、さらに統一後、ドイツが現実に直面している様々な問題を具体的に考察しているテキストを使って、ドイツ語文法の骨組みを学んだ学生が、さらに実際のドイツ語の文章を読みこなせる能力を身につけていけるようにしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点（予習をしているかどうか）中間テスト（訳文の提出）と定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教科書

「統一後のドイツ人は統一できるか」 郁文堂 1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B	あ づま ゆう じろう 吾 妻 雄 次 郎	禅・仏教・国文・歴史・経済・商 2 年	2

講義のねらい

中級クラスの「文法読本」を用い、ドイツの風物、自然、経済、交通等に触れた簡単な文章をもとに、1年次にはとかく不十分に終わりがちな文法の知識の再確認につとめ、大学生にふさわしい読解力、自己表現、したがって簡単な日常会話、独作文等の基礎を作ること为目标として進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

上記文法上の知識の深化、再確認のために用いるテキストは、できれば夏休み前、少なくとも一年の前半で終え、後半ではコピーによる数種の教材を用意し、ドイツの新聞あるいは週刊誌に載った日本に関する特異な紹介記事等をも、これまた文法を振り返りながら学んで行きたいと思う。教科書はカセットテープ使用。

履修上の留意点

したがって履修する学生諸君は、常に受け身の姿勢は返上して、積極的な姿勢で授業に臨んでいただきたい。たとえ単語の訳のついた親切なテキストであっても、常に独和辞典にしたしみ、どのような状況で用いられる言葉なのか、文例等にも目を通して、必要なものはノートに記して欲しいと思う。教室の敷居が高くないことが望ましい。気楽に笑いながら一緒に学べれば何よりである。

成績評価の方法

一口に言えば平常点評価である。もちろん試験は年間二度ほどに分けて行う。必要に応じてまとめテストを行うこともある。授業の展開に、自分もその一員として積極的に参加しているかどうかも評価の対象である。

教 科 書

松本嘉久著 『ドイツ語からドイツへ』 朝日出版社 ¥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	よし だ ぶん こ 吉 田 文 子	短国・短英 1 年	2

講義のねらい

同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は複合時称をはじめとする複雑な文を扱う。

履修上の留意点

何よりも一定量の語いを覚えるよう努めること。日々少しづつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法

単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト、期末テスト、授業態度を総合して評価する。

教 科 書

「グリムと旅して」 三修社 ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あ づ ま ゆ う し ろ う 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英1年	2

講義のねらい

週1度の授業を、楽しく効果的に行うことができるよう、教科書選びにも留意したつもりです。『基本対話例』『テキスト』そして『練習問題』から成るこの教科書を通じて、初歩的な文法の知識、日常の挨拶、生活に必要な簡単な会話等を学んでいきたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

外国語の理解には文法は不可欠ですが、初めはあまりこれに捕らわれる必要はありません。全16章から成る教科書は、文法項目の前に『基本対話例』1, 2が置かれていて、さらに『テキスト』『練習問題』等によって理解をいっそう確かなものになろうと意図で編まれています。カセットテープを利用しながら進めていき、秋の終わり頃まで一応完了の予定です。

履修上の留意点

従って縁あってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に積極的な姿勢で臨んで欲しいと思います。それにはたとえ短時間であったとしても集中的に予習・復習に時間を裂き、明るい、楽な気持ちで授業に参加することが第1です。

成績評価の方法

年に2度ほど試験を行います。また必要に応じてまめテストのようなものを行うこともあります。出席はとりますが、あくまでもこれは参考にするまでであって、授業の展開にいかに関与的に参加しているかを重んじたいと思います。言わば「平常点評価」です。

教 科 書

関口一郎著 『楽しくドイツ語を!』 郁文堂 ¥1,854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	よ し た ふ み こ 吉 田 文 子	短放1必	2

講義のねらい

同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は、複合時称をはじめとする複雑な文を扱う。

履修上の留意点

何よりも一定量の語いを覚えるよう努めこと。日々少しづつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法

単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト、期末テスト、授業態度を総合して評価する。

教 科 書

「新みんなのドイツ語文法読本」 三修社 ¥1,850

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語	あ つま ゆう し ろう 吾 妻 雄 次 郎	短 放 1 必	2

講義のねらい

短大放射線科としてはただ1つだけのドイツ語必修科目です。それだけに何を目標とすべきか、しかもただこれだけ、常に「完結」を意識して行わなければ成らない授業です。名案がある訳ではありません。やはり日常の会話、簡単な表現を基にして、一応の文法の習得は不可欠です。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文形、身近な会話、練習問題を通じて、ひととおりドイツ語文法の習得を目指したいと思います。ここで使用する教科書は、14章から成り、それぞれの章に2つ乃至は3つの『文のパターン』、言わば基本文型が設けられていて、練習問題の前に置かれた『まとめの文』が、さらに理解を深める助けをなしています。各章のドイツ文の下には、単語の日本語訳がついていますが、独和時典で確かめ、自分流のノート作るのは大切であると思われます。カセットテープはもちろん生かしていくつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は常に積極的な明るい姿勢で授業に臨んで欲しいと思います。それには短時間であれ、集中力を傾け、予習・復習に時間を割くことが肝要と思われます。これをやらなければ教室の闘が次第に高くなってきます。初めて学ぶ言語は私たちに新たな世界、新しい視野を拓いてくれるに違いありません。

成績評価の方法

年に2回ほど試験を行います。また必要に応じて、小さなテストも行いたいと思います。しかしこの他、授業に積極的に参加しているかどうか、また出席はどうであるか等、すべて総合的に加味して評価したいと思います。

教 科 書

小塩 節著 『ドイツ語ってすてきだ!』 三修社 ¥1,950

フ ラ ン ス 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (1), (7)	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aは文法を中心としてフランス語表現の在り様・しくみを辿り理解していく授業です。内容的には、したがっていささか無味乾燥な、ことばの配列の規則を覚えるだけ、という授業になりかねないところがあります。それでも、未知のことばのつながりの内部に規則性が見透され、意味の明らみがうっすらとであれ漂よってくれば、その時点での理解の充溢感は、おそらく誰にでも感じとられるものとなるでしょう。そしてその堆積あるいは継続が、包括的に意識的にめざされるようになれば、難しく思われたフランス語表現も興味深い解説の対象となるに違いありません。

履修上の留意点

少くとも予習・復習を欠かさぬだけの、フランス語学習への意欲を、初めから、持ち備えていることが望まれます。

教 科 書

- (1) 天羽他 『初級フランス語文法』(1996年度版) (朝日出版社 1,800円)
 (7) 山崎他 『トゥ・ドゥスマン——フランス語の回路——』(第三書房 1,700円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (2)	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス文法のおおよそを学ぶが、1年後には、簡単な文章を書き、辞書をつかってどんどん文章が読みすすめられる程度の応用力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

ABCから接続法までを学ぶ。初修言語に慣れるよう、発音・動詞変化の練習も頻繁におこなう。応用面を考慮した副教材(教室にて配布)も学習する。

履修上の留意点

授業はかなりのスピードをもってすすむので予習復習を心がけること。授業の成功・不成功の責任は諸君の側にもある。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教 科 書

田島宏 『田島フランス語文法』(芸林書房) ¥1,400

参 考 書 等

朝倉季雄 『朝倉初級フランス語』(白水社) ¥1,300
 竹田正純 『おぼえるためのフランス語動詞変化表』(朝日出版社) ¥1,000

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A (3)	かとうせつこ 加 藤 節 子	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

このクラスは大学に入って初めてフランス語を学ぶ学生のための文法を中心としたクラスです。皆さんが中学・高校の6年間をかけて学んできた初めての外国語、英語と異って、第二外国語では、一年間で文法をマスターすることになります。しかし英語の基礎がありますから、それと比較しつつ学べば思ったより容易に理解できるでしょう。

履修上の留意点

しかし語学はどうしても予習復習が必要です。時間をかければそれだけの成果は必ず上ります。

成績評価の方法

前期・後期の定期テストの外に何回か小テストをします。

教 科 書

川村克己 『新川村ふらんす語』 駿河台出版社 950円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A (4)	さとうくみこ 佐 藤 久 美 子	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

アルファベットから始めて、1年間でフランス語の文法の基礎を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って、発音練習を兼ねながら文法説明を行ないます。各課の終りの練習問題で習熟度を確認して下さい。練習問題の一部を宿題にすることもあります。

履修上の留意点

新しい事項が次々に出てきますから極力欠席をしないこと。また最低限単語の意味を調べておく程度の予習を心がけて下さい。そして辞書の引き方の指導も行ないますので仏和辞典を毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

平常の授業への参加度と前後期の試験の結果から総合的に判断します。

教 科 書

山崎庸一郎他著 『フランス文法の扉』 第三書房 1,751円

参 考 書 等

仏和辞典については初回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (5)	あし はら 声 原 けん 眷	全学科 1 年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

安田悦子『ヴィット・メ・ピヤン』白水社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (6), (8)	の ざわ 野 沢 きょう 協	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の授業で、通常の語法（直説法）から始まって条件法、接続法に至るまで、フランス語文法の基礎を学ぶことを目的とします。

成績評価の方法

前期・後期の試験のほか、動詞の活用に関する小テストをかなり頻繁（月に1, 2回）に行ない、それらを総合して成績を評価します。

教 科 書

教科書としては、最も簡にして要を得た初級文法書として定評のある下記のものを使用します。
川村克己『新川村フランス語』（駿河台出版社 2,200円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (9)	伊藤 なお <small>いとう</small>	全学科 1 年	2

講義のねらい

日常生活に即した単語と表現を用いて、フランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

どんな言語でも発音できなければ興味もてないものです。従って、最初に綴り字と発音の関係についての約束事（英語に比べてはるかに簡単です）をしっかりと覚えた上で、基本的な文法を学んでいきます。また各課ごとの豊富な練習問題によって、文法事項の定着と基本単語の習得を図ります。

履修上の留意点

語学の学習は日々の積み重ねです。必ず復習と宿題をして授業に臨んでください。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期の試験によって成績評価を行います。

教 科 書

『ふだん着フランス文法』（朝日出版社 1,900円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (1), (4)	野沢 協 <small>のざわ きょう</small>	全学科 1 年	2

講義のねらい

フランス語初級講義の授業で、フランス語の基礎的な発音、初歩的な文章読解の学習を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は約30課から成りますが、各課とも、
イ. フランス人が吹き込んだテープを使った読みの練習
ロ. 文法事項の簡単な説明
ハ. 文章の訳読
という順序で行ないます。

履修上の留意点

訳読は毎回学生に当てますから、必ず辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の試験によって成績を出します。

教 科 書

川村克己 『川村ふらんす語読本』（駿河台出版社 979円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (2), (5)	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

- 初めてフランス語に接するにあたって、
- (1)音としてのフランス語を重視する。
 - (a)フランス語の音の基本的な性格の把握。
 - (b)母音と子音の特徴。
 - (c)綴り字と音の関係に習熟すること。
 - (d)文における音の流れ。
 - (2)短文をおぼえて、その用い方を身につける。
以上を前半年の授業スケジュールとする。後半年は主として動詞の活用を中心に、それを実際に使えるように反復練習する。

成績評価の方法

- (1)出席状況
- (2)平常点
- (3)個別口答試問
- (4)簡単なペーパー試験

教 科 書

カトリーヌ・ガルニエ、安田悦子編：『クク・セモア』白水社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (3)	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aで学ぶ文法事項を反復解説しながら、フランス語の聴き取り、発音の習得と、辞書を使った読み取りの練習を中心とします。試験は年3回。(必要に応じて書き取り、小テストも。)ヒアリング・テストも行ないます。また履修者の数が少なければ、口述で試験を行なうことも考えています。教材は口語を使ってフランス人の日常生活にふれるものです。

教 科 書

伊藤洋、佐山一著『クレリエール』芸林書房。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (6), (8)	せん ごとく わい こ 千 石 玲 子	全学科 1 年	2

講義のねらい

この授業の目的は先ずフランス語の綴りと読み方の規則を覚え、フランス語として読めるようになること、次に辞書が使えるようになること、大きくこの二つである。

講義の内容・授業スケジュール

夏休み前までは音読の機会をなるべく多くとり、読めるようにする。また文構造を把握出来るようにこの時間でも文法の説明を繰り返し行なう。テキストにはフランスの文化や考え方を知ることができる内容のものを選ぶ予定である。

履修上の留意点

毎回新しいことを学ぶので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

前期（7月）と後期（1月）のテストおよび授業時間内に行なう小テストの結果。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (7)	すが わら たけし 菅 原 猛	全学科 1 年	2

講義のねらい

これからフランス語を学ぶ人のための入門書として、いわばプレリュード（前奏曲）の役割りを果たすべく、極力平易な文章に慣れ親しめるように編集された読本用の教科書を用い、文法事項を無理なく段階的に高度なレベルに移行するよう授業を進めてゆきます。

履修上の留意点

毎回、仏和辞典を持参すること。試験はいずれも辞書を使つての応用問題。

成績評価の方法

成績評価は通年制ですが、平常の授業態度、平常試験を重要視します。

教科書

川神伝弘・森孝子『プレリュード』第三書房 ￥1,030

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (9)	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	全学科 1 年	2

講義のねらい

I Aのクラスで習った文法事項をよりよく消化できるよう、まとまった文章を読んでいく。簡単な文章を書き話すことも目指す。

講義の内容・授業スケジュール

実践的な授業なので、読み・書き・話すの練習を十分におこなう。

履修上の留意点

予習復習を厳しく要求していく。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教科書

山村嘉巳 『微笑み、ふらんせ』 (朝日出版社) ¥1,700

参考書等

島岡茂 『フランス文法入門』 (白水社) ¥1,700
竹田正純 『おぼえるためのフランス語動詞変化表』 (朝日出版社) ¥1,000

その他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I C (会話)	こ だ ま なり お 小 玉 齊 夫	経営 1 年	2

講義のねらい

1年生で初めて学習する言語を、「会話」として行うには、いささかのとまどいが感じられると思いますが、要は、休み時間と同じ雰囲気の中で授業が始められるか否か、という点にかかっていると思います。あるいは、初めてコトバを発した時期と同じような心理状態を、つとめて作り出すことによって、余計な規制を離れた、自然な心の流れの中で、自分から、音声を出し、聞きとるようにすることが求められているのだと思います。

文法的知識は、本来はこのような音声への馴れの後に蓄積されるはずのもの、なのですが、しかし、もちろん、既に難しい文字を読む我々が、それを活用しない手はありません。従って、I A, I Bの授業を補完するものというよりは、むしろ、I Cに於いて基礎を固めるのだ、というつもりで授業に参加して下さい。

履修上の留意点

繰り返しによる反復練習が多くなりますので、必然的に、おもしろい授業、にはなり難いと思いますが、あらかじめそのつもりでいて下さい。

教科書

『フランス語コミュニケーションの方法』 (第三書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎知識が習得されていることを前提に、やさしい読み物を辞書を使って読んでゆく。

成績評価の方法

成績評価の基準
 (1)出席状況
 (2)平常点
 (3)前後期の定期的なペーパーテスト

参 考 書 等

クリスチャン・ボムルー、丸山圭三郎編：『ジャンヌ・ダルク』（Facile à lireシリーズ）、朝日出版社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	すが わら たけし 菅 原 猛	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

特に20世紀のヨーロッパがくぐり抜けてきた状況を反映していると思われるテーマを、さまざまな分野から選んで編集されたこの教科書は、フランス語のテキストを通して、フランスを中心とした現代のヨーロッパの姿を学生たちに知る機会を与えることを目的としています。

履修上の留意点

毎回、辞書を持参すること。試験はいずれも辞書を使っての応用問題であるから、平常の〈予習〉に時間を割いて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は通年制ですが、平常の授業態度、平常試験を重要視します。

教 科 書

谷口脩・谷口正子『現代のヨーロッパ』白水社 ￥1,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	すが や 谷 さとる 暁	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

アルゼンチンが生んだ世界的な作家ホルヘ・ルイス・ボルヘスの仏訳短編小説3編（『他者』『恵みの夜』『砂の本』）をテキストにして、「幻想的」「夢幻的」といわれる作品を楽しみながら、フランス語を読む力を養いたいと思います。テキストは本格的なフランス語で書かれていますが、注が豊富についているので、初級文法を終えたばかりでも十分に読むことができます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

『ボルヘス奇譚集』、白水社、1,100円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておきますので、その者は担当部分を正確に読み、訳せるように準備し、内容を完全に理解しておくことが望まれます。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

初級文法・読本の後を受けて、より語彙の理解をふやすと共に、読解の能力を身につけて、専門書を読んでいくための基礎的なちからを養うことを目的とします。
同時に、フランス語の使われる場面での、さまざまな文化的知識も、可能なかぎり紹介することによって、全体的に、フランス語・フランス文化を知る授業にしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、ⅠA（ⅠB）では不十分であった、あるいは説明できなかった文法事項の復習をしつつ、さまざまに用いられている生きたフランス語の読解を、後期に向けて、進めていきたいと思ひます。

履修上の留意点

語彙の暗記等、自発的に積極的に取り組んでいって下さい。

成績評価の方法

・ 教場で指示します。

教 科 書

水・2 恒川邦夫 『全方位50のヴェルシオン』（朝日出版社、1,600円）
水・3 原田 武 『新フランス文選――中級初期のために――』（青山社、927円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	かとうせつこ 加藤節子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

今人気のある南仏が舞台でリヨン、アヴィニオン、アルル、マントン、モナコ、コート・ダジュール、ニースなどの町を旅する人から友人にあてた手紙形式の見聞報告というテキストである。平易で読みやすい文体である。1年で習った文法を復習しつつ授業をすすめる。

履修上の留意点

予習を必ずしてくること。

教 科 書

C.ルナール及び市川慎一 『プロヴァンス駆け足旅行』 芸林書房 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	たけだまさずみ 竹田正純	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

昨年1年間で培ったフランス語力を、特に読解力を重点に発展させ、正確でスピーディーな読解を可能にする応用力の涵養を目指す。希望があれば仏訳等の練習を織り込んでよい。

講義の内容・
授業スケジュール

応用面を考慮した副教材（教室にて配布）も学習する。文法と発音の復習にも十分な時間を割く。

履修上の留意点

予習復習を厳しく要求していく。

成績評価の方法

前・後期の定期試験は、基礎力と応用力の二種のテストをおこなう。

教 科 書

ジャン・ジオノ 『木を植えた男』（第三書房） ¥950

参 考 書 等

竹田正純 『おぼえるためのフランス語動詞変化表』（朝日出版社） ¥1,000

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎知識が習得されていることを前提に、やさしい読み物を辞書の助けを借りて読み続ける。

成績評価の方法

成績評価の基準
 (1)出席状況
 (2)平常点
 (3)前後期の定期的なペーパー・テスト

教 科 書

クリスチャン・ボムルー、丸山圭三郎編：『マリー・アントワネット』、朝日出版社
 (Facile à lire シリーズ)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅰ	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	短国・短英1年	2

講義のねらい

文法に片寄らないで、バランスよく聴く・話すを中心にする。読解力の涵養にも十分な時間を割いていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、不足気味の読解には、別に副教材を配布し補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので積極的に参加しなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

野内良三 『決まり文句・入門フランス語』(白水社) ¥2,100

参 考 書 等

数江譲治 『フランス語のABC』(白水社) ¥1,600

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープでの自習すること。

中 国 語

中国語 I A ・ 中国語 I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A - I B という週 2 コマの授業を通じて 1 冊の教科書を使用する。I A - I B の組み合わせは固定されており、それを一人の教員が通して担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその 2 コマを 1 セットで履修しなければならないので、登録の際、組み合わせを間違えぬよう、くれぐれも注意すること。

中国語の学習には、自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

I A - I B の段階では、辞書をひいて未知の語彙を解決するよりも、教科書で与えられた文例をそのまま口と耳で覚えこむことの方が重要である。したがってこの段階では、いたずらに大型の辞書を買ってもてあますよりも、下記のような入門用の小型辞書を手もとに置いて、予習・復習の助けとするのがよいだろう。

『標準中国語辞典』〔第 2 版〕 白帝社 ¥2,300

『簡明中日辞典』 東方書店 ¥2,400

『簡約・現代中国語辞典』 光生館 ¥3,500

いずれも語彙数をしぼり、その代りに基本的な文法事項の説明を充実させており、各語の語釈の下に比較的わかりやすい例文も挙げられている。他にも同規模の小型辞典が数種出版されているが、そのような入門学習用の配慮はなされていないので、お勧めできない。なお、辞書をひいたら、日本語の訳語を写すのではなく、ぜひ例文を書き写したり音読したりしてみたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (1)	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科 1 年	2
中国語 I B (1)	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

このクラスは一人の教員が一冊の教科書を使って週 2 回の授業を展開する。全 20 課、各課とも語法解説、練習問題、課文（20 課を除いて会話体）の順で構成されている。同一教員の担当だから、順序通りに進行する。課文では発音、基礎的表現力の練習に重点を置き、語法学習では論理的推理力を養い、I A, I B の教学目標の達成をめざす。

履修上の留意点

初級段階はひとつひとつの積み重ねがたいせつなので、皆出席を要求する。予習・復習も積極的にとり組み、「漢字だからやさしいかも」という誤解を捨てて、「外国語」としての中国語の楽しさをあなた自身が引き出すこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験を含め年間 7 ～ 8 回の試験、小テストに平常点、出席点などを加味して総合的に判断する。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参考書等

辞書は当然必要ではないが、ふさわしい辞書、参考書の紹介は授業の中で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (2)	徳永 淳子 <small>とくなが しゅんこ</small>	全学科 1 年	2
中国語 I B (2)	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語は漢字使用圏に生活する日本人にとって横文字より親しみやすいと思われがちである。しかしその漢字をどう音読し、どう解釈するかが難しい。ときにはそれが逆に安易な誤解を招く。中国語はその特有の美しい音色、高低のアクセントがあり、これをマスターするのが最大の難関。この難関突破を目指し教場でのきびしい特訓が要求される。

同時に字と字の組合せや語法ルールを学び、会話や作文の応用練習を通じて日本語との発想のちがいなどを比較し、基礎的な力を修得していく。

教科書は全20課で各課4頁。前2頁が文法と練習問題、後2頁がそれを応用した会話からなる。授業では発音とピンイン表記学習の後、I Bで各課の文法を学び、その後を追いかける形でI Aの時間に練習問題と会話練習を行う。いずれの時間も、漢字を目で見て理解するのではなく、音声を通して中国語を理解し表現できるようになることを目標とする。I A・I Bそれぞれに年4～5回程度のテストを行う。

履修上の留意点

最後まで頑張るってやり通すことが何よりも大切。

成績評価の方法

成績は教場での平常評価と定期のペーパーテストによって判定する。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ¥1,545

その他

授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人については、受講をお断りする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (3)	塩旗 伸一郎 <small>しお はた しんいちろう</small>	全学科 1 年	2
中国語 I B (3)	塩旗 伸一郎 <small>しお はた しんいちろう</small>	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初の2カ月間は正確な発音を会得するための特訓に費やされる。その後も夏期休暇までは週最低3時間の自己トレーニングの確保を要求する。教科書に入ってから、I Aで本文に先立って、各課の文法知識を把握する。本文はA、B二人の人物による短い会話で構成されているが、I Bではこの本文を自由に読めるようになることを目指す。教科書を手放し、相手の顔を見て言えなければだめである。教室では、全員二人組を組んでもらいスキットを演じてもらう。

成績評価の方法

聞き取りを中心とした小テストを年間を通じて頻繁に行う。評価は上記すべてに対する取り組みを総合して行う。

教科書

『やさしい中国語・改訂版』 白水社 1,900円

参考書等

『中国語発音教室』 大修館 412円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (4)	未定	全学科 1 年	2
中国語 I B (4)	未定	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期の初めは、中国語特有の音に留意した正確な発音、また発音記号（ピンイン）の習熟を目指す。その後、教科書の構成に従い、先ず文法事項を学習した後、それを使った会話文を教材に発音練習をする。「漢字」という同じ文字を使う日本語との違いを明確にしながら、漢字に頼らない（視覚に頼らない）、音による（聴覚による）理解に重点を置く。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業内で数回の小テストを行い、それらをあわせて評価する。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ￥1,545）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (5), (11)	まえ かわ とおる 前 川 亨	全学科 1 年	2
中国語 I B (5), (11)	まえ かわ とおる 前 川 亨	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I A と I B 同一の教員により、まず発音（ピンイン字母と声調）を学び、その後初級文法の習得を目指す。一年後には比較的容易な文章を正確に読めるようになる筈である。

履修上の留意点

外国語の学習では復習と練習問題を自分で解くことが絶対に必要である。授業は教員と学生とが協力して作っていくものである。授業中に私語する者、授業に非協力的な者に対しては、その後の聴講を断ることがあるので、心得ておいてほしい。

成績評価の方法

評価は年 2 回の期末考査、同じく 2 回程度の小テストによる。欠席はその数の多少に応じて減点の対象となるので注意すること。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ￥1,545）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (6)	李 ^リ 雲 ^{うん}	全学科 1 年	2
中国語 I B (6)	下 ^{しも} 出 ^{いで} 宣 ^{のぶ} 子 ^こ	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業ではまず発音を学んだ後、教科書本篇に入り、I Aで各課の「表現のポイント」で文法を学び、そのあとを追いかける形で、I Bで本文と練習問題を学んでいく。(教科書は各課とも、比較的易しい会話体の本文、文法事項をまとめた「表現のポイント」、練習問題の順で構成されている。)

履修上の留意点

受講者は漫然と出席するのではなく、最低限前回の復習をするなど準備をして積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

I A, I Bそれぞれ、3 課に 1 回程度小テストを行なう。

教 科 書

『八木さんの中国家庭訪問——会話で学ぶ発音と文法の基礎』（金星堂 1,650円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (7)	小 ^お 川 ^{かわ} 隆 ^{たかし}	全学科 1 年	2
中国語 I B (7)	小 ^お 川 ^{かわ} 隆 ^{たかし}	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I AとI Bとで特に内容を分けず、週 2 回の授業で、ともかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と豊富な練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

履修上の留意点

毎回復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

成績評価の方法

教科書は全17課で、3～4 課に 1 度くらいの割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。

教 科 書

『簡明初級中国語』（光生館 ¥1,339）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (8)	しお ばた しん いちろう 塩 旗 伸 一 郎	全学科 1 年	2
中国語 I B (8)	しお ばた しん いちろう 塩 旗 伸 一 郎	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初の約2カ月間は、ひたすら正確な発音を会得するための特訓に費やされる。また夏休みまでは毎週最低3時間の自己トレーニングを課し、効果をチェックする。

I Aでは本文に先立って各課の文法知識と運用能力を身につけることを目的とする。教科書の例文を用いた置き換え、言い換えなどの練習を行う。

本文は人物A, B, C 3人の会話から成りたっているが、I Bでは、教室の全員がこれらの人物を演じてもらう。教科書ではなく相手の顔を見て会話練習を行う。独自のバリエーションも演じてもらう。

成績評価の方法

年間を通じて、小テスト（聞き取りを含む）を頻繁に行う。
評価は上記諸活動の総合として行う。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参 考 書 等

『中国語発音教室』 大修館 412円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (9)	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝	全学科 1 年	2
中国語 I B (9)	かま や おさむ 釜 屋 修	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が1冊のテキストを使って週2回の授業を行う。テキストは、各課とも語法・練習問題・課文の三部分で構成されているが、戸張（I A）が課文・練習問題を担当、発音・音声練習を徹底的に行う。釜屋（I B）が語法を担当、文法の基礎を学び、中国語の法則性を学ぶ。

履修上の留意点

入門段階なので、100%の出席を要求する。自発的、積極的な学習者を歓迎する。

成績評価の方法

成績は、平常点・出席点、年間6～7回の試験・小テストなどを総合して判定する。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 1,545円

参 考 書 等

辞書は、当面不要と思うが、ふさわしい辞書、参考書は教室で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (10)	未 定	全学科 1 年	2
中国語 I B (10)	未 定	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講当初には、発音と発音記号（ピンイン）の正確な習得を目指す。日本人が中国語を学習する際、漢字に頼りがちである。テキストも漢字よりピンイン（アルファベットによる表記）が多く使われている。目ではなく、耳による中国語の理解に重点を置く。テキスト以外にもプリントで練習問題を課す。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業内で数回の小テスト（聞き取り試験を含む）を行い、それにより評価する。

教 科 書

『中国語入門テキスト 八木さんの中国家庭訪問』（金星堂 ￥1,650）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (12), (15), (19)	徳 ^{とく} 永 ^{なが} 淳 ^{じゅん} 子 ^こ	全学科 1 年	2
中国語 I B (12), (15), (19)	下 ^{しも} 出 ^{いで} 宣 ^{のぶ} 子 ^こ	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語は漢字使用圏に生活する日本人にとって横文字より親しみやすいと思われがちである。しかしその漢字をどう音読し、どう解釈するかが難しい。ときにはそれが逆に安易な誤解を招く。中国語はその特有の美しい音色、高低のアクセントがあり、これをマスターするのが最大の難関。この難関突破を目指し教場でのきびしい特訓が要求される。

同時に字と字の組合せや語法ルールを学び、会話や作文の応用練習を通じて日本語との発想のちがいを比較し、基礎的な力を習得していく。

履修上の留意点

最後まで頑張ってやり通すことが何よりも大切。

成績評価の方法

成績は教場での平常評価と定期のペーパーテストによって判定する。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ￥1,545

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (13)	まつ松 もと本 あつ丁 とし俊	全学科 1 年	2
中国語 I B (13)	まつ松 もと本 あつ丁 とし俊	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I A - I B の担当者は同一教員による。最初は発音篇 1 ~ 11 課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教科書

『八木さんの中国家庭訪問——会話で学ぶ発音と文法の基礎』（金星堂 ¥1,650）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (14)	ひ日 はら原 つたえ傳	全学科 1 年	2
中国語 I B (14)	いわ岩 きま崎 ひろし皇	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

文法説明は岩崎、会話文は日原が担当するが、復習など分担にかかわらず行う場合があるので、切り離して考えないようにしてほしい。教室ではともすれば、発音がおろそかになりがちだが、発音できない言葉は覚えられず、親しみも湧かないと言うのが普通である。しっかりと練習するように心掛けてもらいたい。

履修上の留意点

A, B は内容的に連続しているが、科目としては別であるので、事務的なことはそれぞれの教師の指示に従うこと。

教科書

『新訂 例文中心 初級中国語』 牧田英二著 同学社 ¥1,545
教科書の各課は、前半文法説明、後半会話文からできている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (16), (20)	^{すえ} 末 ^き 木 ^{やす} 恭 ^{ひこ} 彦	全学科 1 年	2
中国語 I B (16), (20)	^{むな} 棟 ^{かた} 方 ^{とく} 徳	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は各課が4頁で、前2頁が文法と練習問題、後2頁がそれを応用した会話からなる。授業では発音とピンイン表記学習の後、I Aで各課の文法を、I Bではそのあとを追う形で練習問題を学んでゆく。

成績評価の方法

I A・I Bそれぞれ年4～5回程度の試験を行う。語学は教室に出ていないと習得は難しい。欠席が授業時間の4分の1を超えると、単位の習得は非常に困難であることを心得ておくこと。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 ¥1,545）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (17)	^{いわ} 岩 ^{さき} 崎 ^{ひろし} 皇	全学科 1 年	2
中国語 I B (17)	^{いわ} 岩 ^{さき} 崎 ^{ひろし} 皇	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

言葉は、発音、語彙、文法などに分けて考えることができるが、とりわけ発音は大切さの割に軽視されがちである。発音できない言葉は覚えられず、親しみも湧かないものなので、まず発音に慣れることが勉強を面白くするコツである。A、B共に岩崎が担当するので授業内容に関しては区別はない。

成績評価の方法

試験は、筆記のほかに聞き取りや会話文の暗唱なども予定している。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』 同学社 ¥1,545

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A (18)	ひ はら ったえ 日 原 傳	全学科 1 年	2
中国語 I B (18)	まつ もと あっ とし 松 本 丁 俊	全学科 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aは主として文法・文型の講義をする。I Bは主として本文の発音と練習をやる。最初の2～3時限はI A-I Bとも同じ基本発音の練習を行う。

教 科 書

『新訂 例文中心 初級中国語』（同学社 1,545円）

中国語 I C (会 話)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I C (会 話)	と ばり よし かつ 戸 張 嘉 勝	経 営 1 年	2

講義のねらい

音声中心（発音、会話、聞き取り、口頭作文等）の授業を行う。意味と音とを直接むすびつけるため、簡単な生活会話や旅行会話の応答練習をしたり、中国語を聴いて日本語に訳したり、日本語を聴いて中国語で話したりする。音意両者を一体のものとして身につけるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 基本単語や挨拶用語を通して、発音と声調のトレーニングをする。特に日本語にない発音或いは発音上の約束ごとなどの反復練習をする（約3回）。
- (2) 4週目からは教科書の展開に従い、テープを聴いたり、口頭作文や応答練習をしたりする。

履修上の留意点

出席状況を成績に加味する。

成績評価の方法

書き取りや口頭作文などの平常点と定期試験によって評価する。

教 科 書

相原茂著 『中国語へのパスポート』 朝日出版社、¥2,200

中国語Ⅱ A

IA-I Bの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聴いたりするための基礎にもなるものである。

授業は各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、時事的なもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編のまとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報としてでない、内面からの中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

授業には教科書のほかに、以下に挙げるような辞書が必要である。少々高価かもしれないが、これらより小さいもの、およびこれらより古いものは、特殊なものを除けばほとんど実用に堪えず、結局は無駄になってしまうだろう。

『中日辞典』 小学館 ¥7,000 1992年

『現代中国語辞典』 光生館 ¥6,500 1982年

『中日大辞典』 大修館書店 ¥8,858 増訂第二版

なお、成績評価の原則は既述のIA-I Bに準ずるものとする。

担当者名	配当学科	単位
まつばら まさこ 松原真沙子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

- (1) 一年次に学んだ中国語の発音を復習し、正確な発音を定着させる。
- (2) 中国語の基本構造を理解し、ある程度の長文が読めるようになる。
- (3) 中国語の学習をとおして異文化理解を深める。

成績評価の方法

- (1) 授業の性格上出席を重視する。
 - (2) 授業中の口頭練習と、基本的に毎時間の小テスト、提出課題。
 - (3) 学期末テスト 前期、後期各一回。
- (2)と(3)、各50%で評価する。

教科書

山下輝彦他著 『北京恋情』 同学社 (¥1,700)

担当者名	配当学科	単位
ちん しゅう きょう 陳洲拳	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語彙、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として中級程度の読解力、文法的理解力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から現代中国人の日常生活、特に飲食生活と人々の考え方を紹介した文章で綴ったテキスト。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んでもらって、発音の訂正とこまかい説明を行う。全12篇なので1回毎に半分ずつのペースで行う。テキストに中華料理の調理法ものっているので、できれば年に一度くらい中華料理の作り方を紹介する予定。

履修上の留意点

毎回の予習が必要。本文の漢字にピンインもついているし、本文のカセットテープもあるので、テープをききながら読む練習をして欲しい。

成績評価の方法

年間4回前後のテストを行う。テキストよりやや簡単な文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。成績の評価は最後のテストによって決める。

教科書

陳洲拳 駒林麻理子著 『食を天と成す』 駿河台出版社 1,600円

担当者名	配当学科	単 位
ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本でもファンの多い中国の現代作家、老舎の作品を味わいながら読む。教科書には短篇小说一篇とエッセイ一篇が収められているが、順調に読み進められるようであれば、更にその他の作品についても読んでみたい。注釈は必要最小限しかついていないので、毎回の予習は不可欠。辞書も二冊三冊と引いてみる必要が生じるかもしれない。ただ文章を翻訳するだけでなく、文章を読み込む文学的センスもほしい。老舎の作品は日本語にも翻訳されているので、ぜひ読んでみてほしい。

教 科 書

『あゝ結婚』（朝日出版社 ¥1,236）

そ の 他

月曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
つる しま しゅんいち ろう 鶴 島 俊一郎	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の風俗や文化について、種々の話題をえらび、中国人の著者が簡単にそれらを説明したテキスト。一課ごとの分量は多くはない。通俗的な話題から文雅な話まで収めてあるので、これを読解して一年次に習った文法の復習をするとともに、中国に対する理解を深めてもらおうと思う。必ず毎回辞書を引き、時には一年次の文法教科書をみなおして、予習をして出席すること。

教 科 書

『中国風俗文化簡介』（金屋堂 ¥1,200）

担当者名	配当学科	単 位
ひら いし よし こ 平 石 淑 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現在の中国社会のありさまや人々の生活などを紹介するテキスト。全12課。課文の後の練習問題は、そのつど取捨選択し、できるだけ文を多く読みたい。教科書を読み終えた後は、ピンインのない新聞記事などをテキストとして読んでみたい。

履修上の留意点

予習は必ずしてくる。また日常的に中国の様々な事象に関心を持つことが、テキストの理解にもつながるはずである。

教 科 書

『最新中国あれこれ』（白水社 ¥1,800）

そ の 他

月曜・4限

担当者名	配当学科	単 位
さ とう ふみ こ 佐 藤 普美子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

全8課。課文はこの数年来、新聞や雑誌で発表された数多くの小小説（掌編小説）の中から選出されたもので、現代の中国人のものの考え方、美意識、流行の風俗・価値観をよく反映している。各課の本文の後は語句と語法について詳しい解説がほどこされている。

教 科 書

『当代小小説選Ⅱ』（白帝社 ¥1,800）

そ の 他

質・量ともにボリュームのある「ドリル」は予習が必要。

担当者名	配当学科	単 位
お かわ 小 川 たかし 隆	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

93・94年の『人民日報・海外版』から15篇の文章を抜粋し、それに文法解説用の例文と練習問題を附した教科書を用いる。これの講読を通して、文法の基礎をかためつつ、新聞が読める程度の読解力養成をはかりたい。

授業では、練習問題は割愛し（希望者には解答例のプリントを配布し、個別に質問に応じる）、もっぱら本文と例文の音読と解釈に意を注ぐ。中国語の読解力と現代中国に対する理解力との有機的な結合を最終目的とする。

履修上の留意点

毎回の予習と復習が不可欠。

成績評価の方法

年間3～4回、大小のテストを行う。

教科書

『中国在変』（白帝社 ¥1,600）

そ の 他

水曜・2限

担当者名	配当学科	単 位
ね ぎし まさ 根 岸 政 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

成績評価の方法

授業には毎回の予習が不可欠であり、年間2回の試験のほかに、随時小テストを行う。

教科書

『中国——人と暮し』光生館（¥1,339）

中国の一般の人々の生活ぶりや考え方などが、中国人女性の目を通して、やさしい言葉で語られているテキスト。全15課。各課ごとに関連の文法事項と練習問題が付されているので、本文の読解とともに、初級で学習した文法を確認しながら進んで行く。家族、故郷、大学生活など身近な話題なので理解しやすいと思われるが、時々ビデオを使って映像による理解も深めたい。

担当者名		配当学科	単 位
しゅう 周	ふはん 璣	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

成績評価の方法

一篇ごとに小テストを行う。平常点を大変重視するので、授業中の音読・読解など真剣にやること。授業には無断欠席せずに。

教 科 書

プリントで、授業時配布。
中国の『人民日報』からの抜粋、全十篇。中国人読者を対象としたナマの文章で、易しくないと思う。毎回の予習が大変重要である。
文法項目の解説はついていない。授業では本文の読解と関連する文法学習を主とし、適当量の復習を宿題として課す。

担当者名				配当学科	単 位
みや 宮	もと 本	あつ 厚	こ 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2 年	2

講義のねらい

中国語の読解力を高めるのが主な目的である。しかし、語学の学習である以上、発音・声調も重要な一部分であると考えてるので、それにもある程度の時間をかけることになる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は「対話」と「閲読」の二部構成になっている。毎時間「対話」と「閲読」の両方を一定量学習する。各課に入る前に、毎回の予習すべき量を定めるので、それに従い予習する必要がある。

成績評価の方法

テスト：前後期一回ずつ／課題：中文和訳を前後期一回ずつ。

教 科 書

『ことばの旅』 好文出版 1,600円

担当者名	配当学科	単 位
お <small>かわ</small> 小 川 たかし 隆	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義のねらい

「下海」・「大款」・「一家両制」・「股票熱」等々、最近の中国の急速な変貌を象徴する新語・流行語を採りあげ、それを中国語で解説した教材。本文の他、背景の解説（日文）とキーワードの紹介（中文）等を附す。文章はいずれも新聞や雑誌と共通の標準的な文章語体。文法の基礎がためをしつつ、新聞読解に必要な用語や文型を学んでゆく。中国語の読解力と現代中国に対する理解力との有機的な結合を目指したい。

履修上の留意点

毎回の予習と復習が不可欠。

成績評価の方法

年間の3～4回、大小のテストを行う。

教 科 書

『中文新編（時事編）』（白帝社 ￥1,800）

そ の 他

水曜・3限

担当者名	配当学科	単 位
まつ <small>もと</small> 松 本 あつ <small>とし</small> 丁 俊	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

約4百字でまとめた中国語長文を読解する。毎課に語法のポイントがあり、基礎で学んだ文法、文型の復習をするとともに、例句で応用出来るように学ぶ。16課まであって、4課ごとに練習があり、中国語の実力アップのステップとなるであろう。

教 科 書

『中国語 四百字物語』（駿河台出版社 ￥1,600）

中国語ⅡB

I A - I B の学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすように努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A - I B に準ずる。

担当者名	配当学科	単位
まつもと あつとし 松 本 丁 俊	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は『漢語入門40課』、上下2巻のうちの下巻、すなわち後半の第21課から第40課までを収めたものである。日常状況と中国の実情などを主とした会話が内容になるが、各課に練習とノートがあって、初級文法を復習しながら学習できる。

教科書

『漢語入門 下巻』（好文出版 ¥1,650）

担当者名	配当学科	単位
つるしま しゅんいちろう 鶴 島 俊 一 郎	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書『北京旅行』の本文は中国に商用をかねて旅行した日本人夫妻とその知人の中国人の会話という設定で作成されており、実用旅行会話というべきテキストであるが、一年の基礎的学習をすませていると理解できる対話であるので、これによって中国を訪れた際の簡単な対応をどうすればよいのかという具体的な会話を学んでもらうこととする。発音の復習は随時おこなうが、できるだけ対話練習をするように授業をくみためるので、積極的に練習に参加してほしい。

教科書

『北京旅行』（白帝社 ¥1,800）

担当者名	配当学科	単位
かまや おさむ 釜 屋 修	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

ⅡAとは異なり、このクラスでは今までの学習を活かしつつ、より実用的な運用能力を学ぶ。テキストは全14課、本文はすべて簡潔な会話体、徹底的に読みこなし、会話の主人公になりきる。同時に中国語文の論理的解析にも力をいれる。後期には追加教材として独自プリントを用いる。

成績評価の方法

成績は努力と工夫と熱意と手をつないでやってくるものである。出席と授業中の集中を重視するが、その中でたのしいクラスづくりをめざす。辞書は初級程度のもので結構、それ以上のものは授業の中で紹介する。

教科書

『中国語のエッセンス』（同学社 1,700円）

担当者名	配当学科	単 位
いわさき 崎 ひろし 皇	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

せっかく覚えた中国語も、発音が不明瞭で通じないと言うことがよくある。発音は常に練習していなければ身に付かない。この授業では、きちんと分かる中国語を言えるようにすることが第一の目標となる。そのためには、もう一度、気持ちを新たに「ピンイン」に取り組まなければならない。平仮名や片仮名で発音を書き留めたりしないでもよいように、大きな声で堂々と発音できるように、しっかり練習してほしい。

教 科 書

『北京恋情』 山下輝彦著 同学社 (¥1,700)
テキストは、一人の日本人青年の中国人女性へのプロポーズが題材となっており、若者らしい会話が楽しいが、聞き取ったり、真似して言うのは簡単ではない。テープ等活用して十分練習することが望まれる。

担当者名	配当学科	単 位
さとう 藤 普美子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

音声としての中国語を体得できるように、授業時の口頭練習を重視する。全16課。各課は短く平易な会話体（一部、文章体）の本文と、文法の「ポイント」及び「ドリル」から成る。本文では1年次に学んだ基礎的文法事項を応用した様々な表現を学ぶ。さらに「ポイント」や「ドリル」を通して、基礎文法の応用的用法や中級レベルの文法・句型なども学んでゆきたい。本文は授業時に音読をくり返し暗誦できるようにすることを目標とした。

成績評価の方法

4課ごとに小テストを行う予定。

教 科 書

『ドリル式中国語テキスト——日本と中国』（くろしお ¥1,860）

中国語 I

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	伊 禮 智 香 子 い れい ち か こ	短国・短英1年	2

講義のねらい	基本文法をおさえた上で、発音に留意しつつ応用会話を数多く習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に沿って行う。
履修上の留意点	自宅での学習として、暗誦を課す。くり返し、教材テープを聞いて正確に復唱できるよう努めること。
成績評価の方法	前期・後期試験と小テスト、授業中の解答状況や出席状況などで総合的に判断する。
教科書	相原茂, 戸沼市子 『入門・北京カタログ』 朝日出版 ¥2,300

ス ペ イ ン 語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A (1), (6), (8)	ナバロ ポロ L.S.Navarro-Polo	全学科 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TANBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II ・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞・比較の表現・最上級
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置・過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験 — 7月と1月 —

教 科 書

コピー

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A (2), (5)	なか やま なお じ 中 山 直 次	全学科 1 年	2

講義のねらい

スペイン語を初めて学習とする人を対象にして、「読み・書き・話す」力を総合的に身につけることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テープを聞いて会話表現の反復練習をしたあと、構文の説明や応用練習をする。前期はおもに直説法現在形を用いた表現を中心に演習し、後期は過去形や未来形、さらに接続法までの範囲を学習したいと考えている。

履修上の留意点

大学で初めて学習する「初等科目」なので、なるべく欠席しないようにして欲しい。また、毎回予習をして授業に出席すると、学習効果が倍増する。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする。
(いわゆる学期末定期試験は行わない。)

教 科 書

中山著「トレスー一家の人たちと」(芸林書房)

参 考 書 等

辞書・参考書等については、最初の授業のとき紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A (3)	なか がわ きよし 中 川 清	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

文法説明及び講読を中心とした初級スペイン語の学習を目的とする。前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教 科 書

中川 清・児玉悦子「新スペイン語読本 初級編」アーバン・トランスレーション 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I A (4)	ルイスティノコ Concepcion Ruiz Tinoco	全 学 科 1 年	2

講義のねらい

日本語とスペイン語は文法は違っても、両言語とも五つの母音を持ち、発音の面ではかなり似ている。初めてスペイン語を学ぶ学生にとっても、最初から聞き取りやすく、発音しやすいことはである。

この授業ではスペイン語の基礎的な文法を学び、応用練習をすることによって読解力、作文力や基本的な会話能力を身につけることを目的とする。

教 科 書

教科書、辞書については、最初の時間に指示する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (7), (9)	きとうひろこ 佐藤 紘子	全学科 1 年	2

講義のねらい

知識としてスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

初級テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」 芸林書房 1,854円

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (1), (4)	きとうまりの 佐藤 麻里乃	全学科 1 年	2

講義のねらい

初歩の文法を習得し、辞書を使って易しい文章を読んだり、簡単な表現をしたり出来るようにする。

履修上の留意点

授業中は私語を慎む、飲食をしない、無断で席を外さないことなど基本的なマナーを守ること。宿題は必ずやること。遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

筆記試験（通常の授業時に実施）・平常点・出席状況等の総合評価による。

教科書

開講時に指示。

参考書等

辞書（スペイン語－日本語）を必ず持参すること。新しく買うときはなるべく次のいずれかにするように。

小学館『西和中辞典』
 “ 『プログレッシブ スペイン語辞典』
 白水社『現代スペイン語辞典』
 研究社『新スペイン語辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (2)	なか かわ きよし 中 川 清	全学科 1 年	2

講義のねらい

文法説明及び講読を中心とした初級スペイン語の学習を目的とする。

成績評価の方法

前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教科書

中川清・児玉悦子「新スペイン語読本 初級編」 アーバン・トランスレーション 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B (3), (5)	よね た ひろ み 米 田 博 美	全学科 1 年	2

講義のねらい

限られた時間の中で、すべてを網羅することは不可能である。このため、最低限必要な文法の基本を学び、発音には特に注意を払う考えである。

履修上の留意点

スペイン語は「神と話す言葉である」と形容されるように、美しい言語であり、20数カ国で話される国連の公用語の一つである。“QUERER ES PODER”（ケレル・エス・ポデル）という格言があるが、成し遂げようという意志があれば、何事も実現可能であるという意味である。スペイン語を学習するにあたり、「マスターしてやるぞ」とい意欲でのぞんでもらいたい。NHKのラジオ・TV講座など、すぐれた教材もあり、意欲のある人には併せて勉強することを勧める。

教科書

「英語からスペイン語へ」（細川幸夫著、芸林書房）を使用し、1～7までの範囲を学習する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (6), (8)	<small>うりたに</small> 瓜谷 アウロラ	全学科 1 年	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教 科 書

宮本博司『Lecturas para empezar 楽しいスペイン語文法読本』大学書林 ¥1,236

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (7), (9)	<small>ホワン J ナバロ</small> Juan J. Navarro	全学科 1 年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸子の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ（辞書で調べるetc.）を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができていくか否かで成績評価する。

教 科 書

“Español en laboratorio” ¥1,000 Juan J. Navarro 著
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I C (会話)	^{うりたに} 瓜谷 アウロラ	経営 1 年	2

講義のねらい

スペイン語で少しでも話せたら……という希望にこたえてかんたんな会話ができるように練習していききたいと思います。理解をたずけるために文法の説明もそれぞれの段階で行ないます。楽しい雰囲気の授業になるように、みなさんの積極的な参加を期待しています。

教 科 書

安富雄平『フリーウェイスペイン語』ナツメ社 ¥1,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	に わ し ょ う い ち 丹 羽 昌 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

履修上の留意点

動詞の活用など、1年次にくらべて文法内容かさらに難しくなるので、履習者諸君のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視する。

教 科 書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へ』 大学書林

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	ふ く も と く み こ 福 本 久 美 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。

履修上の留意点

- ・出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
- ・授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教 科 書

教室にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II A	おぎのまさし 荻野雅司	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

講義のねらい

前年に学習した基礎的スペイン語 I の概略を完結させることを基本的眼目とするが、授業では単に言葉の学習に限ることなく、スペインと中南米諸国の文化、歴史、そこに住む人々の物の考え方などについても一般常識程度の知識を習得する。そのために、テープ、ビデオ等を教科書と併用して授業を進めていく。

履修上の留意点

同じヨーロッパ系言語としてスペイン語と英語には共通する部分が多い。この授業は英語の語法との対比を行うことで、理解を早めることを大きな特徴としている。従って、英語に自信或いは興味を持っている学生の受講を特に希望する。

成績評価の方法

年2回の major なテストと小テストを1～2回実施する。成績評価に当たっては、出席状況と受講態度（含、日頃の受け答え）をも等しく重視する。

教 科 書

細川幸夫著「英語からスペイン語へ」芸林書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 II B	みやちたつる 宮地達郎	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

1995年までは、通年で直接現在形、性数一致を終了し、上級に進級した学生が過去、未来、接属法を学ぶことになっていた。従ってその方針で2年生に臨む。

講義の内容・
授業スケジュール

文法中心の上記(1)にて述べた上級進学の生徒コースの授業を行う。

履修上の留意点

真にスペイン語に興味ある学生のみ参加を希望する。単位取得のみの目的の学生の受講は希望しない。

成績評価の方法

60点未満→進級できない。
61～69→良
70～79→良い
80以上→優

教 科 書

本年からは1年でひととおりの文法を終了させる必要あるため、簡単でまとまりのある大学書林の宮本博著「ようこそスペイン語の世界へ」 ¥1,648 を使用する。

参 考 書

細川幸夫著「英語からスペイン語へ」芸林書房 ¥2,400
佐藤玖美子「NHK楽しいスペイン語」芸林書房 ¥2,400

そ の 他

講義を主とし、中南米諸国概要も補足説明し、スペインのスペイン語との相異にもふれてみたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	う え の か つ ひ ろ 上 野 勝 広	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

ラテンアメリカ文化に関する平易な文章の講読を中心に、基礎レベルのスペイン語の理解力と表現力の向上を図る。

履修上の留意点

テキストの講読部分の予習は必須である。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教 科 書

山崎眞次『ラテンアメリカ散歩』（芸林書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅰ	き とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短国・短英 1年	2

講義のねらい

知識としてのスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるように指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教 科 書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」 芸林書房 1,854円

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

ロシア語

ロシア語 I A・ロシア語 I B

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀に向かって、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A (1), (3)	クロチコフ, ユーリー	全学科 1 年	2
ロシア語 I A (2)	き 野 あさ 子 佐 野 朝 子		
ロシア語 I A (4)	すぎ やま ひで 子 杉 山 秀 子		

講義のねらい

- 1) 母音, 子音の基本的発音, アクセント記号(力点)の法則, イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現, 日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングラエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等方法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体, 筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら, ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい, うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め, 語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり, くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが, 全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥しがらないことが大切。

講義の内容・ 授業スケジュール

4, 5, 6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし, 7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6, 7月頃に学んだ初歩の文法をまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み, 内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点, ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

ロシア語へのパスポート 中島由美他著 白水社 2,200円
やさしいロシア語読本 杉山秀子他著 大学書林 価格未定

参 考 書 等

露和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (1), (2)	ひろ 廣 た 田 ひで 英 やす 靖	全学科 1 年	2
ロシア語 I B (3), (4)	き 木 むら 村 ひで 英 あき 明		

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングラエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等方法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥しがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5, 6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6, 7月頃に学んだ初歩の文法をまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

ロシア語へのパスポート 中島由美他著 白水社 2,200円
やさしいロシア語読本 杉山秀子他著 大学書林 価格未定

参考書等

露和辞典

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I C (会 話)	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	経 営 1 年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。

会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	おか さわ ひろし 岡 沢 宏 き むら ひで あき 木 村 英 明	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2

講義のねらい

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

講義の内容・
授業スケジュール

岡澤 宏：1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
木村英明：ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

履修上の留意点

岡澤 宏：年2回のテスト
出席を重視します。
木村英明：出席を重視します
年数回のテストをします。

教 科 書

岡澤：和久利誓一『初等ロシア語読本』白水社 1,400円
木村：プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	すぎ杉 やま ひで 子 山 秀 子	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営 2年	2
ロシア語ⅡB	すぎ杉 やま ひで 子 山 秀 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
 - ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
 - ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
 - ・かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
 - ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 前期は、1年生で学んだロシア語らしい表現法のおさらいをし、後期は、ロシア語のより複雑な会話表現と聴きとりに重点をおきます。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回全員の人に発話してもらうようにします。

履修上の留意点

出席とミニテスト、平常点の合計で評価を出します。

教科書

1年次の教科書を持参して下さい。
教室ではプリントを配布。

参考書等

露和辞典

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	おか ざわ ひろし 岡 沢 宏 さ の あさ 子 佐 野 朝 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 2年	2

講義のねらい

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな手紙文を正しい表記をつかって書く練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

講義の内容・
授業スケジュール

岡沢 宏：正しい文法理解によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
佐野朝子：文法知識の練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

成績評価の方法

岡沢 宏：毎回あらかじめ順番をきめて実際に訳してもらいその理解度を評価することと年1回のテスト
佐野朝子：出席、テストで評価をきめます。

教科書

岡沢：和久利誓一『初等ロシア語読本』白水社 1,400円
佐野：1年のときに渡した文法表とプリント配布

再履修クラス

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	おぶせ けさそう 小 布 施 圭 佐 三	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、英語的な論理に基づいたパラグラフの概念、構成、書き方を中心に学ぶことになるであろう。従って、日本語の単文を英語に訳すという「和文英訳」ではなく、センテンス以上の単位でまとまりのある内容を英語で表現する力を身につけることが目標である。パラグラフを構成する文同士がどのように接続されているか、種々のパラグラフの特徴やどのような語いがよく使用されるか、各々の種類のパラグラフでアイデアがどのように発展されているかを、数多くの例に接しながら体験的に学習していく。

成績評価の方法

①出席点 ②平常点 ③レポート ④定期試験（年2回）などを加味して評価する。

教 科 書

「Basic English Paragraphs : Improving Reading and Writing Skills」
S.Kathleen Kitao and Kenji Kitao, Eichosha

そ の 他

視聴覚機材を使用するので、授業途中の入室は受講者の妨げになるのでお断りしたい。
毎時間、英語の辞書を持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再 ク ラ ス 〕	やしま なおこ 矢 島 直 子	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に出てくる種々の表現から日常会話を学ぶ。予習を必要とする演習形式を取る。年間を通じて2冊の教科書を使う。1冊では簡単な言い回しを学ぶ練習問題を解く。もう1冊では、日常会話の例文と1頁弱の文章から様々な表現を読んで覚え、さらに会話表現を書いて覚える。目標は、基本的な表現から複雑な表現まで、言い表わしたり、書き表わしたりできるようになることである。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- 1) 小池直己 「トーフル／トイック21アプローチ」 北星堂書店, 980円
- 2) 堀内克明・他 「発信する英語表現」 三修社, 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔 再 ク ラ ス 〕	きし もと しげ かず 岸 本 茂 和	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

再履修というクラスの性格からテキストはやさしい英語で書かれたものを選んだ。しかし易しい英語ではあるが、内容はかならずしも易しいというわけではない。基礎文法のいっそうの理解、基本的語彙および慣用語句の理解と習得など、英語学習のすべての分野における〈基本〉と〈基礎〉を念頭から離さずに授業を進めてゆきたい。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上をパスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

マーク・フェリス 『異文化・理解と誤解』（三修社 定価1,600円）

参 考 書

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔 再 ク ラ ス 〕	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

大学入学迄の学びにその後の英語力を基盤とし、主として英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

学校英語教育界も全般的に従来の Reading や Writing 重視志向から Listening 及び Speaking 重視志向の昨今、それだけに運用力のある英語がますます求められている。また中学、高校では専ら standard English の習得が依然として中心になっている。勿論まずはそれが基本ではあるが、Native との実際の日常会話でのやりとりとなるとどうしてもそれだけでは不十分であり、むしろ更に一歩進んだ informal English の習得も極めて大切である。そこで、この授業クラスではそうした informal English の習得により、コミュニケーション力の向上を狙いとする。

履修上の留意点

受講生諸君は必ず前以って一つの課本文の予習をし（少なくとも本文の文意位は把握しておくこと）、受講されたし。又、受講の際、各自英和辞典を必ず持参のこと。

成績評価の方法

- I 平常点
具体的には以下の如く
- ① 年間を通じ全授業回数の最低2/3以上の出席。つまり、平常授業の欠席率が1/3を越えれば、その時点でもう不合格。
 - ② 授業時の発表、質疑応答等
 - ③ MINI TEST（各授業前半の時間を使って施行。従って遅刻のゴマかしは絶対にきかず、もし不受験ならその分は0点。）
- II 前期定期試験・学年末試験（7月と年度末にそれぞれ施行）
以上を総合的に算出して学年単位で評価する。尚、お断わりしておくが、特に卒業年次生は就職活動で止むを得ず授業を抜けざるを得ない場合が出てくるとは思うが、その際も、必ずその都度その旨を所定の書式に従い書面に記し、届け出ること。又卒業年次生に限らず授業無断欠席は（特に割り当て箇所発表当日など）授業進行上非常に支障をきたすので、呉々も慎むように。

教 科 書

金星堂 '95年1月21日発行 ウィリアム・デア/武末義信共著 「フォーマル英語からコロケーション英語へ」 定価1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	すぎむら はつえ 杉村初枝	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日常会話に必要な語や表現を学ぶ。ややプラクティカルではあるが、旅に関する様々な場面をビデオで観て、Key sentenceや関連表現を練習する。旅行に関する表現を中心に、日常会話で使われる語や表現を身につけ、実際に使えることをめざす。

成績評価の方法

授業中における発表、小テスト（年10回程）、前・後期の定期試験に基づく。

教科書

First Step Abroad 旅——言葉と習慣（金星堂） ¥2,000

その他

授業では、毎回ビデオ使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴三智子	全学科 2 年	2

講義のねらい

全学科の再クラスなので授業内容は分かりやすく基礎的なものを中心に行きたい。食べ過ぎて消化不良を起こすよりも、食べたものを十分消化して血肉にすることの方が大切という考えで進めていきたい。再クラスの学生は特に英語が嫌いという傾向が多いのではないかと思う。彼等のその原因の一つに難しいという事があるのではないだろうか。そのためにも精選された少量のものでくり返し学べる状態で楽しくなるものに行きたいと思う。毎回声を出して練習し、リズム、アクセントなど正しく読めるようにしたい。毎回出席は取り、繰り返しの大切さを知る。学生は毎回ノートに取り、忘れたらノートを見て練習する習慣をつけさせたい。書く練習も行いたい。

成績評価の方法

英語は積み重ねの学問なので出席率は重視する。普段の積極的な態度、前、後期の定期試験の結果等を合せて点数にする。

教科書

『ウィットを楽しむ総合英語』成美堂 ¥1,600
テープ、ビデオ教材なども取り入れたいと思う。

参考書等

その都度説明していきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 ク ラ ス 〕	伊 勢 村 定 雄 <small>い せ むら さだ お 雄</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

リーディングの基本をマスターするために次の点を留意しながら授業を進める。
 ①辞書は家で引いてくる。
 ②きちんと出席する。
 ③音声も英語の一部であることを認識する。
 ④その上で正しい日本語に置きかえる。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回4～6ページの範囲で進む。考査（ペーパーテスト）は年2回実施予定。

履修上の留意点

出席重視なので心して毎週出ること！

成績評価の方法

①出席状況・態度。②考査。

教 科 書

D.Trokeloshivili, T.Chiba, 『Everyday Economics [よくわかる経済英語]』他, 南雲堂

参 考 書 等

中型英和辞典（持参用）。他 『大英和辞典』（研究社）

そ の 他

毎回全員にあてるつもりであるので、全員が全て（4～6ページ）を予習してくるのを前提として進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 ク ラ ス 〕	〔前期〕 <small>なか お 尾 俊 光</small> 〔後期〕 <small>はやし あき 明 と 人</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

「タイム」「エコノミスト」「USニュース&ワールドレポート」に掲載された記事を読みます。授業は、予習を前提とした発表による演習形式によって進めます。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、段落ごとの要旨、全文の主旨の把握に向けて、英文を語順に添って理解できるようにすることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

基本的に授業出席と授業内での発表を重視します。
 1) 発表, 2) 小テスト・レポート等, 3) 前期試験
 以上の3点をもとに総合評価し、前期の成績をつけます。（前期担当・中尾）

教 科 書

「ジャーナリズム英語入門」 マクミラン・ランゲージハウス ￥1,700

そ の 他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の点についても十分な注意を払って下さい。授業内でのテープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
 なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者としてします。（前期担当・中尾）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 クラス〕	ほそ の ひで こ 細 野 秀 子	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これまで学んできた英語を、文学作品を通じて、さらに正確に深く読み込んでいく訓練を行う。これと並行して、語彙面での充実もはかっていく。予習は必ず行い、課題も欠かさずこなすこと。前・後期とも、様々な小説上の技法を学びながら、豊かな英文学の世界を広げていきたい。

成績評価の方法

授業では、年10回以上の発表を基本とし、前・後期数回と、夏期に課題を課す。試験は各学期末に行う。出席重視。但し、年間3分の1以上欠席した者の単位は認めない。評価は試験の点数50%、課題25%、発表25%とする。

そ の 他

日常、英語に接する機会を増やすよう希望する。

教 科 書

開校時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 クラス〕	た なか たもつ 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカの生活を取り巻くバラエティに富んだトピックスを扱った速読用テキストを使用し、スピード・リーディングの基礎を身につける。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにする。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『アメリカ裏話』(松柏社) ¥1,300
- 2) 『10分間ベーシック・リスニング』(桐原書店) ¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	ほん ま こう いち 本 間 孝 一	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

入学時の英語を基礎として、より高度な講文の理解と speed reading の基礎を身につける事を目的とするが、語学の進歩は--に drilling があるから、毎回の出席を重視し、又演習形式をとり成る可く多数の学生に当てて、テキストの語法の問題点を質疑応答し、組全体としての実力向上に資する様にしたい。訳読と相俟って、文法・並びに和文英訳との関連の下に、テキスト内容を base にした英語の speech, discussion 等をして、英語の総合的力をつける可く授業を進めたい。なお、再履修のクラス故、組の雰囲気を出るだけ明るくする様心がけ、クラスとしての一体感をはかり、以って少しでも自信を持たせるべく、ユーモア豊かな授業を行って行きたい。

成績評価の方法

出席状況、レポート、普段行う小試験並びに前・後期の定期試験を以って之を行う。なお平常授業中の発表も大いに重視し、出席に関しては欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

未定。

そ の 他

履修者はテープ、ビデオ、映画等を利用して普段から口語の英語に慣れる様にして頂きたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	み わ ひさ え 三 輪 久 恵	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

今まで身につけた基礎力を更に向上させることを目的として、エッセイを中心にさまざまな英文を読む。精読に加えて、的確に大意を取ることをも重視する。

成績評価の方法

普段の努力を重視し、平常点および授業中の小テスト等で評価する。定期試験は行なわない予定。

教 科 書

教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再 クラス〕	あん ざい よしみ 安 齊 芳	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、科学をテーマにした事柄を取り扱う。例えば健康、医療、アメリカの企業、異常気象などに関して考える。各章には三つの演習問題があり、Brainstorming ではタイトルについて考える作業を行い、Focusing では長文を読みながら、段落ごとに記されている内容と全体の要旨をまとめる作業をする。次の Tasks では、本文の内容が理解されているかどうかを確認する問題、本文の内容に合致するように文章を完成させる問題、文章の書き換え問題、与えられた語句を用いて英語の表現能力を問う作業を行っていく。テープも使用し、聞き取り能力をも養っていきたい。

成績評価の方法

授業中における平常点、中間試験、期末試験等を総合して評価する。学生諸君が留意すべき点は授業に出席するにあたって、必ず下調べをすること。また、遅刻や不正行為は、一切認めないものとする。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合には不合格となるので注意すること。

教 科 書

- 1) Aian Wainwright著 “Scientific View” 三修社 ¥1,200
- 2) 英和中辞典（大学生用のものであれば出版社は特に指定しない。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 クラス〕	かわ また よう たろう 川 股 陽 太 郎	全学科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年時に取得した英語力をもとに、もう一段上のリスニング、コンプリヘンション、スピーキング、ライティングの能力を高める訓練をおこなう。と同時に、文化的背景を説明し、教養を身につけるようにする。言いかえると、

英語を耳でとらえ、その内容を理解し、耳でとらえたものを口から出す訓練をする。また、テキストに出てくる慣用句を参考にして、英語を書く練習をする。聞き取る能力がなければ、相手の言っていることを理解することは出来ない。従って最初からコミュニケーションは成立しないことになる。聞きとる力と話す力（リスニング・コンプリヘンション・スピーキング）は不可分の関係にある。三つの能力、すなわち、英文の内容を読み取る力、英語を聞き取り話す力、英語で文書を書く力、この三つは別々のものであり、個々に訓練し、能力を身につけるようにしたい。

授業ではテープを極力用いる。発音、イントネーション、アクセントはもちろんのこと、大きな声で、内容にそくして、なめらかに読む練習も大切にしたい。

成績評価の方法

授業中における演習、発表、小テストによる。5段階評価で言えば、発表時の声が小さい場合、発表がない場合、最終評価で5は有り得ない。授業中の演習・発表の合計（100点）、授業中の小テスト・レポートの合計（100点）とし、両者を等価に評価する。従って、出席と評価は自動的に連動することになる。欠席率が三分の一を越えた場合は不合格となる。

教 科 書

「ミステリーひと口話」（マクミラン・ランゲージハウス）
補助教材としてプリント使用、これは適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	さ たく りゅう しょう 佐 竹 龍 照	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

「やれば出来る英作文」からクリエイティブ・ライティングへと授業を進めたい。前期は基礎的な口語表現の用法、例えば「名詞構文の生かし方」、「動詞の選び方」、「日本語と英語の比較構文」などを学びながら、後期はより複雑な表現法に進み、さらに自由英作文を試みたい。授業はつねに演習形式で進めるため、予習、復習は必ず行なうこと。

成績評価の方法

評価は授業中の各人の発表と小テスト、レポート、定期試験など総合して評価する。ただし平常授業の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『活きた英語の表現演習』 編著 長谷川潔 出版社 成美堂 (¥1,200)

参考書等

授業時に指示する。

その他

辞典は必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	〔前期〕 まち だ なお こ 町 田 尚 子 〔後期〕 はやし あき 明 と 人 林	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、カセットテープ教材で毎回リスニングの訓練をします。またビデオ教材を使って、聞き取りと口頭練習もする予定です。
後期は教場で説明します。

成績評価の方法

毎回のリスニングテスト、聞き取りと口頭練習の平常点評価、前期末試験の成績を総合して前期は評価し、後期は教場で説明します。

教科書

J.V.Le Pavoux 『キャンパス・リスニング』 成美堂 ¥800, プリント教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 クラス〕	おがさわら 隆元 りゅうげん	全学科 3 年	2

講義のねらい

II Aの英語クラスは、「英語による意志伝達」の実力向上をめざすものである。このクラスは再履修クラスで受講生も全学部にわたるようなので、少なくともこれまで6～8年近くにわたる英語学習とその蓄積された潜在的実力が少しでも生かされることを念じたい。

成績評価の方法

諸君の関心事である単位認定・成績評価については、まず学生諸君は実績を示すことが必要であるが、授業出席、レポート、テープ提出等、あるいは試験と言った実力発揮の機会を何となく利用しなかった者が多いと思うので心してもらいたい。（例えば、次週のクラスでの演習に事前指名したのに、無断欠席するようでは困る。1頁程度の事前予習と発表の実績を示せば単位認定は心配することは無いものと心得よ。）

教科書

テキストは、「文化の潮流」1,400円（三修社）を選定した。一回で2～3頁の予定で進めたい。受講生は少なくとも一度は演習発表が出来るように覚悟していただきたい。

その他

授業にはテキスト・辞書等、あるいはテープを必ず持参することを強調したい。空手の出席は大学生としてはあるまじき事と知るべし。

㊦ 第一回目授業には必ず出席して諸資料提出物を受取ること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 クラス〕	おお かわ ひろし 大 川 浩	全学科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で培った語学力を土台として、さらなる英語の運用能力を高めるため、英語の口語表現の習得に努める。英語の連語表現を学習し、運用できる段階にまで、集中的に繰り返して訓練をして、英語学習の効果が高められることを目途とする。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、授業中に求められるレポートの提出、さらに夏季休暇中に出题される課題及び、随時、施行される小テストの成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

辞書を活用して事前に下調べを丹念に行なうこと。レポートは必ず提出する。提出なき時は減点対象になる。欠席・遅刻の回数の減少に十二分に心掛ける。授業回数の1/3以上の欠席は不合格と認定し、履修名簿から氏名を抹消されることのないように、充分、留意すること。年間を通じて座席を固定する。

教科書

『日常英語・作文演習』 Say it in Style 金星堂 ¥1,100

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	こ 古 富 猛 <small>とみ たけし</small>	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現代社会は20世紀末を迎え、政治的、経済的に多様化を深めていく中で混沌としてきたことは我々みんなが肌身で感じていることではなかろうか。その中で日本人としてどの様に考え、行動しなければならないかを真剣に論じなければならなくなっている。複雑な時代的背景とともに過去の歴史に立ち返りながら我々が意識改革をしなければならない時が訪れたことを誰も否定はしないだろう。

ひとつにはイデオロギーの対立性が緩和された中で、民族的な対立が激化し、それぞれの国、それぞれの民族がその独自性を主張する中で、他方EUやAPECにみられる様に地域的、歴史的背景の中で、大きく統合しようとしている現実を学生として無関心でいるわけにはゆかないだろう。まさに生き残りをかけたゲームが始まっているのだ。

その状況の中でやはりこれからは考え、意見を主張する語学力が必要とされていることを認識し、対処することを再考して欲しい。その方法論等を含めて、授業を進めてゆく方針です。

成績評価の方法

口語表現に活用できるテキストを使用することによって、パターン・プラクティスを心がけてもらいます。そのために授業中に発表してもらうことを原則とします。平常点として加算し、前・後期の筆記試験を基本として成績評価。欠席率は3分の1を超えない事。ペーパー・テストに片寄らない様に配慮します。

教 科 書

『アメリカの青春像』 マクミラン・ランゲージ・ハウス社 ¥1,200

そ の 他

テープ、映画等により聞く力を身につけることを切望します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	い 岩 原 康 夫 <small>いわ はら やす お</small>	全 学 科 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外人々との接触も一般化してきた。人々は世界語とも言える英語をコミュニケーションの手段としてますます運用する力が求められている。そのために、このクラスでは英語の特性を基本的な動詞の表現法に認め、そのパターンを習得することを狙いにする。限られた範囲の動詞ではあるが、それが導く文型に従って英文を作る練習をする。それから、その英文に相当する別の表現法を別の形で求める。特に、同じ意味の文に関して、日本人にはなじみの少ない無生物や抽象名詞を主語にした英文表現を練習する一方、人を主語にした英文表現を練習する。そのことによって、意思伝達の英語表現の多様性を学び、英語独特の表現法に触れる。それはまた英語と日本語の相違を理解することでもある。このような学習から、英語の苦手な学生諸君でも話したり書いたりする面での英語の運用力が少しは高まると考える。このクラスは再履修でもあるので、できるだけ基礎力を鍛え直すことも配慮したい。

成績評価の方法

前期後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation と assignment によって判断する。

教 科 書

『基本動詞活用英文文』 金星堂

そ の 他

学生諸君の予習と積極的な学習姿勢を望む。辞書はかならずクラスに携帯すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	あさ かわ ま き 朝 川 真 紀	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達：より高度な英語の運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

異質の文化を理解し、外国に対する好奇心を抱きながら、ライティング能力の向上を目指す。海外での生活や旅行に必要な英語、さらには自分の意見を述べるための英語が使いこなせるように和文英訳、口頭演習を行う。辞書を有効に使用して語彙を補強し、十分予習をして授業に備える。またuseful expressionsは暗記するように心掛ける。

成績評価の方法

レポートを前期後期それぞれ一回ずつ提出。小テスト、前期後期試験を実施して評価を出す。また、出席を重視し、欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『英語へのパスポート』 朝日出版社 ￥1,200

そ の 他

映画、音楽、英語ニュースなどを聞き、普段から英語に慣れておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 ク ラ ス 〕	よこ もり まさ ひこ 横 森 正 彦	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で書かれている物語をよみ、人物の生活や性格、人間関係について分析し、内容の理解につとめる。内容理解と同時に文学・演劇・悲劇という言葉について考究する。

成績評価の方法

授業中における発表は年間5回以上、レポート提出は年間2回以上。前期・後期試験、定期試験の間に進捗状況によっては小テストを行う。出欠席については授業回数 $\frac{2}{3}$ 以上を必要とする。

教 科 書

『シェイクスピア物語・悲劇篇』 旺史社 ￥880

そ の 他

学生は授業意外にも多くの書物を読んでいただきたい。初日に詳細について述べる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 ク ラ ス 〕	すぎもと まこと 杉 本 誠	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商 3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。前期は容易にしかも楽しく英字新聞が読める、ということを重視し、しかも日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は政治・経済・文化・社会生活などの記事ができるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

成績評価の方法

前期・後期試験、レポート、授業中における発表、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『メディア英語入門』（北星堂） ¥1,400

そ の 他

テープを使用し、速読で進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再 ク ラ ス 〕	かわうち けんりゅう 河 内 賢 隆	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商 3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

再履修合同クラスなので、多少易しいテキスト（『世界の衣生活』）を使う。人間生活の基本条件、衣・食・住の中には、それぞれの民族が長い間歩んで来た証である文化、歴史、宗教などがさまざまな形で凝縮されている。本授業では衣を通して、これらのものと人間生活の関わりに目を向ける。なお、内容の理解と同時に、語法的な面にも注意を払う。

成績評価の方法

授業中の発表（年約5回）、短い語法についての質問（約3回）、前・後期の定期試験の結果および出席点（但し、原則として出席は授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。

教 科 書

『世界の衣生活』 成美堂 ¥1,600

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	禅・仏教・国文・英米文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

一定量の英文を読んで、大意の把握ができるようにしたい。これができれば、テキストへの興味は増し、授業が一層楽しくなるだろう。

講義の内容・
授業スケジュール

VOA (the Voice of America) で放送された番組の中から、日常生活に係りの深い科学関係の読み物を講読する。講読に当っては、一回につき一Unitづつ読む。次回にはExercise A・B・Cをやり一Unitを完了する。受講者は充分な予習と、積極的な授業への取り組みが期待される。

読むという行為は、単に読んだものを情報・知識として記憶するのではない。それは今までに学んで身につけたものを総動員して、書かれている事柄をよく吟味し、その精神を理解することである。この過程で思考力の発達が進められる。その結果自ら考え、判断できる能力が養われるのである。大学での英語学習をこのような大きなパースペクティブの中で考えてみる必要もあろう。この授業では英語の総合力の向上を計ると同時に、思考力の向上も目指したい。

本文は読み易く、しかも意外な発見もあり、楽しみながら学習をすすめることができるだろう。

成績評価の方法

出席を最大限重視する。再クラスを履修するようになった経緯は問わない。努力する者は必ず報われることを信じて勉学に励んでほしい。授業中の発表・小テスト・提出物などで総合的に評価する。定期試験は行なわないので、くれぐれも一回毎の授業を大切に！

教科書

『VOA日常生活の科学』第一集 南雲堂
※『VOA日常生活の科学』には第一集と第二集があります。第一集の目次は 1. 色彩効果の話, 2. 健康によい魚の油, 3. 換気が大切……となっております。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I 〔再クラス〕	み うら ま じ り 三 浦 眞 理	短国・短英2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

比較的平易なテキストを用い、できるだけ量を多く読み、アメリカ人からみた日本を、日本の様相を、日本人として改めて考えていきたい。

必ず予習をすること（特に予習を重要視する）を前提に、単語力、イデオム力、作文・表現力を養うことを目的とする。一年間のうちに、文章が正確に読めるように、また用法、基礎的表現法をしっかりとし身につけることを目標とする。

成績評価の方法

授業中の発表、出席、予習、レポート、クイズ40%、前・後期の定期試験60%で評価する。ただし、平常授業時間の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

- 1) "Anne's Watching Japan" 南雲堂 ¥1,300
- 2) "The Black Cat and other Stories" 南雲堂 ¥880

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語〔再クラス〕	〔前期〕 <small>なか お</small> 中尾 <small>しゅん こう</small> 俊光 〔後期〕 <small>はやし あき</small> 林 明 <small>と 人</small>	短放 2 年	2

講義のねらい

「タイム」「エコノミスト」「USニュース&ワールドレポート」に掲載された記事を読みます。授業は、予習を前提とした発表による演習形式によって進めます。英文の日本語への逐語訳をできるだけ避け、段落ごとの要旨、全文の主旨の把握に向けて、英文を語順に添って理解できるようにすることを目指します。なお、発音にも留意します。

成績評価の方法

基本的に授業出席と授業内での発表を重視します。
1) 発表, 2) 小テスト・レポート等, 3) 前期試験,
以上の3点をもとに総合評価し、前期の成績をつけます。(前期担当・中尾)

教科書

「ジャーナリズム英語入門」 マクミラン・ランゲージハウス ¥1,700

その他

履修者は、言語の持つ「意味」と同時に「音」の点についても十分な注意を払って下さい。授業内でのテープによるモデル・リーディングによってさらに音のチェックをして下さい。
なお、原則として、全授業回数の2/3以上の出席者を、成績判定を受ける有資格者とします。(前期担当・中尾)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	<small>しば の ひる</small> 柴野 博子	全学科 2 年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ文法の最も基本的な事柄のみを集中的に教え、ドイツ語の大枠を掴ませることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の文法は体系的に構成されていますので、ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ』, 三修社, 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	やまもと つとむ 山 本 務	全学科 2 年	2

講義のねらい

言葉の学習は、その言葉それ自体が一定の考え方を表したものであるという前提に立つと、単調な作業も楽しいものに変えてしまう。日本語でびっしりと染まってしまった感じ方と考え方を相対化するのに、ドイツ語との接触は大きな援助を与えてくれるであろう。今日のドイツ文化が世界に向かって発信できることのひとつに、ナチズムの過去との対決がある。その代表者であるヴァイツゼッカー前大統領の演説を、基本文法を学びなおしながら読み込んでゆきたい。

履修上の留意点

独和辞典と初級の文法書の準備を求める。

成績評価の方法

教室での口頭報告および前期と後期との試験により成績評価する。

教 科 書

高辻和義編 『40年目の5月8日に——大統領の演説——』 同学社刊、773円。
R.v. ヴァイツゼッカー著 山本務訳著 『過去の克服・二つの戦後』 日本放送出版協会、NHKブックス705、¥950。

そ の 他

はじめの4、5回は私の方で重要な文法事項を説明し、練習問題を君たち自身に解いてもらい、そして、テキスト理解に入ってゆく。現代ドイツのテレビニュースのビデオも織り込み、魅力あるドイツ語教室づくりをしたいところ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	し ま と み え 志 真 斗美恵	全学科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語 I A をもう一度、というクラスです。ドイツ語を「知り」、言葉の根底にある規則的な面を把握し、理解することが目標です。

おもに、ドイツ語の基本的な文法事項を学び、基礎力を養い、次いでその知識を生かし、辞書がひきこなせるようになることを主眼とします。

こうした学習が現実と遊離しないように、言葉がそこで機能している生活と文化にも目を向けてゆきたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎が大事なので、アルファベット、発音の規則から再スタートし、一年間の授業で接続法まで学びます。

履修上の留意点

真面目に授業に出席し、授業に参加していれば、ドイツ語の基礎的なことは理解できるよう授業をすすめてゆきます。

文法は特に積み重ねの要素が多いので、欠席が多くなると理解もままなりません。欠席はさけて下さい。

成績評価の方法

授業中小テストを実施し、成績評価の上で重視します。

教 科 書

宮本絢子他著 『たのしいドイツ語 読む・聞く・話す』 白水社刊 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	まつもと ようこ 松 本 洋 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的な文法事項を反復練習しながら、平易な読物（ドイツの学生生活をテーマにした）を読むことで、学生がドイツ語の文章に親しめるようにしたい。また楽しくドイツ語が学べるように、教科書に出てくる単語や基本表現を用いて、簡単な会話の練習もしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

「いかがですか、学生生活」朝日出版 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	〔前期〕 もも ずみ いさむ 〔後期〕 百の野 島 とし 利 彰	全学科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的構造を理解するにはドイツ語による作文が重要である。このクラスでは主として簡単なドイツ語作文を中心にして授業を進める。成績は作文の成績によって判断する。

教 科 書

小塩著 「初級和文独訳」 郁文堂 ¥800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	あ づ ま ゆ う じ ろ う 吾 妻 雄 次 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

受験勉強時代の緊張感からの解放、英語と比べて少し複雑な文法構造をもつドイツ語への違和感、初めのちょっとした油断等から、なかなか追いつけずに、再度の履修となった学生諸君が多いかと思ひます。従つてまずドイツ語に興味をもつことができるよう心掛けたく思ひます。日常的な言葉のやりとり、基本文型をもとにして必要最低限の文法の知識は習得したいと思ひます。

講義の内容・
授業スケジュール

著者の一人がウィーン大学出身なので、教科書の内容が、どちらかと言えばオーストリアに関する内容が多く見られますが、しかし常にヨーロッパの視点で平易な文章が用いられています。会話やオーストリアそしてドイツの紹介記事を通して、読解力を養ひ、日常生活の簡単な表現を学びたいと思ひています。

履修上の留意点

最初の部分は分かっていると思ひて出遅れますと、なかなか追いつけなくなるものですから、常に積極的な姿勢で臨んで欲しく思ひます。それには常に予習を欠かすことなく、単語のノートを作り、理解できなかったことを先送りしないで、質問も遠慮なくすることが大切と思ひます。みんなで楽しい雰囲気を作つていきたいと願ひています。

成績評価の方法

年に2回ほど試験を行います。また必要に応じて、小さなテストも行いたいと思ひています。しかし何よりも積極的な授業への参加を重んじたいと思ひます。従つて「評価」はどちらかと言えば、総合的な平常点評価と言うことになります。

教 科 書

編者 W・ループレヒター／福本義憲著 『ヨーコとフランツ』 郁文堂 ¥1854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔 再 ク ラ ス 〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法は一応終わっているはずですが、再クラスなので、できるだけ分かりやすいように文法も最初から一緒にやっていきます。簡単な文章から複雑な文章へなだらかにすすむ配列になっています。基本的な単語が繰り返使われていますので、終了時には無理なく力がつくはずですが、また、授業の中でドイツの現状についても理解できるようにしたいと思ひますが、継続的な勉強を重視しますので授業を欠席しないこと。毎時間出席し、予習もしてもらひます。

教 科 書

大岩信太郎 『やさしいドイツ語初級読本』 (朝日出版社, 1,200円)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	栗原 万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	全学科3年	2

講義のねらい

知ってのようにヘッセはドイツの代表的な作家ですが、このテキストには彼の〈Märchen〉という題名の作品集から、表題作ともう1編が収録されています。ヘッセが生活の苦悶や深い思想の沈潜から、人生や人間の幸福の真義を愛によってとらえようとした感動的な名作です。相当な名文ですが、それでいて大変平易な分かりやすい文章です。語学は日常の勉強の積重ねでのみ習得されるものなので、出席を重視します。毎時間指名し、やってもらいます。授業にはかならず出席し、予習をしておくこと。欠席を重ねると名簿から名前を抹消します。

教科書

ヘルマン・ヘッセ（高橋編・注）の『アウグストゥス』（郁文堂、900円）

その他

水曜・3限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	本橋 右京 <small>もと はし う きょう</small>	全学科3年	2

講義のねらい

読解に重点を置きながら、ドイツ語の基本的な語彙や構文が理解できるよう指導します。

講義の内容・授業スケジュール

みなさんは、映画『サウンド・オブ・ミュージック』のことを聞いたり、ひょっとしてご覧になったことがあるかもしれません。しかし、これが実話であることを知っている人は少ないのではないのでしょうか。オーストリアはザルツブルク近郊の修道院で尼僧になるはずだったマリアという女性が、妻を亡くした海軍大佐の子供たちを家庭教師として世話をすることになるのですが…

この時間では、語学的なことだけでなく、物語の歴史的背景にまで言及する予定です。

履修上の留意点

みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前・後期の定期試験や出席などで総合評価します。

教科書

『トラップ家物語』 入谷・小林編（三修社 1,200円）

参考書等

W・T・アンダーソン 『サウンド・オブ・ミュージックの世界——トラップ一家の歩んだ道』（求龍堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II A 〔再 ク ラ ス 〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科 3 年	2

講義のねらい

もう一度最初から文法もやります。やさしい文章からだんだんと程度が高くなっていきますが、授業を休まず継続して勉強していけば、なるほどドイツは簡単だと思うかも知れません。ただし毎時間の継続的な勉強が絶対的条件です。再履修クラスなので特に日常の勉強と出席を重視します。

教 科 書

ヘルマン・トロール, 福田幸夫 『ドイツはかんたんだ』 (第三書房, 1,700円)

そ の 他

土曜・3限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II B 〔再 ク ラ ス 〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	禅・仏教・国文 歴史・経済・商 3 年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を養います。その際ポイントになるのは、基本的な語彙や講文の理解です。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは本来ドイツの Langenscheidt 社の刊行になるものですが、日本の学生用に編集してあります。内容は現在の社会事情を伝え、興味深いものになっています。

以下いくつかタイトルを挙げます。変化した人生の理想。休暇中のアルバイト。青少年とメディア。植物がバッハを聞き分ける。遺伝子工学は希望か脅威か。オゾン層の危機。マスメディアと青少年の読書。

各課の終わりに付された練習問題で、ウィークポイントを補ってゆきます。

履修上の留意点

皆さんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前・後期の定期試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

松本嘉久編 『日常生活のドイツ語』 (郁文堂 1,600円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	まつ おか 松 岡	すすむ 晋	禪・仏教・国文 歴史・経済・商3年 2

講義の内容・
授業スケジュール

ある日本人の青年が将来サッカーコーチになることを夢みてドイツにサッカー留学するという設定の教科書を用いて、基礎的なドイツ語の読解練習をおこないます。

履修上の留意点

毎回独和辞典を持参すること、および無断欠席をあまりしないことを望みます。

成績評価の方法

年数回おこなわれる試験、学習意欲などにより総合的に判断して、成績評価をおこないます。

教 科 書

伊藤小枝子(著):シュート/ドイツ語, 朝日出版社, ¥2,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	あ づま 吾 妻	ゆう し ろう 雄 次 郎	禪・仏教・国文 歴史・経済・商3年 2

講義のねらい

初めに中級クラスの「文法読本」を用い、ドイツの風物、自然、経済、交通等に触れた簡単な文章をもとに、もう一度文法の知識、基本的な文形を思い起こしながら、一定の量を読みこなしていきたい。さらにそれぞれの課の末尾に設けられた練習問題を用い、ドイツ語による表現、独作文に馴染んでいきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

使用する予定の14課から成る教科書をできるだけ早く終え、その後はコピーによる教材を準備し、読解力や日常茶飯事の簡単な表現力を養っていきたく願っています。その他余力があれば、ドイツの新聞や週刊誌に載った日本に関する記事に少しでも目を通す機会を持つことができれば何よりです。

履修上の留意点

縁があってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に受け身の姿勢は返上して、積極的な姿勢で授業に臨んでいただきたい。教室の闊を高く感じることなく、気楽に学ぶためには、何といっても予習・復習が大事です。疑問を先送りせずに、質問をどんどんするように心掛けて欲しく思っています。

成績評価の方法

一応「平常点評価」と言うことになります。しかし当然のことながら、年に2回ほどテストは行う予定です。授業の展開に、自分もその一員として積極的に参加しているかどうかを、重く見たいと思います。

教 科 書

松本嘉久著『ドイツ語からドイツへ』朝日出版社 ¥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再 ク ラ ス 〕	やま もと つとむ 山 本 務	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

言葉の学習は、その言葉それ自体が一定の考え方を表したものであるという前提に立つと、単調な作業も楽しいものに変えてしまう。日本語でびっしりと染めぬかれた感じ方と考え方は一度は相対化されなければならない。それにはドイツ語との接触が大きな援助を与えてくれる。ところで今日のドイツ文化が世界に向かって発信できるもののひとつに、ナチズムの過去との取り組みがある。その代表者であるヴァイツゼッカー前大統領の演説を、基本文法を学び直しながら読み込んでゆく。

履修上の留意点

初級の文法書と独和時点の用意を。

成績評価の方法

教室での口頭報告を重視し、前期後期の試験と併せて成績評価。

教 科 書

ドイツ語テキストをコピー配布。
R.v. ヴァイツゼッカー著 山本務訳著 『過去の克服・二つの戦後』 日本放送出版協会、NHKブックス705、¥950

参 考 書 等

三島憲一著『戦後ドイツ』（岩波新書）。

そ の 他

はじめは、私の方で重要な文法事項を説明して、テキスト理解に入ってゆく。現在のドイツのテレビニュースをビデオを見るが、学生諸君は新聞でドイツ、ヨーロッパ関係の切り抜きを一年間通してやって貰います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 〔再 ク ラ ス 〕	まつ もと よう こ 松 本 洋 子	短 放 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の基本的な文法事項を反復練習しながら、平易な読物（ドイツの学生生活をテーマにした）を読むことで、学生がドイツ語の文章に親しめるようにしたい。また楽しくドイツ語が学べるように、教科書に出てくる単語や基本表現を用いて、簡単な会話の練習もしたいと思っている。

成績評価の方法

平常点、中間テストと定期試験の結果を総合的に判断して行なう。

教 科 書

「いかがですか、学生生活」 朝日出版 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	全学科 2 年	2

講義のねらい

まったく初めてフランス語を学習するものとして、初級の文法を中心に年間を通しておこなう。

成績評価の方法

- (1)出席状況
- (2)授業中に適宜おこなう小テスト
- (3)前後期末の定期的なテスト

教科書

川村克己編：新川村フランス語，駿河台出版社

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	さ とう く み こ 佐 藤 久美子	全学科 2 年	2

講義のねらい

問題集を用いて基本的文法事項を初歩から復習し，1年間でフランス語の概略をつかみます。

講義の内容・
授業スケジュール

文法説明の後に実際に問題を解いてもらい，さらに毎回問題の一部の解答を提出してもらいます。

履修上の留意点

上記の方針から仏和辞典を毎回必ず持参すること。毎回の提出物を重要視しますので当然のことながら出席することが肝要です。全授業数の1/3以上欠席した者については単位を認めません。4年生でも条件は同じです。特に初回の授業を欠席しないこと。

成績評価の方法

提出物の有無が成績評価の第一ポイントです。それに前後期試験の結果を加えて総合評価とします。

教科書

斎藤昌三著 『アン・ドゥ・トロワ』 白水社，1,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	はま さき せつ お 浜 崎 設 夫	全学科2年	2

講義のねらい

初級フランス語文法の再学習。時間が許せばフランスの歴史や文化についても語りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語文法の説明と練習問題の解答（これは宿題として課す）。第1課から第5課までを前期分とし、第6課から12課までを後期分とする。

履修上の留意点

文法の説明は毎回授業の最初に行うので遅刻しないこと。教科書だけでなく、必ず辞書とノートを持参すること。

成績評価の方法

試験の結果。宿題（これはかなり大きな比重を占める）。出席回数。授業態度。レポート。

教 科 書

山田，内藤，山崎他編『初級フランス文法案内』第三書房 1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	全学科2年	2

講義のねらい

限られた少な目の文法事項を，アルファベットからゆっくり練習問題中心に学び直します。授業の前半に説明，後半に練習，黒板で解答の形になりますので，遅刻すると自滅，脱落になります。毎回の出席を当然のことと考えて下さい。試験は筆記で年3回の予定。他に途中で動詞活用の書き取り等も行います。

教 科 書

『新初歩フランス語』 家島光一郎著 第三書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や 谷 さとる 菅 谷 暁	全学科 2 年	2

講義のねらい

教科書は、「空港にて」「カフェにて」「道をたずねる」など、フランスを旅したときに遭遇するさまざまな場面での対話によって構成されています。当事者になったつもりで読みかつ訳し、正確な発音、基本的・日常的な表現、フランスに関する種々の情報などを学びます。

履修上の留意点

休まずに出席することが人事です。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教 科 書

小倉他著 『エスカール』、駿河台出版社、1,800円

そ の 他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておきますので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	あし はら けん 声 原 眷	全学科 2 年	2

講義のねらい

仏語の基礎を1年かけて確認します。具体的には、教科書の仏語が読めて、その内容が理解できることです。読解力をつけるためには、文法の知識がとても役立ちますから、文法の基礎を覚えなければなりません。それに辞書を上手に引くことが大切です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は仏語の読み方（発音）と文法の確認を重視します。後期は前期を土台にして、できるだけ多くの仏語の文章を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参します。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどき、レポート。

教 科 書

安田悦子 『F・コム・ファッション』 白水社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	たか はし 高 橋	かおる 薫	全学科 2 年 2

講義のねらい

フランス語の基礎的な構文を体得し、その応用を可能ならしめる。

講義の内容・
授業スケジュール

テープ・レコーダーを利用し、文章と音声、意味内容を総合的に理解・発信してもらおう。授業内容を学生諸君に充分理解してもらうことを主眼とするので厳密な計画は立てられないが、動詞を例にとると、前期で現在時制（不規則動詞も含む）、後期でそれ以外の時制表現を目安とする。

履修上の留意点

語学の修得は積み重ねにあるので、毎回必ず出席し、意欲的に授業に臨むこと。反復練習を忘れず行うこと。

成績評価の方法

基本的には前期試験・後期試験の結果を見るが、毎時間書き取り小試験を行うので、それも参考にする場合がある。なお、出席回数が少ない学生には試験受験資格を与えない場合もある。

教 科 書

「《新装版》フランス文法耳から口へ」, 第三書房。定価1,000円前後。

参 考 書 等

学生諸君の個性に合わせて指導する。

そ の 他

文法事項については解説。テープ・レコーダー使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま せき 今 関	あ ん ア ン	全学科 2 年 2

講義のねらい

初歩からゆっくり進めるつもりです。欠席せずにつまづいた箇所を確実に習得してください。

教 科 書

『会話で始めるフランス語』 岩間直丈著, 朝日出版社, 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	全学科3年	2

講義のねらい

文法事項の再確認を中心に、やさしい文を読み進めていきます。「再履修」を行わざるを得なくなった原因は、たいていの場合、何かのきっかけで出席をしなくなり、その結果、内容についていけなくなったため、と推定されます。今年度は、そういうことのないように、心して、フランス語に向かい合ってみてください。

履修上の留意点

I Aの教科書をつねに参照しながら、授業に出ること。

教 科 書

鈴木豊 『二年生の新フランス語文法読本』 —— 改訂版 —— (駿河台出版社, 1,236円)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	い だ きよ こ 井 田 清 子	全学科3年	2

講義のねらい

初級の文法で習得した、基本的な動詞の活用をはじめとして、冠詞、名詞、形容詞の用法など忘れかけている事項を復習しながら、文章を理解するための文法事項を学び、フランス語の文章に親しむことを目標とする。基本的なフランス語の表現に慣れるように、語学的にもわかりやすい文章を選んで、できるだけ興味をもって読めるようにしたい。中には、会話を主体とした内容のものもあり、辞書を使えば自らその面白さを理解できよう。

成績評価の方法

成績評価には、通常点を加味する。

教 科 書

『フランス・ユーモア集』, 野内良三編, 第三書房刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	いま ぜき あ ん 今 関 ア ン	全学科3年	2

講義のねらい

初級文法から復習していきます。ゆっくり進めるつもりですから、辞書を忘れずに毎回出席してください。

教科書

『基本1000語のフランス語』 加藤和孝著，駿河台出版社，1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	か とう せつ こ 加 藤 節 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

これは5篇のやさしいコントを集めたテキストで、今までに学んだ文法事項を短期間に復習整理しながらフランス語の構文に慣れていくことを目的としている。速読が可能なテキストなので、前期で終える予定であるが、その時点で次のテキストを考える。

教科書

数江譲治 『続・愉快的なコント』 第三書房 600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	井 田 清 子 <small>い だ きよ こ</small>	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

- フランス語の総合的な力が身につくようにしたい。そのために、三段階に分けて習得する。
1. まず、正しい発音を、わかりやすく学べるように、カセットテープを併用しながら実践的なレッスンを進める。
 2. つぎに、基本的なフランス語表現、特に、簡単なあいさつや自己紹介から始めて、幅広く会話習得を目指す。
 3. 忘れがちになりやすい文法事項をもう一度復習しながら、練習問題などで訓練した後、フランス語の文章を辞書を使って、しっかり読み理解することを目標としよう。

成績評価の方法

成績評価には通常点を加味する。

教 科 書

『フランス語 ホップ・ステップ・ジャンプ』 松岡達也, 他著. 白水社刊

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

初級文法を復習しながら読む、聞く、話す、書くという総合的な基礎力を養うことをこの講座の目的とします。日常よく使われるやさしい語彙、簡単な言い回しを用いて、習得できることに留意します。特に聞くことのチャンスは少なかったと思いますが、テープを用いて自習してほしい。ヨーロッパ連合、ユーロトンネル、ミニテル、地方と都市、チーズなどの話題を中心に電話の応対、手紙、雑誌の記事、さまざまな文体に慣れて、楽しみながらフランス語を学習してほしいと思います。練習問題の提出、書き取りなどにより平常点を重視します。

教 科 書

『コム・ボンジュール』 阿南婦美代ほか著 白水社 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕	ぬま くら ひろ こ 沼 倉 広 子	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

やさしい会話を中心に読む、聞く、話す、書くことができるように初級文法を勉強します。特に初心者には難しい発音練習、音と綴りの関係、聞き取りはしっかり練習したいと思っています。そのためカセットによる自習は不可欠となります。口頭練習も多用してフランス語を身近なものにしたいと思います。冠詞、所有形容詞等、文法事項の知識を確実にするとともに、パリの名所、買い物、フランスの通貨、地下鉄等、フランスの生活を知る機会としたいと思います。

教 科 書

『パスーパルトゥ』 高橋秀雄ほか著 早美出版社 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A ・ I B 〔 再 ク ラ ス 〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	全学科 2 年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。年2回の定期試験と宿題がある。

教 科 書

『新版標準中国語 I』（上野恵司著、白帝社、¥1,400）
このテキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	未 定	全学科 2 年	2

講義のねらい

会話文をテキストに、耳による中国語の理解を目指す。発音・文法を基礎的事項から復習する。

成績評価の方法

前後期各一回の定期試験の他に、授業時間内に数回の小テスト（聞き取りテストを含む）を行い、それにより評価する。

教科書

丁秀山『大学中国語テキスト 基礎漢語講座』（金星堂 ¥1,800）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	いわさき 岩 崎 皇	全学科 2 年	2

講義のねらい

とにかく自分の口で中国語が言えるように、発音練習を主に授業をする。教室で声を出すことを厭う者には向かないが、例文は短く、日常的なものなので理解は容易だと思う。説明より練習が主となるので、出席は重視する。

試験には、筆記のほかに、聞き取りと暗唱がある。

教科書

「会話で学ぶ中国語」 植田渥雄著 金星社

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ 寺 春 水 こ 寺 春 水	全学科2年	2

講義のねらい

中国語のあらたなはじめの一步が踏み出せるように、簡単な会話を徹底的に練習する（もちろん発音の練習も）。そのため授業中大きな声を出して発音してもらいたい。一年後には自己紹介や自分の意志を表現できるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

定期テスト二回のほか、口頭テストを年二回実施する予定。

教科書

『中国語はじめの一步』（白水社 ￥2,000）
身近な会話のテキスト。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ちん 洲 拳 ちん 洲 拳	全学科2年	2

講義のねらい

再履修のクラスなのでみんながある程度できる筈。ピンインの表記法と読み方を復習し、基本的な文法、文型を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは山本という学生をモデルにして、日本の学生生活や中国旅行の様子が描かれた短い会話形式のものである。口と耳を使うことを重視するので毎回必ず前週学んだ内容の聞き取り小テストを行うし、前週学んだ内容を二人ずつ会話の型で暗誦してもらおう。全22課なので1回1課のペースで授業を行う。

履修上の留意点

予習は必要ないが、学んだ本文をまる暗記して欲しい。

成績評価の方法

年に4回くらいテストを行い、最後のテストの成績によって評価する。

教科書

陳洲拳、山田訓子著 『大学生漢語』 駿河台出版社 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	まえ かわ 前 川 とある 亨	全学科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音（ピンイン字母と声調）、初級文法をもう一度やり直そうとする科目である。なぜ昨年つまづいてしまったのかをよく考えてから、しっかりした気持ちで授業に臨んでほしい。外国語の習得には復習が不可欠である。また、週一回の授業は特に進度が速いので、欠席はつまづきの元となる。評価は年2回の期末考査、同じく2回程度の小テストによる。欠席はその数の多少に応じて減点の対象とする。授業中に私語する者、授業に非協力的な者に対しては、以後の聴講を断ることがあるので心得ておいてほしい。当方も簡明な説明を心掛けるつもりである。

教 科 書

『基礎固め中国語』（同学社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ね ぎし まさ 根 岸 政 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

一人の中国人留学生と二人の日本人学生によるやさしい会話体の文章で、発音篇4課を含めて全20課。各課ごとに文法事項とエクササイズが付記されている。会話体を利用して、発音が正しく身につくように反復練習を行い、基本文型や挨拶などの日常表現を習得する。予習・復習をきちんと行い、自宅学習でも大きな声を出して練習すること。年間4、5回の試験以外に、理解度を確認するために小テストを行う。

教 科 書

西川優子『中国語フォーシーズンズ』朝日出版社（¥1,900）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再 クラス〕	ふ せ なお こ 布 施 直 子	全学科 2 年	2

講義のねらい

中国語の発音及び初級段階の語法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の発音の特徴を知り、どのような規則によって発音が表記されるかを理解し、ピンインが読めるようになることが最初の段階の目標である。その上でテキストにより日常生活の場でかわされる会話を学び、中国語に特有の語法を理解する。繰り返し音読して理解が定着したものとなることを目指す。

履修上の留意点

普通日常生活の中で中国語を発音する機会はきわめて少ない。だからこそ、授業時には大きな声で読み、反復練習し、理解をあいまいなままにしないことを望む。

成績評価の方法

出席状況、ならびに前後期各 2 回ずつのペーパーテスト及び随時おこなう小テストによって成績評価する。

教 科 書

荒川清秀他著 『中国語のエッセンス』 同学社 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再 クラス〕	り うん 李 雲	全学科 2 年	2

講義のねらい

ピンインが読めること、簡単な日常会話ができること、基本文型を身につけるのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課ともに、文法、練習問題、やさしい会話文の順で構成されている。授業では、まずピンイン学習のあと、本篇に入り、各課とも、文型を学んだあと、本文と練習問題を学んでゆく。

履修上の留意点

重要な文型の暗誦と本文の書き取りを要求する。

成績評価の方法

出席重視で、4 課に一回程度、小テストを行う。

教 科 書

『新訂、例文中心初級中国語』（同学社 1,545円）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	全学科3年	2

講義のねらい

初級で習得した文法事項を確認しながら読み進む一方、発音練習にも時間を割きたい。家での発音練習及び予習を課す。

履修上の留意点

授業には辞書を必ず携帯すること。また、初級時に使用したテキスト、ノートなどを参照しながら学習することが望ましい。

教科書

『中国と日本』（朝日出版社 ￥1,400）
中国人のものの考え方や習慣などを紹介することに力点を置いたテキスト。全22課。文章そのものは平易であるが、内容はなかなか興味深い。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひし かわ きよし 菱 川 清	全学科3年	2

講義のねらい

発音と文意の習得に力点を置き、社会一般が要望する実用的な中国語の力の習得を目標とする。発音の面では、繰り返し練習で口腔内の筋肉を中国語の発声に慣らし、会話可能な状態にする。なお、感情が割り込んできた場合に発生する強弱や長短を、十分に聞かせることで、自然かつ正確でしかもリズムカルな美しい中国語の習得に導きたい。

一方、文意の理解では、語法解説を混ぜつつ、単語の構造と用法、虚字の挿入、音韻の流変等にも留意して、幅の広い中国語理解をめざす。

語学は、「多く聞いて多く話す」のが上達のコツ、予習、出席を重視する。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の成績を平均し、さらに出席状況を加味して決める。

教科書

『中国風俗文化簡介』 金星堂 1,200円

参考書等

指定しないが、相談には応じる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	わた なべ はる お夫 渡 邊 晴 夫	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業では作品の読解と関連する文法事項の学習を主とする。
テキストには文法項目の説明はないが、授業では例文をできるだけ多く挙げて説明する。詳細な注釈が巻末についているので、必ず予習して授業に臨むこと。前後に各2回程度テストをおこなう予定。読んだ作品について感想文を書いてもらうことも考えている。

教科書

『百字小説』（白帝社 ¥1,600）
現在の中国の人々の生活、習慣、風俗、流行、気風、ものの考え方などが、簡潔な言葉で印象深く描かれている短い小説を42篇収めたテキスト。作品によって長短があるので、受講生の習熟度に応じて進度（1回の授業で読む作品の数と説明の深淺）を調節しながら、授業をすすめることができる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	しょう ふはん 周 璣	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

中国語初級の基礎の上に、読み、書き、聞くの総合的な基礎語学力を身につける。とくに標準的な「普通話」で、やや複雑な会話ができる能力の養成を目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は発音の復習と初級文法の補足に重点を置き、ゆっくり授業を進めるが、秋からは適当に進度を速めてゆく。

履修上の留意点

会話を中心にするので、平常点を大変重要視する。試験の代わりにレポートを提出することは認めない。授業には無断欠席せず、必ず予習していらっしやい。

教科書

『中国語と現代中国』（白帝社 1,600円）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	ひし かわ 菱 川 きよし 清	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義のねらい

発音と文意の習得に力点を置き、社会一般が要望する実用的な中国語の力の習得を目標とする。発音の面では、繰り返し練習で口腔内の筋肉を中国語の発声に慣らし、会話可能な状態にする。なお、感情が割り込んできた場合に発生する強弱や長短を、十分に聞かせることで、自然かつ正確でしかもリズムカルな美しい中国語の習得に導きたい。
一方、文意の理解では、語法解説を混ぜつつ、単語の構造と用法、虚字の挿入、音韻の流変等にも留意して、幅の広い中国語理解をめざす。

履修上の留意点

予習，出席を重視する。

成績評価の方法

成績は、前期・後期の成績を平均し、さらに出席状況を加味して決める。

教科書

『中国風俗文化簡介』 金星堂 1,200円

参考書等

参考書は指定しないが、相談には応じる。

その他

語学は、「多く聞いて多く話す」のが上達のコツ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	わた なべ はる お 渡 邊 晴 夫	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文章、会話、ドリルを中心にすすめてゆくが、他の部分も適宜参照する。オーディオテープのほかには本テキストのもとになっているビデオもあるので、併用したい。ヒアリングと口頭による練習を重視し、会話の文はすべて口で言えるようになるまで、習熟させたい、と考えている。かなりくわしい語句説明もついているので、それを参照したり、テープを聞いたりして、予習して授業にのぞんでほしい。

教科書

『北京カテゴリー-中国文化・中国事情』（朝日出版社 ¥2,000）
全10課。各課は一定の内容をもった文章（北京の説明）、短い会話、ドリル、アラカルト（さまざまな中国の生活に関する情報）、参考（いろいろな事物の図解、写真など）から成る。

その他

前後期各2回のテストを予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I 〔 再 ク ラ ス 〕	李 雲	短国・短英 2 年	2

講義のねらい

ピンインが読めること、簡単な日常会話ができること、基本文型を身につけることが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課ともに、文法、練習問題、やさしい会話文の順で構成されている。授業では、まずピンイン学習のあと、本篇に入り、各課とも、文型を学んだあと、本文と練習問題を学んでゆく。

履修上の留意点

重要な文型の暗誦と本文の書き取りを要求する。

成績評価の方法

出席重視で、4 課に一回程度、小テストを行う。

教 科 書

『新訂・例文中心初級中国語』（同学社 1,545円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔 再 ク ラ ス 〕	丹 羽 昌 一	全学科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

プリントによる練習問題を主とする。

履修上の留意点

履修者諸君の自主的な努力を期待する。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	みや ち たつ るう 宮 地 達 郎	全学科 2 年	2

講義のねらい

再履者クラスなので、第一にスペイン語アレルギーを取除き、興味をもたせることを主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の性数一致、動詞の変化を中心とする。場合によってはビデオ使用も考慮したい。

履修上の留意点

スペイン語へ興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

60点未満→進級不可
61—69→可
70—79→良
80 以上→優

教 科 書

宮本博著 「ようこそスペイン語の世界へ」 大学書林 ¥1,648

参 考 書 等

細川幸夫著 「英語からスペイン語へ」 芸林書房 ¥2,400
佐藤玖美子著 「NHK楽しいスペイン語」 芸林書房 ¥2,400

そ の 他

中南米諸国概要も補足説明し、興味が続行する内容にしたい。ビデオ使用も考慮したい。但し人数による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再 ク ラ ス 〕	なか やま なお じ 中 山 直 次	全学科 2 年	2

講義のねらい

スペイン語やスペイン語圏世界に、関心や興味を見出すことをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

昔話「赤ずきんちゃん」や「シンデレラ」を材料としたスペイン語の自習参考書を読みながら、いろいろに脱線する（といっても、その脱線先はだいたいスペイン語圏内の事柄にとどめる）。したがって、ここであらかじめ年間の授業スケジュールを確定しておくことはできない。

履修上の留意点

スペインやその周辺（スペイン・中南米の地域や文化）に何らかの興味を見出してもらうことができれば幸いである。

成績評価の方法

授業の理解度や応答の状況を記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とする。（いわゆる学期末定期試験は行わない。）

教 科 書

中山著 「スペイン語が面白いほど身につく本」（中経出版）

参 考 書 等

参考文献等については、もし必要になったらその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	<small>うりたに</small> 瓜谷 アウロラ	全学科 2 年	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教科書

宮本博司 Lecturas para empezar 『楽しいスペイン語文法読本』 大学書林 1,236円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	<small>おぎの まさし</small> 荻野 雅 司	全学科 2 年	2

講義のねらい

スペイン語 I を今一度 ABC からやり直すことを中心に置いて、スペイン語 II へとスムーズにつながれることを狙いとする。そして、外国語の学習が決して苦痛ではなく、それを通して異文化に接することができる手段であり、楽しいものであることを実感出来る授業内容とすることを目論んでいる。

成績評価の方法

原則として中間と期末の 2 回の major なテストを行うが、成績の評価に当たってはそれのみに限定しない。日ごとの出席状況と受講態度も等しく重視して評価を行う。

教科書

佐藤玖美子著 「NHK 楽しいスペイン語」 (芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本久美子	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

基礎文法の復習と日常表現を学ぶ。

履修上の留意点

- ・初心に戻りやる気で授業を受けること。
- ・出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻者の入室は認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
- ・授業を妨げるような振る舞い（私語、無断退室）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

平常点（授業中の小テスト）60点と学年末試験40点の総合計で評価する。

教科書

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おぎの まさし 荻野雅司	全学科3年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

スペイン語ⅠとⅡを総合した基礎的スペイン語の概略を理解し、習得し直すことが基本的眼目となる。但し、スペイン語に限らず、文化のvehicleとしての外国語を学習し、これを活用することには、異文化に接する楽しみがあることを実感できる授業内容とする。

成績評価の方法

原則として中間と期末の2回のmajorなテストを行うが、成績の評価に当ってはそれのみに限定しない。日頃の出席状況と受講態度も等しく重視して評価を行う。

教科書

佐藤玖美子著 「NHK 楽しいスペイン語」（芸林書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	なか がわ きよし 中 川 清	全 学 科 3 年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

初級スペイン語の復習からはじまって、中級スペイン語へとすすめる。前期・後期各期末テスト及び、平常の成績（毎回必ず1回以上あてられる）を加味して成績評価を行う。

教 科 書

中川清・児玉悦子
「新スペイン語読本 初級編」 アーバン・トランスレーション 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅰ 〔 再 ク ラ ス 〕	き どう まりの 佐 藤 麻里乃	短国・短英2年	2

講義のねらい

文法の基礎を習得し、よく使う単語や表現を覚える。

履修上の留意点

再履修なので特に心して真剣に取り組むように。

成績評価の方法

筆記試験（通常の授業時に実施）・平常点・出席状況等の総合評価による。

教 科 書

開講時に指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あんたく 安徳二一ナ・ まむら 木村 英明 きの 佐野 朝子・ ひろた 廣田 英靖	全学科2年	2

講義のねらい

1年次に授業に全く来なかった人、あるいは不幸にして落してしまった諸君、がっかりしないで下さい。どこが悪かったのか、じっくり考えてみましょう。自分で考えてわからなければ担当の先生に遠慮なく、訊いてみて下さい。まだまだ、十分に追いつくことができますので心配しないで下さい。1年間位でロシア語の勝負などつく筈はないのですから。ロシア語の再クラスはどれも少人数クラスですから、この機会をプラス思考で利用して下さい。先生方はいずれも心の優しいベテランの教員が当たっていますから、家庭教師についたような気持ちで気長にやって下さい。諸君の気持一つで必ずや道は開けるものです。

講義の内容・
授業スケジュール

もう1度基礎をみっちりやり直し、ロシア語という言葉がどんな特徴をもった言葉なのかを把握してもらいます。

履修上の留意点

- 前期・母音、子音の区別
- ウグリューニユの法則
 - インタナーツィアの法則
 - かんたんな名詞、形容詞、動詞の活用
- 後期・やさしいロシア語の挨拶をおぼえてもらいます。
- ロシア語の基本型を練習します。
 - やさしいロシア語文に馴れるようにします。
 - かんたんなロシア語の質問がロシア語で答えられるようにします。
 - ロシア語で時間とルーブリの表現方をおぼえます。

成績評価の方法

出席と毎回のミニテストとの総計

教 科 書

『ロシア語入門』 桑野隆 白水社 1,400円
 ※なお、担当の教員以外でも第1研究館6Fの1600号室に杉山がおりますから、何か相談ごと、質問のある方はいらして下さい。不在の時は、伝言メモを書いておいて下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん たく 二一ナ 安 徳 二一ナ	全学科3年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕	ひろた ひて やす 靖 廣 田 英 靖	禅・仏教・国文 歴史・経済・商3年	

講義のねらい

1年次の基礎ロシア語をもう一度復習し、中級程度のロシア語の力をつけます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 格変化の復習をします。
- 形動詞の練習をします。
- 1年次に学んだ語い力を上げます。
- 基本文型をつかった会話文を復習し、身につけます。

履修上の留意点

◦出席の重視。毎回提出してもらおうディクタント(ききとり)、その他のミニテストの総計で評価します。

教 科 書

教場にて指示します。

外 国 語 科 目
選 択 科 目

外 国 語 科 目

《選 択 科 目》

英 文 講 読	(清 水 祐 次)	387
英 文 講 読	(矢 島 直 子)	387
英 文 講 読	(前 田 脩)	388
ドイツ語外国書講読	(吾 妻 雄次郎)	388
フランス語外国書講読	(野 沢 協)	389
中国語外国書講読	(岩 崎 皇)	389
スペイン語外国書講読	(上 野 勝 広)	390
ロシア語外国書講読	(杉 山 秀 子)	390
時事英語研究	(河 内 賢 隆)	391
時事英語研究	(岸 本 茂 和)	391
時事英語研究	(町 田 尚 子)	392
時事ドイツ語	(柴 野 博 子)	392
時事フランス語	(遠 山 博 雄)	393
時事中国語	(釜 屋 修)	393
時事スペイン語	(上 野 勝 広)	394
時事ロシア語	(木 村 英 明)	394
マルチ・メディア	(落 合 和 昭)	395
マルチ・メディア	(大 庭 直 樹)	395
上級ドイツ語	(野 島 利 彰)	396
上級フランス語	(前期：加藤 節子) (後期：小玉 齊夫)	396
上級中国語	(李 雲)	397
上級スペイン語	(上 野 勝 広)	397
上級ロシア語	(クロチコフ, I. B.)	398
英 会 話 II	(ピアス, D. M.)	399
英 会 話 II	(ジグラー, P. M.)	399
英 会 話 II	(ウエイド, D. A.)	400
英 会 話 III	(ノーラン, D. J.)	401
英 会 話 III	(ウェルズ, J. K.)	402
英 会 話 III	(デンドウ, G.)	402
ドイツ語 LL I	(小林 ゲアリンデ)	403
フランス語 LL I	(ボダン, E.)	403
中国語 LL I	(小 川 隆)	404
スペイン語 LL I	(ナバロ, ホワン J.)	404
ロシア語 LL I	(安 徳 ニーナ)	405
英 語 LL II	(ベンディネリイ, P. A.)	406
英 語 LL II	(西 村 祐 子)	406
英 語 LL II	(風 間 則比古)	407
ドイツ語 LL II	(小林 ゲアリンデ)	407
フランス語 LL II	(ボダン, E.)	408

中国語 LLII	(松本 丁俊)	408
スペイン語 LLII	(ナバロ, ホワン J.)	409
ロシア語 LLII	(安德 ニーナ)	409
英語 LLIII	(岩山 義春)	410
英語 LLIII	(西村 祐子)	410
英語 LLIII	(大澤 ひさ子)	411
ドイツ語 IA (選)	(清水 修)	411
フランス語 IA (選)	(竹田 正純)	412
中国語 IA (選)	(釜屋 修)	412
スペイン語 IA (選)	(ナバローポロ, L. S.)	413
ロシア語 IA (選)	(佐野 朝子)	413
ドイツ語 IB (選)	(柴野 博子)	414
フランス語 IB (選)	(遠山 博雄)	414
中国語 IB (選)	(小寺 春水)	415
スペイン語 IB (選)	(瓜谷 アウロラ)	415
ロシア語 IB (選)	(木村 英明)	416
ドイツ語 II (選)	(志真 斗美恵)	416
フランス語 II (選)	(浜崎 設夫)	417
中国語 II (選)	(布施 直子)	417
スペイン語 II (選)	(ナバロ, ホワン J.)	418
ロシア語 II (選)	(クロチコフ, I. B.)	418
英語 I	(田中 保)	419
英語 I	(大川 浩)	419
英語 I	(大川 浩)	419
英語 I	(町田 尚子)	420
英語 I	(高野 秀夫)	420
英語 I	(吉沢 栄治郎)	421
ドイツ語 I	(吉田 文子)	421
ドイツ語 I	(吾妻 雄次郎)	422
フランス語 I	(竹田 正純)	422
中国語 I	(伊禮 智香子)	423
スペイン語 I	(佐藤 紘子)	423
英語 II	(伊藤 幸一)	424
英語 II	(石原 孝哉)	424
英語 II	(大澤 ひさ子)	425
英語 II	(滝 静寿)	425
英語 II	(吉沢 栄治郎)	426
英語 II	(熊崎 久子)	426
ドイツ語 II	(松岡 晋)	427
フランス語 II	(伊藤 なお)	427
中国語 II	(李 雲)	428
スペイン語 II	(丹羽 昌一)	428

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 〔 英 語 聖 書 〕	し づ け 清 水 祐 次	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治・経 営 除 ぐ) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義のねらい

英語聖書を読み、とくにその文体の表現の美しさにふれることを主眼とする。
はじめに聖書の概念的知識から、英語聖書成立の歴史、その文化的・文学的意義などについて
数回講義したあと、英語聖書の原文の要所と思われる部分を中心に講読をすすめる。
聖書には無数ともいえるversionsがあるが、その中から欽定訳の香りを最も良く伝える現代
語訳であるRevised Standard Versionをテキストに用いたいと考えている。

成績評価の方法

前期後期の試験，レポート並びに平常点で総合的に評価する。
なお、欠席が授業時数の3分の1を超える場合には、原則として単位の修得はできない。

教科書

具体的なテキストについては未定。参考書等もあわせて教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 〔 現 代 イ ギ リ ス 演 劇 〕	や じ ま な お こ 矢 島 直 子	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治・経 営 除 ぐ) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義のねらい

イギリスの現代劇作家の作品を前期1冊（少し後期にズレ込む）、後期1冊読む。前期に読む
オートンの作品はドタバタ喜劇である（1995年夏にロンドンの劇場でこの芝居を見て大笑いした）。
けれども、決して軽いものではなく、毒気も内容もしっかりあって、せりふもきちんとした英語
である。後期のラッセルの作品はやはり喜劇であるが、ドタバタではない。イキのよい現代英語
で書かれており、「教育」とは何かを考えさせる作品である。予習を前提とした演習形式を取る。
会話体ではあるが、かなりの量を読むことになる。イギリス現代戯曲の一端を読むことで、生き
生きとした会話を学ぶのみならず、イギリスの演劇がどのようなものか、学ぶことになる。

成績評価の方法

授業中にあてる回数が多いので、平常点が10%、前期中間テストと後期中間テストが30%、前
期末試験と後期末試験が60%である。外国語の勉強には平常授業が大事なので、原則として、平
常授業（前・後期の定期試験日、中間試験日は除く）の欠席率が3分の1を超えた場合は不合格
とする。

教科書

- 1) Joe Orton, What the Butler Saw (A Methuen Modern Play), Methuen.
- 2) Willy Russell, Educating Rita (Longman Literature), Longman.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読 〔19世紀イギリス文化〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	全学科1・2・3・4選 (英米文・法律・政治・経営除く) 短国・短英1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀イギリス文化を扱います。前期は、ヴィクトリア女王時代の時代背景を、絵画やテキストによって少しでも明らかにし、その時代についての知識をふやしてゆきます。後期は、ヴィクトリア時代の趣味を扱います。とりわけ庭園や建築に表われた同時代の趣味から家庭内の趣味へとどのように開花するのか、当時の図版や庭園論等のコピーを使って見てゆきたいと思います。

成績評価の方法

日常評価と出席率、前期・後期テストを総合評価します。

教 科 書

David Thomson『*England in the Nineteenth Century*』PENGUIN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語外国書講読	あ づま ゆうじろう 吾 妻 雄次郎	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

1, 2年でドイツ語を学び、さらに一歩進んでドイツ語の文章に触れたいという学生諸君には、内容的にも、また言語としても十分刺激になり、満足のいくドイツ文が求められると思います。そしてある程度の量も消化しなければならないと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず統一ドイツの出発点となった、ベルリンの壁崩壊直後のインタビュー記事から入ってみたいと思います。これは2, 3年前にイタリアで急死された、当時フンボルト大学教授でありベルリンの森鷗外記念館の館長を勤められたユルゲン・ベルント氏によって行われたものです。それから現代に拘わりをもったトーマス・マンの講演等も読みたいと思います。あるいはまた日本に関する週刊誌や新聞記事にも目を通したく思っています。

履修上の留意点

〔履修上の留意点〕や〔成績評価の方法〕等についてはいまさら多言を要しないと思います。参加する学生諸君と共に『外国書講読』の望ましい形態を探り当てたいと願っています。

教 科 書

吾妻雄次郎編著『インタビュー』朝日出版社 ¥1,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	の ざわ 野 沢 きょう 協	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

初級（1年次）、中級（2年次）のフランス語を修了した学生の内、さらにひきつづき、より高度なフランス語の学習を希望する者を対象とした授業で、主に読解力の育成を目的とします。通常の大人向けの本を読むこととなります。

履修上の留意点

受講生の語学力があまり不均等だと、授業が成立しませんので、中級修了者という前提条件に特に留意してください。また、毎回必ず学生に当てますので、全員の予習が欠かせないでしょう。

成績評価の方法

成績評価の方法は受講生の数によりますが、数名ならばあえて試験はせず、平常点で採点します。受講生の数が多く、日常の授業で学生個々の学力が十分把握できない時は、年に1度ないし2度、ペーパー・テストをせざるをえません。

教 科 書

全学科を対象とする関係上、受講生の学部・学科、関心の所在などが現段階では不明なため、教材はあらかじめ指定しません。第1回目の授業で、出席者と相談の上決定します。内容的には社会・政治関係よし、宗教関係よし、文学書よしで、授業担当者の専攻領域にはこだわりませんが、できれば、あまりジャーナリスティックなものではなく、何か古典的なテキストでも読めればと思っています。

候補のひとつとしては、19世紀末の大地理学者で無政府主義の思想家でもあったエリゼ・ルクリュ（1830-1905）が著した地理学の啓蒙書で、文学的なエッセーとしても読める『小川の一代記』（1869）なども考えていますが、あくまでも受講生と相談の上で教材はきめるつもりです。

ただ、何を教材に選ぶにせよ、教科書版として日本で発行されていない本を使うことになるでしょうから、受講生の人数分だけ原書をコピーして、それを教材とします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語外国書講読	いわ さき 岩 崎 ひろし 皇	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

本を読むとは、その内容を理解することが第一だが、外国書の場合その言語に慣れることも目的の一つである。内容の理解は経験がものをいい、経験から予測もできない内容は分かりづらく、さらにそれが外国語で書かれていたら、言葉そのものへの不慣れと相まって理解はかなり難しくなる。中国語という言葉に慣れるには、内容が分かりやすい説明文が良いと思う。さらにその説明の対象が身近なものほど分かりやすいはずである。内容の面白さは好みに左右されるので、何とも言えないが。

授業では、まず、陳建民著『言語文化社会新探』の第3章「人名」を読む。似ているようで違っている中国の理解にも役立つはずである。テキストはこちらでコピーを用意する。

参 考 書 等

陳建民著『言語文化社会新探』第3章「人名」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国書講読	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

今世紀のメキシコ文学を代表する作家の一人、ファン・ルルフォの短編小説集『燃える平原』を講読する。基礎文法の補充とメキシコのスペイン語の表現に関する説明をまじえながら、17編の作品をじっくり味わってゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

3回の授業で2つの作品を読みこなす予定である。

履修上の留意点

受講にあたっては、必ず下読み、下調べをした上での出席が要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間2回（夏休み明けと学年末）提出のレポートで総合的に評価する。試験は行わない。

教 科 書

Juan Rulfo : El llano en llamas, Fondo de Cultura Económica.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語外国書講読	すぎ やま ひで 子 杉 山 秀 子	全学科3・4選 (法律・政治・経営除く)	4

講義のねらい

1～2年次で得たロシア語の基礎力のうえに更に読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新のロシア情勢をふまえた読みもの、セミナー、クロコディル等を毎回読み、何が書かれているか、ロシア語できますから、自分の知っている範囲の語いで答えるように努力してみてください。もちろん答えられないからといって、すべてダメではなく、だんだん馴れるようになりますから安心して下さい。ロシア語の文章を単に眼で追うだけではなく、その中に書かれている内容を正しく伝達できることも重要です。このためには正しい力点、イントネーション、発音、表現が必要なのは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、ナチュラル・スピードで話しているロシア人の声をきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視します。毎回オーラルの小テストを一人一人に課します。小テストと日常点、出席率との総合で評価を定めます。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

露和辞典。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治 除 く) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代は、文字通り世界の歴史が書き換えられつつある激動の時代である。それだけに、我にはたえずしっかりした自己の確立を目指さなくてはならぬ。本授業では、新聞、雑誌などに取り上げられた科学、スポーツ、政治、経済などのテーマを扱い、英語を通して時代感覚を磨いていきたいと思う。なお、時事英語には倒置、省略、品詞の転換など興味深い語法が見られるので、それらを通してスクール・グラマーを越えた表現にも目を向けたいと思う。

成績評価の方法

授業中の発表（年約5回）、短い質問（約3回）、前・後期の定期試験の結果、および出席点（但し、出席は原則として授業日数の3分の2以上でなければならない）などのそれぞれを加えて評価する。なお定期試験に関し、やむを得ず欠席した場合、事情によってレポートを課す場合もある。

教 科 書

'96年度版 時事英語・世界展望 金星堂 ￥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	きし もと しげ かず 岸 本 茂 和	全 学 科 1・2・3・4 選 (英 米 文・法 律・政 治 除 く) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

1960年代以降のアメリカ合衆国を理解する鍵のことば。大学における「フリー・スピーチ」運動、ヒッピー、性革命、公民権運動、ウーマンリブ、ホモセクシュアリティ、嫌煙から禁煙へ、等々。そして1980年代後半以降のアメリカの政治的・文化的状況を理解するもっとも適切なキーワードが「ポリティカル・コレクトネス」=政治的妥当性=PC運動であると思われる。マジョリティーとマイノリティー。人種差別主義（racism）や性差別主義（sexism）から由来する広範な分野における差別用語の排除。等々。これらの「政治的に正しい」用語や態度が、現代アメリカにおいて真の美德になっているのか、括弧つきの〈美德〉にとどまっているのかを知ることによって、多民族国家=多文化主義国家であるアメリカ合衆国を理解する一助になれば……と思う。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞典を携行すること。

成績評価の方法

試験は中間試験と定期試験の年2回。60点以上をパスサブルとする。年間授業時間の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

ジェイン・B・マック『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社 定価1,400円）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全 学 科 1・2・3・4 選 (英米文・法律・政治除く) 短 国・短 英 1・2 選	4

講義のねらい

このコースは海外で発行されている英字新聞が読みこなせるようになることを第一の目的としています。ジャーナリズム、特に報道の英語は読み手に情報あるいは記者・論説者の意見を正確に伝えることを旨としているので、一定の約束事と特有の表現と文体に習熟すれば、ニューヨークタイムズでもそれほど苦勞せずに読めるようになります。第二の目的は日本の経済・政治・社会に関する出来事や問題が海外の英字新聞でその国あるいは土地の読者にどのように紹介され、論じられているかを読み、外からの視点に接することです。日本で報道されている問題を「世界から見た日本」という観点からもう一度考えてみようと思うのです。さらに最終目標は与えられた報道情報を整理し、自らの見解を持つことです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期（5月中旬まで）

1) 英字新聞概説（下記タイトルを中心に説明します。）

“Why do we have to read overseas English newspapers?”

“What are the elements of the English newspaper?”

“The form of news story”

“Never ever jump the headline!- its functions and grammar”

“The inverted pyramid”

2) 新聞英語の文体について

同格構文、埋込み文（関係節、補文）が多用される英語の読み方のコツとパラグラフ展開に焦点を当て説明します。

（5月中旬以降）

日本の市場開放問題、日本の国際協力・援助、アジアの近隣諸国との関係等に関連した記事を教材として準備し、渡します。各担当者が概要と問題点を発表する演習形式で授業を進めます。ニューヨークタイムズ、ロンドンタイムズ、サンデイタイムズ、ストレイツタイムズ（シンガポール）等から取る予定です。

後期

前期のニュース記事から、特に10月中旬以降は、論説・社説、特集記事を集中的に読みます。例えば“Four Pathways Japan Might Take”（The New York Times; Economic Scene）, “Japan’s Better Example”（The New York Times; editorial）などに類するものを扱います。

成績評価の方法

担当発表の平常点と前期／後期の筆記試験で評価します。

教 科 書

記事・論説等のプリントとハンドアウト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ド イ ツ 語	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

1995年は第二次世界大戦終結からちょうど50年目にあたる節目の年でした。そこでこの授業では、前期は「ドイツの政治」をはじめ、「ドイツの文化」、「ドイツとヨーロッパ」などの問題について、ドイツの代表的な新聞に掲載された記事を読んで行きます。後期は「ドイツと日本」というテーマで、ドイツの新聞に取上げられた日本に関する記事を読みます。この授業を通じて、ドイツ語の報道文に慣れると同時に、ドイツの政治や文化についても理解を深めることができれば幸いです。

教 科 書

石井寿子編『時事ドイツ語』〈'95年トピックス〉 朝日出版社, 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	全学科3・4選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

すでに学んできたフランス語の知識を確認しつつ生かし、さらに深めながら同時代のフランスやフランス語圏の社会の動きに関する短い記事を読んでいます。必ずしも平易なものばかりでもありませんが、注釈のある教材を用いて行ないますから特に心配はいりません。(もちろん、学習者が自分で辞書を調べてまず訳してみることが前提です。)1995年4月に発行された教科書ですが、「時事」という性格上すでに意味を失っているパラグラフもありますから、適当に間引いて読み進めていきます。また折にふれて、プリント、ニュースビデオ、担当者の経験談などで補足をしていきます。

教 科 書

『全方位50のヴェルシオン』 恒川邦夫編(朝日出版社)
(6～40までの項目の大部分を対象とします。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事中国語	かま や おさむ 釜 屋 修	全学科3・4選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

今までの中国語学習経験(2年程度)をいかし、教科書文体ではなく、中国の新聞、雑誌などのナマ教材に挑戦するクラスである。①正確な読みから流暢な読みへ ②単なる文意の把握で終わらずにいっきした精彩ある翻訳へ、をめざし、さらに、③原文からなまなましく読みとる最新情報を通して中国の民衆の感情に迫りたい。

教 科 書

教材はすべてピンインなし、辞書を多用する。『現代中国語辞典』(光生館)『中日大辞典』(大修館)『中日辞典』(小学館)のどれかを必要とする。

そ の 他

成績は努力とともについてくる、中国語のおもしろさを自分でたしかめる、そんな気持ちで挑戦してもらえる中国語冒険クラスである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ス ペ イ ン 語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

スペインないしラテンアメリカの新聞・雑誌から政治・経済・社会・文化に関する記事を抜粋して講読する。生きのいい現代スペイン語の表現を学ぶとともに、スペイン語圏諸国が今直面している問題を考える契機としたい。

履修上の留意点

毎回の授業には、必ず下調べをした上で出席することが要求される。

成績評価の方法

出席を含む平常点および年間4回の試験の結果により総合的に評価する。

教 科 書

プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ロ シ ア 語	き むら ひで あき 木 村 英 明	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	4

講義のねらい

1991年のソビエト連邦崩壊以降、ロシアは混迷の淵にある。しかし、依然としてロシア情勢が世界の政治や経済の枠組みに及ぼす影響は多大なものがある。激動期を生きるロシアの動向に、じかにロシア語を通して触れることで、巨大な隣国の抱える様々な問題をより身近なものとして認識してほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの代表的な週刊新聞『論叢と事実』や週刊誌『ともしび』などの中から、政治、経済の新しい情報や民族問題を巡る議論をとりあげ、語彙、文法に十分留意しながらじっくり読んでいくことにする。テキストは随時プリントの形で配布する。

履修上の留意点

語彙的に比較的平易な記事を選ぶようにするが、みずから辞書を引いて予習することを心がけてほしい。語形変化が多いロシア語では、始めは辞書を引くのも容易ではない。何よりも、その苦労を厭わないことを、このクラスに参加する学生には望みたい。

成績評価の方法

前期、後期の二回の筆記試験に、出席状況を加味して考慮する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

日露辞典。

そ の 他

ビデオなどの視聴覚教材も折りを見て使用していきたい。また、ロシア語の記事内容に関連する英語や日本語の資料も出来るだけ紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

この科目の講座名は「アメリカ映画——鑑賞と台本研究——」とし、ビデオで映画を鑑賞し、映画台本を使って台詞を確認する。その際に、台詞の第一義の意味だけでなく、台詞の第二義の意味・感情表現（怒り、嫉妬、喜び、悲しみ、笑い、ほのめかし等）の把握にも努める。この科目は徹底した演習形式を取るため、学生は毎回必ず下調べをしてこなければならない。学生数を40人に限定するため、ほぼ毎回当たる、と思われる。そして、学生には台詞の第二義の意味を重視した発表をしてもらい、その後、教師の側からさらに細かい点についていくつか質問をする。この科目は映画好きだけでなく、ヒアリング、会話表現を、さらに、身につけようと考えている人にも適している。しかし、この科目は単なる映画鑑賞の科目ではない、ということには心に銘記しておく必要がある。学生にとって、この科目は最も厳しい科目の一つになるだろう。

成績評価の方法

定期試験の形では行わず、毎回の「発表」、「課題」等で評価をする。
出席に関しては、全授業回数の3分の2に達しない場合は「不合格」とする。

教 科 書

『百万長者と結婚する方法』 英宝社 2,000円
『俺たちに明日はない』 ニューカレントインターナショナル 2,000円

そ の 他

この科目は「英会話」や「LL」を受講した学生を対象にしているため、受講者は「英会話」や「LL」の科目を履修したか、口語英語を一、二年学んだことのある学生が望ましい。そのため、映画の台詞をほぼ完全に理解できる学生にとっては、物足りない科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお 大 ぼ 庭 なお 直 き 樹	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスは、コンピューターを使って、英語を学ぶクラスである。
コンピューターに初めて触れることになる学生を対象に、まず受講者全員がソフトType Quick for Windows を使ってブラインドタッチでキーボードが打てるように訓練する。この訓練を1年間続けることによって、受講者は、相当のスピードでキーボードを操作できるようになる。
第二の課題として、WordPerfect, Word for Windows 95 のソフトを使って、論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を学ぶ。受講者は、自分で各種の英文を書き、自分で書いた英文のSpellやGrammerをコンピューターにチェックさせる訓練をする。更に、これらのソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートの使い方も学び、コンピューターを「思考の道具」として利用することを体得する。
第三の課題として、マルチメディア語学教材「マイクロ・イングリッシュ Windows 版」を使って、学生がコンピューターを相手に、英会話、英文読解、英文作成、TOEFLの問題に挑む。このソフトは統計処理によって、全学習者・クラス・グループ・個人別に評価設定が可能なので、受講者は成績結果を分析して各自の英語力向上の指針として利用する。
最後に、電算室でインターネットの使用が可能になれば、世界の情報網へのアクセスやE-mailの交換などを体験する。
さあ、このクラスで「知のコンピューター」活用を楽しもう。

教 科 書

使用ソフト —— Type Quick for Windows
WordPerfect for Macintosh
Word for Windows 95
Micro English for Windows
受講者はフロッピーデスクのみ用意する—詳細は、教場で指示する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各学生の1年間の成果を評価する。

そ の 他

上記のソフトはすべて、電算機事務室（4号館2F）に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補習すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	の野 ^の 島 ^{しま} とし ^{とし} あき ^{あき} 彰 ^彰	全学科3・4選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

論理的な文章を読む(プリント教材)。次回の分を毎回文法的な事項を質問することで解説し、予習しやすくする。また基本的な構造を理解する助けとするため簡単な作文練習を30分程度行う。

成績評価の方法

成績評価は提出された訳と作文の成績で判断される。

教科書

大岩著『やさしい独作文』三修社 ￥1,250

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	(前期) 加 ^か 藤 ^{とう} 節 ^{せつ} 子 ^こ (後期) 小 ^こ 玉 ^{たま} 齊 ^{なり} 夫 ^{あつ}	全学科3・4選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

中級文法読本教科書によって、これまでの文法事項を再確認するとともに、さまざまな文章の読解を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

おそらく小人数のクラスであることが予測され、その意味では授業の進展にもゆとりがとれますので、細部にわたっての説明も可能でしょうし、また文章領域にとどまらないフランス語・文化への接触も可能でしょう。

教科書は、第一部でやさしい物語を中心に、聞いて理解する力をのばす訓練、第二部では文法の知識を補うために、複文構造の理解力や条件法、接続法の復習を行い、第三部ではより高度な作品が読みこなせる力を養成するという構成になっています。

前期と後期では担当教員が代わりますが、後期には、受講者の希望にしたがい、フランス語検定試験の3級、2級受験のための授業も考えています。

履修上の留意点

せっかく始めたフランス語を、「もう少し完全に、もう少し上手に」したいと思う学生の積極的な参加を期待します。フランス語が「もっと楽しく」なるでしょうから。

成績評価の方法

教場で指示します。

教科書

福井芳男・丸山圭三郎『フランス語中級文法読本』5訂版(駿河台出版社 979円)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級中国語	李 雲 り うん	全学科3・4選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

日中語学の構造上の異同、特に表現法、発想法の相異を追求するのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、日中語学の違いを説明する短い文章を読みながら、一年、二年で習った中国語の文型・文法を系統的、総合的に学んでいく。

履修上の留意点

宿題として中文日訳を要求する。

成績評価の方法

出席重視で、2課に一回程度、訳の小テスト或いは感想文を要求する。

教科書

『中国語学講読 ことばのしくみ』（東方書店 1,010円）を主な教材として使うが、教材を購入する必要はなく、そのつど教室でプリントを配る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	上野 勝 広 うえ の かつ ひろ	全学科3・4選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰ・Ⅱで培ってきた基礎力を土台にして、語彙と表現力をさらに高めるための西作文演習クラスである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎文法および語彙をチェックするため、比較的易しい短文の西訳練習に集中する。後期は手紙文などのコンテキストとまとまりをもった分量の作文に発展させてゆく。

履修上の留意点

出席はもちろんだが、毎回授業の中で一定の課題をこなすことが要求される。受講者は積極的に学習に取り組まなければ、決して成果をあげることができない。

成績評価の方法

出席を含む平常点および随時提出を求める課題の成果により総合的に評価する。特に試験は行わない。

教科書

プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ロ シ ア 語	クロチコフ, ユーリー	全 学 科 3・4 選 (法律・政治除く)	2

講義のねらい

初級・中級のロシア語を復習しながら、より高度なロシア語を学び、偏りのない語学力をつけるように訓練します。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 日本人が誤りやすい発音インターツィアを抽出して集中的に練習します。
- ② 日本人が誤りやすいロシア語の単語の使用法、フレーズの用いられ方などを系統的に指摘し、正しい語法を学びます。
- ③ 日本人が誤りやすい文法の傾向をピック・アップしてどこがおかしいのか具体的に指摘し、正しい使い方を提示します。

成績評価の方法

出席と（ミニテストを含む）日常点、その他テストで評価します。

教 科 書

教場にて指示します。

英 会 話 II

〈英会話IIの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Iのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア500程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ピアス, D. M.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義の内容

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I ; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course ; please join in!

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
P. Ziegler	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this course is to teach students to recognize and produce high-frequency American idioms through natural conversation samples reflecting social customs. These are meant to serve as the basis for discussions. Newspaper articles may be introduced occasionally.

成績評価の方法

Student assessment will be based upon numerous homework assignments, weekly presentations, monthly quizzes and semester examinations.

教 科 書

All Clear! Idioms in Context, Heinle & Heinle ; copies

担当者名	配当学科	単位
David A. Wade	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

A selected conversation textbook could be usefully supplemented with current issues of English language newspapers that are readily available in Japan, such as *The Japan Times* and the *Asahi Evening News*.

I believe newspapers are one of the most helpful resources for getting students to speak up—whether it's to talk about a sumo tournament, the fashion news, a natural disaster, or the latest Beatles record. All too often, standard textbooks can be stuffy, intimidating and seemingly remote. Newspapers, even those in an unfamiliar language, are familiar objects packed full of information and opinions about matters that will immediately engage the students' interests.

講義の内容・授業スケジュール

The curriculum for a conversation class might be divided into three main areas :

1. Enlarging vocabulary and correct pronunciation.
2. Conversation strategies.
3. Conversation tactics.

Conversational strategies include the following :

Formal vs. informal discourse
 Conversational tone and verbal 'good manners'
 Starting a conversation—openings & introductions
 Keeping conversation going
 Organizing thoughts or arguments
 Informational exchanges (e.g., asking for directions)
 Commercial encounters (e.g., buying something in a store)
 Persuasive conversations (e.g., asking someone to do something)
 'Promotional' dialogues (e.g., talking at a job interview)

While Conversational tactics include such topics as :

Greetings—common phrases and formulas
 Introducing oneself or others
 Farewells
 Verbal place-holders and time-buyers
 Making sure one has been understood
 Requesting clarification
 Asking for confirmation
 Making generalizations
 Expressing personal opinions
 Signs of agreement
 How to disagree politely
 Expressing likes and dislikes
 Recognizing and signaling digressions
 Tag questions—how to spot them & how to use them
 Expressing hopes and desires
 Stating one's reasons
 Listening to & telling jokes

A typical class might be divided along the following lines :

- a. Short warm-up period of free conversation (this is also an opportunity to deal with any vocabulary or pronunciation problems that have arisen)
- b. Review of the previous week's assignments.
- c. Vocabulary and Pronunciation (key words for the week)
- d. Main topic-conversational strategy and/or tactics.
- e. Practice groups & pairings—arranged by the students' common interests (e.g. science and technology, current affairs, business, the arts, and so)
- f. Review summary (plus setting of assignment for next class)

Assignments could include such tasks as :

- * Finding new words to share with the group
- * Selecting a short text to explain in their own words
- * Expressing why they disagree with an article or editorial
- * Compiling a list of questions provoked by a particular piece
- * Preparing short talks about their own experiences in travel, sports, etc.

成績評価の方法

Methods of assessment and grading depend on the size of the classes and the facilities available. It could be chosen from an appropriate mix of the following :

- * Multiple choice quizzes to select correct words, phrases, and conversational tactics
- * Answering questions on tape (if language lab available)
 - answering short quizzes on set texts
 - personal responses to prerecorded questions
- * Short one-on-one interviews (if numbers make this practicable)
 - regarding a preset text or article
 - a mock job interview
 - about their own progress in this conversation class
- * Practice run-through of TOEFL-style questionnaires

教科書

Of the various textbooks that I've had the opportunity to review so far, one of the most promising appears to be :
 CONVERSATION GAMBITS : Real English Conversation Practices
 Eric Keller and Sylvia T. Warner
 (LTP-Meynard Publishing : 03-3491-1331)

In the next couple of days I'm also going to assess a brand new text :
 LET'S SPEAK (with cassettes, from Longman)
 Perhaps these two books would work well hand-in-hand.

参考書等

Plus, I would like all students to have a dictionary such as the LONGMAN ACTIVE STUDY DICTIONARY on hand to expand their vocabulary.

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア550以上。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間割表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ノーラン, デニス J.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

中級レベルでlistening, speaking and reading skillsを向上する目的で指導する講座であると共に教科書の各章の課題とその課題と関係あるビデオを通して、多くの国の文化と価値観を紹介する。レッスンの第1編として、ある外国人学生の履歴的なデータを提供し、それを元にしてリスニング練習を行う。次に、同じ人物についての短いエッセイを読ませ、その内容の理解度確かめるために質問に答えてもらう。また、本講座の受講生が自分自身のことについて話すように様々な練習が設けられている。第2編では、第1編に紹介した外国人の国に対する基礎的な知識を題材にしたリスニングと文章パターンの幾種類の練習をやることによって一つのレッスンが終わる。

講義の内容・ 授業スケジュール

大体、1時限で教科書の一章。

成績評価の方法

出席、授業参加、短いspeech、小試験、期末試験。

教 科 書

Speaking Internationally, Macmillan Language House, ¥1,600.

担当者名	配当学科	単 位
John Wells	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

Welcome students to my class. I'm sure that 1996 will be an exciting school year for all of you!

My English conversation class will be an open class for those students who are able to follow English lectures, and are willing to participate in group discussions on a variety of subjects.

During the school year, you will be asked to make an oral presentation to the class as well as write an occasional report whether it be on a movie that we watch, or some world news event.

The class is designed so that you will get an excellent chance to communicate your ideas to others.

履修上の留意点

Course prerequisite : a good command of the English language

Attendance : No student will be allowed to miss more than three classes during the school year

成績評価の方法

Grading : You will be strongly graded on participation as well as speeches, reports, quizzes or tests if given.

教 科 書

Classroom material : textbook (undecided) newspaper/magazine articles and printouts.

そ の 他

This class is not designed for the quiet student, but hopefully will be attractive for those students who would like to try to express themselves in English more aggressively.

担当者名	配当学科	単 位
Gary Dendo	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

This challenging course will focus on improving students' ability to express themselves through discussion and speechmaking. Students will be given an opportunity to discuss current social, political and economic issues as well as listen to commentary from the lecturer and other sources. Students will also have a chance to discuss topics of particular interest to them.

講義の内容・授業スケジュール

There will be a weekly discussion of current events. Every week, selected students will be assigned to prepare topics for discussion and lead their discussion groups. Speeches will be assigned on a regular basis.

履修上の留意点

Regular attendance and participation are absolutely essential. Students will be expected to keep themselves abreast of current issues in order to effectively participate in this class.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, participation speeches and interviews. Final grades will be calculated by the following formula :

$$\frac{(100-A) + X + Y + Z}{4}$$

A = Absences

X = Participation

Y = Speeches

Z = interviews

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 L L I	<small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話が出来るようにしたい。

教科書

テキストは教室で適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ボダン, エマニュエル	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

この授業では、フランスで作られたビデオを使って生のフランス語を聞きとり、できるだけ多くの日常表現に慣れる事、また実際に同じようなシチュエーションで自己表現できる能力を身につけることを目標とします。

成績評価の方法

テスト

教科書

Anne Monnerie 著 : Bienvenue en France. Tome 1 (Hatier Didier 出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 L L I	お ^{がわ} 小 川 ^{たかし} 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のビデオ・テープ教材を使って、会話と聴き取りの訓練を行う。既に中国語 I A - I B の単位を取得しているか、それと同程度の学習経験が有る人を対象とする。

この科目で目指すのは、I A - I B で習う基礎的な文法・文型の徹底的復習であり、新しい知識の獲得よりも、基礎知識を口と耳に定着させることの方を重視する。予習は必要ないが、前の時間にやった会話文はすべて暗誦してもらう。自主的な復習と反復練習がなければ、いかなる効果も期しがたい。逆にその時間と労力さえ惜しまなければ、1年間でかなり確実な基礎力を培うことができるであろう。

授業ではプリントで教材を配布するが、随時、基礎的な文法事項を復習する為、下記の教科書を毎回持参して欲しい。

教 科 書

山下輝彦『中国語の入門』白水社 ￥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者

※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。

授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語修得の上での基礎知識を増して頂きたい。

教 科 書

“Viaje al español”
テキスト及びVTR教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 L L I	^{あん} 安 ^{とく} 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ビデオ教材をつかって、日常会話に役に立つやさしいロシア語の練習をします。発音やイントネーションに重点をおいた反復練習により、ロシア語の独特な表現を身につけることを目的とします。はじめはゆっくりしたスピードでも段々ナチュラル・スピードに馴れるようくり返し反復します。ロシア語に自信のない人でも大丈夫です。生のロシア語を耳ならしのつもりで聴きにいらして下さい。

成績評価の方法

出席を重視します。テストはもちろんオーラル・テストです。

教 科 書

教場にて指示します。

英語 L L II

〈英語 L L II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：L L I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を習得します。英検準1級合格程度をめざします。

担当者名	配当学科	単位
Peter A. Bendinelli	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

A CONTINUATION LANGUAGE LABORATORY COURSE FOR STUDENTS WITH CONFIDENCE IN THEIR ABILITY TO HEAR AND ANALYZE ORAL ENGLISH. A COURSE FOR AGGRESSIVE STUDENTS WHO ARE NOT HESITANT TO SPEAK UP IN THE CLASSROOM. HIGHLY RECOMMENDED FOR STUDENTS WITH KNOWLEDGE OF AND INTEREST IN SOCIOECONOMIC PROBLEMS.

講義の内容・授業スケジュール

VIDEOTAPED CLIPS OF CURRENT NEWS EVENTS WILL BE USED TO INTRODUCE SUBJECTS FOR EVENTUAL CLASSROOM DISCUSSION. MOST TOPICS WILL RELATE TO CURRENT ECONOMIC, POLITICAL AND SOCIAL PROBLEMS. SOME INDEPENDENT STUDY AND WRITING OF REPORTS TO FORTIFY KNOWLEDGE AND UNDERSTANDING OF TOPICS REQUIRED.

教科書

NO REQUIRED TEXT BUT READING A DAILY NEWSPAPER, EITHER IN ENGLISH OR JAPANESE, AND HAVING AN UNDERSTANDING OF CURRENT PROBLEMS FACING JAPAN AND THE WORLD IS NECESSARY.

担当者名	配当学科	単位
にしむら ゆうこ 西村 祐子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

英語の基本表現の仕方を学習しながら聞き取りと発音の訓練を続ける、中級英語のL Lクラス。英語によるエッセイ、サマリー等の課題が出るので英文ワードプロセッシングが出来ることが望まれる。授業はL L教場でのビデオとテープによる学習、更に後期はコンピューター教場でマルチメディアを用いた授業となる。尚、英語はBritish Englishを基本としている。参加者は最終的にTOEFLで450~480点、もしくは英検準1級程度の実力をつけることを目指す。

成績評価の方法

成績評価は平常点と宿題の提出、毎月の小テストによる総合評価による。

教科書

ブリテン・エクスプロード (Britain Explored ; 英潮社)

参考書等

Grapevines III (オックスフォード大学出版), Challenges (BBC)

担当者名	配当学科	単 位
かざ 風 間 のり ひ こ 則 比 古	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

LL機器を使うことで正確な発音の勉強を行ない、同時に集中して教材を聞くことでヒヤリング能力の向上を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

授業を通して英検やTOEFLなどの受験への対応をも考慮に入れた。

履修上の留意点

各自、空テープ（60～90分程）を用意して来て、家で聞いて復習すること。

成績評価の方法

前・後期の試験に加えて、小テストも重視する。

教 科 書

Communication Through English, 英宝社, 1,957円

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
ド イ ツ 語 L L II	こ ばやし 小 林 ゲアリンデ	全学科3・4選	2

講義のねらい

LL IIでは、ドイツ語を読み、書き、聞く能力を養うほか、文法を学びます。また時には遊びも入ります。しかし何よりもドイツ語を話すことに重点をおきます。

履修上の留意点

ドイツ語FLLIを履修したすべての学生を対象とします。また、LLI以外のドイツ語の授業ですでに文法と会話を学び、さらにドイツ語の日常会話を学びたいという学生も歓迎します。

教 科 書

テキストは“Themen neu 1”を使用し、今年度は語は第4課からはじめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 L L II	ボダン, エマニュエル	全学科3・4選	2

講義のねらい

すでに学んだ初級文法の知識を確認しながらそれをコミュニケーションのための活きたフランス語へと少しでも前進させることがこの授業の目的です。そこで「聞く」力の養成をはかりながら、それを自ら「話す」力へと転化していくことを目標に、同時にさまざまな対話や文例に接することで、1) 表現パターンの習得、2) 「聞く」ことも含めた理解力の養成、3) 「語彙」の拡大を中心に授業を進めていきます。

成績評価の方法

テスト。

教科書

最初の授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 L L II	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科3・4選	2

講義のねらい

比較的高度な中国語会話・聞き取り等の授業を行うので、既に4科目8単位、LLI又は1C程度の音声学習経験を持ち、基礎中国語学力がある者を対象とする。中国映画ビデオを楽しみながら、生きた中国語会話を習得するのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

字幕の付いている中国映画ビデオを見ながら講義を進める。最初は短かく2～3分程度で、完全に理解出来てから次の2～3分へ進む方式でやる。又必要に応じて句の説明・関連語句・文法・文型の解説なども行う。できれば前期に1本、後期に1本のビデオを終わらせたい。

履修上の留意点

LL教室を使用するので、教室で禁止している事項を遵守すること。会話の練習を行うので各自カラ・テープを持参すること。

成績評価の方法

出席は成績評価において重要な判断材料となる。又授業中に見られる実際の習熟度に基づいて評価する。

教科書

中国語映画ビデオ 「良家婦女」
貴州省の山奥の村へ嫁いできた杏仙の生・性・愛・目覚めを叙情的に描いて、中国最大の滝、壮麗な黄果樹瀑布を背景に「女の性」に大胆に取り組んだ異色作。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難，御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し，音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教 科 書

“Viaje al español” 上級編
 テキスト及びビデオ教材

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 L L II	あん とく 安 徳 ニーナ	全学科3・4選	2

講義のねらい

ロシア語を一年以上履修した人かまたはそれと同程度の学習歴のある人を対象にします。この講座ではロシア人のナチュラルスピードに馴れてもらうと同時に，自らも発話をしてもらうように学生諸君にチャンスを与えます。自分が考えていることをきちんと相手に伝達できるかどうか基本的文型を復習しながら，能動的発話の訓練をします。また映画やビデオをとりあげ，ロシア語の独特な表現を暗記してもらいます。

成績評価の方法

授業への出席，オーラル・テストにより成績を評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

英語 L L III

〈英語 L L III の授業内容と履修上の留意点〉

上級：L L II を修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL550 点以上を目指した訓練コースです。

担当者名	配当学科	単 位
いわ 岩 やま 山 よし 義 はる 春	全学科 2・3・4 選 短国・短英 2 選	2

講義のねらい

この授業は留学して大学の講義についていけるようになることを目標とする。授業の前半では文学・歴史・哲学等に関する講義ビデオを見て問に答えたり、アウトラインを書いたりする練習をする。後半は数人のディスカッションのテープを聞き、ノートの取り方を学ぶ。

履修上の留意点

毎回の出席が望まれる。

成績評価の方法

毎回 2 枚のペーパーを提出してもらい、A B C 評価をつけて返却する。これが全評価の 70% の成績となる。前期 2 回、後期 2 回テーマを決めて Speech をしてもらう。これが定期試験となる。この 4 回の Speech が全評価の 30% の成績となる。欠席率が全授業回数の 1/3 を超えた場合は不合格となる。

教 科 書

プリント使用。『60 Minutes』(CBS) や The Open University の講義等を中心に学ぶ。

担当者名	配当学科	単 位
にし 西 むら 村 ゆう 祐 こ 子	全学科 2・3・4 選 短国・短英 2 選	2

講義のねらい

上級 L L のクラスとして、まず前期は英語のテープを聞き取りながらその流れを掴む練習をする。後期はビデオを見ながらの英語での説明の訓練、および英国の大学授業のテープ等を利用しながらの英語でノートを取り、内容をサマライズする訓練を積む。参加資格を限定する小クラスのため、第一回目に選抜の為の小テストを行う。最終的には英国の大学に留学可能な程度（英検 1 級程度）の実力がつくことを目指すため、参加者は日常的にかなりの量の英語の聞き取り訓練が求められる。

教 科 書

授業で指定する。

担当者名	配当学科	単 位
おお ざわ ひさ子 大 澤 ひさ子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

テープが聞きとれ、それについて意見が述べられるのをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) テープの聞きとりとNew Michigan MethodによるExercise
- 2) ビデオとExercise

成績評価の方法

LL実習出席40点 前後期試験・練習問題計60点

教 科 書

English Language Institute
The University of Michigan,
Michigan Action English Step 6
World Times of Japan, Inc.
その他 ビデオテープ

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
ド イ ツ 語 I A (選)	し みず おさむ 清 水 修	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語、および英語と比較対照しながら理解し、身に付ける。また、基礎的な語彙を修得する。ドイツ語の学習においては、また実際の言語運用においても「話す・聞く・書く・読む」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙が重要である。この授業では、「書く・読む」に重点をおいて授業を進める。

また、大部分の学生が大学生になって、第二外国語として学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら、授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になります。そしてこれが日本語や英語に対する理解をさらに深めることになると思います。

成績評価の方法

年に2回実施する試験等で総合的に判断する。

教 科 書

早川東三 「ドイツ文法の入口」 朝日出版社

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	たけだまさずみ 竹田正純	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

フランス文法のおおよそを学ぶが、1年後には、簡単な文章を書き、辞書をつかってどんどん文章が読みすすめられる程度の応用力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

A B Cから接続法までを学ぶ。初修言語に慣れるよう、発音・動詞変化の練習も頻繁に行う。

履修上の留意点

授業はかなりのスピードをもってすすむので予習復習を心がけなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力と応用力の二種のテストを行う。

教科書

土居寛之『新12課のフランス語』（朝日出版社）¥1,200

参考書等

朝倉季雄『朝倉初級フランス語』（白水社）¥1,300
竹田正純『おぼえるためのフランス語動詞変化表』（朝日出版社）¥1,000

その他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	かまや 釜屋 修	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

選択科目の中国語入門クラスである。I B (小寺)とセットになったクラスであるが、事情によってはこのクラスだけでも選択できる。I Bとあわせて学ぶことでより体系的な学習が可能となるが、このクラスだけを選択する人もいることを考慮して、この時間だけで完結するようなテキストを採用した。全15課、会話体の本文、文法ポイント、力だめし(練習問題)で構成されているが、順序通り週1回学んでいく。正確な発音、確実な基礎文法の学習と楽しい授業をめざす。

成績評価の方法

出席を重視し、成績は年間数回の試験・小テスト、平常点、出席点などで総合的に判定する。

教科書

『しなやかに中国語』（山下輝彦・李青・関根謙・新谷雅樹/同学社/1,700円）

参考書等

辞書、参考書については、授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A (選)	L.S. NAVÁRRO-POLO <small>ナバロ ポロ</small>	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIÉNとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II ・IRA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気
の表現・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置
13. 比較の表現・最上級
14. 過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験 —— 7月と1月 ——

教 科 書

コピー

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A (選)	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語の初級文法を学ぶと共にかんたんなロシア語らしい表現も身につけてもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

必修クラス I A に準じますが、このクラスでは初歩の文法を徹底的にやります。

成績評価の方法

出席、平常点、期末の二回のテストで評価します。

教 科 書

中島由美他著 『ロシア語へのパスポート』 白水社 2,200円
その他プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語 I B (選)	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスは、ドイツの日常生活を題材にしたやさしい文章からはじめますが、授業が進むにつれ、ドイツ的なものの美しい内面にも触れたいと思います。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步の積み重ねが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は年に三回行います。この三回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教 科 書

小塩節『美しいドイツ語』初級，朝日出版社，1,236円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

文法事項を解説しながら、フランス語の聴き取り、発音練習を行なっていく一方、辞書を使って読解を試みていきます。教材は口語的なフランス語でフランス人の日常生活にふれられるような内容です。

成績評価の方法

試験は年3回、筆記で行なう予定ですが、履修者の数が少なければ口述で行なうかもしれません。他に必要に応じて書き取り、小テストも。

教 科 書

『ぶち なびる』
渡辺誠一，川合信雄，玉井崇夫，平林和幸著，白水社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I B (選)	こ 寺 春 水 こ 寺 春 水	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

初級段階で必要な語法（文法）規則を簡便にまとめたもの。一年かけてこのルールを身につけ、簡単な会話ができることをめざす。前期は発音に重点をおき、毎回小テストを実施する。後期はテーマ別の会話練習を行う。毎回出席し、声に出して発音練習することが要求される。テストは、前期は毎回の小テスト、後期は定期テストの他に口頭によるテストを一回実施する予定。

I A（選）とあわせて学習することが望ましい。

教 科 書

『語法ルール66』（朝日出版¥1,545）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I B (選)	うりたに 瓜 谷 アウロラ	全学科1・2・3・4選 短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスではスペイン語の初級文法を学ぶとともにかんたんな会話の練習にも力を入れたいと思います。語学の修得には地道な努力が不可欠なので出席も重視します。

教 科 書

宮本博司『Lecturas para empezar 楽しいスペイン語文法読本』 大学書林 ¥1,236

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B (選)	きむら ひてあき 木 村 英 明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語の初級文法を学びながらかんたんなロシア語の文章を理解できるような力をつけてもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

必修クラス I B に準じますが、特にこのクラスは読みに力を入れます。後期の授業からは辞書の持参を忘れないで下さい。

成績評価の方法

出席、平常点、年二回のテストで評価します。

教 科 書

中島由美他著 『ロシア語へのパスポート』 白水社 2,200円
その他プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II (選)	し ま と み え 志 真 斗美恵	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

ドイツ語 I で学んだ文法を基礎として、その復習を兼ねながらやさしい読み物を読みます。それを通じて、ドイツ語の文章、とりわけドイツ語特有の語形変化や構文になれ、辞書をひきこなす力をつけ、辞書があれば簡単なドイツ語の文章を読めるようにしたいと思っています。

また、テープを通して生のドイツ語を聞き、ドイツ語の音声になじみ、口を動かす訓練をします。

履修上の留意点

辞書を持ってくること。欠席はさけてください。

成績評価の方法

定期試験および平常点で評価

教 科 書

ミヒヤエル・エンデ著 (高田博行編) 『オフェーリアの影一座』 白水社刊 1,400円
上記テキストの他に随時プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	はま まき せつ お 夫 浜 崎 設 夫	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

中級フランス語の学習。特に記述文の読解。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は簡潔な文章で書かれたミニ・フランス史である。したがって、これは中級フランス語の講義であると同時に、波瀾万丈のフランス史の講義でもある。興味深い歴史上の逸話なども紹介したい。予定として、まず古代ヨーロッパ文明の成立過程を説明し、その上で第1課「古代ローマ時代」に入りたい。前期は第7課「十字軍」あたりまでにし、後期にフランス革命に至る流れをたどりたい。

履修上の留意点

予習を必ずすること（最低でも単語を調べてくること）。辞書は必ず持参すること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験の結果（和訳のみ）。予習（これは大きな比重を占める）。出席回数。授業態度。レポート（年に2回、テーマはフランス史）。

教 科 書

『フランス小史』。編者、安斉和雄。第三書房。1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語Ⅱ(選)	ふ せ なお こ 子 布 施 直 子	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

一年間の初級段階の中国語学習の基礎の上に、文章にふれ、読解力を養うことを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代文を読みとることを通して、中国に生活する人々の生活のありさまや、習慣、考え方に関心を向け、中国に対する理解を深めたい。

履修上の留意点

教科書の叙述は平易であるとはいえ、会話とは趣を異にし、1年目に劣らず新しい単語が次々と出てくる。辞書にあたり、既習の語法知識を応用して意欲的に取りくむことを望む。また、辞書を引いて意味が通ればこと足りる、という段階にとどまることなく、よく読めるようになるまで繰り返し音読することが大切であると考え。

成績評価の方法

出席状況と、分担部分の発表にあたっては責任をもってなし遂げるというような、授業への主体的な参加を重視する。あわせて、前後期各2回ずつのペーパーテストによって学習の成果を評価する。

教 科 書

荒川清秀他著『中国——人と暮し』光生館 1,339円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ(選)	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選 短国・短英2選	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

動詞の過去形(不完了過去・不定過去)を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教科書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語Ⅱ(選)	クロチコフ, ユーリー	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初歩のロシア語を復習しながら、より複雑なロシア語の文型や、表現を耳より学習します。またロシア語の正しい表記や発音にも留意しながら、速読で文章の大意がつかめるように練習します。

成績評価の方法

出席を何よりも重視します。
年に一回、簡単なテストをします。

教科書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短 国 1 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

20世紀のアメリカ文壇を代表する作家たちの作品を講読しながら、より高度な構文の理解と大意の把握を身につけるようにする。また、リスニング用のサブ・テキストを使用して、リスニングの力を高めていくようにします。

成績評価の方法

以下の項目を検討して、総合的に評価する。

1. 定期試験
2. 小テスト
3. 授業時の発表
4. レポート
5. 出席状況

教 科 書

- 1) 『ビューリッツァー賞作家——傑作短篇集——』（朝日出版）¥1,236
- 2) 『10分間ベーシック・リスニング』（桐原書店）¥950

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 選	2

講義のねらい

20世紀の偉大な英国の小説家の一人であるD. H. ロレンスの青春時代を描いた人、ジェンイ・チェインバーズの「記録」を読み、英文の内容の把握と読解力の涵養に努める。辞書を活用して事前に準備を行なうこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

J.Chambers : D.H.Lawrence
A Personal Record 「ロレンスの青春時代」 三修社 ¥1,100

そ の 他

金曜・3限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	おおかわ ひろし 大 川 浩	短 国 1 選	2

講義のねらい

英国の作家、D.H.ロレンスとの生活を描いた、妻フリーダーの残した生活記録の英文を読み、ロレンスの世界、彼の思想、その生きざまなどへの理解を深め、あわせて英文の内容把握と読解力の涵養を意図する。

履修上の留意点

辞書を活用して事前に準備を行なうこと。欠席・遅刻の回数の減少に充分、留意する。年間を通じて座席を固定する。

成績評価の方法

前期・後期の試験結果を中心として、夏季休暇中に出題される課題提出、及び随時、施行される小テスト等の成績を含めた平常点を加味して評価基準とする。

教 科 書

“Not I But the Wind…” 弓プレス ¥1,009

そ の 他

金曜・4限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短 国 1 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

文体の優れた小説を原文で読む楽しさを共有できればと願っています。手始めに、Kazuo Ishiguroの二つの短編 The Summer after the War と A Family Supper を取り上げます。Kazuo Ishiguroは1954年長崎で生まれ、1960年から英国に住んでいます。第一作、第二作の小説はいずれも英国の文学賞を獲得し、刊行第三作の The Remains of the Day (1989年)は最も優れた小説に与えられるBooker賞に輝いています。授業では二短編の音読をカセットテープで聞き取る練習もします。演習形式なので予習を前提とします。後期は皆さんの希望を聞きながら、作品を選ぶ予定です。

成績評価の方法

平常授業での担当発表、聞き取り小テストと前期・後期試験の成績を総合し評価します。

教 科 書

Kazuo Ishiguro, 深沢俊 (編注) 「カズオ・イシグロ秀作短編二編」鶴見書店 ¥876

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 選	2

講義のねらい

「“英作文・スピーチ、口語的表現等の基礎を養い、書く、聞く、話す能力を身につける。” “……教養と実用の両面から読み書き話すこと、また……その国の文化、歴史、風俗、思考方法等を知ること。専門書を原書で読めるようになることを目標としています。”」—— 外国語部英語科

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 30～40分間 テープの英語 a short speech
- ② 50～60分間 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、19世紀英文学への理解を深める。

前 期

- ① Natural Speedで英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家Thomas Hardyは、運命論者として知られ、「この宇宙にはImmanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語
 - b. 教科書
- ② a short speech (授業時間中)
- ③ 課題のレポート提出

教 科 書

- ① To Please His Wife And Other Stories
- ② Listening Capsules.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	よし ざわ えいじ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短英 1 選	2

講義のねらい

英作文を主にやっています。和文の大意が表われておれば可、という心積もりで進めて下さい。

履修上の留意点

和英, 英々辞典を活用のこと。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教科書

第1回の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	よし だ ふみ こ 吉 田 文 子	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

同じ系統の言語である英語と比較しながらドイツ語という未知の言語の輪郭を掴み、それに慣れてゆくことを目標とする。ドイツ語圏の文化にも触れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単な文法事項の説明の後、実際に短文を読む。前期はドイツ語の特徴に慣れることに重点を置く。後期は複合時称をはじめとする複雑な文を扱う。

履修上の留意点

何よりも一定量の語いを覚えるよう努めること。日々少しずつ積み重ねることをおこたらないこと。

成績評価の方法

単語をはじめ覚えていただきたい簡単な事項のショートテスト, 期末テスト, 授業態度を総合して評価する。

教科書

「グリムと旅して」三修社, 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	あ づま ゆう じ ろ う 吾 妻 雄 次 郎	短国・短英1選	2

講義のねらい

週1度の授業を、楽しく効果的に行うことができるよう、教科書選びにも留意したつもりです。『基本対話例』『テキスト』そして『練習問題』から成るこの教科書を通じて、初歩的な文法の知識、日常の挨拶、生活に必要な簡単な会話等を学んでいきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

外国語の理解には文法は不可欠ですが、初めはあまりこれに捉られる必要はありません。全16章から成るこの教科書は、文法項目の前に『基本対話例』1, 2が置かれていて、さらに『テキスト』『練習問題』等によって理解をいっそう確かなものにしてという意図で編まれています。カセットテープを利用しながら進めていき、秋の終わり頃までに一応完了の予定です。

履修上の留意点

従って縁あってこのクラスで学ぶことになった学生諸君は、常に積極的な姿勢で臨んで欲しいと思います。それにはたとえ短時間であっても集中的に予習・復習に時間を裂き、明るい、楽な気持ちで授業に参加することが第一です。

成績評価の方法

年に二度ほど試験を行います。また必要に応じてまめテストのようなものを行うこともあります。出席はとりますが、あくまでもこれは参考にするまでであって、授業の展開にいかに関心を持って参加しているかを重んじたいと思います。言わば「平常点評価」です。

教 科 書

関口一郎著『楽しくドイツ語を!』 郁文堂 ¥1,854

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	短国・短英1選	2

講義のねらい

文法に片寄らないで、バランスよく聴く・話すを中心にすえて、総合的な力が身につくようにする。読解力の涵養にも十分な時間を割いていく。

講義の内容・授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、不足気味の読解には、別に副教材を配布して補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので積極的に参加しなければならない。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

野内良三『決まり文句・入門フランス語』（白水社）¥2,100

参 考 書 等

数江譲治『フランス語のABC』（白水社）¥1,600

そ の 他

発音練習のため、指定するカセット・テープで自習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	伊 禮 智 香 子 <small>い れい ち か こ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

基本文法をおさえた上で、発音に留意しつつ応用会話を数多く習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に沿って行う。

履修上の留意点

自宅での学習として、暗誦を課す。くり返し、教材テープを聞いて正確に復誦できるよう努めること。

成績評価の方法

前期・後期試験と小テスト、授業中の解答状況や出席状況などで総合的に判断する。

教 科 書

相原茂・戸沼市子『入門・北京カタログ』朝日出版社 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	佐 藤 紘 子 <small>さ とう ひろ こ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

知識としてのスペイン語より実際に使えるスペイン語の習得をめざす。基本の文法事項を学びながら、身近な事柄から表現できるように指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

初級用テキスト（20課）を終わらせるのを一応目標とするが、生徒の希望や理解度に合わせるので、必ずしもスケジュール通りに進むとは限らない。

履修上の留意点

外国語の習得には、根気よく少しずつ知識を積み重ねて行くことが大切である。それには、当然の事ながら、授業にできる限り出席すること、必ず復習をしてから次の授業に出ること、毎日少しずつ単語を覚えて語彙を増やす努力をすることを勧める。

成績評価の方法

毎回授業の始めに、前回の学習事項についての簡単なテストを行う。この小テストと後期試験で最終成績評価を決定する。

教 科 書

石崎優子、フェリサ・レイ「スペイン語世界への窓」、芸林書房、1,845円

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	伊 藤 幸 一	短国 2 選	2

講義のねらい

木を見て森を見ない、ことのない様に、また自主的に「調べる」癖がつき、それを、「分らない」ことも含め、然るべく発表出来る様に、更に、以上が、何かの「基礎」になれば。

成績評価の方法

着席しているだけでは出席とはならない。毎回当てて、やってもらう。予習だけでなく復習も大切、年3回（5月末／夏休み後／入学祭後）レポート提出を課し、最後に、締括りのテスト。評価は、以上3点、出席、レポート、テストによる。詳細は最初の授業時に説明。

教科書

『The Bridges of Madison County』

そ の 他

授業は楽しくあるべし、それには、ある程度の予習をしないと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	石 原 孝 哉	短国 2 選	2

講義のねらい

英文を読んで、大意を把握したうえ、テキストなしで映像を見ながら、Listeningの能力向上をはかる。英語を通してイギリス文化を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

予習を前提にした演習方式で授業を進めるので、出席を重視する。レポート、小テストなど積み上げ方式の授業を行なう。

履修上の留意点

ある程度の基礎力はあるがListeningの能力向上を目指す学生の受講を望む。

成績評価の方法

中間テスト、学年末テストおよび、小テスト、レポート、平常点などによって総合的に判断する。

教科書

- a. 『Touring England』（ビデオで周遊・イングランド） 北星堂, 1,600円
- b. 『Basic Listening』 観見書店 824円

参考書等

教科書準拠のビデオテープを利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	おお さわ ひさ子 大 澤 ひさ子	短 国 2 選	2

講義のねらい 英語 I を基礎として、運用能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール ビデオのdialogueを見て、Exerciseをする。

成績評価の方法 前後期各50点、free compositionの提出物有り。

教 科 書 Frank G Steele, Living in Washinton n.c.i, Longman

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	たま せい じゅ 滝 静 寿	短 英 2 選	2

講義のねらい 旧約聖書の「創世紀」を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール (4月) 『聖書』、『聖書物語』について
(5月) 「創世紀」“天地創造”から“バベルの塔”まで
(6月) “ノアの箱舟”
(7月) “天地創造”のビデオ鑑賞
(9月) “アブラハム”
(10月) “ソドム”
(11月) “イサク”
(12月) “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
(1月) 全体のまとめ

履修上の留意点 教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。
必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法 授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教 科 書 “The Story Bible” by Pearl S. Buck Vol. 1 英宝社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	よし ざわ えい し ろう 吉 沢 栄 治 郎	短 英 2 選	2

講義のねらい

エッセーを読んでゆきます。荘重なもの、軽妙なもの、ユーモアに富んだもの、等、さまざまな傾向のエッセーに親しんで、そのだご味を味わってもらいたい。

履修上の留意点

辞典を大いに活用すること。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験に行ないます。

教 科 書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

SF作家としても著名なアメリカの作家 I.アシモフ氏の著書“Words from History”中に収められた英単語にまつわる話を中心にさまざまな角度から英語力のレベル・アップを目指します。サンドイッチ、ゴシック、など身近な英語の由来や伝説を知り、同時に読解力の養成をし、また付加された練習問題により語の意味の把握、派生語、慣用句の用法、作文、ディクテーション等総合的な力の養成を図ります。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① Native Speakerによって吹き込まれたテープを聞き、hearingと発音の訓練を行なう。
- ② 内容について意見の交換をする。内容の理解力を深める。
- ③ 練習問題を行う。

本文内容についての意見の発表、練習問題の回答、いずれの場合もクラス全員の自発的発表参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発言と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価………60%
平常点………40%

教 科 書

“Words from History II” (Issac Asimov著 弓プレス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II	まつ おか すずむ 松 岡 晋	短国・短英 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだ文法知識を復習しながら、さほどむずかしくないドイツ語の文章を読んでゆくつもりです。同時にドイツの生活習慣などについても学んでいけたら、と思っております。

履修上の留意点

規則的出席と独和辞典の持参を切に希望いたします。

成績評価の方法

年数回おこなう予定の試験および出席状況などにより、総合的に判断して成績評価をおこないます。

教 科 書

信岡資生(著):ドイツの言葉・ドイツの生活〔改訂版〕, 三修社 ¥1,900

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II	い とう 伊 藤 な お	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

ある国の言語を学ぶことは、その国の文化を学ぶことでもあります。本講では、フランス人の日常生活について書かれた平易なテキストを用いて、発音、読解力の向上、文法理解の定着を図るとともに、フランス文化の一端、およびフランス人の抱える問題にも触れたいと考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

初級の少し難しい文法読本を用い、文法に関しては、最初は「フランス語 I」で学んだことの復習、以後は新しい事項の学習をしながら、テキストを読み進めていきます。最初の数課は簡単に読めると思います。いずれの場合にも、各課ごとに付された練習問題をすることで、学習事項の定着を図ります。

履修上の留意点

必ず指示された課題をして、授業に臨んでください。皆さんが積極的に授業に参加することを希望します。

成績評価の方法

平常点と、発音の試験も含めた前・後期の試験によって成績評価を行います。

教 科 書

『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房 2,000円)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ	李 ^リ 雲 ^{うん}	短国・短英2選	2

講義のねらい

通常の日常会話ができることと基本文型を身につけるのが、この講義のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は各課ともに本文、ポイント、ドリルの三つの部分から構成されている。まず一年で習ったピンインを復習して、本篇に入る。授業では、本文とポイントにウェイトをおき、ドリルは宿題とする。

履修上の留意点

出席重視で、4課に一回程度、小テストを行う。

成績評価の方法

『ドリル式中国語 テキストⅡ－日本と中国』（くろしお出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ	丹 ^に 羽 ^わ 昌 ^{しょう} 一 ^{いち}	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

一学期の前半は、一年次の復習にあてる。

履修上の留意点

動詞の活用など、一年次にくらべて文法内容はさらに煩雑になるので、履修者諸姉のより積極的な努力を期待したい。

成績評価の方法

期末テストの結果と同様、平常の学習態度も重視する。

教科書

一年次に使用した教科書をそのまま引き継ぐ。

保健体育科目

保 健 体 育 科 目

《必修科目》

健康・スポーツ実習, スポーツ実技	434
保 健 理 論 (前期) [短放] (吉 田 稔)	436

《必修科目・再履修クラス》

健康・スポーツ実習 [再クラス] (長 濱 友 雄)	437
ス ポ ー ツ 実 技 [再クラス]	
健康・スポーツ実習 (前期),(後期) [再クラス]	
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期) [再クラス]	
健康・スポーツ実習 [再クラス] (竹 田 幸 夫)	438
ス ポ ー ツ 実 技 [再クラス]	
健康・スポーツ実習 (前期),(後期) [再クラス]	
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期) [再クラス]	
健康・スポーツ実習 [再クラス] (宮 沢 栄 作)	439
ス ポ ー ツ 実 技 [再クラス]	
健康・スポーツ実習 (前期),(後期) [再クラス]	
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期) [再クラス]	

《選択科目》

生涯スポーツ実習 1・2・6・7 (前期),(後期)	
(長 濱 友 雄)	443
生涯スポーツ実習 3・4 (前期),(後期) (大 石 武 士)	443
生涯スポーツ実習 5 (前期),(後期) (大 石 武 士)	444
生涯スポーツ実習 8 (前期),(後期) (宮 沢 栄 作)	444
生涯スポーツ実習 9・10 (前期),(後期) (長 濱 友 雄)	445
生涯スポーツ実習 12・13 (前期),(後期) (牧 野 茂)	446
生涯スポーツ実習 シーズン・スキー (竹 田 幸 夫)	447
生涯スポーツ実習 シーズン・ゴルフ (三 幣 晴 三)	448
生涯スポーツ実習 (集中・前期) (江 口 淳 一)	449
生涯スポーツ実習 (集中・後期) (江 口 淳 一)	451

健康・スポーツ論 1	(江口 淳一)	453
健康・スポーツ論 1	(村松 誠)	454
健康・スポーツ論 1	(田中 佳孝)	455
健康・スポーツ論 1	(三幣 晴三)	456
健康・スポーツ論 1	(高橋 俊介)	457
健康・スポーツ論 1	(光永 吉輝)	457
健康・スポーツ論 1	(館岡 儀秋)	458
健康・スポーツ論 1	(大石 武士)	459
健康・スポーツ論 1	(江口 淳一)	460
健康・スポーツ論 1	(森本 葵)	461
健康・スポーツ論 1	(館岡 儀秋)	462
健康・スポーツ論 2	(大石 武士)	463
健康・スポーツ論 2	(三幣 晴三)	464
健康・スポーツ論 2	(宮沢 栄作)	465
健康・スポーツ論 2	(牧野 茂)	466
保健体育理論	(田中 佳孝)	467
保健体育理論	(村松 誠)	468
余暇学	(宮沢 栄作)	469
余暇学	(竹田 幸夫)	470

必修科目

健康・スポーツ実習 スポーツ実技 開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日		
1	禪・仏教・国文	※江口	トレーニング	商	牧野	室内球技	政	村松	室内球技	短	※田中	ソフトボール
		村松	ハンドボール		※田中	卓球		※竹田	体操		村松	室内球技
		森本	ジョギング		江口	テニス		光永	トレーニング		高橋	テニス
		竹田	体操		高橋	空手道		大石	空手道		三幣	ゴルフ
		高森	卓球		舘岡	ゴルフ		森本	ジョギング			
		関本	室内球技		光永	トレーニング		江口	テニス			
		矢野	剣道		幸前	ソフトボール						
		浅野	テニス									
		内山	ソフトボール									
2	英文・地理	田中	トレーニング	経済	※牧野	室内球技	法律	村松	室内球技	経営	※光永	トレーニング
		※村松	ハンドボール		田中	卓球		竹田	体操		舘岡	ゴルフ
		森本	ソフトボール		高橋	空手道		光永	トレーニング		森本	ソフトボール
		竹田	体操		舘岡	ゴルフ		大石	太極拳		牧野	室内球技
		高森	卓球		光永	トレーニング		森本	ソフトボール		江口	テニス
		関本	室内球技		幸前	ソフトボール		※舘岡	ゴルフ		高橋	空手道
		矢野	剣道									
		浅野	テニス									
		内山	ジョギング									
3	歴史・社会	田中	サッカー	経済	※牧野	室内球技	法律	村松	室内球技	経営	※光永	トレーニング
		※森本	ソフトボール		田中	卓球		竹田	体操		舘岡	ゴルフ
		竹田	体操		高橋	テニス		光永	トレーニング		森本	ソフトボール
		江口	トレーニング		舘岡	トレーニング		江口	テニス		牧野	室内球技
		高森	卓球		三幣	ゴルフ		森本	ソフトボール		江口	テニス
		関本	室内球技		幸前	ソフトボール		※舘岡	ゴルフ		高橋	空手道
		矢野	剣道									
		浅野	テニス									
		内山	ジョギング									

※は、科目の主担当者。

科 目 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習	全学年 1 必	2
ス ポ ー ツ 実 技	短大 1 必	

体育実技のねらい

本学の健康・スポーツ実習は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きて行くうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の健康・スポーツ実習は、さまざまなスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

講義種目及び履修方法について

健康・スポーツ実習は1年次必修科目で玉川校舎にて行ないます。

通年で2単位が認められます。

クラス制をとっており各学部学科別に指定された曜日、時限の授業を受講しなければなりません。

開講種目は表の通りですが、前期、後期で同一の種目を選択することは出来ません。

種目毎の目標及び授業計画については、別冊の保健体育科目履修要項を参照すること。

(1) 受講種目の決定

前期第1回目の授業において前・後期の選択種目を決定します。当日の服装は、普段着で結構ですが、必ず出席してください。

(2) 履修届

教務部に提出する『履修届』の科目名・担当名は『授業時間表』の科目名・担当名を記入してください。選択した種目及び当該教員名ではありません。

(3) 評価について

評価の尺度は各教員によって異なります。保健体育科目履修要項を参照してください。

(4) 見学について

体調の悪いときは、指導教員の許可を得て授業を見学することが出来ます。

ア. 長期見学者：身体の生涯や病気のため長期にわたり運動が出来ないものについては、長期見学者として取り扱うことを基本とします。みんなのスポーツという観点から授業参加の形態については指導教官と良く相談して出来るだけ参加出来るよう心掛けるつもりです。

(5) 服装・更衣について

保健体育科目履修要項を参照してください。また、詳しくは、第1回目の授業時に説明がなされます。

(6) 盗難・事故・負傷について

ア. 盗難：貴重品の管理には十分注意して下さい。やむを得ず持参した場合には、指導教員または、事務所に管理を依頼することが出来ます。

体育実技の時間を狙った常習者が横行しているので十分注意して下さい。

イ. 負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には、直ちに指導教員に報告し指示を受けるようにして下さい。

(8) 掲示について

雨天等の指示など特別な連絡事項がある場合は、事務室前の掲示板または、玉川校舎入口の黒板に掲示しますので注意してください。

そ の 他

健康・スポーツ実習は、種目によっては、天候に左右され、本来計画していた学習内容が変更されることが少なくないと予想されます。また、受講する学生の能力によって学習の進捗が変更されることも考えられます。保健体育科目履修要項に掲載される各種目の授業計画案はあくまでも目安であることに留意して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 (前期)	よし だ みのる 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好（well-being）な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これはWHO憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

石川哲也他著「新編公衆衛生学（第2版）」（東京教学社）

参 考 書 等

『国民衛生の動向』（厚生指標 臨時増刊）厚生統計協会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全 学 科	2
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

- (1) できるだけ授業に出席することを心掛ける。
- (2) 準備運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高めるよう努力する。
- (3) バスケットボール・卓球・バドミントンの技術やルールを習得し、将来様々なスポーツに取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で強調性を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. } ドリブル・パス・シュートの練習
3. }
4. }
5. } 総合練習・ゲーム
6. }
7. }
8. 卓球の説明・サーブ・ラリー
9. サーブ・レシーブ・ラリー
10. }
11. } 総合練習・シングルスゲーム
12. }
13. }
14. }
15. } バドミントンの説明・ラケットとシャトルを使った遊び
16. }
17. }
18. } サーブ・レシーブ・スマッシュ
19. }
20. } 総合練習・シングルスゲーム
21. }
22. }
23. }
24. }
25. } 総合練習・ダブルスゲーム
26. }
27. }
28. }
29. }
30. }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (4) 自分の荷物は各自で十分管理する。

成績評価の方法

出席80%、総合評価20%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	たけ だ ゆき お 竹 田 幸 夫	全 学 科	2
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】
- 1時限 オリエンテーション、前期授業内容の説明
 - 2時限 卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
 - 3時限 " (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
 - 4時限 " (シングルスゲーム)
 - 5時限 " (シングルスゲーム)
 - 6時限 " (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
 - 7時限 " (ダブルスゲーム)
 - 8時限 " (まとめと評価)
 - 9時限 バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
 - 10時限 " (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
 - 11時限 " (ルール解説、シングルスゲーム)
 - 12時限 " (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
 - 13時限 " (ダブルスゲーム)
 - 14時限 " (ダブルスゲーム)
 - 15時限 " (まとめと評価)
- 【後期】
- 1時限 オリエンテーション、前期授業内容の説明
 - 2時限 バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
 - 3時限 " (アタックとブロックの技術、ルール解説)
 - 4時限 " (フォーメーション、ゲーム)
 - 5時限 " (ゲーム)
 - 6時限 " (ゲーム)
 - 7時限 " (ゲーム)
 - 8時限 " (まとめと評価)
 - 9時限 バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
 - 10時限 " (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
 - 11時限 " (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
 - 12時限 " (ゲーム)
 - 13時限 " (ゲーム)
 - 14時限 " (ゲーム)
 - 15時限 " (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全 学 科	2
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕		短 大	2
健康・スポーツ実習 (前期),(後期)〔再クラス〕		全 学 科	(半期) 1
ス ポ ー ツ 実 技 (前期),(後期)〔再クラス〕		短 大	(半期) 1

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活における動的プログラムは益々減少しつつある。このような環境の中にあつての身体運動の意義を再認識し、生涯身体を動かす意識を育成し、その実践として開講する。

講義の内容・授業スケジュール

実施内容は室内球技として、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の四種目を実施する。

原則的な展開としては、各々の種目を5～8時間づつ実施する。ただ受講者数によっては、2種目を同時に実施することもある。ここではとりあえず1種目づつの実施スケジュールを記して置く。

(1時間目)

オリエンテーション、授業目標の説明

(2～4時間目) バスケットボール

ボール扱いとしてパス、ドリブル、シュート技の基本技術

(5時間目)

3：3のバスケットゲーム

(6～9時間目)

5：5のゲーム

(10～15時間目) バレーボール

パス、トス、スパイク、サーブの基本技術を行った後に、6人制ゲーム。

(16～22時間目) バドミントン

コート4面を使用して、シングルス、ダブルスのゲームを主とする。

(23～28時間目) テーブルテニス

基本的技術と同時に、シングルス、ダブルスのゲームを行う。

(29～30時間目) テスト

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装は運動の出来るもの、体育館用シューズを用意すること。
- (3) 用具は全て貸与する。

成績評価の方法

出席率、テストにより評価する。

選 択 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習1・2・6・7 (前期),(後期)(バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動, 練習およびゲームなどを積極的に行ない, 体力や運動能力を高める。
- (2) バドミントンの技術やルールを習得し, 生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから, これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また, 技術課題として, 以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンド・バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) スマッシュを打つことが出来る。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. サーブ, ラリー
3. サーブ・スマッシュ・ドロップショット
4. 片面での簡易ゲーム
5. }
6. } 総合練習・シングルスゲーム
7. }
8. }
9. }
10. }
11. }
12. }
13. }
14. }
15. }

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (3) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- (4) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%, 総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習3・4 (前期),(後期)(トレーニング・ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

体力づくりは, トレーニングマシンがなくてもできる。簡単な器具やペアーになって行う体力づくり, アイソメトリックトレーニングを正しく行い, 現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。またニュースポーツ, 二十一世紀の自由スポーツ, 簡単で安全, 手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚として, 自由奔放に楽しみながら, 生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 トレーニング・スポーツチャンバラ: 基本姿勢
- 3 トレーニング・スポーツチャンバラ: 受け, 体捌きの基本動作
- 4 トレーニング・スポーツチャンバラ: 足捌き, 打の基本動作
- 5 トレーニング・スポーツチャンバラ: 応用打法
- 6 トレーニング・スポーツチャンバラ: 受打の基本動作
- 7 トレーニング・スポーツチャンバラ: 審判規則・ゲーム
- 8 トレーニング・スポーツチャンバラ: ゲーム
- 9 トレーニング・スポーツチャンバラ: ゲーム
- 10 トレーニング・スポーツチャンバラ: ゲーム・小太刀護身道形
- 11 トレーニング・スポーツチャンバラ: ゲーム・小太刀護身道形
- 12 トレーニング・スポーツチャンバラ: ゲーム・小太刀護身道形
- 13 まとめ
- 14 まとめ
- 15 テスト

履修上の留意点

服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
教場: 第二体育館2階

成績評価の方法

出席および実技試験で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 5 (前期)・(後期)(簡化太極拳・太極推手)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

太極拳は中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるものではなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとっておこなう健康体操である。起勢から収勢までの24の動作を行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行う一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 オリエンテーション
- 2 重心の移動・腹式深呼吸運動
- 3 第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 第二組 左右撻膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 第三組 左腕雀尾・右腕雀尾
- 6 第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 総合・太極推手(基本動作)
- 12 総合・太極推手(単推手)
- 13 総合・太極推手(双手平円)
- 14 総合・太極推手(定歩推手)
- 15 テスト

履修上の留意点

服装： 一般の運動服装で身軽に動きやすいものがよい。
 教場： 第二体育館 2階

成績評価の方法

出席および実技試験で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 8 (前期)・(後期) (室内球技)	みや ざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活における動的プログラムは益々減少しつつある。このような環境の中にある身体の運動の意気を再認識し、生涯身体を動かす意識を育成し、その実践として開講する。

講義の内容・
授業スケジュール

実施内容は室内球技として、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球の4種目を実施する。

原則的な展開としては、各々の種目を3～4時間づつ実施する。ただ受講者数によっては、2種目を同時に実施することもある。ここではとりあえず1種目づつの実施スケジュールを記して置く。

- (1時間目)
オリエンテーション、授業日標の説明
- (2時間目) バスケットボール
ボール扱いとしてパス、ドリブル、シュート技の基本技術
- (3時間目)
3 : 3のミニバスケットゲーム
- (4時間目)
5 : 5のゲーム
- (5・6・7時間目) バレーボール
パス、トス、スパイク、サーブの基本技術を行った後に、6人制ゲーム。
- (8・9・10時間目) バドミントン
コート4面を使用して、シングルス、ダブルスのゲームを主とする。
- (11・12・13・14時間目) 卓球
基本的技術と同時に、シングルス、ダブルスのゲームを行う。
- (15時間目) 評価。

履修上の留意点

- (1) 実技は本校第1体育館で行う。
- (2) 服装は運動の出来るもの、体育館用シューズを用意すること。
- (3) 用具は全て貸与する。

成績評価の方法

出席およびテストで評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習9・10 (前期),(後期)(卓球)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科・短国・短英選	(半期) 1

講義のねらい

- (1) 補強運動，練習およびゲームなどを積極的に行ない，体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の技術やルールを習得し，生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
- (3) 卓球の楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから，これからの活動欲求を高める。
- (4) クラスの仲間と協力的に練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

また，技術課題として，以下の点に留意して行う。

- (1) フォアハンドドライブにより，連続打球ができる。
- (2) チャンスボールに対して，スマッシュによる高速な打球ができる。
- (3) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. ラケットの握り方，ラケットとボールを使った遊び
3. サービス，レシーブ，フォアハンドドライブ
4. サービス，フォアハンドドライブ，スマッシュ
5. } 総合練習・シングルスゲーム
8. }
9. }
12. } 総合練習・ダブルスゲーム
13. }
14. まとめ
- 15.

履修上の留意点

- (1) 服装はできるだけ身軽に動作できるものがよい。
- (2) シューズは体育館専用のものを用意すること。
- (3) その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%，総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習12・13 (前期),(後期)(室内球技)	まきの 牧 野	しげる 茂	全学科・短国・短英選 (半期) 1

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、ゲームを楽しむための基本的な技術・ルール・審判法を学び、技術・体力の向上をはかるとともに、仲間づくりを通して、運動やスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力を養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) オリエンテーション、授業内容の説明 (バスケットボール)
- (2) ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2対1
- (3) ランニング・パス、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- (4) フルコート3対2、モーション・オフense・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- (5) ハーフコート4対3、モーション・オフense・ドリル、ゲーム(リーグ戦)
- (6) ハーフコート2対2、3対3、ゲーム(リーグ戦)
- (7) モーション・オフense・ドリル、ハーフコート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- (8) 実技テスト、ゲーム(トーナメント)(バドミントン)
- (9) ストロークの基本技術(回内、回外)
- (10) オーバー・ヘッド・ストローク
- (11) アンダー・ハンド・ストローク
- (12) サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- (13) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (14) 総合練習、ダブルスのゲーム
- (15) 実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

実技は本校第1体育館にて行う。
服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

そ の 他

施設の関係により、受け入れ人数は、32名程度としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・スキー)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	全学科・短国・短英選	1

講義のねらい

実習は、スキーの技能レベルに応じて1班10名程度の班に分けて実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によってスキーの基礎技術の習得を目指す。初心者には、シュテムターンの修得、中・上級者はパラレルターン、ウェーデルン技術の習得および完成を目指す。わが国においてスキーは、国民のスポーツとまでいわれるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできる種目である。将来においてもスキーを楽しむためにも、基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについても理解を深めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前 湯沢パークスキー場集合、班分け
午後 各班に分かれての実習（初級、中級、上級）
- 2～4日目 午前、午後 “
各レベルに応じた主な課題
初級：歩行、直滑降、ボーゲン姿勢、プルークファーレン
プルークボーゲン、シュテムターン
中級：プルークファーレン、プルークボーゲン、シュテムターン
ギルランデ、パラレルターン、ウェーデルン
上級：シュテムターン、パラレルターン、ウェーデルン
様々な斜面への対応技術
- 5日目 午前 各班における評価
午後 湯沢パークスキー場にて解散

履修上の留意点

- シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。
- 1) 日程：平成9年2月17日（月）～2月21日（金）の5日間
 - 2) 場所：湯沢パークスキー場
 - 3) 受講料：48,000円。受講料は宿泊費，昼食代，保険料，リフト代が含まれ，交通費は含まれない。
受講者は，費用を平成8年4月12日から4月27日までに経理部窓口にて納入すること。
 - 4) 定員：120名
履修希望者は，生涯スポーツ実習受講届け受付期間（平成8年4月9日，10日）に受付を済ませること。定員になり次第，受付を締め切る。
 - 5) 『履修届』に関する注意：教務部に提出する『履修届』には，シーズンコース用に設定された『土曜日，8時限（後期）』に記入すること。
 - 6) オリエンテーション：平成9年1月25日（土）12：10～12：40
事前の詳細な説明を行なう予定なので，受講生は教務部掲示板に注意しておくこと（教場は未定）。
 - 7) スキー用具ウェア：スキー用具は，現地でレンタル可能（有料）。
ウェアは，各自で事前に準備しておくこと。

成績評価の方法

実習に5日間参加すれば，単位は認められる。なお，各班において実施する実技テスト，実習参加態度も含めて成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は，早急に保健体育部に連絡すること。実習が始まってからは，湯沢パークホテルに必ず連絡を入れること。なお，実習に不参加の場合，受講料の一部は，返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (シーズンコース・ゴルフ)	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科・短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の土たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者（パートナー）とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・班わけ・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）／講義・ビデオ《ゴルフスイングの基本》
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目：打席練習（5、7、9番アイアン、ウッド）、アプローチ練習（PW、SW、7番アイアン）、パッティング練習／講義・ビデオ《ゴルフルール・ラウンドの注意事項》
- 4日目：ラウンド（本コース・ショートコース）／講義《ラウンドの反省と総括》
- 5日目：ラウンド（本コース・ショートコース）

場 所：宿 泊 軽井沢スケートセンターホテル ☎0267-46-1111
練習場 軽井沢ゴルフ練習場（アプローチ練習場を含む） ☎0267-48-1211
コース 馬越ゴルフコース／和美パー3コースその他

期 日：平成8年9月9日（月）～13日（金） 4泊5日

集合／解散：現地（軽井沢スケートセンターホテル）の予定／詳細（時間：道順など）は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。

費 用：¥48,000円（予定）※上記費用には交通費は含まれない。

納入方法：上記48,000円を、経理部窓口で、平成8年4月12日から4月27日までに納入すること。

オリエンテーション：平成8年7月13日（土）12：10～12：40 2研-101教場
※必ず出席すること。

履修上の留意点

服 装：一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズは各自で購入するか、知人に借りてくること。
ゴルフグローブ：各自で必ず用意すること。
※ゴルフクラブ・ボール・ティーは大学で用意するが、自分のものを持参してもよい。

成績評価の方法

出席を主体として、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習(集中・前期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科・短国・短英選	1

テニス集中・ビギナークラス 担当：え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 1日目午前 | ラケットィング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術 |
| 1日目午後 | ミニラリー、ラリーを楽しむ |
| 2日目午前 | フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用 |
| 2日目午後 | ラリーの応用とミニゲーム |
| 3日目午前 | 半面でのシングルスゲーム(ゲームを楽しむ) |
| 3日目午後 | “ “ (戦術と応用) |
| 4日目午前 | ダブルスのルールとポジショニング |
| 4日目午後 | ダブルスのゲームを楽しむ |
| 5日目午前 | トーナメント形式の試合 |
| 5日目午後 | まとめ |

履修上の留意点

- 基本的には初心者から中級者を対象とするが、上級者の受講も認める技術レベルは問わない。
- 服装は一般的な運動服装とする。
- テニスシューズ(白基調)を必ず用意すること。
- ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況(出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- 実施期間：7月20日(土)～24日(水)、7/20更衣の上、テニスコート集合
- 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- 定員：40名程度とする
- 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(前期)

ゴルフ集中 担当：森^{もり}本^{もと}葵^{まもる}

講義のねらい

生涯スポーツとしてのゴルフのニーズは学生の間でたかまりつつある。対象は全員を初心者として、その歴史、用語の解説、マナー、実践を通して講座を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

7月20日 A.M. (10:00~12:00) 歴史
P.M. (13:00~15:30) クラブの名称、スイング理論
7月21日 A.M. ウェッジ練習
P.M. ミドルアイアン練習
7月22日 A.M. ドライバー練習
P.M. パター練習とマナー
7月23日 打ち放し練習場で総合練習
7月24日 " " テスト

履修上の留意点

実施場所は玉川校舎グラウンドであるが、施設不整備の為、一部打ち放し練習場を使用する。なお、玉川校舎グラウンドに於いても本ボールは一部としボールは穴あきボールとする。

クラブは貸与するが、個人用のグローブ(手袋)は各自購入のこと。(女子は左右の手袋が望ましいが、男子はきき手の反対側の手袋を用意すること。)

服装は玉川校舎グラウンドでは、トレーニングウェア、トレーニングズボン、アップシューズ、ランニングシューズとするが、打ち放し練習場では、ゴルフウェア、ゴルフズボン、アップシューズが望ましい。

成績評価の方法

出席を最重視するが最終日のテストを加えて評価する。

その他

雨天の時はビデオによる解説、マット上でのパター練習、マナー、服装の解説。

(注)打ち放し練習場の貸しボール、入場料として二日間で4,000円位、必要である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：7月20日(土)~24日(水)、7/20更衣の上、玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00~12:00
午後 13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 定員：35名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習(集中・後期)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科・短国・短英選	1

テニス集中・エキスパートクラス 担当：え ぐち じゅん いち
江 口 淳 一

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習は、テニス経験者を対象に、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど応用技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前 フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後 ラリーの応用練習
- 2日目午前 より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後 より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前 ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後 ダブルス(平行陣への移行)
- 4日目午前 ダブルス・ゲーム(メンタル面を考慮した)
- 4日目午後 シングルス・ゲーム(メンタル面を考慮した)
- 5日目午前 団体戦形式の試合
- 5日目午後 まとめ

履修上の留意点

- (1) 基本的には中級者から上級者を対象とするが、初心者受講も認める技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズ(白基調)を必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況(出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の化学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日(土)～25日(水)、12/21更衣の上、テニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド テニスコート
- (4) 定 員：40名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限(後期)

ゴルフ集中

担当：三 幣 晴 三

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやエチケット、さらに練習仲間とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフをとおして良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義・ビデオ：ゴルフスイングの基本
- 2日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習
講義・ビデオ：マナーとエチケット
- 3日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）、アプローチ練習（PW, 7番アイアン）、パッティング練習
講義：ゴルフルール
- 4日目：打席練習（5, 7, 9番アイアン, ウッド）／近隣のゴルフ練習場での打席練習
講義：ゴルフラウンドの基礎知識
- 5日目：グラウンドでのコースラウンド（6ホール）

場 所：玉川校舎グラウンド

期 日：平成8年12月21日（土）～25日（水）

集 合：平成8年12月21日（土）AM10:00 玉川校舎グラウンド

費 用：練習場での打席練習代として ¥1,000円（4日目に持参すること）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
シューズ：運動靴（ゴルフシューズは禁止する）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

集中コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）、12/21更衣の上、玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 定 員：35名程度とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届』は集中コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1（前期） （生涯学習社会と健康・スポーツ －運動生理学の立場から－）	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	禅・仏教・国文 英米文・地理1選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目 講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2時限目 ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3時限目 生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4時限目 現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5時限目 健康と体力の概念
- 6時限目 人体 1) 骨格の構造
- 7時限目 2) 筋肉の構造
- 8時限目 3) 運動と呼吸循環器系
- 9時限目 4) 運動と代謝
- 10時限目 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11時限目 スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12時限目 スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13時限目 運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、シェイプアップ）
- 14時限目 スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15時限目 まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

ミッドタームペーパーおよび学期末試験の結果にて判断する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
 運動処方 朝倉書店 ￥3,500
 運動生理学20講 朝倉書店 ￥2,884
 「ゆとり」時代のライフスタイル 日本経済新聞社 ￥1,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (後期)	むら まつ 村 松 まこと 誠	禅・仏教・国文 英米文・地理 1 選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる成人病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 健康観の変遷
- 3 時限目 現代の健康観
- 4 時限目 健康の成立要因
- 5 時限目 健康の成立条件
- 6 時限目 病気の原因
- 7 時限目 疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目 現代の感染症
- 9 時限目 喫煙と健康
- 10 時限目 飲酒と健康
- 11 時限目 ストレスと健康
- 12 時限目 食べ物と健康
- 13 時限目 運動と健康
- 14 時限目 環境と健康
- 15 時限目 まとめ

履修上の留意点

原則として出席は取らないが、数回の小テストを行なう予定

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育概論（保健体育部編）を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) (健康と栄養)	たなかよし 田中佳孝	歴史・社会1選	2

講義のねらい

日常生活に於いて健康な身体を維持する為に必要な5大栄養素の中で最近特に注目されているビタミンについての基礎知識を学び、日常の食生活の中でいかにそれらをうまく摂取し、病気から身体を守るかを識る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 5大栄養素とは。
栄養不足の今昔。
- 2 時限目 ビタミンの役割とその働き。
- 3 時限目 ビタミンの生理作用と欠乏症
- 4 時限目 ビタミンの薬理作用
ウィルスとビタミンC
- 5・6 時限目 さまざまなビタミンの薬理作用
- 7 時限目 } 健康な学生生活を送る為のビタミン学。タバコの悪害、睡眠、スポーツ、外食、飲酒、
ダイエット、妊娠、etc
- 11時限目 }
- 12時限目 } 身近にある身体に良い食べ物について
- 14時限目 }
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

遅刻は30分迄しか認めない。以後の入室は不可。授業途中の退室は認めない。

成績評価の方法

全授業(15回)中4回出席をとり、1回につき5点。学期末に100点満点のペーパー試験を行ない、合計で120点満点とする。成績は80点以上を「優」とする。但し100点以上は100点とする。

そ の 他

講義の補助としてビデオによる授業を2~3回行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) -エンジョイ ユア ライフ-	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	経 済 1 選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際の健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------|---------------------------|
| 1時間目 | オリエンテーション、授業の概要説明 |
| 2時間目 | 健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較）-そのⅠ |
| 3時間目 | 同 -そのⅡ |
| 4時間目 | 現代の生活と健康 |
| 5時間目 | ストレス学説（セリエ博士の学説）-そのⅠ |
| 6時間目 | 同 -そのⅡ |
| 7時間目 | 西洋医学と東洋医学の比較 |
| 8時間目 | 健康体操・メンタルトレーニング |
| 9時間目 | 遊戯論（ホモ・ルーデンス）-そのⅠ |
| 10時間目 | 同 -そのⅡ |
| 11時間目 | スポーツ論 |
| 12時間目 | スポーツ技術論 |
| 13時間目 | スポーツ運動学（カテゴリー論） |
| 14時間目 | 同（発達論・学習論） |
| 15時間目 | 日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ |

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教科書

「保健体育概論」カッサ出版部 1,700円

参考書等

「ホモ・ルーデンス」中央公論社、「マイネル・スポーツ運動学」大修館書店

その他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	経済・商1選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、又現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

- I
 1. 運動はなぜ必要か
 2. 人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 3. 一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 4. 体育によってどのような教育が考えられるか
 5. 学校体育による教育
 6. 社会体育による教育
 7. 生涯体育による教育
 8. 現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 9. 実用の面から生まれてきた運動
 10. 健康の面から生まれてきた運動
 11. ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出” 授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 12. (例) スポーツの文化性、芸術性について
 13. (例) スポーツマン精神について
 14. (例) 大衆スポーツ論
 15. (例) スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (後期) (からだと障害)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	経済・商1選	2

講義のねらい

保健分野の講義をします。人体解剖図やビデオ等を参考にしながら、文明先進国における、疾病や運動不足に起因するさまざまな、健康障害などの話を通して、人間の健康ということへの理解を深めてもらいます。

日常生活においては、自分が現在健康であることを意識して行動している人は少ないのではないだろうか。病気がけがをしてはじめて健康の重要性や有難さを知るのではなく、日頃から常に健康を意識し、健康に関心の目を向けることが必要であり、自己や他人の生命を助けて、健康は何物にもまして大切なものであることを講義します。

講義の内容・授業スケジュール

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望である。多くの人々がその時代の価値観と、それぞれに専門的な立場から、健康とは何かについて幾多の説を唱えている。この説を引用しながら健康を考え、日常生活の面から健康論を講義しようと思っています。その他、健康と体力・運動不足の害と効果・発育発達・トレーニングの問題・栄養・健康管理などにも触れたいと思っています。そして後半からは、人体解剖図などを参考にしながら、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格・筋肉・靭帯を中心に頭部(頭蓋)、胴(体幹)、手(上肢)、足(下肢)と分けて、各部分の身体的特長や、欠点を交えながら、スポーツ障害・文明先進国に多発している疾病・運動不足から起る健康障害の話をする予定です。

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど課題提出物によって、試験に変える場合もある。

教科書

保健体育概論、駒沢大学保健体育部編を引用しながら行ないます。人体解剖図など医学面の資料は、こちらで用意して授業時に配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	たて かね おか ざつ よし 儀 あき 秋	法 律 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願いにはかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者、エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 オリエンテーション
- 2時限目 人間と健康 (体力と健康)
- 3時限目 " (寿命と健康)
- 4時限目 " (運動不足症)
- 5時限目 " (健康管理法)
- 6時限目 献血と血液製剤
- 7時限目 エイズ (エイズの現状と推移)
- 8時限目 " (エイズの予防・検査・治療)
- 9時限目 " (人権と差別)
- 10時限目 体力とトレーニング (トレーニングの方法・運動処方)
- 11時限目 救命救急 (一次救命処置)
- 12時限目 " (一次救命処置)
- 13時限目 " (一次救命処置)
- 14時限目 " (救急処置)
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

出席は原則として取らないが、授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日 (1, 2回実施する予定)
- ② 「レポート」の提出期日 (1, 2回)

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

保健体育概論 (駒澤大学保健体育部編)・学生のための性とエイズ (朝倉書店)
救命救急 (小学館)

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ・OHP等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期) (健康・救急処置)	おお いし たけ し 大 石 武 士	法律・政治 1 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 講義内容の説明
- 2 体育の概念
- 3 身体運動と体育運動
- 4 健康の概念、身体運動の効果
- 5 人体構造の概略、エイズ問題
- 6 救急処置の目的、一次救命処置
- 7 一次救命処置
- 8 一次救命処置実習
- 9 出血多量、ショック
- 10 熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 体力について
- 15 テスト

成績評価の方法

出席および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編「保健体育概論」(カズサ出版) ¥1700
- 2 最新図解救命救急-応急手当の手引き- 小学館 ¥700

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (後期) (生涯学習社会と健康・スポーツ －運動生理学の立場から－)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	法律・政治1選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自立的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを楽しむ能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目 講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目 ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目 生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目 現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目 健康と体力の概念
- 6 時限目 人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目 2) 筋肉の構造
- 8 時限目 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目 4) 運動と代謝
- 10 時限目 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目 スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目 スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目 運動処方計画のための基礎 (パワー・トレーニング、シェイプアップ)
- 14 時限目 スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目 まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

ミッドタームペーパーおよび学期末試験の結果にて判断する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
 運動処方 朝倉書店 ￥3,500
 運動生理学20講 朝倉書店 ￥2,884
 「ゆとり」時代のライフスタイル 日本経済新聞社 ￥1,300

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1 (前期) (運動とからだ)	もりもと まもる 森 本 葵	経営1選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。
又、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

〈体力づくり〉
1週 体力のメカニズム
2週 若年時に於ける体力づくりの必要性。
3. 4. 5. 6. 7週
体力づくりの方法 { 持久力
筋力
調整力
8. 9週 体力と疲労
10. 11週 疲労の判定法
〈近代オリンピック〉
12週 近代オリンピックの歴史
13週 " " の問題点
14週 " " の将来展望
15週 テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

- ・保健体育理論 (科学書院)
- ・スポーツトレーナー教本 (日本体育協会)
- ・スポーツとからだ (岩波書店)
- ・オリンピックの回想 (B・Bマガジン社)

そ の 他

レポート提出・ビデオによる講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	たて おか よし あき 館 岡 儀 秋	経 営 1 選	2

講義のねらい

健康を保持することは、すべての個人の願いにほかならないが、現代社会においては健康そのものの捉えかたが多様化している。また、運動やスポーツが健康増進の手段として考えられてきたが、その方法を誤ると健康を阻害する一面も内在している。健康管理を人に頼るのではなく、自主管理していくための基礎的知識を解説する。

人間の根源とも言える性と関連するエイズの諸問題を解説し、HIV感染者、エイズ患者を差別することなく、偏見を抱くことなく、エイズと共存する社会の実現のための知識・態度を解説する。

私たちは、いつ、どこで、どのような急病・事故・災害に出会うかわからない。このようなときに、医師以外の一般人でも、器具や薬品を使わずにできる一次救命処置の基礎的知識を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目 オリエンテーション
- 2 時限目 人間と健康 (体力と健康)
- 3 時限目 " (寿命と健康)
- 4 時限目 " (運動不足症)
- 5 時限目 " (健康管理法)
- 6 時限目 献血と血液製剤
- 7 時限目 エイズ (エイズの現状と推移)
- 8 時限目 " (エイズの予防・検査・治療)
- 9 時限目 " (人権と差別)
- 10 時限目 体力とトレーニング (トレーニングの方法・運動処方)
- 11 時限目 救命救急 (一次救命処置)
- 12 時限目 " (一次救命処置)
- 13 時限目 " (一次救命処置)
- 14 時限目 " (救急処置)
- 15 時限目 まとめ

履修上の留意点

出席は原則として取らないが、授業時間内に次のことを発表するので注意すること。

- ① 「小テスト」の期日 (1, 2 回実施する予定)
- ② 「レポート」の提出期日 (1, 2 回)

成績評価の方法

「小テスト」70%、「レポート」30%で総合評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

保健体育概論 (駒澤大学保健体育部編)・学生のための性とエイズ (朝倉書店)
救命救急 (小学館)

そ の 他

授業は主に講義形式で行うが、ビデオ・OHP等も活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期) (健康・救急処置)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病气や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病气・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 講義内容の説明
- 2 体育の概念
- 3 身体運動と体育運動
- 4 健康の概念、身体運動の効果
- 5 人体構造の概略、エイズ問題
- 6 救急処置の目的、一次救命処置
- 7 一次救命処置
- 8 一次救命処置実習
- 9 出血多量、ショック
- 10 熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 体力について
- 15 テスト

成績評価の方法

出席および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編「保健体育概論」(カズサ出版) ¥1,700
- 2 最新凶解救命救急一応急手当の手引き - 小学館 ¥700

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期) —エンジョイ ユア ライフ—	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | | |
|-------|-----------------------|------|
| 1時間目 | オリエンテーション、授業の概要説明 | |
| 2時間目 | 健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較） | —そのⅠ |
| 3時間目 | 同 | —そのⅡ |
| 4時間目 | 現代の生活と健康 | |
| 5時間目 | ストレス学説（セリエ博士の学説） | —そのⅠ |
| 6時間目 | 同 | —そのⅡ |
| 7時間目 | 西洋医学と東洋医学の比較 | |
| 8時間目 | 健康体操・メンタルトレーニング | |
| 9時間目 | 遊戯論（ホモ・ルーデンス） | —そのⅠ |
| 10時間目 | 同 | —そのⅡ |
| 11時間目 | スポーツ論 | |
| 12時間目 | スポーツ技術論 | |
| 13時間目 | スポーツ運動学（カテゴリー論） | |
| 14時間目 | 同（発達論・学習論） | |
| 15時間目 | 日本のスポーツ（組織編・考え方） | ／まとめ |

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教 科 書

「保健体育概論」カズサ出版部 1,700円

参 考 書 等

「ホモ・ルーデンス」中央公論社、「マイネル・スポーツ運動学」大修館書店

そ の 他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期)	みや ぎわ えい まく 宮 沢 栄 作	全学科1・2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件(13項目)の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1 時間目)
体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- (2 時間目)
健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- (3 時間目)
スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特長、分類について
- (4 時間目)
スポーツと体力の関係について
- (5 時間目)
運動能力発達の原因
- (6 時間目)
運動能力の領域
- (7 時間目)
運動能力の構造
- (8 時間目)
運動能力とスポーツ技能の分析
- (9 時間目)
総合体力の定義と要素
- (10・11時間目)
スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- (12・13・14時間目)
トレーニング理論全般
- (15時間目)
まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による

教 科 書

参考書は不用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2 (前期),(後期) (生活と健康)	まきの野 牧 野	しげる 茂	全学科1・2・3・4選 (半期) 2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、事故の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- (2) 健康とは何か① 語源・定義・性格
- (3) 健康とは何か② WHOの健康の要素①
- (4) 健康とは何か③ WHOの健康の要素②
- (5) 恒常性と適応 ストレス学説
- (6) 健康の成立条件 健康を規定する条件
- (7) 健康の保持増進① 化学的研究、健康教育
- (8) 健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- (9) 健康指標 WHOの総合健康指標
- (10) 日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- (11) 日常生活と健康② " " " ②
- (12) 日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- (13) 感染症について① インフルエンザ、結核
- (14) 感染症について② 性行為感染症
- (15) 筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

「保健体育概論」(カヅサ出版部) ¥1,700
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期） （健康な生活の為の栄養学と正しいダイエットの知識）	たなかよし たか孝 田 中 佳 孝	短国・短英 1 選	2

講義のねらい

日常生活を健康に過ごす事の栄養学と正しい食生活の知識を学び、特に最近その重要性が話題になっているビタミンの働きについて識る。又、ダイエットの原理と正しい方法について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 体に必要な栄養素
- 2 時限目 ビタミンの役割とその働き
- 3 時限目 ビタミンの欠乏症
- 4 時限目 ビタミンの薬理作用について
ビタミンCは何故風邪に効くのか？
- 5 時限目 さまざまなビタミンの薬理作用
- 6 時限目 タバコの悪害とビタミン
- 7 時限目 酒の悪害とビタミン
- 8 時限目 妊娠時の食べ物について
- 9 時限目 人間は何故太るのか？
ダイエットの基本
- 10時限目 ダイエット法各論
- 12時限目
- 13時限目 } 身近にある体に良い食べ物
- 14時限目 }
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。

成績評価の方法

15回の授業中に4回の出席をとり、1回につき5点とする。学期末に100点満点のペーパー試験を行ない、合計で120点満点とする。成績は80点以上を「優」とするが、100点以上については全100点とする。

参 考 書 等

使った図書・文献等は授業中に知らせる。

そ の 他

講義の補助としてビデオを授業中に2～3回使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論（前期）	むら まつ まこと 村 松 誠	短国・短英1選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる成人病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目 オリエンテーション
- 2時限目 健康観の変遷
- 3時限目 現代の健康観
- 4時限目 健康の成立要因
- 5時限目 健康の成立条件
- 6時限目 病気の原因
- 7時限目 疾病構造の変遷と病気の予防
- 8時限目 現代の感染症
- 9時限目 喫煙と健康
- 10時限目 飲酒と健康
- 11時限目 ストレスと健康
- 12時限目 食べ物と健康
- 13時限目 運動と健康
- 14時限目 環境と健康
- 15時限目 まとめ

履修上の留意点

原則として出席は取らないが、数回の小テストを行なう予定

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

参考書等

教科書は特に指定しないが、保健体育概論（保健体育部編）を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期),(後期)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	経営2・3・4選	(半期) 2

講義のねらい

現代社会は科学技術の急速な進歩にともない、産業構造の変化、所得水準の向上などによって、近年我が国における労働時間の短縮が急速に図られてきた。それにとまなう余暇時間の増大や国民の生活意識の変化によって現代におけるレジャーやレクリエーションの普及や多様化はめざましい。

余暇をいかに過ごすかは21世紀において、健康で豊かな生活を送る上で益々重要なテーマとなってくると予想される。大学生の年代は、世界観やライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義と実技による授業を通じて、余暇とレクリエーション、スポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めさせる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1時間目) オリエンテーション
- (2時間目) 現代社会における余暇
- (3時間目) 日本における社会体育の現状
- (4時間目) レクリエーション実習
- (5時間目) 生涯スポーツの在り方
- (6時間目) レクリエーション実習
- (7時間目) 地域、職場におけるスポーツ
- (8時間目) レクリエーション実習
- (9時間目) 生活におけるスポーツ
- (10時間目) レクリエーション実習
- (11,12時間目) ニューススポーツについて
- (13,14時間目) ニューススポーツの実践
- (15時間目) まとめ、テスト

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第一体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

評価は主として筆記テストによる。

参 考 書 等

参考書は不用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期),(後期)	たけだ ゆき お 竹 田 幸 夫	経 営 2・3・4 選	(半期) 2

講義のねらい

現代社会の急激な変貌、とくに科学技術の進歩にともなう産業構造の変化、所得水準の向上などによって、近年わが国におけるレジャーやレクリエーションの普及や多様化はめざましい。「余暇をいかに生きるか」は、21世紀において健康で豊かな生活を送る上でますます重要なテーマとなってくると予想される。

大学生の年代は、世界観やライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義と実技による授業を通じて、余暇とレクリエーション、スポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限 オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限 現代社会における「余暇」
- 3時限 日本における社会体育の現状
- 4時限 レクリエーション実習
- 5時限 生涯スポーツ, Sports for all, 市民スポーツ
- 6時限 レクリエーションの多様化, ウォーキングエクササイズ
- 7時限 レクリエーション実習
- 8時限 地域・職場におけるスポーツ
- 9時限 生活におけるスポーツの楽しみ方
- 10時限 レクリエーション実習
- 11時限 公共スポーツ施設とスポーツクラブ
- 12時限 ニュースポーツ
- 13時限 レクリエーション実習
- 14時限 「余暇」の考え方, 将来の展望
- 15時限 試験

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、将来の自分の具体的な問題として捉えながら講義を聞いてほしい。実習については、第1体育館において球技やニュースポーツ、屋外においてウォーキングエクササイズ等を実施する。その際には、一般的なスポーツウェアとシューズを用意する。なお、体育館における実習の場合には、体育館シューズが必要となる。

成績評価の方法

授業の最後の時間に実施する試験と平常の学習態度で成績評価を行なう。

教科書

現代における余暇に関わりのあるトピックスを中心に扱うので、とくに教科書は用いない。

参考書等

生涯スポーツに関する以下の書籍を参考図書として上げておきたい。
 「実践・生涯スポーツ」 池田幸應ほか／不昧堂出版 3,000円
 「スポーツは誰のために」 関春南・唐木國彦編／大修館書房 2,266円

專 門 教 育 科 目
國 文 科

專 門 教 育 科 目

国 文 科

国 文 学 史 I (坂 口 博 規)	1
国 文 学 史 I (鈴 木 裕 子)	1
国 文 学 史 I (清 田 啓 子)	2
国 文 学 史 I (藺 部 幹 生)	2
国 文 法 (大 友 信 一)	3
国 文 法 (古 瀬 順 一)	3
国 文 演 習 I (安 藤 幸 輔)	4
国 文 演 習 I (石 割 透)	4
国 文 演 習 I (大 室 英 爾)	5
国 文 演 習 I (小 林 治)	5
国 文 演 習 I (坂 口 博 規)	6
国 文 演 習 I (佐 原 作 美)	6
国 文 演 習 I (鈴 木 裕 子)	7
国 文 演 習 I (清 田 啓 子)	7
国 文 演 習 I (藺 部 幹 生)	8
国文講読 I (上 代) (佐 原 作 美)	8
国文講読 II (中 古) (鈴 木 裕 子)	9
国文講読 II (中 古) (藺 部 幹 生)	9
国文講読 III (中 世) (坂 口 博 規)	10
国文講読 IV (近 世) (清 田 啓 子)	10
国文講読 IV (近 世) (管 野 一 雄)	11
国文講読 V (近・現代) (大 室 英 爾)	11
国文講読 V (近・現代) (笹 瀬 王 子)	12
国文講読 V (近・現代) (石 割 透)	12
国 文 学 史 II (石 割 透)	13
国 文 学 史 II (大 室 英 爾)	13
国 文 学 概 論 (安 藤 幸 輔)	14
国 文 学 概 論 (坂 口 博 規)	14
国 語 学 (大 友 信 一)	15
国 語 学 (山 田 瑩 徹)	15
中 国 文 学 講 読 (功 刀 正)	16
中 国 文 学 講 読 (清 水 浩 子)	16
国 文 演 習 II (安 藤 幸 輔)	17

国文演習Ⅱ(石割透)	17
国文演習Ⅱ(大室英爾)	18
国文演習Ⅱ(小林治)	18
国文演習Ⅱ(坂口博規)	19
国文演習Ⅱ(佐原作美)	19
国文演習Ⅱ(鈴木裕子)	20
国文演習Ⅱ(清田啓子)	20
国文演習Ⅱ(藺部幹生)	21
中国文学概説(功刀正)	21
言語学概論(奥原淳子)	22
国語表現法(安藤幸輔)	22
古典文学概説(川上順子)	23
近代文学概説(小林治)	23
国語史(山田瑩徹)	24
書道実習Ⅰ(那須隆吉)	24
書道実習Ⅱ(那須隆吉)	25
ジャーナリズム研究(功刀照夫)	25
文化概論(大室英爾)	26
情報概論(小林眞峰)	26
編集実務(長谷川孝)	27
秘書概論(湯浅陽子)	28
秘書実務(森本正恵)	29
戯曲演劇概説(清田啓子)	30
児童文学(吉田司雄)	30
有職故実(大塚英子)	31
国文特講Ⅰ〔上代〕(川上順子)	32
国文特講Ⅱ〔中古〕(鈴木裕子)	32
国文特講Ⅲ〔中世〕(藺部幹生)	33
国文特講Ⅳ〔近世〕(管野一雄)	33
国文特講Ⅴ〔近・現代〕(笹瀬王子)	34
国文特別演習Ⅰ(佐原作美)	34
国文特別演習Ⅱ(石割透)	35
国文特別演習Ⅲ(坂口博規)	35

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学史 I	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国 1 必	4

講義のねらい

原始文学として、各ジャンルの生成、発展を概説することから始め、上代（古代前期、奈良時代まで）の文学史を中心に講義する。作品を通して上代の文学の流れを考える。古事記・日本書紀・風土記・万葉集等を中心に史的意義を概説するが、概論にとどまらず、特に記紀歌謡、羽衣伝説（白鳥処女説話）、ヤマトタケル物語、万葉集の各期の歌などを読んで、上代文学への興味を喚起したい。なおテキストは古典文学全般の文学史を概説するものであり、上代以外の時代の作品への興味関心を喚起するよう、各ジャンル別に史的展開に言及する。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにも各作品の一部が取り上げられているが、適宜プリントなどで作品を補うなど、実際の作品を通して上代文学の流れを概観する。また一部しか触れえないので、出来る限り作品全体に目を通すことに努めて欲しい。

履修上の留意点

上代文学の史的展開を考える上で、受講者には同時代の歴史を十分に理解し、常に念頭に置いていて受講して欲しい。古代史ブームという言葉は現今のものではないが、マスメディアを通じて考古学上の新発見など常に興味深く、また詳細に報じられており、上代史への関心は深いものがあると思う。日本文化・日本人の魂の原郷である上代への関心・ロマンこそは、文学史理解の原動力であろう。是非その関心を自ら高める努力をして欲しい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績により評価する。

教科書

乾安代・櫻井武次郎・新間一美・西島孜哉・毛利正守共著『日本古典文学史』（双文社出版刊）
¥1,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学史 I	すず き ひろ こ 鈴 木 裕 子	短国 1 必	4

講義のねらい

この授業の目的は、上代から近世までの国文学の流れを通観して、文学の発達と展開の様相をたどり、時代の思潮を理解することにあります。合わせて多様な古典文学に親しむ契機となり得るように、実際の作品をできるだけ読んでいくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

古典文学の史的変遷を、実際の作品に触れながら講義しますが、この授業では、特に上代から中古の文学史が中心となります。前期に韻文を、後期に散文を扱う予定です。

履修上の留意点

授業は、教科書に沿って随時プリント教材を配布し、それらを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます（前期一回、後期一回）。その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの正常点を加味して評価します。

教科書

有精堂編集部編『日本古典文学史』有精堂 その他プリント教材

参考書等

小西甚一『日本文学史』（講談社学術文庫）、服藤早苗『平安朝の母と子』（中公新書）、脇田晴子『中世に生きる女たち』（岩波新書）など。その他授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学史 I	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国 1 必	4

講義のねらい

日本文学の流れを通観する。上代から近世までが「国文学史 I」の範囲であるが、授業時間数の関係から、このクラスは近世を少し重点的に扱う。日本の古典文学に見られる、豊かな内容・表現を汲みとってほしいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

近世に要する時間を6～7時間として後期後半をあて、学年初からは先ず和歌の流れを追う。和歌から派生する連歌・俳諧・江戸時代に入ってから国学等にも言及し、日本文学史の骨格を和歌史で会得してもらう。以後物語の流れ、新しいジャンルの発生を確認しつつ、近世文学の検討に入りたい。

履修上の留意点

文学とは何か、時代ごとにそれがどのように受けとめられ、また制作・享受されてきたか等を念頭においてほしい。授業時間が共に考える場となるよう心がけたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験（ペーパーテストによる）評価を主とし、夏期レポート、折々の提出物を勘案する。

教科書

乾安代他編『日本古典文学史』（双文社出版） ¥1,648

参考書等

教場で随時指定する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学史 I	その べ みき お 蘭 部 幹 生	短国 1 必	4

講義のねらい

上代から近世までの国文学史全般について講義するが、特に中古から中世にかけてが中心となる。単に年代や作品・作家の羅列ではなく、作品が生み出される背景や、作品と作品との関連、或いは文学史的な意義付けなどを考えたい。また、担当教員の専門である説話文学の視点を生かした講義にしたいとも考えている。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、韻文を中心に上代から近世までを通観し、後期には中古・中世の散文を中心に講義する。

履修上の留意点

文学史が暗記でないことを理解し、問題意識を持って授業に臨むことが必要である。特に、現代的な価値観では計れない文学史的な意義を問いなおしてほしい。なお、毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、年度末の時間内に50点満点の筆記試験を行う。また、必要に応じて、レポート提出を求めることもある。なお、追再試験については、必要に応じて、時間内に提示する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』新典社 ¥1,030

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 法	おお とも しん いち 大 友 信 一	短 国 1 必	4

講義のねらい

国語・国文を専攻する者として、文語文法のプロとなる最小限の技術を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

次の順序で講義する。

1. 序 論
 - 1) 文 法
 - 2) 文法の研究
 - 3) 文 語
2. 構文論
 - 1) 文・文節
 - 2) 文節の相関
 - 3) 文節結合
 - 4) 文の種類
3. 品詞論
 - 1) 品詞総説
 - 2) 動 詞
 - 3) 形容詞
 - 4) 形容動詞
 - 5) 名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞
 - 6) 助動詞
 - 7) 助 詞

履修上の留意点

プロ意識に目覚めた学習。

成績評価の方法

レポートに拠る。

教 科 書

和田利政他編『国文法要説 文語篇』（おうふう）¥1,500

参 考 書 等

その都度，教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 法	こ せ じゅん いち 古 瀬 順 一	短 国 1 必	4

講義のねらい

古典読解に役立つ文法理論を展開する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は教科書を中心にした授業になる。特に「文」および「文章」の構成に視点をあて、古典の特性を明らかにしていく。
後期は毎時プリントを配布し、古典語の助詞・助動詞を中心にした授業を展開する。

履修上の留意点

欠席すると授業内容が分断されるため、理解が困難になる。特に復習を欠かさないようにして欲しい。

成績評価の方法

期末試験（ペーパーテスト）の点数を重視した評価となる。

教 科 書

塚原鉄雄『新講古典文法』（新典社）

参 考 書 等

参考文献等は授業中に紹介していく。

そ の 他

講義形式の授業になる。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習 I	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短国 1 必	2

講義のねらい

近代日本文学の代表的作家と作品を対象とし、作品を正しく、深く読む方法を身につけるようにする。すなわち、作品をまず自分で読み、次に先覚者の考え方も参考にして、最後に真の作品の主題、表現、構成について理解するようにする。

講義の内容・授業スケジュール

各自が研究したものを発表し、適宜に質疑応答をする形をとる。

履修上の留意点

レポート、発表によって評価する。

教科書

『近代の短篇小説』（菁柿堂、1,545円）ほか

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習 I	いし わり とおる 石 割 透	短国 1 必	2

講義のねらい

夏目漱石の小説を読む。扱う作品は、「坊ちゃん」「草枕」「坑夫」「門」。

講義の内容・授業スケジュール

前期には「坊ちゃん」「草枕」後期には「坑夫」「門」の作品を緻密に読み、漱石の作品の傾向の一端を垣間見る。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品のみならず、夏目漱石の他の作品も、授業と並行してできるだけ多く接すること。

成績評価の方法

授業時における、各自の分担箇所をめぐっての報告、そのテーマの内容を更に深めて提出するレポートの内容。また、出席を重視することは勿論だが、授業時の学習意欲も評価の対象とする。

教科書

「坊ちゃん」「草枕」（岩波文庫）「坑夫」（新潮文庫）「門」（岩波文庫）

参考書等

授業時に指示する。『漱石作品論集成・坊ちゃん・草枕』『同・虞美人草 野分 坑夫』『同・門』（桜楓社）など。

その他

受講者の報告、発表に基づいて、それをめぐって更に問題点を深め、広めていく。受講する際、特に扱っている作品については、幾度もじっくり読み、報告者にとどまらず、各自の問題点、疑問点を見つけて授業にのぞむこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 I	おおむらえいじ 大 室 英 爾	短 国 1 必	2

講義のねらい

近代日本文学のなかの童話作品を題材とし、その作品（作家）をいかに考え、いかにわがものとするか。

講義の内容・
授業スケジュール

宮澤賢治の童話を読む。作品の主題や構想の卓抜さ豊かさを味わい、加えて問題となる作品生成の過程、難解とされる詩、初めての創作体験となった短歌などの世界へ分け入ることにより、賢治文学の深さと広がり、その特質を考える。

履修上の留意点

「演習」であるから受講者全員が1～2作を分担し、研究発表をすることになる。したがって、発表者は、それに備えての調査、研究に努めなければならないし、聴く側も相応の問題意識を持って臨まなければならないだろう。

成績評価の方法

研究発表及びその「まとめ」としてのレポートの提出が成績評価の際の最低条件となる。

教 科 書

「注文の多い料理店」「新編 風の又三郎」「新編 銀河鉄道の夜」「宮澤賢治詩集」（いずれも新潮文庫）

参 考 書 等

授業にてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 I	こばやし おさむ 小 林 治	短 国 1 必	2

講義のねらい

野間 宏、椎名麟三、武田泰淳、大岡昇平、本多秋五、平野 謙などの第一次戦後派の作家、評論家の作品および安部公房の初期短編作品を読み、戦後的表現の特質とその問題点について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望制によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告書にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告書、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参 考 書 等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

そ の 他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習 I	さか ぐろ ひる 坂 口 博 規	短国 1 必	2

講義のねらい

紀行文学の代表的作品である鎌倉時代成立の阿仏尼作『十六夜日記』を読む。夫藤原為家より我が子為相に譲られた播磨国細川庄を長子為氏が所有権を主張、その訴訟のため京より鎌倉まで出かけた旅の記である。子を思う母性愛の強さ、歌道指南家の伝統を守ろうとする歌人阿仏の自恃、その行動的・意志的な阿仏には、特に新時代の女性像が指摘されている。そうした作者像を確認するとともに、旅の途次の歌枕の地での詠作の問題、鎌倉滞在中における都の知人、子供たちとの間で交わされた贈答歌の内より胸に迫る望郷の思いなどを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講当初に紀行文学の史的展開、阿仏尼の伝記を概説し、テキストが写本影印を収めており、草仮名の読みを学んだ後、6月頃より受講者に作品を分担して、本文読解を中心に発表してもらい、11月頃より演習課題を与えて作品を再吟味してもらう。

履修上の留意点

演習であり、出席重視。レポート発表の内容により評価するので、発表者は特に複数の注釈書を参照することに努め、単に語釈・口語訳の発表にとどまらず、他の受講者に作品理解を助けるよう各自の工夫がなされることを期待する。他の受講者はその学習態度等により評価を加えて行く。数次にわたり、テキスト以外の写本の影印を用いて、草仮名の読みを課題として与えるので、写本の読みの訓練をして欲しい。

教科書

一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注『十六夜日記』（新典社刊）¥1,030

参考書等

参考書として、武田孝著『十六夜日記詳講』（明治書院刊）、梁瀬一雄・武井和人著『十六夜日記・夜の鶴注釈』（和泉書院刊）等を用いて欲しい。なお作品理解の便として森本元子校注『十六夜日記・夜の鶴』（講談社学術文庫）は廉価であり、各自入手してもらえるとありがたい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習 I	さ はら さく み 佐 原 作 美	短国 1 必	2

講義のねらい

平安朝前期に成立した『竹取物語』を対象にその写本の複製本を用いて演習授業を行う。知ったのとおり『竹取物語』は、『源氏物語』の中で「物語の出で来はじめの祖（おや）なる竹取物語」と書かれているように、わが国の物語文学の祖と見られ、古くから時代や階層を超えて多くの人々に親しまれ読み継がれて来た作品である。本年度はこの作品を変体仮名で書かれた写本の複製本で読むことによって、写本に少しでも慣れると共に、活字本では得られない古典の雰囲気や味わいながら、作品のもつ諸問題を考察しつつ読んでいきたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

演習は受講生による自主的な調査やその口頭発表をもとに進められるものである。したがって、受講生に少しずつ分担割当てを課し、その担当者の発表を中心に質疑応答などをまじえながら一年間で通読できるように進めていきたい。

履修上の留意点

科目の性格上、どうしても受講生による調査研究をふまえ、時にはプリントなどを併用し口頭発表によって授業を展開することになるので、受講生の積極的で意欲的な姿勢が望まれよう。作品を単に読解するのみならず、写本に慣れるということがもう一つの柱になっていることを考えると、安易を排し地道に根気よく一字一字を読み進めることが大切になって来るので、その点を理解し承知の上で授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績評価は平常の授業の状況をもって判断する。

教科書

片桐洋一編『竹取物語』原典シリーズ（新典社刊）¥1,030
伊地知鉄男編『仮名変体集』（新典社刊）¥361

参考書等

参考書は授業の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 I	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	短 国 1 必	2

講義のねらい

この演習の目的は、主として三つあります。まず、古典文学に親しむこと。次に、文芸研究の方法の基礎を学ぶこと、そして、各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の歌物語を扱います。歌物語の代表作と言える『伊勢物語』を中心に、『大和物語』、『平中物語』なども読む予定です。それらの作品を読みながら、古典の文章を読解することに慣れ、当時の社会や人々の生活への関心を深めましょう。

履修上の留意点

授業は、受講者の分担報告を中心として進めますので、担当者がいかに熱意をもって作品を深く読み、多角的に調査し、考察してきたかにより、授業の水準が決まることは言うまでもありません。担当者の発表で授業がおもしろくもつまらなくもなりますから、十分に準備してくる。が、それだけではなく、受講生全員にも、発表を受け身で聞き流しているだけではなく、質問・意見などを活発に発言するよう、積極的な授業参加の姿勢を強く望みます。

成績評価の方法

学年末にレポートを提出してもらい、その内容を中心に、授業中の発表や発言、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教 科 書

徳原茂美・青木陽鶴子編『王朝歌物語選』（和泉書院）

参 考 書 等

参考書などは、授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 I	せい た けい こ 清 田 啓 子	短 国 1 必	2

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心になる。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の演習材料としては、井原西鶴の作品をとりあげる。俳諧師であり小説家であった西鶴の生涯とその業績の説明を導入部におき、以後、テキストに収録される作品を、グループ又は個人に担当してもらって、成果の発表を全員で検討する。余力があれば、テキスト収録作品以外に及ぶ。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要となる。積極的に発言することと、他の意見を充分聞きとる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席は<不可>となる）及び、発表の研究内容、折々の宿題や夏期レポート等によって評価する。定期試験は行わない。

教 科 書

麻生磯次編『西鶴名作選』（武蔵野書院）¥750

参 考 書 等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習 I	その へ みき お 園 部 幹 生	短国 1 必	2

講義のねらい

国文学研究の基本的な方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する歌人である藤原定家の異父兄に当たる隆信の私家集『隆信集』をとりあげる。担当歌の正確な解釈は勿論のこと、国歌大観を用いて用例を検索したり、歌語の文学史的な位置づけを考えたりすることを通して、自分で研究が出来るような基礎作業を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、各人が年間に三首の和歌を担当して発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えると、年間に十回程度の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

用例の検索や分析、また、発表のための資料作りなどには、相当な時間を要するので、この科目を履修するには、それだけの覚悟が必要となる。また、担当教員と対等に意見交換をするくらいの気構えも欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって40点分の評価を下す。また、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文講読 I (上代)	ま はら さく み 佐 原 作 美	短国 1・2 必 短国 1・2 選	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝 (629-641) の頃から奈良朝の天平宝字 3 年 (759) までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や個性豊かな特色ある歌人を選び、それらの和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

成績評価は、レポートや筆記試験をもって判断する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう (桜楓社) 刊 ¥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文講読Ⅱ(中古)	すず 鈴 木 ひる 裕 子	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるでしょうか。受講者一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、明石の巻から読みます。光源氏という架空の人物は、在原業平をはじめ古代の英雄のさまざまな要素を総和して創造された「理想像」とも言われています。そういう光源氏の人生史において、須磨・明石でのさすらいの体験は、どのように意味をなしていくか、青春の疾風怒濤をくぐりぬけてゆくおもしろさを味わいましょう。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます(前期一回、後期一回)。その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

テキストは、全文が出ているものなら何でもよく、手元にある本を活用して下さって結構です。ただし、抄本は不可。もし、新たに購入するのであれば、玉上琢弥『源氏物語三』(角川文庫)、新日本古典文学大系『源氏物語二』(岩波書店)、新潮日本古典集成『源氏物語二、三』(新潮社)などが扱いやすいでしょう。

参考書等

参考書などは、授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文講読Ⅱ(中古)	その へ みき お 蘭 部 幹 生	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

中古の代表的な歴史物語の中から、『大鏡』をとりあげる。昨年度は序文と師尹伝、及び、その関連作品を読んだので、今年度は序文と師輔伝を中心に読み進めたい。その関連から、栄花物語や記録類・説話集類も読むことになる。歴史物語としての『大鏡』について理解するだけでなく、時代や人物に関する認識を持ち、そこに登場してきた人物や出来事がどのように受けとめられ、評価されてきたのかを見る目を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序文を講読する。前期の後半から後期にかけては、師輔伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

前期の前半の序文については、平成7年度の「国文講読Ⅱ(中古)」で講義した内容と重複することになるので、平成7年度に「国文講読Ⅱ(中古)」を受講した学生はその旨を了解のうえで受講すること。また、毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、年度末の時間内に50点満点の筆記試験を行う。また、必要に応じて、レポート提出を求めることもある。なお、追再試験については、必要に応じて、時間内に指示する。

教科書

特に指定しないので、『大鏡』の全文が載っているものであれば何でもよい。むしろ、受講生がそれぞれ異なる『大鏡』を持参して、違いを検討しながら読み進めることができれば、その方がよいと考えている。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文講読Ⅲ(中世)	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集の『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛の女徳子(安徳天皇の母として建礼門院の院号を授けられる)の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が全体年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋愛、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇ノ浦での死を体験し、その追想の日々を過ごす。動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、女性の手になる自照文学の流れを概観し自照精神を考え、作者の父・母の伝記に触れ、作者が中宮女房として出仕した資質を明らかにする。作者はまた一時似絵(肖像画)名手であり歌人でもあった藤原隆信との実らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を読み進めていく。

履修上の留意点

『平家物語』の裏面史、裏話的内容を示すものでもあり、『平家物語』そのものへの関心をも喚起したいと思うので、是非『平家物語』も読み進めて欲しい。特に恋愛交渉時に詠まれた作者の歌に、和歌本来の抒情性を味わって欲しい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

久徳高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう刊) ¥1,800

参考書等

本位田重美著『建礼門院右京大夫集全釈』(武蔵野書院刊)、村井順著『建礼門院右京大夫評解』(有精堂刊)、富倉徳次郎著『王朝の悲歌』(弘文堂書房刊)等

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文講読Ⅳ(近世)	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

江戸時代中期の異才の小説家上田秋成を研究する。読本というジャンルのみでなく、興味ある作品を残したこの作家は、丁寧に一生をたどってみるに足る存在だと思う。諸作品に触れて作者を知り、関連する事柄を知ってこの時代を理解してほしいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに収録される作品を、参加者に分担、読解してもらおう。導入時には秋成とその前後の文学状況も解説する。作品読解がある程度進んだ後は、テキスト収録作品以外にも及んで、参加者各自のテーマを深めてもらう。

履修上の留意点

積極的に多量の作品を読む覚悟が必要。

成績評価の方法

読解段階の発表内容、各自のテーマのレポート(夏期・期末)を勘案する。

教科書

浅野三平他編『秋成作品選』(おうふう) ¥1,900

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文講読Ⅳ(近世)	かん の かす お 菅 野 一 雄	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

俳諧とはどういう文芸か、松尾芭蕉はどのような作品を作り上げようとしたか、芭蕉は「旅」の中に何を発見しようとしたか、などを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

芭蕉の紀行文学「おくのほそ道」を、特にその中の日本海沿岸の旅の部分に重点を置いて、曾良の「旅日記」や梨一の「菅菰抄」を参照しながら、読んで行く。

履修上の留意点

講義式の授業で、毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テストを行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

萩原恭男校注『芭蕉おくのほそ道』（岩波文庫） ¥570

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文講読Ⅴ(近・現代)	おお むろ えい し 大 室 英 爾	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

近代詩を読む。「明治ノ歌ハ、明治ノ歌ナルベシ、古歌ナルベカラズ」として伝統的な和歌、俳句、川柳の思想と様式を離れ、いわゆる「新体」の詩の実現をはかった「新体詩抄」からはじめて、現代にいたるまで、その時々を代表する完成度の高い詩をとりあげて読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

講義の内容・
授業スケジュール

個々の詩の味読が中心となろう。毎時1～3作のペース。時に感想、印象の類をペーパーに書いて提出してもらい、それをもとに鑑賞を深めていくことも考えている。

履修上の留意点

その時間に取り扱う作品は必ず読んでくること。

成績評価の方法

レポート提出。

教科書

「展望・近代詩——その歴史と作品」(双文社)

参考書等

授業にてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文講読V(近・現代)	ささ せ おう し 笹 瀬 王 子	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

泉鏡花の作品を一年間かけてじっくりと読む。講義では、特に作者特有の言い廻しや語法に着目し、作品毎の丁寧な読みを行う。基礎的な読解力を養うことを主眼とし、その上で鏡花文学の多面性や特質を考えていく。

履修上の留意点

作品を前もって読み、自分なりの問題意識を持って講義にのぞむこと。

教 科 書

泉鏡花『外科室・海城発電』（岩波文庫） ¥520
『鏡花短篇集』（岩波文庫） ¥520
その他、必要な教材はプリントを配布する。

参 考 書 等

国語辞典、漢和辞典等。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国文講読V(近・現代)	いし わり とおる 石 割 透	短国1・2必 短国1・2選	4

講義のねらい

明治末から大正期の作品を読む。
自然主義文学が一つの到達を見る日露戦争後、それに対して、耽美派や白樺派の作品が若い世代から生み出される明治末期、そうした種々の傾向の作品が生み出される時代を経て、それらの作品の種々の要素を吸収した多様で個性的な作品が生み出されていく。そうした大正期のわが国の文学の傾向を最も典型的に反映した芥川龍之介の小説を中心に扱い、同時代の文学状況を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

芥川龍之介の前期、中期を代表する作品「鼻」「秋」を前期にとりあげ、後期は、芥川の晩年の作「歯車」を読む。また、芥川と同時代の小説家で影響関係もあった志賀直哉、谷崎潤一郎、佐藤春夫、宇野浩二などの大正期の小説も残りの時間でとりあげたい。

履修上の留意点

芥川の「鼻」「秋」「歯車」にとどまらずできるだけ多くの芥川作品、また志賀直哉、谷崎潤一郎、宇野浩二、佐藤春夫の代表作を前もって読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

出席状態の他に、作品を論じたレポートによって主に評価する。レポートの内容は、作品を充分読みこなしただけでの、フレッシュな視角を感じさせるものを期待したい。

教 科 書

『羅生門・鼻・芋粥・偷盗』『大導寺信輔の半生・手巾・湖南の扇』『歯車他二篇』（岩波文庫）『刺青・秘密』（新潮文庫）『美食倶楽部』（ちくま文庫）

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

授業の方法：時にはプリントを配布した講義を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 史 II	いし わり とおる 石 割 透	短 国 2 必	4

講義のねらい

わが国の近代文学の歴史的な展開を、時代を追って検討していく。この時間では、特に明治から大正の半ば頃までを扱うことになろう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期には明治30年頃まで、後期にはそれ以後の文学状況を主として扱う予定である。

履修上の留意点

授業時にとりあげた作品についてはできるだけ多くの作品を授業と平行して、すぐに読むことが望まれる。

成績評価の方法

年間に二、三回行なう筆記試験の結果を重視する。出席状態や学習に対する積極性も充分考慮したい。

教 科 書

『近代文学年表』（双文社出版）

参 考 書 等

『スタイルの文学史』（東京堂出版）、『時代別日本文学史事典（近代編）』（有精堂出版）など。

そ の 他

授業の方法：多くは講義の形による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 学 史 II	おお むろ えい じ 大 室 英 爾	短 国 2 必	4

講義のねらい

近代から現代にいたる文学の流れを概観することによって、単なる知識にとどまらない生きた教養を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

個々の文学作品（主に小説）の“意味”を考えることから始めて、他作品との関連、そして何よりも時代と文学の関わりについて考えを進めていきたい。

履修上の留意点

個々の文学作品の味読が受講の際の条件となる。毎時、次週で扱う作品を指示するので必ず読んでから授業に臨むこと。

成績評価の方法

課題レポート。ペーパーテスト。

教 科 書

平岡・東郷編「日本文学史概説——近代編」（有精堂）

参 考 書 等

授業にてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学概論	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短国2必	4

講義のねらい

古代から現代に至るまでの日本文学を概観する。すなわち、古代、中古、中世、近世、近代の代表的な文学作品をジャンル、表現による特徴によって考え、底流となっている時代、社会をも視野に入れて、史的な展開のあとを辿る。

講義の内容・授業スケジュール

主として、作品に現われた〈笑い〉をとらえて、日本民族の知性、感性の特徴をみるようにする（近世まで）。次に〈女性の生き方〉を考える（近代）。更に〈風土〉を考える（戦後）。

履修上の留意点

あわせて〈女性〉がいかに描かれてきているかを考え、時代と社会と文学の関係をも考える。

成績評価の方法

随時レポートの提出、年2回の長いレポートの提出によって評価する。

教科書

追って指示する。

その他

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文学概論	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国2必	4

講義のねらい

日本文学は原始より長い歴史を持ち、時代や社会や風土などと深く関わりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解していくことは大切なことである。日本文学の本質をきわめ、その諸相を十分に把握することで、作品・作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を持つ必要があるからである。文学作品（文芸）を研究することは、客観的立場に立って「論証」することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日本文学について、各ジャンルの様相・文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に概観する。講座名に「国文学概論」となっていて、今「日本文学」という語を用いているが、学術体系の名称として、この「国文学」と「日本文学」という用語をめぐる論争の時期もあった。まずその問題から説き始めて、以下テキストを読み進めることを中心に、主に文学理念を考えていく。各ジャンルの史的展開は文学史の問題とも重なり、特に古典文学については1年次の国文学史Ⅰの学習内容を再度確認して欲しい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

麻生磯次・松田武夫・市古貞次共著『日本文学概論』（秀英出版刊）¥1,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学	おお とも しん いち 大 友 信 一	短 国 2 必	4

講義のねらい

従来の抽象的な国語の概説ではなく、現実の国語資料を対象として、国語学とはどういう学問かを体得する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次の順序で、講義が進められる。
1. 草書体で書かれた文献の解説
 2. 国語に影響を与えた中国語（漢語・漢字）
 3. 漢文訓読法
 4. 『仮名書き論語』の解説
 5. 各自分担して『仮名書き論語』を読み進め、国語の現実を直視する。
 6. その資料の特徴・問題点を探り、なぜそうなっているかを考察する。

履修上の留意点

現実を直視した学習。

成績評価の方法

授業態度とレポートに拠る。

教 科 書

片山晴賢他編『仮名書き論語』（翰林書房）¥2,500

参 考 書 等

その都度、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 学	やま だ てる あき 山 田 瑩 徹	短 国 2 必	4

講義のねらい

日本語に対する正しい知識を身につけさせ、言葉の感覚をみがくように導きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の特質について、音韻・文法・語彙・文字など各面から講義する。また、本年度は「仮名がき論語」の国語学的研究も行う。

履修上の留意点

日ごろから言葉について関心をよせ、授業には予習・復習を怠らず、まじめに出席してもらいたい。毎時間「国語辞典」を持参すること。

成績評価の方法

平常の授業態度・出席状況・定期試験の成績などにより総合的に評価する。

教 科 書

大友信一編『仮名がき論語』（翰林書房） ¥2,500

参 考 書 等

授業時間に指示する。

そ の 他

授業方法：講義

科目名	担当者名	配当学年	単位
中国文学講読	くぬぎ ただし 功 刀 正	短国2必	4

講義のねらい

中国の韻文を主に、多く読むことに努め、中国文学に親しみ、読解力を培いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

詩経・楚辞・漢魏六朝の古体詩・唐宋の近体詩を、文学史を追いながら、その代表的作品を精読し、中国の韻文の読解力・鑑賞力を養う。併せて、中国文学の日本文学への影響も考えてゆきたい。

履修上の留意点

特に復習・精読に重点を置く。

成績評価の方法

講読の成績・筆記試験並びに平常の出欠状態を勘案して評価する。

教科書

中村璋八編著「中国思想文学通史」(明治書院) ¥1,800

参考書等

講義時に紹介する。

その他

講読主体。

科目名	担当者名	配当学年	単位
中国文学講読	し みず ひろ こ 清 水 浩 子	短国2必	4

講義のねらい

古来、我国は中国から様々な影響を受けている。文学も例外ではない。特に平安文学が唐の文学、『白氏文集』などから多大な影響を受けていることは周知のことと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

そこで、本講義では中国の文学、特に詩を中心に先秦より唐代までの中国の文学系譜をたどり、各時代の作品を鑑賞しながら、時代の特徴を知り、次の時代にどのような影響を与えたかを考えてみたい。余裕があれば、日本文学への影響も考えたい。

履修上の留意点

授業の進行は、漢文の基礎力があるものとして進めるので、自信のない方は高校の教科書を復習するか、岩波ジュニア新書の『漢文の読みかた』(奥平卓著)などで、基本的な知識を身につけておいてほしい。

成績評価の方法

成績の評価は二回の試験と授業時の発表等で判定する。

教科書

『中国思想文学通史』(明治書院)を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 Ⅱ	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短 国 2 必	2

講義のねらい

近代日本文学の代表的作家と作品を対象とし、作品を正しく、深く読む方法を身につけるようにする。すなわち、作品をまず自分で読み、次に先覚の考えかたをも参考にし、最後に真の作品の主題、表現、構成について理解するようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

各自が研究したものを発表し、適宜に質疑応答をする形をとる。

履修上の留意点

レポート、発表によって評価する。

教 科 書

『昭和の短篇小説』（葺柿堂、¥1,600）ほか

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 演 習 Ⅱ	いし わり とおる 石 割 透	短 国 2 必	2

講義のねらい

芥川龍之介の初期の作品を読む。扱う作品は、「ひよつとこ」「羅生門」「鼻」「芋粥」「手巾」など。

講義の内容・
授業スケジュール

大体1時間に1つの小説をとりあげて、芥川の初期の小説を緻密に読み、芥川文学の特質を考えていきたい。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品のみならず、芥川龍之介の他の作品も、授業と平行して、できるだけ多く接すること。また、小説の材源となった「今昔物語集」などの説話も必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

授業時における、各自の分担する小説をめぐる報告と、そのテーマの内容を更に深めて提出するレポートの内容に基づく。出席を重視するとともに、授業時の学習意欲も評価の対象とする。

教 科 書

「芥川龍之介全集1」（ちくま文庫）

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

授業の方法 受講者の報告、発表に基づいて、それをめぐって更に問題点を指摘、意見を互いに交換する。受講する際、その時間に扱う作品については、全員がじっくりと読み、各自が問題点、疑問点を見出しておくこと。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	おおむら えいし 大室英爾	短国2必	2

講義のねらい

近代日本文学のなかの短篇小説を題材とし、その作品（作家）をいかに考え、いかにわがものとするか。

講義の内容・
授業スケジュール

国木田独歩の作品を読む。主に短篇小説を対象とするが、独歩の小説の生命は詩であると言われるように、その作品に流れる抒情的性格について考えることが中心となろう。したがって早い時期の詩篇、それに「武蔵野」、「空知川の岸辺」といった作品も対象となるはずである。

履修上の留意点

「演習」であるから受講生全員が1～2作を分担し、研究発表をすることになる。したがって発表者は、それに備えての調査、研究に努めなければならないし、聴く側も相応の問題意識を持って臨まなければならないだろう。

成績評価の方法

研究発表及びその「まとめ」としてのレポートの提出が成績評価の際の最低条件となる。

教科書

「武蔵野」「牛肉と馬鈴薯・酒中日記」（いずれも新潮文庫）他プリントを用いる。

参考書等

授業にてその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	こばやし おきむ 小林 治	短国2必	2

講義のねらい

安部公房、島尾敏雄、小島信夫、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望制によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国2必	2

講義のねらい

鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に生きた二条という女性の回想の記『とはずがたり』を読む。上皇の寵愛を受けながら、同時に作中「雪の驥」と称される藤原（西園寺）実兼と、「有明の月」と称される上皇の弟で仁和寺御室性助法親王の二人の男性から愛され交渉を持つ。当時の宮廷貴族社会の頹廢的な風潮の中に生きた作者の、その赤裸々な愛欲遍歴の大胆な告白の記は、古典文学においては他に例のない作品である。その告白は、後に西行法師を理想に仰ぎ出家した作者が、真摯な求道心をもって諸国修行の旅を重ね自己の前半生の贖罪の体験を通して得たところの、愛欲の世界を超克した告白である。授業では三人の男性との交渉を中心として読み進めるが、作者の苦悩を読み取って欲しい。特に作者は二歳で母を失い、以後父久我雅忠の愛を一身に受けて成長するが、その父娘間の愛情の深さにも注目して欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

女性の手になる回想の記として、本作品は日記文学のジャンルに入る。これは紀行文学・随筆文学等と共に「自照文学」と称される。自照（自己、その人生を観照する意）の精神は、平安王朝時代の女流文学の伝統に立つものだが、自ずと本作品が生まれた中世という時代の特質が指摘され、また作者固有の感性・闊達な自在の精神等が考えられ、まず、女流文学の歴史を概観し導入としたい。受講者に作品を分担して、読解を中心にレポート発表をしてもらう。

履修上の留意点

演習であり出席重視。発表内容により評価する。単に語釈・口語訳の発表にとどまらず、登場人物・時代背景等作品理解を助ける解説、心理分析、自己の感想等に言及して欲しい。

教科書

次田香澄校注『とはずがたり』（明治書院刊）¥1,300

参考書等

中田祝夫監修・呉竹同文会著『とはずがたり全釈』（風間書房刊）、玉川幸助著『問はず語り研究大成』（明治書院刊）等。次田氏『とはずが足り（上・下）』（講談社学術文庫）は入手して欲しい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	さ ばら さく み 佐 原 作 美	短国2必	2

講義のねらい

平安朝の前期に成立し、わが国の仏教説話集の祖とされる『日本霊異記』をもとに演習を行う。この作品は、上中下巻の三巻に116の説話を収めたものであるが、その思想的主張は序文に見られるように、仏教思想とくに因果応報の思想をもとにしての教化善導にあると言える。当時の一般庶民が何に苦しみ悩み、何に光明を見出そうとしていたかなど、古代社会にあってその底辺にあった人々の心情や思想行動がよく描写されている。作品の読解をもとに、当時の社会状況や人々の心性を見ていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表を中心に進めることになろう。具体的には、上中下の各巻ごとに、受講生が任意に担当する説話を選び、その調査をもとに口頭による発表とそれへの質疑応答をまじえながら授業を展開していきたい。

履修上の留意点

演習授業という点からどうしても受講生の発表が中心となるが、単に説話の内容やあらすじを知るだけに終らせず、作品や登場人物の背景となっている社会的時代的な状況をも視野に入れて、より多角的に理解を深めることが必要である。作中人物を追体験する程の気概を持ってのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績評価は平常の授業の状況を見て判断する。

教科書

新潮日本古典集成『日本霊異記』（新潮社刊）¥2,200

参考書等

参考書等は授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	すずきひろこ 鈴木裕子	短国2必	2

講義のねらい

今から千年ほども昔、平安時代の日本では、女性たちによって数多の物語作品や日記文学が書かれました。彼女たちにとって「文学」とは何であったのか、「書く」ということは、いかような営みであったのか……この演習では、女性と文学についてその関わりを多角的に検討してみたいと思います。

もちろん、この授業が、前年度から引き続き、受講生各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練の場であるということは言うまでもありません。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の女流日記文学を扱います。『蜻蛉日記』、『和泉式部日記』、『紫式部日記』、『更級日記』、『成尋阿闍梨母日記』、『讃岐典侍日記』などを取りあげ、彼女たちの人生と作品を知ること、現代につながる女性の問題を探ってみたいと思っています。

履修上の留意点

授業は、受講者の分担報告を中心として進めますので、担当者がいかに熱意をもって作品を深く読み、多角的に調査し、考察してきたかにより、授業の水準が決まることは言うまでもありません。担当者の発表で授業がおもしろくもつまらなくもなりますから、十分に準備しておくこと。が、それだけではなく、受講生全員にも、発表を受け身で聞き流しているだけではなく、質問・意見などを活発に発言するよう、積極的な授業参加の姿勢を強く望みます。

成績評価の方法

学年末にレポートを提出してもらい、その内容を中心に、授業中の発表や発言、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

伊藤 博・宮崎荘平著『王朝女流日記文学』笠間書院（笠間選書）その他プリント教材

参考書等

参考書などは、授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	せいだけいこ 清田啓子	短国2必	2

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心となる。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の演習材料としては、近松門左衛門の世話浄瑠璃を取りあげる。初めに近松の生涯と業績等を説明し、以後、テキストに収録される作品を、参加者に分担してもらい、解説、作品の価値などを発表してもらおう。それを全員で検討・議論する。

履修上の留意点

浄瑠璃作品は、とりつきにくいと感じられがちだが、味わい深いものである。是非その香気に触れてほしいと思う。一年次に経験した通り、積極的な発言と、他の意見をよく聴くことが必要である。

成績評価の方法

出席状況、発表の内容、議論への参加状況、及び折々の宿題や夏期レポート、学年末レポートが評価の対象となる。

教科書

頼桃三郎編『丹波与作・冥途の飛脚』（武蔵野書院）¥520

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文演習Ⅱ	その 園 部 幹 生	短国2必	2

講義のねらい

国文学研究の方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する文学ジャンルである説話をとりあげる。各自が好きな題材とテーマを選び、一年かけてその説話を研究する。完成度の高い研究を求める。

講義の内容・
授業スケジュール

演習形式で、各人が選んだ題材について年間に四段階に分けて発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えると、年間に十回程度の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

同類話の比較や歴史的資料の検索、また、発表のための資料作りなどは、相当な時間を要するので、この科目を履修するには、それだけの覚悟が必要となる。また、担当教員と対等に意見交換をするくらいの気構えも欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって30点分の評価を下す。それ以上の成績を得たい場合はレポートを提出する。それ以外の場合でも、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
中国文学概説	く 功 刀 正	短国1・2選	4

講義のねらい

中国の散文を多く読み、漢文訓読の基本を理解し、中国文学に親しみ、読解力を培いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

先秦諸子百家・漢魏六朝、並びに唐宋八家の代表的な文を精読し、中国文学への理解を深め、鑑賞力を養う。また、中国文学の日本文学に与えた影響なども明らかにしたい。

履修上の留意点

特に復習・精読に重点を置く。

成績評価の方法

講読の成績・筆記試験並びに日常の出欠状態を勘案して評価する。

教科書

中村璋八編著「中国思想文学通史」(明治書院) ¥1,800

参考書等

講義時に紹介する。

その他

講読主体。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
言語学概論	おく ほん じゅん こ 奥 原 淳 子	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義の目標は「言語を客観的に分析する態度を育てること」にある。
現代言語学理論が明らかにしてきた基礎的概念や分析方法を学ぶことを通して、特に、母語である日本語を振り返る指標を得て欲しい。
授業には、受身でなく自ら調べ、分析し、発表するという姿勢で臨むこと。
受講者には、言語分析レポート、及び研究報告を課す。

成績評価の方法

前後期の試験／提出物（レポート）／研究報告／授業態度

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国語表現法	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語によって表現されたものを、その方法的特徴を考える。すなわち漢字とかな文字、韻文と散文、戯曲、論文、紀行、日記などを考えることで、時代による表現の特徴を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

手紙、エッセイ、小説、詩の実作によって日本語の表現を考える。
テキストによって、日本古来からの表現の推移をみながら、近代の小説に対象を絞って表現法を考える。

履修上の留意点

小説が近代、現代の表現の中心をなしていることを理解し、小説の構成、表現を主として考えることになる。

成績評価の方法

随時に提出させるエッセイ、小説などの実作、および年2回の長いレポートによって評価する。

教科書

葉山修平『新しい文章作法』（笠間書院）¥1,000を最初とし、あとは追って指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
古典文学概説	かわ かつ よし こ 川 上 順 子	短国1・2選	4

講義のねらい

上代から中古までの文学作品に表現された「仏教受容」と「観音信仰」の問題を中心に講義する。日本の古代の人々の土着の信仰は、仏教と出会うことによって急速に信仰の形式が整えられていった。共同体社会のなかで食物生産を中心として、季節各に神への崇拜が行われていた。神は自然の中に存在し、祭りのたびに各共同体の祭りの庭へ招かれた。そのようなところへ美しい金銅製の仏像という目に見える形に表わされた「仏神」が輸入されて、礼拝が開始された。この「仏像」への信仰は、貴族から一般の人々の間へ急速に広まっていった。そのなかでも特に観音信仰は現世利益の功德故に、多くの人々に受け入れられていく。そして土着の神々の占有地であった深山幽谷の場所が、観音示現の場所となり、地主神は土地を譲渡し仏を守護する立場に変化する。

本講座では『古事記』『日本書紀』を初めとして『万葉集』などの上代の作品から日本人の土着信仰と仏教受容の問題を考え、次いで『日本霊異記』『蜻蛉日記』『源氏物語』『枕草子』『更級日記』『今昔物語』等の作品のなかから観音信仰の展開の様子を考えていく。

履修上の留意点

教材は多岐にわたるので、学年の初めにテキストをプリントして渡す。授業へはテキストを読んで出席することが望ましい。

成績評価の方法

出席は必ずとる。小テスト（小論文）を適宜行う。期末はレポートにより成績評価を行う。

教科書

プリント

参考書等

速水侑『観音信仰』、西郷信綱『古代人と夢』、その他はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
近代文学概説	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の近代文学の軌跡は、西欧において既に成立していた近代文学を範として、それを日本の社会、風土においても成立させようとする懸命な試みだったと言えるであろう。しかし、それが完全に成立する以前の二十世紀初めに西欧においては、近代の終焉が叫ばれ始め、やがて、それに対応して日本でも確固たる近代文学テキスト未成立のまま、作家たちの世界同時的な現代的状況をとらえようとする試みと、さらに継続して近代文学成立を目指す二方向が重層していくようになる。それが1926年前後（大正末から昭和初め）のことであり、さらに1945年以後、一時頓挫していたそれらの指向が、一挙に顕在化し、交差し、錯綜していくのが、戦後の文学の特質であるとも言えるであろう。このような日本文学における近代から現代への移行の様相を、できるだけ個々の作家の作品の読解を中心として、追ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文学史的に近代から現代への一つの接点となっていると考えられる関東大震災以後、十五年戦争敗戦までの日本文学の流れを中心にみる。横光利一、小林多喜二、宮沢賢治は特に重点的に触れる予定。

後期は戦後文学の出発期の文学論争を見つ、実際に登場してきた作家の作品との距離を考え、戦前と戦後の連続、非連続について考えていく。雑誌「近代文学」派の言説と野間 宏、椎名麟三は特に重点的に触れる予定。

履修上の留意点

指定した教科書を読み進めながら、時々上記の作家たちの作品を具体的に読解していくことで、講義のねらいで示した日本の近・現代文学のおおまかな流れを証拠づけていくので、教科書はむろんだが、その都度指定する作品は読んだ上で受講していただきたい。

成績評価の方法

筆記試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

奥野健男著『日本文学史 近代から現代へ』（中央公論社新書）¥720
本多秋五著『物語 戦後文学史（上）』（岩波書店 同時代ライブラリー）¥950

参考書等

その都度、指示する。なお、適宜、資料プリントを配布し参考とする。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
国 語 史	やま だ てる あき 山 田 瑩 徹	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の通時的な変遷について基礎的な知識を身につけさせる。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の移り変わりを、音韻・文法・意味などの各面からあとづけ、また文字の成立などにも説き及ぶ。

履修上の留意点

つねに言葉に対して問題意識をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

平常の授業態度，出席状況，定期試験の成績などにより，総合的に評価する。

教 科 書

プリントを用意する。

参 考 書 等

授業時間に指示する。

そ の 他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学年	単 位
書 道 実 習 I	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として，どんな特質を持つのかを考察しながら，書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

執筆法，用筆法，運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。
 ・書体とその変遷を理解する。
 ・初歩的な楷書，行書，草書の書法を習得する。
 ・仮名の単体，連綿体を学び，平仮名，片仮名の成立，及びいろは歌，五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように，又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席，清書の提出（又，随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教 科 書

「大学書写書道教育」（第一法規出版）

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
書 道 実 習 II	な す たか よし 那 須 隆 吉	短 国 1・2 選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
- ・変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
- ・実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教 科 書

「書の古典美」（書芸文化新社）

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ジャーナリズム研究	く ぬぎ てる お 功 刀 照 夫	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

情報化社会・国際化時といわれるなかで、われわれは多様化したマス・メディアを通じて伝えられる、内外のニュースや情報の洪水の中にいる。

ジャーナリズムとは何か、ニュースとは何か、メディアの発達と、それぞれの特性を考察し、実体をつかむことによって、あふれる情報の洪水を冷静に受け止め、その選別・活用の目を養い、あわせて国際的な相互理解増進の基盤づくりをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

内外の動き（ニュース）に目を配りながら、臨機応変にテーマや話題を取り上げる。

テーマとしては、ジャーナリズムの歴史、欧米と日本のジャーナリズム、メディアの発達とコミュニケーションの展開、民主主義と言論の自由、報道と人権、新聞とテレビ、事実と真実、内外の報道の現場の紹介、権力による情報操作とジャーナリズムなど。

新聞記者、海外特派員、英文ニュースの対外発信、英字紙の編集・制作といったジャーナリストの体験をもとにした、具体的な事例による実践論が中心。

履修上の留意点

ニュースに関心を持つこと。新聞を毎日読み（少なくとも一日一回、目を通すこと）、日本の動き、世界の動きに通じることが必須。

成績評価の方法

折りにふれて、ニュースに対する感覚や関心をチェックするペーパーの提出を求める。単なる知識よりも、自分で考え、その結果をいかに分り易く表現・伝達するかという点を重視したい。平常点重視。

教 科 書

教科書は使わない。参考書は必要な時に指示。

そ の 他

最低一紙の新聞を、継続的に「毎日」「必ず読む」ことが受講の前提条件。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
文 化 概 論	おおむる えいじ 大 室 英 爾	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

主題を「女性」とし、下記のような日程と担当者によって、それぞれの立場からのアプローチがなされることになる。

講義の内容・授業スケジュール

この事項及びその他の各事項については、各担当者によってその都度指示がなされる。受講者はその指示に従うこと。

★ 平成8年度担当者及び担当曜日・時限

水曜日 4時限目

◎ 4月17日(木) オリエンテーション, ガイダンス 大室英爾

- ① 女性と文学 《4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22, 5/29 (6回)》 吉田 司雄
- ② 女性と宗教 《6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 7/3 (5回)》 納富 常天
- ③ 女性と服飾文化 《7/10, 7/17, 9/18, 9/25, 10/2 (5回)》 大塚 英子
- ④ 女性と教育 《10/9, 10/16, 10/23, 10/30, 11/13 (5回)》 末藤美津子
- ⑤ 女性の社会的地位Ⅰ 《11/20, 11/27, 12/4 (3回)》 茂野 隆晴
- ⑥ 女性の社会的地位Ⅱ 《12/11, 12/18 (2回)》 大久保治男

◎ 1月8日(木) まとめ 担当者 大室英爾

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 概 論	こはやし しんほう 小 林 眞 峰	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

コンピュータ利用技術の進歩は、ダウンサイジングと低価格化を招き、「コンピュータは高価で利用は難しい」というイメージを払拭し、社会のあらゆる面に於いてコンピュータによる情報処理は必須となってきている。全社員にパーソナルコンピュータを与え、すべての業務をコンピュータ処理する企業も増えており、コンピュータに関する知識と利用技術は必須となってきている。このような実社会の現状を踏まえ、この講座では、基本的なコンピュータ知識と利用技術の習得に重点をおき、講義と実習を併用しておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 前 期

ビジネスレターの作成を通して、ワードプロセッサの利用技術とビジネス社会の基本実務の知識習得に重点をおいて進める。

(2) 後 期

コンピュータの基本機能と利用技術に関する講義とパソコンを利用したビジネス諸表の作成をおこない、コンピュータの理解と一般的な利用技術を習得することに重点を置く。

履修上の留意点

本講座は、情報処理の基本を中心に講義するので、コンピュータ関連の知識は皆無でも受講可能である。

但し、実習がかなりのウェイトをしめるので、欠席した場合は、次の時限の講義を理解することが難しくなる。年間を通して、無欠席で受講する覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験を組み合わせる総合的に評価する。試験は、前期(講義時間内)と期末(全学一斉)におこなう。

教 科 書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度、配布する。

参 考 書 等

開講時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
編集実務（前期）	はせがわ 長谷川 孝	短国1・2選	2

講義のねらい

編集とは、「だれかに——何かを——伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点（目のつけどころ）」が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材、原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考え、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに——何かを——伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙（誌）づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙（誌）を課題作品として提出してもらいます。

教科書

教科書は使いません（随時、プリントを使用します）。

参考書等

長谷川孝編著『新聞をつくろう』（さ・え・ら書房）¥1,236を随時、使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
秘書概論（前期）	ゆ あさ よう 湯 浅 陽 子	短国1・2選	2

講義のねらい

わが国における秘書的業務は、西暦645年大化改新の頃に誕生し、明治のはじめに秘書という言葉が用いられるようになったという。この秘書に対する一般的な概念は、それ以後あまり変わってはいない。しかし、時代の変遷に伴って秘書業務の内容は変わり、それは各分野における経営組織体の中で重要な位置を占めるまでになってきている。すなわち、経営者の日常業務が、情報の横溢、スピードの要求等の渦中にある今、その円滑な流れを全うするためには、上司の本務業務補佐のための秘書の能力が期待され、また、大いに役立っているからである。

秘書の仕事は大から小まで様々な種類があり、それに携わる秘書の能力・経験も様々である。しかし、どんな小さな仕事を受け持つ場合でも、上司を理解し、上司に匹敵して役立つ秘書の能力発揮が求められ、秘書はそれに応えなければならない。上司およびその業務内容を理解するためには、秘書の本質・形態・課題等に関する秘書理論を学ぶことが必要なのである。

授業の内容・ 授業スケジュール等

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. 企業組織と人間行動
3. 経営者と秘書の業務
4. 秘書の形態
5. 秘書の業務とその特質
6. 秘書と情報
7. 秘書と人間関係
8. 秘書と交流分析
9. 秘書に求められているもの
10. 秘書学について

履修上の留意点

1～2年後には社会人になろうという人が受講するのであるから、正当な理由の無い欠席・遅刻は許されない。事後承諾を受けるのではなく、事前に何らかの形で連絡しておく配慮が必要。

成績評価の方法

出席を重視する。日常に課する小レポートも加味する。2年生は就職活動で欠席を余儀無くされることがあるが、「私の就職活動報告」と題してその日のレポートを提出してもらい、欠席分を補う。定期試験の得点と総合して評価する。

教 科 書

藤本ますみ編著 『秘書学概論』（ミネルヴァ書房）¥2,500

そ の 他

講義形式で授業を進める。取り扱う関連分野が多領域にわたるため、ビデオ教材を使うこともある。その際は教務課正面のビデオ教場使用欄（黒板）にて案内するので、前もって指示されているビデオ教場に入ってもらいたい。予約によって異なるが、I-201教場になることが多いであろう。

ただ講義を聞くというのではなく、これから直面する就職のこと、結婚、家庭と仕事との両立の問題、40代・50代をどんなふうにご過ごしたいのか等々、自分のライフサイクルの中の現時点と未来を、秘書という事務処理能力の優れた女性の職能を通して考える機会になればと思っている。自分の意識を再確認するために、意見を書いてもらうことも多くなるであろう。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
秘書実務（後期）	もり 森 もと 本 まさ 正 え 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。
 企業で働く秘書として必要な資質、職務知識、一般知識、マナー・接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。
 文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

授業の内容・ 授業スケジュール等

授業の進め方としては、秘書や秘書の仕事について考え理解し行動でき、表現できるように適宜レポートや実技（来客対応・電話対応など）を課題として与えながら実務能力がつくように進めていく。

（授業計画）

1. オリエンテーション（ねらいと進め方）
2. 秘書の役割と心がまえ
3. 会 話（話し方、聞き方、敬語）
4. 接 遇（来客対応、電話対応）
5. 日程管理（行動予定、出張、旅行）
6. 交際業務と環境整備（慶弔のマナー、仕事のしやすい環境）
7. 文書作成（社内文書、社外文書、グラフ）
8. 文書管理（ファイリング、郵便の扱い）
9. 会 議（会議の種類と準備、後始末）
10. 美しい立ち居振舞い（おじぎ、イスの立ち方座り方、物の扱い）
11. 実 技①（接遇——受付、取次、案内、接待、見送り）
12. 実 技②（電話対応）
13. 実 技③（報告の仕方、状況対応）
14. ま と め

履修上の留意点

毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。
 提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物。実技。授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教 科 書

野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』
 （燃焼社）¥1,800

そ の 他

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

科目名	担当者名	配当学年	単位
戯曲演劇概説	せい だ けい 子 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の古典芸能に親しみ、鑑賞眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。参加者には、能・人形浄瑠璃・歌舞伎をそれぞれ最低一回鑑賞し、レポートを提出する義務を課す。

講義の内容・授業スケジュール

日本演劇の大まかな歴史を解説し、随時都内又は近郊で上演される上記三種の芸能に関して解説・案内する。基本的に浄瑠璃の歴史を中心に、他に及ぶ予定であるが、上演の現実的な状況から、厳密なスケジュールは立てられない。

履修上の留意点

上記三種の芸能を鑑賞する余力——時間的、経済的、精神的余裕——が必要である。

成績評価の方法

上記三種のレポートと、総括としての期末試験による。

教科書

影山正隆編『人形浄瑠璃関係資料（抄）』（新典社）¥515

参考書等

教場にて参考書は指定する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
児童文学	よし だ もり お 雄 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

近代日本の主要な児童文学作家の代表作を読みすすめながら、〈子供〉をめぐる文化的・社会的諸問題にも視野を広げる。また、実際に童話の創作を試みることで、児童文学のありようについて考察を深める。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、桃太郎の昔話が近代日本でどのように受容・再生されていったのかを辿ることを通して、近代日本児童文学史のアウトラインを概観する。ついで、小川未明、浜田広介、坪田譲治、新美南吉、壺井栄、いぬいとみこの短編を読解してゆく。また、短い童話の創作にチャレンジする機会ももうける。

履修上の留意点

次から次へと、様々な作品を読みすすめてゆくの（毎週一作品ずつくらい）、旺盛な好奇心と多大な読書欲をもって、授業に望むこと。

成績評価の方法

未定。例年通りであれば、試験とレポート（児童文学作品の創作可）を各一度ずつ。他に初読の感想文等の提出を求めることも多い。

教科書

大藤幹夫編『展望日本の児童文学』（双文社出版）¥1,800
他は教場で指示し、短い作品はプリントで配布する。

参考書等

教場で指示。また、その一端は教科書の項で挙げた教科書にも記載されている。

その他

登録者数にもよるが、できれば演習形式かグループ学習形式で行ないたい。第一回目の授業でくわしく説明するので、必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
有 職 故 実	おお つか ひで こ 大 塚 英 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実（正しい前例）に精通していることであって博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された、前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論じることにより、日本文化の研究に一視点を提供したい。具体的方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明。当日履修許可証。

B, 平安朝の服飾文化

1. 古代服制の歴史的变化をたどり、平安初期に唐風服飾として完備した時の姿を、各種の資料から考える。
2. 律令服飾制を規範としながら、平安貴族社会がどのような流行を生み、それがまたいかなる制度を生じたかを考える。
3. 平安文学の中心となる摂関期の男性装束・女性装束を細部にわたって解説。また、かさね色の標本で当時の色を調べる。
4. 『源氏物語絵巻』のビデオを見る。

後期A, 平安朝の年中行事

1. 『源氏物語』の花宴をめぐって、曲水宴・重陽宴と比較。文化的年中行事の考察。
2. 正月の年中行事を詳説。特に朝賀の儀式の持つ政治的意味について考える。

B, 平安朝における官職位階の制度。

成績評価の方法

夏休みレポート「源氏物語絵巻における服飾と調度」と、学年末テストを総合して評価。

教科書

河鱈実英『有職故実』（塙書房）¥1,900 及びプリントを使用。

参考書等

奥平英雄『源氏物語絵巻』（保育社）¥1,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 特 講 I (上 代)	かわ 川 上 順 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

『古事記』の講義を行う。いうまでもなく『古事記』は日本最古の書物である。『古事記』のなかには神話・祭式・民俗・文学等々の、さまざまな学問分野の原点ともなるべき話が記載されている。『古事記』の中のいくつかの話は、皆さんが幼い頃に絵本や読み物の中で出合ったものであることを想起することができるであろう。『古事記』には現代の幼児にも理解できる話と共に、現代人の合理性をもってしては、どうしても解明不可能の不思議な話が記載されている。多彩な『古事記』の物語を読み解くなかで、古代人の思惟に接近し、「文学」の原点を探り出していく。以上述べたように本講座では『古事記』を「文学作品」として取扱い、文学的立場からの講義を行っていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

『古事記』上巻と中巻の講義を行う。中巻は仲哀記あたりまで進めていきたい。

履修上の留意点

テキストは真福寺本古事記を底本とする。「西宮一民古事記」を使用するので、予習してから出席することが望ましい。

成績評価の方法

出席は必ずとる。小テスト（小論文）を適宜行う。期末テストの成績を中心に評価する。

教科書

西宮一民編『古事記』（おうふう）¥1,900

参考書等

川上順子著『古事記と女性祭祀伝承』（高科書店）他に注釈書として本居直長『古事記伝』、倉野憲司『古事記全注釈』、西郷信綱『古事記注釈』等がある。

その他

テストは自筆ノート参照可であるので、講義内容を丹念にノートすることが望ましい。（専用ノートを用意すること。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 文 特 講 II (中 古)	すず 鈴 木 裕 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

『源氏物語』という作品は、一見すると、平安王朝の貴族たちのはなやかなみやびの生活が絵巻のように繰り広げられているというように思えるかもしれませんが、それが書かれた時代、作者やその周囲の女性たちにとって、現実の生活は、決してはなやかでみやびやかなだけのものではありませんでした。『源氏物語』には、そうした女性たちの問題意識が書き込まれているはずで、特に、光源氏という英雄が不在となった宇治十帖は、王権や家の意思や予言といった呪縛から解き放たれた物語世界であり、だからこそ、そこには女性の生の問題が提起されているのではないかと思います。宇治十帖を「女性の物語」として読みながら、現代を生きる私たちにも通じる問題意識を読み取ってみたいと思います。授業が、自分自身のありかたを見詰める契機となることができればよいと希望しています。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宇治十帖のヒロインの一人大君と薫の恋の物語を扱い、「結婚拒否する女」のテーマについて考えます。

履修上の留意点

授業は、テキストやプリント教材を用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます（前期一回、後期一回）。その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

テキストは、全文が出ているものなら何でもよく、手元にある本を活用して下さって結構です。ただし、抄本は不可。もし、新たに購入するのであれば、玉上弥弥『源氏物語八』（角川文庫）などが扱いやすいでしょう。

参考書等

参考書などは、授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文特講Ⅲ（中世）	その へ みき お 蘭 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は、中世の代表的な説話文学作品の中から、『宇治拾遺物語』をとりあげる。特に、『宇治拾遺物語』編者の意識がどのようなものであったかを考えるために、収録されている説話に内在する視点を読み解いていきたい。学問的レベルとしては、『宇治拾遺物語』研究の最先端をめざす。

授業の内容
授業スケジュール等

前期の前半は、『宇治拾遺物語』編者論を中心に講義する。前期の後半から後期にかけては、『宇治拾遺物語』収録説話を検討する。関連から、他の説話集や歴史物語、及び、収録類における同類話を読む必要もでてくる。どの説話をどのような順序で読むかは、各時限に学生諸君から出される意見や疑問などによって決定するので、スケジュールの大半は、実際には学生諸君自身の問題意識に委ねられることになる。

履修上の留意点

前期の前半の編者論については、平成7年度の「国文講読Ⅲ（中世）」で講義した内容と一部重複することになるので、平成7年度に「国文講読Ⅲ（中世）」を受講した学生はその旨を了解のうえで受講すること。また、毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、年度末の時間内に50点満点の筆記試験を行う。また、必要に応じて、レポート提出を求めることもある。なお、追再試験については、必要に応じて、時間内に指示する。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』（角川文庫）¥720

参考書等

『駒澤短大国文』26号。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文特講Ⅳ（近世）	かん の かず お 菅 野 一 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

浄瑠璃とはどういうものか、近松門左衛門はどういう作品を作ったか、近松作中の男女が愛し合いながら「死」という解決に至らざるを得なかったのはどうしてか、などを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

近松の世話物浄瑠璃「曾根崎心中」「堀川波鼓」を読む。現在の「文楽」で上演する形態も適宜考察しながら読んで行く。

履修上の留意点

だいたい講義式の授業で、毎時出欠をとる。学生の私語や無礼には厳しく対応する。

成績評価の方法

随時小テストを行い、その結果と出欠状況などを総合して評価する。

教科書

祐田善雄校注『曾根崎心中・冥途の飛脚 他五篇』（岩波文庫）¥670

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文特講 V (近・現代)	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国 1・2 選	4

講義のねらい

大正から昭和にかけて評論家・小説家として活躍した広津和郎の回想小説集『同時代の作家たち』を教材として扱う。刊行当時、「読んだ人は、どの小説を読んでもどんな悲しいことを述べたものでも、いかにみじめな話書かれたものでも楽しい気持ちになる」と評された本書を通して、大正文学の魅力をあらためて考えてみたい。

講義は、作中に実名で登場する島村抱月、田山花袋、徳田秋声、芥川龍之介、菊池寛、宇野浩二、近松秋江といった文学者たちの文学の考察を中心に進める。

履修上の留意点

講義が広汎にわたるので、各自が自主的に対象とする作家の作品の一つでも多く、あらかじめ読んでおくことが望ましい。

教科書

広津和郎『同時代の作家たち』(岩波文庫) ¥620。文庫本が品切の際は、こちらでコピーを用意する。

その他、必要な教材は適宜指示、或はプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文特別演習 I	さ はら さく み 佐 原 作 美	短国 2 選	2

講義のねらい

この科目は、研究論文の作成を目的としたものである。特に、上代・中古時代に成立した作品や作者たちを対象とする。したがって、そのために必要な基礎知識や調査研究の方法手順などについてその概略を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

一通りの講義の後、受講生各人から6月末日を目途に研究テーマを提出してもらうことになろう。その結果、論題やテーマによっては他の専門の教員の指導を受けるといこともあろう。

論文は冬休み明けの最終授業時あたりに清書し製本して提出するというスケジュールのもとに進めていくことになろう。

履修上の留意点

他の科目と違って、自から選んだテーマについての論文の作成であるだけにやり甲斐がある一方、それだけに各自の努力が必要であることを肝に銘じてほしい。

成績評価の方法

提出された論文の内容によって評価する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
国文特別演習Ⅱ	いしわり 石割	とある 透	短国2選 2

講義のねらい

二年間の学習の一つの達成として、自己のモチーフ、強い関心に基づいた学習テーマを追究し、従来の研究成果を十分に吸収したうえで一つの論文を作成していく。そうした論文を実際書き、それをより高いものに完成させていくための指導を行なう。この時間は、研究テーマを近・現代文学に関わるものとする者が受講してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

4月から5月にかけては、論文の具体的なテーマを各自が決めるまでの期間として、研究の基本的な方法、研究の基本的な文献、及んでは多様な方法の一端を紹介。各自の研究テーマが具体的に決まる6月以降は、各自のテーマに基づいた報告・発表を行ない、進行状況、問題点などを互いに指摘し合う。そして自己のテーマを深めながら、12月末、或いは1月初めに400字詰原稿用紙30枚から40枚の論文を提出。

履修上の留意点

二年間の学習成果をまとめる意味で、できるだけ多くの学生が「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」のいずれかの「特別演習」の授業を受講してほしいと思う。論文を書くことに挑戦することで、テーマを超えた多くのものが見えてくるに違いない。受講者は、他の受講者のテーマにも関心をもち、それについての簡単な知識を得ておくこと。

成績評価の方法

完成した論文による評価とともに、授業時の学習意欲、テーマを深めようとする積極性に高い評価を与えたい。

教科書

特に指定はしない。

その他

前期は講義が中心。後期は受講者による報告をめぐって、それについての意見を交換したり、指針を与えたりする。

科目名	担当者名	配当学年	単位	
国文特別演習Ⅲ	さか 坂	くち ひろ 博	き 規	短国2選 2

講義のねらい

国文特別演習Ⅲは、中世・近世の文学作品・作家についての研究論文を作成するための講座である。文学研究上必要な方法論や資料の収集方法など諸知識について講義する。具体的に論文を例示し、叙述方法やその技術を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

開講当初に中世・近世の諸作品・作家について概観し、その研究対象を確認する。所謂レポートと論文は本質が違うので、そうしたことを確認してもらうことから始め、6月まで日本文学の諸研究方法論を概説し、作品・作家研究の作成への本質的な認識を持ってもらう。一方この間に、受講者各自の研究対象・テーマを決定するために個人的に助言をし、6月末に課題を決定してもらう。決定した作品・作家については、それを専攻する他の教員の指導をいただくこともある。主に各自夏季休暇前後に作品の読解を進めてもらいながら関連資料の収集に努めてもらい、10月初旬には論文作成の作業に入る。冬季休暇前に草稿をまとめ、その点検を各自を対象に面談で行って、冬季休暇明けの最初の授業時に論文を提出してもらう。

履修上の留意点

受講者各自の自主的な作業、個人を対象とした面接指導によって論文作成に至るが、そのために数回の面接を義務づけ着実な作成経過を辿るようにしたい。何より論文作成をするという自覚が必要であり、また研究する上で作品・作家についての充分な理解が要求されるので、まずは作品に惚れ込むぐらいの読みを期待する。基本的に自主的姿勢が望まれる。

成績評価の方法

提出された論文を対象に評価するが、その完成に至る準備作業の過程においても、その努力を評価する。

教科書

山岸徳平編『日本文学研究のために』（新典社）¥800

專 門 教 育 科 目

英 文 科

専門教育科目

英文科

必修科目【一類】

英米文学概論	(熊崎久子)	41
英語音声学	(モエ, R. A.)	42
英文法論	(梅原敏弘)	43
英文講読 I	(滝静寿)	43
英文講読 I	(吉沢栄治郎)	44
Freshman English	(キーズ, ピーター)	45
英文学史	(滝静寿)	46
英語学概論	(岡本誠)	46
英作文	(岡本誠)	47
英作文	(梅原敏弘)	47
英作文	(高野秀夫)	48
英文講読 II	(熊崎久子)	48
英文講読 II	(滝静寿)	49
Spoken English	(ファイファー, J. H.)	49
Spoken English	(シェレン, K.)	50

必修科目【二類】

英米文学概論	(熊崎久子)	52
英語音声学	(モエ, R. A.)	53
Intensive English I	(ケデル, J.)	54
Intensive English I	(シェレン, K.)	56
Intensive English II	(ウォレス, G.)	58
Intensive English II	(ミルン, C. R.)	59
Intensive English III	(ギャリソン, J. G.)	60
Intensive English III	(アシュウェル, T.)	60
Intensive English IV	(ニノミヤ, リキ)	61
Intensive English IV	(キーズ, ピーター)	62
英文学史	(滝静寿)	63
Intensive English V	(郷司正彦)	63
Intensive English V	(デンドウ, G.)	64
Intensive English VI	(エルウッド, K.)	64
Intensive English VI	(マクサマック, M. W.)	65
Intensive English VI	(デンドウ, G.)	66
Group Discussion	(郷司正彦)	67
Group Discussion	(ウォレス, G.)	68
Group Discussion	(デンドウ, G.)	69
Group Discussion	(ファイファー, J. H.)	70

Reading Comprehension	(郷 司 正 彦)	70
Reading Comprehension	(シェレン, K.)	71
Reading Comprehension	(ウォレス, G.)	73
Reading Comprehension	(アラム, P.)	74

選択科目【一類・二類共通】

情報処理 I	(湯 浅 陽 子)	75
Advanced English I A・I B	(ギャリソン, J. G.)	76
時事英語	(岡 本 誠)	77
戯曲研究	(熊 崎 久 子)	77
英語演習 I (ディクテーション)	(岡 本 誠)	78
英語演習 II (シャーロックホームズ)	(滝 静 寿)	78
英語演習 III (口語英語の基礎訓練)	(梅 原 敏 弘)	79
英語演習 IV (耳で聞く英字新聞)	(吉 沢 栄治郎)	79
英語演習 V (ボキャビュラリー ビルディング)		
	(梅 原 敏 弘)	80
英語演習 VI (英語表現)	(高 野 秀 夫)	80
米文学演習	(ギャリソン, J. G.)	81
ジャーナリズム研究	(功 刀 照 夫)	82
西洋古典文学	(平 田 松 吾)	82
イギリス文化事情	(アラム, P.)	83
アメリカ文化事情	(モエ, R. A.)	84
アメリカ演劇	(ギャリソン, J. G.)	86
20世紀英文学	(高 野 秀 夫)	88
同時通訳 I	(モエ, R. A.)	89
聖書研究	(高 野 秀 夫)	91
ビジネスイングリッシュ	(町 井 靖)	91
秘書概論	(湯 浅 陽 子)	92
秘書実務	(森 本 正 恵)	93
秘書英語	(森 本 正 恵)	94
作品作家研究 (ロマン派の詩)	(熊 崎 久 子)	95
作品作家研究 (世紀末文学)	(滝 静 寿)	96
作品作家研究 (20世紀アメリカ小説)	(吉 沢 栄治郎)	96
作品作家研究 (19世紀英文学)	(高 野 秀 夫)	97
情報処理 II	(湯 浅 陽 子)	98
言語と文化	(岡 本 誠)	99
英語表現研究	(梅 原 敏 弘)	99
Advanced English II A	(モエ, R. A.)	100
Advanced English II B	(モエ, R. A.)	101
英語とコンピュータ	(モエ, R. A.)	102

《必修科目》 【一類】

科目名	担当者名	配当学年	単位
英米文学概論	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	短英 1 必	4

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期 ヴィクトリア朝の英文学
 4月 英文学の流れ——古代英語時代から18世紀まで、ヴィクトリア朝概観
 5月 詩歌
 6月 小説
 7月 アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
 ②後期 19世紀米文学
 9月 独立以前からロマンティシズム興起まで
 10月 ロマンティシズム興隆からリアリズム発生まで
 11月 リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 12月 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 定期試験の成績……50%
2. 年2回提出のリポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

正式の教科書は特にありません。
 準テキスト：「要説イギリス文学史」（佐瀬順夫著 英宝社）
 「要説アメリカ文学史」（ 同上 ）

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、「英文学史」（斎藤勇著 研究社）
 「アメリカ文学史」（ 同上 ）があります。
 その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは「英米文学辞典」（研究社）、「イギリス文学案内」（朝日出版社）、「アメリカ文学案内」（朝日出版社）などがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 音 声 学	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短 英 1 必	4

講義のねらい

To teach students how they can improve their aural skills and listening comprehension abilities of English as it is naturally spoken by native speakers. This course will not concentrate on theory but instead the practical application of phonetics. In other words, students will be taught less about what phonetics is from an academic viewpoint, but rather how to use it to enable them to improve their listening comprehension and transcription skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The essential elements of the course will concentrate on sound recognition, accurate sound reproduction and representation through the use of phonetic symbols, and the correct interpretation of sound into proper English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

4月2週 Explanation of course. Explanation of Phonetics. Distribution of phonetic symbols chart.

3週 Voiced and voiceless sounds. Classification of major vowels. Classification of consonants.

4週 Pronunciation of vowels and diphthongs.

5月2週 Pronunciation of consonants.

3週 Sound sequence. Consonant clusters. Length or duration. Liason or linking. Assimilation. Elision and contraction.

4週から12月3週まで Exercises involving the actual application of phonetic principles.

履修上の留意点

Although attendance will not be taken, students will be expected to attend class regularly and promptly. Tests will not be announced. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students without valid excuses will not be permitted to take tests and as such, they will also receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at the end of the year. Students are advised to take careful notes during the lectures. Outside practice and preparation are essential and often will make the difference between passing and failing. Accordingly, students are urged to apply what they are learning outside of class. Talking in class will not be tolerated and students who fail to observe this rule will be expelled.

成績評価の方法

The final grade will be based entirely on the average of an indeterminate number of unannounced tests given throughout the year plus *alpha*. *Alpha* represents the difference between 100 and the average of the student with the highest average. [Final Grade = Avg. + α] Attendance is not a factor because it will not be taken due to the large size of the class.

教 科 書

No assigned textbook. A phonetic symbols chart will be distributed at the start of the course. Students are advised to listen to English language materials, such as radio broadcasts, TV programs, videos, songs, etc., in their free time.

参 考 書 等

Students will need a notebook and may use dictionaries in class. Students must use pencils when taking tests, however, during class either pens, pencils, or other markers are acceptable.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Test results and current averages will be posted. Students with low grades are advised to consult with the teacher at an early date in order to discuss ways of improving their performance.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 文 法 論	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短 英 1 必	4

講義のねらい

従来の規範的ないわゆる「学校文法」とは一線を画しているものの、比較的「学校文法」に近い、イギリスのQuirkを中心としたグループの文法をとりあげ、その理論の概要を知ってもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者が多く演習形式がとれないので、ハンドアウトをあらかじめ配り、ハンドアウトに記されたそれぞれのセンテンスに含まれる重要な文法項目を逐次解説していくという形をとる。センテンスの量はかなり多く、中にはやや理解の難しい文法概念を含んだものもあるので、受講者は毎回講義に出席し、こまめにノートを取る必要がある。前期では主として主部にまつわる文法項目を、後期には述部に関する文法項目を扱う予定。

履修上の留意点

ハンドアウトには英語のセンテンスのみが記されていて解説は書かれていないので、毎回講義に出席し、ノートをこまめにとらないと試験で合格点をとることは難しい。出席と同時に講義の内容を正確にノートテイキングする習慣を養うことも重要。

成績評価の方法

前期終了時または後期開始時、及び学年末にそれぞれ試験をおこない、その結果によって成績評価をする。

教 科 書

使用せず。ハンドアウトを配布。

参 考 書 等

クワーク「現代英語文法 —— 大学編」紀伊国屋書店
クワーク「現代英語文法 —— 基礎編」紀伊国屋書店
“A University Grammar of English” 1987, R. Quirk and S. Greenbaum.
“A Student's Grammar of the English Language” 1990, R. Quirk and S. Greenbaum.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 文 講 読 I	たき せい じゅ 滝 静 寿	短 英 1 必	2

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品（未定）を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・
授業スケジュール

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。

履修上の留意点

予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教 科 書

未定。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英文講読 I	よしざわ えいじろう 吉 沢 栄治郎	短英 1 必	2

講義のねらい

スタインベックの作品を読みます。原作（「長い谷」）の香りを少しでも窺えるようになれば、とおもいます。

履修上の留意点

辞典を十分にひいて、精読して下さい。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教科書

教科書、及び参考書等は、第1回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Freshman English	Peter Keyes (ピーター キーズ)	短英 1 必	2

講義のねらい

The aim of the course is to develop the students' conversational and listening skills in meaningful situations that they can relate to. The text is designed to teach the communicative skills of speaking and listening in everyday situations and is based on modern teaching methodology. From the beginning the student will be participating in meaningful English short conversations and listening exercises. The ideas, information, and choices for the main activities come directly from the participants the textbook serves as a framework for preparation, organization and evaluation.

講義の内容・
授業スケジュール

The class will be conducted in the classroom. For preparation students are required to preview and later review the material covered in class. The class will usually start with a listening comprehension exercise and this will be followed by a short conversation for memorization and then some pairs or group activity. Additional material will sometimes be handed out by the teacher. The teacher will also develop blackboard stories so that the students can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The first lesson will consist of introductions and a detailed explanation of the course. The text consists of 12 units and it is hoped that 6 units can be covered each semester. The teacher also plans to introduce additional material on a regular basis. A test will be given in class during the last scheduled lesson which will be in January 1997.

The contents of the lessons may differ from the schedule so as to enable the teacher to tailor his teaching to the needs of his students.

履修上の留意点

Students are required to bring their textbook and an English-Japanese dictionary.

Students are expected to review before class and to be punctual. They are also expected to participate by asking questions to the teacher and by being generally active. Students should not worry about making mistakes as trying is much more important. As regards attendance four unexcused absences during the year will be allowed, although attendance marks will be lost. Excused absences include illness-upon presentation of proof that the student has been to see a doctor, a serious family crisis, transportation problems, supported by a note from the line responsible for the delay. Absences due to sport, club or circle activities will not be recognized.

成績評価の方法

There will be an exam at the end of the year. The grade will be an evaluation of the student's attendance, punctuality, participation and ability. The exam is a written exam and will be based on material covered in class during the year. The marking will be as follows:

Exam:	60
Classroom participation:	20
<u>Attendance</u>	<u>20</u>
<u>Total:</u>	<u>100</u>

教 科 書

Jack C. Richards, David Bycina and Sue B. Aldcorn: *New Person to Person (Student Book One)*, Oxford, ¥1,750

そ の 他

Students are encouraged to talk to the teacher about any problems they may have with the course.

科目名	担当者名	配当学年	単位
英文学史	たき 滝 せい じゅ 静 寿	短英2必	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- (5月) 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- (6月) 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシャ・ローマ演劇について。
- (7月) 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- (9月) エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- (10月) 18世紀までの歴史、・ピューリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- (11月) 19世紀までの歴史。ポーブ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- (12月) ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- (1月) イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代わりに、前期、後期のレポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、前後期各1回提出のレポートを参考に評価する。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語学概論	おか もと 岡 本 まこと 誠	短英2必	4

講義のねらい

今や国際語の地位を得た英語とは、そもそもいかなる出生、生立ちであるのか、大陸の方の言語と比較しつつ概観する。次に、現代にあっては英語が世界各地でどのように用いられているかを見てみる。英語のたどってきた道を知るとは、ただ単に一外国語のレベルにとどまらず敷衍性を持つ。つまり、我々の母語である日本語をもあらためて見なおすヒントを得ることになる。本講義は、とあるドイツ北方の言葉が国際語になっていったという、英語の劇的な出世物語を少しでも理解しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期: 英語の時代区分。印度・ヨーロッパ語と英語の関係。英語に影響を与えることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人による仏語の影響。ルネサンスと英語。
- 後期: ルネサンスと英語(後半)。18世紀以降の英語。アメリカの台頭とその英語。各地の Englishes。

履修上の留意点

教科書を講義を進める際の道標として使用するが、予備知識として事前に読んでおくこと。

成績評価の方法

学期末試験。レポートを必要に応じて課す。

教科書

F.A・モセ著『英語史概説』(開文社) ¥1,648

参考書等

参考書等はその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 作 文	おかもと まこと 岡 本 誠	短 英 2 必	2

講義のねらい

いきおい和英辞書に頼ることになるのであろうが、でき上ったつむりの英文が実は非常に英語離れていることになりかねない。英語らしい文を作るとはどういうことか。個々の語の吟味を行なってほしい。それには英々辞書が必携である。本講義では英作文というよりよい翻訳を念頭に置いて進めていく。また、宿題として creative writing も行なう。

履修上の留意点

積極的に発表してほしいし、また、質問は随時OK。

成績評価の方法

積極的な講義への参加。学期末試験。宿題。出席状況。

教 科 書

プリント等こちらで用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 作 文	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短 英 2 必	2

講義のねらい

この授業の目的は、英語で自分の意志を表現するための基礎的な英作文能力を養うことにある。難しい言葉を使わなくても基本語彙をうまく活用することができればかなりのことが表現できる。特に基本動詞をうまく使うことができるようになることが肝要である。そこでこの授業では、基本動詞のうちこれまで組織的に学ぶことがなかった活用範囲の広い二語動詞に焦点をあてて、それらの使い方を学びながら英作文力の向上を目指したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを使い、一つの課を二週間かけて勉強していく。受講者は当該課の二語動詞の意味と用法について説明を受けた後、家で練習問題をやり、授業での答え合わせに臨む。練習問題は at random にあてていく。練習問題には通常の正誤問題や穴埋め問題の他に多数の英作文問題が含まれていて、受講者は当該課で習った二語動詞を使って英作文をする事になる。英作文の問題はレポートの形で二週に一回提出すること。

二語動詞の意味と用法の説明をしながら随時指名して簡単な口頭英作文もおこなうので、受講者は常に英語で自分の意志を表現しようという気持ちでいること。

履修上の留意点

就職活動のための欠席は最小限にとどめること。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、練習問題のレポート提出、出席を総合的に勘案して決める。

教 科 書

Moe & 梅原「Workbook on Two-Word and Three-Word Verbs」松柏社

参 考 書 等

Longman Dictionary of Phrasal Verbs, Longman.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 作 文	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 2 必	2

講義のねらい

日常、大学生活において役に立つ、口語英語表現の英作の例文を多数練習し、case by caseですぐに英語で自分の意思が伝えられるような、実践的な英作文の授業を目指す。
また、日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上をも図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 短いトピックスの英語テープを活用。
- ② 「コミュニケーションのための口語英作文」のテキスト使用。
- ③ “Self-Expression in English”の向上のための“A Short Speech”

履修上の留意点

- ① 日常の出来事を Broken English でもよいから毎日少しずつ書き表す習慣を身につけること。
- ② 教科書の練習問題の解答、レポート提出を忘れぬこと。

成績評価の方法

- ① レポート（いろいろな話題を英語で書き表す。）
- ② 前期・後期のテスト
 - (a) テープの英語
 - (b) 教科書
 - (c) 自由英作文（辞書持込可）

教 科 書

- ① *TV News Watching・21 Approaches*
- ② *The Road From Writing To Speaking*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 文 講 読 II	くま ぎさ ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 必	2

講義のねらい

- ① 20世紀英文学の中でも特異な存在であるD.H.ロレンスの後半生について、妻フリーダが綴った思い出の記、「私ではなく、風が……」を読みます。
- ② 併せてロレンス自身の書いた短編小説、詩、エッセイ、および書簡を読み、人生、愛、性、芸術、宗教など、あらゆる分野に亙り独自の見解を披瀝しているロレンス自身の生き方とその思想に触れたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 前期 第一週 D.H.ロレンスについて解説
第二週以降 “Not I, but the wind…” を読む。
最終週 質疑応答とまとめ。
- ② 後期 “The World of D.H.Lawrence” を読む。
最終週 質疑応答とまとめ。

授業の進め方

- ① 「私ではなく、風が……」は簡単な文章で綴られていますので速読をいたします。
作品中に言及されているロレンスの詩、小説、紀行文などはその都度、一部引用して鑑賞します。受講者全員による朗読とディスカッションを行います。
- ② 「ロレンス・アンソロジー」はロレンス自身の英語で書かれたものですからじっくりと文章と内容を味わいます。この場合も受講者全員の発表と意見の交換を行います。

履修上の留意点

十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握して教場に臨んでください。朗読、意見発表は申し出制としますので準備を十分に、積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価……60%
平常点……40%

教 科 書

- ① “Not I, but the Wind”(Frieda Lawrence 著、弓プレス)
- ② “The World of D.H.Lawrence”(倉田雅美ほか編注、弓プレス)
価格はいずれも900円前後

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英文講読Ⅱ	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	短英2必	2

講義のねらい

8年度初めて担当するので、現在の所計画不備、4月学生には、シラバスにて説明する予定。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
Spoken English	Jeanne Pfeiffer (ジーン ファイファー)	短英2必	2

講義のねらい

This course will provide communicative practice, in which students are expected to participate actively in meaningful exchanges in pair work and group activities.

講義の内容・
授業スケジュール

Attendance and preparation of homework assignments before class is most essential. Students are expected to conduct all communications in English throughout the duration of the class.

April 10 Ice breakers/Name games/Course introduction and expectations.
Daily record sheet/syllabus distributed. Assignment
17 Timed Oral Test(TPP)#1
24 Unit 1 Just Asking-Asking for Information: preview, listening, pair work
May 8 Unit 1 continued: Group Work and homework.
15 Unit 2 It's Black and White: Describing Things
22 Unit 3 Would you Mind? Making Requests.
29 Unit 3 continued Pair Work, Group Activities, Homework.
June 5 Unit 4 Turn it Clockwise: Giving Instructions
12 Timed Oral Test(TPP)#2
19 Timed Oral Test(TPP)#3
26 Unit 6 Go Right Ahead: Asking for Permission
July 3 Unit 6 continued.
10 Unit 7 Excuses, Excuses: Making Excuses and Giving Reasons
17 Unit 7 continued
September
11 Timed Oral Test(TPP)#4
18 Unit 8 Couldn't Agree More: Giving Opinions
25 Unit 8 continued
October
2 Unit 9 Bigger and Better: Making Comparisons
9 Unit 9 continued
16 Timed Oral Test(TPP)#5
23 Unit 11 If I Were You: Giving Advice and Making Suggestions
30 Timed Oral Test(TPP)#6
November
6 Unit 11 continued
13 Unit 12 Seems Like Yesterday: Talking About Experiences
20 Unit 12 continued
27 Unit 13 How About Dinner?: Inviting
December
4 Unit 14 It's Gonna Rain: Making Predictions
11 Unit 14 continued
18 Timed Oral Test(TPP)#7
January
8 Timed Oral Test(TPP)#8 and class evaluation.

履修上の留意点

This course is designed for large classes where "student-talking" time is usually very limited. We will use the text "FIFTY-FIFTY Book Two". The weekly class format may differ slightly, but will usually consist of a warm-up activity, listening task, speaking task, communication activity and homework assignment for the following week.

成績評価の方法

50% based on 8 oral tests to measure fluency("TPP" developed by Rick Moe)
30% based on class participation and assignments completed.
20% based on attendance.

教科書

"Fifty-Fifty Book Two, An Intermediate Course in Communicative English"
by Warren Wilson and Roger Barnard. Published by Regents/Prentice Hall

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Spoken English	Keith Schellin (キース シェレン)	短英 2 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the oral and aural skills of the students. We will be using many types of tasks in order to accomplish this. The tasks will be completed individually, in pairs, and in small groups.

講義の内容・
授業スケジュール

Individual lessons will consist of the students teaching the class about a given subject. The subject will be given to the students as homework prior to the lesson in which it is to be presented.

Pair work will be information gathering tasks.

Small group lessons will be accomplished in groups of 4 to 5 members. Each member will be given a part of a task and by working together the group will attempt to find the answer to the task.

Schedule of lessons

Explanation of course

Crossword puzzle (Dear Abby homework given)

Dear Abby

Dating (strip story)

(explanation of how to play baseball and homework for baseball given)

Play baseball

"In a restaurant" (skit & role play) (homework given for show & tell)

Show & Tell and Everyday Actions task

Jigsaw Drawing Activity

graded task (info. on World Problems Lesson)

game (info. on World Problems Lesson)

Retelling stories activity (info. on World Problems Lesson)

World Problems Lesson ***graded***

(makeup class for qualifying students)

A Birthday Party (strip story)

Earthquake Lesson (info. on World Countries Lesson)

First-aid Lesson (info. on World Countries Lesson)

"Shopping" (skit & role play) (info. on World Countries Lesson)

Countries of the World Lesson ***graded***

What am I activity/What am I crossword puzzle

Retelling stories activity (homework for Int'l Money Lesson)

International Money Lesson

graded task

game

"Getting Directions" (skit & role play)

World Holiday's Class/Greeting card match-up

(Greeting card crossword puzzle H.W.)

Mystery Murder Hunt

graded task

(makeup class for qualifying students)

Lesson content may vary from the scheduled lesson plans as a result of class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors. Students are encouraged to consult with their instructor at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

履修上の留意点

Attendance and participation are a very important part of this class. Since being late will interrupt the class and cause us to repeat what has been said or done prior, it will be looked down on and your grade will be adjusted accordingly. The tasks that will be graded are noted in the syllabus. To qualify for a makeup task the student must give the instructor an acceptable written excuse for the day missed.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z)/3+a=\text{final grade}$$

X=number of absences.

Y=number or times tardy.

Z=average of all grades.

a=adjustment based on instructor's evaluation (ex. class participation).

教科書

Materials and information pertaining to the tasks will be given as homework prior to the class in which it will be used or at the beginning of the class depending on if it is an individual activity, pair work activity, or small group activity.

参考書等

None.

その他

Students are encouraged to consult with their teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

《必修科目》 【二類】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英米文学概論	くま さき ひさ こ 熊 崎 久 子	短英1必	4

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期 ヴィクトリア朝の英文学
 4月 英文学の流れ——古代英語時代から18世紀まで、ヴィクトリア朝概観
 5月 詩歌
 6月 小説
 7月 アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- ②後期 19世紀米文学
 9月 独立以前からロマンティシズム興起まで
 10月 ロマンティシズム興隆からリアリズム発生まで
 11月 リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
 12月 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 定期試験の成績……50%
2. 年2回提出のリポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

正式の教科書は特にありません。
 準テキスト：「要説イギリス文学史」（佐瀬順夫著 英宝社）
 「要説アメリカ文学史」（ 同上 ）

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、「英文学史」（斎藤勇著 研究社）
 「アメリカ文学史」（ 同上 ）があります。
 その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは「英米文学辞典」（研究社）、「イギリス文学案内」（朝日出版社）、「アメリカ文学案内」（朝日出版社）などがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 音 声 学	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短 英 1 必	4

講義のねらい

To teach students how they can improve their aural skills and listening comprehension abilities of English as it is naturally spoken by native speakers. This course will not concentrate on theory but instead the practical application of phonetics. In other words, students will be taught less about what phonetics is from an academic viewpoint, but rather how to use it to enable them to improve their listening comprehension and transcription skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The essential elements of the course will concentrate on sound recognition, accurate sound reproduction and representation through the use of phonetic symbols, and the correct interpretation of sound into proper English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

4月2週 Explanation of course. Explanation of Phonetics. Distribution of phonetic symbols chart.

3週 Voiced and voiceless sounds. Classification of major vowels. Classification of consonants.

4週 Pronunciation of vowels and diphthongs.

5月2週 Pronunciation of consonants.

3週 Sound sequence. Consonant clusters. Length or duration. Liason or linking. Assimilation. Elision and contraction.

4週から12月3週まで Exercises involving the actual application of phonetic principles.

履修上の留意点

Although attendance will not be taken, students will be expected to attend class regularly and promptly. Tests will not be announced. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students without valid excuses will not be permitted to take tests and as such, they will also receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at the end of the year. Students are advised to take careful notes during the lectures. Outside practice and preparation are essential and often will make the difference between passing and failing. Accordingly, students are urged to apply what they are learning outside of class. Talking in class will not be tolerated and students who fail to observe this rule will be expelled.

成績評価の方法

The final grade will be based entirely on the average of an indeterminate number of unannounced tests given throughout the year plus *alpha*. *Alpha* represents the difference between 100 and the average of the student with the highest average. [Final Grade = Avg. + α] Attendance is not a factor because it will not be taken due to the large size of the class.

教 科 書

No assigned textbook. A phonetic symbols chart will be distributed at the start of the course. Students are advised to listen to English language materials, such as radio broadcasts, TV programs, videos, songs, etc., in their free time.

参 考 書 等

Students will need a notebook and may use dictionaries in class. Students must use pencils when taking tests, however, during class either pens, pencils, or other markers are acceptable.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Test results and current averages will be posted. Students with low grades are advised to consult with the teacher at an early date in order to discuss ways of improving their performance.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English I	ケ デ ル, J.	短 英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the oral and aural skills of students in English.

Exercises are designed to enable students to respond automatically and correctly in speaking situations. In other words, students will be taught how to actually use the English they have studied prior to entering college in conversational situations.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be conducted in the L.L. At the start of the course students will be given printouts of the material to be covered in class. It will be essential that they review the assigned lessons prior to each lesson, otherwise they may find themselves unable to keep up with the rapid pace of the class. Each class will begin with a 20-question multiple choice comprehension test over the previous lesson's content. After that the students will record the next lesson and practice it according to the instructions of their teacher. Such exercises may vary according to teacher or be supplemented with additional materials.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or similar factors.]

前 期

- 4月2週 Distribution of study materials. Explanation of course. Assignment.
- 3週 Record Unit 1a Situations practice.
- 4週 Unit 1a Situations comprehension test. Record Unit 1c Episode practice.
- 5月2週 Unit 1c Episode comprehension test. Record Unit 2a Situations practice.
- 3週 Unit 2a Situations comprehension test. Record Unit 2c Episode practice.
- 4週 Unit 2c Episode comprehension test. Record Unit 3a Situations practice.
- 6月1週 Unit 3a Situations comprehension test. Record Unit 3c Episode practice.
- 2週 Unit 3c Episode comprehension test. Record Unit 4a Situations practice.
- 3週 Unit 4a Situations comprehension test. Record Unit 4c Episode practice.
- 4週 Unit 4c Episode comprehension test. Record Unit 5a Situations practice.
- 7月1週 Unit 5a Situations comprehension test. Record Unit 5c Episode practice.
- 2週 Unit 5c Episode comprehension test. Record Unit 6a Situations practice.
- 9月3週 Unit 6a Situations comprehension test. Record Unit 6c Episode practice.
- 4週 Unit 6c Episode comprehension test. Record Unit 7a Situations practice.
- 10月1週 Unit 7a Situations comprehension test. Record Unit 7c Episode practice.
- 2週 Unit 7c Episode comprehension test. Record Unit 8a Situations practice.
- 3週 Unit 8a Situations comprehension test. Record Unit 8c Episode practice.
- 4週 Unit 8c Episode comprehension test. Record Unit 9a Situations practice.
- 5週 Unit 9a Situations comprehension test. Record Unit 9c Episode practice.
- 11月2週 Unit 9c Episode comprehension test. Record Unit 10a Situations practice.
- 3週 Unit 10a Situations comprehension test. Record Unit 10c Episode practice.
- 4週 Unit 10c Episode comprehension test.
- 12月1週 Supplemental lessons.
- 2週 Make-up tests.
- 1月2週 Student evaluation Questionnaires.

履修上の留意点

Preparation before class is absolutely essential. Students who do not have a solid understanding of the content of the material being covered will not be able to respond promptly nor correctly, and as such, will find themselves failing. Also, because the course is fast-paced, it will be necessary to practice speaking outside of class. Traditional study methods of only reading and memorizing and not actually speaking out loud will be insufficient. As for speaking ability, students will be graded on their pronunciation also. In other words, they will be expected to demonstrate what they are learning in Phonetics. As can be seen from the grading method, regular and prompt attendance is important because it will directly affect the final grade. Each class will begin with a test. Students who come late will not be allowed to take the test; their grade for that test will be "0". Students who are absent will not be allowed to take the test at a later date. They also will receive a "0" for that test. At the end of each semester makeup tests may be given to certain students who qualify. If a student was absent from both the Situations and Episode comprehension tests of a particular unit for a reason deemed valid by her instructor, then she may be given a makeup test for that unit. It should be noted that the makeup tests, unlike the comprehension tests, is a 100-question speaking test lasting only about 5 minutes and covering all the material in that unit. Students are given only one chance to answer questions as they hear them and their answers are recorded. Pronunciation, grammar, and content must all be perfect for an answer to be correct.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will primarily be based on the average score of all LCTs (Listening Comprehension Tests).

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Printouts of the main study material will be distributed by teachers to the students. Students, however, will be required to provide their own audio tapes. A 90-minute tape is needed to record Situation Exercises and a 60-minute tape is needed to record Episode Exercises.

その他

Students are encouraged to consult with their teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Results of comprehension tests will be posted regularly outside the English Department Resources Room.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English I	Keith Schellin (キース シェレン)	短英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the oral and aural skills of students in English. Exercises are designed to enable students to respond rapidly and correctly in speaking situations. In other words, students will be taught how to actually use the English they have studied prior to entering college in conversational situations.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be conducted in the L.L. At the start of the course students will be given printouts of the material to be covered in class. It will be essential that they review the assigned lessons prior to each lesson, otherwise they may find themselves unable to keep up with the rapid pace of the class. Each class will begin with a 20-question multiple choice comprehension test over the previous lesson's content. After that the students will record the next lesson and practice it according to the instructions of their teacher. Such exercises may vary according to teacher or be supplemented with additional materials. [Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

week 1. Distribution of study materials. Explanation of course. Assignment.

2. Record Unit 1a Situations practice.
3. Unit 1a Situations comprehension test. Record Unit 1c Episode practice.
4. Unit 1c Episode comprehension test. Record Unit 2a Situations practice.
5. Unit 2a Situations comprehension test. Record Unit 2c Episode practice.
6. Unit 2c Episode comprehension test. Record Unit 3a Situations practice.
7. Unit 3a Situations comprehension test. Record Unit 3c Episode practice.
8. Unit 3c Episode comprehension test. Record Unit 4a Situations practice.
9. Unit 4a Situations comprehension test. Record Unit 4c Episode practice.
10. Unit 4c Episode comprehension test. Record Unit 5a Situations practice.
11. Unit 5a Situations comprehension test. Record Unit 5c Episode practice.
12. Unit 5c Episode comprehension test. Record Unit 6a Situations practice.
13. Make up tests for qualifying students.
14. Unit 6a Situations comprehension test. Record Unit 6c Episode practice.
15. Unit 6c Episode comprehension test. Record Unit 7a Situations practice.
16. Unit 7a Situations comprehension test. Record Unit 7c Episode practice.
17. Unit 7c Episode comprehension test. Record Unit 8a Situations practice.
18. Unit 8a Situations comprehension test. Record Unit 8c Episode practice.
19. Unit 8c Episode comprehension test. Record Unit 9a Situations practice.
20. Unit 9a Situations comprehension test. Record Unit 9c Episode practice.
21. Unit 9c Episode comprehension test. Record Unit 10a Situations practice.
22. Unit 10a Situations comprehension test. Record Unit 10c Episode practice.
23. Unit 10c Episode comprehension test. Supplemental exercises.
24. Review of all materials covered and application exercises.
25. Supplemental application exercises.
26. Supplemental application exercises.
26. Supplemental application exercises.
28. Make up tests for qualifying students.

履修上の留意点

Preparation before class is absolutely essential. Students who do not have a solid understanding of the content of the material being covered will not be able to respond promptly nor correctly, and as such, will find themselves failing. Also, because the course is fast-paced, it will be necessary to practice speaking outside of class. Traditional study methods of only reading and memorizing and not actually speaking out loud will be insufficient. As for speaking ability, students will be graded on their pronunciation also. In other words, they will be expected to demonstrate what they are learning in Phonetics. As can be seen from the grading method, regular and prompt attendance is important because it will directly affect the final grade. Each class will begin with a test. Students who come late will not be allowed to take the test; their grade for that test will be "0". Students who are absent will not be allowed to take the test at a later date. They also will receive a "0" for that test. At the end of each semester makeup tests may be given to certain students who qualify. If a student was absent from both the Situations and Episode comprehension tests of a particular unit for a reason deemed valid by her instructor, then she may be given a makeup test for that unit. It should be noted that the makeup tests, unlike the comprehension tests, is a 100-question speaking test lasting only about 5 minutes and covering all the material in that unit. Students are given only one chance to answer questions as they hear them and their answers are recorded. Pronunciation, grammar, and content must all be perfect for an answer to be correct.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$(100-10X-5Y)+2Z)/3+a = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, a=adjustment based on Teacher's evaluation

教科書

Printouts of the main study material will be distributed by teachers to the students. Students, however, will be required to provide their own audio tapes. A 90-minute tape is needed to record Situation Exercises and a 60-minute tape is needed to record Episode Exercises.

参考書等

Even though we will have tests on only parts of the packet the other parts of the packet can be used for reference and additional practice.

その他

Students are encouraged to consult with their teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters. Results of comprehension tests will be posted regularly outside the English Department Resources Room.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English II	George Wallace (ジョージ ウォレス)	短英 1 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving students' reading skills in English, and will also seek to make students more aware readers of English. By this I mean, they will be required not only to read for content but to assess the value/validity of what they are reading and to comment upon it in clear, simple English.

講義の内容・
授業スケジュール

At the start of the year students will be required to buy the text to be used and will be told what is expected of them. Each week they will read the main passage of the chapter (to be covered in that week's class) for their homework. To ensure this is strictly adhered to, a test will be given at the start of each class to gauge how thoroughly the students did their homework. Then in class they will be required to summarize the passage in their own words, and also to comment on it, offering their own opinions and criticisms.

履修上の留意点

Students who are absent for more than three classes in the year will automatically fail (Unless they can produce proof of why they were unavoidably absent, e.g. hospitalization).

Coming late to class twice will be counted as one absence, so students should take care to be on time.

成績評価の方法

- Grades will be based on
- (i) the number of absences
 - (ii) the number of times late to class
 - (iii) the aggregate score of the weekly tests
 - (iv) the test with which students participate in classroom discussions.
 - (v) the contribution students make to classroom morale.

Note: For students with a bona Fide excuse for being absent from class, there will be a make-up test at the end of each term. A bona Fide excuse will need written proof (e.g. a doctor's note in case of illness).

教 科 書

The text to be used is "A Taste of Britain" by George Wallace, published by shohakusha.

参 考 書 等

All students must bring a dictionary to every class (either a bilingual one or preferably an English-English dictionary by Longman or Oxford University press).

そ の 他

特になし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English II	Christopher Milne (クリストファー ミルン)	短 英 1 必	2

講義のねらい

The general aims of the course are:

1. to develop students' reading skills and strategies, and thus comprehension and enjoyment of written texts. It is proposed that this be done through the application of a variety of independent and holistic reading-based tasks. These will call upon students' intuitive knowledge of reading in their native language. At the same time a variety of reading skills and strategies will be consciously presented to the students.
2. to expose students to a variety of written genres.
3. to develop students awareness of text types and purposes.

General Objective.

To increase reading speed and comprehension.

Specific Objectives.

1. To develop an ability to realize text purpose and meaning through the following:
 - a) discussion exercises
 - b) structured overviews
 - c) examination of text organization
 - d) graphic outlines
 - e) matching and sequencing
 - f) prediction
 - g) surveying
 - h) note taking and outlining
 - i) reading for main ideas
 - j) reading for detail
 - k) deriving meaning from context
 - l) identifying and understanding analogy and inference
 - m) skimming and scanning

成績評価の方法

Students will be assessed on:

1. In-class performance (ie. participation in activities and completion of tasks)
2. Group and individual projects.
3. The maintenance of a reading log.
4. Small, regular in-class tests and tasks.
5. Attendance

No.	1	2	3	4	5	
%	15	20	30	15	20	100%

Assessment Item Number and Percentage of Total Assessment.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English III	Jeffrey G. Garrison (ジェフリー G. ギャリソン)	短英 1 必	2

講義のねらい

Course designed to provide the student with maximum opportunities to listen to English spoken by American native speakers from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis will be placed on comprehension of video materials selected by the instructor from American television, with secondary emphasis placed on mastering the active use of vocabulary, idioms and sentence patterns acquired. All material and instruction will be in English.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance of the lesson. Students will be expected to go to the Language Laboratory office, borrow the video that goes with the script, take it home overnight or to the L.L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script.

During class, the lesson will be reviewed, understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short 30-45 minute test.

The class will be held in the language laboratory.

前 期

1. Explanation of course and requirements
2. Selected *Videologs*. 3-8 minute interviews and conversations with working people in Los Angeles including a shop owner, residents of a retirement home, a former gymnast trying to save a Los Angeles monument and guest-readers at a preschool. Each lesson is a 3-4 week cycle: checking listening comprehension and detailed explanation of lesson; content questions and idiom practice; short test and preview of next lesson.

後 期

1. Persons of the Week. Issue-oriented ABC News stories and interviews with contemporary Americans who have contributed to improving our world.
2. PBS report on and interview with Black American artist Jacob Lawrence.

履修上の留意点

There will be no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation and the results of tests given after each lesson—normally 5-7.

教 科 書

All teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor at no cost to the student.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English III	Tim Ashwell (ティム アッシュウェル)	短英 1 必	2

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English IV	Riki Ninomiya (リキ ニノミヤ)	短 英 1 必	2

講義のねらい

The most important thing in learning English is wanting to be able to speak it. After that the rest is easy. You need the vocabulary to communicate with and then the confidence to use it.

講義の内容・
授業スケジュール

Intensive English IV will be broken down into Three Parts.

- I. Hearing
 - II. Basic conversation
 - a. How to answer Questions
 - b. How to ask Questions
 - III. Having something to say
 1. Who Am I?
 2. Where Am I going?
 3. What do I think about Japan and the world?
- Each class will be divided in the following manner:
- 15-20 minute introduction of assignment
 - 30-40 minutes of group discussion on the subject
 - 15-20 minutes oral summary of discussion
 - 10 Explanation of next assignment

履修上の留意点

Each student will be expected to keep a daily diary in English. With a glossary of new vocabulary each day. (Diaries will be looked at and graded Quarterly: July, November and February)

Each student will be expected to subscribe to one of the weekly English language newspapers: the Japan Times weekly, Mainichi Weekly or Asahi Weekly and keep up with daily and weekly current events.

成績評価の方法

Each student will be interviewed at the beginning of the year and evaluated for their individual conversation level. Students will be graded based on self improvement in the following areas: 1. Vocabulary building 2. Effort 3. Confidence 4. Self Awareness and 5. Expanding one's interests.

Attendance is mandatory. Three unexcused absences will lower grades by one letter. Five unexcused absences will be failure.

教 科 書

No Text but some print out material and homework.

そ の 他

Students may compensate for absences by extra-curricular activities, ie. reports, research projects, and extra testing to be approved or assigned by the instructor with time limitation to assignment.

At the end of the school year each student will grade themselves and defend their grade orally with the instructor. Provided the student is able to justify their grade, they will be given the grade they are asking for. However, if a student cannot justify her own grade, the teacher will base grades on the student's diary and classroom participation.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English IV	Peter Keyes (ピーター キーズ)	短 英 1 必	2

講義のねらい

This is an intensive class and the aim of the course is to give students the maximum amount of conversation practice in pairs, in groups and with the teacher. The students will be continually encouraged to participate in all the classroom activities most of which will be chosen to improve conversational skills. The textbook has been designed to improve conversational fluency by teaching both listening and speaking skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The class will be conducted in the classroom. For preparation students are required to preview and later review the material covered in class. The class will usually start with either some conversation based activity that will be expanded upon or listening based exercises where students are required to actively participate. Additional material will sometimes be handed out by the teacher. The teacher will also develop blackboard stories so that the students can start to learn how to tell stories in English.

The first lesson will consist of introductions and a detailed explanation of the course. The text consists of 12 units and it is hoped that 6 units can be covered each semester. The teacher also plans to introduce additional material on a regular basis. A test will be given in class during the last scheduled lesson which will be in January 1997. The contents of the lessons may differ from the schedule so as to enable the teacher to tailor his teaching to the needs of his students.

履修上の留意点

Students are expected to review before class and to be punctual. They are also expected to participate by asking questions to the teacher and by being generally active. Students should not worry about making mistakes as trying is much more important. As regards attendance four unexcused absences during the year will be allowed, although attendance marks will be lost. Excused absences include illness -upon presentation of proof that the student has been to see a doctor, a serious family crisis, transportation problems, supported by a note from the line responsible for the delay. Absences due to sport, club or circle activities will not be recognized.

Students are required to bring their textbook and an English-Japanese dictionary.

成績評価の方法

There will be an exam at the end of the year. The grade will be an evaluation of the student's attendance, punctuality, participation and ability. The exam is a written exam and will be based on material covered in class during the year. The marking will be as follows:

Exam:	60
Classroom participation:	20
<u>Attendance</u>	<u>20</u>
<u>Total:</u>	<u>100</u>

教 科 書

Jack C. Richards, David Bycina and Sue Brioux Aldcorn: *New Person to Person (Student Book Two)*, Oxford, ¥1,750

そ の 他

Students are encouraged to talk to the teacher about any problems they may have with the course.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 文 学 史	たき 滝 せい じゅ 静 寿	短 英 2 必	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- (5月) 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- (6月) 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシャ・ローマ演劇について。
- (7月) 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- (9月) エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- (10月) 18世紀までの歴史、・ビュリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- (11月) 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- (12月) ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- (1月) イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代りに、前期、後期のレポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、前後期各1回提出のレポートを参考に評価する。

参 考 書 等

教場で説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English V	ごう し まさ ひこ 郷 司 正 彦	短 英 2 必	2

講義のねらい

The purpose of this course is to improve student's performance on TOEFL tests. TOEFL measures the English proficiency of non-native English speakers. The tests consists of the following sections: Listening Comprehension; Structure and Written Expression; and Vocabulary and Reading Comprehension. Students will familiarize themselves with the test format for each section, and test-taking techniques, which are closely related to learning strategies. The goal of the course is to help students to attain the test scores of 500 or above.

講義の内容・授業スケジュール

First Semester : Emphasis on listening and grammar.
Second Semester : Emphasis on reading and vocabulary.

履修上の留意点

Since the actual test contains 150 questions which must be answered in 110 minutes, students will be required to answer very quickly. Homework will also be required.

成績評価の方法

Evaluations will be based on attendance, class participation, homework assignments, and test scores.

教 科 書

To be announced in the first lesson in April.

参 考 書 等

To be announced in the first lesson in April.

そ の 他

The classes will be held in one of the LL classrooms.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English V	Gary Dendo (ゲーリー デンドウ)	短英 2 必	2

講義のねらい

This course will focus on helping students improve their TOEFL scores. The course will cover relevant grammar and vocabulary as well as developing students' listening comprehension.

Oral practice of structures taught in class will be conducted when time allows.

講義の内容・
授業スケジュール

Weekly homework assignments will be checked at the beginning of class. Class work will be comprised of textbook exercises and practice tests.

履修上の留意点

This class will proceed at a rapid pace so students must keep up with all class work and spend sufficient time reviewing each lesson.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, homework assignments, and quiz scores. Final grades will be calculated by the following formula:

$$\frac{(100-5X)+Y+Z}{3}$$

教 科 書

Longman preparation Course for the TOEFL TEST. Skills and Strategies Second Edition Volume 1, Deborah Philips, Longman ¥2,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English VI	Kate Elwood (ケイト エルウッド)	短英 2 必	2

講義のねらい

The aim of the course is to teach students to express themselves in written English. Emphasis will be placed on the elements and tools of English necessary to organize relevant ideas, support those ideas with evidence or examples, and connect them to produce coherent, well-organized sentences, Paragraphs, and essays.

講義の内容・
授業スケジュール

The primary focus will be on creating effective topic sentences, proceeding to longer writing with clear introduction, development, and conclusion. A variety of styles of writing will attempted such as book reviews, letters, expository description, humorous essays, and poetry.

成績評価の方法

There will be a short writing assignment each week related to the points covered in class and a final longer written work which will combine a variety of techniques into a unified whole.

Students' grades will be based on class attendance, homework, and the final project.

教 科 書

undecided

そ の 他

Method of instruction
Lecture followed by in-class writing practice

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English VI	Michael W. Maksimuk (マイケル W. マクサマック)	短 英 2 必	2

講義のねらい

Some Japanese students feel that, because they have learned English through the grammar-translation method and have not learned oral English, communicating in English through writing is easier than speaking that language. And not a few students feel they are even more proficient at writing English than at speaking it. The student feels like this because he usually has more time to 'compose' his work and that he can edit and re-edit it over and over again, but that does not make writing any easier than speaking.

Actually, quite the contrary is true; WRITING IS MORE DIFFICULT THAN SPEAKING. Think of it. In a face-to-face conversation, we can catch the other's reaction and can adjust accordingly, we can tell if the other understands what we are saying or not, agrees or disagrees with us. Tone of voice, gestures all come into play in our deciphering of the other's intended message. In writing, on the other hand, we can not see the other's face nor his reaction to what we write; we can not confirm if our intended message has been understood or misunderstood. In other words, when writing, we must be extremely careful that the message we are intending is presented accurately. This is what makes writing more difficult than speaking.

講義の内容・
授業スケジュール

The basis of all expository writing in English is the paragraph. In the first semester, the students will gain a thorough understanding of the concept of the paragraph. We will learn how to find a subject, limit that subject, gather and organize information, and then how to formulate our notion into a well-organized paragraph. At the same time, through sentence modification and sentence combining exercises, we will learn the fundamentals of writing quality sentences in English. Most paragraph writing in the first semester will be on pre-determined topics.

In the second semester students will progress to writing short but full compositions based on what was learned in the first semester. We will also have a freer hand in deciding our own topics, thus living up to the title of the course "Creative Writing". Throughout the year, we will also search for, and read, quality works in English with the intention of getting a 'feel' for English composition. Another goal of this course is to have the students acquire a 'sense' for, and appreciation of, written English. By the end of the course, the students should be able to write more accurately, smoothly and with much less difficulty.

履修上の留意点

Please note that because we will work in groups of four students, in-class participation is quite important for the smooth operation of our class. Also, I am quite aware that each student has her own ability and knowledge of English, and am willing to admit that, however, there is no excuse for a lack of effort. Therefore, I place much emphasis on a student's effort. Consistent attendance is also quite necessary.

成績評価の方法

Student evaluation will be based on three criteria:
 1: In-class participation 30%
 2: Assignments 30%
 3: Test results 40%

教 科 書

Our main text will be *Significant Scribbles* (Lingual House), supplemented by various materials which will be provided as the need arises.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Intensive English VI	Gary Dendo (ゲーリー テンドウ)	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the English writing skills of students through the use of various structured and free-writing exercises. Students will be taught how to perform basic tasks by completing a consistent format of writing activities during the academic year.

講義の内容・
授業スケジュール

Every week students will complete a short guided writing exercise reviewing grammar and sentence structure. (Approximately 30 minutes)

Students will keep a diary of their activities.

These diaries will be checked by the teacher and rewritten by the students if deemed necessary.

Dictation exercises will be administered every third week.

Free writing assignments given during the year will include the following:

Letter Writing

Descriptive Compositions

Story Writing

Book Report

Current Event Report

Creative Writing Exercises

Details of the above assignments will be given in class.

履修上の留意点

When a student is absent from class, it is her responsibility to get the assignment from a classmate and complete it by the next class. Late papers will be penalized unless prior notice of an absence is given.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, writing assignments, quizzes and progress made by the students. Final grades will be calculated by the following formula:

$$\frac{(100-5X) + Y + Z + A}{3}$$

X=Number of absences

Y=Average of class assignments

Z=Quiz average

A=Adjustment based on teacher evaluation

教 科 書

No text will be used.

参 考 書 等

Handouts from a wide variety of sources will be distributed by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Group Discussion	ごう し まさ ひこ 郷 司 正 彦	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course aims to improve students' ability to discuss their ideas in English. Students will form groups or pairs to talk about various topics such as about local affairs, environmental problems, health, cultural differences, and so on. Students will be required to read related reading materials before each class.

講義の内容・
授業スケジュール

1st Semester : Give personal opinions about current events.
2nd Semester : Talk about global issues.

履修上の留意点

Active participation is the most important element in this course. Students should broaden their interests and knowledge by reading books, newspapers and magazine, and by watching TV news.

成績評価の方法

Evaluations will be based on attendance, class participation, and homework assignments.

教 科 書

Students will not be required to buy a textbook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Group Discussion	George Wallace (ジョージ ウォレス)	短 英 2 必	2

講義のねらい

The primary aim of this course is to get students into the habit of discussing topics of conversation in natural everyday English.

講義の内容・
授業スケジュール

Before students can begin to discuss anything in English, two areas must be worked on intensively: the first is their vocabulary as without a sufficient active vocabulary to draw upon, their attempts at discussion will founder. The second is their confidence, as without this vital ingredient even the most studious and able student will feel unable to converse freely in English.

Each week a topic of discussion will be presented to the class by the teacher. At the start of the academic year, the topics will tend to be quite simple (e.g., Describe someone you know), but as the year progresses, the topics will become more demanding.

After the topic to be discussed has been explained, students will work in groups of four, sounding each other out for ideas and vocabulary, with one of the four acting as "secretary" writing down the group's thoughts.

Groups will then appoint a spokesperson (someone different from the secretary) who will report to the class on what each group came up with. The teacher will coordinate this group reporting, writing down on the black-board words, phrases and ideas that each group thought of. By pooling the various groups' information, the class will learn not from reference to dictionaries, but by relying on themselves and their classmates. In doing so they will gain in confidence as they soon realize how big their passive vocabulary is, and see how thinking around a subject can lead to a more interesting approach to studying English than rote learning and translation.

履修上の留意点

As much of the class work will be done in small groups, it is essential that all students actively participate, without relying on their classmates to cover for them. The teacher will closely monitor all group discussions to check that all members are doing their utmost to contribute to the group's brainstorming and discussion sessions.

成績評価の方法

By the very nature of this class, there will be minimal written work to be assessed. Grades will be dependent on (i) the individual student's attendance record, (ii) their level of participation in the group's discussion, (iii) their overall contribution to the class (e.g., asking questions when something is not clear, answering promptly and in English when asked a question by the teacher.)

教 科 書

There will be no set text to be used in this class. The teacher will provide photocopied materials as and when required.

参 考 書 等

Students should all bring a pocket dictionary to class each week (either a bilingual one or preferably an English-English dictionary by Longman or Oxford University Press).

そ の 他

Points students should be under no illusions about!

Any student absent from class without a good reason (and without proof that their reason is valid) on more than three occasions will automatically fail the class for the whole year.

Two late arrivals for class will be assessed as one absence. Arriving late for class more than half a dozen times in the year will guarantee a student a "fail" grade.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Group Discussion	Gary Dendo (ゲーリー デンドウ)	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course will focus on developing students' oral skills through discussion. Students will participate in discussions focusing on current events, controversial issues, and personal interests.

Materials and topics from various sources will be used in class as well as topics from the students themselves. Every week, selected students will be assigned to prepare topics for discussion and lead their discussion groups.

講義の内容・
授業スケジュール

As explained above, there will be weekly discussions of various topics.

履修上の留意点

Regular attendance and participation are absolutely necessary. Students will be expected to keep themselves informed in order to effectively participate in this class.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, participation and interviews. Final grades will be calculated by the following formula:

$$\frac{(100-5X)+Y+Z+A}{3}$$

X=Number of absences

Y=Participation grades

Z=Interview grade

A=Adjustment based on teacher evaluation

教 科 書

No text will be used.

参 考 書 等

Handouts from various sources will be used.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Group Discussion	Jeanne Pfeiffer (ジーン ファイファー)	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course is aimed at facilitating English fluency through interactive exchanges of ideas in topic-centered group discussions.

講義の内容・
授業スケジュール

Assigned discussion topics will include 'currents events', 'environmental problems' and women's studies'. Student initiated topics will comprise half of the course. A syllabus will be handed out at the first class meeting.

履修上の留意点

This class is designed for those who are eager to speak English and share their opinions and ideas. Students will be expected to prepare and initiate purposeful discussions. Pair and group work will be used to encourage learners to interact with each other.

成績評価の方法

40% based on individual accountability within inter dependent group collaborations.
40% based on 8 timed oral tests to measure fluency improvement (based on "TPP" developed by Ric Moe).
20% based on attendance

教 科 書

No text will be assigned. Some printouts will be provided. Topics may include intercultural issues, environmental problems, world politics, current events and recent trends.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Reading Comprehension	ごう し まさ ひこ 郷 司 正 彦	短 英 2 必	2

講義のねらい

This is a second-year reading class, a continuation of Intensive English II. Students will further improve their reading skills and comprehension ability. Original English texts will be used as reading materials in this course. The course will cover various types of writing including short stories, newspaper articles, and magazine articles.

Useful reading strategies will be introduced to help students understand a variety of reading materials.

講義の内容・
授業スケジュール

1st Semester : Reading for information.
2nd Semester : Reading for meaning.

履修上の留意点

Students will need to increase their reading speed in order to improve their comprehension.

成績評価の方法

Evaluations will be based on attendance, class participation, and homework assignments, and test scores.

教 科 書

To be announced in the first lesson in April.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Reading Comprehension	Keith Schellin (キース シェレン)	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the following reading skills of the students.

- a) reading for the main idea (skimming).
- b) reading for specific information (scanning).
- c) checking the text for details.
- d) making inferences and predictions beyond the text.
- e) inferring word meaning from context.
- f) evaluating information and forming an opinion.
- g) asking appropriate questions to clarify a text.

講義の内容・
授業スケジュール

The readings that are assigned as homework should be well prepared prior to the classes that they will be used in. If you are absent for a class it is your responsibility to find out what was covered in the lesson and of any homework assignments. Short quizzes will be given along with discussion questions and short writings pertaining to the work covered.

- 1 Explanation of course.
- 2 Introductory Activity 1 (Jigsaw Drawing).
- 3 Introductory Activity 2 (Jigsaw Word Puzzle).
- 4 The Letter of the Law.
- 5 The Letter of the Law.
- 6 The Letter of the Law.
- 7 Heart Victim Can't Stay.
- 8 Heart Victim Can't Stay.
- 9 Heart Victim Can't Stay.
- 10 Heart Victim Can't Stay .
- 11 Dear Abby article.
- 12 My Nippon.
- 13 (makeup class for qualifying students).
- 14 Industrial Accident.
- 15 Industrial Accident.
- 16 Industrial Accident.
- 17 Industrial Accident.
- 18 Saving the Biramichi River.
- 19 Saving the Biramichi River.
- 20 Saving the Biramichi River.
- 21 Saving the Biramichi River.
- 22 Who Discovered America?
- 23 Who Discovered America?
- 24 Who Discovered America?
- 25 Who Discovered America?
- 26 How well do the Japanese and Americans understand each other?
- 27 How well do the Japanese and Americans understand each other?
(makeup class for qualifying students)

[Lesson content may vary from scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors]

履修上の留意点

Preparation for classes is essential. Students who miss quizzes will be give a "0" for them. At the end of each semester makeup tests will be given to students who qualify. (To qualify for a makeup quiz the student must give the instructor an acceptable written excuse for the day missed).

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula.

$$((100-10X-5Y)+2Z)+a=\text{final grade}$$

X=number of absences.

Y=number of times tardy.

Z=average of all grades.

a=adjustment based on instructor's evaluation (ex. class participation).

教科書

Printouts of articles will be distributed to the students by the instructor.

参考書等

None.

その他

Students are encouraged to consult with their teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Reading Comprehension	George Wallace (ジョージ ウォレス)	短 英 2 必	2

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' reading ability in English. Students will learn (i) how to skim (speed-read) to assess what the subject/theme of a text/passage is, (ii) how to find keywords in a text, (iii) how to use context to guess the meanings of words they do not know.

講義の内容・
授業スケジュール

Every fortnight the teacher will provide the class with a passage of English taken from a newspaper or a magazine (whose target audience is principally native speakers of English). In pairs the students will read through the passage underlining any words or phrases they do not understand. Then they will team up with other groups to see which words' meanings can be found without recourse to a dictionary. By pooling their knowledge, the students not only save time and effort, they also take a more active interest in the class.

After pooling their knowledge, however, the students will still be faced with some words they do not know. The next stage of the learning process is to get the students to guess the meaning of the words they don't know without using a dictionary. In their groups students will be encouraged to guess the meaning of unfamiliar words from a careful study of the context in which they appear. Groups will appoint a spokesperson who will then report to the class as a whole what their guesses were.

The teacher will then explain (in English) what the meanings of difficult words are, showing how the words can be expressed in more basic English where appropriate (e.g. It is elementary" = It is very simple").

The students will then have a chance to ask for explanation/help on any points of grammar, etc. Which trouble them.

Students will be expected to learn the words that are new to them for their homework, and to read through the passage taking in the most important information (e.g., if the passage is about the peace negotiations in Bosnia, the students will be expected to know where Bosnia is and why it was at war).

To ensure that students do their homework, there will be a test every other week. One part of the test will be on vocabulary and usage, the other on comprehension (of the text studied the week before).

履修上の留意点

As much of the class work will be done in small groups, it is essential that all students actively participate. Relying on one's classmates to do all the work for you will not be acceptable, and anyone seen to be idling/not concentrating on the work under discussion will be marked down (this will be reflected in their end-of-year grade).

成績評価の方法

End-of-year grades will be based on the following criteria: (i) attendance record (ii) level of participation in classroom activities (iii) aggregate score in the fortnightly tests.

教 科 書

The teacher will provide photocopied materials every Fortnight.

参 考 書 等

Students should always bring a pocket dictionary to class (Preferably one by Longman or Oxford University press, with the meanings of words explained wholly in English).

そ の 他

Any student who is absent more than three times without good reason (and proof of that reason) will automatically fail this class.
Two late arrivals=One absence. Be warned!

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Reading Comprehension	Paul Allum (ポール アラム)	短 英 2 必	2

講義のねらい

This course aims to help students read for the purpose of understanding clearly the content rather than just understanding individual sentences and passages or using reading as a form of language study alone. Students will be expected to state the main points or rephrase the content in brief. There will be a strong emphasis on vocabulary building. The materials will come from newspapers, and a secondary aim is to encourage students to start reading English papers and prepare them for the possible use of English in the workplace. Finally, it is hoped that the wide choice of topics will broaden students general knowledge.

講義の内容・
授業スケジュール

One article a week from current newspapers will be studied. Students will receive the article at least one week before the class in which it is to be studied. They will be expected to read it and look up all new vocabulary before the class. The teacher or students will read the article in class, talk about the meaning, techniques to improve comprehension, use of vocabulary etc. and work on comprehension or precis questions. The topic will then be briefly discussed. All students will be expected to have an English-Japanese/Japanese-English dictionary and an English-English 'learner's dictionary'.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation and ability. A minimum attendance of 80% of all classes is required. Ability will be measured by periodic quizzes or brief tests, and two tests, one at the end of the first semester, one at the end of the second semester.

履習上の留意点

As college students, class members will be expected to take responsibility for organisation of their own learning. Students are encouraged to ask questions at any time. Suggestions and requests concerning either the topics studied or the way of studying are very welcome.

教 科 書

Newspaper Articles-topics chosen by teacher and students.

《選択科目》 【一類・二類共通】

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
情 報 処 理 I	ゆ あ き よ う 湯 浅 陽 子	短 英 1 選	2

講義のねらい

パソコンやワープロなどの情報機器が広く普及し、子供たちからお年寄りまで身近なものとなっているが、これらの機器を使いこなすには、まず、基本としてキーボードの正確で速い操作方法——「タッチタイピング技能」——を身に付けることが必要である。

マルチメディア社会を迎え、さまざまな情報機器を操作することが必要になればなるほど、タッチタイピング技能を身に付けることが必須条件になるだろう。

キーボードはさまざまな情報機器に共通する入力装置なので、アルファベットによるタッチタイピング技能を身に付けると、パソコンやワープロ、タイプライターなどいろいろな機器を正確に速く操作することが可能になる。

本講義では、タッチタイピング技能を習得することを第一目的とし、さらにアプリケーションソフトを使用しているいろいろな文書作成ができる、基礎的な技能を養うことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 キーボーディング（ブラインドタッチ習得練習）
- 6～7月 レポート・報告書の作成の仕方
- 9～11月 英文ビジネス・レターの作成
- 11～12月 日本語ビジネス文書の作成
- 1月 入力レベルテスト

履修上の留意点

授業開始から10分間に作業の準備をし、その後、その日の実習上の注意事項を伝える。個々の質問は受け付けるが、全体説明は1度だけにとどめるので、説明時の遅刻・おしゃべりは禁物である。守れない人には退席してもらう。

ブラインドタッチ習得には個人差があるが、ある程度の時間数を必要とする。早く・確実に習得するために、是非、4号館の情報教育センター使用登録申請をして、自習室を利用してもらいたい。覚えの悪い人が自習しなければならぬのは当然のことであるが、当科目だけでなく他の科目での提出物作成にも活用できて便利である。

成績評価の方法

実習であるから、出席点を重視する。遅刻は10分まで認める。実習により作成した提出物の良否、出席点、日常の理解度及び最終授業時（1月）に行う入力レベルテストによって総合評価を行う。ブラインドタッチ（手元を見ないで打つ）が習得できていない人は、かなりの減点になる。

教科書

年間を通じ2～3枚のフロッピーディスク（2HD 3.5inches）を必要とするので、各自用意すること。教科書のかわりに独自のプリントを実費支給する。

参考書等

参考書は書店に多々あるので指定はしないが、使用するアプリケーションソフトは次の2点であるから、それに即した本を選ぶと良い。
日本語ワープロソフト「一太郎ver.4」、英文ワープロソフト「WordStar ver.6」

その他

4号館の電子計算機室4-301教場を使用して実習を進める。一人1台を確保するため人数制限を行う。4月の1回目の授業時に抽選をし、定員32名とする。履修を許可された者には、教務部窓口で配布する受講許可願の用紙に担当者印を押し、その証明とする。したがって、担当印のない者は勝手に履修登録できない。

本講義は、同じものが4コマあるので、一度抽選にもれても、他のコマで履修できる可能性もある。いずれにしても、1回目の授業に出席しないと抽選券が無いので注意すること。

各コマの1回目の授業で定員に満たない場合の人数の空き状況については第一研究館3F短大英文科事務（資料）室（No.1318号室）前の掲示板にて知らせる。その時点での履修希望者は先着順で短大英文科事務室にて受け付けるので、教務部窓口で配布する受講許可願の用紙に担当者印をもらうこと。定員になり次第締め切る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Advanced English I A	Jeffrey G. Garrison	短 英 1 選	2
Advanced English I B	(ジェフリー G. ギャリソン)	短 英 1 選	

講義のねらい

The purpose of this class is to develop and expand the advanced student's English language skills. Emphasis will be placed on acquisition of oral skills including pronunciation and delivery, sentence structure and organization.

講義の内容・
授業スケジュール

The class meets twice a week for 90 minutes each time. Students are required to register for both Advanced English IA and IB. No students will be admitted who have only registered for one of the two sections. The class is designed to maximize the time students have to speak English.

Topics for research and discussion are chosen in advance by the instructor, some may be selected from among suggestions made by students if they are deemed suitably challenging.

前期・後期

Typical projects during the first semester may include descriptions of objects, people and events; discussion of the differences between life and/or college in Japan and a foreign country and interracial marriage. Second semester issues may include equality of the sexes and sexual harassment, the role of the automobile (or the computer) in society, and any of several environmental issues directly related to commuting to or studying at Komazawa Junior College. Students will be required to do research out of class, prepare regular presentations and express their opinions as well as be prepared to give supporting reasons for views expressed.

履修上の留意点

Regular attendance is required. With no more than 3 unexcused absences allowed during the year. Two tardies count as one absence. There are no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on class work (50%) and two reports (25% each), one at the end of each semester.

教 科 書

No textbook is used in this class. All materials required for class activities will be prepared by the instructor and passed out to students at instructor's expense. Both Japanese-English and English-Japanese dictionaries are highly recommended and should be brought to each class.

そ の 他

Admission to class will be determined by an interview during either the time set aside for orientation or the first week of classes in April. Only those students proficient in spoken English will be admitted, with class size limited to approximately fifteen students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
時 事 英 語	おか 岡 もと まこと 誠	短英1・2選	4

講義のねらい

「時事英語」とはCurrent Englishという英語に訳せる。従って、新聞・雑誌・放送といった媒体としての最新の英語にふれることを本講座のねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュース、または昨晚のイギリスからのニュースを聞き、ニュースキャスターの原稿を作ってみるが、英字新聞もその際併用する。TIME、NEWS WEEKなども折りにふれ利用する。

成績評価の方法

期末試験。受講中の発表。出席状況。

教 科 書

特定の教科書等は利用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
戯 曲 研 究	くま 熊 崎 ひさ こ 子	短英1・2選	4

講義のねらい

シェイクスピアの「夏の夜の夢」を読みます。

没後400年余を経てもなおシェイクスピアは世界中で最も愛されている作家と言っても過言ではありません。我が国においても内外の劇団によって、年間に上演されるシェイクスピアの作品は相当の数にのぼり、しかもいずれの場合も満席の観客を動員している。原作を読みその魅力を味わいます。

この作品はシェイクスピアの一連のロマンティック・コメディの中の傑作であり、人生の喜びや青春の輝きに満ちています。妖精の出没する森を背景に、妖精、アテネの貴族、職人たちが繰り広げる、真に「夏の夜の夢」そのままのファンタジイの世界を堪能し、また芝居の面白さを十分に楽しみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第一週 'Syllabus'に基づいて、科目に関し、内容、年間の予定、目標等々について説明をし、質疑を受けます。
第二週 シェイクスピアについて。
第三週 シェイクスピアの作品全般について。
以降は ① テキストの講読。
② 研究発表と発表を巡ってのディスカッション。
③ 発表に対する補足を行います。
- ① 年間を通し、James Kirkupの解説と批評（「真夏の夜の夢」朝日出版社）に基づいて作品へアプローチします。その中で言及され、指摘されている名句、名場面は原文（"A Midsummer Night's Dream" 研究社）によって味わいます。
② 履修者が確定した段階で個人或はグループによる研究発表の要領を決め、逐次発表してもらうこととなります。研究のテーマ、発表の日時については追って発表します。
③ 発表に対し、質疑応答を行います。
④ 担当者が補足します。
⑤ ヴィデオ・テープを用いてBBC放送収録の映画 "A Midsummer Night's Dream" を鑑賞します。（前期——前半、後期——後半）

履修上の留意点

シェイクスピアの戯曲は韻文で書かれており、現代の散文で書かれたものに比べ難解な箇所も多々あります。テキストの注、或は訳本等を参照して、十分に予習をすることが不可欠となります。発表に備えてあらかじめ個別に指導します。予約をし研究室において打ち合わせを行います。必要な参考書についてはその都度紹介、指示します。参考書は非常に多く、皆さんの必要に応じたものを取り敢えず指示することになります。

成績評価の方法

- 研究発表の評価（発表の態度、内容等）……50%
- 発表原稿の提出……20%
- 平常の評価……30%

教 科 書

- "A Midsummer Night's Dream" (James Kirkup著 朝日出版社)
- "A Midsummer Night's Dream" (研究社小英文叢書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 演 習 I 〔ディクテーション〕	おか もと まこと 岡 本 誠	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

慣用句の成立背景を見つめる。例えば，“OK”という言い方はどのようないきさつで言語生活に入ってきたのか。あるいは“maverick”という語はどのようにして「一匹狼」の意味になってしまったのか。これらをテープを聞きながらディクテーションで行なう。つまり、並行して listening comprehension の力を養うことも本講義のねらいとする。聴いて書き上げるという作業はその人の英語の実力をずばりと表す。この能力を高めないかぎり発話能力は備わらない。TOEFL500点以上を達成したいむきは来たれ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はスピードの比較的 ゆっくりしたもの、後期は比較的速いものを聴くようにこころがける。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるのは迷惑至極。受講者は耳を掃除して早めに来ること。

成績評価の方法

発表状況。出席状況。

教 科 書

テープ使用。プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 演 習 II 〔シャーロック・ホームズ〕	たき せい じゅ 滝 静 寿	短 英 1・2 選	4

講義のねらい

推理小説の古典『シャーロック・ホームズ』ものの中から前後期各々1篇を、受講者の希望を考慮して選び、輪読し、推理しながら当時のロンドンの風俗やイギリス人気質など研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読しながら、ロンドンを中心に地図をもとにしなが、推理過程における町や鉄道の様子、生活状況を研究していく。2、3篇の作品をビデオ鑑賞する予定。

履修上の留意点

必ず予習し、時間中は積極的に意見や考えを述べることを義務づける。一年間のうちに他の全作品を日本語訳で必ず読んで貰う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、学年末のペーパー・テスト等による総合評価。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語演習Ⅲ 〔口語英語の基礎訓練〕	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選	4

講義のねらい

英語で自分の意思を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的にはまず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際各々の表現の語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所音声上の問題点につき説明をうける。次いで各々の表現を使った簡単な英問英答または口頭英作文の練習をおこなう。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなうが、限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないで、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうかには注意が払われる。その後で新しい課の練習に入る。

履修上の留意点

4月の第1回目の授業に必ず出席し、細かな授業のやり方について説明を受け、疑問点を質問すること。コンピュータの台数の制限があるので定員を超えた場合には抽選で受講者を決定する。授業の時に60分テープを2本用意すること。コンピュータ使用経験の有無は問わない。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、前期・後期の終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。

教科書

録音教材としてENGLISH 900 BOOK 5 と BOOK 6を使う。テキストは使わない。

参考書等

東後勝明「英会話のリズムとイントネーション」金星堂

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語演習Ⅳ 〔耳で聞く英字新聞〕	よし ざわ えいじ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短英1・2選	4

講義のねらい

FENの5分間ニュースを聴きます。何度も聞いて耳を練って下さい。実際に耳にした時間数が大切です。

履修上の留意点

できるだけ、平素から毎正時に流れている5分間のニュースを聞いて下さい。時には、それを録音して書きとってみてください。FENガイド(アルク版)を活用してみるとよい。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教科書

参考書等は第1回時の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語演習 V 〔ボキャビュラリービルディング〕	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選	4

講義のねらい

語源を利用した単語力の増強及び読書力の養成を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

読書力の基礎は単語にある。ところが英語の単語は数が多いので覚えるのに苦労する。特に長音節語は基本動詞などに比べれば出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしてもあまり効率よく覚えられない。ところが語源の知識を利用すると比較的簡単に長い難しい単語を覚えられることが多い。そこで本演習では、共通の語根もしくは接辞を持つ単語をグループ毎にまとめ、それぞれのグループ毎の語源的知識を先ず学習し、次いで例文を参照しながら各々の単語の用法と意味を確認しながら記憶し、最後に読書力の養成を兼ねて既学習単語が使われているまとまった文章を読むことにする。教材は教科書とハンドアウトを併用する。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。また教室で読んでいくことになる読み物は、主として欧米の英文雑誌等から抜粋したもので多少難しい文章も含まれているので、家でしっかり予習しておくこと。

成績評価の方法

授業時間中に頻繁に行われる小テスト及び学期末の試験の合計に出席点を加味して成績判定をする。

教科書

Expanding Your Vocabulary by Word Roots, by Joe Mckim 英潮社 1,600円

参考書等

『ハンディ語源英和辞典』小川芳男編 有精堂
『英語の語源』渡部昇一著 講談社現代新書
『英語の語源物語』梅田修著 大修館書店

科目名	担当者名	配当学年	単位
英語演習 VI 〔英語表現〕	たかの ひでお 高 野 秀 夫	短英1・2選	4

講義のねらい

英作文の教科書と英字新聞で英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期
① 各授業時間一つのトピックを Natural Speed の英語で読み、書き、聞く練習を重ねる。
② 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
③ A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。
後 期
後期も前期と同じ授業計画。
① ヒヤリング・テープの活用
② 教科書（英作文）
③ 短い英語のスピーチ

履修上の留意点

- ① 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- ② 一日30分間で良いから自分の思ったことを英文で書き表してみることに。

成績評価の方法

- ① 課題のレポート提出
- ② 前期・後期テスト
 - (a) テープの英語
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- ③ A Short Speech

教科書

- ① *Unique English Composition* (Vol. I・II)
- ② *20-Site Listening Tour*.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
米 文 学 演 習	Jeffrey G. Garrison (ジェフリー G. ギャリソン)	短英1・2選	4

講義のねらい

American literature of the 1980s and 1990s reflects the social changes of the 1960s and 1970s as well as the restlessness and ennui spawned by wealth, the anger and despair of the dispossessed and marginalized, and the search for roots that has grown so strong among Black and Asian Americans. This seminar will investigate the literature and the times through the novels and short stories of representative writers including Tama Janowitz, Jay McInerney, Toni Morrison, Alice Walker, Raymond Carver, Tobias Wolff, Richard Ford and Amy Tan in order to present an overview of contemporary literary trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging the national consciousness.

講義の内容・
授業スケジュール

Introductory comments by the instructor on social, cultural and literary trends in post 1950s America followed by reading and discussion of selected authors (as works are available in Japanese translation). Extensive reading required as is active participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned by instructor. Scheduled film presentations.

前 期

- 4月2週 Explanation of course and requirements.
- 3週 U.S. cultural and literary history from the 1960s.
- 4週 New Realism and Minimalism, Raymond Carver I.
- 5月2週 R. Carver II.
- 3週 Carver III.
- 4週 Film #1: *Short Cuts*.
- 6月1週 Richard Ford.
- 2週 Tobias Wolff.
- 3週 Jay McInerney.
- 4週 Tama Janowitz.
- 5週 Film #2: *Slaves of New York/Bright Lights, Big City/This Boy's Life*.
- 7月1週 Control/Student Presentations.
- 2週 Control/Student Presentations.
- 3週 Control/Student Presentations.

後 期

- 9月3週 Alice Walker I.
- 4週 A. Walker II.
- 10月1週 Film #3: *The Color Purple*.
- 2週 Toni Morrison I.
- 3週 T. Morrison II.
- 4週 T. Morrison III.
- 11月1週 Amy Tan I.
- 2週 A. Tan II.
- 3週 Film #4: *The Joy Luck Club*.
- 4週 休講 (学祭)。
- 5週 Student Presentations.
- 12月1週 Student Presentations.
- 2週 Student Presentations.
- 1月2週 Control/Student Evaluations (papers due).

履修上の留意点

No written tests and, hence, no retests will be given; term papers, however, may be rewritten.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%), two presentations (50%), one at the end of each semester, and one 10-page research paper (25%) on an author or subject selected by the student in consultation with the instructor.

教 科 書

Works by authors as available in translation (selective repurchase program).

そ の 他

Sophomores will be given preference in admission to class.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ジャーナリズム研究	功 刀 照 夫	短英1・2選	4

講義のねらい

情報化社会、国際化時代といわれるなかで、われわれは多様化したマス・メディアを通じて伝えられる、内外のニュースや情報の洪水の中にいる。

ジャーナリズムとは何か、ニュースとは何か、メディアの発達と、それぞれの特性を考察し、実体をつかむことによって、あふれる情報の洪水を冷静に受け止め、その選別・活用の目を養い、あわせて国際的な相互理解増進の基盤づくりをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

内外の動き（ニュース）に目を配りながら、臨機応変にテーマや話題をねり上げる。
 テーマとしては、ジャーナリズムの歴史、欧米と日本のジャーナリズム、メディアの発達とコミュニケーションの展開、民主主義と言論の自由、報道と人権、新聞とテレビ、事実と真実、内外の報道の現場の紹介、権力による情報操作とジャーナリズムなど。

新聞記者、海外特派員、英文ニュースの対外発信、英字紙の編集・制作といったジャーナリストの体験をもとにした、具体的な事例による実践論が中心。

履修上の留意点

ニュースに関心を持つこと。新聞を毎日読み（少くとも一日一回、目を通すこと）、日本の動き、世界の動きに通じることが必須。

成績評価の方法

折りにふれて、ニュースに対する感覚や関心をチェックするペーパーの提出を求める。
 単なる知識よりも、自分で考え、その結果をいかに分かり易く表現・伝達するかという点を重視したい。平常点重視。

教科書

教科書は使わない。参考書は必要な時に指示。

その他

最低一紙の新聞を、継続的に「毎日」「必ず読む」ことが受講の前提条件。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
西洋古典文学	平 田 松 吾	短英1・2選	4

講義のねらい

古代ギリシア・ローマの文学を西洋古典文学（Classical Literature）という。叙事詩・抒情史・悲劇・喜劇・小説など、以後の西洋文学のほとんどのジャンルの範型は古代ギリシアで成立した。この講義では、ギリシア悲劇のいくつかの作品を読み、テキストに即した作品理解をすること、および、悲劇が上演された古典時代（前5～4世紀）のギリシア人のものの見方を学ぶことを目標とする。ギリシア悲劇には、本音よりむしろ建て前の方が人間にとって重要である、というギリシア人独特の「演技の思想」が見られる。この演技の思想は、わたしたち日本人にとってたいへん異質なものだが、西洋文化をその根幹から理解するには不可欠なものである。今から約二千五百年前に上演された作品に触れることを通して、特にこの「演技の思想」とは何かを考えてみたい。講義者の最終的な願いは、学生諸君にとってこの講義が今までとは違う視点から「ほんとうの自分」を考える手助けとなることである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に古代ギリシアの歴史・文化の概説をしたのち、ギリシア悲劇の日本語訳を題材に講義を進める。

履修上の留意点

まず指定されたテキストを読むこと。テキストを読まずに講義に出ても実りはありません。ただし、下記の教科書をすみずみまで読むわけではないから、分量的にはそれほど多くはない。
 ギリシア悲劇にはわたしたちの常識とは相いれない異質な要素がたくさんある。日本語に訳されているとはいえ、疑問に思う点が多々あるはずだ。講義ではそうした異質な要素を理解する手がかりを与えるが、正答がない場合だってある。この講義では、自分とは異質なものに触れて、とまどったり、自分の常識を問い直したり、ときには、完全な答えが出そうもないことを考えたりすることになります。不必要に難しい講義をしているつもりはないが、日頃の常識ですらすらと理解できるような題材ではないことは留意して欲しい。要するに、ごくあたりまえの知的努力が要求される、ということです。

成績評価の方法

筆記試験及びレポート

教科書

ソポクレス『アンティゴネー』（岩波文庫）、『ギリシア悲劇Ⅲ エウリピデス（上）』、『ギリシア悲劇Ⅳ エウリピデス（下）』（ちくま文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
イギリス文化事情	Paul Allum (ポール アラム)	短英1・2選	4

講義のねらい

This course has two main aims: to give students a good background knowledge of Great Britain, and to allow students to find out about and report on any aspect of Britain or British life that interests them.

講義の内容・
授業スケジュール

To fulfill the first goal, the class will read through the basic textbook. This will be supplemented by the teacher's explanations, hand-outs and watching of videos. Students will be expected to prepare before the class. This part of the course will be mainly completed in the first semester. To fulfill the second goal, students will be asked to choose a topic connected with Britain that interests them, find out about it by researching on their own, and then write a talk or article on that topic. This will occupy about half of the second term. Ample guidance will be given throughout by the teacher. The work of last year's students can be inspected in the first class by those who would like to get a clearer idea of what is expected. All students will be expected to have an English-Japanese/Japanese-English dictionary.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, knowledge and the quality of the project. A minimum attendance of 80% of all classes is required. Ability will be measured by periodic quizzes or brief tests. A pass grade on the project and the year-end test will be necessary to pass the course.

履修上の留意点

As college students, class members will be expected to take responsibility for organisation of their own learning. Students are encouraged to ask questions at any time. Suggestions and requests concerning either the topics studied or way of studying are very welcome.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
アメリカ文化事情	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短英1・2選	4

講義のねらい

To introduce American culture through the context of current events taken from such various media as newspapers, magazines, books, radio, television, and video.

講義の内容・
授業スケジュール

Each class will begin with a discussion of current events, the topics of which are to be introduced by students. Afterwards, and if time permits, a specific cultural topic will be introduced and discussed. As for these topics, students are encouraged to provide the teacher with requests, however, final selection will be at the sole discretion of the teacher. Periodically students may be asked to give oral presentations about an aspect of American culture. At any time during the year students may also submit reports on an aspect of American culture for extra credit. These reports may be typed in either English or Japanese, however, those typed in English will as a rule be more favorably graded than those typed in Japanese.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

前 期

- 4月 2週 Explanation of course. Student selection and sign-up.
- 3週 Current events. Geography. Climate.
- 4週 Current events. Cultural perspective up to Revolution.
- 5月 2週 Current events. Cultural perspective from Revolution to Civil War.
- 3週 Current events. Cultural perspective from Civil War to present day.
- 4週 Current events. Student presentations.
- 6月 1週 Current events. Government (Federal & State). People Power.
- 2週 Current events. Economy and business.
- 3週 Current events. Student presentations.
- 4週 Current events. Traditional holidays and events.
- 7月 1週 Current events. Sports. Leisure.
- 2週 Current events. Student presentations.
- 3週 Review.

後 期

- 9月 2週 Current events. People. Attitudes. Traditional values. Individuals and groups.
- 3週 Current events. Music. The Arts. Literature.
- 4週 Current events. Student presentations.
- 10月 1週 Current events. Lifestyles. Common customs.
- 2週 Current events. Education.
- 3週 Current events. Student presentations.
- 4週 Current events. Social problems. Social issues.
- 11月 1週 Current events. International relations. The U.S. and the rest of the world.
- 2週 Current events. Student presentations.
- 3週 Current events. Individual rights. Religion. Guns.
- 4週 Current events. Foreigners living, studying, and working in America.
- 12月 1週 Current events. Student presentations.
- 2週 Current events. U.S. & Japan comparisons.
- 3週 Current events. The future.
- 1月 2週 Final review.

履修上の留意点

Active participation by students is a must for those who take this course. This means that students will not only be expected to ask questions, but to also express their own personal views and opinions. This course will require considerable preparation outside of class in the sense that students will need to keep abreast of current events by following them closely on a daily basis.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z) \div 3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences

Y=number of times tardy

Z=average of all grades

α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Daily newspapers, weekly and month magazines, radio and television newscasts and programs having to do with America. The weekly news magazines *Time* and *Newsweek* as well as the monthly *National Geographic* magazine should be carefully perused and are available in the English Department Resources Room. English language news broadcasts on radio and TV should also be listened to regularly. Copies of some of these may be made available in the L.L. for student use.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ア メ リ カ 演 劇	Jeffrey G. Garrison (ジェフリー G. ギャリソン)	短英1・2選	4

講義のねらい

The purpose of the course is twofold: 1) to familiarize the student with the historical development, social and cultural background, and principal themes and elements of American dramatic writing from the earliest years through the 1990s; and 2) to nurture a critical appreciation of American drama, both as literature and performing art.

講義の内容・
授業スケジュール

Panoramic introduction to American drama with particular emphasis on contemporary issues and themes. Lectures will be reinforced by reference to earlier historically significant dramatic developments as they relate to American theater and supplemented both in and out of class by viewing of filmed plays by American dramatists as well as, time and schedule permitting, visits to rehearsals and viewing of one or two dramatic productions.

前 期

- Wk01 Explanation of course and requirements, purchase of texts, etc.
- Wk02 Definition and discussion of the elements of drama. How a play reaches production: the creative/collaborative process from script to performance. Who & what is involved.
(lecture w/AV presentation)
- Wk03 休講 (Golden Week)
- Wk04 Colonial period through the Revolutionary War to the Civil War: Patriotic, Western, Social Satire (Anna Cora Mowatt's *Fashion*, and Early Black Drama including William Wells Brown's *The Escape: or, A Leap for Freedom* 1858 (lecture W/AV)
- Wk05 Civil War to World War I: Freedom from foreign influence, Realism, growth of the "road show," birth of the Theatrical Syndicate (lecture)
 - 1) Mainstream men: Moody, Howard, Gillete, Thomas, Fitch, Belasco and the Schuberts.
 - 2) Women on the March: Rachel Crothers, Susan Glaspell.
- Wk06 The 20s: American drama comes of Age: the "Little Theater" movement, the Harlem Renaissance; Zoma Gale, Georgia Douglass Johnson, Sophie Treadwell, Edger Rice
(lecture/discussion)
- Wk07 Eugene O'Neill I: Man & works (lecture W/AV presentation)
- Wk08 E. O'Neill II; Film, *Desire Under the Elms* (CC)
- Wk09 E. O'Neill III: Discussion
- Wk10 The 30s: The Federal Theater Project, Proletarian drama and Clifford Odets; Realism and Thornton Wilder; Black Dramatists (lecture/discussion)
- Wk11 Lillian Hellman I: Woman & Works (lecture/AV Presentation)
- Wk12 L.Hellman II: (Discussion)
- Wk13 Film: *The Children's Hour* (字幕)
- Wk14 調整

後 期

- Wk01 The Marginalized—Tennessee Williams Man & Works Part I
(lecture/AV)
- Wr02 T.Williams Part II: Film, *A Streetcar Named Desire* (字幕) or *Cat on a Hot Tin Roof* (字幕)
- Wk03 T.Williams Part III: (discussion)
- Wk04 The 50: the Dark Side-William Inge (lecture/AV)
- Wk05 Film, *Come Back, Little Sheba* (字幕)
- Wk06 The collapse of the American Dream-Arthur Miller
(lecture/AV)
- Wk07 Film; *Death of a Salesman* (字幕)
- Wk08 The 60s and 70s: Vietnam and Beyond: War, Protest, Civil Rights and Experimentation: Edward Albee, Lorraine Hansberry, Amiri Baraka, David Rabe, Arthur Kopit and Lanford Wilson (lecture/AV)
- Wk09 Film: *Who's Afraid of Virginia Woolf?* (字幕あり)
- Wk10 The 80s and 90s, Part I: Sam Shepard, August Wilson & David Mamet
(lecture/AV)
- Wk11 Part II: Female voices and Feminism: Megan Terry, Marsha Norman, Beth Henley & Wendy Wasserstein
(lecture/AV)
- Wk12 Film: *night, Mother* (字幕なし) or *Crimes of the Heart* (字幕)
- Wk13 Part III: Gays, Lesbians & AIDS: Harvey Fierstein, Larry Kramer, Scott Mcpherson & Tony Kushner (lecture/AV)
- Wk14 調整。
- Wk15 調整。

履修上の留意点

No Written tests, hence no retests will be given. Papers, however, may be re-written

成績評価の方法

- 1) One 2-page plot synopses from a written source (10x1=10)
 - 2) One 4-page report on a dramatic production seen during the year, or two additional 2-page synopses (one of which may be from a film source) (20x1 or 10x2=20)
 - 3) One 7 to 10-page research paper on the works of a playwright selected in consultation with instructor (40, with 10 points added for a typed paper)
 - 4) Attendance and class participation (30)
- total=100

教 科 書

鴨原真一 編『モダン・アメリカン・ドラマ』, 研究社出版, 1989
高島邦子 著『20世紀アメリカ演劇——アメリカ神話の解剖』, 国書刊行会, 1993
池内靖子 訳『アメリカ女性劇集』Plays by American Women 1900-1930, 新水社, 1988

参 考 書 等

(指定図書) 田川弘雄・鈴木周二 共編『アメリカ演劇の世界』, 研究社出版, 1991

そ の 他

Order of topics may be altered to coordinate with dramatic presentations of works by playwrights scheduled for discussion.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
20 世 紀 英 文 学	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選	4

講義のねらい

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書：現代英語小説について
 - いわゆる20世紀の“意識の流れ”の作家（James Joyce, D.H.Lawrence, Virginia Woolf等）との接点を探りながら、まだ文学的評価の定まっていない最新女流作家の短編を読み、現代英国文学についての理解を深める。
 - 19世紀英国文学との比較も試みる。
 19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位のはなはだしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げ、英文学をより一層豊かなものにした。
その伝統をしっかり受け継いで現代人の心を魅了している最近女流作家達について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、現代英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期 一回テスト実施
- ② A short speech（授業時間中）

教 科 書

- ① *Active Listening Exercises.*
- ② *Contemporary British Women Writers.*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
同 時 通 訳 I	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短英1・2選	4

講義のねらい

To teach students the basic principles of simultaneous interpreting through basic exercises designed to familiarize them with technique.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will be held in the L.L. Students will record tapes of vocabulary, phrases, and expressions to practice in class and at home. In addition to individual practice of tapes, there will also be application exercises that will call upon students to demonstrate their abilities individually and in pairs or small groups. Interpreting exercises will be both from English to Japanese and Japanese to English.

[Note: Lesson content may vary from the scheduled lesson plan as a result of holidays, class cancellations, the need to spend more or less time on certain subjects, or other similar factors.]

前 期

- 4月2週 Explanation of course. Selection of students. Seating assignments.
Prepare brief self-introductions in both Japanese and English.
3週 Record Lessons Tape. Paired practice.
4週 Practice Lesson 1. Paired practice.
- 5月2週 Review Lesson 1. Practice Lesson 2. Paired practice.
3週 Review Lessons 1~2. Practice Lesson 3. Paired practice.
4週 Review Lessons 1~3. Practice Lesson 4. Paired practice.
- 6月1週 Review Lessons 2~4. Practice Lesson 5. Paired practice.
2週 Review Lessons 3~5. Practice Lesson 6. Paired practice.
3週 Review Lessons 4~6. Practice Lesson 7. Paired practice.
4週 Review Lessons 5~7. Practice Lesson 8. Paired practice.
- 7月1週 Review Lessons 6~8. Practice Lesson 9. Paired practice.
2週 Review Lessons 7~9. General review. Paired practice.
3週 Test over Lessons 1~9.

後 期

- 9月2週 Review Lessons 1~9. Paired practice.
3週 Review Lesson 7~9. Practice Lesson 10. Paired practice.
4週 Review Lessons 8~10. Practice Lesson 11. Paired practice.
- 10月1週 Review Lessons 9~11. Practice Lesson 12. Paired practice.
2週 Review Lessons 10 ~12. Practice Lesson 13. Paired practice.
3週 Review Lessons 11 ~13. Practice Lesson 14. Paired practice.
4週 Review Lessons 12 ~14. Practice Lesson 15. Paired practice.
- 11月1週 Review Lessons 13 ~15. Practice original passages. Paired practice.
2週 Review Lessons 14 ~15. Practice original passages. Paired practice.
3週 Review Lessons 15. Practice original passages. Paired practice.
4週 Practice original passages. Paired practice.
- 12月1週 Practice original passages. Paired practice.
2週 Test over Lessons 1~15.
3週 Test over original passages.
- 1月2週 Make-up tests for qualifying students.

履修上の留意点

Only students selected during the first class will be eligible to take this course. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. Emphasis will be on learning and utilizing basic interpreting techniques. Students will be expected to spend much time outside of class practicing and preparing. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may inevitably fail to complete the course.

This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Students who are absent on the day of a test will receive a score of zero for that test. Tardy students will not be permitted to take tests and as such, they also will receive a score of zero. As a rule, there will be no make-up tests, however, if a student can prove that she was absent, or tardy, for a legitimate reason, then she may qualify to take a make-up test at a later time.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z)/3+\alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences

Y=number of times tardy

Z=average of all grades

α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教科書

No assigned textbook.

参考書等

Students should always bring to class at least one blank 60-minute tape. Students may use dictionaries.

その他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
聖 書 研 究	たかのひでお夫 高野秀夫	短英1・2選	4

講義のねらい

言葉を学ぶに際し、最も大切なことの一つは、その言葉を話す人達の物の考え方を知ることである。その意味で聖書は英語を学ぶ者にとって格好の書物である。聖書を読み西洋人の物の考え方に触れ、又英語、英米文学への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

旧約聖書はユダヤ書であるが、新約聖書はその一民族の手から離れて、人類の愛の書となっている。

新約聖書はイエス・キリストの教えが説かれている。特に授業ではマタイ福音書を読み、いろいろな視点から聖書とは何かを考えて行く。

テープで耳からの聖書の英語に慣れ親しみ、マタイ福音書をしっかり読み進める。聖書には日本語訳が出来にくいところがあるので、逐字訳を試みながら授業を進める。

履修上の留意点

聖書がいかにかに人の心を豊かにするものであるのかを、日常生活の中で見直してほしい。

成績評価の方法

- 前期：レポート提出1回
- 後期テスト：聖書理解に不可欠な Key Word (愛, 罪, 復活等) について論述してもらう。

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
ビジネスイングリッシュ	まちいやすし 町井靖	短英1・2選	4

講義のねらい

実際の輸出入業務では英会話力、カタログ、技術資料の工業英語など英語の総合力が要求されるが、一般に「貿易英語」と呼ばれている「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学ぶ。テキスト「基礎商業英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、売込み、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。輸出入業務では英文の手紙が書けなければならないので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

各章の英文解釈は予習、英作文は復習で毎週の宿題となり、翌週添削解答する。テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で研究し、それらの重要表現を利用して英作するようになっているので、英文解釈と「研究」を良く読返して英作し、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易用語の理解も不可欠なので、テキストの付録「貿易用語集」で、為替相場、海上保険なども講義するが、支払条件のL/C (信用状), D/P (支払渡し), D/A (引受渡し), 送金 (Remittance), 為替手形 (Bill of Exchange), 手形買取り (Negotiation) とそれに関連するB/L (船荷証券) が少し難解である。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習、復習が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績による。

教科書

町井靖著「基礎商業英語」 梓出版社

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
秘書概論（前期）	湯 浅 陽 子 <small>ゆ あさ よう こ</small>	短英1・2選	2

講義のねらい

わが国における秘書的業務は、西暦645年大化改新の頃に誕生し、明治のはじめに秘書という言葉が用いられるようになったという。この秘書に対する一般的な概念は、それ以後あまり変わってはいない。しかし、時代の変遷に伴って秘書業務の内容は変わり、それは各分野における経営組織体の中で重要な位置を占めるまでになってきている。すなわち、経営者の日常業務が、情報の横溢、スピードの要求等の渦中にある今、その円滑な流れを全うするためには、上司の本務業務補佐のための秘書の能力が期待され、また、大いに役立っているからである。

秘書の仕事は大から小まで様々な種類があり、それに携わる秘書の能力・経験も様々である。しかし、どんな小さな仕事を受け持つ場合でも、上司を理解し、上司に匹敵して役立つ秘書の能力発揮が求められ、秘書はそれに応えなければならない。上司およびその業務内容を理解するためには、秘書の本質・形態・課題等に関する秘書理論を学ぶことが必要なのである。

講義の内容・授業スケジュール

- ※1
1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
 2. 企業組織と人間行動
 3. 経営者と秘書の業務
 4. 秘書の形態
 5. 秘書の業務とその特質
 6. 秘書と情報
 7. 秘書の人間関係
 8. 秘書と交流分析
 9. 秘書に求められるもの
 10. 秘書学について

履修上の留意点

1～2年後には社会人になるという人が受講するのであるから、正当な理由の無い欠席・遅刻は許されない。事後承諾を受けるのではなく、事前に何らかの形で連絡しておく配慮が必要。

成績評価の方法

出席を重視する。日常に課する小レポートも加味する。2年生は就職活動で欠席を余儀無くされることがあるが、「私の就職活動報告」と題してその日のレポートを提出してもらい、欠席分を補う。定期試験の得点と総合して評価する。

教科書

藤本ますみ編著『秘書学概論』ミネルヴァ書房 2,500円

その他

講義形式で授業を進める。取り扱う関連分野が多領域にわたるため、ビデオ教材を使うこともある。その際は教務課正面のビデオ教場使用欄（黒板）にて案内するので、前もって指示されているビデオ教場に入ってもらいたい。予約によって異なるが、I-201教場になることが多いであろう。

ただ講義を聞くというのではなく、これから直面する就職のこと、結婚、家庭と仕事との両立の問題、40代・50代をどんなふうに通ごしたいのか等々、自分のライフサイクルの中の現時点と未来を、秘書という事務能力の優れた女性の職能を通して考える機会になればと思っている。自分の意識を再確認するために、意見を書いてもらうことも多くなるであろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
秘 書 実 務 (前 期), (後 期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短 英 1・2 選	(半期) 2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。
 企業で働く秘書として必要な資質・職務知識、一般知識、マナー、接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。
 文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の進め方として、秘書や秘書の仕事について考え理解し、行動でき、表現できるように適宜レポートや実技（来客対応・電話対応など）を課題として与えながら実務能力がつくようにする。

履修上の留意点

毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。
 提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物、実技、授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教 科 書

『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』
 野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著 燃焼社 1,800円

そ の 他

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. 秘書の役割と心がまえ（秘書のイメージ資格要件）
3. 会話（話し方、聞き方、敬語）
4. 接遇（来客対応、電話対応）
5. 日程管理（行動予定、出張、旅行）
6. 交際業務と環境整備（慶弔のマナー、仕事のしやすい環境）
7. 文書作成（社内文書、社外文書、グラフ）
8. 文書管理（ファイリング、郵便の扱い）
9. 会議（会議の種類と準備、後始末）
10. 美しい立ち居振舞い（おじぎ、イスの立ち方、座り方、物の扱い）
11. 実技①（接遇——来客対応、受付、取次ぎ、案内、接待、見送り）
12. 実技②（接遇——電話対応）
13. 実技③（報告の仕方、状況対応）
14. まとめ

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について、具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
秘 書 英 語 (前 期), (後 期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短 英 1・2 選	(半 期) 2

講義のねらい

日本の国際化に伴い、企業で働く秘書として実務に即した英会話の学習は必修であるといえる。来客対応や電話対応の英語、ビジネスレターの作成などを学び、秘書英語検定の対策としても十分対応できる力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

毎回1つのunitを学習する。Dialogについて内容をよく理解したうえで、hearing, speaking, roll playを通して体得していく。
復習を各自で十分に行ない、毎回の小テストに備えておくこと。

履修上の留意点

復習中心になりますので、テキストの順序どおりに講義しません。毎回出席しないと次回のテスト範囲がわかりませんので、必ず授業の進捗を把握しておくこと（止むをえず欠席の場合は、友人に尋ねておくこと）。

成績評価の方法

毎回実施する小テスト及びまとめのテストの成績。

教科書

『秘書英会話教本』（財）日本英語教育協会 900円）90分のテープ1本用意すること。

そ の 他

- ① 受付、取次ぎ、案内などの来客対応における秘書としての会話を学ぶ。
- ② 電話会話、伝言メモの作成。
- ③ ビジネスレターの作成や履歴書の書き方。
- ④ まとめとして、来客対応のロールプレイを演習し、実際に活用できるか確認する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作品作家研究 〔ロマン派の詩〕	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	短英2選	4

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩を鑑賞します。
 エリザ朝にその最初の萌芽と開花を見た英国浪漫主義は、「理性と散文の時代」を経て、18世紀後半から19世紀初頭にかけて円熟と完成の時期を迎えます。この時期に活躍した詩人（その殆どは夭折してしまいましたが）とその作品を研究、鑑賞し、彼らがどのように自然と人間に対峙したかを学び、かつ、彼らがさまざまな詩型と詩句を駆使して語るイギリス湖水地方を初めとする美しい田園の姿を味わい得ることを期待します。

講義の内容・ 授業スケジュール

4月 ①英国浪漫主義について ②英詩の特徴、詩型、韻律等について
 5月 人と作品 ウィリアム・ワーズワース
 6月 S.T. コールリッジ
 7月 G.G. バイロン
 9月 P.B. シェリー
 10月 ジョン・キーツ
 11月 ウィリアム・ブレイク
 12月 ロバート・バーンズ
 1月 補足とまとめ

授業の進め方

概ね以下の手順で進めます。

1. 受講者は取り上げる詩人について、生涯、作品の特質、傾向等をあらかじめ調べて出席し、発表する。
2. 発表に対し、質疑応答を行う。
3. 担当者が補足する。
4. 取り上げた作品の英国俳優等による朗読を聞く。
5. 受講者の朗読と作品解釈。
6. 詩型、詩句、韻律について担当者より補足。
7. 作品について意見交換。

履修上の留意点

- ① 英詩における韻律はその作品を理解する上で特に重要な役割を持っています。従って黙読するだけでは十分な把握は望めません。用いられている語句に正しい抑揚をつけて音読することが必要となります。各自が下調べの段階において繰り返し音読をしてきていただきたい。
- ② 地名、その他固有名詞についてはテキスト注を参照されたい。
- ③ 詩人の伝記等については、「英米文学辞典」（研究社）その他の「文学辞典」、「文学史」関係の書によって簡単に調べることが出来ます。必要に応じ教場において説明、紹介します。

成績評価の方法

1. 前期・後期に各一回提出のレポートによる評価……60%
2. 授業中の発表等に対する評価……40%

教科書

「履修上の留意点」を参照。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作品作家研究 〔世紀末文学〕	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	短英2選	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。
 (前期) 世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞(童話を中心に)。
 (後期前半) 戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家(ビアズレーを中心に)について。
 ビデオで、バーコフの『サロメ』鑑賞。
 (後期後半) 小説『ドリアン・グレイの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。

履修上の留意点

必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作品作家研究 〔20世紀アメリカ小説〕	よし 吉 さわ 沢 えい 栄 じ 治 ろう 郎	短英2選	4

講義のねらい

サリンジャーの作品を読みます。原文を通じて、口語的な表現に馴れ、若者の心情をよく把握して下さい。

履修上の留意点

できうるかぎり、辞典を使って丁寧に読んで下さい。

成績評価の方法

成績評価は1月の定期試験で行ないます。

教科書

教科書等は第1回の授業時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
作 品 作 家 研 究 〔19世紀英文学〕	たかのひでお夫 高野秀夫	短 英 2 選	4

講義のねらい

英国の大学に於て英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読みながらその著者ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学のなかで特異な存在となったのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期：『サイラス・マーナー』作品の逐字訳

『サイラス・マーナー』の作品理解に努める。

「神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになる。そして彼はついに天涯孤独な守銭奴と化す。15年後、その金も盗まれ、再び絶望の淵をさまよっている時、たまたま迷い子が家に転がり込んで来る。数々の辛くて悲しい経験を通り越しサイラスは、その子を育てることで、過去に失った全ての間味溢れる生活を取り戻す。そしてまれに見る美しい髪の可愛い娘に成長したエビーと幸せに暮らす。」この話を原書で読む。

後 期：口頭発表

・後期は口頭発表の機会を作る。

発表は各自が課題を決めて一人20分程度でまとめる。

・この作品に登場する人物の様々な問題点（孤独、神、偶然など）を取り上げ、ジョージ・エリオットの文学に迫る。

同時に、19世紀英文学に於けるジョージ・エリオットの位置付けをも考える。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

- ① 口頭発表
- ② レポート
- ③ 7枚程度の論文

教 科 書

- ① George Eliot: *Silas Marner*

科目名	担当者名	配当学年	単位
情報処理Ⅱ	湯浅陽子	短英2選	2

講義のねらい

パソコンやワープロなどの情報機器が広く普及し、子供たちからお年寄りまで身近なものとなっているが、これらの機器を使いこなすには、まず、基本としてキーボードの正確で速い操作方法——「タッチタイピング技能」——を身に付けることが必要である。キーボードはさまざまな情報機器に共通する入力装置なので、アルファベットによるタッチタイピング技能を身に付けると、パソコンやワープロ、タイプライターなど、いろいろな機器を正確に速く操作することが可能になる。マルチメディア社会を迎え、さまざまな情報機器を操作することが必要になればなるほど、タッチタイピング技能を身に付けることが必須条件になるだろう。

本講義では、こうしたタッチタイピング技能をすでに習得した者を対象に、タイピングレベルをさらに向上させつつ、アプリケーションソフトを使用して多様な文書を作成しながら、形式だけでなく内容、表現の仕方にまで注意を払うことによって中級程度の文書作成能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 4～5月 英文ワープロソフト Word Star で Business Letter 作成
- 6～7月 “ Resume 作成
- 9～10月 日本語ワープロソフト一太郎でビジネス文書作成
- 11～12月 表計算ソフト Lotus 1-2-3 でリスト等作成
- 1月 入力レベルテスト

履修上の留意点

授業開始から10分間に作業の準備をし、その後、その日の実習上の注意事項を伝える。個々の質問は受け付けるが、全体説明は1度だけにとどめるので、説明時の遅刻・おしゃべりは禁物である。守れない人には退席してもらおう。

6月と10月の第3週の授業時に日本商工会議所主催のキーボード操作技能認定試験（キータッチ2000テスト）を行う。受験は任意である。この認定試験は、合格・不合格を判定するものではなく、試験時間の10分間に入力できた文字数で、日本商工会議所がタッチタイピング技能を証明するものである。そのため、受験者全員に対し「タッチタイピング技能認定証」（カード式）が交付される。試験は各自専用フロッピーディスク（FD）を使って行うので、そのFD代1,500円（1年間有効）と受験料1,000円×2回がかかる。受験申込から認定証交付までの一連の事務手続きは湯浅が代行する。なお受験しない人はこの日は自習となる。

授業時間内では課題が終わらない場合も多いと思われる。是非、4号館の情報教育センター使用登録申請をして、自習室（4号館1階）を利用してもらいたい。当科目だけでなく他の科目での提出物作成にも活用できて便利である。

成績評価の方法

実習であるから、出席点を重視する。遅刻は10分まで認める。実習により作成した提出物の良否、文書作成能力、出席点、及び最終授業時（1月）に行う入力レベルテストによって総合評価を行う。

教科書

年間を通じ2～3枚のフロッピーディスク（2HD 3.5inches）を必要とするので、各自用意すること。教科書にプリントを実費支給する。

参考書等

参考書は特に指定はしないが、次の使用するソフトに即した本を選ぶと良い。
「一太郎 ver. 4」、「Word Star ver. 6」、「Lotus 1-2-3」

その他

4号館の電子計算機室4-301教場を使用して実習を進めるので一人1台を確保するため人数制限を行う。4月の1回目の授業時に Blind Touch Test を行い、合格者を対象にさらに抽選をし、定員32名とする。履修を許可された者には、教務部窓口で配付する受講許可願の用紙に担当者印を押し、その証明とする。したがって、担当印のない者は勝手に履修登録できない。

本講義は、同じものが2コマあるので、一度抽選にもれても、もう一方のコマで履修できる可能性もある。いずれにしても、1回目の授業に出席しないと抽選券が無いので注意すること。

各コマの1回目の授業で定員に満たない場合の人数の空き状況については第一研究館3F短大英文科事務（資料）室（No.1318号室）前の掲示板にて知らせる。その時点での履修希望者は先着順で短大英文科事務室にて受け付けるので、教務部窓口で配付する受講許可願の用紙に担当者印をもらうこと。ただし、英文タイプライティングⅠを受講済みで Blind Touch（手元を見ないで打つこと）ができる者に限る。定員になり次第締め切る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
言 語 と 文 化	おかもと まこと 岡 本 誠	短 英 2 選	4

講義のねらい

英語という言語に接する際、我々はその言語の背景にある人々のものの考え方、感覚にも留意せねばならない。つまり英語圏の人々の文化にも気配りをするということである。真のコミュニケーションはそれによって成り立つといえる。これは別の言い方をすると、異文化間コミュニケーションの難しさを確認することにつながる。その難しさを確認することこそ前進である。

講義の内容・
授業スケジュール

この趣旨にそった話題を（英字の）新聞や雑誌に求め、内容を検討していく。グループ発表とディスカッションの並用。

履修上の留意点

受講者は事前に問題点を吟味してくることが肝要。

成績評価の方法

発表状況。ディスカッションへの参加。指定文献によるレポート提出。課題によるレポート提出。

教 科 書

材料はこちらから提供する。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英 語 表 現 研 究	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短 英 2 選	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故hipsと複数でいうのであろうかというような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのかというような語順の問題、その他様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探っていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。

成績評価の方法

レポートの出来映え、特にその独自性と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

小島義郎「日本語の意味 英語の意味」南雲堂
国広編 「日英語比較講座」全5巻大修館
国広哲哉「日英語の比較」（現代英語教育－8）研究社
榎垣実 「日英比較表現論」大修館

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Advanced English II A	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to raise the oral and aural skills of the students to the highest level possible through an intensive application of reading, speaking, listening, and comprehension exercises. In short, the emphasis will be on encouraging students to further develop and build on their present abilities by making them use what they know to the fullest extent possible.

講義の内容・
授業スケジュール

This course and Advanced English II B are essentially the same course, and as such, should be considered the same. The only difference between the two is that they are held on different days of the week. Accordingly, the schedule for both classes are interconnected. Because the content of the course will depend on and be influenced by the ability and progress of the students, a detailed lesson plan is not available.

Based on the presupposition that language proficiency comes primarily from constant practice, students will be expected to do most of the talking. Speaking situations will include paired conversations, presentations and speeches, and group discussions. Above all, students will be expected to ask the teacher lots of questions and seek to converse in English with the teacher and each other at all times.

Although a detailed lesson plan for the course is not available, students will be told well in advance what will be expected of them so that they can adequately prepare for class.

履修上の留意点

All second-year students interested in taking this course will be selected during the first week through a series of interviews. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not be allowed to take it nor receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. This course will require tremendous preparation outside of class. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may be asked to withdraw from the course. This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Tardiness and absences will not be tolerated. This course will be conducted only in English. Students may not use Japanese. Active participation in discussions and class activities is mandatory.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z)/3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, α =adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教 科 書

No assigned textbook.

参 考 書 等

Students will be expected to follow current events and read a lot in English. Movies, articles, and books will often be assigned for study outside of class.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
Advanced English II B	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短 英 2 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to raise the oral and aural skills of the students to the highest level possible through an intensive application of reading, speaking, listening, and comprehension exercises. In short, the emphasis will be on encouraging students to further develop and build on their present abilities by making them use what they know to the fullest extent possible.

講義の内容・
授業スケジュール

This course and Advanced English II A are essentially the same course, and as such, should be considered the same. The only difference between the two is that they are held on different days of the week. Accordingly, the schedule for both classes are interconnected. Because the content of the course will depend on and be influenced by the ability and progress of the students, a detailed lesson plan is not available.

Based on the presupposition that language proficiency comes primarily from constant practice, students will be expected to do most of the talking. Speaking situations will include paired conversations, presentations and speeches, and group discussions. Above all, students will be expected to ask the teacher lots of questions and seek to converse in English with the teacher and each other at all times.

Although a detailed lesson plan for the course is not available, students will be told well in advance what will be expected of them so that they can adequately prepare for class.

履修上の留意点

All second-year students interested in taking this course will be selected during the first week through a series of interviews. Any student who was not selected at the first class or who did not receive permission from the teacher to take the course, but who enrolled in the course anyway will not be allowed to take it nor receive a passing grade. Only students who have been screened by the teacher will be eligible to take this course. This course will require tremendous preparation outside of class. Those who fail to prepare properly will find it difficult to do the work and as a result may be asked to withdraw from the course. This course is not recommended for shy students nor those with marginal oral and aural skills. Tardiness and absences will not be tolerated. This course will be conducted only in English. Students may not use Japanese. Active participation in discussions and class activities is mandatory.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z)/3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, α = adjustment, if necessary, based on Teacher's evaluation.

教 科 書

No assigned textbook.

参 考 書 等

Students will be expected to follow current events and read a lot in English. Movies, articles, and books will often be assigned for study outside of class.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
英語とコンピュータ	Richard A. Moe (リチャード A. モエ)	短英 2 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to familiarize students with the use of Macintosh computers through the application of keyboard skills previously acquired and to make them proficient at the English word processing.

講義の内容・
授業スケジュール

Although a detailed lesson plan for the course is not available, students will be told well in advance what will be expected of them so that they can adequately prepare for class. Basically each lesson will consist of three parts: strengthening English typing skills and speed; mastering *WordPerfect*, a popular and sophisticated word processing application; and improving writing skills through *Skills Bank 3*, a computer-assisted writing program. Students will be allowed to work at their own individual paces.

履修上の留意点

The number of students taking this course will be limited by the number of computers available. Students who have completed 情報処理 and those who already have some keyboard skills will be given preference in taking this course, as will students who already have Macintosh computers. Students will be expected to practice a great deal outside of class in their free time.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, participation, and ability. Final grades will be calculated by the following formula:

$$((100-10X-5Y)+2Z)/3 + \alpha = \text{Final Grade}$$

X=number of absences, Y=number of times tardy, Z=average of all grades, α =adjustment, if necessary, based on Teacher.

教 科 書

No assigned textbook.

参 考 書 等

WordPerfect User's Manual. Notebooks are essential, students will need to keep a record of how to perform certain functions. This will essentially serve as a reference manual later on.

そ の 他

Students are encouraged to consult with the teacher at any time regarding course content, their performance, or any other matters.

專 門 教 育 科 目
放 射 線 科

專 門 教 育 科 目

放 射 線 科

放 射 線 物 理 学 (小 山 正 希)	107
電 氣 工 学 (佐 藤 昌 憲)	107
放 射 線 機 器 概 論 (榑 德 市)	108
放 射 線 写 真 学 (田 本 祐 作)	108
解 剖 学 (古 屋 儀 郎)	109
生 理 学 (樋 口 雄 三)	109
衛 生 学 及 び 公 衆 衛 生 学 (吉 田 稔)	110
画 像 檢 査 技 術 学 概 論 (西 尾 誠 示)	110
放 射 線 基 礎 数 学 (清 水 忠 良)	111
〔平成7年度以前入学生：放射線基礎数学（後期）〕	
近 代 物 理 学 序 論 (清 水 忠 良)	111
放 射 化 学 序 論 (田 島 隆)	112
実 験 I A (榑 德 市・古 屋 儀 郎・西 尾 誠 示)	113
実 験 I B (清 水 忠 良・佐 藤 昌 憲・小 川 多 惠 子・松 林 哲 夫)	113
実 験 I C (山 本 裕 右・榑 尾 英 次・田 本 祐 作)	114
実 験 I D (田 島 隆・山 本 裕 右・冨 沢 比 呂 之・舩 廣 善 和)	115
医 学 概 論 (古 屋 儀 郎)	116
臨 床 医 学 概 論 (古 屋 儀 郎)	116
放 射 線 生 物 学 (山 口 彦 之)	117
病 理 学 (古 屋 儀 郎)	117
生 化 学 (田 島 隆)	118
応 用 数 学 (清 水 忠 良)	119
原 子 核 物 理 学 (青 木 清)	119
放 射 化 学 (山 本 裕 右)	120
電 子 工 学 (杉 田 徹)	120
放 射 線 機 器 工 学 (武 中 英 治)	121
放 射 線 機 器 工 学 Ⅲ〔平成7年度以前入学生〕(榑 尾 英 次)	121
画 像 技 術 学 (西 尾 誠 示)	122
放 射 線 計 測 学 (小 山 正 希)	122
関 係 法 規 (油 井 多 丸)	123
実 験 II A (榑 德 市・西 尾 誠 示・阿 部 敏・金 谷 信 一)	123
実 験 II B (小 山 正 希・武 中 英 治・佐 藤 昌 憲・中 本 淳)	124
実 験 II C (杉 田 徹・青 木 清・川 副 護・木 村 登)	124
実 験 II D (杉 田 徹・青 木 清・木 村 登・吉 田 正 廣)	125

実 験 II E (武中 英治・榎尾 英次・山口 彦之・蒔 利彦)	125
画像工学〔平成8年度以降入学生〕(田 本 祐 作)	126
病 院 実 習 I (榊 徳 市)	126
放 射 線 医 学 概 論 (古 屋 儀 郎)	127
自 動 制 御 工 学 (青 木 清)	127
放射性同位元素応用機器工学(小 山 正 希)	128
〔平成7年度以前入学生：放射線機器工学Ⅳ〕	
画 像 情 報 学 (西 尾 誠 示)	128
放射性同位元素検査技術学(榊 徳 市)	129
放 射 線 治 療 技 術 学 (高 山 誠)	130
放 射 線 管 理 学 (油 井 多 丸)	130
放 射 線 学 演 習 (杉 田 徹)	131
実 験 III A (小山 正希・佐藤 昌憲・羽生 毅)	131
実 験 III B (青木 清・杉田 徹・永井 喜則)	132
実 験 III C (山本 裕右・田島 隆・山口 彦之・大田 忠親)	133
実 験 III D (榊 徳市・榎尾 英次・小林 久夫)	133
病 院 実 習 II (榊 徳 市)	134
計算機言語概論〔平成7年度以前入学生〕(杉 田 徹)	135
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(小 山 正 希)	135
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(杉 田 徹)	136
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(武 中 英 治)	136
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(田 島 隆)	137
放射線学基礎演習〔平成8年度以降入学生〕(西 尾 誠 示)	138
医 学 英 語 (山 口 彦 之)	138
〔平成7年度以前入学生：臨床放射線特論Ⅰ〕	
画 像 処 理 論 (榎 尾 英 次)	139
〔平成7年度以前入学生：画像工学Ⅱ〕	
化 学 特 論 (山 本 裕 右)	139
応 用 計 測 学 (榎 尾 英 次)	140
放 射 線 学 特 論 (山 口 彦 之)	140
放 射 線 学 特 別 演 習 (青 木 清)	141
放 射 線 学 特 別 演 習 (清 水 忠 良)	141
放 射 線 学 特 別 演 習 (榊 徳 市)	142
放 射 線 学 特 別 演 習 (山 本 裕 右)	142
放 射 線 学 特 別 演 習 (佐 藤 昌 憲)	143
放 射 線 学 特 別 演 習 (榎 尾 英 次)	143

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線物理学	こやま まさき 小山 正 希	短放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主としてX線）と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- | | |
|---|----------------|
| 1) 放射線・放射能の定義と概念。 | 2) 放射線の種類と分類。 |
| 3) 光子（X線・γ線）の粒子性。 | 4) 光電効果。 |
| 5) 原子の構造・粒子の波動性。 | 6) X線回折・ブラグ反射。 |
| 7) 軌道電子のエネルギー準位。 | 8) 輝線スペクトル。 |
| 9) 制動X線・特性X線の発生機構。 | 10) X線の線質。 |
| 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。 | |
| 12) 吸収端現象とその応用。 | |
| 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動輻射・チェレンコフ輻射など）。 | |
| 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。 | |
| 15) 電子の飛程。 | 16) 放射線の単位。 |

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用に有ると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
電気工学	さとう まさのり 佐藤 昌 憲	短放 1 必	2

講義のねらい

電気工学全般にわたる広い基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合せ講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①電気回路の電圧・電流 | ②消費電力と発生熱量 |
| ③電気抵抗 | ④磁界の強さと磁束密度 |
| ⑤磁気回路 | ⑥電磁力 |
| ⑦電磁誘導作用と電磁エネルギー | ⑧静電現象 |
| ⑨電界の強さと電束密度 | ⑩静電エネルギー |
| ⑪交流回路の基礎 | ⑫交流の平均値・実効値 |
| ⑬正弦波交流の基本回路 | ⑭交流の直列回路 |
| ⑮交流の並列回路 | ⑯交流の電力 |
| ⑰複素数とベクトル | ⑱交流回路の計算 |
| ⑲相互インダクタンスを含む回路の計算 | ⑳三相交流の基礎 |
| ㉑三相の結線方法と電圧・電流の関係 | ㉒三相交流の電力と力率 |
| ㉓平衡三相交流回路の計算 | ㉔電気計測（電圧・電流・電力の測定） |
| ㉕変圧器の基礎 | |

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

- 「新電気基礎問題集」（綜文館） ¥800
「電気基礎上」（東京電機大学） ¥2,472
「電気基礎下」（東京電機大学） ¥2,369

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線機器概論 (前期)	さかき とう いち 柳 徳 市	短放1必	1

講義の内容・
授業スケジュール

〈授業の主たる内容〉

診療放射線業務を実施するには、診療行為と共に適当な設備が必要とされる。それらの設備の中、診断用各種X線装置・機器・用具の知識と構造を知り、その動作原理と取り扱い法および安全管理について講述する。実験ⅠA・ⅡBとの関連が深い。

〈授業項目〉

- ① 診断用X線装置：X線機器の概要，X線管の構造，用具・感光材料の基礎知識。
- ② X線発生装置：X線高電圧発生装置，整流器，高電圧ケーブル。
- ③ 電源部：電源設備，高電圧回路結線方式。X線制御装置：X線管装置。
- ④ X線管付属器具：絞り装置，フィルタ，X線機械装置：X線TV透視撮影装置。
- ⑤ X線TVの光学系，X線管保持装置，撮影台，映像装置，グリッド他補助用具。
- ⑥ X線装置システム：一般撮影用，消化器検査用，頭部専用，乳房撮影用，泌尿器・婦人科用，乳幼児用，各装置の構成と特徴。
- ⑦ 特殊撮影用X線システム：断層撮影装置の原理と構成，軌道方式，試験法。
- ⑧ 拡大撮影装置：原理と装置，臨床応用。立体撮影装置：原理と装置。臨床応用。
- ⑨ 動態撮影装置：原理と装置，システム。循環器系検査装置：撮影方式とシステム。
- ⑩ 循環器系X線機器：電源と装置システム。制御装置，保持方式，検査用テーブル他。
- ⑪ X線CTシステム：原理とCTシステム，データ処理と画像再構成方式，性能評価法。
- ⑫ 高電圧撮影：コントラスト，散乱線，撮影条件，被曝線量，臨床適応。

〈授業の方法〉

4月の第2週より，7月第3週まで，毎週土曜日の2時限，教科書を使用して講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果による。

教科書

診療放射線技術，上巻（南江堂）¥6,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線写真学 (後期)	たもと ゆう さく 田 本 祐 作	短放1必 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

放射線および光による医用画像について，その形成原理，形成手段，画像の解析法，および画質の評価法等を中心に実社会で真に有用な人材の育成をモットーに講義する。

- (1) 放射線写真と写真のシステム
- (2) 感光材料と増感紙
- (3) 感光および現像処理の理論と化学
- (4) センシトメトリー
- (5) 画像の写真特性

教科書

宮川俊夫・久江田昌著『新版 放射線写真学』（アドバンス出版）¥4,800

科目名	担当者名	配当学年	単 位
解剖学	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放1必	2

講義のねらい

診療放射線技師に必要な人体解剖学を学び画像との関係を習得する。

教科書

吉川・星・林 共著『解剖生理学』（金原出版）¥3,000

科目名	担当者名	配当学年	単 位
生理学 (後期)	ひ ぐち ゆう そう 樋 口 雄 三	短放1必	2

講義のねらい

ヒトの生命現象が、個々の臓器や器官のみで営まれているのではなく、精神も含めて全体的に機能していることをホリスティックな視点から理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 体 液
- 2) 循 環
- 3) 呼 吸
- 4) 消 化・吸 収
- 5) 栄 養・代 謝・体 温
- 6) 排 泄
- 7) 内 分 泌・生 殖
- 8) 防 御 機 構
- 9) 神 經 の 興 奮
- 10) 中 枢 神 經 系
- 11) 末 梢 神 經 系
- 12) 感 覚
- 13) 運 動
- 14) 筋 肉

などの項目を予定している。しかし、範囲が広いので全部を深く講義することはできないが、大事なところを重点的に解説する。

履修上の留意点

内容が多いので講義の速度も速くならざるを得ないが、講義内容を整理し、必ず復習をすること。

成績評価の方法

試験期間内に筆記試験にて行う。教科書よりも実際に講義した内容から出題する。

教科書

松村幹郎, 越智和典, 豊田弘子, 「生理学」医学書院, ¥3,914

参考書等

古河太郎, 本田良行「現代の生理学」金原出版, ¥9,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
衛生学及び公衆衛生学 (後 期)	よし だ みのる 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教 科 書

石川哲也著「新編公衆衛生学（第2版）」（東京教学社）
竹村 望著「衛生学の基礎」（相川書房）

参 考 書 等

『国民衛生の動向』（厚生指 標 臨時増刊）厚生統計協会
厚生省編『厚生白書』（厚生省統計協会）
環境庁編『環境白書』（大蔵省印刷局）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
画像検査技術学概論 (後 期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短 放 1 必	2

講義のねらい

X線撮影技術学概論及びX線撮影技術の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- a. 画像技術と患者接偶
- b. 画像検査に必要な機器類
- c. X線と画像の成り立ち
- d. X線フィルムと増感紙
- e. 撮影因子
管電圧、電流、照射時間、距離
- f. 画像因子
濃度、コントラスト、鮮鋭度、粒状度
- g. グリッド、散乱線、線質、フィルター等

教 科 書

立入 弘『診療放射線技術』上巻 南江堂 ¥6,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線基礎数学	しみずただよし 清 水 忠 良	H8以降入学生/短放1必	2
放射線基礎数学(後期)		H7以前入学生/短放1必	1

講義のねらい

この科目は確率・統計学を学ぶ。実際の数値を扱うことに慣れること、同時に大きな数や大量の数値を計算器を使って処理すること。
ガイダンスの後、全員で統計データを作ることから始める

講義の内容・授業スケジュール

1. 統計・実験データのいろいろ
2. 統計データの収集
3. 平均値, 度数分布
4. 平均値からのズレの評価
5. 最小自乗法 I
6. 最小自乗法 II
7. ポアソン分布
8. ガウス分析
9. 確率関数
10. 計算機による計算実習 I
11. 計算機による計算実習 II

履修上の留意点

計算機言語概論を履修してあることが望ましい。電卓, 方眼紙は常に携帯して欲しい。

成績評価の方法

1. レポート
2. 試験で評価する。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。

その他

講義・演習形式を併用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
近代物理学序論	しみずただよし 清 水 忠 良	短放1必	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。予備知識は特に必要とはしない。内容は微分・積分を用いた力学・電磁気学である。問題意識: 定性的な議論ではなく、物理学の定量的な議論を運動方程式(質点, 電子, 電磁波)を軸に据えて扱う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 物理学小史
2. 運動の概念
3. 座標, 時間, 速度
4. 落下運動
5. 質量
6. 力
7. 運動方程式
8. 落下運動再論
9. 円・楕円運動
10. 摩擦のある運動 I
11. 摩擦のある運動 II
12. 摩擦のある運動 III
13. 電荷の運動
14. 電場, 電位
15. 直線電荷のつくる電場
16. 平ある面電荷のつくる電場
17. 磁場および磁束密度
18. フレミングの左手の法則
19. ベクトル積
20. ローレンツカ I
21. ローレンツカ II
22. ファラデーの法則 I
23. ファラデーの法則 II
24. オームの法則 I
25. 電気回路 I
26. 電気回路 II
27. 電気回路 III
28. 電磁波
29. マックスウェル方程式

履修上の留意点

予習は特に必要とはしない。復習をすること。宿題は2週に一度のペースで出す。講義中に宿題や計算問題等の演習を行う。電卓, 方眼紙は常に携帯して欲しい。

成績評価の方法

中間試験を2回行う。定期試験の結果と併せ評価する。なお、講義はとかく頭でっかちになりがちである。関係する内容について、自作の実験, 調査のレポートはおおいに歓迎する。当然、成績評価に反映する。

教科書

原康夫「詳解物理学」東京教学社(2,266円)

参考書等

学生個人の進度にあわせて相談して(必要かどうかも含め)決める。

その他

講義・演習形式を併用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射化学序論	たじま たかし 田 島 隆	短放 1 必	2

講義のねらい

昨今の高校の理科では「理科 I」で化学の初歩は学習しても「化学」を履修しない場合がある。また「化学」を履修した場合でも「化学」を暗記ものとして学んでいる場合が多い。「化学」は法則、定理を学んでも、確かに例外の多い学問分野ではある。無機化合物でも、まして有機化合物に至っては数え切れないので、それらを暗記など出来る筈もないし、必要もない。診療放射線技師となって扱う物質は、その中のほんの僅かである。だがその僅かな物質も元素およびその構成されたものでは原子、分子である。これらは一応物理学的性質、化学的性質の諸法則に従っているから、それらの諸法則の理解が充分ならば取り扱いも充分可能である。そのほんの僅かな物質の中のさらに僅かな物質だけが例外であり、暗記するとすれば、まことに僅かだ。

もう一つの問題点は「化学」は机上、抽象的な学問と考えている場合が多い。しかし「化学」はあくまでも物質を扱う学問である。例えば計算をして算出した数字は「化学」では数量であり、数値であると言う理解が必要である。具体的に言えば「有効数値」の概念である。

以上の諸点から、この時間では高校で履修した事項と重複することを承知の上で化学の基礎から講義を開始して、「放射化学」「放射線写真学」「生化学」の本論への橋渡しをするのを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- a) 原子、分子、モル
質量保存の法則、定比例の法則、倍数比例の法則、気体反応の法則、Avogadroの法則、原子、分子の概念、モル数の考え方。
- b) 原子の電子配置と周期表
Schrödingerの波動方程式、量子数、電子配置、Pauliの排他律、Hundの規則、周期表と周期律、イオン化エネルギー、電子親和力
- c) 化学結合
イオン結合、共有結合、分子軌道法、配位結合、錯化合物、水素結合、水和物、金属結合、電気陰性度、分子の極性と非極性、分子の形と性質
- d) 化学平衡
可逆反応と不可逆反応、質量作用の法則、平衡定数、解離定数、化学平衡と温度、平衡移動 - Le Chatelierの法則
- e) 電解質溶液とpH
電離、電離平衡と電離定数、溶解度積、水のイオン積、水素イオン濃度とpH、塩の加水分解、緩衝溶液、共通イオン効果、塩効果
- f) 光の吸収
電磁波の分類（ここでは紫外部、可視部、赤外部）放射エネルギーと分子（ここでは回転エネルギー、振動エネルギー、電子エネルギー、蛍光、リン光）吸収スペクトル（赤外分光測光、紫外可視吸収スペクトル）可視光線と補色の関係、Lambert-Beerの法則、分光光度計の構造と測定法
- g) 酸化還元反応
酸化数、イオン式と半反応式の作り方、酸化剤と還元剤、酸化還元反応式の作り方、酸化還元の規定度
- h) 電気化学
酸化還元とイオン化剤、半電池、標準単極電位、標準電極電位、濃淡電池、電位差と反応の進行、電位差と自由エネルギーの関係、電気伝導率、Kohlrauschの法則、電気分解とFaradayの法則
- i) 化学熱力学
熱力学の法則、内部エネルギー、熱容量、断熱変化、エンタルピー、Hessの法則、Kirchhoffの法則、熱力学とエントロピー、自由エネルギー変化
- j) 反応速度論
反応速度と濃度、反応速度定数、反応の次数、半減期、反応の機構、活性化エネルギーとArrheniusの式、觸媒の化学
- h) 核化学
同位体、放射能、放射線、放射性核種、放射性核種の壊変と変位法則、人工放射線核種、核エネルギー、核分裂、質量欠損、核融合、放射性核種の利用

履修上の留意点

「化学」を履修していない学生にも出来る限り理解できるよう平明な講義するが、それでも解らぬ場合は必ず「基礎化学」を履修して欲しい。その時間の講義内容は暗記せずその時間中に理解して欲しい。

成績評価の方法

(平常点 + 中間テスト + 定期試験) × 1/3 = 成績 平常点は前回講義した事項中重要な点につき出題する5分間テストの平均点とする。欠席の場合には0点とする。

教科書

磯直道著『化学通論』東京教学社、¥1,957

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験 I A	榊 徳市・古屋 儀郎 にし おせい 西尾 誠示	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

実験の目的

放射線機器概論での各種X線装置・機器の構造を理解すると共に、これらの装置・機器を使用して初歩的な基礎実験を行い、正しい使用方法を習得する。またX線撮影室内の放射線管理と個人被曝管理の実際を理解する。

実験の内容・スケジュール

- ① X線撮影条件
X線写真からの情報をより多く得るには、被写体に適合したX線の線質・量が必要で、基礎的実験での撮影条件の選定法を習得する。
- ② X線撮影距離
X線撮影時の距離によって、X線写真がどのように変化するか実験を行って理解する。
- ③ X線照射野
X線撮影時の照射野の面積によって、X線写真がどのように影響するかを検討する。
- ④ 散乱X線
散乱X線のX線写真への影響を、鉛ディスクを用いたフィルム法で実験して検討する。
- ⑤ X線グリットの特性
グリットのパフォーマンスを習得すると共に、グリットの適正な使用方法を理解する。
- ⑥ X線断層撮影装置の特性
X線断層撮影装置のパフォーマンス評価となる基準と、精度試験法を実施して諸特性を検討する。
- ⑦ 増感紙の特性
増感紙の相対写真感度および増感率、コントラスト、鮮鋭度などを実験し検討する。
- ⑧ 暗室灯の安全性
セーフライトの安全性試験をして検討する。
- ⑨ 手現像
X線フィルムの手現像処法を実験する。

履修上の留意点

実験項目を担当する各教員の指導により実験を行い、データを整理し報告書を提出する。

成績評価の方法

報告書の評価と定期試験の結果による。

教科書

放射線機器概論で使用するもの。

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験 I B	清水 忠良・佐藤 昌憲 おがわ たえ子・まつばやし 哲夫 小川 多恵子・松林	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデータを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容は手引書を制作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは各々人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
実 験 I C	山本裕右・檀尾英次 田本祐作	短 放 1 必	実験I (IA~ID) 5

講義のねらい

1年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するためには、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現像、エックス線フィルムの特性を測定するセンチメートルに至る実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. 基礎実験I (ハロゲン化銀の性質, 現像液の単葉調査)
2. 基礎実験II (現像液組成薬品の化学的性質, 定着液組成薬品の化学的性質)
3. フィルム現像
4. 引伸しプリント
5. センチメートル (感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成)
6. 現像薬品と画像 (異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較)
7. スライド作成 (カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成)
8. エックス線フィルム画像の複写
9. マイクロデンストメータによる濃度測定
10. ブーツストラップ法による特性曲線の作成

成績評価の方法

実験レポート, 試問, 平常点, 試験により評価する。

教 科 書

実験プリント, 宮川俊夫 他, 「新版 放射線写真学」(アドバンス出版) ¥4,800

参 考 書 等

高尾慶人 他, 「新しい放射線写真学」(富士メディカルシステム(株)) ¥5,700

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験 I D	田島 隆・山本裕右 富沢比呂之・舩廣善和	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

「放射化学実験 I」として、その基礎になる化学実験の基本操作を習得することを第一の目的とする。第二に「放射化学序論」の講義における理論の裏付けとなるテーマを設定し、化学の理論の実証、理解することを目的としている。

昨年、高校で「化学」を履修している学生でも、実験を経験した者は非常に少ない。また「化学」を履修しなかった学生は実験器具を見た事も触れたことも、名称すら知らないのが現状である。

このような状況のもとで、「化学実験」には常に危険を伴い、実験には誤差が伴い、失敗もあることを理解させる。特に「放射化学実験」では安全と正確さが要求されるものであることを体得せしめるのを第三の目的とする。さらに、実験結果の可否については特に問うことはないが、実験結果の処理の方法を重要視して、実験報告書を提出させる。これにより、一般の科学のレポートの書き方、考え方を学ぶため、形式を守らせ、科学技術者としての論文・レポートの書き方を体得させるのを第四の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ガイダンス
実験室内での一般的な注意事項、数値の扱い方、洗浄の理論、器具の扱い方、レポートの書き方等
- ガラス細工、器具の洗浄
ポリスマン、毛管ピペットの作成、ガラス器具の洗浄
- 容量、重量の測定、試薬の調製法
測容器、上皿天秤、分析用電子天秤の扱い方、シュウ酸標準液、水酸化ナトリウム溶液の調整法
- 容量分析 I
酸・アルカリ中和滴定による酸の定量
- 薄層クロマトグラフィー
薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
- 分子模型実習
簡単な分子、錯化合物、異性体の作成
- pHの測定
pH試験紙、ガラス電極pHメーターによる緩衝能の測定
- 滴定曲線の作成
pHメーターによる塩基酸と二塩基酸の二酸塩基の滴定曲線の作成
- 無機化合物の合成
硫酸銅(II)五水和物の合成
- 容量分析 II
i) で合成した硫酸銅(II)五水和物中の銅(II)のヨウ素滴定法による定量
- 比色分析
O-フェナントロリン法による鉄(II)の定量
- イオン交換樹脂
陽イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- 欠席しないこと：実験室内で設備、器具を用い物質を扱うので、講義のように自習で補うことはできない。実験室、教員の条件等により欠席者についての補習は行えない。操作技術は段階的、体系的に学習するように設定しているため、欠席をすると次の実験操作は出来なくなる。数名の班編成により実験をするので、他者に迷惑をかける。
- 遅刻しないこと：時間の冒頭で当日の実験、注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないことになり、実験が正しく行えず、危険を伴い、事故を起しかねないので、実験をさせられず欠席扱いとなる。
- 予習、下調べをして実験のフローチャートを作成してこようこと：該当する実験の詳細はプリントして2週間前に配布する。その実験の理論は講義してあるから、当日までにフローチャートを作成、使用する薬品、器具については下調べしておくこと。
- 実験室内の規則を守ること：化学実験には危険(事故)、失敗、誤差が常につきまとうものである。これ等を出る限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。昨今立つのは男女を問わず長髪の者が多いが、頭部後方で縛ること。特に女子学生のハイヒール、口紅、長い爪、装飾品の着用は禁止する。これら禁止事項を守らない場合には、実験を禁止せざるを得ないことになる。
- レポートの提出：各テーマごとに実験終了一週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する書き方を守ること。これが守られぬ場合、間違いのある場合指摘するので再提出すること。再々提出もあり得る。

成績評価の方法

出席点+レポート点+定期試験点=成績
35 + 35 + 30 = 100

教科書

プリント使用

科目名	担当者名	配当学年	単位
医学概論 (前期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放2必	2

講義のねらい

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間のかかわり。診断・治療・予防などについて学ぶ。

教科書

日野原重明著『医学概論』（医学書院）¥1,200

科目名	担当者名	配当学年	単位
臨床医学概論 (後期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師がわきまえておく必要のある診断と治療に関する知識の修得を目的とする。

教科書

五木正男・林文子共著『臨床医学概論』（名古屋大学出版会）¥3,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放 射 線 生 物 学 (前 期)	やま ぐち ひこ りき 山 口 彦 之	短 放 2 必	1

講義のねらい

放射線の生物に及ぼす作用は、放射線のもつ物理的特性と放射線に対する生物の特性によって生ずる。なお該当する国家試験科目は「放射線生物学」である。

講義の内容・
授業スケジュール

- つぎのような内容で講義する。
- (i) 放射線生物学とは
 - (ii) 放射線生物学の歩み
 - (iii) 生体高分子の放射線化学反応
 - (iv) 細胞小器官に対する作用
 - (v) 突然変異の誘発
 - (vi) 細胞に対する作用
 - (vii) 放射線感受性
 - (viii) 生体に対する作用
 - (ix) 放射線の防護
 - (x) 放射線による治療

履修上の留意点

教科書を使用するので、予習、復習をおこなうことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は出席状況および筆記試験によっておこなう。

教 科 書

山口彦之著『放射線生物学』（裳華房）¥3,605

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
病 理 学 (後 期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師に必要な病理学を学ぶ。

教 科 書

中村・坂本編『系統看護学講座・病理学』（医学書院）¥1,700

科目名	担当者名	配当学年	単位
生化学 (前期)	た田 しま 隆 たかし 隆	短放2必	2

講義のねらい

パラメディカル・スタッフとしての診療放射線技師にとって、人間の生理に関する基礎知識は必須のものである。近年における放射線医療の分野の進展には目覚ましいものがあり、これは分子生物学分野との関連性なしには考えられない。この教科目は半期で時間的制約のあること、また本科のカリキュラムには有機化学が開講されていないことの2点を考え、出来る限り化学式を避け、生体の基本的な仕組みを学習できるように講義を組み立てた。核医学領域の学習の基礎となり、橋渡しになることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- a) 細胞・その構成物質とその機能。
生物の基本単位としての細胞を構成する物質——核、ミトコンドリア、ミクロゾーム、細胞質、細胞膜等の成分物質と、これらの生理機能の関連性に重きを置いて説明する。また、多細胞生物における細胞の機能の分化について論ずる。
- b) 酵素の働きとそのメカニズム
生体内に起っている化学反応を触媒している酵素の本体がタンパク質であって、特異性を有する事を理解させる。活性剤、阻害剤に対して、どのような反応を示すかをミカエリスの定数を用いて説明する。またビタミン類が補酵素としての働きを有することから酵素反応のメカニズムの解明の一端を示す。
- c) 代謝概論——異化作用と同化作用
生体外 (in vitro) 生体内 (in vivo) の区別を明確にし、生体内で起る化学反応のうち分解の過程により、生体維持、増殖、成長の成分の生成とエネルギー生産をする異化作用。生体維持、増殖、成長における生体物質の生合成とエネルギーの消費の過程である同化作用。この二つの流れの概論を行う。この章ではb)で述べた酵素の役割と、代謝における臓器特異性、代謝異常と病気の関係も述べる。
- d) 生体エネルギーの生産とATP
代謝概論では主として、物質の変化を流れとして主に論じ、ここでは代謝を生体エネルギーの生産過程として説明する。ここでは一年次で学習した熱力学、自由エネルギー、酸化還元電位の知識が必要となる。生体内のエネルギーの担体としてのATPの機能と役割を論ずるが、ここでは化学結合の知識が要求されることになる。
- e) 糖質、脂質、タンパク質の異化作用
ここではc)で概論として述べた異化作用について、物質論を出来るだけ避けて、代謝の流れを臓器特異性と関連させて説明をする。糖尿病、ケトン血症との関係も説明する。
- f) 糖質、脂質、アミノ酸の同化作用
ここでも物質論はなるべく避け、各物質を合成する流れを臓器、酵素、エネルギーとの関連において説明する。
- g) 核酸と遺伝子
DNA、RNAの構造を出来る限り有機化学的な説明を避けて説明するが、化学結合の基礎知識だけは必要である。細胞の核、染色体、核タンパクに触れ、遺伝子の複製のメカニズムを説明する。プリン代謝と痛風、染色体異常、放射線の影響にも言及する。
- h) 遺伝情報の伝達
遺伝情報はDNAの転写という方法により正確に伝達される。この場合に核酸の順列組み合わせの暗号(コドン)による。そのメカニズムを説明し、突然変異、修復がどのような仕組みで行われるかに言及する。
- i) タンパク質の生合成
DNAから3種のRNAが転写という方法で作られ、各RNAはそれぞれの役割を担当し、暗号が解読されて活性化したアミノ酸がその暗号に対応して順次配列され1次～3次構造時には4次構造を作って特有なタンパク質が合成される過程を説明する。
- j) 代謝調節
生体の維持にとって異化作用、同化作用のバランスが保たれねばならない。そのバランスを保つ機構として細胞レベルで調節する方法——酵素活性の調節と個体レベルで行われる内分泌系、神経系による調節に大別される。そのメカニズムを解説する。

履修上の留意点

前述のように、生化学は生命、生体について分子レベルで解明しようとする分野である。ここでは種々の制約から、生体の仕組みを大きな流れとして理解できるように努める。しかし最少限1年次で学習した化学の基礎事項は理解しておいて欲しい。

成績評価の方法

毎時間の小テストの平均値 + 定期試験 = 成績
50 + 50 = 100

教科書

宿谷他著「生化学入門」東京教学社、¥1,751

参考書等

入野他著「パラメディカルの生化学」三共出版、¥2,500

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
応 用 数 学	し 清 み 水 た だ よ し 忠 良	短 放 2 必	2

講義のねらい

ここで言う「応用数学」とは狭い意味での微積分学の応用という領域のことである。とはいえ、これでもまだ相当広い。放射線を扱う上でよく出てくる数学に限定する。同じ問題でもいろいろな角度からのアプローチがあることを経験してもらいたい。抽象的な定理も実際に数値を使って表現すると理解しやすい場合が多いので実例を中心に据える。電卓、パソコンを使ったグラフ、表、図を多用したい。また、学生自身に作ってもらおう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 微積分学の復習Ⅰ
2. 微積分学の復習Ⅱ
3. 微分公式の数値による確認
4. 微分方程式の例
5. 簡単な微分方程式の解法Ⅰ
6. 簡単な微分方程式の解法Ⅱ
7. 簡単な微分方程式の解法Ⅲ
8. 数値微分方程式の解法Ⅰ
9. 数値微分方程式の解法Ⅱ
10. 数値積分法Ⅰ
11. 数値積分法Ⅱ
12. 数値積分法Ⅲ
13. 固体数の増加と変動
14. 差分方程式Ⅰ
15. 差分方程式Ⅱ
16. フーリエ級数Ⅰ
17. フーリエ級数Ⅱ
18. フーリエ級数の例Ⅰ
19. フーリエ級数の例Ⅱ
20. 数値フーリエ級数Ⅰ
21. 数値フーリエ級数Ⅱ

成績評価の方法

1. レポート
2. 実験
3. 質疑応答
4. 調査・検索の4項目について点数化して総得点

参 考 書 等

P. ラックス 他、『解析学概論』

そ の 他

討論，ゼミ，講義形式を併用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
原 子 核 物 理 学	あ お 青 木 き よし 清	短 放 2 必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射能に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子，結合エネルギー，質量公式，核模型，磁気モーメント）
2. α 壊変（ α 線のエネルギー，ガイガーヌッターの法則，トンネル効果）
3. β 壊変（ β^- 壊変， β^+ 壊変， β 線のエネルギー，中性微子，電子捕獲，カリブプロット）
4. γ 線放射（ γ 線の角運動量，核異性体，内部転換，メスbauer効果）
5. 核反応（核反応の種類，Q値，しきい値，核反応断面積，複合核，光核反応）
6. 中性子（中性子の性質，中性子発生源，エネルギーによる分類）
7. 原子炉（核分裂と放出エネルギー，中性子の減速，原子炉の構造，中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも，大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には，短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い，その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

田島英三著「原子核物理概論」地人書館
竹井力著「放射線物理学」南山堂

そ の 他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放 射 化 学	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	短 放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として最低限必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
 本講義は、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学Ⅰ」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理」で得た化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について学ぶ。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC（放射化学実験）」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
 なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

2回の中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編「アイソトープ手帳」（日本アイソトープ協会）¥1,133 を使用する。講義には必ず持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
電 子 工 学	すぎ た とおる 杉 田 徹	短 放 2 必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）¥2,500

その他

国家試験該当科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線機器工学	たけ なか えい し 武 中 英 治	短 放 2 必	2

講義のねらい

診断用X線発生装置の動作理論とその特性について学び、実際に装置を取り扱うときに必要となる予備知識の修得と装置を操作する際に注意すべき事柄を理解できるだけの基礎力をつけることを目的として講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

X線発生装置はX線管装置と高電圧装置とによって構成されており、また高電圧装置の種類によって変圧器式、コンデンサ式及びインバータ式に分類されている。前期ではすべての機種に共通するX線管装置について説明し、後期にそれぞれの高電圧装置を取り上げることにして以下の順序で講義する。

1. 総論
 2. 診断用X線管
 3. 単相全波整流式X線発生装置
 4. 三相全波整流式X線発生装置
 5. コンデンサ式X線発生装置
 6. 自己整流式X線発生装置
 7. インバータ式X線発生装置
- 授業の進行に合わせて、時間の許す限り演習を行う。

履修上の留意点

X線発生装置は電力応用機器の一つであるところから、電気工学の基礎的事項について理解しておかないと、装置の特性などを学ぶときに困惑する。どのような教科についても同様に言えることであるが、それぞれの教科は独立しているものではなく、お互いが極めて深い関連性を持っているものである。したがって、放射線機器工学を学修するに際しても、電気工学のみが基礎知識というのではなく、特に電子工学、放射線物理学、画像技術学などのかかわりが深いので、併せて学修することを希望する。

成績評価の方法

年度内に行う数回の試験（中間テスト、定期試験など）の結果によって評価する。

教 科 書

青柳泰司著『放射線機器工学Ⅰ』（コロナ社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線機器工学Ⅲ （後 期）	か し お えい し 檀 尾 英 次	短 放 2 必 (H7以前入学生)	1

講義のねらい

加速器は原子核物理学の研究のほか医療分野でも数多く使用されている。特に線形電子加速器は、放射線治療で重要な地位を占めている。講義は種々の加速器の動作原理と特長について述べる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 加速器概論
- 2) 高電圧整流型加速器
- 3) 変圧器型加速器
- 4) バンドグラーフ型加速器
- 5) 線形電子加速器
- 6) 線形陽子加速器
- 7) サイクロトロン
- 8) シンクロトロン
- 9) ベータトロン
- 10) マイクロトロン

履修上の留意点

履修上あらかじめ放射線物理、放射線計測および機器工学を習得していること。講義では国家試験の放射線機器工学についても簡単に講述する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

参 考 書 等

熊谷寛夫編『実験物理学講座28 加速器』、共立出版

科目名	担当者名	配当学年	単位
画像技術学	にし 西 尾 誠 示	短放 2 必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や画像工学を元にした幅広い学問によって構成される。整位、撮影条件論を初めとして、得られた画像の評価までの総合的な学問と位置付けて講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 一般撮影
胸部撮影、骨単純撮影、軟部撮影等
- b. 造影撮影
消化器、泌尿器、循環器科などの領域
- c. 特殊撮影
DSA, CT, MRI等

教科書

立入弘著『診療放射線技術』南江堂 ¥6,800

参考書等

山下一也他『放射線検査学（X線）』通商産業研究社 ¥13,500

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線計測学	こ 小 山 正 希	短放 2 必	2

講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また必要とされるデータによっても様々に異なってくるのである。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原
理とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
関係法規 (後期)	あぶら い た まる 油 井 多 丸	短放2必	1

講義のねらい

諸君の大多数は本学を卒業すると「診療放射線技師」として医療関係の分野で活躍されることになる。この診療放射線技師という職種は病院等における厚生省管轄の法令を正しくわきまえ医師の指導のもとに医療に従事することである。またよく考えると診療放射線技師は危険なものとして挙げられる放射線、放射性同位元素を取り扱い患者に放射線を照射することが業務の一つでもある。放射線といっても胸部・骨などを写すX線フィルムのX線発生装置から悪性腫瘍を治療する加速器、高エネルギー放射線照射機器・器具からの放射線がある。これらの装置に関係する法令体系は科学技術庁の管轄下の法令であり、技師は十分熟知しておかなければならない。一方技師という立場は労働省の管轄下から見れば労働者であり、快適で安全な作業環境のもとで働けるように法令は定めている。この点についても十分な知識を要求されている。

講義の内容・授業スケジュール

医療法、診療放射線技師法、労働安全法に基づく電離則、放射線障害防止法等、順次、関連性をもって教授する。

履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に該当する。法令はとかく無味乾燥になりがちであり、おぼえる項目は多く、条文の羅列を十分に解釈する必要がある。他の刑法、商法などと異なり技術法であり、基準値を超える、超えないなどの数値が多い。その数値の意味するところを掴むことが大切である。

成績評価の方法

出席率・授業態度、演習、期末試験による

教科書

日本アイソトープ協会編「アイソトープ法令集1」丸善発行 ¥2,300

参考書等

同協会編「法令集2及び3」、「アイソトープ手帳」丸善発行

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅡA	さかき とくいち にし おせい じ 榊 徳市・西尾誠示 あべ さとし かな や しんいち 阿部 敏・金谷信一	短放2必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

実験の目的

画像技術学の実験である。診断用X線装置、X線TV装置・X線CT装置を使用、ファントムを用いた実験を行う。X線撮影法では身体各部位の撮影手技、X線TV検査法では胃部造影法、X線CT検査法では検査手技と検査法を習得する。実験では使用感材系の選択法と、被曝軽減の方法についても指導する。

実験の内容・スケジュール

- ① 胸部X線撮影法
胸部X線撮影用ファントムを用いて、正しい撮影法を習得する。
- ② 頭部X線撮影法
頭骨部は人体骨格で最も複雑な構造を有している。その撮影法を頭骨部ファントムを用いて習得する。
- ③ 耳鼻科領域X線撮影法
頭骨部ファントムを用いて、耳鼻科系(副鼻腔)の撮影法を習得する。
- ④ 骨部X線撮影法
手部・膝関節部・足関節部・腰椎部を各骨部ファントムを用いて撮影法を習得する。
- ⑤ 胃部造影検査法
X線TV装置を使用し、胃部ファントムと造影剤(硫酸バリウム)を用いて、装置の操作法と、透視撮影法を習得する。
- ⑥ 立体撮影法
人体ファントムを用いて、立体撮影法を理解し手技を習得する。
- ⑦ X線CT検査法
X線CT装置の操作法と、CTファントムを用いた実験と、画像再構成の手法、およびフィルム撮像法を習得する。

履修上の留意点

担当教員の指導により実験を行い。画像評価と共にデータを検討し報告書を提出する。

成績評価の方法

報告書の評価と定期試験の結果による。

教科書

「診療放射線技術」上巻(南江堂)¥6,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
実 験 II B	小山正希・武中英治 佐藤昌憲・中本 淳	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用X線発生装置からの制動X線の実効エネルギー、吸収線量測定のための空洞原理を応用する外挿電離型、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手順などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 実験項目は次の通りである。
- 1) 制動X線の実効エネルギーの測定。
連続エネルギー分布である制動X線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
 - 2) 外挿電離箱による吸収線量の測定。
放射線によって与えられる物質の吸収線量はブラッグ・グレイの空洞原理によって求めるのが一般的である。これを実際に行う方法として外挿電離箱による測定法がある。X線が与える樹脂内の吸収線量を外挿法を用いて求める手順を学ぶ。
 - 3) X線による物質の2次電子平衡厚の測定。
2次電子平衡の概念を理解する為に、⁶⁰Co線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
 - 4) GM計数管の基本特性と計数の統計。
最も普遍的な計数管であるGM計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
実 験 II C	杉田 徹・青木 清 川副 護・木村 登	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実験を経験する。数人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の項目について実験を行う。
1. 真空管（三極真空管の静特性）
 2. 半導体素子（ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性）
 3. 集積回路（オペアンプとデジタル素子）
 4. パルス波形の観測（シンクロスコープによる観測）
 5. 波形変形回路（微、積分回路、ダイオードクリッパー）
 6. 波形整形回路（シュミット・トリガー回路の特性）
 7. パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅰ）
 8. パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅱ）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）（第四版）』

そ の 他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅡD	杉田 徹・青木 清 木村 登・吉田 正廣	短放2必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

電気工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行う。
下記の項目について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直，並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
3. 交流ブリッジ（インダクタンス，キャパシタンス）
4. R-C回路（インピーダンスとベクトル）
5. 整流回路（整流と平滑，定電圧回路）
6. 変圧器（電磁誘導，巻数比と電圧比）
7. 三相12ピーク整流回路（多相整流）
8. 高電圧発生回路（倍電圧，コッククロフト回路）

履修上の留意点

出来る限り遅刻，欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験，出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）〔第四版〕』

その他

前期，後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅡE	武中英治・檜尾英次 山口彦之・落利彦	短放2必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き，併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

- 実験を遂行する上で必要な説明を加えながら，以下のテーマについて実験を行う。
1. X線管焦点寸法の測定
 2. X線管電圧，X線管電流の測定
 3. 照射時間の測定
 4. 三相全波整流装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の取得のみを目的として行うものではなく，あくまでも関連する理論の学修を助け，より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため，実験中はすでに学修済みの内容の確認とか，理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。
報告書（レポート）の作成に当たっては，所定の書き方によるのは当然であるが，書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認，評価するために行っているもので，理解度が極めて低い場合には再提出を求めることもある。

成績評価の方法

実験態度，報告書及び試問，中間テスト，定期試験などの結果によって総合評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

『JISハンドブック 放射線（能）』（日本規格協会）最新版（隔年発行）

その他

実験科目の単位修得には所定のテーマすべてを終了することが必要で，やむを得ない理由により欠席した場合は，追実験を受けなくてはならない（実験Ⅱの単位認定はⅡA～ⅡEすべての合格が条件である）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
画 像 工 学 (前 期)	た 田 本 祐 作 もと ゆう きく	短 放 2 必 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

各種の画像を2次元または1次元の情報信号と見做し画像形成の各システムを線形システムに再構成し情報信号及びこれらを乱す雑音信号について客観的、定量的な取扱いを行なう。これによって各部分システムの特徴と差異が明確化され全体システムとの関連性が明らかとなり問題点が浮彫にされる。次いで得られた画像価値の評価法と評価尺度について現在提案されている種々の方法を再考察しその過程と結果について言及する。ここで定量的、客観的と言う立場または枠組の修正等の問題も浮上して来る。また画像作成及び評価の現場における多様な多様な問題等も広く論議の対象に組入れ要約、整理しておく事が重要でありその一部について考察する。

- (1) 線形システム論の基礎
- (2) 線形システム論の画像への応用
- (3) 画像の解析と画質の評価法
- (4) 信号検知論の手法と応用
- (5) 情報理論の基礎と応用
- (6) フーリエ解析の基礎

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
病 院 実 習 I (後 期)	さ 木 徳 市 きく とく いち	H8以降入学生/短放2必	3
		H7以前入学生/短放2必	4

病院実習の目的

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格取得のための必須科目である。2学年まで履修した科目や実験で修得した基礎知識が、実際の臨床実習する病院では、どのように応用されているかを知ると共に、臨床実習病院での実習指導者等による実践の場での教育と指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会でもある。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものである。臨床実習に先だって担当教員の実習ガイダンスと、実習病院の実習指導者による実習項目別ガイダンスを学内で実施する。

病院実習ガイダンスの内容

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と、その説明、記入方法。
- ② 病院実習先の施設説明。実習生の実習先希望調査。実習要項（実習内容）の説明。
- ③ 病院実習先の決定。実習要項（実習項目・報告書など）の説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務。病院の機能について。
- ⑤ 患者接遇、患者心理。
- ⑥ 病院実習における実習生の心得。
- ⑦ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目別のガイダンス。
 - a 一般撮影系。
 - b 透視撮影系。
 - c 血管造影検査系。
 - d X線CT検査系。
 - e 救急検査系。
 - f 超音波検査系。

成績評価の方法

〈病院実習の評価〉
病院実習の成績判定は、病院からの成績報告書を中心に、学生の提出する実習報告の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と、2学年学期までに使用した教科書・参考書を使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
放射線医学概論 (後 期)	ふる や よし ろう 古 屋 儀 郎	短 放 3 必	2

講義のねらい

解剖学・生理学・病理学などの基礎医学の復習と実技との関連について学習する。

教 科 書

加藤征治著『解剖学の要点』（金芳堂）¥3,800

科目名	担当者名	配当学年	単 位
自動制御工学 (前 期)	あお き きよし 青 木 清	H 8以降入学生/短放3必	2
		H 7以前入学生/短放3必	1

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自動制御の概要（自動制御の意味と種類，目標値，制御対象，制御量）
2. フィードバック制御
 - ①ラプラス変換とラプラス逆変換
 - ②制御系の構成（基本的構成と種類，サーボ機構，ブロック線図，伝達関数）
 - ③動作特性（過渡特性，インディシャル応答，定常特性，定常偏差）
 - ④周波数特性（周波数伝達関数，ベクトル軌跡，ボード線図）
 - ⑤安定判別（ナイキストの安定判別法，ゲイン余有，位相余有）
3. シーケンス制御
 - ①基本素子（命令スイッチ，検出スイッチ，電磁リレー）
 - ②リレー回路（自己保持回路，AND回路，OR回路，NAND回路，NOR回路，論理図）
 - ③基本回路（優先回路，禁止回路）

履修上の留意点

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

柳瀬著「自動制御の入門」東京電機大出版局，深海・藤巻監「制御工学」東京電機大出版局

そ の 他

講義を中心とする。

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射性同位元素応用機器工学 (前期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	H8以降入学生/短放3必	2
放射線機器工学 IV (前期)		H7以前入学生/短放3必	1

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測と比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理し中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の精度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

科目名	担当者名	配当学年	単位
画像情報学 (前期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短放3必	2

講義のねらい

X線画像情報について基礎、臨床の両面から講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- a. 画像形成に影響を与える諸因子
X線管電圧、感光材料、グリッド、自動現像機など
- b. 画質評価因子
写真濃度、コントラスト、鮮鋭度、粒状度
- c. 画質評価
物理評価 (MTFなど)
視覚評価 (ROCなど)
- d. 臨床画像の評価
- e. デジタル画像の評価

参考書等

神田幸助他「放射線画像情報学」通商産業研究社 ￥13,000

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射性同位元素検査技術学	さかき 榊 とく 徳 いち 市	短 放 3 必	2

講義のねらい

放射線医学の核医学部門における検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩と共に発展しつつある医学の専門である。疾病の診断に放射性同位元素（R I）を応用する診断法で、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を検査し、その情報を診断に供する。

検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・尿・尿・その他の検体）に大別され、おのおのにR Iの生体内投与を要するもの（インビボ法）と、要しないもの（インビトロ法）がある。これらの検査法に関係する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技、データ処理法などについて講述する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 4月第3週
核医学検査概論、検査装置・機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 4月第4週
医療用ジェネレータ、薬剤品質管理、検査法概論、シンチグラフィ概論
- ③ 5月第2週
検査法前処置、放射性医薬品投与法、画像処置の基本概念と処理法、R I動態検査法。
- ④ 5月第3週
R I動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法、R I動態機能検査装置。
- ⑤ 5月第4週
R I試料測定装置、骨塩定量装置、ポジトロン断層装置、ヒューマンカウンタ。
- ⑥ 6月第1週
インビボ検査各論、脳神経系：脳・脳血流シンチグラフィ、脳脊髄腔シンチグラフィ。
- ⑦ 6月第2週
脳循環動態計測、甲状腺・内分泌系：甲状腺摂取率測定、甲状腺シンチグラフィ。
- ⑧ 6月第3週
甲状腺癌シンチグラフィ、副甲状腺シンチグラフィ、副腎皮質・髓質シンチグラフィ。
- ⑨ 6月第4週
肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ。心筋シンチグラフィ、心筋データ解析法。
- ⑩ 7月第1週
心ブールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 7月第2週
消化器系：肝・肝胆道シンチグラフィ。骨髄シンチグラフィ、骨・関節シンチグラフィ
- ⑫ 7月第3週
骨塩量測定法、腫瘍シンチグラフィ、炎症シンチグラフィ、リンパ節シンチグラフィ。
- ⑬ 9月第5週
ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑭ 10月第1週
V B12吸収試験、蛋白漏出試験、泌尿器系、腎・腎動態シンチグラフィ、レノグラム。
- ⑮ 10月第2週
壜丸シンチグラフィ。循環血液量・血漿量・血球量測定、鉄代謝測定、赤血球寿命測定。
- ⑯ 10月第3週
血小板寿命測定、カルシウム代謝測定。ポジトロン断層検査法。インビトロ検査総論。
- ⑰ 10月第4週
インビトロ放射性医薬品、インビトロ検査法の原理、B/F分離法、インビトロ測定法。
- ⑱ 11月第2週
測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義、インビトロ検査各論。
- ⑲ 11月第3週
AFP、CEA、CA19-9、エラスターゼ、PA、CA-125、CA15-3、CA72-4、CA-130、NSE、その他の腫瘍マーカー。
- ⑳ 11月第4週
ACTH、GH、その他の下垂体ホルモン、T₃、T₄、その他の甲状腺ホルモン。PTH、カルシトニン。
- ㉑ 12月第1週
コルチゾール、アルドステロン、レニン他腎ホルモン。各種性腺ホルモン。
- ㉒ 12月第2週
IRI、CG、その他の消化器系ホルモン、VB₁₂、葉酸、その他の造血臓器系ホルモン
- ㉓ 12月第2週
HBウイルス関連抗原・抗体・その他。
免疫アレルギー関連抗原・抗体・その他。
- ㉔ 1月第2週
薬剤。サイトカイン他。ミオグロビン他。遺伝子プローブ法による検査。

成績評価の方法

定期試験の結果による。

教科書

核医学検査技術：インビボ・インビトロ編
（通商産業研究社）各編 ¥4,500 尚参考書として核医学ノート：〔金原出版〕¥3,800

その他

教科書、講義プリントと共にスライドによる臨床データを使用して講義したい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線治療技術学	たか やま 高山 誠	短放3必	2

講義の内容・
授業スケジュール

前半では放射線による人体に対する生物学的作用，放射線腫瘍学，放射線治療機器等の総論的項目，また放射線治療計画の手技，線量分布と照射方法や密封小線源治療等について述べる。後半は各疾病別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教科書

村上晃一著「放射線治療技術」¥2,060
立入弘 監修「診療放射線技術」下巻 改訂第5版 ¥5,800

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線管理学 (前期)	あぶら い た まる 油井 多丸	短放3必	2

講義のねらい

放射線管理学は放射線・放射性同位元素の安全取扱いに関する学問である。管理基準は法令に依るが、核物理・核化学，生物学及び工学など科学的分野と法令や対人関係を包括する社会科学分野の総合的知識・実務経験を要求される。これらを総括した講義を述べたい。

講義の内容・
授業スケジュール

世界各国で放射線防護に関する法令を定める際によりどころにしているのが国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告である。このICRP勧告の理念からはじめ、放射線防護の原則，病院内の放射線取扱い施設に於ける環境管理とそこで医療に従事する人々の管理(個人管理)，防護の基準，公共への影響，放射性廃棄物の処理，放射線事故への対策，放射線管理の組織などに言及する。

履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に該当する。

成績評価の方法

出席率・授業態度，期末試験による。

教科書

「放射線健康科学」杏林書院発行 ¥2,500

参考書等

日本アイソトープ協会編「アイソトープ手帳」丸善発行
同協会編「法令集1，2及び3」

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線学演習 (後期)	すき た とおる 杉 田 徹	短放3必	2

講義のねらい

この授業は当放射線科の課程で学ぶ全科目の総括的評価を行うことを目的としている。具体的には診療放射線技師の国家試験合格のために必要な知識の修得を確認することである。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の進め方は、教員支援のもとに、学生が主体となって学習体制をつくり、ゼミ、試験等を行って行くものである。

履修上の留意点

各自学習計画をたてて積極的に授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験の成績によって評価する。

その他

『診療放射線技師国家試験対策全科(第5版)』(金芳堂) ¥8,500

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅢA	こやままさき さとうまさのり 小山正希・佐藤昌憲 はぶ たけし 羽生 毅	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定用計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。
- 1) 吸収線量の測定。
高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは⁶⁰Co線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合せによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。⁶⁰Co線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用方法・線源——ファントム——電離箱の幾何学的関係の位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。
 - 2) フィルムによる放射線場の測定。
計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは⁶⁰Co線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。
 - 3) 半導体検出器によるα線の測定。
表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集積率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。
 - 4) GM計数管による線源のβ壊変率測定。
GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。
 - 5) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。
パルス波高測定の基礎的概念を把握する。
実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

参考書等

「吸収線量の標準測定法」放射線学会編。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
実 験 Ⅲ B	青木 清・杉田 徹 永井喜則	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ（二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。）
2. フィードバック制御Ⅱ（自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。）
3. シーケンス制御Ⅰ（エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。）
4. シーケンス制御Ⅱ（各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件で測定する。）
5. コンピュータ制御Ⅰ（パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。）
6. コンピュータ制御Ⅱ（AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。）

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

『実験書（ⅠB・ⅡB・ⅡC・ⅡD・ⅢA・ⅢB）第四版』

参 考 書 等

参考書は特に指定しない。

そ の 他

一つの項目についての実験を3～4人のグループで実施する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅢC	山本裕右・田島隆 山口彦之・大田忠親	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。
本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法、マルチチャンネル波高分析器による γ 線スペクトル測定を行う。また、3年次で並行して学ぶ「管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
- ^{99m}Tc のミルキング
 - コールドラン
 - ホットラン： ^{99}Mo の製造、溶媒出法による ^{99m}Tc のミルキング、 γ 線スペクトルの測定、半減期の測定
ホットランは学外実習として立教大学原子力研究所で行う。
 - マイクロビットの検定（重量法、吸光度法）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分おこなひ、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント。

参考書等

日本アイソトープ協会編「アイソトープ手帳」（日本アイソトープ協会）¥1,133

科目名	担当者名	配当学年	単位
実験ⅢD	榊徳市・榎尾英次 小林久夫	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

実験の目的

放射性同位元素検査技術学、放射線機器工学、医用機器工学、放射線計測学に関連する深い実験で、学内の装置・機器を用いて基礎的な実験を行う。実際に先だって実験テーマを、担当する各教員による履修上に必要な実験ガイダンスを実施する。

実験項目と内容

- ガンマカメラの性能評価法
ガンマカメラの基本性能を、NEMA法、放射線技術学会法の規格に基づいた試験方法にて実験を行い、定量評価と検討する。
- ポジトロン核種使用による同時計測法
PETの測定法の基礎的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計測法の実験を行い計測法の習得と、その結果について検討する。
- 超音波の各種特性の測定
超音波診断装置を使用し、超音波が水中を伝播中に生じる反射・散乱・減衰などの特性を理解し、また装置の主要な性能を測定する。
- マルチチャンネル計測法
マルチチャンネル計測装置を使用して、未知の核種を測定し、そのデータにより核種を同定すると共に、計測装置の使用法を習得する。
- X線CT装置による画像処理
X線CT装置を使用し、水ファンム・校正用ファンムを測定する。このデータの画像処理を行い、プロフィール・ヒストグラム表示および任意のROIのCT値を出力させる。
- 甲状腺ヨード摂取率法と甲状腺治療法。
mock iodine を用いた甲状腺ヨード摂取率法と、コリメータの特性、 ^{131}I 内用投与法の治療計画と、投与量の算出方法の検討。
<実験の方法・報告書>
担当教員の指導の下に実験を行い、データを評価し検討して報告書を提出する。

成績評価の方法

報告書の評価と、定期試験の結果による。

教科書

3学年期の教科書と実験法のプリント。

科目名	担当者名	配当学年	単位
病院実習Ⅱ (前期)	さかき 榊 とく 徳 いち 市	H8以降入学生/短放3必	3
		H7以前入学生/短放3必	2

病院実習の目的

3学期での病院実習も、指定規則による必須科目となっている。3学期での実習科目は、放射線同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と、放射線治療技術学および放射線管理技術学の臨床実習である。臨床実習病院では、診療業務を実施しながら実習を指導してくれている。実習生は限られた時間内で、確実な結果を得よう積極的に、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練をし自覚を高め、目的意識を明確に把握して、貴重な体験を将来に活かして欲しいものである。病院実習に先だってガイダンスを実施する。

病院実習 ガイダンスの項目

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類についての説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定。
- ④ 実習要項（核医学系）の説明。
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明。
- ⑥ 実習のための予備知識。
非密封線源の取り扱い上の注意。
- ⑦ 非密封線源管理。実習報告書について。
- ⑧ 患者接遇（3学期実習項目）について。
- ⑨ 臨床実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目と内容の説明。
 - a 核医学インビボ検査法。
 - b 核医学インビトロ検査法。
 - c 放射線（深部）治療。
 - d 放射線（表在）・小密封線源治療。
 - e 病院での核医学診療・放射線治療における放射線管理。

成績評価の方法

〈病院実習の評価〉
病院実習の成績判定は、病院からの成績報告書を中心に、学生の提出による実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と、3学期で使用している教科書・参考書を使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
計算機言語概論 (前期)	すぎ杉 田 とおる 徹	短放1選 (H7以前入学生)	2

講義のねらい

診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件といってよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自からのものとしていることである。この授業では、初心者向きの言語であるBASIC高級言語を学び、それをを用いてプログラミングの実際を習得する。
情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. コンピュータの構成
2. コンピュータ言語の基本理論
3. BASIC言語
4. パーソナルコンピュータによる実習

履修上の留意点

キーボード操作に慣れること。
アルゴリズム的発想の習得とその活用に心掛ける。

成績評価の方法

実習の結果と定期試験により成績評価を行う。

教科書

コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』（サイエンス社） ¥1,854

その他

選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線学基礎演習 (前期)	こやま まさき 希 正 希	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

この科目の目的は、専門的な科目を学ぶ初学者に必要とされる学習の姿勢・考え方を培い、自分なりに学習の方法論を獲得しようとする場合に役立てる所にある。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的基礎的な放射線・放射能の応用機器・放射線の種々の物質に対する効果などに関する文献・書籍の内容を題材として、それらについての最新の動向・展望を含めて、何が、どのような視点で、どのように取扱われているかを検討し、議論を加えてゆく。取上げる題材の例を掲げれば(概要)

- X線を用いた元素分析
- 放射線定量の概念
- 医療用放射線機器
- 放射線と発光効果
- 放射線と天文学

などである。これらの題材はその内容・知識を獲得することが目的ではなく、テキストを通じて、放射線の世界のどこかに好奇心の対象を見出し、それへの関心を核として学習にはずみをつけること、種々の事項を関連づけて考える姿勢を身につけることなどを目標としているのである。専門科目を受講するときに陥り易い、単なる項目的理解を超えて、概念の流れを理解し、項目それぞれの位置づけが可能な学習姿勢培養の一助としたい。

履修上の留意点

授業に使用するテキストはプリントなどの形式で配布し、参考書などは個々の問題について、その都度紹介してゆく。

その他

授業の方法はゼミ形式で行い、テキストの消化量より、討論を主として考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	すぎ 杉 た 田 とおる 徹	短 放 1 選 (H 8以降入学生)	1

講義のねらい

新入生の諸君に一つの場を提供し、いかに学ぶべきかを教員と共に考えることを目的としている。
具体的にはゼミ形式をとり授業を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

専門分野のテーマにこだわらず広く問題意識が発現出来る授業としたい。

履修上の留意点

やる気のある学生の受講を望む。

教 科 書

資料は毎回配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	たけ 武 なか 中 えい 英 じ 治	短 放 1 選 (H 8以降入学生)	1

講義のねらい

これから学ぼうとする放射線関連の専門科目履修に際して必要な予備知識を修得するための時間とすることを考えている。主として放射線機器の理解を助けるための物理的解釈の方法、考え方などを中心とした内容とする。小グループによる学修となるので、教場で通常行われている講義形式をとるのではなく、すすめ方については話し合いながら決定する。卒業後は医療技術者として医療活動に携わって行こうという明確な目的意識を持った積極的な者の受講を要望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学基礎演習 (前 期)	た じ ま たかし 田 島 隆	短 放 1 選 (H 8 以降入学生)	1

講義のねらい

本科の場合、3年制であって、1年次から各専門教科目の講義、実験を学習する。これらの専門教科目では科学技術の思考方法が要求される。しかし高校ではこうした専門的な思考方法——考え方は当然身につけていない。診療放射線技師となるためには専門教科における個々の知識を学習するが、それは同時に科学技術者として科学的思考方法——もの考え方を学習することである。その思考方法が身につけていないで知識だけを学ぶことは将来性のない知識になってしまう。そこで、この演習では科学的思考方法を身につけて貰うための時間とする。

米国の大学で使われている「一般化学」の教科書の中の「核化学」の章をテキストとして用いる。(A) その英文を逐語的に日本語に訳すことによって、日本語の教科書を読む場合に、日本語であることにより読みとばしてしまう弊害を無くし、文章の意味を正確に読みとる訓練をする。(B) 放射線、放射化学に関する専門用語を知識として持つ。(C) その文章を正確に読みとることによって科学的思考方法を学習する。在学中に多くの科学論文を読むことになるし、技師として仕事をするになれば外国語の文献を否応なく読まなければならない。また研究論文を作成、発表することにもなるであろう。平易な教科書の文章であっても、この一章を読みこなすことで、この演習は基礎として十分に役立ち、目的を達成したことになる筈である。

講義の内容・ 授業スケジュール

Nuclear Chemistry
The nucleus
Nuclear binding energy
Radio activity
Isotopes
Neutron-proton ratio
Half life
Cosmic abundance and nuclear stability
Writing equation for nuclear reactions
 γ -Decay
 α -Decay
 β -Decay
Radiation and matter
Natural radioactive series
Bombardment
Nuclear fission
Nuclear fusion
Light water reactors
Breeder reactors
Fusion reactors

全体の頁数約30頁、各小節は1～2頁である。履修する学生全員の輪読によるものとし、1回で約3頁消化する。

履修上の留意点

a) とりあえず日本語にしてみよう。
平易に書かれた文章であるから、逐語訳でよいから日本語に翻訳をしてみる。そして日本語として通用する文章にする。

b) 専門用語は英語のままでもよい。
専門用語はその分野で特有な使い方をしている場合が多いので、一般の辞書では判らぬ時がある。その場合、物理、化学の辞書を用いるが、この場合も日本語の専門用語が示されているだけで、意味が判らぬ場合があるであろう。大体はテキストの中で解説をしてあるので、そこを読めば理解できるようになっている。1年次の学力では理解できない場合もあるので、それはそのままとして文章にする。講読の時に解説をする。

c) 文章の意味を理解しよう。
とりあえず日本語にしたものの、何を言っているのか判らないようでは困る。その文章の意味していることを大略でよいから把握して、説明できるようにする。

以上の3点に留意して読み進むことが必要である。この演習では英文和訳の上達することや、核化学の知識を増やすことを主目的とはしていない。科学の文章を正確に読む訓練をし、それを幾度か繰り返す事で、科学の文章に慣れる——科学的なものの考え方、思考方法が身につくようになる。

従って、つまずいても、ころんでも飽きずに、この一章を読みこなす努力をして欲しい。それによって、英文、和文にかかわらず科学の文章を正確に読み、科学的思考方法が身につくであろう。

成績評価の方法

平常点=毎時間の努力=成績

教 科 書

プリント配布
G.R.Choppin&L.R.Summerlin 著 "Chemistry" のThe Nucleus の章

参 考 書 等

英和辞典、物理学辞典、化学辞典等については第1回日のガイダンスで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短放1選 (H8以降入学生)	1

講義のねらい

画質はX線発生装置，線質，フィルム・増感紙，グリッドの格子比などに左右される。それら最良の条件を選ぶとき，最終的には画質の比較・評価が決め手となる。よって，画質を評価する上で最も基本的な物理的評価法，視覚的評価法について研究する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
医学英語(後期)	やま くち ひこ ゆき 山 口 彦 之	H8以降入学生/短放2選	1
臨床放射線特論I(後期)		H7以前入学生/短放2選	2

講義のねらい

診療放射線技師として，医療の現場で相互のコミュニケーションに欠かせない医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

つぎのような内容で講義をする。
 (I) 医学用語の成立
 (II) 医学用語の構成
 (III) 単数形と複数形
 (IV) 同意語と反意語

履修上の留意点

英和辞典を持参のこと。

成績評価の方法

成績評価は出席状況および筆記試験によっておこなう。

教科書

教科書は定めない。

科目名	担当者名	配当学年	単位
画像処理論（後期）	かし 櫃 お えい し 英 次	H8以降入学生/短放3選	1
画像工学Ⅱ（後期）		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は並列処理を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となりつつある。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。コンピュータ画像処理は、処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力している。講義では画像処理の基礎を習得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のとおり。

- 1) 画像情報処理の基礎
- 2) 画像の空間フィルタリング
- 3) 画像の直交変換とフィルタリング
- 4) 画像の表示
- 5) ファクシミリ信号処理
- 6) 画像の可逆符号化法
- 7) 画像の解析
- 8) 階調画像の解析処理
- 9) 動画画像処理
- 10) 生物の動画画像処理
- 11) 画像のパターン認識法
- 12) 画像パターン認識の実際

履修上の留意点

講義の内容は、基礎から応用まで広範囲にわたるため、基本を理解するよう努力されたい。

教科書

安居院 猛, 中嶋正之共著, 『画像情報処理』, 森北出版(株), 定価 2,987円

科目名	担当者名	配当学年	単位
化学特論 (後期)	やま 山 もと ゆう すけ 裕 右	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は99m-テクネチウムを中心として、133-キセノン、67-、68-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用した核医学検査技術学的な面については、3年次の「放射性同位元素検査技術学」で学ぶが、本講義においてはin vivo放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、in vivo放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同属元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム（発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法）
2. キセノン、クリプトン（希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、 ^{81}Rb - $^{81\text{m}}\text{Kr}$ ジェネレータ）
3. ガリウム、インジウム、タリウム（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）
4. ヨウ素（発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法）

成績評価の方法

講義中間におけるレポートと学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編「アイソトープ手帳」（日本アイソトープ協会）¥1,133を使用する。講義には必ず持参すること。その他、参考書として厚生省業務局審査課編「放射性医薬品基準ハンドブック」（日本アイソトープ協会）¥3,296をもつとよい。

科目名	担当者名	配当学年	単位
応用計測学 (前期)	かし 櫃 お えい 尾 英 じ 次	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

診療放射線技師の国家試験では、放射線機器工学としてX線診断装置や加速器のほか、核医学機器、X線CTおよびMRI装置も出題されている。
医用画像診断装置を中心に、装置の基礎技術が習得できるよう講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は次のとおり。
1) 核医学診断装置
 ・放射性核種および放射線計測の基礎
 ・ガンマカメラ
 ・SPECT
 ・PET
 ・核医学データ処理装置とソフトウェア
 2) X線CT装置
 3) MRI装置
 4) CR装置
 5) DSA
 6) PACS
 7) 超音波診断装置

履修上の留意点

履修上あらかじめ放射線物理、放射線計測および機器工学を習得していること。他学科にあっては、高校で物理を習得していることが望ましい。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
放射線学特論 (後期)	やま 山 ぐち くち ひこ 彦 之 ゆき 之	H8以降入学生/短放3選	1
		H7以前入学生/短放3選	2

講義のねらい

医療における放射線防護を実践する上で要求される知識を整理する。

講義の内容・
授業スケジュール

つぎのような内容で講義する。
 (I) 放射線防護の概念
 (II) 放射線防護に必要な物理的、生物的基礎
 (III) 超音波および核磁気共鳴の影響
 (IV) 医療における患者の被曝
 (V) 患者防護の方法
 (VI) 医療従事者の職業被曝と防護

履修上の留意点

教科書の復習をおこなうこと。

成績評価の方法

成績評価は出席状況および筆記試験によっておこなう。

教科書

日本医学放射線学会、日本アイソトープ協会編『放射線診療における被曝の管理』(丸善)
¥2,350

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	あおき 青木 清	短 放 3 選	2

講義のねらい

診断用エックス線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

エックス線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、線量当量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。

活動は下記のような順序で行う。実験は2～3人で一つのテーマを決めて行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互いの議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

そ の 他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、グループ単位で実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	しみず ただよし 清水 忠 良	短 放 3 選	2

講義のねらい

この科目はテーマを絞って、少し深く現在の話題（課題）に挑戦しようと設けられたものである。細部の技術にこだわると意外に面白い世界が開かれるのではなかろうかと思っている。担当者（清水）の得意なテーマに強く限定しないように配慮をしようと思っている。例えば最近、ウェブレット解析が話題を呼んでいる。希望者があれば挑戦しようと思っている。

モットー：1. 「自分で考えてまず実行してみる」 2. 「議論して、次のステップに進む」

3. 「GO TO 1」

講義の内容・
授業スケジュール

1. 学生のテーマ（希望）の提案
2. 担当者（清水）による具体的テーマの提案
3. テーマ決定

スケジュールの最終は12月末の発表会まで。

成績評価の方法

日頃の質疑応答、発表会での質疑応答による。

そ の 他

討論、ゼミ形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	さかき とう いく 榊 徳 市	短 放 3 選	2

演習のねらい

放射性同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と、放射線管理学に関係するもので、核医学インビボ検査法で使用する放射性医薬品の廃棄量についてのものである。臨床検査時に使用する放射性医薬品の投与時の方法と、使用量、残量について調べて検討する。

演習の内容・
授業スケジュール

放射性医薬品の投与（静脈注射法）時の方法と、医師の注射時の手技の違いによる使用量と残量差について、注射筒内の放射能を、注射前と注射後に計測して、そのデータを整理し、項目別に分類して廃棄放射能量を調べて検討する。

履修上の留意点

実施にあたっては学内施設が利用できないため、学外の施設での協力によって実施する。従って演習時間は学外施設で演習を実施することが多い。そのためこの条件が可能である学生諸君の参加を希望する。

成績評価の方法

演習学発表と、演習データを整理し報告書として提出する。評価は学科での評価基準によって決定する。

教 科 書

教科書：放射性同位元素検査技術学で使用する（核医学検査技術学・インビボ編）。
参考書：医療用アイソトープの取扱いと管理（在研究室）、その他学会誌等の研究発表抄録よりの演習テーマに関係する文献。

演習の準備

演習テーマの実施にあたって、各参考データを整理して検討する。実施手順を計画して項目別担当者を決め、必要な機具・用具を準備する。

そ の 他

本演習学のテーマは学外施設の協力を得て実施可能となる。従って万一学外施設の協力が得られない場合は、本テーマ外の他のテーマにて演習を実施する場合もある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	やま もと ゆう すけ 山 本 裕 右	短 放 3 選	2

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめる必要がある。

成績評価の方法

平常点。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	さ とう まさ のり 佐 藤 昌 憲	短 放 3 選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関するテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- テーマ
- 自由空気外挿電離箱の開発
 - 電離箱によるX線線量の評価
 - 電離箱によるγ線線量の評価
 - パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
放射線学特別演習	か し お えい し 櫃 尾 英 次	短 放 3 選	2

講義のねらい

パソコンを利用したパターン認識は、さまざまな分野で行われている。この演習は、タンパク質のアミノ酸系列の整列化にDPマッチング法を適用し、生物の進化との関連を研究する。

講義の内容・
授業スケジュール

研究対象とする動物や植物のチトクロムCのアミノ酸系列を調査する。パソコンを使用して、人間と動物や植物のチトクロムCのアミノ酸系列の整列化を比較し、類似度を求める。得られた類似度と他の方法で研究された進化の程度を文献等により調査し、実験結果を検討する。

履修上の留意点

パソコンを使用した画像処理を行うので、あらかじめパソコンの基本を自習すること。演習はゼミ形式で進め、あらかじめ課題を与えるので、必要に応じて文献等を調べ、研究計画を立案する。学生に対してゼミ進行中適宜アドバイスと指導を行うが、自主的に進めるよう努力されたい。

日本語・日本事情科目

日本語・日本事情科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

「日本語科目」

日本語 I	(佐野典子)	1
日本語 I	(多田羅哲子)	1
日本語 II	(佐野典子)	2
日本語 II	(多田羅哲子)	2
日本語 III	(多田羅哲子)	3
日本語 III	(湯村礼子)	3
日本語 IV	(石川守)	4
日本語 IV	(湯村礼子)	4
日本語 V	(石川守)	5
日本語 V	(多田羅哲子)	5
日本語 VI	(石川守)	6
日本語 VI	(多田羅哲子)	6

「日本事情科目」

日本事情 I〔地理〕	(前期)	(茭口善美)	7
日本事情 II〔自然〕	(後期)	(清水善和)	7
日本事情 III〔歴史〕	(後期)	(宮本由紀子)	8
日本事情 IV〔思想〕	(前期)	(赤羽由規子)	8
日本事情 V〔社会〕	(後期)	(金丸由雄)	9
日本事情 VI〔政治・法律〕	(前期)	(大久保治男)	9
日本事情 VII〔文学〕	(前期)	(木村晟)	10
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期)	(赤羽由規子)	10
日本事情 IX〔経済〕	(後期)	(曾我信孝)	11
日本事情 X〔経営〕	(前期)	(北村健之助)	12

日 本 語 科 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	さ の のり こ 佐 野 典 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

聴解能力の向上を目的とするクラスである。

講義の内容・
授業スケジュール

時事問題についてのビデオを見、同時にそのビデオの音声テープを聴きながら内容を把握する。さらに把握した内容を文字化する。

履修上の留意点

日本語Ⅱとともに履修することが望ましい。

成績評価の方法

試験、提出物、出席状況、授業への集中度、参加度等により、総合的に評価する。

教 科 書

単語表、内容把握問題を毎週配布する。ビデオ、テープ類の貸し出し、ダビング等はいっさい行わない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 I	た た ら おき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の知識を強化する。(前半)
文系教科の概論、入門書等から抜粋した例文、および語彙集を通して、常用漢字の読み書き、語彙、その意味や使い方、文法事項、表現等を復習・練習し、専門教科への橋渡しとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字の音訓をマスターする。
- ・学生生活に必要なと思われる語句の基本的、派生的意味・使い方を知る。
- ・助詞、機能語、慣用的表現、文法事項等の復習をする。

履修上の留意点

小テストは毎回80%をクリアするまで受け直すこと。

成績評価の方法

平常点と試験の成績で評価する。

参 考 書 等

プリント教材を使う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	まのりこ 佐野典子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

読解能力の向上を目的とするクラスである。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語の生の教材つまり新聞、総合雑誌、文学作品等を、輪読形式で読み進め、同時に問題点について討議を行う。

履修上の留意点

日本語 I とともに履修することが望ましい。

成績評価の方法

試験（毎週行う漢字試験、適宜行う内容把握試験）、提出物、出席状況、授業中の態度等を考慮し、総合的に評価する。

教 科 書

教材は、毎週担当者がコピーし、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 II	たたらあきこ 多田羅哲子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の知識を強化する。(後半)
文系教科の概論、入門書等から抜粋した例文、および語彙集を通して、常用漢字の読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等を復習・練習し、専門教科への橋渡しとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字の音訓をマスターする。
- ・学生生活に必要と思われる語句の基本的、派生的意味・使い方を知る。
- ・助詞、機能語、慣用的表現、文法事項等の復習をする。

履修上の留意点

小テストは毎回80%をクリアするまで受け直すこと。

成績評価の方法

平常点と試験の成績で評価する。

参 考 書 等

プリント教材を使う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅哲子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- 口頭表現を中心に、日本語の運用能力を養う。
- 発音・イントネーション等自分の日本語を自立的に見直す習慣をつける。
- 話し言葉と書き言葉の違いに気づく。

講義の内容・
授業スケジュール

- 当番が準備をしてスピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- そのあと、質問・意見・感想・アドバイスなどをスピーチ担当者あてに書く。
- スピーチ担当者は、それぞれに返事を書く。また自分のスピーチをテープで聞いたあと、その内容を文章に書き、朗読してテープに録音したものを提出する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	ゆむられいこ 湯村礼子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- これまでに習得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を読む、レポートを書く、発表をするなど、大学生活に必要な読解力、作文力、発表力の養成をめざす。
- 読解材料として、新聞、雑誌、文学作品、専門書などから、教材を選び使用する。そして、教材を通し、考え、自分の意見を発表したり、討論を行ったりする。
- 授業中の発言を重視するので、当然、授業には毎時間の出席を原則とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	いし かわ 石 川 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は I C J (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 IV	ゆ むら れい こ 湯 村 礼 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語Ⅲに続くもので、さらに日本語能力を高めることをめざす。
学生が主体性をもち学習し、それぞれの専門分野の学習を辞書を十分に使いこなし、自学自習できるような読解力、作文力を養う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特質を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

作文演習

レポート・論文等を正しく適切な表現を用いてわかり易く書くための基本的な練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

- 。「は」と「が」などの助詞、接続語、指示語、自他動詞の使い分け、ねじれ文、接続のおかしな文、長すぎる一文など留学生の作文に多く見られ問題箇所について、文作りを通して練習する。
- 。話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、要約・引用の仕方、表・グラフの説明等の作文技術を身につける。
- 。単文作りから複文作りへ、小段落作りから全体の構成を考えた文章作りまで、書く作業を通して練習する。

成績評価の方法

平常点（提出物）+試験の成績

教科書

プリント配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし ^{かわ} 石 ^{まもる} 川 守	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た ^た 多 ^ら 田 羅 ^{あき} 哲 ^こ 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

- ニュース関連番組や新聞記事等を通して、様々な表現を学びながら、くせのある話し方や速いスピードの話を聞くことに慣れる。
- 今、話題になっていることについて日本語で説明したり自分の考えを述べたりする力を養う。

そ の 他

ビデオ・テープレコーダー、新聞等を用いる。

日本事情科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ 〔地理〕(前期)	こも くち よし み 菱 口 善 美	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

本講義では、わが国の一般的「地理学」を学習することによって、留学生の日本理解を推進させることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、日本の文化地理学的課題、すなわち、(1)文化、(2)文化景観、(3)文化史(誌)、(4)文化生態について概観し、次に日本の村落及び都市の発達、経済活動の空間的配置とその発達をもたらす資源利用と管理、環境保全など世界的に共通する諸問題について議論する。各国からの留学生の日本語理解の程度を考慮して、「日本語」を主としながらも「英語」での解説を加える。

履修上の留意点

受講生は予め配布したプリント類を精読すること。

成績評価の方法

期末テストによって評価する。

教科書

教科書は用いないが、各種プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ 〔自然〕(後期)	し みず よし かず 清 水 善 和	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。また、国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。また、日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候、地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

成績評価の方法

レポート(2, 3回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし、参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

そ の 他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 V 〔社会〕(後期)	かな まる よし お 金 丸 由 雄	全学科・短国・短英	2

講義のねらい	聴講者の生まれ育って来た社会と、現代日本の社会とを、各々の体験をもとに比較検討してみたい。
成績評価の方法	成績は平常点と、レポートの評価により決める。
参考書等	参考文献はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 VI 〔政治・法律〕(前期)	おお く ほ はる お 大 久 保 治 男	全学科・短国・短英	2

講義のねらい	留学生が対象であるので、まず日本の法の変遷の大きな流れを理解してもらい、その背景にある社会の状況や人々の生活をやさしく述べてみたい。日本政治史の教官と隔年のローテーションであるので、本年は主に法的側面より日本事情を講ずる。
講義の内容・ 授業スケジュール	半年の回数であるので、まず8世紀頃から19世紀頃迄の日本の犯罪や刑罰の刑事法制史の話し、後年は、土地制度や契約や結婚や家族の民事法制史を講ずるが、毎時間のように書画TVで史料や絵さらにビデオ等を写しながら視覚にも訴え理解を深め楽しい雰囲気です。授業を進めていきたい。
履修上の留意点	授業に出ることが楽しくなり、自然と日本の法の歴史がわかってくることうけあいであるので、まじめに出席はすること。
成績評価の方法	平常点と簡単なレポートを書いてもらう程度である。
教科書	特に指定しません。レジメやコピーをくばります。
参考書等	大久保治男著「江戸の犯罪と刑罰」 高文堂出版社 ￥1,100
その他	ビデオ、書画TVカメラ、ゼミで自作したビデオ等も多く使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(前期)	木村 暁 <small>きむら あきら</small>	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

外国人留学生のために、特に日本の文化・文学・演劇などについて、その特徴をわかりやすく講義する。それぞれの留学生には自国(母国)の文化・文学・演劇などと比較させ、日本の文化・文学・演劇などに興味をもたせるよう努める。

講義の内容・授業スケジュール

前期(半年)だけの授業であるので、4月と5月には、日本の文化、特に文学と演劇について、豊富に用例(具体例)を示しながら解説する。6月と7月にはそれぞれの留学生がもつ興味を調査し、それに基づいて実際に調査・見学などもさせて、それを交替で研究発表させ、討議もして、必要な助言を与える。質疑応答も十分に行なうつもりである。

履修上の留意点

欠席をせず、よく読書もし、興味をもって研究してほしい。

成績評価の方法

平常点によって評価する。具体的には発表させたり、調査研究の資料も提出させて評価の対象とする。出席点を加味する。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

授業の方法——講義形式をとるほか、研究発表、質疑応答、討議なども必要に応じて行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	赤羽 由規子 <small>あかば ゆきこ</small>	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 (後 期)	曾 我 のぶ たか 曾 我 信 孝	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

これまで日本経済を支えてきた自動車産業が、今日では経営困難に陥り、その危機を乗り越えるためにさまざまな方法で合理化がすすめられている。もちろんその合理化の全てを問題にするわけではないが、多くが労働者や中小の下請企業を犠牲にすることに向けられていることに大きな問題がある。今日、日本に存在する自動車メーカーは、非常に大規模化しており、それを取り巻く利害関係者は膨大な数になっている。それは、それらの企業の社会的責任に非常に重くしていることはいままでもない。とりわけ、社会的に弱者の部類に入る労働者や中小の下請企業に対する責任は、もっとも重いものであると理解すべきである。しかし、実際はそれらの弱者から先に合理化の対象にし、経営基盤の再構築のための犠牲にしている。このような傾向は、自動車産業だけではなく現代の日本企業の特徴ともいえる。

今日の自動車産業の経営困難は、経済不況だけに原因があり、経営的な戦略に原因はないのかを明確にする必要がある。経営的な戦略に大きな間違いがあれば、経営責任を末端の労働者や中小の下請企業が押しつけられていることになる。近年の日本の大規模企業では、社会的責任の薄らいだ経営者で構成されつつある。とりわけ、銀行など金融機関が経営に関与した企業においてはいっそうその傾向が強くなっている。そこで96年度新卒者を全く採用しなかった自動車メーカーである「マツダ」に限定して、経営責任を明確にするため、これまでのマーケティング展開の動向を説明し、問題点を指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

留学生を対象とした講義であることから、語学障壁を考慮に入れ、次の3点に留意しながら講義をすすめていく。

- ①教科書を指定し、教科書に沿った講義にする。
- ②スローペースで、できるかぎりわかりやすい講義にする。
- ③毎時間、質問時間をもうける。(時間内に答えられない質問によっては次の時間に講義する)

履修上の留意点

- ①教科書を指定しているので、十分な予習をしてもらいたい。
- ②理解できないことがあれば、どんなことでも積極的に質問してもらいたい。
- ③研究室へ質問にくることも歓迎する。

成績評価の方法

定期試験，出席などで評価する。

教科書

曾我信孝編著『マツダ マーケティング戦略』白桃書房，¥2,700

参考書等

参考書は学生諸君の要望があれば紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 X 〔経営〕(前期)	きたむらのすけ 北村健之助	全学科・短国・短英	2

講義のねらい

日本における商業および商人資本は、徳川時代、ことに中期以後から著しい発展をみた。商業では大阪の間屋、江戸では小売商に発展の典型を見出し、商人資本においては間屋資本と両替資本に典型を見出すことができる。このような時代に商品取引資本と貨幣取引資本が現われたのは当然のことであった。

商業および商人資本の発達、商業経営思想に影響しないはずはない。封建制度は土地に立脚し、農業に立脚するものであるから、農本主義を基本思想とせざるをえなかった。ところが生産が諸藩財政または商人資本に依存せざるをえなかったため、経済上の事実上の支配権はことに商人に帰していたのである。重農主義に属する人々は、商業および商人を非難し、重商主義に属する人々は商業の致富上の重要な役割をたたえて、商人を一種の主権者とさえ呼んだ。

この間、商人必携の知識や商人の処世訓を説き、商業使用人の出世のために知識を授け、商略を教えんとする労作が現われている。

1. 徳川時代における商業経営論

なかでも、西川求林齊「町人夔拜底私」享保4年。上川氏某「商人夜話草」享保12年。難波氏某「商人平生記」元文3年。岩垣光定「商人生業鑑」宝暦7年。江陵山人述「立身招福商人軍配記」文化15年。著者不明「商家心得草」。提正敏「商道九篇」文化丙子。等が主要な文献としてあげられる。

これらの文献は、商業を営業もしくは商取引の立場から取扱っている。商人学であったといえる。その内容を解説し、商人の利益は常に価格の変動、価格差に求められていることを指摘したい。

2. 明治・大正時代の商業経営論

安政開国以後は、日本の諸学問は全く面目を一新して欧米的な考え方が影響力をもつようになった。商業に関する研究も同様であった。概括的にみれば、国民経済的商業論が主流をなしていた。その主要な文献は次の如くである。

前田利器訳「百科全書商業編」明治7年。甲斐織衛・三原国一郎纂「市街読本 商業入門」明治12年。塚原苔園「小学商業書」明治13年。佐久間健寿「日本商業類鑑」明治15年。松永道一「商業汎論」明治20年。関西敬史「商業の骨」明治21年。松本栄三郎編「商業要論」明治22年。須永金三郎「商業学校」明治23年。祖山・原田・亀井共著「商業話法」明治23年。高槻純之助「商業全書商業経済学」明治24年。岩村茂訳「商業経済論」明治28年。永田健助「商業経済」明治28年。平田重助他共訳「ロッシェル商工経済論」明治28年。岩村茂訳「レキンス商業経済論」明治28年。関一「商学経済大意」明治31年。祖山鐘三「内外商業大意」明治31年。清水泰吉「商業経済学」明治32年。三浦新七「商業経済学」明治36年。河野鶴三郎「商業経済要義」明治39年。内池廉吉「商業学概論」明治39年。阪本陶一「商業通論及経営」明治41年。中村茂男「商学原論」大正9年。戸田海市「商業経済論」大正13年。

商学の経営論研究が問題なのであるから、国民経済学者たちの商業経営論に対する態度が問題になる。金井延「社会経済学」(明治35年)は商業経営論に経済科学における地位を与えている。三浦新七「商業経済学」は商業学について論じ、商業経済学、商業経営学、商業政策学に分けており、商業経営学を商人の経営方法や商人の利益獲得方法について論じている。関一「商業経済政策」(明治36年)は、商業経営学と称し商業経営論を論じている。商業学を企業経営学に高めたのは上田貞次郎であり、「国民経済雑誌」(第7巻第1号)明治42年7月号、における「商事経営学とは何ぞや」という論文でそれが説かれている。

大正元年には、土屋長吉「商業経営論」が公刊された。金井と上田の両論を綜合したものであった。当時、ドイツでは私経済学が激しく議論されており、日本にもとり入れられた。渡辺鉄蔵は大正11年に、私経済学に関する研究をふまえて「商業経営論」を公刊している。

徳川中期以後の商業および商人資本に関する研究を時折の経済状況にそくして説明し、大正末期に、ドイツ経営学の影響をうけて、日本の経営学がどのように基礎作りが行われたかをお話するつもりである。

他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※他学部履修科目の講義内容が掲載されていますが、受講できる科目は各学部・短大によって異なります。(履修についての詳細は、「履修要項の他学部履修科目の履修方法」を参照してください。)

他 学 部 履 修 科 目

禅学特講 I	(原田弘道)	1
禅学特講 II	(石井清純)	1
禅学特講 III	(大谷哲夫)	2
禅学特講 IV	(青竜宗二)	2
西洋哲学史	(中村友太郎)	3
インド仏教史	(田上太秀)	3
中国仏教史	(岡部和雄)	4
日本仏教史	(石川力山)	4
日用経典	(皆川広義)	5
仏教美術	(中島亮一)	6
現代哲学概説	(久保陽一)	6
上代文学研究 I	(小野寛)	7
中世文学研究 I	(村上光徳)	7
近世文学研究 I	(富士昭雄)	8
近代文学研究 I	(畑 實)	8
中国文学	(南雲 智)	9
イギリス文学特講 I	(石原孝哉)	9
イギリス文学特講 II	(高野正夫)	10
イギリス文学特講 III	(岡崎寿一郎)	10
イギリス文学特講 IV	(中岡 洋)	11
イギリス文学特講 V	(高松雄一)	11
イギリス文学特講 VI	(丸小哲雄)	12
演劇特講 (イギリス・アメリカ)		
	(落合和昭)	12
アメリカ文学特講 I	(東 雄一郎)	13
アメリカ文学特講 III	(原川恭一)	13
時事英語	(坂本 武)	14
地形学	(小池一之)	14
現代地理学特論	(貝塚爽平)	15
人口地理学	(上坂修夫)	16
応用地理学	(高木正博)	17
文化地理学	(茭口善美)	17
地理思想史	(竹内啓一)	18

日本史特講 VII (近代)

	(佐藤元英)	19
考古学特講 III	(飯島武次)	19
歴史哲学	(麻生建)	20
哲学史	(山口祐弘)	20
日本民俗学	(谷口貢)	21
マス・コミュニケーション論	(川本勝)	21
産業・職業社会学	(安藤喜久雄)	22
社会福祉発達史	(林千代)	22
ロシア・東欧経済論	(山縣弘志)	23
社会政策	(光岡博美)	24
国民所得論	(吉野紀)	25
中国経済論	(小杉修二)	26
アジア経済論	(小林英夫)	27
日本経済史	(古庄正)	28
中小企業論	(三井逸友)	29
教育経済論	(谷敷正光)	30
アメリカ経済論	(瀬戸岡紘)	31
日本経済論	(森武麿)	33
財務会計論	(遠藤孝)	34
管理会計論	(中原章吉)	35
会計監査論	(飯岡透)	36
商業政策	(未定)	37
貿易論	(古沢紘造)	38
マーケティング	(曾我信孝)	39
原価計算論	(加藤利安)	40
労務管理論	(石井脩二)	41
経営管理論	(名取修一)	42
行政法各論	(斉藤寿)	43
親族法	(叶和夫)	44
相続法	(叶和夫)	44
比較憲法	(竹花光範)	45
経済法	(岡田外司博)	46
地方自治法	(梅木崇)	46
ヨーロッパ政治史	(浦田早苗)	47

國際經營論	(茂垣 広志)	48
經營統計	(張 国強)	49
保險經營論	(石名坂 邦昭)	50
財務會計論	(渡邊 惠一郎)	51
稅務會計論	(高木 克己)	52
商業史	(山田 勝)	53
經營情報論	(高井 徹雄)	54
情報理論	(西村 和夫)	55
經營勞務論	(中村 眞人)	56
經營分析論	(片桐 伸夫)	57
国文講読 I (上代)		
	(佐原 作美)	57
国文講読 II (中古)		
	(鈴木 裕子)	58
国文講読 III (中世)		
	(坂口 博規)	58
国文講読 IV (近世)		
	(清田 啓子)	59
国文講読 V (近・現代)		
	(大室 英爾)	59
国文講読 V (近・現代)		
	(笹瀬 王子)	60
国文特講 V (近・現代)		
	(笹瀬 王子)	60
時事英語	(岡本 誠)	61
英語演習 I	(岡本 誠)	61
応用計測学	(樫尾 英次)	62

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅰ	はら だ ひろ みち 原 田 弘 道	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

禅宗と公案
公案は禅宗における經典観と深いかわりを持つ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。
中でも中国禅宗史上あるいはその思想史の上で、大きな課題は「看話禅」の成立の問題の究明である。看話禅は公案（趙州無字）の工夫によって見性を果たす特殊な禅である。
これについて中国の文化的背景を通して、叢林の体質変化を見、それに伴う学道の形態の変化を考察し、それらを通して看話禅成立の問題の解明を行う。
それと共に黙照禅の意義を明らかにし、更に、道元禅を通して、公案、現成公案の意義を明らかにしてゆく。

講義の内容・授業スケジュール

一、公案の起源と歴史 二、看話禅の成立 三、曹洞禅と公案 四、公案の諸相 五、公案の意義と機能。以上の順序で講義をすすめる。

履修上の留意点

講義の始めに、禅宗全般に亘る基本思想である、不立文字、教外別伝、直指人心、見性成佛の意義を明らかにするが、これの理解が講義全般に亘って重要になる。であるから先づ明確に理解するよう努めること。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験（又はレポート）による総合評価。

参考書等

柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅の歴史——中国——』（講座禅第三巻）、
荒木見悟『大慧書』

その他

随時プリント資料配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅱ	いし い せい じゅん 石 井 清 純	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

禅思想の理解は、個々の祖師達の「言葉」の記録を読み解くことから始まる。本講義は、それらに対する読解力を養うために、著名な「公案」の解釈法について、種々の角度からの解説を試みるものである。

講義の内容・授業スケジュール

『永平広録』（道元禅師撰述）の巻九に収録される「永平頌古」を使用し、第1則より順次読み進めてゆく。

履修上の留意点

別になし。

成績評価の方法

講義時間内に行う小テスト（年数回）と年度末の筆記試験をもって判定する。

教科書

プリント配布。

参考書等

『道元禅師全集』下巻（大久保道舟編、筑摩書房）
『道元禅師全集』第四巻（鏡島元隆校注、春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅲ	おお 谷 哲 夫 大 谷 哲 夫	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

『従容録』を中心にして“禅”の神髄を参究する。
『従容録』は、詳しくは『万松老人評唱天童覚和尚従容庵録』という。
これは、宏智正覚(1091~1157)が古徳の妙則100則を収集し、それに頌古したものが『宏智頌古』として存在し、後に万松行秀が嘉定16年(1223)到北京の報恩寺にて従容庵を築いて幽居中に、元の太祖の西域親征に従っていた湛然居士(耶律楚材)の懇請によって、先の『宏智頌古』に示衆・評唱・著語を付し、庵名をもって書名としたからである。
本書は、『碧巖録』とともに禅林において並び行われ、その頌古は風格が高く、宏智の技倆古今越格と称されている。『碧巖録』が看話禅の臨濟宗で用いられるのに対して、『従容録』は黙照禅の曹洞宗の宗風を挙揚したものととして広く用いられているので、本講座では、その成立から詳細に参究する。

講義の内容・授業スケジュール

『容録録』を演習の形式をとりながら、講義を進めるので、予習は必ず行なってもらいたい。

成績評価の方法

出欠・レポート・期末試験による。

教科書

教科書は『従容録』を用いるが、開講時にコピーを配布する。

参考書等

参考書については、適宜に指示し、参考文献などはその都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学特講Ⅳ	せい りゅう じね つぐ 二 青 竜 宗 二	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

道元禅師の思想と行動
鎌倉新仏教の祖師と仰がれる道元禅師が、政治的にも文化的にも移り変わる激動の中世社会において、公家の家庭に生まれ育ちながら、無常の意識から生涯を宗教者として生き貫いた、その思想と行動を文化史的に再検討し、宗教者としての道元禅師の人間像を発掘してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような内容で進める。
1. 鎌倉新仏教とは
2. 宗教思想の形成について
3. 京都時代の思想と行動
4. 越前時代の思想と行動

履修上の留意点

講義は限られた時間で行うわけであるから、上記の項目の内、従来全く問題にされていない主要課題を中心にノートで進めるが、直接その思想を味得してゆくために原典講読をも併用する。

教科書

原典はその都度指示する。

参考書等

参考書は教場で指示するが、次に掲げる参考書は比較的手に入り易いと思われる。
川添昭二『鎌倉文化』教育社
今枝愛真『道元—行動と思想』評論社
水野弥穂子『道元禅師の人間像』岩波書店

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 哲 学 史	なかむらともたろう 中 村 友 太 郎	国文・英米文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

現代思想の背景ないし基盤を成す西洋古代および中世における哲学思想の形成を概観しつつ、その中に現われた古典的な哲学思索に主体的に取り組む機会を持つことを主眼としたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には古代ギリシアにおけるフィロソフィアの形成の探究を行い、後期にはその成果としてのヘレニズムとヘブライ思想との総合のかたちで展開する中世キリスト教哲学の生成過程をあとづける。

履修上の留意点

毎時間の授業に自身で積極的に思考する覚悟で参加することを期待する。

成績評価の方法

期末の試験のほか、レポート課題ならびに授業時に応じたリアクションペーパーによる平常の学習成果を含めた総合的な成績評価を行う。

教 科 書

教科書等の指示は開講時および講義の進行に応じて行うが、授業に配布するプリント（含授業予定）を活用する。

そ の 他

リアクションペーパーを踏まえた討論の機会も設けるようにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イ ン ド 仏 教 史	たがみたいしゅう 田 上 太 秀	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。

たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年の講義に順じて本年の講義を進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯
ブッダの系譜 ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩薩樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想
四諦八正道
- 第5章 仏教の分類
地域的区分、教理展開の時代的区分
修行の価値的区分
- 第6章 アシュールカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の類型と思想

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	おか べ かず お 雄 岡 部 和 雄	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中国における仏教の歴史的発展を時代に分けて概説的にたどり、その道すじや特色を明らかにする。いうまでもなく中国仏教という語は Buddhism in china の意味で一般に用いられているが、chinese Buddhism (「中国人の仏教」または「中国の仏教」) をも意味するであろう。そして後者の意味するところは、インド仏教や日本仏教とは異なる「中国独自の仏教」ということになる。この観点に立てば中国仏教史とは、中国独自の仏教の形成史にはかならない。

中国仏教史を正しく理解するには、二つの前提が必要と思われる。一つはいうまでもなく仏教についての知識である。仏教はインド起源であるから、インドのオリジナルな仏教についての予備知識が不可欠である。他の一つは中国史とくに中国思想史についての大きな知識である。中国では紀元前にすでにインドに劣らない多彩な古典哲学(諸子百家の思想、とくに儒家と道家の思想)が開花した。インドから伝来した仏教は、それらの中国固有の伝統思想と出会い、抗争し、融合した。中国は新しい外来の宗教である仏教を受容して仏教化した。他方、受容された仏教は、それまでの仏教(インドや西域の仏教)とは相態を異にするほど著しく中国化されてしまった。このように考えれば、中国仏教史とは「中国の仏教化」と「仏教の中国化」を同時に一つの歴史過程のなかにふくむものであり、この二つの契機を思想のダイナミズムとしてたえず注目していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度はじめに全体を十二章に分けた講義内容を提示する。

履修上の留意点

特に教科書を指定しない。しかし中国仏教史の通史、概説書、研究書は、内外にわたって豊富なので、必要に応じて、それを紹介し、学説が対立している場合は、その問題点を集約し論評を試みる。中国史については『中国史研究入門』上下(山根幸夫編, 山川出版社, 1983)がすぐれている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	いし かわ りき ざん 石 川 力 山	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本における「佛教伝来の意義」と、その「社会的機能」の二点をテーマとして、日本に佛教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、思想史・宗教史・社会史上において果たしてきた佛教の役割を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

インドに起こった佛教が日本にまで伝えられるに至る背景、特に東アジア世界の国々の相互の交流と、文化史・政治史的諸条件を踏まえ、先ず佛教の日本伝来の意味と奈良・平安佛教の展開を前期の課題とする。

後期は、中世鎌倉期以降における新佛教の成立と展開が、急速に佛教が社会の底辺にまで浸透する契機となり、それにともなって様々な社会問題にも関与することになった事実を確認し、佛教が日本の社会で果たした正・負の両面の機能を明らかにしたい。

この授業では、仏教思想の流れとともに、その社会的な機能の面についても、人間と佛教の関係を解きあかす重要な課題として問題提起し、これを検討していきたい。

履修上の留意点

佛教史上の重要な事件・思想等に関しては、その都度資料を配布して授業を行うので、必ず出席し、欠席した場合は研究室(第2研2708)まで資料を受け取りに来ること。予習は各自の自主性に委ね、出席は重視する。

成績評価の方法

夏季休暇中の課題、学年末の定期試験、および平常に随時実施する小テストによって成績を評価する。欠試者については、面接口試を実施し、追試験・再試験は行わない。

教科書

随時、プリント配布。

参考書等

辻善之助『日本仏教史』(全10巻, 岩波書店刊)
家永三郎等『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉〈近世・近代篇〉』(全三巻, 法蔵館刊)
川岸宏教・速見侑等篇『論集・日本仏教史』(全11巻, 雄山閣出版刊)

その他

講義を主にした授業であるが、仏教史や思想史関係の文献をプリントにして配布し、合わせて講読しながら、より具体的客観的な資料による仏教史の事実認識を深めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 用 経 典	みな かわ ひろ よし 皆 川 広 義	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

般若心経・法華経・修証義

現在、礼拝の場などでよく読まれている代表的仏教経典を、教理を正しくふまえてわかりやすく講義したい。

はじめに、仏教の開祖・釈尊の悟りの世界を述べている『般若心経』を学び、仏教の教えの根本を明らかにする。

次には、釈尊の人々への思いやりより生まれた伝道の心を述べている『法華経』を学び、仏教の説く慈と安心を学び得たい。

最後には、明治時代、我国で新しく編纂された経典である『修証義』を学ぶことによって、自己の生死の苦悩を超越して、悟りと安心をつくりだしたい。

以上の般若心経、法華経、修証義の三経典は、多くの日本人に影響を与え、安心と生きがいをつくりだした、日本仏教の根本聖典である。

講義の内容・ 授業スケジュール

I 仏教の経典

1. インドの経典（パーリー語経典，サンスクリット語経典）
2. 中国の経典
3. 日本の経典

II 般若心経

1. 般若経について
2. 般若心経について
3. 本文解読
4. 般若心経に説示された悟りの世界

III 法華経

1. 法華経について
2. 本文解釈 ①寿量品偈 ②普門品偈
3. 法華経に説示された慈の世界

IV 修証義

1. 正法眼蔵と修証義
2. 修証義について
3. 本文解釈
4. 修証義に説示された安心と生きがい

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。経典を主体的に学んで、自己の思想を確立し、人格を完成していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

『日用経典テキスト』プリント代 500円 教室で配布する。

参考書等

紀野一義著『般若心経を読む』講談社現代新書 定価 420円
 紀野一義著『法華経を読む』講談社現代新書 定価 420円
 桜井秀雄著『修証義をよむ』名著普及会 定価 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	なかじま りょういち 中島 亮一	国文・英米文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

テーマは「仏教美術の興亡の迹を見る」こととする。
その発生と表現をインドに見る。(無仏時代、仏像の起源、その思想と信仰)、そして中国への伝播(敦煌はじめ石窟芸術)、その熟成、道教(特に神仙思想)との和合、水墨山水画の発生とその思想などを、比較文明学的手法などで究明する。
それらを迎えた日本側の消極的(受身的)・積極的受容の経過とその理解度を、精神史の面でもとらえる。

講義の内容・授業スケジュール

講義はインドの部、中国の部、日本の部と大別し、世界史的な流れに沿い、ときに問題点についてはスライド、ビデオなどを使って夫々のポイントをとらえる。
特に地理的条件、民族性にも留意し夫々の表現の差の根拠をとらえるようにつとめたい。
日本の仏教美術の受容において、その主役となった権力者側とそれに迎合した僧侶達の政治的意志、知識などにも注目し、日本的仏教美術の深層をも見きわめたい。

履修上の留意点

美術史の学習には、実物を見るのが先決だが、授業では不可能なので自からも極力、すぐれた図版やカラー写真版などを見てほしい。

成績評価の方法

スライドなどの感想文、小テスト、出席状況などで総合的に評価する。

教科書

佐和隆研『仏像案内』吉川弘文館 ¥1,900

参考書等

その都度紹介する

その他

スライドなどを多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代哲学概説	くほ しょういち 久保 陽一	国文・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

主に19~20世紀の哲学を概説し、現代における人間の生き方を考える手掛りとして。現代の哲学的状況の特徴の一つは、英米系の言語分析的な哲学と独仏系の観念論や弁証法の伝統に基づく哲学との対立にあると云われる。最近ではこの対立は確かに緩和されつつあるが、しかし依然として相互の不信や軽視は続いている。だがこの対立は根本的には近代の知の在り方に根ざしているように思われる。それは、科学的に捉えられるもの(「真」)が必ずしも同時に「善」や「美」を意味しなくなり、それ故科学と形而上学、事実認識と価値判断の峻別が前提されるようになったためと思われる。このような視点から現代の哲学の状況を捉え、同時に現代文明に直面させられた人間の諸問題を考察することにしよう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を扱う予定である。
(イ) 近代知の在り方
(ロ) ドイツ観念論、マルクス主義、実存主義、分析哲学等
(ハ) 現代文明の諸問題

履修上の留意点

講義への積極的な取りくみが要件。哲学史についての予備知識を持つようにしてもらいたい(その為に、例えば『ソフィーの世界』等を読むことを勧める)。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

シュテークミュラー『現代哲学の主潮流』(法政大学出版局)、
渡辺二郎『構造と解釈』(日本放送出版協会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野寛	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめた独自のものであるから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみることに。

成績評価の方法

学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅰ	むらかみみつのり 村上光徳	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

『隠者文学』—— 隠者（隠遁者）によって作り出された文学作品 —— 西行あたりからはじまり、長明、兼好、心敬などの作品群を指すわけであるが、わが中世文学の代表と考えられている『平家物語』などの軍記物語と双へきを成す作品群である。したがって『隠者文学』を取りあげることは、けだし意味深いものがあるわけである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講では「徒然草」を通してト部兼好の物の考え方、人間性、教養等を学ぶ。また歌人としての兼好や、兼好の生き方、伝記等も合わせて検討する。

履修上の留意点

過去の研究をふまえ、深く読むこと。

成績評価の方法

定期試験及び出席。

教科書

『徒然草 注釈・論考』（双文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	富士昭雄	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の『おくのほそ道』の読解を通して、芭蕉の俳諧文学の特質を講ずる。『おくのほそ道』は、奥羽地方の名所（歌枕）・旧跡を探訪する旅の叙述と、その旅の途上で詠む発句とがこん然融和した俳諧紀行文である。そこには芭蕉の「さび」の境地の心情など、高次の文学観が吐露されている。本作の丹念な読解を通して、芭蕉文学の特色を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

芭蕉は奥羽地方の歌枕・旧跡を探訪しながら、時にはその変貌を嘆き、時には昔のまま現存するのに感動し、その苦難な旅の体験の中から不易流行の文学観を産み出しているが、そのような旅の背景などにも論及する。また『おくのほそ道』には、芭蕉の実際の旅の日程・行程と、作品の叙述との間にはいくつか相違があることが知られている。授業では『曾良旅日記』や地図類を参照しながら、文学の虚構性の意味などを考察する。時間の関係では、本年度は平泉の段あたりで終りとなる。残りは次年度に回す。

履修上の留意点

本作品には参考書等が多く備わるので、履修に当っては、なるべく予習をしておくこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験で理解度を評価する。

教科書

岩波文庫『おくのほそ道』（ワイド版）岩波書店 1,000円

参考書等

- 阿部喜三男『詳考奥の細道』（増訂版）日栄社 昭和54年度改訂版
- 麻生磯次『奥の細道講読』明治書院 昭和36年初版

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	畑 實	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治の末に文壇の中心的存在であった自然主義文学をとりあげる。その当時に出た小説、評論類を考察して日本の自然主義文学の特色をあきらかにすると共に、文壇の主流を占めた理由、およびその限界等を考えていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前後期とも講義を中心とするが、必要に応じてプリントを配付し小説や評論の一部を読むことにより理解を深めたいと考えている。

成績評価の方法

学年末に試験を行い出席状況等を考慮しながら総合的に評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学	南 雲 智	禅・仏教・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

詩や文がどのようにして生まれ、定着し、人びとに読みつがれていったのかを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

長い歴史を持つ中国文学のすべてを見渡すことは難しいと思われるが、代表的なジャンルと作品に触れながら、それらを生み出した社会をあわせてみておきたい。

成績評価の方法

評価はレポートによっておこなう。

教科書

講義を進めるなかでプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅰ	いし 石 原 孝 哉	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

ルネッサンス期のイギリス文学を、広くヨーロッパ文学の流れの中で講じる。ノースロップ・フライの批評理論を軸に、他の方法も必要に応じて取り入れながら幅広く論じる。

講義の内容・
授業スケジュール

主としてとりあげる内容は：①神話と文学 ②文学の源流 ③詩・民話・劇 ④ルネッサンスと新学問 ⑤トマス・モアと新しい流れ ⑥エドモンド・スペンサーと『妖精の女王』 ⑦クリストファー・マーロウとヒューマニズム ⑧ウィリアム・シェイクスピアの世界 ⑨獄中作家ジョン・バニャン ⑩ミルトンの世界 ⑪文学とイギリスの文化

履修上の留意点

完全な講義形式で行なうので予習は必要ないが、トマス・モア、エドモンド・スペンサー、クリストファー・マーロウ、ウィリアム・シェイクスピア、ジョン・バニャン、ジョン・ミルトンなどの主要作品を、(必ずしも原文とはいわないが)、読んでいることが前提となる。このため3・4年生の受講を希望する。

成績評価の方法

成績はレポート、期末試験で評価する。

教科書

『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』三修社 3,800円

参考書等

『同一性の寓話』法政大学出版局、『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』三修社 その他教場にて指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅱ	たか の まさ お夫 高 野 正 夫	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope など代表される、古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から脱け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、一冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの二人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ざき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernity という言葉の感覚を理解することは講義では、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シュリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウネレグ、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出发点として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教 科 書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参 考 書 等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリスの偉大な小説について学びながら、小説芸術を総合的に理解することをねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

19世紀中葉から20世紀にかけて書かれたイギリスの数編の小説を取り上げテキストとビデオによって、作品をどのように理解していけばよいかをさぐる。短い批評を読んでその助けとする。たとえば Charles Dickens (1812-70) の *Great Expectations* (1860-1), Charlotte Brontë (1816-55) の *Jane Eyre* (1847), Emily Brontë (1818-48) の *Wuthering Heights* (1847), Thomas Hardy (1840-1928) の *Test of the D'Urbervilles* (1891), Edward Morgan Forster (1879-1900) の *Howards End* (1910), James Joyce (1882-1941) の *The Dead* (1914) を取り上げる。Dickens, the Brontës, Hardy は19世紀を代表する作家であり、他は20世紀における重要な作家である。Dickens は下層社会の涙と笑いを扱い、the Brontës はイギリス小説にロマンティックな要素をもたらした情熱的作家であり、Hardy は宇宙の盲目の意志に操られる人間の弱さを描いている。Joyce は意識の流れ小説の作家で、勉強には心理学の養が必要であろう。Forster は自然と文明、相対立しあう二つの価値観とその超脱をテーマとする。

履修上の留意点

テキストをよく予習しておくこと。出席に励むこと。

成績評価の方法

レポートと試験、および出席回数によって評価する。

教 科 書

『イギリス小説入門』（開文社、¥1,442）

参 考 書 等

上記に関連のある作品、あるいは参考書を適宜教場で指摘するので、その都度読んでもらいたい。

そ の 他

授業は講義、講読、ビデオなどによって進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	たか まつ ゆう いち 高 松 雄 一	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

本講義ではイギリスにおけるモダニズム文学の種々相を考察する。モダニズムとは20世紀の初め、1910年前後に、英米およびアイルランドに出現した若い文学者たち、たとえば小説のジェームズ・ジョイス、ヴァージア・ウルフ、批評のT.E.ヒューム、詩のエズラ・パウンド、詩と批評のT.S.エリオット、それに年長の詩人アイゼンなどが、それぞれの分野で新しい実験的な表現法による作品を生みだし、従来の伝統的な手法を革新した一つの文学運動というべきものである。

彼らはこの運動の存在理由を自らの批評活動によって論理づけ主張することを怠らず、1920年代から40年代の初めまでイギリス文学の主流を占めるに至ったが、今日のいわゆるポストモダニズムの時代にも、有形無形の影響を残していると言っている。

講義の内容・ 授業スケジュール

この運動は、しかしながら、唐突に生じたのではない。当時の社会的な変動や、19世紀から20世紀にいたる一連の文学的な展開と密接に結びついている。本講義では19世紀初めのロマン主義文学運動、および世紀末の唯美主義批評との関連をさぐり、モダニズムの特質を明らかにしてゆきたい。ただし主義主張を羅列するのではなく、上記の詩人や作家の作品から適宜抜粋して具体的に読み、分析しながら考察を進める。まずモダニズム文学の全体を概観してその特徴をつかみ、ロマン主義詩人ワーズワースの主張や世紀末の文学者ワイルドの批評と比較することによって関係を探り、ついで個々の作家詩人の場合を考えることにしたい。

教 科 書

講義内容に応じてプリントアウトした作品や批評を読む。

参 考 書 等

高松雄一編『イギリス文学』（放送大学教育振興会）。イギリス文学の流れをつかむのに役立つであろう。

高松雄一編『想像力の変容』（研究社出版）。主としてモダニズム関係の論考を集めたもの。内容は専門的。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 VI	丸 小 哲 雄	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

文学テキストの読みに関する論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用がなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。批評行為は人間の本能でもあります。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば、作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路をいかに創り出してゆくかが問題となります。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程において、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 初めに；虚構的世界とその根拠と必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異
3. 文学テキストの機能と力
4. 英文学研究の成立過程；文学制度の問題
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 終わりに；「批評の精神」について

教科書

教科書・参考書は開講時に指示します。読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点30%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）70%。クラスでの発表者には別途評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

劇の要素（筋、登場人物、テーマ、台詞、音楽、背景）について詳しく学ぶ。さらに、悲劇、メロドラマ、喜劇における劇の要素の違いについても学ぶ。例えば、筋は悲劇、メロドラマ、喜劇のそれぞれにおいて、どこがどのように違うか。また、登場人物はそれぞれのジャンルで、どこがどのように違うか、など。その後、実際に、悲劇作品、メロドラマ作品、喜劇作品を劇の要素の面から分析してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式であるが、教師側から学生への一方通行に終わらないように、学生には、しばしば、課題を与え、教室で学んだことを応用したレポートの提出を義務づける。レポートの回数は五回（一回が400字詰め原稿用紙5枚程度）前後である。

成績評価の方法

定期試験の形では行わず、レポートで評価する。出席は全授業の3分の2以上を満たさないと「不合格」にする。

教科書

- 1) 『一幕ものドラマ傑作選』（マクミラン・ランゲージハウス）¥3,000
- 2) プリント

その他

受講者には、課題として、実際に、一劇幕（場面が一つの短い劇）を読んで分析してもらうので、劇作品を読んだことがある人や口語体の英語になれている人が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

アメリカ詩を通時、共時的に概観する。植民地時代のピューリタンの宗教的色彩の濃い作品（永罪や救済等のテーマを扱う教訓、啓蒙的作品）から始まり、独立革命を経て、19世紀のアメリカ土着文学の揺籃と成長（荒野の開拓、パイオニア、フロンティアの広大な超絶ロマン主義的自立）、ウォルト・ホイットマン、エドガー・アラン・ポー、ハーマン・メルヴィル、エミリー・ディキンソン等の詩を経て、アメリカの世紀末詩人（イギリスの審美主義を意味しない）であるロビンソン、マスターズから脱却し、第一次大戦前後のモダニズム（詩においてはエズラ・パウンドが主導したイマジズムを核とする）の詩人、例えばウィリアム・カロス・ウィリアムズ、マリアン・ムアー、ヒルダー・ドゥリトル、ウォレン・スティヴンズ、ハート・クレイン等のアメリカ詩の謂わば黄金時代を、前期は考察してゆく。アメリカにおいて創刊された初めての詩の雑誌『ポエトリ』で活躍したシカゴ・ルネッサンス（中西部出身の詩人たち、ロビンソン、マスターズを含め、カール・サンドバーグ等）の作品も味読してゆく。エリオットの影響を受けたアレン・テイトやジョン・クロウ・ランサム、リチャード・ウィルバーの新批評（ニュークリティシズム）の形式主義も考察する（但し、エリオットはI.A.リチャーズに代表される新批評に固執してはいなかったが）。後期は、この形式主義的モダニズムの反動として、第二次大戦後のアメリカに生まれたポストモダニズム（同時にポスト・モダニズム）の詩人たち、告白詩人のロバート・ロウエル、スノッド・グラス、シルヴィア・プラス、ビート派詩人のアレン・ギンズバーグ、レクスロス、ゲイリー・スナイダー等を取り上げる。ラングストン・ヒューズのハーレム・ルネッサンスに始まりアリス・ウォーカーに到るアフロ・アメリカン詩人の作品も読む予定である。

履修上の留意点

他の学生の邪魔となる講義中の私語は厳禁。予習をして出席すること。

成績評価の方法

2回のレポート提出等。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）

参考書等

講義内にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	はら 原 かわ 川 きょう 恭 いち 一	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

有史最大の内乱、南北戦争（The Civil War, 1861-65）は、南部に衰退と解体をもたらし、その終結とともにいわゆる旧南部はほとんど崩壊し、北部産業主義は滔々と南部の肥沃な大地に流れ入ってきた。それは旧南部の繊細華麗な貴族文化を蹂躪し、Mark Twain の言う「夢のようで平穏な」社会を踏みにじりながら、歳月を重ねるに従ってますますその暴威をふるい、南部人を貧困と頹廢の中に置き去りつつ、20世紀の機械文明の主流となっていった。

本講義は南部人にとって宿命的とも言える南北戦争を作品の背景に構え、共に1936年に刊行された2つの小説、William Faulkner, Absalom, Absalom! と Margaret Mitchell, Gone With the Wind を通して、〈南部人と南北戦争〉を考えて行きたい。ちなみに、この両作家とも南部人である。

講義の内容・授業スケジュール

前期に Absalom, Absalom!、後期に Gone With the Wind を扱う予定。

履修上の留意点

南北戦争の概略は、初めの2、3週間をかけて説明をするが、受講者はあらかじめ、参考書等で調べておくこと良い。

成績評価の方法

成績評価はレポートによるが、講義への出欠状況も加味する。

教科書

プリントを作成してテキストとする。

参考書等

参考書は教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	さかもと たけし 坂 本 武	禅・仏教・国文・地理・歴史 社会・経済・商・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

時事問題等を扱った教科書、英字新聞によって、一般の散文とは異なる英語表現万般について巾広く講義する。この種の英語には、仲々思うような学習機会が得られないのではないかと、従って、本講義を通じてそのチャンスをつかめば、既習の英語文体・表現に独特のそれらを加えることとなり、各自の知識のより豊かな向上となる。

講義の内容・授業スケジュール

上述の通り新聞英語等の内容訳読、また、時事日本語の英訳を主体とする。なお、国名・人名・地名等に関する発音についても、より正確度に注意を払うよう留意している。本講義は通年であるが、前・後期とその内容に変化を与えることも、考慮外ではない。

履修上の留意点

進度予定等は、予め受講者に発表・予告するので、該当分の予習が望まれる。

成績評価の方法

出・欠を十分加味した平常点評価によるが、必要あれば学期末の各試験も視野に入れてはいる。

教科書

教場にて指示する。また教材用プリントは、時間的な余裕をもって、都度事前に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	こいけ かず ゆき 小 池 一 之	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・経済・商・短大	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
1. 地形学の成り立ち、
 2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）
 4. 海水の働きと地形
 5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）
 6. 地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

小池一之・坂上寛一ほか著「新版地学教育講座9『地表環境の地学——地形と土壌』、東海大学出版会、¥2,575

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編「写真と図でみる地形学」、東京大学出版会、¥4,532
小池一之ほか訳「一般地質学Ⅱ」、東京大学出版会、¥3,708

その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代地理学特論	かい づか そう へい 貝 塚 爽 平	禅・仏教・国文・英米文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

日本の自然と世界各地の自然を理解し、あわせて人類が自然にどう対してきたかを知ることは、大気・水・大地・生物が微妙なバランスのもとにある地球表層部に生きる人間にとって必要なことであろう。

そのような観点から、日本と世界の自然、とくに大地の地形・地質と人間の土地利用について考える。

地形や地質は、千年・万年・十万年・百万年・千万年・億年で数えられる年月で形成されてきたのに対し、人類の自然との共生は百年ほど前に始まり、農耕という土地利用法は1万年ぐらい前から開始され、最後に大地・水・大気を含めた地表自然の改変がわずか百年ほど前から始まった。

この講義では、地理的感性とともに時間的・歴史的感性も養いたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半では、東京—関東—日本の地形・地質・土地利用を、後半では世界各地の土地自然と人類—土地関係を主題とする。夏季には10ほどの書目の中から選んで読書し、コメントをレポートとして提出してもらう。

履修上の留意点

出席し、目・耳と頭を働かせ、重要と判断した事項をメモすること。地図帳（中・高で使ったものでよい）を持参することをすすめる。

成績評価の方法

毎回紙片に質問・コメントなどを書いて提出。それとレポートおよび学年末の定期試験で成績を評価。

教 科 書

使わない。

参 考 書 等

貝塚爽平「富士山はなぜそこにあるのか」（丸善、1,500円）

そ の 他

OHP・スライド・プリントなどを使いながらの講義を主とするが、討論も歓迎する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	こう 上 さか 坂 なが 修 お 夫	禅・仏教・国文・英米文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

ある地域の人口の状態やその変化の状況は、その地域の社会経済的特性やその変化と密接に関連している。このような前提の上に、この講義では主として次の(1)~(4)の点を明らかにしたいと考えている。

- (1) 地域の特性、特にその地域の経済活動の特性と人口とはどのように関連し、一方の変動は他方にどのような影響を与えるか。
 - (2) 各地域の結びつき方、特に経済的相互関係は、それぞれの地域の人口とどのように関連しているか。一方の変化は他方にどのような作用を及ぼすか。
 - (3) 地域の人口との関連で考えた場合、より良い居住環境を実現するためには、どのような地域政策が必要なのか。
 - (4) 人口という比較的把握の容易なデータを、どのように加工し、活用すれば、地域の特性や地域相互の結びつき方を理解する上での有効な手がかりが得られるか。
そして、最終的には、
 - (5) 以上の諸点を通じて、人口地理的な「ものの見方」を身につけ、今後さまざまな社会現象をそのような見方から考えてほしいと思っている。
- 以上の(1)~(5)が、この講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

1年間の講義を次の6項目に分け、それぞれ4~6回の授業時間で進めていきたいと考えている。

- (1) 人口と経済活動
人口と経済活動とは、相互にどう関係するのか。また、両者を結びつける中間項はどのような意味をもっているのかを考える。その際、人口に関する基本的データやその扱いについても述べる。
- (2) 人口の変化と地域
人口の自然増加・社会増加の状態は、各地域にどのような影響を及ぼし、また各地域の状況が人口の変化にどのように反映するのかを考える。
- (3) 人口増加と資源
食料や水をはじめ、人間の生存や活動に必要な資源と人口との関わりについて考える。長期的な視野に立った節度ある資源開発はどうあるべきかについても検討したい。
- (4) 人口構成と社会
人口は「量」としての存在であるばかりでなく、さまざまな種類の「構成要素」からなる存在でもある。高齢化のような重要な問題や、民族紛争など現代のきわめて困難な問題を考えるに当たって、まず必要となる正確な現状分析について考えていく。
- (5) 経済活動の変化と人口移動
学年の最初に扱った人口と経済との関係を、人口移動という点に絞って考える。国内の過密・過疎問題や、国際的移動の問題についても考えていきたい。
- (6) 都市の構造と居住環境
前項で扱ったテーマの中で、過密地域である都市について居住環境を中心に考えたいと思う。

履修上の留意点

この授業の目標を達成するためには、まず具体的事例によって現状を把握し、それについて種々検討することが必要である。そのための事例は、例えば地球的規模や国ごとの状況というような広域をとりあげることが必要な場合もあり、村落や都市内の小区域をとりあげることが理解を深める上で有効な場合もある。いずれにしても、これらの事例は見方や考え方を身につけるための素材として扱うのであって、個々の現象を丸暗記するようなことで終わってしまうのでは、無意味な勉強法でしかない。そのために大切なことは、当たり前のことなのだが授業に出席して「いま、何を明らかにするためにこの講義が行われているのか」に注意しながら聴くことであるといえる。

成績評価の方法

基本的に学年末試験による。ただし、これにレポートの点を加味する。学年末試験に関しては、単に学習した事項を覚えるのではなく、それをもとに出題された問について十分考えて記述する力をもつことを期待している。

教 科 書

特定の教科書を通年使用する方法はとらない。参考文献はその都度指示する。

そ の 他

年数回のレポートを課すことを予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たか き まさ ひろ 高 木 正 博	禅・仏教・国文・英米文・歴史 社会・経済・商・経営・短放	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマが求められよう。講義では河川をテーマとし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、河川を河道だけでなく、流域として捉えることを基本とし、流域（地域）の自然とその土地の住人とのかかわりについて、利水・災害・自然環境などの視点から河川特性を明らかにする。また、水と人のかかわりあいを論じる場合、水の基本的な特性である環境を常に意識し、それぞれの地域に固有な地域水循環システムと行政への応用を考えてゆきたい。さらに、河川に対する行政などの取り組みについて、欧米を中心に外国の事例も紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の基本特性について水文学的（降水量、流量などを中心として）に講ずる。次に、具体的な河川（主として一級河川を取り上げるが、場合によっては中小河川や都市河川について述べることもある）の事例をもとに、それぞれの河川固有の特性を、利水・災害・環境などの視点から考え、現実的な課題なども明らかにしたい。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味して行う。

教 科 書

授業時間に配布するプリントを使用。

参 考 書 等

高橋裕著『河川工学』、東京大学出版会
岡太郎・菅原正孝編著『都市の水環境の新展開』、技法堂出版。その他随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	こも くち よし み 菱 口 善 美	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・経済・商 経 営 ・ 短 放	4

講義のねらい

本講義は、「現代地理学」の主要分野である「文化地理学」の一般概念を修得すると共にこの学問の応用として世界各地に頻繁にみられる民族問題・環境問題・差別問題など一般社会・経済的諸問題との関係も学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史（誌）、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

履修上の留意点

受講生は、予め配布したプリントなどを精読しておく必要がある。

成績評価の方法

2回のテストの成績によって評価する。

参 考 書 等

〔参考書〕 臼田雅之・ほか（編著）
『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂） 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	たけ うち けい いち 竹 内 啓 一	禅・仏教・国文・英米文・歴史 経済・商・短国・短英	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、本年度は、日本人の土地、場所、環境さらに世界・コスモスに関する考え方、そして日本において、自分たちの国土、および外部世界に関する知識がどの様に形成され、発展してきたかを検討する。古代、中世、16、17世紀の宣教師との接触、幕府による国際交流の独占（鎖国）時代、漂流者の記録についてもふれるが、講義の大部分は開国後の話になる。

講義の内容・ 授業スケジュール

今（1995年11月）のところ以下の内容を考えているが、若干の変更があるかもしれない。

- 1 日本人の伝統的コスモロジー, geomancy
- 2 地理と風土記
- 3 16世紀以降における新しい世界認識
- 4 洋学における地理と地理的知識（地図制作に焦点をあてて）
- 5 幕末・明治初期における外国紹介（いくつかのミッションの記録、とくに福沢諭吉、久米邦武による岩倉使節団の『欧米回覧実記』に焦点をあてて）
- 6、札幌農学校出身者の農学を基礎とした地理思想（新戸部稲造、内村鑑三、志賀重昂に焦点をあてて）
- 7 「皇国地誌」編纂事業挫折の意味（地理的情報の近代化に焦点をあてて）
- 8 公教育における地理学の制度化（文部省中等教員検定試験制度、師範学校、高師、文理大の役割、帝国大学における地理学の制度化まで。牧口常三郎はこのテキストのなかで考察される）
- 9 軍隊における地理学の役割、とくに国土図の作製。
- 10 Nation Building, そのためのnational identity 形成にとっての地理教育の役割（地理教科書記述の内容およびイデオロギーの変遷）
- 11 南進論、北進論との関連における地理的知識の形成（密偵、商人・芸人・唐ゆきさん、仏僧、冒険家など）
- 12 帝国主義段階における組織的地理的知識の形成（満鉄調査部、東亜同文書院に焦点をあてて）
- 13 アカデミシヤンの貢献と限界（大谷探検隊の事績、鳥居龍藏の業績そして矢内原忠雄の著作に焦点をあてて）
- 14 アカデミー地理学の成立（山崎直方、小川琢治、小田内通敏など）
- 15 アカデミー地理学の第二次世界大戦までの発展（石橋五郎、辻村太郎、石田龍次郎、飯本信之、佐藤弘、田中啓爾など）
- 16 土着的地理思想と近代科学としての「地理」との接連と断絶（柳田などの日本民俗学派との接触、交流、そして地理学派の限界について）
- 17 日本における政治地理学の展望
- 18 第二次世界大戦後の日本のアカデミー地理学50年史。
- 19 第二次世界大戦後の地理教育と問題点
- 20 地理のプラクショナーの系譜

履修上の留意点

授業は講述の形式をとるが、受講者が、テキストを読み、吟味し、自分なりの理解をすることをめざす。入手しがたい文献についてはコピーして配布するが、文庫本になっているもの（例えば、福沢諭吉『世界国尽』、久米邦武『米欧回覧実記』、志賀重昂『日本風景論』、河口慧海『チベット旅行記』など）は、できるだけ購入するようにしてもらいたい。これらのテキストに関するレポートを何回か提出してもらおう。レポートの課題は授業の中で提示する。提出期限に遅れたレポートは一切受理しない。

成績評価の方法

上記のレポートおよび学年末の持ち込み自由の筆記試験による。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

文献・参考書等は講義中に提示する。

その他

来年度、私がこの講義を担当する場合には、内容をまったく変えて、西洋の地理思想史を取り上げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	さとう もとえい 佐藤元英	禅・仏教・国文・英文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

明治初年より終戦までの外交史を講義形式で論ずる。
歴史のある段階が、いつ何を転機に次の段階に発展転化したかを明らかにすることや、それぞれの段階の歴史的特徴がどのようなものであったかを明確にすることは、歴史研究の重要な課題であり、また、個々の歴史的事実の評価や位置づけを行うにも、それがいかなる歴史的発展段階の中で生じたのかを明らかにすることも当然重要な課題となる。このような課題を解明するには、まず歴史の正確な時期区分の認識が必要になる。従って、近代日本外交史の時期区分によって明らかにしようとするのは、第一に、明治維新による近代国家の成立から1945年の終戦に至る約80年の外交史の発展段階を明らかにし、区分した各時期の歴史的特徴を明確にすることであり、第二に、外交史の発展段階と各時期の特徴を明確にすることによって、個々の外交史上の事実の歴史的性格ならびに位置づけを確定する枠組をつくりあげることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正運動、日清戦争及び日露戦争と国際関係などについて講述し、外交主体の確立と近代国家系への参加から大陸膨張政策という外交路線を検討する。後期は第一次大戦とパリ講和会議、1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについても講述し、国際協調から現状打破による世界秩序の形成という対外路線を検討する。

参考書等

池井優『日本外交史概説』（慶応通信）、信夫清三郎編『日本外交史Ⅰ・Ⅱ』（毎日新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ	いづみ たけつぐ 飯島武次	禅・仏教・国文・英文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

中国青銅器時代文化の研究。夏・殷・周の考古学研究に関して講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

特講でなので、講義担当の飯島が現在行っている研究を講義する。もっか『中国両周文化考古学研究』と題する著書の出版を目指しているので、その原稿の執筆にあわせて授業をすすめていく。

履修上の留意点

遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験。持ち込み可。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社、1985年）
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社、1991年）

その他

教場の一般的講義であるが多くの資料を配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	あそ 麻生 けん 建	禅・仏教・国文・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は土として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著「解釈学」世界書院 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やま 山 ぐち 口 まさ 祐 ひろ 弘	国文・英米文・地理・社会 経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

現代世界がヨーロッパ近代の影響を強く受けて成立していることは言うまでもない。従って、現代において生き思索しようとする時、近代ヨーロッパの思想を無視するわけにはいかない。近代哲学史を学ぶことを通して近代思想ならびに近代の孕む問題を照射し、現代において取り組むべき課題を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 次のテーマに従って講義する。
1. 哲学史とわれわれ
 2. デカルトと大陸合理論の課題
 3. 方法的懐疑と懐疑論への道
 4. 啓蒙主義と啓蒙の弁証法
 5. 近代哲学とカント
 6. カント哲学の発展
 7. ドイツ観念論の課題
 8. ヘーゲルと近代批判
 9. 現代への視点

履修上の留意点

哲学史は、表面的に見ると、ヘーゲルの言うように「阿呆の画廊」と映りがちだが、講義に集中し問題の展開に注意するとともに、重要事項については正確な知識を得ることに努め、哲学する態度を養って貰いたい。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

桂寿一・山崎正一『西洋近世哲学史』（岩波書店）

参考書等

山口祐弘『意識と無限』（近代文芸社）、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち 谷 口	禅・仏教・英米文・地理 社会・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を用する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼 — 出産と子育て —
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教 科 書

本講義では教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考書については、授業の中で必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわ もと 川 本	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・経済・商・経営・短大	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教 科 書

用いない。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

産業・職業社会学の対象の中、本講義では経営と従業員との関係としての従業員関係を規定している雇用システム、経営と労働組合の関係としての労使関係、産業社会や職業社会の構造などについて概観する。日本社会を中心に考えるが、その特質を明らかにする上からも諸外国との比較を交えて講義を進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、日本の雇用慣行について述べる。終身雇用制や年功制を柱とするいわゆる日本の雇用システムの特徴と動揺について述べる。次いで、日本の労働組合の組織活動や労使関係の特徴とともに課題について述べる。以上のことは産業社会の構造変動によって生じることから、日本の産業社会や職業社会の構造的変化を中心に述べる。すなわち、経済のサービス化、情報化、雇用の流動化、ホワイトカラー化（専門職化）、高令化、女子の職場進出などの進展により、どのような変貌をとげつつあるかを明らかにし、その課題と展望を述べる予定である。

成績評価の方法

出席点と試験の両者によって評価する。

教科書

安藤喜久雄他『産業社会学』学文社、2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし ち よ 林 千 代	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経済・商 法律・政治・経営・短大	4

講義のねらい

いつの時代にも生活不安はあった。それは、自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。常に多くの社会問題が生じ、人々は生活困難におちいった。それらに慈善や救済が対応し、近代社会は社会事業を生成した。生存権の確認は、社会福祉という方法に到達し、福祉国家の実現となったが、いま福祉社会という新たな局面を迎えている。

このプロセスの理解と、社会福祉は一定の歴史的産物であるという認識こそ、社会福祉の学習には不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

資本主義の発達と社会福祉の生成は、英国が典型である。日本については当然ではあるが、時間のある限り米国や北欧諸国などにもふれたい。

〔英国〕

- ① 前史
- ② 中世封建社会と慈善
- ③ 絶対王制下の救貧制度
- ④ 旧救貧法と近代的慈善事業の生成
- ⑤ 産業革命と新救貧法のスタート
- ⑥ 社会事業近代化への動向
- ⑦ 社会保障制度の成立と諸技術の発展
- ⑧ 今日の状況と諸問題

〔日本〕

- ① 前史
- ② 日本における救貧法の系譜と公的救済
- ③ 封建社会と慈善・慈恵
- ④ 資本主義の成立と救済事業
- ⑤ 社会事業の成立と組織化
- ⑥ 昭和期の社会事業と厚生事業
- ⑦ 戦後の社会福祉（事業）
- ⑧ 現在の状況 — 福祉社会について

そ の 他

教科書は決めないが、参考書は開講初日に提示の予定。単位の認定は、年一回のリポートによる。知識や考察を内在化させ、学生個々の自己認識を深めていくことをめざしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来からの歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

〈授業予定〉

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの－レーニン時代－
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) ブレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るの当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦前の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問の発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会政策の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代福祉国家の生成と展開
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上に述べた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うかあるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの野 おさむ紀	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国には法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,070万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成5暦年のGDPによって466兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数かぎりない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然といえよう。こうした取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨量的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP, GNPなどの経済指標や消費, 投資, 輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと, さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が, モデル分析に則って説明され, 次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後, 練習問題を解くレポートが課される。解答は配布され, 解説は授業の中で行われる。
《参考》中谷巖『人間マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され, 前講までの主題との接合がはかられて, IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが, 日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また, 利子率に触れるとき, 預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他, 国家公務員, 地方公務員, 国税専門官などの専門科目試験の例題を示すこともある。本テーマの終了時にも, 簡単な練習問題がレポートの課題として課される。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策, 財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば, 金融政策と財政政策の発動によって, 望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で, 国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのではあるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは, 財・サービスの市場と貨幣市場であったが, これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに, 物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国経済論	こ 小 杉 修 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949～57年)、(2)毛沢東モデル(1958～78年)、(3)鄧小平モデル(1978～)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点を相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ(1-201または1-301教室)上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) ¥4,000

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	こばやし ひでお 小林 英夫	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

本年度は、アジアの経済成長の歴史と現状を論ずる。周知のように、この10年間、アジアは、目ざましい経済成長で、世界の注目を集めた。年平均5%を下らない高い成長率を記録した東アジアの国々は、世界からニーズ（NIES）と称されるにいたったのである。
本年度は、こうした成果を生みだした東アジアに焦点をあてて、その成長の秘密をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

4月 インTRODダクシヨン
5月～7月 東アジアの経済成長の歴史を明治、大正、昭和（戦前）の日本の歴史と関連させて論ずる。
9月～12月 東アジアの経済成長の歴史を戦後の日本の経済成長との関連で論ずる。
1月 まとめ

履修上の留意点

毎回出席をとるということはしないが、年に4回ほど小テストを実施する。これをもって出席にかえるが、事前に予告するので、必ず出席し受けること。

成績評価の方法

出席点……………20%
2月テスト…………80%

教科書

追って指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	こしょう 古 庄 ただし 正	祥・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・法律・政治 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

開港前の日本は、極東の一封建国家にすぎなかった。1853年（嘉永3年）のペリー（M. C. Perry）来航に始まる鎖国体制の解体と欧米列強による領事裁判権・協定関税率・最恵国条項を内容とする安政条約の強制は、政治的にも経済的にも軍事的にも、幕末日本を植民地化の危機に陥れた。にもかかわらず、開港後わずか数十年の間に、日本は工業化を達成し、アジアにおける唯一の工業国家になった。この講義では、幕末開港後のこうした工業化過程とその歴史的条件をできるだけ系統的に、また分かり易くお話してみたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済史の対象はすこぶる広いが、時間的・能力的制約から今年度はこの問題に限定した。お話の中身としてはいまのところ次のテーマを予定している。ただし、年度内に生起する事件の中で、経済史との関連で特に重要なものについては、適宜取り上げてお話するよう心掛けたい。生きた具体的な現実との緊張関係を抜きにした講義は、社会科学の講義としては適切なものではないと思うからである。

- (1) 幕藩体制の動揺
- (2) 開港と植民地化の危機
- (3) 明治維新
- (4) 明治政府の工業化政策
- (5) 政商と天皇・華族の資本蓄積
- (6) 農民の分解と士族の没落
- (7) 自由民権運動と天皇制国家
- (8) 産業革命と工業化
- (9) 紡績と製糸業
- (10) 工業化と在来産業
- (11) 重工業と鉱山業
- (12) 工業化と公害
- (13) 資本主義と地主制
- (14) 鉄道業と海運業
- (15) 外国貿易の発展と構造
- (16) 工業化財政・金融
- (17) 植民地の領有とその矛盾
- (18) 工業化は民衆にとって何であったか。

経済史を含めて、いま、なぜ歴史を学ぶ必要があるのだろうか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点である。大学の教員のような研究を商売にしている人間は一応別として、一般の学生や市民にとって、果たして歴史を学ぶ必要などあるのだろうか。結果論に言えば、私はやはりその必要があると思っている。戦後補償裁判に事例をとって、その理由を若干述べておきたい。

第2次大戦中、日本政府と日本企業は百万を越える朝鮮人を軍人・軍属・従軍慰安婦として、あるいは労務要員として日本に連行し、酷使虐待の果てに多くの人々を死傷させた。にもかかわらず、日本政府も関係企業もこれに対して何の補償もしなかっただけでなく、未払金さえ支払わずに戦後処理に決着をつけた。

こうした理不尽な戦後処理の再検討を求めて、被害者たちはいま東京地裁その他に提訴し、裁判を始めてる。しかし、日本政府も関係企業も強制連行・強制労働・差別待遇の事実を一切認めず、未払金問題は1965年の日韓協定で解決済として、被害者の要求を突っぱねている。

日本政府と関係企業はなぜこういう傲慢な態度を取り続けているのだろうか。それは、研究者であるわれわれの怠慢と資料不足（敗戦後、国と企業は関係資料を徹底して焼却した）のために、事実の究明が充分でなく、多くの日本人が無知・無関のままに放置されているからであろう。歴史を学ぶことの意義は、現在を知り未来を洞察する武器を仕入れることにあるといわれるが、それは、具体的にはこういうことをいうのではなからうか。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	三井逸友	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な(critical)構成要素である」(クリントン米国大統領)と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』(森清著、ダイヤモンド社刊)のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、度重なる円高」と長期不況の中でまた深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」が交錯するという事態は、いずれの国々でも共通して確認できる。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その実態と当面する問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーティズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「地場産業産地」「大都市中小企業」などといった、我が国の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況とが、基本的な視覚となる。

第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとでの、近年の「収斂傾向」を検討し、特にEU欧州連合の政策の特徴にふれる。また、我が国についても、近年の「構造転換」対応策、創業促進策なども検討する。

履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日的現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。

教科書

三井逸友『現代経済と中小企業』青木書店、¥2,800(税抜)
同 『EU欧州連合と中小企業政策』白桃書房、¥2,330

参考書等

巽・佐藤編『新版 新中小企業論を学ぶ』有斐閣、中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕

その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での見聞も豊富に活用していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 経 済 論	や 谷 敷 正 光 しき ただ みつ	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 欧米先進国の経済の現状と教育

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ ドイツ
- ⑤ 日本

(2) 戦前日本の経済発展と実業教育の振興

- ① 学制時代（明治10年前）
- ② 教育令時代（明治10年代）
- ③ 学校令時代（明治20年代）
- ④ 実業学校令時代（明治30年代）

(3) 戦後日本の経済発展と産業教育の振興

- ① 復興期
- ② 1960年代
- ③ 1970年代
- ④ 1980年代
- ⑤ 1990年代

(1)は前期に、(2)(3)は後期に講義する予定

履修上の留意点

- ① 欠席しないこと。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオを使用することが多いので教室には注意すること。
- ③ 年間数十枚のプリントを配布する予定ですが、一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその授業時間中に受け取ること。

成績評価の方法

定期試験の成績

教科書

年間25～30枚のプリントを講義資料として配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』（東大出版）
文部省『産業教育百年史』（ぎょうせい）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡	ひろし 紘	4

講義のねらい

- ◆ 現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅広く、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

- ◆ 特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済につよい関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義の目標です。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの年度でも受講できることはいうまでもありませんが、以上のべたこの講義の性格からして、3年生までに、あるいはもっと早い時期に受講することをすすめます。

- ◆ 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。

1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。年間をおとすにつれて現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

講義の内容・
授業スケジュール

《導入の話題》

- ◇ 大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

- ◇ アメリカの建国の理念と現代の経済 ◇ アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

- ◇ アメリカの農業 ◇ アメリカの工業
- ◇ アメリカの企業家とベンチャービジネス ◇ アメリカの雇用と労働者
- ◇ アメリカの商業とサービス ◇ アメリカの交通・通信・情報
- ◇ アメリカの金融 ◇ アメリカの教育と経済
- ◇ アメリカの科学技術 ◇ アメリカの先端産業
- ◇ アメリカ経済と環境問題 ◇ アメリカ社会とヴォランティア
- ◇ 女性・マイノリティとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

- ◇ 国際通貨ドルの地位とIMF ◇ アメリカと貿易（GATTとWTO）
- ◇ アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義 ◇ アメリカの海外援助
- ◇ アメリカの多国籍企業 ◇ 多国籍企業とアメリカ経済

《アメリカと世界の諸地域》

- ◇ アメリカとEC ◇ アメリカと日本
- ◇ アメリカとアジア・太平洋 ◇ アメリカとカナダ・メキシコ

《むすびの話題》

- ◇ アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

- ◆ あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

- ◆ アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をとおさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

教科書

- ◆ 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

成績評価の方法

- ◆ 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です。

この講義については、いわば単位をかすめるとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。たとえば、この講義では、一発の年度末試験よりも平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定です。近年では、受講者との協議により、この講義のなかでいざようになった問題意識をもとに、アメリカ経済にかんする自由論題で、小論文を年度末に提出してもらおうようにしています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	もり 森 たけ 武 まる 磨	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・法律・政治 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

1980年代の後半には、日本のGNPは世界の14%を占めるまでになった。1950年が1%であることと比べるとこの間いかにすさまじい経済成長であったかがわかる。また、1950年代には世界のGNPの40%を占めていたアメリカはこの間に25%までに低下し、貿易赤字と財政赤字に苦しみ1985年には初めて債務国に転落した。しかし、日本経済も1980年代の好景気、バブル経済を謳歌したが、1990年代には一転して本格的な不況局面に突入し、出口はいまだ見えない状態である。驚くべき経済成長とゆたかさの背後に、日本社会は公害・環境破壊、企業内の長時間労働、少ない休暇とサービス残業、高地価による貧困な住宅条件、長い通勤時間など社会的な矛盾もまた累積していった。

このような社会変動をもたらした日本経済の成長はどのようにして生まれたのであろうか。その成長の軌跡と矛盾を、日本株式会社論や1940年体制論などの現代経済システムの源流論や、企業主義・会社主義、日本型フォードイズムなど最近の日本型経営論や日本の労使関係論を視野に入れながら論じてみたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1930年代の世界大恐慌から第2次世界大戦をへて1945年の敗戦による日本経済の崩壊から、戦後改革と高度経済成長をへて「経済大国」化した1980年代までの日本経済の段階的変化と構造的性質を把握することをねらいとする。

講義の進め方は、1930年代から1990年代にいたる日本経済の軌跡を5期に区分してそれぞれの時期を資本構造、労使関係、農業問題、対外関係の4つの視点から明らかにしていく。

年間の講義スケジュールは以下の通りである。

- 1 財閥資本と金融資本
- 2 昭和恐慌と高橋財政
- 3 恐慌下の労資関係
- 4 戦時統制経済
- 5 戦時下の農業問題
- 6 大東亜共栄圏
- 7 財閥解体と再編成
- 8 戦後資本主義の再建
- 9 労働改革
- 10 農地改革
- 11 高度経済成長とは何か
- 12 企業集団と法人資本主義
- 13 日本的労使関係
- 14 高度成長下の農業問題
- 15 石油危機と高度成長の終焉
- 16 経済大国化への道
- 17 日本型企业社会の確立
- 18 現代経済と労使関係
- 19 現代の農業問題
- 20 世界の中の日本

履修上の留意点

履修に関していえば、日本経済の最新の新聞情報を毎回解説し、講義内容もだれでも理解できるように、そのつど参考資料(図表)を配布し、補助教材としてビデオを利用する。

成績評価の方法

成績評価は期末試験を中心に採点する。さらに中間テストとして夏休みにレポートを課す予定である。出席状況も評価に加える。

教 科 書

森武磨ほか『現代日本経済史』(有斐閣)1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	えん どう 遠 藤 たかし 孝	神・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 法 律 ・ 政 治 ・ 短 大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計（FINANCIAL ACCOUNTING）について、その伝達、開示の手段である貸借対照表（BALANCE SHEET）、損益計算書（INCOME STATEMENT）を中心に、その性格、内容、役割について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- ① 4月第1週
企業会計、財務会計とは何か。
会計学、財務会計論と何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週
財務会計の制度性について。
企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、
貸借対照表学説。⑤ 5月第3週
資産評価について。流動資産——棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- ⑥ 6月第1週
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- ⑦ 6月第2週
繰延資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- ⑧ 6月第3週
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準——商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- ⑨ 6月第4週
同上
- ⑩ 7月第1週
資本会計について。

後 期

- ⑪ 9月第1週
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑫ 9月第2週
連結財務諸表とは何か。
- ⑬ 9月第3週
同上
- ⑭ 10月第1週
セグメント会計について。
リース会計について。
- ⑮ 10月第2週
企業内容、会計内容の開示について。
注記、財務諸表附属明細表（書）
- ⑯ 10月第3週
同上
- ⑰ 10月第4週
財務諸表の監査、商法上の監査。
- ⑱ 11月第1週
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。
「企業会計原則」について。
- ⑲ 11月第2週
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第3週
同上
- ㉑ 11月第4週
日本、世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週
同上
- ㉓ 12月第2週
会計学を学ぶについて考えるべきこと。——総括
- ㉔ 最終週
予備。

以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。（前期、後期2回実施の予定）

教 科 書

講義の際指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう まち 中 原 章 吉	禅・仏教・国文・英文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必要な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思えます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおく講義が理解しやすいと思います。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）

教科書

講義の際、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	飯岡透	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財務状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開

監査人の要件と責任

- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と解任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

〔後期〕

9月 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調書の目的と種類

- (1) 監査調書の目的と作成要件
- (2) 監査調書の種類と保存

経営者確認書の意義と記載内容

- (1) 経営者確認書の意義と目的
- (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張、大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから会計学総論、簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。

教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』中央経済社 3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』中央経済社 3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	未 定	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短 放	4

講義のねらい

近年、産業構造が著しく変化し、第3次産業、特に流通産業のウェイトが産出量においても就業構造においても高まっている。従来、新聞紙上において流通に関する記事はあまり見かけなくなったが、最近は経済紙はのみならず、一般紙においても毎日なんらかの流通および流通産業、流通企業についてのニュースが掲載されている。また、わが国は諸外国から産業政策そのものが非関税障壁だと非難を浴びているように政策的誘導が著しい。流通産業も例外ではない。

この講義ではこのような流通産業について、小売業を中心にして大手小売商業資本の資本蓄積構造とそれを可能にする公共政策を資本主義の現段階のなかで考える。

講義の内容・
授業スケジュール

序 商業政策入門—— 国民生活と流通・流通政策

文献解題

1. 現代資本主義論
 - 1) 資本主義の成立と発展
 - 2) 90年代資本主義の特徴
2. 小売商業構造と大手小売商業資本の資本蓄積構造
 - 1) 小売商業構造
 - 2) 80年代の大手小売商業資本の資本蓄積構造
 - 3) 90年代の大手小売商業資本の資本蓄積構造
3. 流通政策論
 - 1) 中小小売商業保護政策論
 - 2) 流通近代化政策論
 - 3) 流通システム化論
 - 4) 流通革命論
4. 流通ビジョンと流通政策
 - 1) 70年代の流通
 - 2) 80年代の流通産業ビジョン
 - 3) 90年代の流通ビジョン
 - 4) 21世紀へ向けての流通ビジョン
5. 小売商業調整政策の展開過程
 - 1) 百貨店法 —— ①第1次百貨店法（1936年）②第2次百貨店法（1956年）
 - 2) 中小小売商業振興法
 - 3) 小売商業調整特別措置法
 - 4) 大規模小売店舗法（大店法） —— ①1973年法②1979年改正法
③現行法（1991年改正法）
 - 5) 地方自治体による独自規制 —— ①条例②指導要綱③凍結宣言
 - 6) 通産省による行政指導
6. 規制緩和と流通政策
 - 1) 日米構造問題協議と大店法
 - 2) 大店法の運用適正化措置
7. 特定商業集積法と街づくり
 - 1) 特定商業集積法
 - 2) 街づくりと都市計画
8. 海外の流通政策
 - 1) イギリス —— ①出店調整政策②営業時間規制政策
 - 2) フランス —— ロワイエ法
 - 3) ドイツ —— 土地利用計画
 - 4) アメリカ —— ゾーニング規制
9. 流通問題と消費者保護政策
10. 流通問題と独禁政策

成績評価の方法

出席，レポート，試験等により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要に応じてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政治・経営・短放	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視覚の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I 生産・消費と貿易
 - 1 農産物と貿易
 - 2 水産物と貿易
 - 3 林産物と貿易
 - 4 鉱物資源と貿易
 - 5 工業製品と貿易
- II 政治・経済・社会と貿易
 - 1 開発援助と貿易
 - 2 環境と貿易
 - 3 公正と貿易
 - 4 地域統合と貿易
 - 5 総括：貿易と暮らしを問う

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談に来て下さい。参考になる本など教えます（研究室、第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	曾 我 のぶ たか 信 孝	禅・仏教・国文・英文文・地理 歴史・社会・法律・政治 短 国 ・ 短 放	4

講義の内容・
授業スケジュール

前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を、現状をふまえながら講義をする。その概略は次のとおりである。

- (1) 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
- (2) 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
- (3) チャンネル政策……自己の製品の流通経路の選定の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それはたんに流通コストの問題だけではなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
- (4) 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。

後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は、次のとおりである。

- (1) 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFT、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人化で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
- (2) 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
- (3) 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
- (4) 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験、小テスト、出席等によって評価する。定期試験に大きなウェイトをおいていることはいうまでもないが、ここでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。

教 科 書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』白桃書房、¥4,000

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 価 計 算 論	かとうとし やす 加 藤 利 安	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には、財務会計的側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境的状况の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとするれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのではないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に説明することを心掛ける。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義そしてその構成上の特質について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら説明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

履修上の留意点

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	いし 井 じゅう じ 石 井 脩 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・法律 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

日本企業を取り巻く経営環境は、急激に変化しつつある。国際的にはいわゆる冷戦体制の崩壊の中で、欧州・アメリカ・アジアを中心とする世界三極経済体制への動き、そのような動きの中で依然として激しく展開される国際市場での企業間競争や貿易摩擦のくすぶり、国内的には杞憂則に進展する情報技術革命を背景とした経済基調の変化、豊かさを背景とした市場の不透明度の高まり、競争戦略の変化など従来までの経営理念・経営政策ではもはや立ち行けない状況が生み出されている。さらに、近年の日本企業を特徴づけている政官財癒着による倫理性のかけらもない企業犯罪の頻発、いわゆるバブル崩壊後の企業業績の悪化を背景として中高年層を中心とした首切り政策や若年層・新規学卒者への採用抑制の実施といった企業の存在意義そのものが問われる状況をも作りだしている。このような経営環境の変化や企業の社会的存在意義への疑問は、日本企業が今後どのような方向に進んでいくのかというその「将来予測」を難しいものになっている。社会の進む方向も企業の将来もきわめて不透明な時代に必要とされることは、現実には起きている事実に関する情報を可能な限り収集し、事実情報に基づいて次なる時代の方向性を自分なりに読み見定めることである。この講義では、日本企業を取り巻く環境変化や日本企業の現実に関する最新の情報に基づきながらこれから到来する社会がどのようなものであるのか、そこでは人々の職業生活がどのように変化し、どのような人材が活躍することになるのかを考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

企業は、一般にヒト・モノ・カネ、さらに情報といった有形・無形の経営資源を組み合わせ、企業目的の実現を図ってきた。日本企業が世界でも注目されるほどの強い競争力を発揮しえたのは、これら経営諸資源の中でもヒト資源の活用の巧みさによるものと言われてきた。このヒト資源の有効活用に関わる経営活動は、「人事労務管理」といわれるもので、日本企業の強さは、日本企業の人事労務管理の卓越性にあり、また日本企業の人事労務管理こそ「日本の経営」の別名でもあると言ったことが出来た。ところが、現在では日本企業が作り上げてきた効率優先の競争力が疑問視されはじめると共に競争力そのものに翳りが見えはじめている。このことは、従来まで日本企業の競争力の源泉であった人事労務管理すなわち日本の経営がその妥当性を失いはじめているということを示している。その理由は、この講義のキーワードでもある工業化社会から情報化社会への転換である。この講義では、日本企業が工業化社会の中で築き上げてきた「人事労務管理」が情報化社会の到来の中で急速にその妥当性を失い「人材資源管理」という新しい名称の下に内容を新しくしている状況を極力最近の日本企業の動きを追いつつ検討を加えると共に、それらの新しい人材政策が働く側から見たときにどのような影響をもたらすものかということも考察する。このような検討や考察に基づいてどのような企業の将来像が浮かび上がってくるかを考える。講義は、新規学卒者とりわけ大卒者の企業内での職業経歴を中心として従来までの方式・制度とその変化の様相について情報を提供する。次のような順序で進める。

- 序 章 人事労務管理から人材資源管理へ
- 第1章 企業内従業員秩序の編成原理とその変化
- 第2章 採用管理
- 第3章 教育訓練と能力開発
- 第4章 配置・配置転換
- 第5章 報酬管理
- 第6章 労働時間管理
- 第7章 退職管理
- 結 章 21世紀日本企業の人材管理

成績評価の方法

定期試験（後期）にて評価。評価は、答案の論理性と説得性を基準として採点する。

教 科 書

菅野康雄／石井脩二『人材資源管理論』中央経済社（予定）。
このテキストを利用するつもりだが、当分の間は授業時間中に配付するプリントを中心として講義を行う。

参 考 書 等

日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』日本経済新聞社、2,800円
津田真澄『新・人事労務管理』有斐閣、1,957円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	な とり しゅう いち 名 取 修 一	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・短国	4

講義のねらい

企業は、特定の目的を達成するために、ヒト・モノ・カネ・情報の諸資源が体系的に統合化された維持継続体であるといえる。それは、人間が目的を設定し、企業という組織的力に諸資源を結集される。目的達成の過程にあっては、物的資産、資本、情報に人間が機能的にして生命を与え、活用し、消費する。そこでの主役は人間の活動にある。

企業の目的達成過程では諸資源が体系化され、参加者の行動は統合化され、統制される。そこには、組織から与えられた目的達成活動と各々人の個人的欲求や動機の満足度が問題となる。組織的活動にはこの二面性が含まれる。

企業経営における管理者は、個々人の多様性を組織全体としての目的達成への個々の行動を調整し、全体行動として統合化する必要がある。管理者はその立場にあって、メンバーの個人的側面を認識したうえで、個々人の行動を組織目的に規定する役割をもっている。

本講義では、このような考え方に基づいて、管理とは何か、管理作用のもつ意味を考え、個人的また人々の集合としての社会的状況との相互作用を具体的に示しながら管理問題を考察する。

成績評価の方法

年度末試験により評価する。

教 科 書

伊藤収編著『経営管理論』、建帛社、¥1,800

参 考 書 等

バーナード、C. I 著『経営者の役割』ダイヤモンド社
鈴木幸毅著『企業と管理の理論』、税務計理協会
その他講義のなかで適宜指導する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひまし 齊 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・経済 商・経営・短放	4

講義のねらい

「各種行政法，原理の究明」

1年間・全体を通して，極めて楽しい雰囲気の中で，各種行政法の法理解明を，興味深く行います。特にこの講義は生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験。

履修上の留意点

※この講義は，楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって，「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

—— 私が，みなさんを，「水飲み場」へご案内します。

目には火を，顔には光をいだいて，ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ，新時代の若者たちよ!) —— との，イギリスの詩人，ウィリアム・ブレイクの叫びを，この際，みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて，学年の成績とします。

教 科 書

拙著の中から，講義の際，選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	かの 叶 かの 和 お 夫	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりませて、面白く楽しい講義にしたい。

教 科 書

遠藤浩他 5名編集
『民法(8)親族 第3版増訂版』(有斐閣双書)

参 考 書 等

島津一郎編『基本法コンメンタール第3版 親族』別冊法学セミナー (日本評論社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かの 叶 かの 和 お 夫	禪・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 政治・経営・短大	4

講義のねらい

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりませて面白く楽しい講義にしたい。

教 科 書

遠藤浩他 5名編集『民法(9)相続 第3版』(有斐閣双書)

参 考 書 等

島津一郎編『基本法コンメンタール相続』別冊法学セミナー (日本評論社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較憲法	たけはなみつのり 竹花光範	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・経済・商・経営 短 国 ・ 短 放	4

講義のねらい

比較憲法が、一つの学問領域を構成しているかどうかについては議論があるといわなくてはならない。それは、むしろ、科学としての憲法学を確立するための「立法」であると考えべきではないかと思う。そこで、本講義では、なぜ、「科学としての憲法学」にとって、比較憲法的な考察が重要であるのかについて理解を得ることに重点をおきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の順序で進める予定である。

- ① 比較憲法とは
 - ② 憲法の概念と分類
 - ③ 国体と元首（共和制と君主制，元首，国のシンボル等）
 - ④ 統治の原理と構造（民主政治の基本原則，議院内閣制と大統領制，一院制と二院制，社会主義国の統治機構等）
- もちろん②以下については、いずれも比較憲法的な考察を加えるのであるが、場合によっては、そのような考察を通じて「通説のウソ」を指摘することもあると思う。

履修上の留意点

本講義は、各国憲法の個別解説的な内容ではない。そのような講義は、例えばアメリカ憲法論でありドイツ憲法論であって、比較憲法ではないということについて留意してほしい。

成績評価の方法

成績の評価は、論述型のペーパーテストによって行う。前もって数題提示し、その中から出題することになるものと思う。

教科書

教科書は用いないが、章、節により、準教科書的な文献を示すことはある。

参考書等

必要に応じて講義の中で紹介する。

その他

講義の理解度を高めるために、できれば世界の主要国の憲法が集録された憲法集を用意していただきたい。もっともハンディなものとして、宮沢俊義編『世界憲法集』（岩波文庫）を紹介しておく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	おかだとしひろ 岡田外司博	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 経営・短放	4

講義のねらい

独占禁止法は、資本主義社会において公正かつ自由な競争を確保することを通じて、市場メカニズムの機能を発揮させる役割を持つ重要な法律として最近注目を集めている。本講義は、この独占禁止法に関する学説と実務について、一通りの基本的知識を獲得することを当面の目標としている。また、受講者が実際に企業実務に携わる立場になった時に、独占禁止法上の問題を発見し、対応できるような能力を本講義によって得ることを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールについては別途予定表を配布する（前半と後半を分けて配布するつもり）ので、おおむねそれに従って授業を進める。ただし、場合によっては中途で変更することもある。

履修上の留意点

予定表に従って予め教科書の該当部分をよく読んで上で講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

試験による。

教科書

厚谷襄児『独占禁止法入門』（日本経済新聞社）750円

参考書等

授業時に随時参照する資料として、『独禁法審決・判例百選（第四版）』（有斐閣）2,400円を指定する。その他の参考文献としては、例えば次のものがある。
 松下満雄『経済法概説（第2版）』（東京大学出版会）
 実方謙二『独占禁止法』（新版）』（有斐閣）
 川越憲治『全訂独占禁止法——競争社会のフェアネス』（金融財政事情研究会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	うめき 梅木 崇	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短国・短放	4

講義のねらい

地方自治法は、相当におおきな法律であり、その内容も多岐にわたっている。そして行政法を解説する具体例を豊富に提供している。また、われわれの日常生活に関係する部分がおおい。その意味で親しみやすい法律であるといえることができる。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、行政法の具体的説明というかたちをとる。行政法総論では必ずしも理解がいきどいたとはいえない点について、地方自治法を素材としながら解説するということである。同時に、法律の性格上、改正がきわめて多い点を考慮し、その沿革的な側面、地方行政そのものの内容についても言及しなければならないと思う。

地方自治法の内容が、とくに地方公務員試験で問われることが多い。とくに択一式の問題で、相当に細かい点まで素材にしている。この点を考慮して、これまで出題された問題を検討することにも力点をおきたい。

教科書

現在のところ、こちらで推薦する教科書はない。近時、法律の改正があったためである。これまでは、こちらでレジメを用意している。適当な教科書が出版された場合にはそれを用いる。その際には指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	うらたき 浦田早苗	禅・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・経済・商 法律・経営・短放	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくことは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は以下のような講義を予定している。

- ・近代の始点——ルネサンス期と18世紀——　・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室　・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程　・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——　・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7～8×400字——は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する。
(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	も が き ひろ し 茂 垣 広 志	禪・仏教・国文・英文・地理 歴史・社会・経済・商 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか?」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の観点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

周知のように1985年のプラザ合意以降と急速な円高の進行と貿易摩擦による相手先国からの政治的プレッシャーにより、それまでの輸出中心の国際競争戦略から現地生産、第3国生産を加味した戦略へと移行し、さらに近年では東南アジアへの部品メーカー、組立てメーカーの進出が加速化し、日・米・欧・亜の4極的体制が構築されはじめている。これらのことは企業の戦略と分散化した諸活動の調整をますます複雑なものとしており、そのマネジメントのあり方が、国際経営上の大きな課題となっている。

海外に拠点を高度に分散化しているMNCにとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本のマネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系MNCと異なる様相を示している。授業では、その日系MNCの戦略およびマネジメント上の特徴を理論、欧米系MNCとの比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点を理解することに主眼を置くことにする。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
 - II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説等）
 - III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、ルートの海外市場参入段階モデル、EPRGモデル等）
 - IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
 1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済・比較優位・国家特殊優位性）
 2. 国際競争戦略の類型（ホーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、バートレット＝ゴジャール・モデル等）
 3. 国際マーケティング戦略（マルチナショナル・パラダイムとグローバル・パラダイム、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略）
 - V. 国際戦略と組織構造
 1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
 2. ミクロ構造および内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
 - VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
 1. 欧州系MNCとアメリカ系MNCの戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
 2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性と問題点、進出地域別特徴）
 3. 海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
 4. 異文化マネジメント
 - VII. 在日外資系企業の経営上及び人事管理上の特徴
- 以上が講義内容の項目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。なお、毎時間レジュメおよび資料を配布し、それに基づいて授業を進めていく。

履修上の留意点

経営学、経営戦略論の知識があった方が理解しやすいので、そのような関連科目を既に履修しているか、現在している方が望ましい。ただ、授業中にも簡単には説明します。

成績評価の方法

成績は出席状況および期末試験の結果により判断します。

教科書

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』学文社、¥2,800

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	ちょう 張 こっ 国 きょう 強	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 法 律 ・ 政 治 ・ 短 放	4

講義のねらい

総合的な経営管理や経営計画を遂行するには、販売、生産、仕入、経理、人事などの各部門においてデータを収集し、収集されたデータを目的にあった情報という形に整理して初めて実行可能となる。そして、情報化社会における今日の「経営統計」の役割は上述の各部門の単なるデータの記述だけでなく、経営の各レベルの意思決定にも極めて重要になっている。

本講義は経営と統計のかかわりについて重視し、統計技術を身近な例や企業に関する経営数値例を数多く取り入れてわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分の計算をいっさい用いずに、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

テーマ	内 容	回数
統計について	経営と統計、基礎概念（母集団と標本、数量値と計数値、母数と統計量）	2
統計資料の収集と整理	統計調査（調査の技術、標本設計の技術）、度数分布表、グラフ表現	4
統計特性値	標本平均、標本分散、正規分布	3
経営時系列	平均値、増加率、季節指数	4
	前期復習と中間試験（7月中旬）	2
経営指数	相対指数、総合指数、物価指数	2
統計推測	標本分布、区間推定、仮説検定	3
相関分析	相関係数、最小2乗法	3
統計的決定理論	意思決定基準、期待効用理論	2
	後期復習と定期試験	2

履修上の留意点

年間4回程度（前期と後期各2回）の練習問題を適時に配布し、それを独自に解けば、中間試験と定期試験に心配する必要はありません。

成績評価の方法

講義への出席状況を重視し、中間試験と定期試験の結果を参考に総合的に判断します。

教科書

使用しませんが、プリントは適時に配布する。

参考書等

西田俊夫・田畑吉雄共著『経済・経営の統計学』（培風館）、1992
守口栄一・竹田仁共著『経営数学：経営統計とその応用』（日本理工出版社）、1992

その他

関連科目：統計原論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざかにあき 石名坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危険管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義はOHP等を使用し、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』白桃書房 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』白桃書房
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』白桃書房

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ え いちろう 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、また、これに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較、会計基準選択の社会経済的影響など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』中央経済社

参 考 書 等

畠村剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』、白桃書房
日本公認会計士協会編『監査小六法』、中央経済社

そ の 他

授業の方法は、講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか ぎ かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。消費税についても何かと話題にのぼっている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容の概要は次のとおりである。
1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
 2. 同族会社と青色申告
 3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
 4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
 5. 受取配当金益金不算入
 6. リース取引
 7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
 8. 交際費及び寄付金
 9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
 10. 圧縮記帳
 11. 引当金と準備金
 12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
 13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

講義で使用する教科書、参考書等については開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 法律・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を，文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- (1) 商業史の視点
- (2) 歴史研究とパラダイム論
- (3) 利潤
- (4) 商品
- (5) 市場
- (6) 継続性
- (7) 流通量
- (8) 大衆消費社会の特質
- (9) 価格革命
- (10) 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが，講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが，聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。

教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『商業発展史論』（創成社）¥3,200

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 情 報 論	たか 高 井 い 徹 てつ お 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・経済 商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 総論：経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観し、インターネットなど、現在から近未来における情報インフラストラクチャの整備と、そうした環境における、戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 各論：情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅲ、Ⅱ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散型シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※ なお、適宜（5～6回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期に1回ずつ、それぞれの授業範囲について筆記試験を実施する。いずれも参照不可の客観テストで行う。当然であるが、授業に出席しないで取れる単位ではないので、そのつもりで履修申告すること。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）¥3,200
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・法律・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C.E.Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（ビットという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・授業スケジュール

月回数	内容
4 3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5 3	対数の原理と性質、計算練習
6 4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7 3	暗号系と用語、古典的な暗号
9 2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10 2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の間中間試験
10 2	確率過程およびマルコフ過程
11 2	遷移確率と同時確率
11 1	エントロピーの定義
12 2	冗長度、言語のエントロピー
12 1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1 1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	なかむらまさと 中村真 人	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営労務論は、企業経営と労働生活との関わりについて考察する学問である。この問題については、経営学領域では企業労働論、労務管理論などとして研究蓄積が進められて来た。しかしそれだけでなく、社会政策・労働経済論領域における労使関係研究・労働市場研究や、産業社会学領域における経営と労働の研究など、隣接分野でも豊富な研究蓄積があり、それらを無視してこの問題を論ずることはできない。また、インダストリアル・リレーションズ研究、人的資源管理論といった新分野もこの周辺で開拓されてきた。本講義では、企業経営と労働生活の問題について、古い学問領域の縄張りを超越した視野をもって進めてきた私の研究をもとにして話をすすめる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 労働市場と雇用
- ② 教育訓練と「人的資源」
- ③ 賃金と賃金構造
- ④ 労働時間とその短縮
- ⑤ 労使関係と労働組合
- ⑥ 生産管理と労働
- ⑦ 労働安全衛生と健康
- ⑧ 企業福祉と労働人生

成績評価の方法

学年末試験による。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・法律・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

そのため、成績評価はレポートと授業時間中のテストなどの平常点で行います。

- ① 前・後期、計2回のレポート提出と、
 - ② 前・後期、計2回のテストで評価し、
- 学年末試験は行わないので、十分注意下さい。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」
- * テスト範囲：前期「収益性・安定性分析」、後期「生産性・損益分岐点分析など」財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいで下さい。

教科書

教科書は、開講のとき、指示します。

参考書等

参考書は、開講のとき、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文講読Ⅰ（上代）	さ ばら さく み 佐 原 作 美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済 商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4500首が収められてなる、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や個性豊かな特色ある歌人を選び、それらの和歌を中心に講読していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るのほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

成績評価は、レポートや筆記試験をもって判断する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）刊 ¥1,800

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文講読Ⅱ(中古)	すずき ひろこ 鈴木 裕子	禅・仏教・英米文・地理・歴史 社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答を見つけてもらいたと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるよとと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は、明石の巻から読みます。光源氏という架空の人物は、在原業平をはじめ古代の英雄のさまざまな要素を総和して創造された「理想像」とも言われています。そういう光源氏の人生史において、須磨・明石でのさすらしい体験は、どのように意味をなしていくか、青春の疾風怒濤をくぐりぬけてゆくおもしろさを味わいましょう。

履修上の留意点

授業は、テキストを用いての講義を中心に行ないます。が、教師の一方通行にならないように、受講生の積極的な質問や感想・意見など建設的な発言は歓迎します。

成績評価の方法

期末に試験を行ないます。(前期一回・後期一回) その他、授業中に適宜小テストを実施し、出席状態などの平常点を加味して評価します。

教科書

全文が出ているものなら何でもよく、手元にある本を活用して下さって結構です。ただし、抄本は不可。もし、新たに購入するのであれば、玉上琢弥『源氏物語三』(角川文庫)、新日本古典文学大系『源氏物語二』(岩波書店)、新潮日本古典集成『源氏物語二、三』(新潮社)などが扱いやすいでしょう。

参考書等

授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文講読Ⅲ(中世)	さかぐち ひろみ 坂口 博規	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集の『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛の女徳子(安德天皇の母として建礼門院の院号を授けられる)の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が全体年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋愛、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇ノ浦での死を体験し、その追想の日々を過ごす。動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、女性の手になる自照文学の流れを概観し自照精神を考え、作者の父・母の伝記に触れ、作者が中宮女房として出仕した資質を明らかにする。作者はまた一時似絵(肖像画)名手であり歌人でもあった藤原隆信との実らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を詠み進めていく。

履修上の留意点

『平家物語』の裏面史、裏話の内容を示すものでもあり、『平家物語』そのものへの関心をも喚起したいと思うので、是非『平家物語』も読み進めて欲しい。特に恋愛交渉時に詠まれた作者の歌に、和歌本来の抒情性を味わって欲しい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

久徳高文編『建礼門院右京大夫集』(おうふう刊) ¥1,800

参考書等

本位田重美著『建礼門院右京大夫集全釈』(武蔵野書院刊)、村井順著『建礼門院右京大夫評解』(有精堂刊)、富倉徳次郎著『王朝の悲歌』(弘文堂書房刊)等

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文講読Ⅳ(近世)	せい だ けい こ 清 田 啓 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい	江戸時代中期の異才の小説家上田秋成を研究する。読本というジャンルのみでなく、興味ある作品を残したこの作家は、丁寧に一生をたどってみるに足りる存在だと思う。諸作品に触れて作者を知り、関連する事柄を知ってこの時代を理解してほしいと思う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストに収録される作品を、参加者に分担、読解してもらう。導入時には秋成とその前後の文学状況も解説する。作品読解がある程度進んだ後は、テキスト収録作品以外にも及んで、参加者各自のテーマを深めてもらう。
履修上の留意点	積極的に多量の作品を読む覚悟が必要。
成績評価の方法	読解段階の発表内容、各自のテーマのレポート(夏期・期末)を勘案する。
教科書	浅野三平他編『秋成作品選』(おうふう) ¥1,900
参考書等	教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文講読Ⅴ (近・現代)	おお むろ えい じ 大 室 英 爾	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい	近代詩を読む。「明治ノ歌ハ、明治ノ歌ナルベシ、古歌ナルベカラズ」として伝統的な和歌、俳句、川柳の思想と様式を離れ、いわゆる「新体」の詩の実現をはかった「新体詩抄」からはじめて、現代にいたるまで、その時々を代表する完成度の高い詩をとりあげて読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。
講義の内容・授業スケジュール	個々の詩の味読が中心となろう。毎時1～3作のペース。時に感想、印象の類をペーパーに書いて提出してもらい、それをもとに鑑賞を深めていくことも考えている。
履修上の留意点	その時間に取り扱う作品は必ず読んでくること。
成績評価の方法	レポート提出
教科書	「展望・近代詩——その歴史と作品」(双文社)
参考書等	授業にてその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 講 読 V (近・現代)	さき せ おう じ 笹 瀬 王 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

泉鏡花の作品を一年間かけてじっくりと読む。講義では、特に作者特有の言い廻しや語法に着目し、作品毎の丁寧な読みを行う。基礎的な読解力を養うことを主眼とし、その上で鏡花文学の多面性や特質を考えていく。

履修上の留意点

作品を前もって読み、自分なりの問題意識を持って講義にのぞむこと。

教 科 書

泉鏡花『外科室・海城発電』(岩波文庫) ¥520
『鏡花短篇集』(岩波文庫) ¥520
その他、必要な教材はプリントを配布する。

参 考 書 等

国語辞典、漢和辞典等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 特 講 V (近・現代)	さき せ おう じ 笹 瀬 王 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・経済・商 経営・短英・短放	4

講義のねらい

大正から昭和にかけて評論家・小説家として活躍した広津和郎の回想小説集『同時代の作家たち』を教材として扱う。刊行当時、「読んだ人は、どの小説を読んでもどんな悲しいことを述べたものでも、いかにみじめな話が書かれたものでも楽しい気持になる」と評された本書を通して、大正文学の魅力をあらためて考えてみたい。

講義は、作中に実名で登場する島村抱月、田山花袋、徳田秋声、芥川龍之介、菊池寛、宇野浩二、近松秋江といった文学者たちの文学の考察を中心に進める。

履修上の留意点

講義が広汎にわたるので、各自が自主的に対象とする作家の作品の一つでも多く、あらかじめ読んでおくことが望ましい。

教 科 書

広津和郎『同時代の作家たち』岩波文庫 ¥620
文庫本が品切の際は、こちらでコピーを用意する。
その他、必要な教材は適宜指示、或はプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	おか もと まこと 岡 本 誠	禅・仏教・地理・歴史 社会・経済・商 経営・短国・短放	4

講義のねらい

「時事英語」とは Current English という英語に訳せる。従って、新聞・雑誌・放送といった媒体としての最新の英語にふれることを本講義のねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュース、または昨晚のイギリスからのニュースを聞き、ニュースキャスターの原稿を作ってみるが、英字新聞もその際併用する。
TIME, NEWSWEEKなども折にふれ利用する。

成績評価の方法

期末試験。受講中の発表。出席状況。

教 科 書

特定の教科書等は利用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 I [ディクテーション]	おか もと まこと 岡 本 誠	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会 短国・短放	4

講義のねらい

慣用句の成立背景をしてみる。例えば、“OK” という言い方はどのようないきさつで言語生活に入ってきたのか。あるいは“maverick” という語はどのようにして「一匹狼」の意味になってしまったのか。これらをテープを聞きながらディクテーションで行なう。つまり、並行して Listening comprehension の力を養うことも本講義のねらいとする。聴いて書き上げるという作業はその人の英語の実力をずばりと表す。この能力を高めないかぎり発話能力は備わらない。TOEFL500 点以上を達成したいむきは来たれ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はスピードの比較的にゆっくりしたもの、後期は比較的速いものを聴くようにこころがける。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。受講者は耳を掃除して早めに来ること。

成績評価の方法

発表状況。出席状況。

教 科 書

テープ使用。プリント使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用計測学(前期)	かし 檀 尾 英 次	禅・仏教・英米文 地理・歴史・社会 経済・商・経 営	1

講義のねらい

診療放射線技師の国家試験では、放射線機器工学としてX線診断装置や加速器のほか、核医学機器、X線CTおよびMRI装置も出題されている。
医用画像診断装置を中心に、装置の基礎技術が習得できるよう講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置とソフトウェア
- 2) X線CT装置
- 3) MRI装置
- 4) CR装置
- 5) DSA
- 6) PACS
- 7) 超音波診断装置

履修上の留意点

履修上あらかじめ放射線物理、放射線計測および機器工学を習得していること。他学科にあっては、高校で物理を習得していることが望ましい。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

随 意 科 目

随 意 科 目

英 語 (海外演習) 1

科目名	配当学年	単位
英語（海外演習）	1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の姉妹校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリテイッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学セミナーでの四週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の一年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

教職及び資格講座

(国文科・英文科)

教 職 課 程

学校図書館司書教諭講座

講義内容目次

I 教職課程

(1) 教職に関する専門科目(必修)

教育原理(国)	(豊田 千代子)	1
教育原理(英)	(北村 三子)	1
教育心理学	[教育方法論を含む] (国眼 眞理子)	2
青年心理学	[教育方法論を含む] (小宮山 要)	2
国語科教育法	(小林 治)	3
英語科教育法	(梅原 敏弘)	4
特別活動	(原口 盛次)	4
生活指導	(佐藤 尚人)	5
道德教育の研究	(坂本 信昭)	6
教育実習(国)	(坂本 信昭)	6
教育実習(英)	(村山 輝吉)	7

(2) 教職に関する専門科目(選択)

教育関係法規	(広沢 明)	8
図書館学 I	(山崎 慶子)	(9)
図書館学 II	(山崎 慶子)	(9)

II 学校図書館司書教諭講座

図書館学 I	(山崎 慶子)	10
図書館学 II	(山崎 慶子)	10

※ 頁()は他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

I 教 職 課 程

(1) 教職に関する専門科目 (必修)

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	教職1必 (短国)	4

講義のねらい

1965年に、ユネスコのポール・ラングランによって「生涯教育」が提唱されて以来、教育を生涯教育・生涯学習という観点で捉えることが、教育改革の国際的動向となっている。わが国でも、今日、生涯学習の観点からの教育の見直しが課題となっている。

そこで、授業では、自分自身の成長過程で経験した教育を振り返ることをとおして、教育について考えていきたい。取り上げるテーマとしては、次のものを考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・現代の教育問題
- ・「子どもの権利条約」
- ・人権教育
- ・生涯教育論
- ・教師論
- ・国際理解教育
- ・教育改革の方向性

教科書

大学教育実践研究会編『教育を考える』相川書房

参考書等

篠田弘編『資料でみる教育学』福村出版

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育原理	きた むら かつ こ 北 村 三 子	教職1必 (短英)	4

講義のねらい

宮沢賢治は、文学者としてばかりではなく、その教育者としての側面も注目されている。四年半の彼の花巻豊学校での実践は、多くの生徒の心に刻まれ、語りつがれてきたし、今日でも、硬直化した学校制度の対極にあるものとして、賢治の精神を評価しようとする動きがある。例えばもと小学校教師の鳥山敏子さんが中心となって去年創られた「賢治の学校」は、大人も子供もともに人間として再生する場であることを目指している。それは、賢治に、学び、人間の身体性を回復し、自分や他の人々、そして自然との新たなつながりを求めようとするものである。また、それは、環境問題や人間の崩壊を懸念する多方面の人々によって支えられている。私たちが、賢治の作品にも触れながら、賢治から今得られるものは何かを考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

次のような文献を検討する予定である。

- 1) 『ひと 特集——宮沢賢治の教師としての仕事——』222号, 太郎次郎社, 900円。
- 2) 『ひと 特集——宮沢賢治をやっつけろ——』250号, 800円。
- 3) 見田宗介『宮沢賢治——存在の祭りの中へ』, 岩波同時代ライブラリー, 800円。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点。

教科書

講義の内容・授業スケジュールの文献。雑誌のバックナンバーがないときは、コピーを利用する予定。

参考書等

授業中に指示。

その他

ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育心理学 (教育方法論を含む)	こく がん まりこ 国 眼 眞理子	教職1必 (短国・短英)	4

講義のねらい

さまざまな教育現象を心理学の視点からどのように理解できるかを学ぶ。あわせて取得免許状の対象である中学生の心理的な特徴を理解し、彼らの心の健康を促すために必要な視点を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

まずベースとなる心理学を、①行動の基礎である人間の知覚のメカニズム、②発達や学習の概念、③対人関係の心理(対人認知やコミュニケーションを含む)、④青年期の発達の意味等、を中心に学ぶ。その中で適宜さまざまな教育現象を考える。なお授業は講義が中心であるが、理解を助けるために指定図書の通読やビデオ・OHP等の視覚教材を利用する。

履修上の留意点

最近人間の行動に関するさまざまな優れた放送番組があるので、関心をもって見ることを勧める。

成績評価の方法

指定図書の中から3冊を選び、中学生と接するときの留意点を自分の具体的な経験を交え、論評する。この3回のレポート提出をもって、成績の評価を行うので、提出することが単位取得の条件である。なお不十分な内容のときには再度提出を求められることがある。定期試験は、筆記試験ないしレポート試験のいずれかを課す。

教科書

はじめの授業のときに配布する。必要な資料はそのつど配布する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
青年心理学 (教育方法論を含む)	こみやま かなめ 小宮山 要	教職1必 (短国・短英)	4

講義のねらい

1. 中学校の教師になるために必要不可欠な青年心理学についての知識と、今日の中学生在が示している、いろいろな問題行動についての理解とその指導法を習得する。
2. 現在青年期の中にある大学生自身の自己理解を深め、対人関係能力の向上と社会性の発達に役立てる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 青年心理学の目的、課題、方法、問題点
2. 中学生の問題行動の様相
3. 青年理解と適応指導
4. 人間関係の展開と改善
5. 青年期の危機とのりこえ

成績評価の方法

授業中の小テスト60%、レポート40%

教科書

授業は主として講義形式とするが、課題に対する発表討議等も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
国 語 科 教 育 法	こ ばやし 小 林 治	教 職 1 必 (短 国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つことにもなるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際に学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現（書く）、口頭表現（話す・聞く）に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること（思考）がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになろう。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 1993年度から実施された学習指導要領の解説。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容（教科指導案を含む）、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

全国大学国語教育学会編『新版中学校・高等学校国語科教育研究』。
中学校教科書は開講時に指示するが、各自必ず購入すること。

参 考 書 等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

そ の 他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学年	単 位
英語科教育法	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	教 職 1 必 (短 英)	4

講義のねらい

基本的な教授法及び外国語習得理論の概略と、教育実習をするために必要な具体的な知識を学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の英語教師に求められている資質、能力、知識とは何かという基本的な問題をまず検討し、英語教師になるために何が必要なのかを受講者自身によく考えてもらったうえで講義に入っていく。前期では外国語教育にまつわる諸問題を教授法、外国語習得理論を中心に講義をする。後期は、実際の授業風景を録画したビデオテープを見ながら、具体的な指導技術の知識を深め、学生一人一人にやってもらった模擬授業を通して、指導技術を習得してもらおう。

履修上の留意点

英語教師になるのであるから英語そのものの力がないといけない。常に自分の英語力を高める努力を怠らないでほしい。

成績評価の方法

レポート(50-60%)及びその他の要素(40-50%)、例えば出席・授業への貢献度(質問、意見の発表等)・模擬授業の出来映え、などを総合的に勘案して決める。

教科書

教科書は特には指定しない。

参考書等

『新英語科教育の展開』塩澤他著英潮社
『実践英語科教育法』リーベル出版
ビデオテープ：英語教育研究シリーズ ジャパンライム

科目名	担当者名	配当学年	単 位
特別活動(半期)	はら ぐち もり じ 次 原 口 盛 次	教 職 1・2 必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における教育課程の一領域として位置付けられている「特別活動」の教育的意義や目標、内容及び方法等について理解するとともに、特別活動の具体的な指導の在り方を探究し教師としての指導力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

①特別活動の教育的意義 ②特別活動の歴史 ③他の教育内容(各教科、道徳)との関連 ④特別活動の目標とその特質 ⑤各内容(学級活動、生徒会活動、クラブ活動、学校行事)とその特質及び活動内容 ⑥指導計画の作成と留意すべき事項 ⑦指導方法と評価 ⑧生徒指導と特別活動 ⑨学校・学年・学級経営と特別活動 ⑩指導組織と研修活動 ⑪特別活動における今後の課題

履修上の留意点

文献による理論的な研究とともに、具体的な指導の在り方についての探究が必要である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等、総合的評価

教科書

①高橋哲夫・原口盛次・井上裕吉編『特別活動研究』教育出版 1,900円
②文部省『中学校指導書特別活動編』ぎょうせい、80円

参考書等

宇留田敬一著『特別活動論』第一法規 1,800円、他

そ の 他

講義及び指導計画・指導案等の作成

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
生 活 指 導 (半期)	ま とう なお と 佐 藤 尚 人	教 職 1・2 必 (短 国・短 英)	2

講義のねらい

学校教育において、教科の学習や集団生活への参加が、一人ひとりの児童生徒でスムーズにいこう指導することを教師は求められる。しかしながら、子どもは決して等一・均一存在ではない。画一化された教師の指導方法や対応では日々起こりうる種々の問題の解決がうまくいかない、あるいはむしろ問題を引き起こしてしまうことすらあるであろう。

本授業では、昨今教育問題として取り上げられる機会の多い「いじめ」「不登校」「非行」などについて、そのような問題行動を示す子どものこころのありようの理解や対応の仕方、さらには問題行動を未然に防ぐための教師としての心構えなどを考えてゆく。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに 学校教育の歴史と目的 教師のなすべきこと
2. 子どもの理解 問題行動について医学的・工学的な理解と教育的な理解
3. E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その1)
4. E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その2)
5. E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その3)
6. E. H. エリクソンの発達段階・課題の考え方 (その4)
7. さまざまな問題行動とその理解「いじめ」
8. さまざまな問題行動とその理解「不登校」
9. さまざまな問題行動とその理解「非行」
10. こころの病・不応「神経症」「精神病」
11. 問題行動への対応の方法「学習理論にもとづくもの」
12. 問題行動への対応の方法「心理療法にもとづくもの」
13. まとめ 生活指導において大切なこと

履修上の留意点

原則として出席はとらないが単位を取得することを希望する学生は毎回出席すること。さらに、授業中に質問や意見などを積極的に表明することが望ましい。

参加学生に対してはすべて公平にあつかう（さまざまな事情があっても特別扱いはしない）。

成績評価の方法

原則として定期の筆記試験（ノート等の持ち込みは一切不可）の結果により成績を評価する。ただし、授業中の発言（質問・意見）や宿題等の課題の提出を試験の成績にプラスして評価する。

教科書

特に使用しない。講義ノートをもとに授業を進めてゆく。

参考書等

大貫・佐々木編著『心の健康と適応』福村出版 2,200円

科目名	担当者名	配当学年	単 位
道徳教育の研究（半期）	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 必 （短国・短英）	2

講義のねらい

道徳教育の問題は、古くて新しい問題である。「徳は教えるか」とは、ソクラテスのとり組んだ難問であったが、これは今日でもやはり難問である。これからの道徳はいかなるものであり、どんな方法で教えるべきかということは、いぜんとして新しい課題である。
本講義では、明治「原制」以降、今日にいたる道徳教育の史的変遷のそって検討し、殊に学校における道徳教育の成立過程と事情について探究する。

講義の内容・授業スケジュール

講義を中心とするが、道徳の時間における指導案（中学校）についても、具体的な検討をする。

履修上の留意点

出欠は厳密にとる。教育実習等でやむをえず欠席した場合は必ず申し出て、指示を求めること。

成績評価の方法

主として年度末試験をもとに評価します。

教科書

教師養成研究会編『道徳教育の研究』学共図書 950円

科目名	担当者名	配当学年	単 位
教育実習	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	教 職 2 必 （短 国）	3

講義のねらい

失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向かう姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導（教育）に重点を置きたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。
教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。
教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成（提出）、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か——どうあるべきか——について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

①実習校からの教育実習詳及び教育実習ノート ②教育実習報告（口頭報告）及び報告レポート ③ビデオ視聴のコメント（感想） ④年度末試験（または、課題レポート）によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えています。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』宣協社 1,500円

参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』学文社 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 年	単 位
教 育 実 習	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	教 職 2 必 (短 英)	3

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとり組み、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- ・教育実習の意義と心がまえ
- ・学習指導について
- ・生徒指導について
- ・学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、試験、出席点等により総合的に判定進める。

教 科 書

その都度指示する。

(2) 教職に関する専門科目（選択）

科目名	担当者名	配当学年	単位
教育関係法規	ひろさわ 広 沢 明	教職1選 (短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 校 則(1) — 丸刈訴訟
2. " (2) — バイク裁判
3. " (3) — 生徒会
4. 懲 戒 (1) — 退学・停学
5. " (2) — 体罰・精神罰
6. 教育情報(1) — 家庭環境調査書
7. " (2) — 申書・指導要録
8. 教育と宗教(1) — 日曜日訴訟
9. " (2) — エホバの証人事件
10. 日の丸・君が代
11. 教科書裁判(1) — 検定の事実
12. " (2) — 法律上の争点
13. 戦後教育政策の変遷
14. 教育と平等(1) — 民族教育
15. " (2) — 性差別
16. " (3) — 障害児
17. 義務教育（登校拒否を含む）
18. い じ め

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きの姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

広沢明『憲法と子どもの権利条約』エイデル研究所 2,800円

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅰ	やま ざき けい こ 山 崎 慶 子	教職1選 (短国・短英)	4

(P.10) 参照

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅱ	やま ざき けい こ 山 崎 慶 子	教職2選 (短国・短英)	4

(P.10) 参照

II 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅰ	やまざき けいこ 山崎 慶子	図書(司)1必 (短国・短英)	4

講義のねらい

生涯学習社会の到来とともに、人格形成期にある児童生徒を預かる学校教育の現場は、精神面及び学習経験の基盤を形づくるためにその責任は一層に重くなっている。
教育過程の展開に寄与し、児童生徒の健全な教養を育成することを目的とした学校図書館の管理運営、読書活動の推進や学び方の技能を指導する司書教諭の職務内容への理解を深め、自らも豊かな読書人としての人材の育成を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト使用による講義形式ならびに必要なに応じて演習授業を併用する。

図書館学Ⅰ	
前期 学校図書館通論	1単位
学校図書館の管理と運用	1単位
図書館資料の選択	1単位
後期 図書以外の資料の利用	1単位
児童生徒の読書活動	1単位
学校図書館の利用指導	1単位
図書館学Ⅱ	
図書の整理(分類と目録)	2単位

履修上の留意点

司書教諭資格取得に必要な8単位を図書館学Ⅰ及びⅡにおいて履修する。
なお、司書教諭は教諭をもって充てる(学校図書館法第5条の2)ため、それぞれの教職課程の科目を履修しなければならない。

成績評価の方法

図書館学Ⅰ及びⅡのいずれも原則として定期試験時に筆記によるテストを行い、日常の出席点を加味して評価する。

教科書

図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』学芸図書 1,442円
全国学校図書館協議会演習資料編集委員会『図書館学演習後編』

参考書等

参考図書については授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学年	単位
図書館学Ⅱ	やまざき けいこ 山崎 慶子	図書(司)2必 (短国・短英)	4

講義のねらい

図書館学Ⅱは図書館学Ⅰをふまえ、主として資料の組織法(分類・目録)について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はわが国の公共図書館、学校図書館その他の図書館において使用されている『日本十進分類法』の解説ならびに演習を行う。
後期は『日本目録規則』の解説ならびに演習を行う。

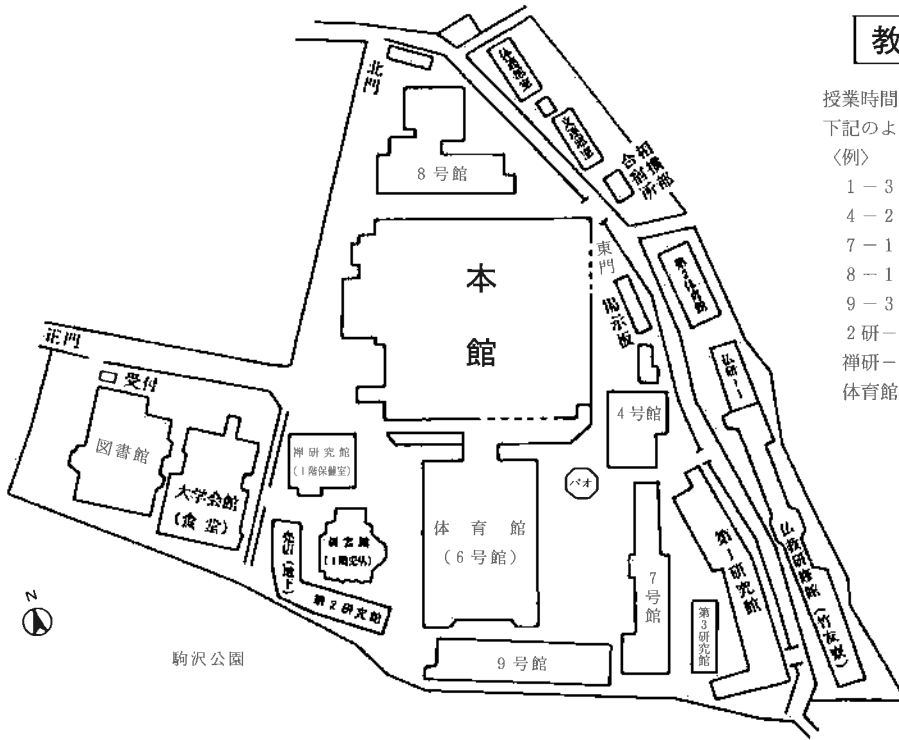
成績評価の方法

図書館学Ⅰに準ずる。

教科書

全国学校図書館協議会演習資料編集委員会『図書館学演習後編』を必ず購入し授業時には持参すること。

駒澤大学の構内図



教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

〈例〉

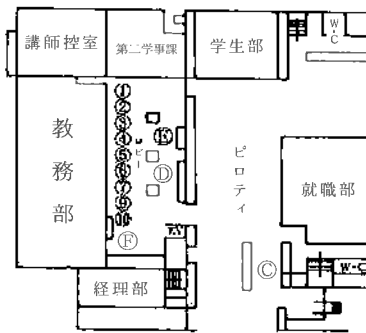
- 1-301 本館(1号館)3階
 - 4-204 4号館2階
 - 7-110 7号館1階
 - 8-150 8号館1階
 - 9-390 9号館3階
 - 2研-101 第2研究館1階
 - 禅研-201 禅研究館2階
 - 体育館 体育館2階
- (ただし選択種目により第2体育館になる)

各事務室・掲示板配置図

本館 1F

教務部窓口

- ①教職課程
学校図書館司書教諭講座
- ②博物館学講座
社会福祉主事講座
社会教育主事講座
- ③科目等履修生 聴講生 卒業証書
- ④証明書関係
(健康診断書は学生部)
- ⑤諸届願
休学・復学・退学・死亡
改氏名・本籍地変更・
住所変更・保証人変更
- ⑥大学院関係・留学生関係
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦転部転科
- ⑧履修・試験・成績・学業相談
学部演習(仏教学部・経済学部
法学部・経営学部)
- ⑩時間割変更・休講・外国語指定届



掲 示

- Ⓐ第1掲示板(表面)
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
- Ⓑ第2掲示板(裏面)ー臨時掲示板ー
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(8月)
- Ⓒ第3掲示板ー臨時掲示板ー
教務部関係連絡事項(12月~3月)
就職部関係連絡事項(4月~11月)
- Ⓓ休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- Ⓔ授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- Ⓕ大学院・留学生関係掲示板
- Ⓖ国際センター掲示板
- Ⓗ留学生専用・海外留学掲示板
学外諸機関からの案内・募集広告等

耕雲館 2F

体育館 1F

